

長野市

ASAKAWASENJOCHI

浅川扇状地遺跡群

社会資本整備総合交付金（街路）事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
—（都）高田若槻線 長野市 桐原～吉田（1）—

第2分冊

2021.9

長野県長野建設事務所
長野県埋蔵文化財センター

目 次

第1分冊

巻頭写真
はじめに
例 言
凡 例
目 次

第1章 発掘調査の経過

第1節 調査に至る経過

1. 事業計画の概要…………… 1
2. 試掘確認調査と保護措置の調整…………… 1
3. 行政手続の経過…………… 4

第2節 発掘調査の経過

1. 発掘作業…………… 7
2. 整理等作業…………… 10
3. 普及啓発活動…………… 11
4. 発掘作業と整理等作業の体制…………… 13
5. 作業日誌抄録…………… 16

第2章 遺跡の位置と環境

第1節 地理的環境…………… 23

第2節 歴史的環境

1. 周辺の遺跡…………… 28
2. 歴史的環境…………… 29

第3章 調査の方法と成果

第1節 調査の方法

1. 発掘作業の方法…………… 37
2. 整理作業の方法…………… 40
3. 報告書の作成と資料収納…………… 41

第2節 基本層序

1. 土層の概要…………… 41
2. 遺構の検出面…………… 42

第3節 遺構と遺物

1. 縄文時代…………… 44
2. 弥生時代中期…………… 47
3. 弥生時代後期…………… 49

・ 竪穴建物跡・墓跡・土坑・土坑	
4. 古墳時代	101
・ 竪穴建物跡・溝跡・墓跡・土坑	
5. 古代	222
・ 竪穴建物跡・掘立柱建物跡・溝跡・土坑	

第2分冊

6. 中世以降	1
・ 掘立柱建物跡・堀跡・墓跡・土坑	
遺構一覧	77
土器一覧	114

第4章 自然科学分析

第1節 出土骨	227
第2節 放射性炭素年代測定	256
第3節 樹種・種実同定	267
第4節 花粉分析 珪藻分析 プラント・オパール分析 リン酸・カルシウム分析	273

第5章 総括

第1節 弥生時代～古墳時代の動向	297
第2節 古代の遺物の様相	301
第3節 地域史研究の中でみる発掘調査の成果	303

写真図版

報告書抄録

添付 DVD

図版目次

第288図	ST3001	掘立柱建物跡……………	2	第326図	SK6051	土坑……………	42
第289図	ST3002	掘立柱建物跡……………	3	第327図	SK6066	土坑……………	43
第290図	ST3004	掘立柱建物跡……………	4	第328図	SK6066	出土遺物 1 ……	44
第291図	ST3005	掘立柱建物跡……………	5	第329図	SK6066	出土遺物 2 ……	45
第292図	SD1	溝跡……………	7	第330図		包含層出土遺物（中世） ……	46
第293図	SD1	出土遺物 1 ……	8	第331図		包含層出土遺物（近世以降 1） ……	50
第294図	SD1	出土遺物 2 ……	9	第332図		包含層出土遺物（近世以降 2） ……	51
第295図	SD1	出土遺物 3 ……	10	第333図		包含層出土遺物（近世以降 3） ……	52
第296図	SM1～4・5001・5002	墓跡……………	13	第334図		包含層出土遺物（近世以降 4） ……	53
第297図	SM5003	墓跡……………	14	第335図		包含層出土遺物（近世以降 5） ……	54
第298図	SK101	土坑……………	16	第336図		包含層出土遺物（近世以降 6） ……	55
第299図	SK327	土坑……………	18	第337図		包含層出土遺物（近世以降 7） ……	56
第300図	SK3012	土坑……………	18	第338図		遺構配置図 中世以降……………	57
第301図	SK3046	土坑……………	18	第339図		遺構分布図 中世以降 1 ……	58
第302図	SK3112	土坑……………	18	第340図		遺構分布図 中世以降 2 ……	59
第303図	SK3216	土坑……………	20	第341図		遺構分布図 中世以降 3 ……	60
第304図	SK3529	土坑……………	20	第342図		遺構分布図 中世以降 4 ……	61
第305図	SK3546	土坑……………	20	第343図		遺構分布図 中世以降 5 ……	62
第306図	SK5033	土坑……………	21	第344図		遺構分布図 中世以降 6 ……	63
第307図	SK5064	土坑……………	21	第345図		遺構分布図 中世以降 7 ……	64
第308図	SK68	土坑……………	24	第346図		遺構分布図 中世以降 8 ……	65
第309図	SK292	土坑……………	24	第347図		遺構分布図 中世以降 9 ……	66
第310図	SK296	土坑……………	26	第348図		遺構分布図 中世以降 10 ……	67
第311図	SK3165	土坑……………	26	第349図		遺構分布図 中世以降 11 ……	68
第312図	SK3179	土坑……………	27	第350図		遺構分布図 中世以降 12 ……	69
第313図	SK3183	土坑……………	29	第351図		遺構分布図 中世以降 13 ……	70
第314図	SK3183	出土遺物……………	30	第352図		遺構分布図 中世以降 14 ……	71
第315図	SK3494	土坑……………	31	第353図		遺構分布図 中世以降 15 ……	72
第316図	SK3510	土坑……………	31	第354図		遺構分布図 中世以降 16 ……	73
第317図	SK3634	土坑……………	33	第355図		遺構分布図 中世以降 17 ……	74
第318図	SK3634	出土遺物……………	34	第356図		遺構分布図 中世以降 18 ……	75
第319図	SK3721	土坑……………	35	第357図		ヒト 1 ……	237
第320図	SK3721	出土遺物 1 ……	36	第358図		ヒト 2 ……	238
第321図	SK3721	出土遺物 2 ……	37	第359図		ヒト 3 歯……………	239
第322図	SK5083	土坑……………	38	第360図		ヒト 4 ……	240
第323図	SK5084	土坑……………	40	第361図		ウシ・ウマ……………	251
第324図	SK5089	土坑……………	40	第362図		ヤギ……………	252
第325図	SK5146	土坑……………	42	第363図		イヌ 1 ……	253

第364図	イヌ 2	254	第370図	花粉写真	283
第365図	ニホンジカ・イノシシ・ネコ・ウサギ・ニワトリ	255	第371図	珪藻写真	287
第366図	出土木材・炭化物顕微鏡写真 1	271	第372図	プラント・オパール写真	292
第367図	出土木材・炭化物顕微鏡写真 2 炭化種実	272	第373図	プレス試料およびリンとカルシウムの元素マッピング図	294
第368図	分析試料採取位置図 1	276	第374図	遺構変遷図 弥生時代	298
第369図	分析試料採取位置図 2	277	第375図	遺構変遷図 古墳時代	300

表目次

第10表	竪穴建物跡 (SB) 一覧	77	第32表	浅川扇状地遺跡群から出土したウシ	246
第11表	掘立柱建物跡 (ST) 一覧	84	第33表	浅川扇状地遺跡群から出土したヤギ	246
第12表	溝跡 (SD) 一覧	85	第34表	浅川扇状地遺跡群から出土したイヌ	246
第13表	自然流路 (NR) 一覧	88	第35表	浅川扇状地遺跡群から出土したネコ	247
第14表	墓跡 (SM) 一覧	89	第36表	浅川扇状地遺跡群から出土したシカ	247
第15表	焼成遺構 (SF) 一覧	90	第37表	浅川扇状地遺跡群から出土したイノシシ	247
第16表	畔・畝 (SC) 一覧	90	第38表	浅川扇状地遺跡群から出土した動物骨 (その他)	248
第17表	土坑 (SK) 一覧	91	第39表	浅川扇状地遺跡群から出土した動物骨 (種不明破片)	248
第18表	不明遺構 (SX) 一覧	113	第40表	浅川扇状地遺跡群出土動物骨の計測値	249
第19表	縄文土器一覧	114	第41表	年代測定および樹種・種実同定試料一覧	260
第20表	弥生土器一覧	115	第42表	年代測定および樹種・種実同定結果 (概要)	263
第21表	古墳土器一覧	129	第43表	花粉分析、珪藻分析、プラント・オパール分析、リン酸・カルシウム分析試料一覧	274
第22表	古代土器一覧	168	第44表	主な検出花粉	282
第23表	中世土器一覧	219	第45表	その他検出花粉	282
第24表	近世土器一覧	222	第46表	主な検出珪藻	286
第25表	浅川扇状地遺跡群出土人骨の概要	234	第47表	検出されたプラント・オパール	291
第26表	浅川扇状地遺跡群出土人骨の上顎歯の計測値と比較資料	235	第48表	判定量分析結果	295
第27表	浅川扇状地遺跡群出土人骨の下顎歯の計測値と比較資料	235	第49表	長野県内和同開珎出土遺跡	302
第28表	浅川扇状地遺跡群出土人骨の上肢歯の計測値と比較資料	236	第50表	長野市内帯金具出土遺跡	302
第29表	浅川扇状地遺跡群出土人骨の下肢骨の計測値と比較資料	236			
第30表	浅川扇状地遺跡群 各時期の動物依存体の出土点数	245			
第31表	浅川扇状地遺跡群から出土したウマ	245			

写真図版目次

PL 1	遺構 1 (1・2区遠景)	PL38	弥生時代後期の土器 9
PL 2	遺構 2 (3区遠景)	PL39	弥生時代後期の土器10
PL 3	遺構 3 (4区遠景)	PL40	弥生時代後期の土器11
PL 4	遺構 4 (5区遠景)	PL41	弥生時代後期の土器12
PL 5	遺構 5 (6区遠景)	PL42	弥生時代後期の土器13
PL 6	遺構 6 (弥生竪穴建物跡)	PL43	弥生時代後期の土器14
PL 7	遺構 7 (弥生竪穴建物跡)	PL44	弥生時代後期の土器15
PL 8	遺構 8 (弥生竪穴建物跡)	PL45	弥生時代後期の土器16
PL 9	遺構 9 (弥生墓跡)	PL46	弥生時代後期の土器17
PL10	遺構10 (古墳竪穴建物跡)	PL47	古墳時代の土器 1
PL11	遺構11 (古墳竪穴建物跡)	PL48	古墳時代の土器 2
PL12	遺構12 (古墳竪穴建物跡)	PL49	古墳時代の土器 3
PL13	遺構13 (古墳竪穴建物跡)	PL50	古墳時代の土器 4
PL14	遺構14 (古墳竪穴建物跡)	PL51	古墳時代の土器 5
PL15	遺構15 (古墳竪穴建物跡)	PL52	古墳時代の土器 6
PL16	遺構16 (古墳竪穴建物跡・溝跡)	PL53	古墳時代の土器 7
PL17	遺構17 (古墳墓跡)	PL54	古墳時代の土器 8
PL18	遺構18 (古墳墓跡)	PL55	古墳時代の土器 9
PL19	遺構19 (古代竪穴建物跡)	PL56	古墳時代の土器10
PL20	遺構20 (古代竪穴建物跡)	PL57	古墳時代の土器11
PL21	遺構21 (古代竪穴建物跡)	PL58	古墳時代の土器12
PL22	遺構22 (古代竪穴建物跡・掘立柱建物跡)	PL59	古墳時代の土器13
PL23	遺構23 (古代掘立柱建物跡・溝跡・土坑)	PL60	古墳時代の土器14
PL24	遺構24 (古代土坑)	PL61	古墳時代の土器15
PL25	遺構25 (中世以降掘立柱建物跡・堀跡)	PL62	古墳時代の土器16
PL26	遺構26 (中世以降堀跡・墓跡)	PL63	古墳時代の土器17
PL27	遺構27 (中世以降墓跡・土坑)	PL64	古墳時代の土器18
PL28	遺構28 (中世以降土坑)	PL65	古墳時代の土器19
PL29	縄文時代の土器・弥生時代中期の土器 1	PL66	古墳時代の土器20
PL30	弥生時代中期の土器 2・弥生時代後期の土器 1	PL67	古墳時代の土器21
PL31	弥生時代後期の土器 2	PL68	古墳時代の土器22
PL32	弥生時代後期の土器 3	PL69	古墳時代の土器23
PL33	弥生時代後期の土器 4	PL70	古墳時代の土器24
PL34	弥生時代後期の土器 5	PL71	古墳時代の土器25
PL35	弥生時代後期の土器 6	PL72	古墳時代の土器26
PL36	弥生時代後期の土器 7	PL73	古墳時代の土器27
PL37	弥生時代後期の土器 8	PL74	古墳時代の土器28
		PL75	古墳時代の土器29

PL76	古墳時代の土器30・古代の土器 1	PL101	中世以降の土器 2
PL77	古代の土器 2	PL102	中世以降の土器 3
PL78	古代の土器 3	PL103	中世以降の土器 4
PL79	古代の土器 4	PL104	中世以降の土器 5
PL80	古代の土器 5	PL105	中世以降の土器 6
PL81	古代の土器 6	PL106	中世以降の土器 7・土製品
PL82	古代の土器 7	PL107	縄文時代の石器・石製品、弥生時代の石器 1
PL83	古代の土器 8	PL108	弥生時代の石器 2、古墳時代の石器・石製品 1
PL84	古代の土器 9	PL109	古墳時代の石器・石製品 2
PL85	古代の土器10	PL110	古墳時代の石器・石製品 3
PL86	古代の土器11	PL111	古墳時代の石器・石製品 4
PL87	古代の土器12	PL112	古代の石器
PL88	古代の土器13	PL113	中世以降の石器・石製品 1
PL89	古代の土器14	PL114	中世以降の石器・石製品 2
PL90	古代の土器15	PL115	古墳時代の金属製品・古代の金属製品 1
PL91	古代の土器16	PL116	古代の金属製品 2・中世の金属製品 1
PL92	古代の土器17	PL117	中世の金属製品 2・近世の金属製品 1
PL93	古代の土器18	PL118	近世の金属製品 2
PL94	古代の土器19	PL119	近世の金属製品 3
PL95	古代の土器20	PL120	近世の金属製品 4
PL96	古代の土器21	PL121	近世の金属製品 5
PL97	古代の土器22	PL122	古墳時代の木製品・中世以降の木製品
PL98	古代の土器23	PL123	近世以降のガラス製品
PL99	古代の土器24		
PL100	古代の土器25・中世以降の土器 1		

添付 DVD 収録データ

報告書PDF

遺物一覧

自然科学分析報告書

6. 中世以降

(1) 遺構概説

本項で掲載した遺構は1・2区が基本土層のⅥ層上面、3・5・6区がⅤ層上面、4区がⅣ層上面で検出した。中世以降に属する遺構で、すべての地区で検出した。検出した遺構は掘立柱建物跡4棟、溝跡19条（堀跡含む）、墓跡7基、焼土跡5基、畦跡3条、土坑644基である。当該期の遺構は、1・2区で確認された桐原要害（中世豪族居館）の堀跡（SD1）が15世紀前半ごろと考えられ、3区や5・6区で確認されている大形で遺物が多量に出土した土坑が19世紀後半から20世紀初頭にあたると考えられる。また、当該期の遺構としたものの中で、遺物の出土が認められなかったような遺構には検出面や遺構埋土からその時期を判断したものがあり、若干時期が前後する可能性がある。

(2) 掘立柱建物跡

3区から検出された。調査時は土坑として番号を付して調査を開始し、調査中に掘立柱建物跡と判断したため、整理作業において堅穴建物跡の番号と振り替えた。中世に属すると考えるが、遺物の出土が少なく、遺構埋土や切り合い等からその時期を判断したため若干時期が異なる可能性もある。

ST3001 [第288図 PL25]

位置：3区 V F01・02・06・07グリッド。

検出：Ⅴ層上面で平面プランを検出。平面精査により重複関係を確認して掘り下げを行った。

重複関係：(旧) SB3001、SK3148。(新) かく乱。

埋土：いずれも単層である。均一な埋土の状況等から自然堆積と考えられる。

規模：主軸方向N72°W。長軸6.04m。短軸4.77m。深さ0.21～0.61m。

構造：南北1間、東西3間の建物と考えられる。柱間寸法は南北方向が4.54～4.77m、東西方向は1.80～2.09mである。平面形はピット1・5は隅丸方形、ピット2は不正形、ピット3・4・6～8は円形に近い形状を呈する。柱痕は認められなかったが、ピット2～5、7、8には、底面に礎板石が据えられる。

遺物出土状況：埋土からわずかに土器片が出土している。

時期：詳細な時期は確定できないが、検出層位と埋土・出土遺物などから中世とした。

ST3002 [第289図 PL113]

位置：3区 V F13・18グリッド。

検出：Ⅴ層上面で平面プランを検出。平面精査により重複関係を確認して掘り下げを行った。

重複関係：(旧) SB3005。(新) SD3001、SK3238。

埋土：いずれも単層である。均一な埋土の状況等から自然堆積と考えられる。

規模：主軸方向N12°E。長軸5.92m。短軸不明。深さ0.44～0.56m。

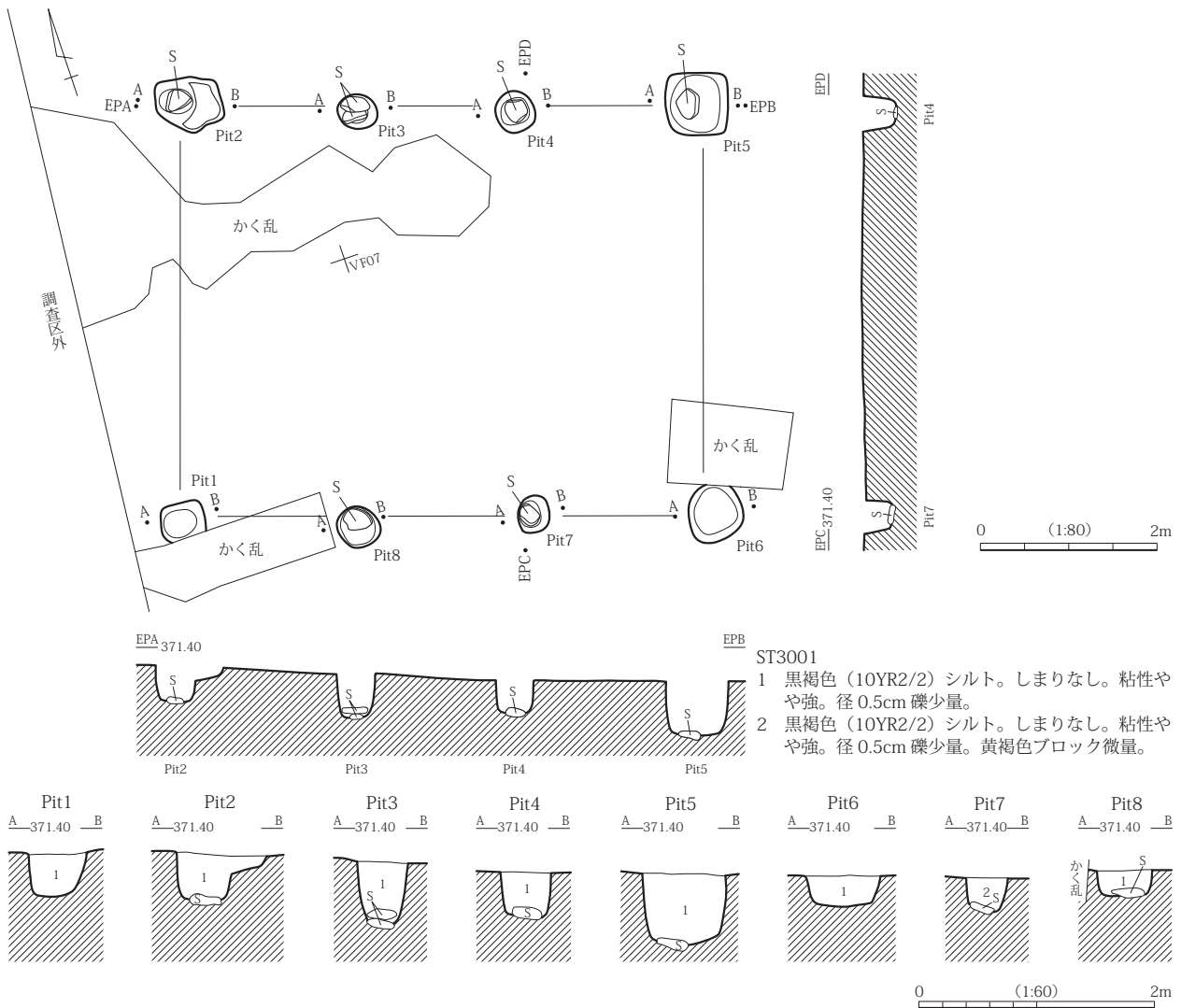
構造：東側は調査区外となり不明であるが、南北3間、東西1間の建物と考えられる。柱間寸法は南北方向が1.90～2.10m、東西方向は不明である。平面形は円形に近い形状を呈する。柱痕は認められなかったが、底面に礎板石が据えられる。

遺物出土状況：埋土からわずかに遺物が出土している。掲載した遺物は、ピット2からの出土である。

出土遺物：1は安山岩製の凹石で、表面に凹みが確認できる。2は安山岩製の石臼の上臼破片で、側面に引手孔が確認できる。

時期：詳細な時期は確定できないが、検出層位と埋土・出土遺物などから中世とした。

ST3001 (3区)



第288図 ST3001 掘立柱建物跡

ST3004 [第290図 PL25・100]

位置：3区 V F07・08グリッド。

検出：V層上面で平面プランを検出。平面精査により重複関係を確認して掘り下げを行った。

重複関係：(旧) SB3006～3008、SK3149。(新) かく乱。

埋土：いずれも単層である。均一な埋土の状況等から自然堆積と考えられる。

規模：主軸方向 N75° W。長軸5.46m。短軸4.53m。深さ0.15～0.42m。

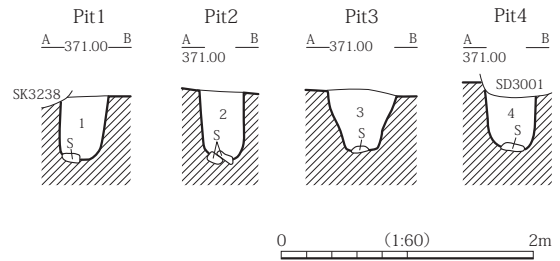
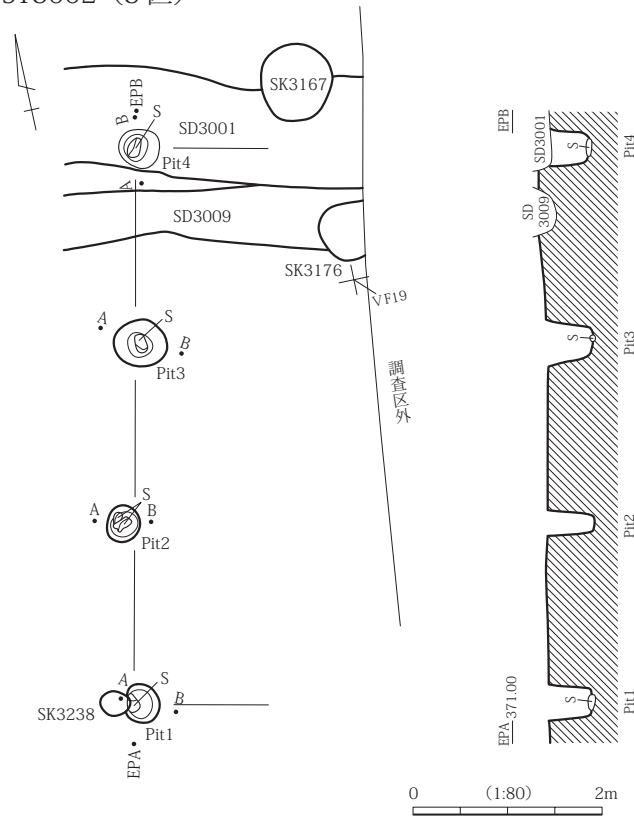
構造：南北1間、東西2間の建物と考えられる。柱間寸法は南北方向が4.46～4.53m、東西方向は2.16～3.24mである。平面形はピット1は楕円形、ピット2は隅丸長方形、ピット3～6は円形に近い形状を呈する。柱痕は認められなかったが、ピット2～6には、底面に礎板(石)が据えられる。

遺物出土状況：埋土からわずかに遺物が出土している。掲載した遺物は、ピット2からの出土である。

出土遺物：1は瀬戸美濃産陶器の小皿、底部破片である。

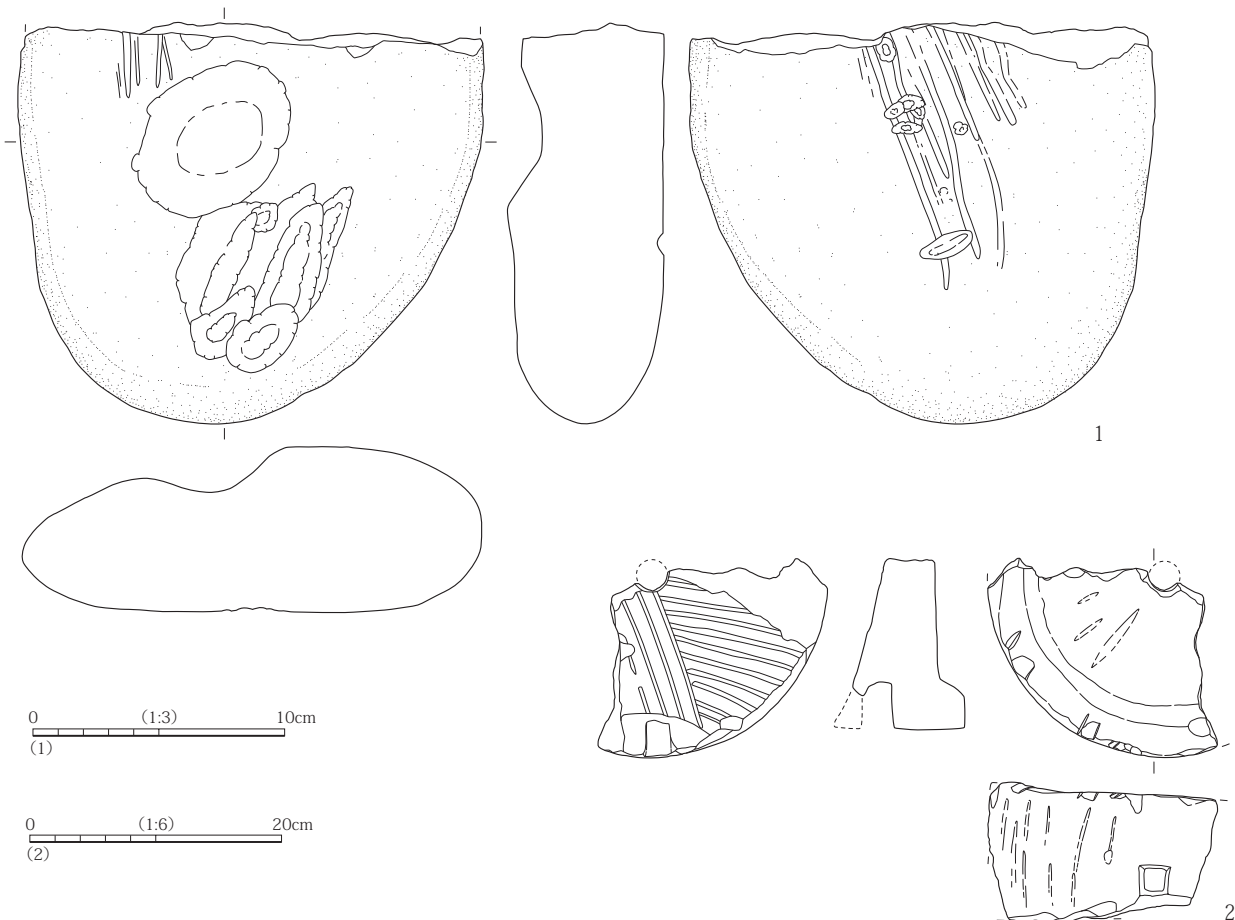
時期：詳細な時期は確定できないが、検出層位と埋土・出土遺物などから中世とした。

ST3002 (3区)



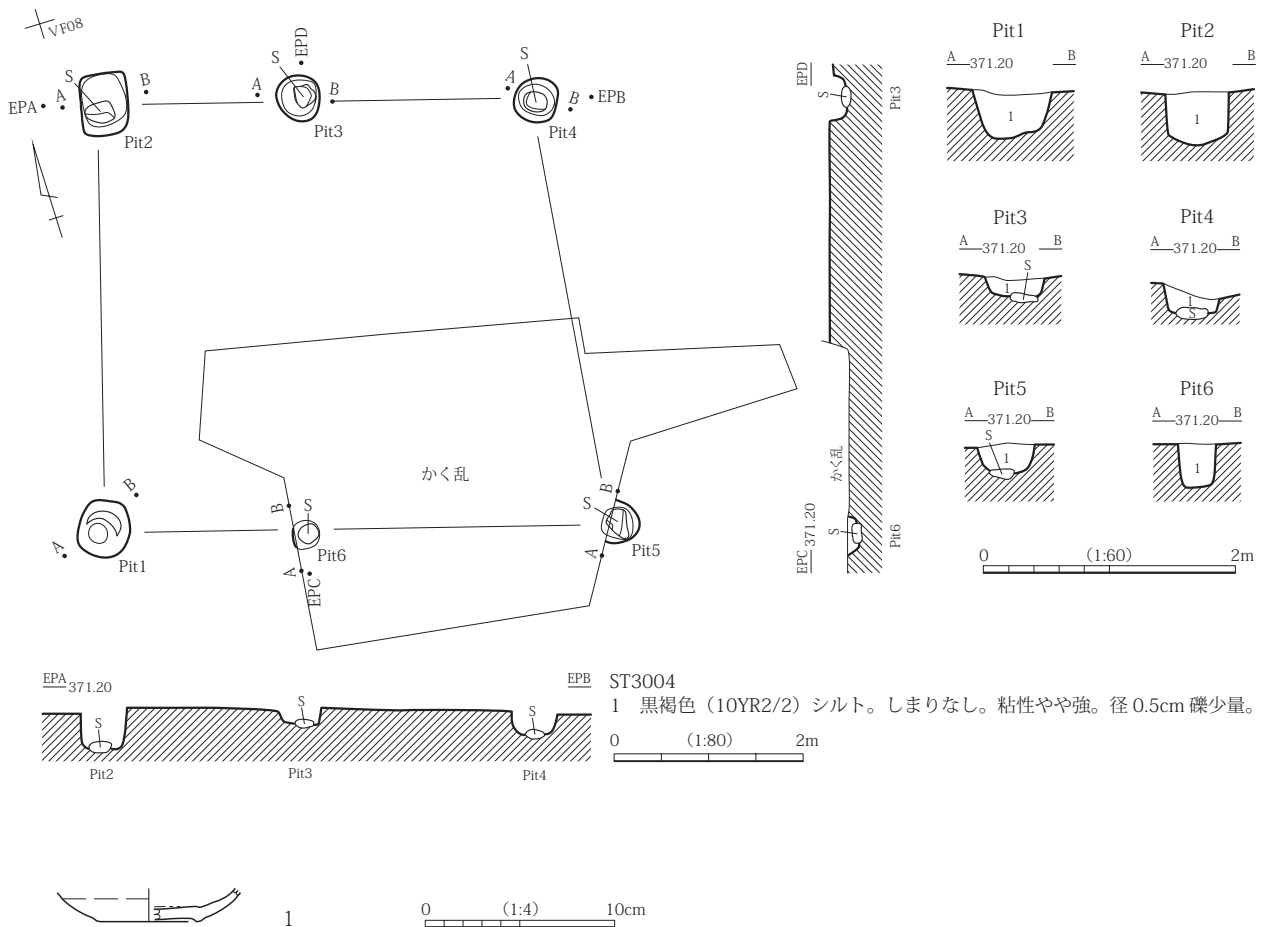
ST3002

- 1 黒褐色 (10YR3/1) 細砂。しまりなし。径0.5cm 褐色 (10YR4/6) 粗砂ブロック微量。径1cm 礫微量。
- 2 黒褐色 (10YR2/2) シルト。しまりなし。粘性やや強。径0.5cm 礫少量。
- 3 黒色 (10YR1.7/1) シルト。しまりなし。粘性やや強。径3cm 礫微量。径3cm 暗褐色 (10YR3/3) 粗砂ブロック混。径1cm 礫少量。0.5cm 礫少量。
- 4 黒褐色 (10YR3/1) シルト。しまりあり。粘性強。径0.5cm 礫少量。



第289図 ST3002 掘立柱建物跡

ST3004 (3区)



第290図 ST3004 掘立柱建物跡

ST3005 [第291図]

位置：3区 V K03・08グリッド。

検出：V層上面で平面プランを検出。平面精査により重複関係を確認して掘り下げを行った。

重複関係：(旧) SB3016、SM3001。(新) かく乱。

埋土：いずれも単層である。均一な埋土の状況等から自然堆積と考えられる。

規模：主軸方向 N 4° W。長軸9.08m。短軸 (2.87) m。深さ0.10~0.28m。

構造：東側が調査区外となり不明であるが、南北5間、東西1間以上の建物と考えられる。柱間寸法は南北方向が1.75~1.85m、東西方向は2.87mである。平面形はピット1は円形、ピット6・7は楕円形、ピット2・4は隅丸長方形、ピット3・5は隅丸方形に近い形状を呈する。柱痕は認められなかった。

遺物出土状況：埋土からわずかに土器片が出土している。

時期：詳細な時期は確定できないが、検出層位と埋土・出土遺物などから中世とした。

(3) 溝跡

4区を除くすべての地区から検出された。1・2区で確認された桐原要害にあたる館の堀跡(SD1)以外は、遺物の出土が少なく、遺構埋土や切り合い等からその時期を判断したため若干時期が異なる可能性が考えられる。

SD 1 [第292～295図 PL25・26・100・101]

位置：2区 III B03～05・08～10・18・23、III L01・02・06・07、III P03・08・13・18・23、III U03・08・13・18・22・23、VA02・03グリッド。

検出：VI層上面で平面プランを検出。平面精査や先行トレンチ等の土層断面の観察により重複関係を確認して掘り下げを行った。

重複関係：(旧) SB29・31・54・57・58・63・80・107、SD 5・20、SK91・130～133・137・144・315。(新) SK343、かく乱。

埋土：複層である。拳大以上の礫が多量に含まれる層が確認されており、部分的に人為的埋め戻しの可能性もあるが、堆積の状況などから自然堆積と考えられる。堀の埋土等からサンプルを採取(分析 H23No. 1～No.11)し、花粉・珪藻分析を行った。花粉・珪藻の測定値から、堀内はやや不安定ではあるがほとんど湿った状態であり、周辺地区ではソバなどの畑作の可能性があるなどの結果を得た(第4章第4節参照)。

規模：(北辺) 全長(26.92)m。幅2.72m。深さ0.98m。

(西辺) 全長(98.87)m。幅3.24m。深さ0.97m。

構造：北辺は東西方向へ直線的に伸び、両端は調査区外となる。西辺は南北方向へ直線的に伸び、両端は調査区外となる。断面形は逆台形を呈し、底面はほぼ平らである。SD1は桐原要害の堀跡と考えられ、西辺の中央やや南寄りには、地山を残して溝が断絶しており、館への出入り口となる土橋であったと考えられる。土橋から南側の西辺は地形が南に向かって傾斜しているが、底面のレベルはほぼ一定であるため溝の深さが浅くなっている。しかし、平面では検出できなかったものの、最南端の断面O-P部分では西側に盛り上がった土層が確認されており、土塁が存在した可能性も考えられる。また、西辺は北端が長野市教委平成22年調査の桐原宮北遺跡溝跡(SX02)(長野市教委2012)に続き、南端が市道長野中195号線となると考えられ、全長約121mと推定される。

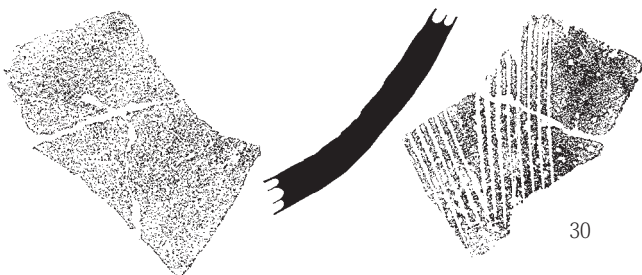
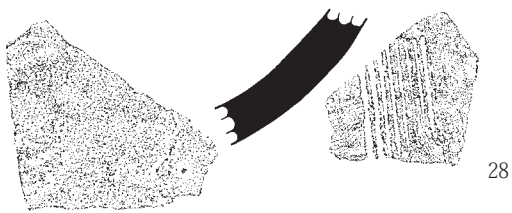
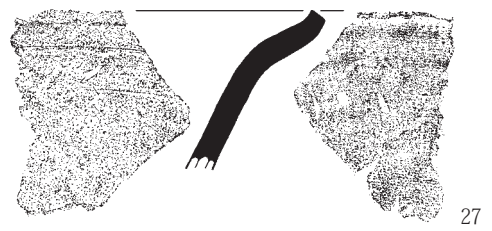
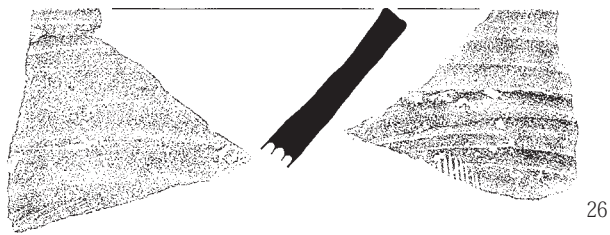
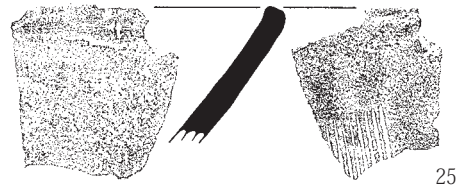
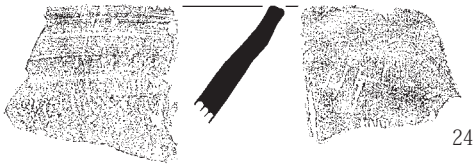
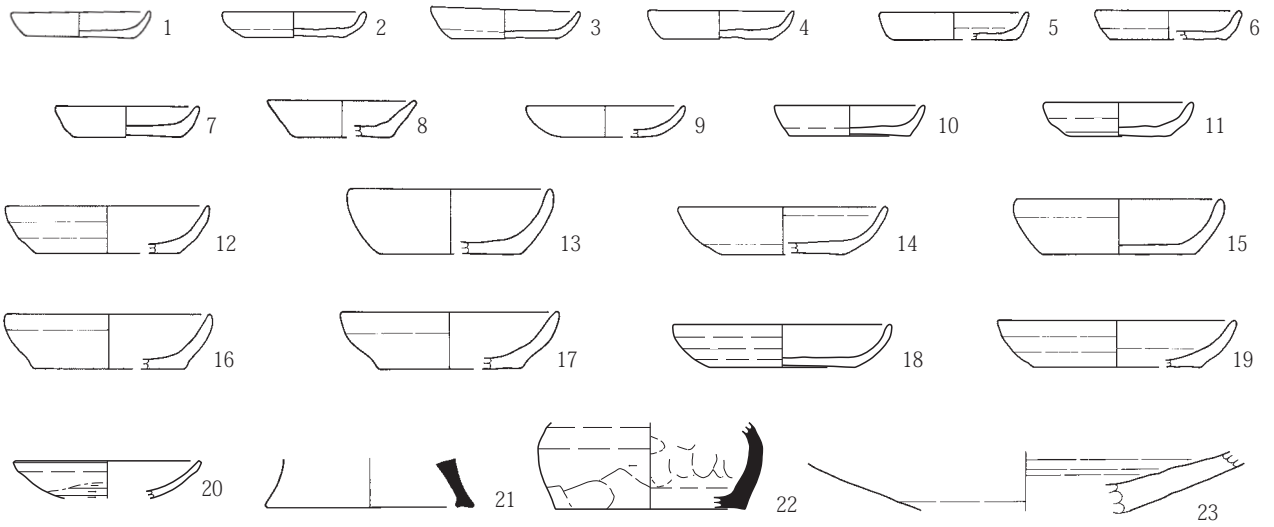
遺物出土状況：埋土から少量の遺物が出土している。掲載した遺物は、1～5・7～12・14～19・22・23・28・31～34・40・42・43・46・48～52は西辺、6・20・24～27・29・30・35・36・44は北辺の出土で、21は西辺と検出面、13は西辺と表土の接合資料である。その他は埋土中からの出土である。

出土遺物：1～19は土師質土器の皿。20は白磁の皿。21は器種不明の須恵器。脚部の破片か。22は須恵器の壺。23は土師器の盤。24～30は須恵器すり鉢の破片。27・29は同一個体と考えるが接合しない。31～35は須恵器の甕の破片。36は土師質土器の内耳鍋。内耳部は欠損している。1175は灰釉陶器の壺か。肩部の破片で耳状の突起の一部が残る。1176・1192・2251は中国産の青磁。1176・1192は蓮弁文碗。1177は陶器の皿か。37は羽口の轆破片で、表面には被熱に因るとされる変色と滓化が認められ、一部に鉄滓が付着している。

38は砂岩製の磨石か。磨面が明確でないが、形状から磨石とした。39は砂岩製の砥石。40は安山岩製の石鉢口縁付近の破片である。41は安山岩製の凹石。42は砂岩製の五輪塔の水輪か。楕円形を呈しており、水輪とすると不整形であり、転用の可能性が考えられる。

43は用途不明の鉄製品。湾曲した短い棒状を呈するが、両端を欠損。断面形は長径2mm程の不整形を呈

SD1



0 (1:4) 10cm
(1~23)

0 (1:3) 10cm
(24~31)

第293図 SD1 出土遺物 1

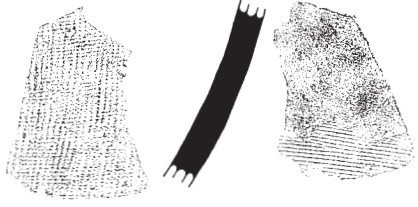
SD1



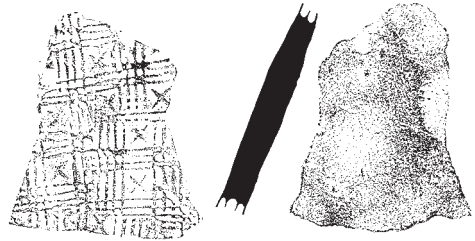
32



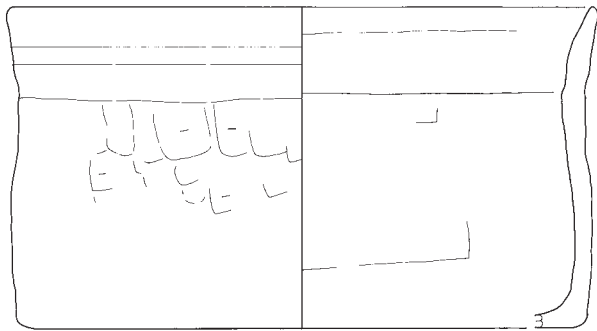
33



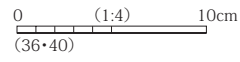
34



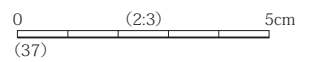
35



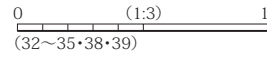
36



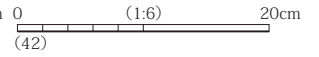
(1:4)
(36-40)



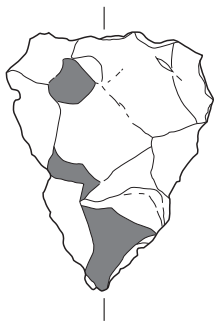
(2:3)
(37)



(1:3)
(32-35-38-39)



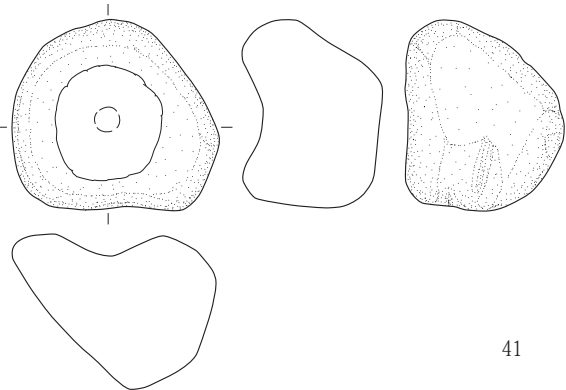
(1:6)
(42)



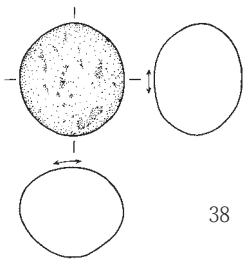
■ 滓化



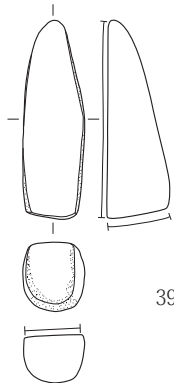
37



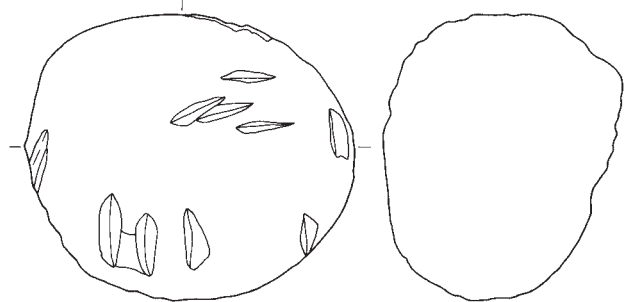
41



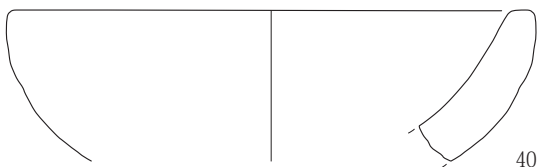
38



39



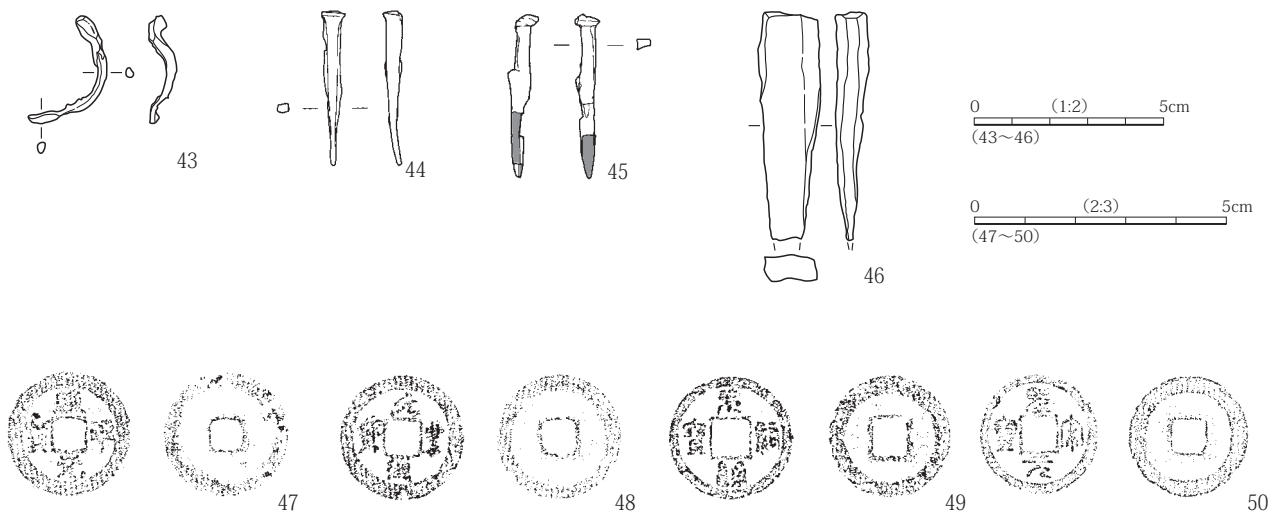
42



40

第294図 SD1 出土遺物 2

SD1



第295図 SD1 出土遺物3

する。44・45は鉄製の釘。44は、断面形は方形で、頭部をわずかに折り曲げているか。45は、基部下端を欠損している。断面形は方形で、頭部をわずかに折り曲げているか。基部下端付近に木質部が残存する。46は鉄製品の楔か。先端をわずかに欠損。断面は長方形。

47～50は渡来銭。47は咸平通寶（北宋998初鑄、真書）。48は元豊通寶（北宋1078初鑄、行書）、49は元祐通寶（北宋1086初鑄、篆書）、50は聖宋元寶（北宋1101初鑄、篆書）である。

時期：出土遺物から埋没開始の時期は15世紀前半ごろと考えられる。

(4) 墓跡

1・5区から検出された。土器などの遺物の出土がほとんどないが、遺構埋土や切り合い等から中世と判断した。

SM1 [第296図 PL26]

位置：1区 III F04グリッド。

検出：VI層上面で平面プランを検出。平面精査及び先行トレンチの土層断面により重複関係を確認して掘り下げを行った。

重複関係：(旧) SB16、SM2、SK54。

埋土：単層である。埋土はあまり残存していなかったが、人為的に埋め戻されていると考えられる。

規模：長軸1.25m。短軸0.66m。深さ0.10m。

構造：平面形は楕円形である。底面はほぼ平らで、立ち上がりは緩やかである。土壙墓と考えられる。

遺物出土状況：埋土からわずかに土器片が出土している。人骨はやや高齢の女性と鑑定された。頭を北に向けた伏臥屈葬で埋葬されている。なお、出土した人骨の一部3点（分析 H24No.4～6）で炭素年代測定を行った。測定値は紀元1410～1610年で、室町時代から江戸時代初頭に相当する（第4章第2節参照）。

時期：検出層位と埋土・出土遺物などから中世とした。

SM2 [第296図 PL26]

位置：1区 III F04グリッド。

検出：VI層上面で平面プランを検出。平面精査及び先行トレンチの土層断面により重複関係を確認して掘り下げを行った。

重複関係：(旧) SB16、(新) SM1。

埋土：単層である。埋土はあまり残存していなかったが、人為的に埋め戻されていると考えられる。

規模：長軸1.20m。短軸(0.76)m。深さ0.15m。

構造：平面形は楕円形である。底面はほぼ平らで、立ち上がりはほぼ垂直である。土壙墓と考えられる。

遺物出土状況：埋土からわずかに遺物が出土している。人骨は熟年の女性と鑑定された。頭を北に向けた仰臥屈葬で埋葬されている。右半身（遺構西側）は、SM1によって壊され失われている。なお、出土した人骨の一部3点（分析 H24No.7～9）で炭素年代測定を行った。測定値は紀元1290～1640年で、鎌倉時代から江戸時代初頭に相当する（第4章第2節参照）。

時期：検出層位と埋土・切り合いなどから中世とした。

SM3 [第296図 PL27]

位置：1区 III F03グリッド。

検出：VI層上面で平面プランを検出。平面精査及び先行トレンチの土層断面により重複関係を確認して掘り下げを行った。

重複関係：(新) SK52。

埋土：単層である。埋土はあまり残存していなかったが、人為的に埋め戻されていると考えられる。

規模：長軸(0.63)m。短軸0.34m。深さ0.10m。

構造：平面形は楕円形である。底面はほぼ平らで、立ち上がりは垂直に近い。土坑墓と考えられる。

遺物出土状況：人骨は9歳前後の子供で、性別は不明と鑑定された。頭を北にした屈葬で埋葬されている。

時期：検出層位と埋土などから中世とした。

SM4 [第296図 PL27]

位置：1区 III B06グリッド。

検出：VI層上面で平面プランを検出。平面精査よりプランを確認して掘り下げを行った。

重複関係：切り合う遺構は無い。

埋土：単層である。埋土はあまり残存していなかったが、人為的に埋め戻されていると考えられる。

規模：長軸1.12m。短軸0.70m。深さ0.16m。

構造：平面形は長方形である。底面はほぼ平らで、立ち上がりはやや外傾する。土壙墓と考えられる。

遺物出土状況：人骨は成人男性の可能性が高いと鑑定された。頭を北に向けた屈葬で埋葬されている。なお、出土した人骨の一部3点（分析 H24No.13～15）で炭素年代測定を行った。測定値は紀元1300～1430年で、鎌倉時代から室町時代に相当する（第4章第2節参照）。

時期：検出層位と埋土などから中世とした。

SM5001 [第296図 PL27]

位置：5区 II G21グリッド。

検出：V層上面で平面プランを検出。平面精査及び先行トレンチの土層断面により重複関係を確認して掘り下げを行った。

重複関係：(旧) NR5001・5002。(新) かく乱。

埋土：単層である。木棺の腐食により、上層が自然に土坑内へ堆積したと考えられる。

規模：長軸(1.12)m。短軸(0.73)m。深さ0.19m。

構造：平面形は長方形である。底面は平らで、立ち上がりは垂直に近い。底面に板材が薄く残存していた。残存する板材と骨の状況などから約90×50cmの長方形木棺が埋葬されていたと考えられる。

遺物出土状況：人骨は壮年の女性である可能性が高いと鑑定された。頭を北東に向けた屈葬で埋葬されている。胸の上部にあたる部分にシカの角で作られたと考えられる4×4cm程の塊が出土している。なお、角製品と考えられる遺物は腐食が進んでおり、形状をとどめたまま取り上げることができなかったため、実測図の掲載はない。

時期：検出層位と埋土・切り合いなどから中世とした。

SM5002 [第296図 PL116]

位置：5区 II L13グリッド。

検出：SB5006調査時に、人骨が出土したため墓跡の可能性を考え検出を行ったが、プランは確認できなかった。骨の出土範囲を記録し遺物を取り上げた。

重複関係：(旧) SB5005・5006。(新) かく乱。

埋土：確認できなかった。

規模：不明。

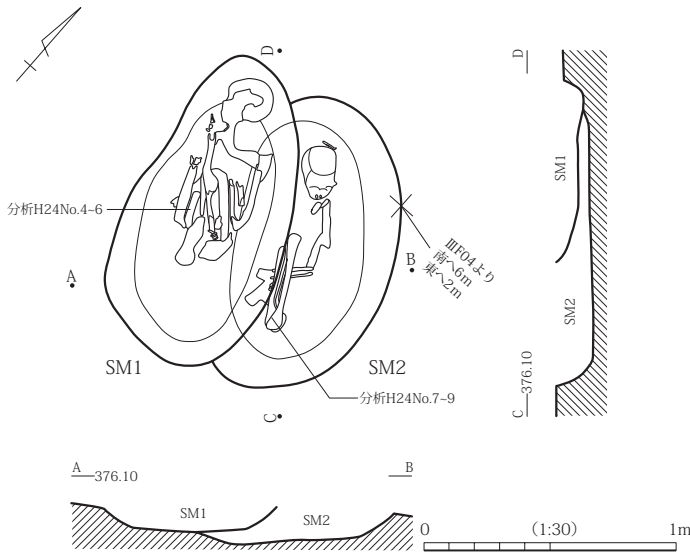
構造：墓の形状等は不明である。骨の出土範囲は南北約50cm、東西約60cmである。

遺物出土状況：人骨は成人女性の可能性が高いと鑑定された。残存する部分から屈葬で埋葬されていたと考えられる。骨と一緒に小刀(1)が出土している。

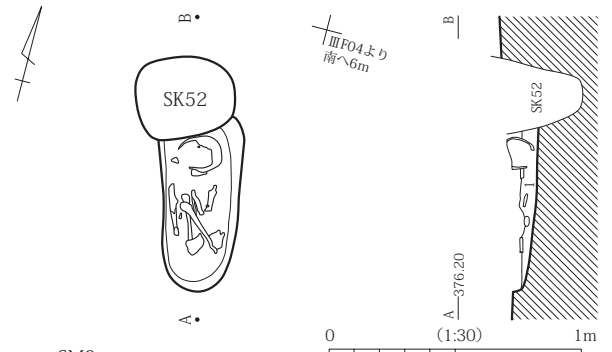
出土遺物：1は鉄製の小刀である。

時期：検出層位と切り合いなどから中世とした。

SM1・2 (1区)

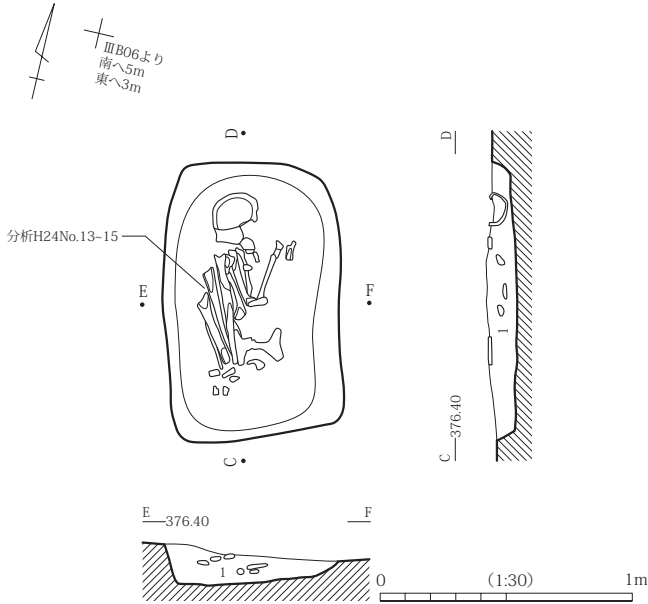


SM3 (1区)



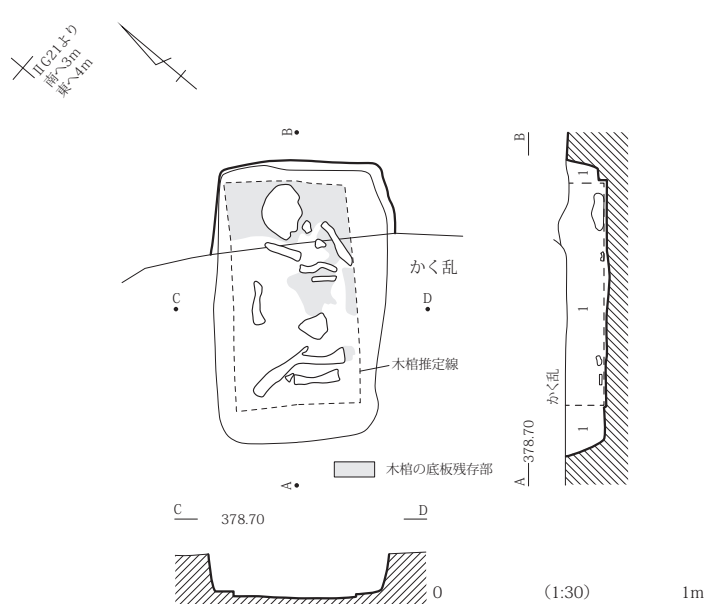
SM3
1 黒褐色 (10YR2/2) シルト。しまりあり。粘性弱。径0.5cm
褐色 (10YR4/4) シルトブロック・径0.5cm 礫少量。

SM4 (1区)



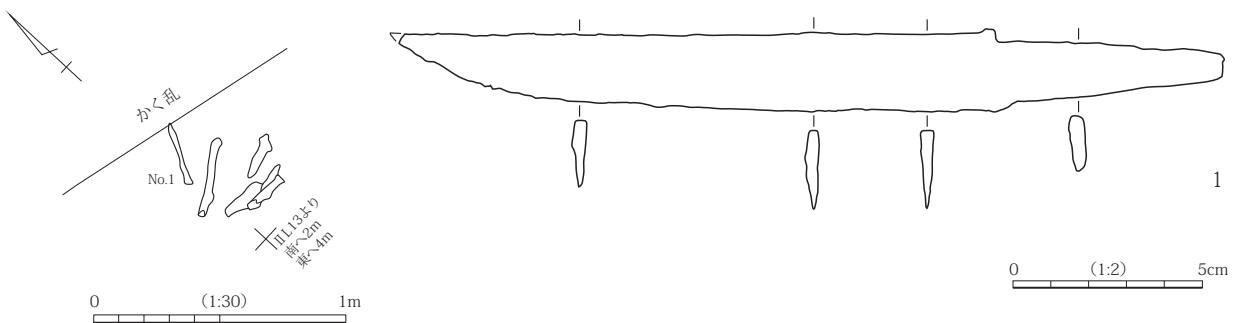
SM4
1 黒褐色 (10YR2/3) シルト。しまりなし。粘性弱。
径2cm 黒褐色 (10YR2/2) シルトブロック・径
1cm 礫微量。径4cm 褐色 (10YR4/4) 粗砂ブロッ
ク少量。

SM5001 (5区)



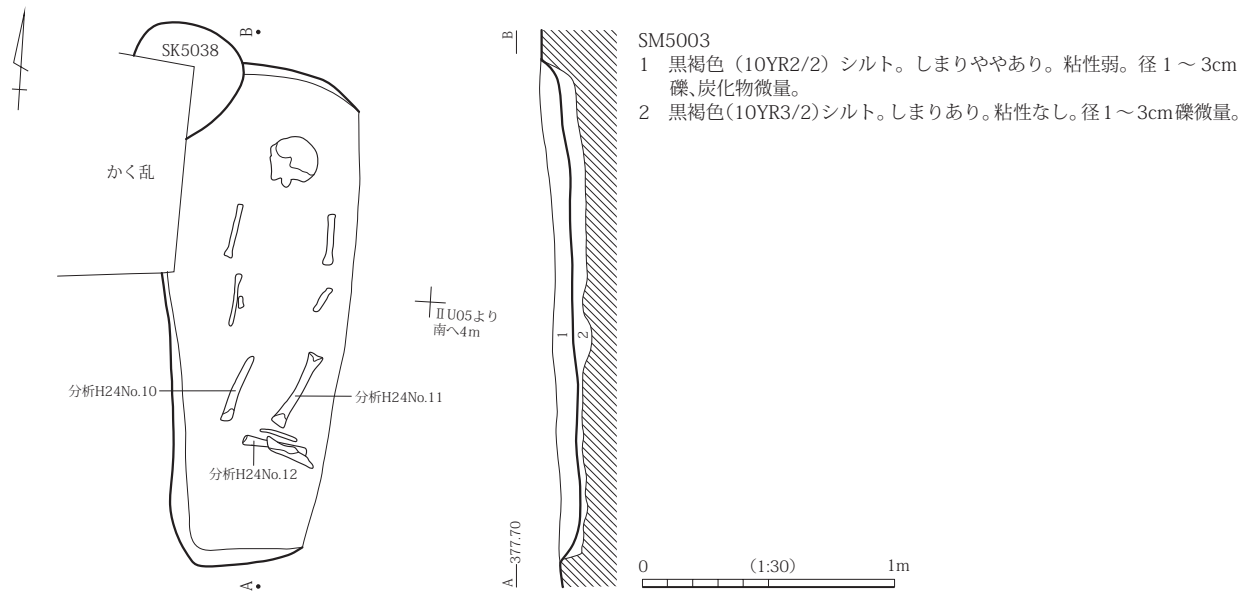
SM5001
1 灰黄褐色 (10YR4/2) シルト。しまりあり。
粘性やや強。酸化。小礫少量。

SM5002 (5区)



第296図 SM1~4・5001・5002 墓跡

SM5003 (5区)



第297図 SM5003 墓跡

SM5003 [第297図 PL27]

位置：5区 II U 4グリッド。

検出：SB5012調査時に平面プランを検出。平面精査及び先行トレンチの土層断面により重複関係を確認して掘り下げを行った。

重複関係：(旧) SB5012、SK5039。(新) SK5038。

埋土：単層である。埋土はあまり残存していなかったが粒度等の状況から、上層が自然堆積、下層が人為的に埋め戻されている部分と考えた。

規模：長軸2.00m。短軸0.75m。深さ0.09m。

構造：一部がかく乱や土坑で壊されているが、平面形は長方形と考えられる。底面は平らで、立ち上がりは緩やかである。板材は残存していないが、浅い掘方が全体的に認められるため、木棺に埋葬されていた可能性もある。

遺物出土状況：人骨は壮年男性の可能性が高いと鑑定された。頭を北にして下肢が膝を直角に曲げて右に倒した屈葬で埋葬されている。なお、出土した人骨の一部3点(分析 H24No.10~12)で炭素年代測定を行った。測定値は紀元1030~1260年で、平安時代から鎌倉時代に相当する(第4章第2節参照)。

時期：検出層位と埋土・切り合いなどから中世とした。

(5) 土坑

すべての地区で検出されたが、近世以降と考えられる遺構は、2・3区の境を東西に横切る市道長野中195号線や5・6区の境を横切る相ノ木通り（市道長野北583号線）の周辺に集中する傾向が認められる。ここでは特に共伴遺物が明確なものだけを紹介する。

ア) 中世

SK101 [第298図 PL101]

位置：2区 Ⅲ P05・Ⅲ Q01グリッド。

検出：Ⅵ層上面で平面プランを検出。平面精査により重複関係を確認して掘り下げを行った。地表下1.2m程までは人力で掘削し、下層は重機による断ち割りをを行い、底面を確認した。

重複関係：(旧) SB45・47。(新) かく乱。

埋土：複層である。埋土の状況などから、8・9層は使用時あるいはその直後に自然堆積した層、1～7層は人為的に埋戻した層と考えられる。

規模：長軸2.39m。短軸2.15m。深さ2.46m。

構造：平面形は円形である。底面は平坦で立ち上がりはやや急である。また、南側上半はゆるやかに内湾して立ち上がる。井戸の可能性が考えられる。

遺物出土状況：埋土中から少量の遺物が出土している。掲載した遺物は、6は1・2層、8は6層、その他は埋土中からの出土である。

出土遺物：1～6は土師質土器の皿。7は須恵器の鉢。外面に円形の印刻が認められる。8は須恵器のすり鉢。

時期：詳細な時期は確定できないが、出土遺物から中世とした。SD 1(堀跡)と同時期とも考えられる。

SK327 [第299図 PL117]

位置：2区 Ⅲ U22グリッド。

検出：Ⅵ層上面で平面プランを検出。平面精査によりプランを確認して掘り下げを行った。

重複関係：切り合う遺構はない。

埋土：複層である。埋土の状況などから、人為的に埋戻されたとも考えられる。

規模：長軸0.64m。短軸0.60m。深さ0.15m。

構造：平面形は円形である。底面は平坦で立ち上がりは垂直に近い。

遺物出土状況：底面付近から銭貨(1～3)と獣骨(シカの頭骨片)が重なって出土している。埋納された可能性が考えられる。

出土遺物：1・2は熙寧元寶(北宋 1068初鑄、真書)。3は洪武通寶(明1368初鑄)で、背面下に「福」。

時期：詳細な時期は確定できないが、出土遺物から中世とした。

SK3012 [第300図 PL102]

位置：3区 V F07グリッド。

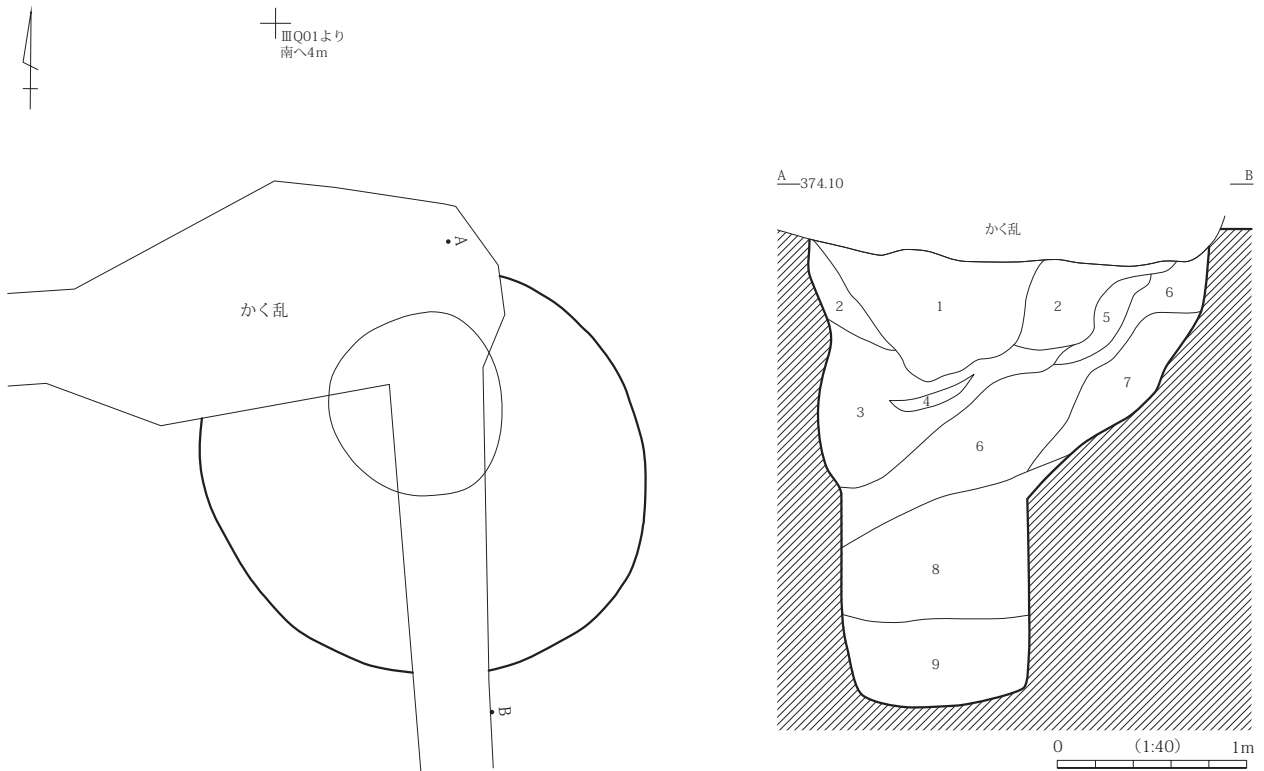
検出：Ⅴ層上面で平面プランを検出。平面精査により重複関係を確認して掘り下げを行った。

重複関係：(旧) SB3001、SK3717。

埋土：複層である。埋土の状況などから、人為的に埋戻されたとも考えられる。

規模：長軸1.05m。短軸1.00m。深さ0.71m。

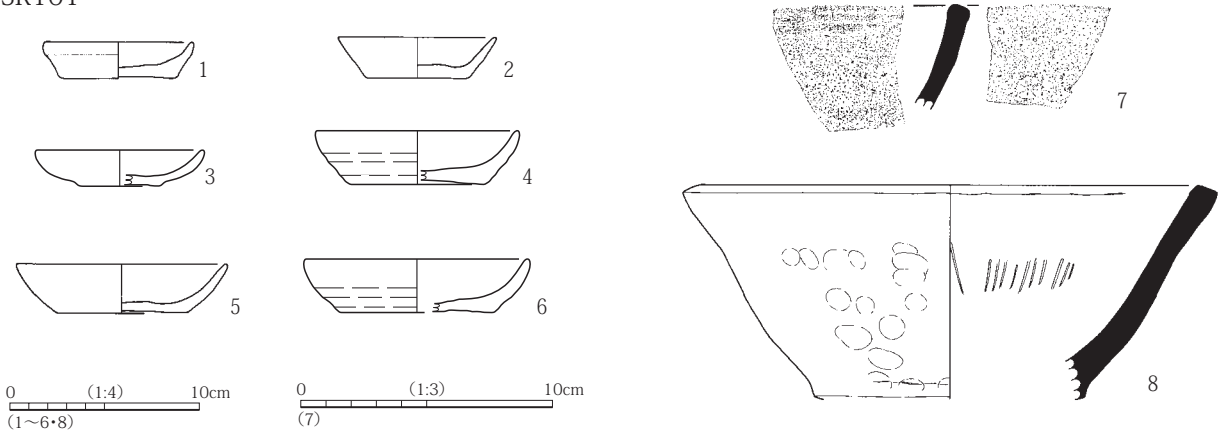
SK101 (2区)



SK101

- 1 黒褐色 (10YR3/2) シルト。しまりややあり。粘性弱。径 1 ~ 3cm 礫・径 25cm 礫混。
- 2 暗褐色 (10YR3/3) シルト。しまりあり。粘性弱。径 1 ~ 3cm 礫・黄褐色シルトブロック混。
- 3 黒褐色 (10YR2/2) しまりややあり。粘性弱。径 1 ~ 3cm 礫・黄褐色シルトブロック混。
- 4 黒色 (10YR3/2) 粘性弱。灰・炭化物ブロック混。
- 5 灰黄褐色 (10YR4/2) シルト。しまりなし。粘性弱。
- 6 黒褐色 (10YR2/2) シルト。しまりあり。粘性弱。礫・黄褐色シルトブロック微量。
- 7 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 細砂。
- 8 黒色 (10YR2/1) 粘土。しまりあり。粘性弱。
- 9 黒褐色 (10YR3/2) シルト。しまりややあり。粘性弱。径 5 ~ 10cm 礫混。

SK101



第298図 SK101 土坑

構造：平面形は円形である。底面は平坦で立ち上がりはほぼ垂直である。

遺物出土状況：埋土中から土器片が少量出土している。掲載した遺物も埋土中からの出土である。

出土遺物：1・2は土師質土器の皿。3は土師質土器の内耳鍋。

時期：詳細な時期は確定できないが、出土遺物から中世とした。

SK3046 [第301図 PL102・117]

位置：3区 V F06グリッド。

検出：V層上面で平面プランを検出。平面精査により重複関係を確認して掘り下げを行った。

重複関係：(旧) SK3158。

埋土：単層であり自然堆積と考えられる。

規模：長軸0.55m。短軸0.52m。深さ0.48m。

構造：平面形は円形である。底面は平坦で立ち上がりは垂直に近い。

遺物出土状況：埋土中から遺物がわずかに出土している。掲載した遺物も埋土中からの出土である。

出土遺物：1は白磁の皿か。2は皇宋通寶（北宋1039初鑄、篆書）。

時期：詳細な時期は確定できないが、出土遺物などから中世とした。

SK3112 [第302図 PL113]

位置：3区 V F08・09グリッド。

検出：V層上面で平面プランを検出。平面精査によりプランを確認して掘り下げを行った。

重複関係：切り合う遺構は無い。

埋土：複層である。埋土の状況などから自然堆積と考えられる。

規模：長軸1.95m。短軸1.40m。深さ約0.45m。

構造：平面形は不整形である。底面にはわずかに凹凸があり、立ち上がりはやや外傾する。西側は浅い段状となる。

遺物出土状況：埋土中から遺物がわずかに出土している。掲載した遺物も埋土中からの出土である。

出土遺物：1は頁岩製の基石か。表面の大部分を欠損しているが残存部分は研磨されている。

時期：詳細な時期は確定できないが、検出層位と埋土・出土遺物などから中世とした。

SK3216 [第303図 PL27・113]

位置：3区 V F17グリッド。

検出：V層上面で平面プランを検出。平面精査により重複関係を確認して掘り下げを行った。

重複関係：(旧) SB3010。

埋土：単層である。遺物の出土状態などから人為的に埋め戻されたと考えられる。

規模：長軸0.54m。短軸0.40m。深さ0.30m。

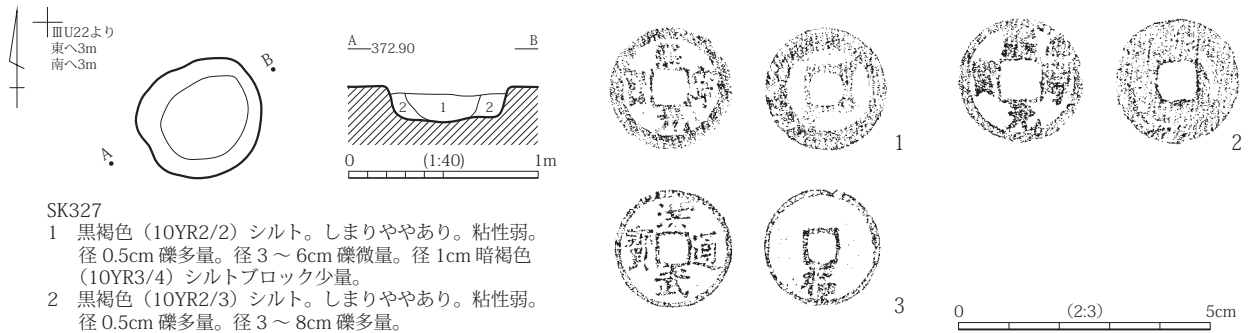
構造：平面形は楕円形である。底面は平坦で立ち上がりは垂直に近い。

遺物出土状況：埋土中から土器片がわずかに出土している。また、石臼の下臼（1）が横位の状態で出土している。

出土遺物：1は安山岩製の石臼の下臼で、ほぼ完形。磨り目は摩耗が激しい。軸孔は貫通している。欠損箇所以外は機能面である。

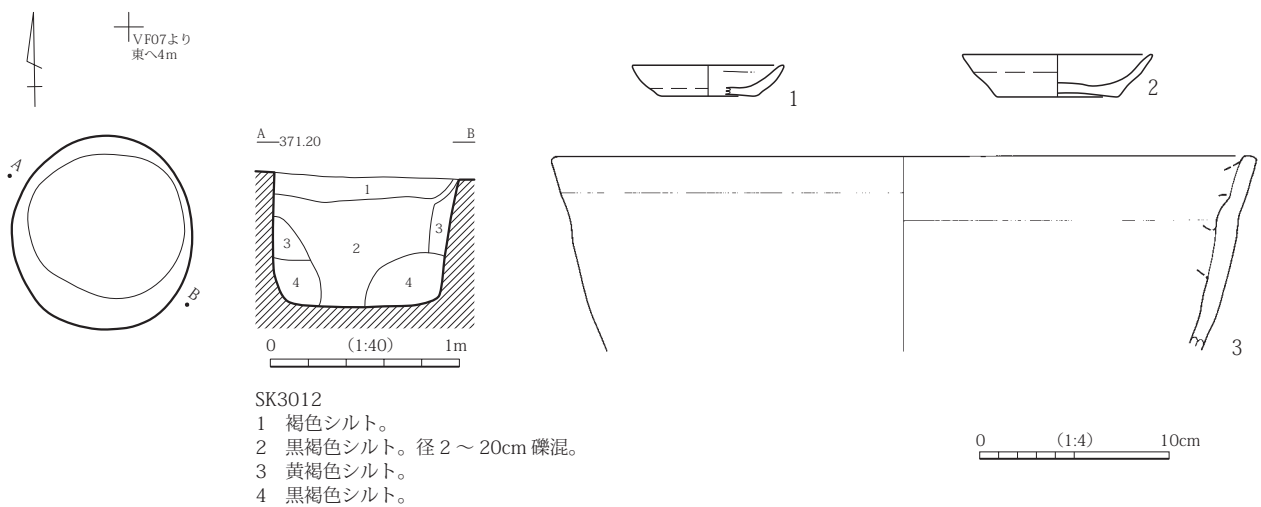
時期：詳細な時期は確定できないが、検出層位と埋土・出土遺物などから中世とした。

SK327 (2区)



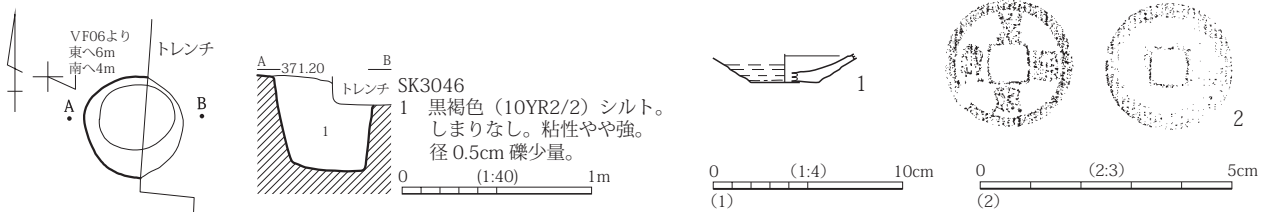
第299図 SK327 土坑

SK3012 (3区)



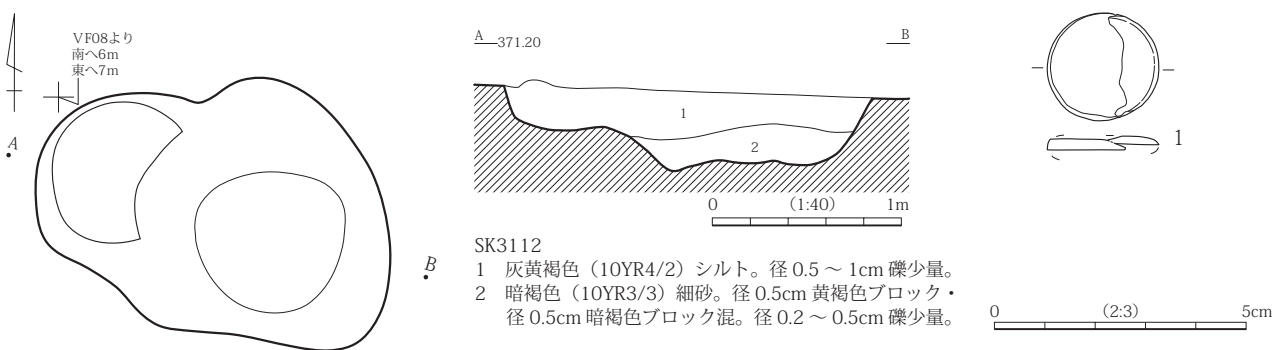
第300図 SK3012 土坑

SK3046 (3区)



第301図 SK3046 土坑

SK3112 (3区)



第302図 SK3112 土坑

SK3529 [第304図 PL102・113]

位置：3区 V A24グリッド。

検出：V層上面で平面プランを検出。平面精査により重複関係を確認して掘り下げを行った。

重複関係：(旧) SB3023。

埋土：複層である。埋土の状況などから自然堆積と考えられる。

規模：長軸1.71m。短軸(1.67)m。深さ0.67m。

構造：平面形は円形である。底面は平坦で立ち上がりはゆるやかである。

遺物出土状況：埋土中から遺物が少量出土している。掲載した遺物も埋土中からの出土である。

出土遺物：1は土師質土器の皿。2は須恵器の小形の壺。3は頁岩製の硯の破片である。

時期：詳細な時期は確定できないが、検出層位と埋土・出土遺物などから中世とした。

SK3546 [第305図 PL102]

位置：3区 V A22グリッド。

検出：V層上面で平面プランを検出。平面精査により重複関係を確認して掘り下げを行った。

重複関係：(新) SK3369。

埋土：複層である。埋土の状況などから自然堆積と考えられる。

規模：長軸(1.89)m。短軸1.39m。深さ0.57m。

構造：平面形は楕円形である。底部はU字状となり、立ち上がりは外傾する。北側は浅い段状となる。

遺物出土状況：埋土中から遺物が少量出土している。掲載した遺物も埋土からの出土である。

出土遺物：1・2は土師質土器の皿。

時期：詳細な時期は確定できないが、検出層位と埋土・出土遺物などから中世とした。

SK5033 [第306図 PL27・28・113・117]

位置：5区 II P20・25グリッド。

検出：V層上面で平面プランを検出。平面精査によりプランを確認して掘り下げを行った。

重複関係：切り合う遺構はない。

埋土：複層である。7層に区分できる。最下層は掘方埋土。下部4～6層は自然埋没、1～3層は自然埋没であるが、一度に堆積した可能性がある。

規模：長軸2.42m。短軸2.35m。深さ0.60m。

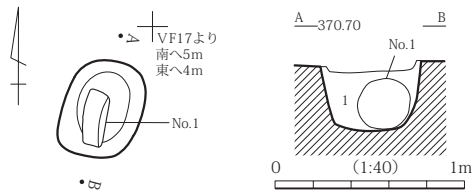
構造：平面形は隅丸方形である。底面は平坦で立ち上がりはわずかに外傾する。

遺物出土状況：埋土中から遺物が少量出土している。掲載した遺物は、1は1層、その他は埋土からの出土である。なお、3層から出土した炭化材の一部1点(分析 H24No.3)で炭素年代測定を行った。測定値は紀元1300～1410年で、鎌倉時代から室町時代に相当する(第4章第2節参照)。

出土遺物：1は在地産の須恵器すり鉢。2は凝灰岩製の砥石。欠損している。3は鉄製の小刀で、切っ先をわずかに欠損。目釘が残存。マチ付近から目釘あたりまで木質が若干付着する。4は用途不明の銅製品。筒状を呈するが、両端を欠損する。表面の一部に金象嵌と思われる線画が施されるが大半が剥離。わずかに金色付着物や線彫りの痕跡が残存する。5は咸平元寶(北宋998初鑄、真書)である。

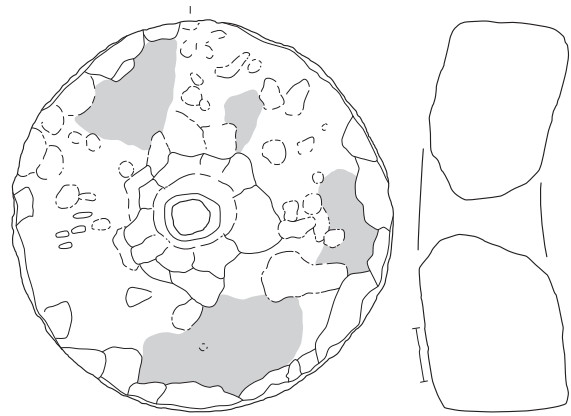
時期：詳細な時期は確定できないが、検出層位と埋土・出土遺物などから中世とした。

SK3216 (3区)

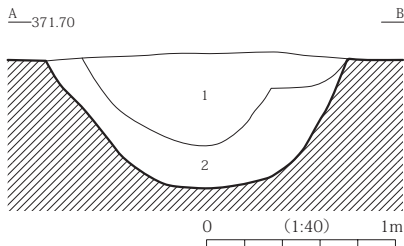
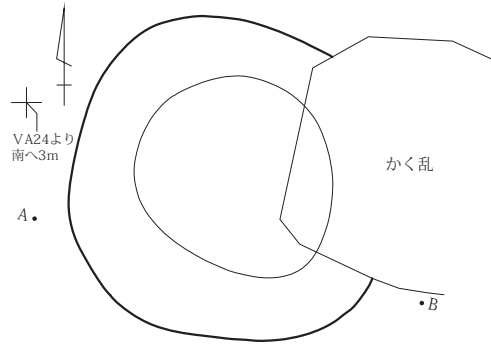


SK3216
1 黒褐色 (10YR2/2) シルト。しまりなし。粘性やや強。径0.5cm 礫少量。

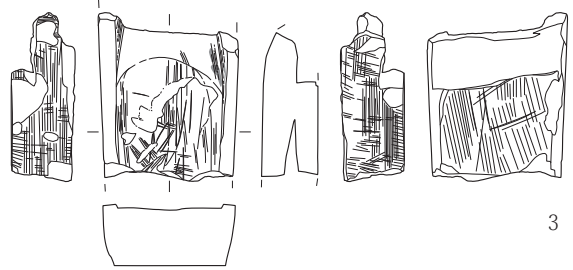
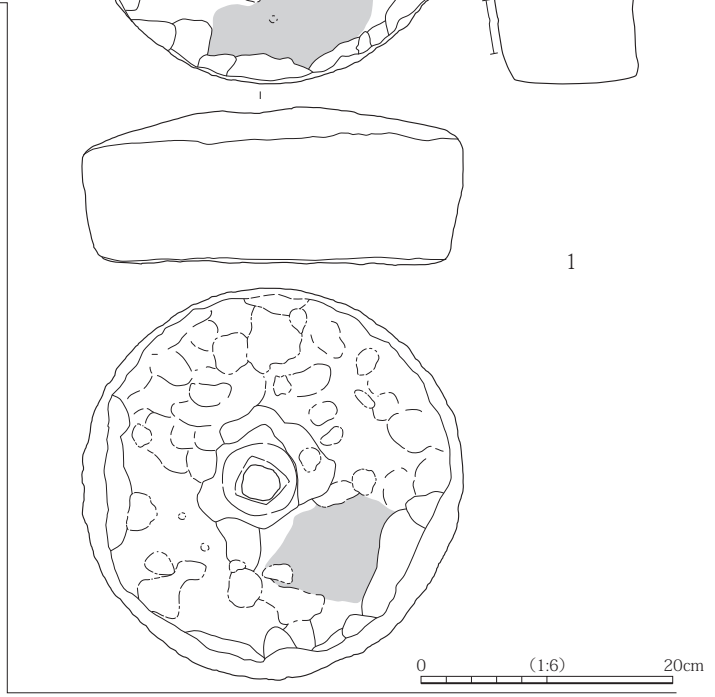
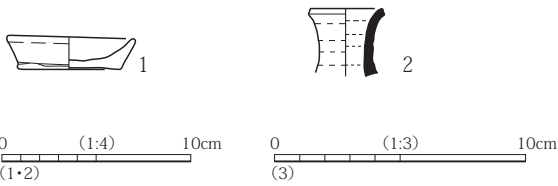
第303図 SK3216 土坑



SK3529 (3区)

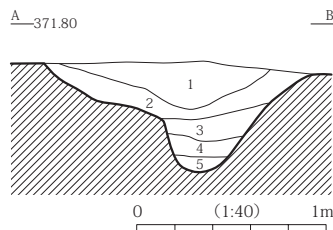
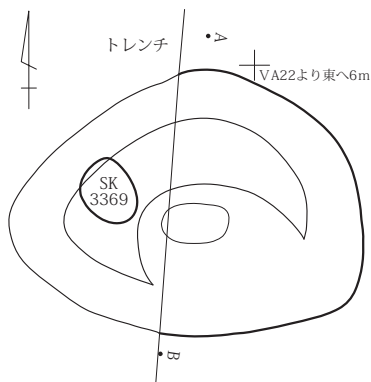


SK3529
1 黒褐色 (10YR2/3) シルト。しまりなし。粘性弱。
径2cm 暗褐色 (10YR3/4) 粗砂ブロック・径10cm 礫混。
2 黒褐色 (10YR2/2) シルト。しまりなし。粘性弱。
径4cm 暗褐色 (10YR3/4) 粗砂ブロック・径5cm 礫混。

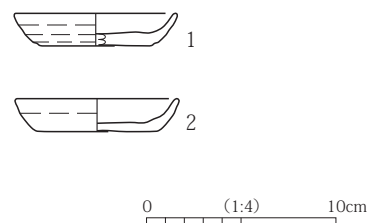


第304図 SK3529 土坑

SK3546 (3区)

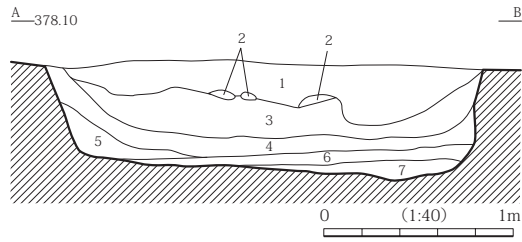
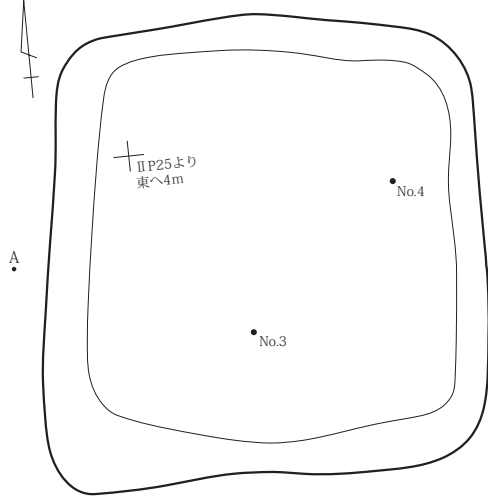


SK3546
1 黒褐色 (10YR3/1) 細砂。しまりなし。
2 暗褐色 (10YR3/3) シルト。しまりなし。粘性やや強。
3 黒褐色 (10YR3/2) シルト。しまりなし。粘性やや強。
4 にぶい黄褐色 (10YR4/3) シルト。しまりなし。粘性やや強。礫少量。
5 褐色 (10YR4/4) シルト。しまりなし。粘性やや強。にぶい黄褐色 (10YR5/4) シルトブロック混。



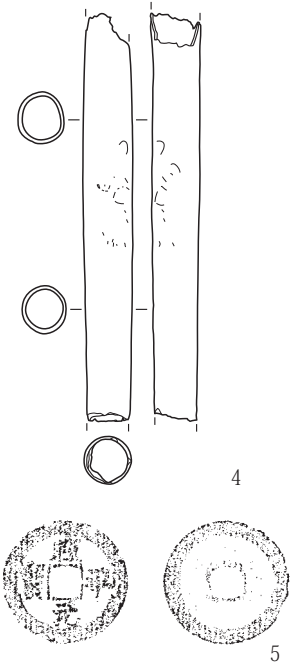
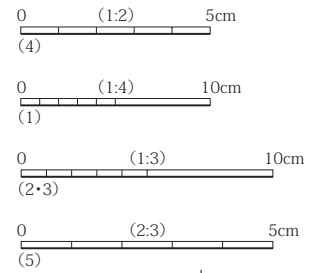
第305図 SK3546 土坑

SK5033 (5区)



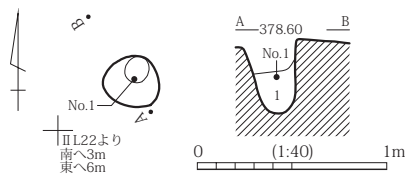
SK5033

- 1 黒褐色 (10YR2/2) シルト。しまりあり。粘性やや強。径1~3cm 礫少量。
- 2 暗褐色 (10YR3/3) シルト。固くしまっている。粘性弱。
- 3 黒褐色 (10YR3/1) しまりあり。粘性弱。径1~3cm 礫混。
- 4 暗褐色 (10YR3/3) シルト。しまりあり。粘性弱。径1cm 礫微量。
- 5 黒褐色 (10YR3/1) シルト。しまりあり。粘性弱。
- 6 黒褐色 (10YR3/1) シルト。しまりあり。粘性弱。径1~3cm 礫少量。暗褐色 (10YR3/3) シルト多量。
- 7 暗褐色 (10YR3/3) シルト。しまりあり。粘性弱。径1~3cm 礫・黒褐色 (10YR3/1) シルト多量。



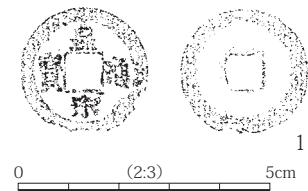
第306図 SK5033 土坑

SK5064 (5区)



SK5064

- 1 黒色 (10YR2/1) シルト。しまりあり。粘性弱。小礫少量。



第307図 SK5064 土坑

SK5064 [第307図 PL117]

位置：5区 II L22グリッド。

検出：V層上面で平面プランを検出。平面精査によりプランを確認して掘り下げを行った。

重複関係：切り合う遺構はない。

埋土：単層であり自然堆積と考えられる。

規模：長軸0.29m。短軸0.27m。深さ0.37m。

構造：平面形は円形、断面形はU字状となる。

遺物出土状況：埋土中からわずかに遺物が出土している。掲載した遺物も埋土中からの出土である。

出土遺物：1は皇宋通寶（北宋1039初鑄、真書）。

時期：詳細な時期は確定できないが、検出層位と埋土・出土遺物などから中世とした。

イ) 近世以降

SK68 [第308図 PL102]

位置：2区 III P17・18グリッド。

検出：VI層上面で平面プランを検出。平面精査によりプランを確認して掘り下げを行った。

重複関係：切り合う遺構は無い。

埋土：複層である。埋土の状態等から人為的に埋め戻された可能性が考えられる。

規模：長軸（5.16）m。短軸（1.50）m。深さ（0.56）m。

構造：西側が調査区外となるが、平面形は隅丸長方形と考えられる。底面はほぼ平らで、立ち上がりは垂直に近い。

遺物出土状況：埋土中からわずかに遺物が出土している。掲載した遺物も埋土中からの出土である。

出土遺物：1は土師質土器の内耳鍋。器高が5cm程度と低い、いわゆる「ほうろく」である。内耳部分は欠損する。

時期：詳細な時期は確定できないが、検出層位と埋土・出土遺物などから近世とした。

SK292 [第309図 PL117]

位置：2区 III U14グリッド。

検出：VI層上面で平面プランを検出。平面精査により重複関係を確認した。検出時にはほぼ底面となり、埋土は残存しなかったが、しまりの違いなどにより範囲を確定した。

重複関係：(新) かく乱。

埋土：確認できなかった。

規模：長軸（0.38）m。短軸（0.33）m。

構造：底面の形状から、平面形は円形と推定される。底面から出土した銭貨の下面には、木製品の一部(曲げ物の底板か)が残存しており、墓(蔵骨器の埋納坑)の可能性が考えられる。

遺物出土状況：底面から銭貨（1～6）が重なって出土しており、その下面には板材が残存していた。なお、底面に残存していた木製の板材の一部(分析 H31No.8)で炭素年代測定及び樹種同定を行った。測定値は紀元1805～1896年で、江戸時代から明治時代に相当する。樹種はスギで、桶や槽に多く利用される針葉樹の木材であった(第4章第2・3節参照)。

出土遺物：1～6は寛永通寶。いずれも「寛」や「寶」の字体から新寛永(日本1697～1747、1767～1781)と考えられる。

時期：詳細な時期は確定できないが、出土遺物から近世とした。

SK296 [第310図 PL118]

位置：2区 III U18グリッド。

検出：VI層上面で平面プランを検出。平面精査により重複関係を確認した。検出時にはほぼ底面となり、埋土は残存しなかったが、しまりの違いなどにより範囲を確定した。

重複関係：(旧) SB102。

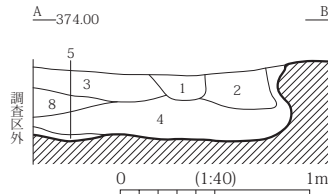
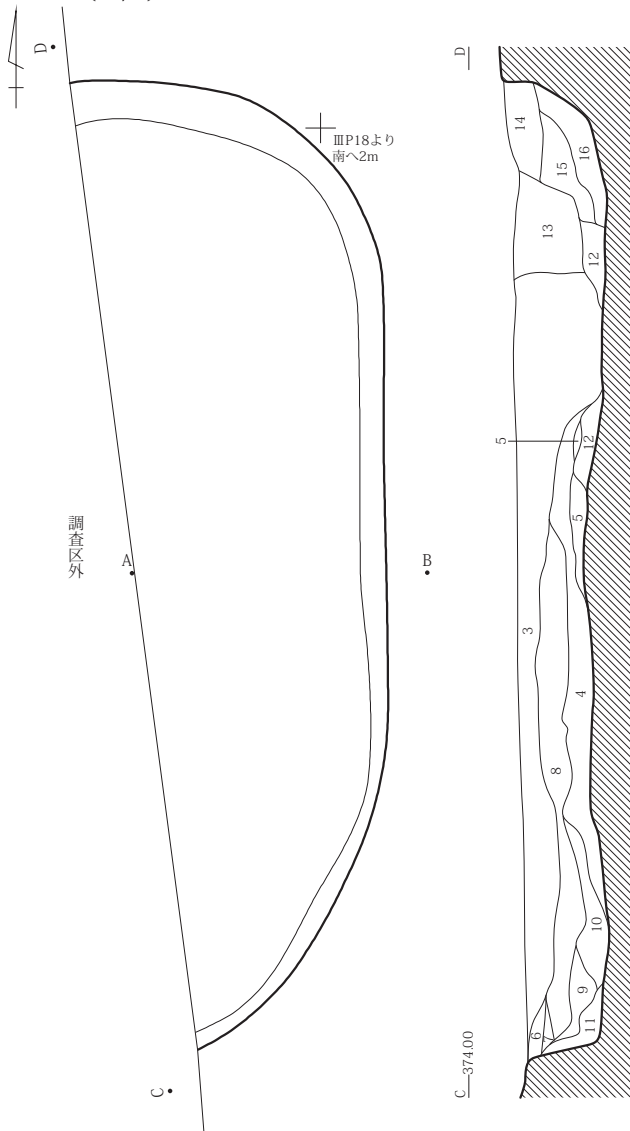
埋土：確認できなかった。

規模：長軸（0.28）m。短軸（0.26）m。

構造：底面の形状から、平面形は円形か。底面から銭貨が複数みつかり、墓の可能性が考えられる。

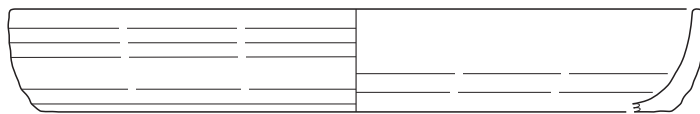
遺物出土状況：底面から銭貨（1～5）がまとまって出土している。

SK68 (2区)



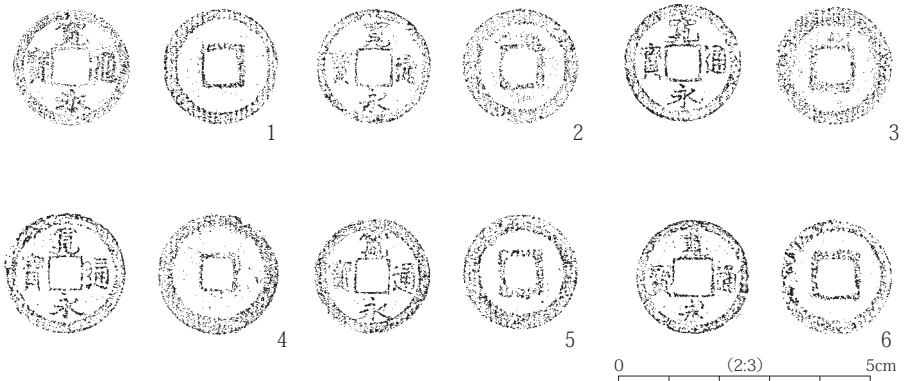
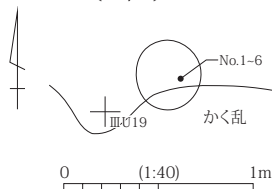
SK68

- 1 暗褐色 (10YR3/3) シルト。しまりあり。粘性弱。径 0.5 ~ 3cm 礫多量。
- 2 褐色 (10YR4/4) シルト。しまりあり。粘性弱。径 0.5cm 礫微量。径 1 ~ 10cm 黒褐色 (10YR2/3) シルトブロック少量。
- 3 黒色 (10YR2/1) シルト。しまりややあり。粘性弱。径 0.5 ~ 10cm 礫多量。
- 4 黒褐色 (10YR2/2) シルト。しまりあり。粘性弱。径 0.5 ~ 6cm 礫多量。径 0.5 ~ 3cm にぶい黄褐色 (10YR4/3) シルトブロック少量。
- 5 灰黄褐色 (10YR4/2) シルト。しまりあり。粘性弱。径 0.5cm 礫微量。黒褐色 (10YR2/2) シルト少量。
- 6 黒褐色 (10YR2/2) シルト。しまりあり。粘性弱。0.5cm 礫多量。径 2cm 暗褐色 (10YR3/4) シルトブロック微量。
- 7 暗褐色 (10YR3/4) シルト。しまりあり。粘性弱。0.5cm 礫微量。黒褐色 (10YR2/2) シルト少量。
- 8 黒褐色 (10YR2/2) シルト。しまりややあり。粘性弱。径 0.5 ~ 5cm 礫・径 2cm にぶい黄褐色 (10YR4/3) シルトブロック多量。
- 9 黒褐色 (10YR3/2) 砂。しまりややあり。径 0.5cm 礫多量。
- 10 黒色 (10YR2/1) シルト。しまりあり。粘性弱。径 0.5 ~ 5cm 礫多量。
- 11 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 砂。しまりあり。径 0.5cm 礫・黒褐色 (10YR2/2) シルト微量。
- 12 黒色 (10YR2/1) シルト。しまりあり。粘性弱。径 0.5 ~ 3cm 礫多量。径 1cm 灰黄褐色 (10YR4/2) シルトブロック微量。
- 13 黒褐色 (10YR2/3) シルト。しまりややあり。粘性弱。径 1cm 礫多量。径 0.5 ~ 4cm にぶい黄褐色 (10YR4/3) シルトブロック少量。
- 14 黒褐色 (10YR2/2) シルト。しまりあり。粘性弱。径 1cm 礫少量。径 2 ~ 10cm 褐色 (10YR4/4) 砂ブロック多量。
- 15 黒褐色 (10YR2/2) シルト。しまりあり。粘性弱。径 0.5cm 礫少量。径 2 ~ 8cm 礫微量。
- 16 黒色 (10YR2/1) シルト。しまりややあり。粘性弱。径 0.5 ~ 6cm 礫多量。



第308図 SK68 土坑

SK292 (2区)



第309図 SK292 土坑

出土遺物：1～5は寛永通寶。いずれも新寛永（日本1697～1747、1767～1781）と考えられる。

時期：詳細な時期は確定できないが、出土遺物から近世とした。

SK3165 [第311図 PL102・122]

位置：3区 VF16グリッド。

検出：V層上面で平面プランを検出。平面精査により重複関係を確認して掘り下げを行った。地表下1.1m程までは人力で掘削し、下層は重機による断ち割りを行ったが、崩落してしまい底面のレベルは確認できなかった。

重複関係：切り合う遺構は無い。

埋土：複層である。埋土の状況などから、人為的に埋戻された可能性が考えられる。

規模：長軸2.12m。短軸1.37m。深さ(1.10)m。

構造：平面形は楕円形である。立ち上がりは外傾する。井戸の可能性が考えられる。

遺物出土状況：埋土中から少量の遺物が出土している。掲載した遺物も埋土中からの出土である。なお、埋土中から出土した曲げ物の底板の一部（分析 H28No.8）で炭素年代測定及び樹種同定を行った。測定値は紀元1539～1635年で、室町時代から江戸時代前期に相当する。樹種はヒノキで、軽軟で割裂性が大きい。ため、製材しやすい木材であった（第4章第2・3節参照）。

出土遺物：1は陶器のすり鉢。2は安山岩製の石臼の上臼の破片。上面には供給孔と軸孔が確認でき、軸孔は貫通している。3は、曲物の底板。側面に側板と組み合わせるための小孔が確認できる。

時期：詳細な時期は確定できないが、検出層位と埋土・出土遺物などから近世とした。

SK3179 [第312図 PL122]

位置：3区 VF11・12グリッド。

検出：V層上面で平面プランを検出。平面精査により重複関係を確認して掘り下げを行った。地表下0.50m程までは人力で掘削し、下層は重機による断ち割りを行った。底面のレベルは確認できたが、崩落の危険性があったため詳細な土層断面の記録はできなかった。

重複関係：(旧) SD3009、SK3160。(新) かく乱。

埋土：複層である。黒褐色～暗褐色の砂質土を主体とし、シルト質のブロックを含む。他の井戸跡と同様、上層は人為的に埋め戻された可能性がある。

規模：長軸(2.40)m。短軸2.40m。深さ2.40m。

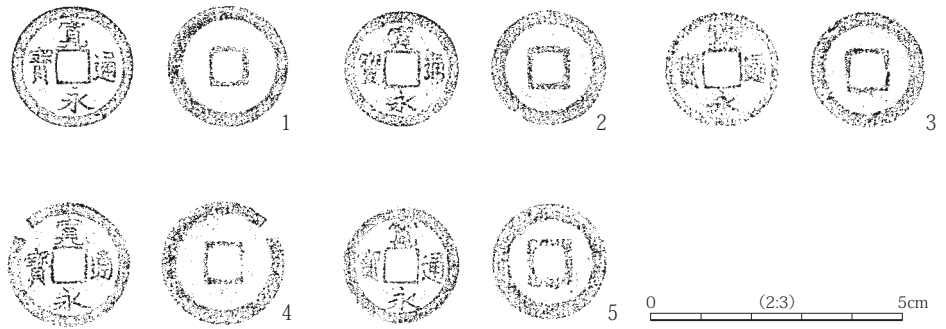
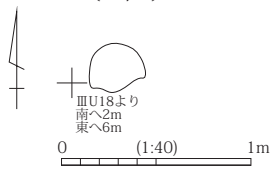
構造：平面形は円形である。底面は平坦で立ち上がりはやや内湾して立ち上がる。井戸とも考えられる。

遺物出土状況：埋土中からわずかな土器片と木製品などが出土している。掲載した遺物も埋土中からの出土である。なお、出土した木製品の一部（分析 H28No.9）で炭素年代測定及び樹種同定を行った。測定値は紀元1803～1893年で、江戸時代から明治時代に相当する。樹種はツガ属で、軽軟で割裂性が大きい。ため、製材しやすい木材である（第4章第2・3節参照）。

出土遺物：1は楔状の木製品。2の臍穴にはめ込まれた状態で出土している。2・3は厚みがある扇状の木製品で用途不明。両側面に臍穴が穿たれている。同一個体と思われる。

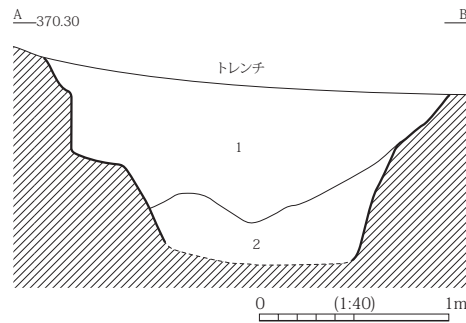
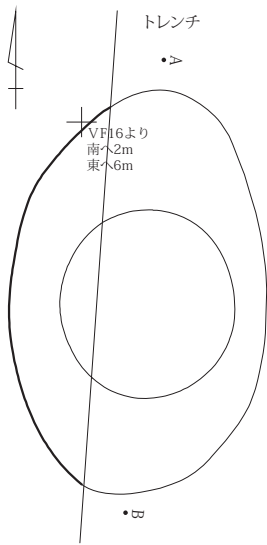
時期：詳細な時期は確定できないが、検出層位と埋土・出土遺物などから近世とした。

SK296 (2区)



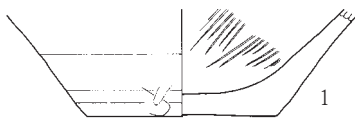
第310図 SK296 土坑

SK3165 (3区)



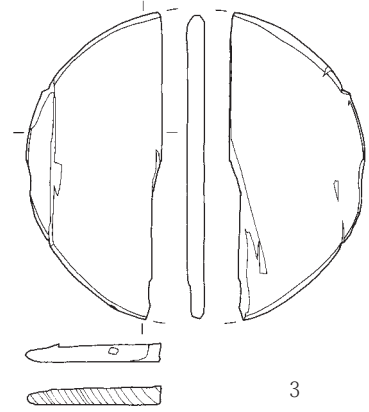
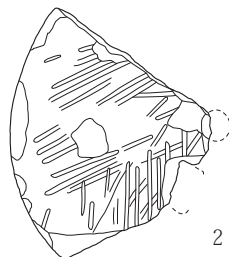
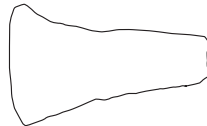
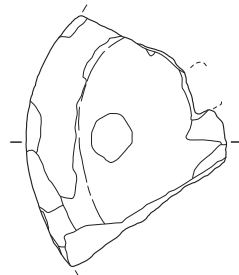
SK3165

- 1 黒褐色 (10YR2/2) シルト。しまりなし。粘性弱。径 6 ~ 25cm 礫混。
- 2 暗褐色 (10YR3/3) 砂。しまりなし。径 6 ~ 25cm 礫混。



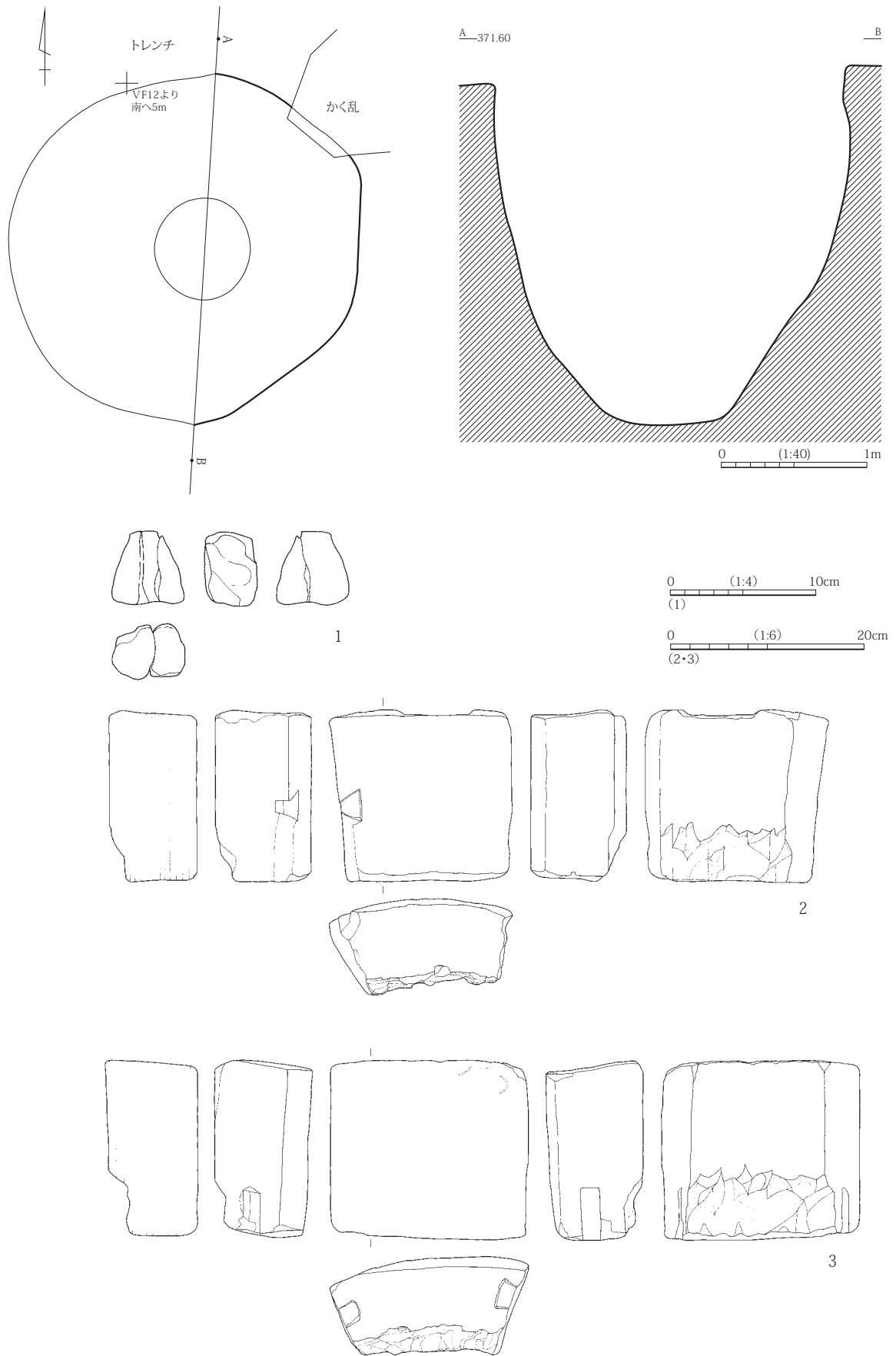
0 (1:4) 10cm
(1:3)

0 (1:6) 20cm
(2)



第311図 SK3165 土坑

SK3179 (3区)



第312図 SK3179 土坑

SK3183 [第313・314図 PL102・113]

位置：3区 VF22グリッド。

検出：V層上面で平面プランを検出。平面精査により重複関係を確認して掘り下げを行った。地表下0.50m程までは人力で掘削し、下層は重機による断ち割りをを行った。底面のレベルは確認できたが、崩落の危険性があったため詳細な土層断面の観察・記録ができなかった。

重複関係：(旧) SM3001。

埋土：複層である。黒褐色土を主体とし、礫が多く混入する。他の井戸跡と同様、上層は人為的に埋め戻されたとも考えられる。

規模：長軸1.94m。短軸1.84m。深さ2.55m。

構造：平面形は円形である。底面はほぼ平坦で、立ち上がりは垂直に近い。井戸跡の可能性が考えられる。

遺物出土状況：埋土中から遺物が少量出土している。掲載した遺物は、3は埋土とSK3165埋土の接合資料、その他は埋土からの出土である。

出土遺物：1・2は陶器の碗。3・4は陶器の皿か。同一個体と考えられるが接合しない。5は磁器の瓶か。外面に染付がわずかに残る。6は土師質土器のほうろくの破片。外面に煤が付着する。

7～9は安山岩製の石臼。7は下臼で約2/3を欠損、軸孔を含むラインで割れている。磨り目の分割は1単位60°前後であることから6分割と思われる。上面には軸孔が確認でき、貫通している。8は上臼で、約4/5を欠損、引手孔を含むラインで割れている。磨り目の分割は1単位60°前後であることから6分割と思われる。側面に引手孔が確認できる。9は上臼で、約1/2を欠損、供給孔、軸孔、引手孔を結ぶラインで割れている。磨り目の分割は1単位60°前後であることから6分割と思われる。上面には供給孔と軸孔が確認でき、軸孔は貫通している。側面に引手孔が確認できる。10は安山岩製の敲石。11は安山岩製の宝篋印塔相輪九輪の破片。下面の突起で請花に接合すると考えられる。12は安山岩製の五輪塔地輪。約1/3が欠損している。上面に水輪を受ける凹みが確認できる。

時期：詳細な時期は確定できないが、検出層位と埋土・出土遺物などから近世とした。

SK3494 [第315図 PL118]

位置：3区 VA16グリッド。

検出：V層上面で平面プランを検出。平面精査により重複関係を確認して掘り下げを行った。

重複関係：(旧) SB3024・3038。

埋土：単層であり自然堆積と考えられる。

規模：長軸(0.98)m。短軸(0.82)m。深さ0.52m。

構造：西側が調査区外となるが、平面形は円形と考えられる。底面は平坦で、立ち上がりはやや外傾する。

遺物出土状況：埋土中から遺物がわずかに出土している。掲載した遺物も、埋土からの出土である。

出土遺物：1は、不明銅製品。飾り金具等の一部か、猪目の透かしが施される。

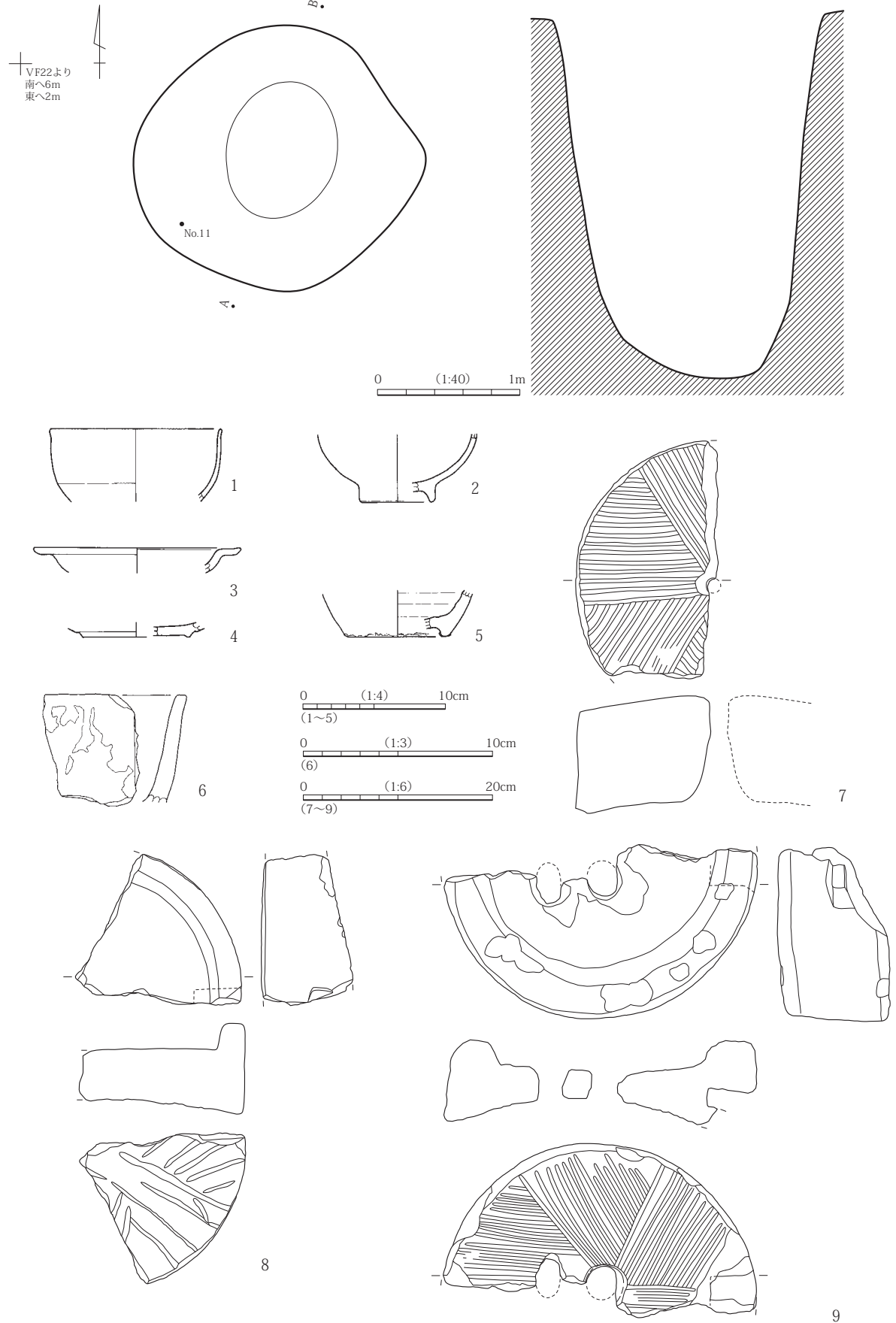
時期：詳細な時期は確定できないが、検出層位と埋土などから近世以降とした。

SK3510 [第316図 PL114]

位置：3区 VA16・17・21・22グリッド。

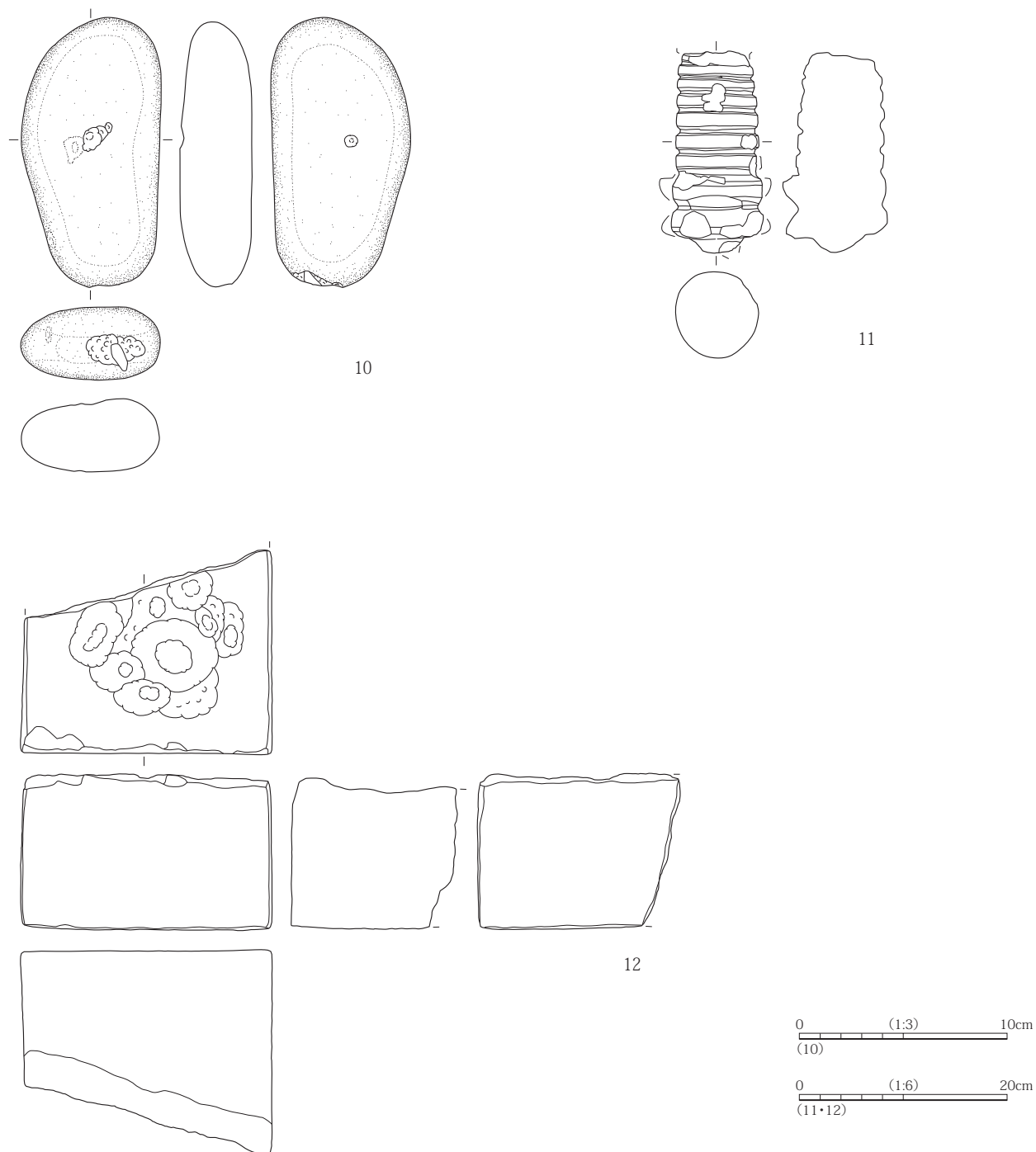
検出：V層上面で平面プランを検出。平面精査により重複関係を確認して掘り下げを行った。地表下0.50m程までは人力で掘削し、下層は重機による断ち割りをを行った。底面のレベルは確認できたが、崩落の危険性があったため2層とした埋土の詳細な観察・記録ができなかった。

SK3183 (3区)



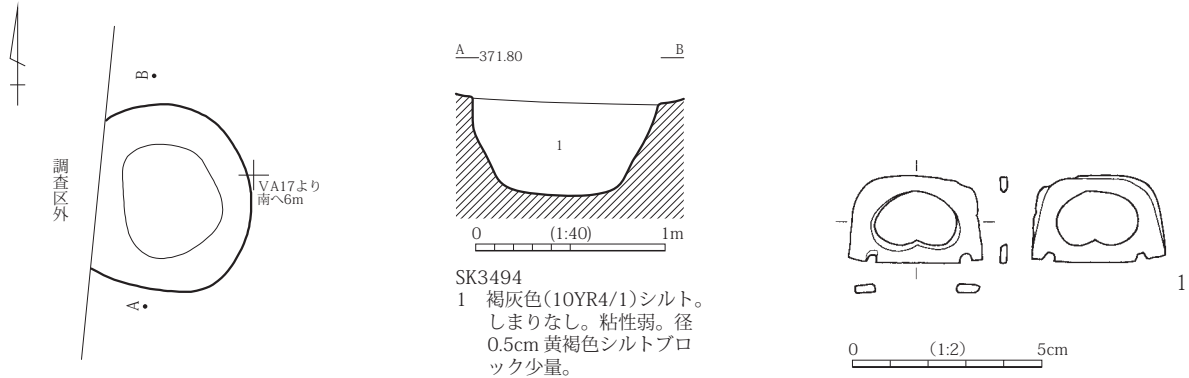
第313図 SK3183 土坑

SK3183



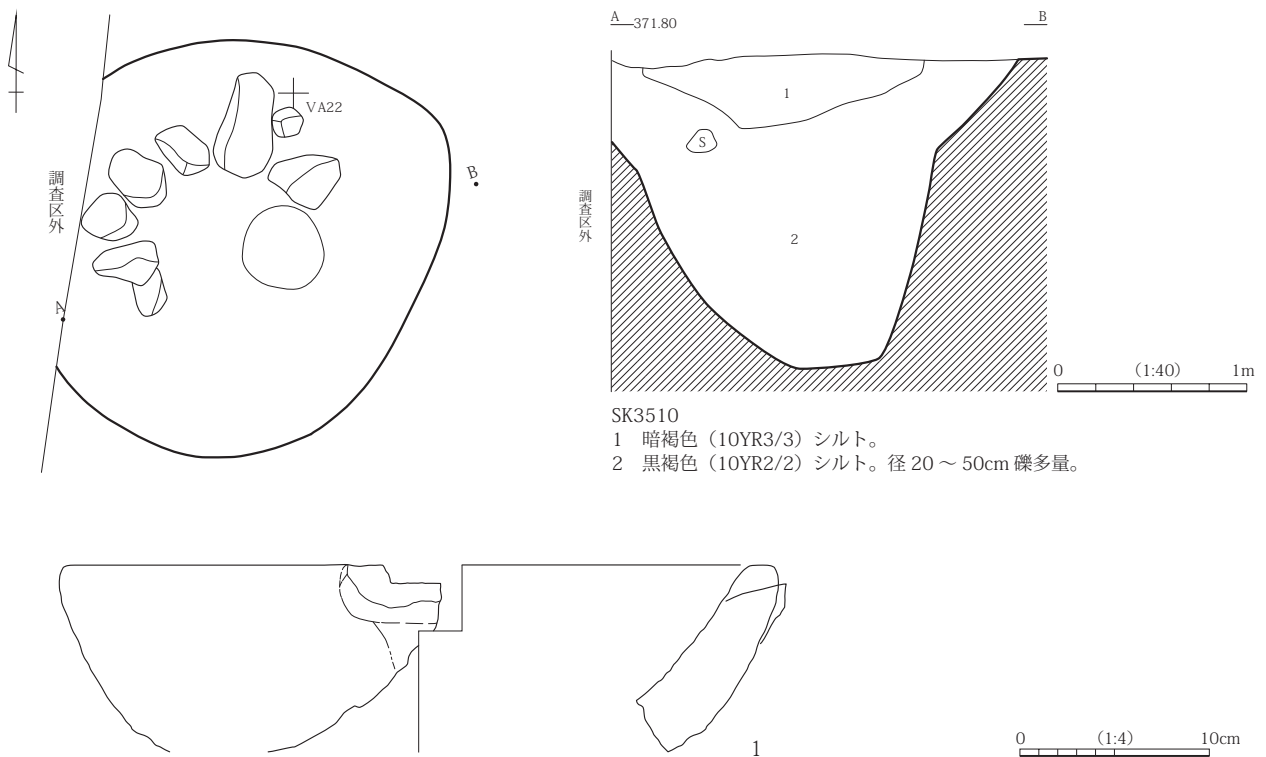
第314図 SK3183 出土遺物

SK3494 (3区)



第315図 SK3494 土坑

SK3510 (3区)



第316図 SK3510 土坑

重複関係：(旧) SB3024・3038。

埋土：複層である。暗褐色～黒褐色土を主体とし、20～50cm大の礫を多量に含む。他の井戸跡と同様、上層は人為的に埋め戻されたとも考えられる。

規模：長軸2.17m。短軸(2.08)m。深さ1.64m。

構造：西側が調査区外となるが、平面形は円形と考えられる。底面はほぼ平坦で、立ち上がりは下部3分の2程度はやや外傾し、上部は緩やかである。上層には石組みが部分的に残り、石組みの井戸と考えられる。

遺物出土状況：埋土中から、わずかに遺物が出土している。掲載した遺物は、2層からの出土である。

出土遺物：1は安山岩製の石鉢。口縁付近の破片で、片口が設けられる。

時期：詳細な時期は確定できないが、検出層位と埋土などから近世以降とした。

SK3634 [第317・318図 PL102・114・118・122]

位置：3区 VA18グリッド。

検出：V層上面で平面プランを検出。平面精査により重複関係を確認して掘り下げを行った。地表下1.20m程までは人力で掘削し、下層は重機による断ち割りを行ったが、崩落してしまい底面のレベルは確認できなかった。

重複関係：(旧) SB3059～3061、SD3016、SK3681。

埋土：複層である。記録できた上層部分は、埋土の状態から人為的に埋め戻された可能性が考えられる。

規模：長軸2.98m。短軸2.73m。深さ(1.25)m。

構造：平面形は円形である。立ち上がりは垂直に近い。井戸の可能性が考えられる。

遺物出土状況：埋土中から、遺物が多く出土している。掲載した遺物は、2・9は1層、8は埋土とSK3652埋土の接合資料、その他は埋土中からの出土である。

出土遺物：1・2は磁器の碗。外面には染付が描かれる。1は雲と鳥、2は梅と竹か。3は磁器の皿。見込みに染付で竹が描かれている。4は土器の鉢か。5は磁器の瓶。6は土師質土器のほうろくの破片で、内耳部分は欠損する。

7は安山岩製の石臼の上臼。約3/4を欠損、側面に引手孔が確認できる。8は安山岩製の五輪塔火輪。9は用途不明のL字状鉄製品。10は鉄製の曲刃鎌で、刃を半分程欠損している。柄との装着部先端は尖り、内側に折り返される。11は鉄製の柄部。両端を欠損する。12は寛永通寶(銭文不明瞭)。13・14は用途不明の木製の部材。両端を欠損。角材4面のうち1面に臍穴と長軸方向の溝状切込みが、この面と対になる面には臍穴が穿たれている。

時期：詳細な時期は確定できないが、検出層位と埋土・出土遺物などから近世以降とした。

SK3721 [第319～321図 PL102・103・118]

位置：3区 VA08・09・13・14グリッド。

検出：V層上面で平面プランを検出。平面精査及び先行トレンチの土層断面の観察等により重複関係を確認して掘り下げを行った。

重複関係：(旧) SB3044・3048、SD3026、SK3622・3627・3632・3715。

埋土：複層である。埋土の状態から人為的に埋め戻されたと考えられる。

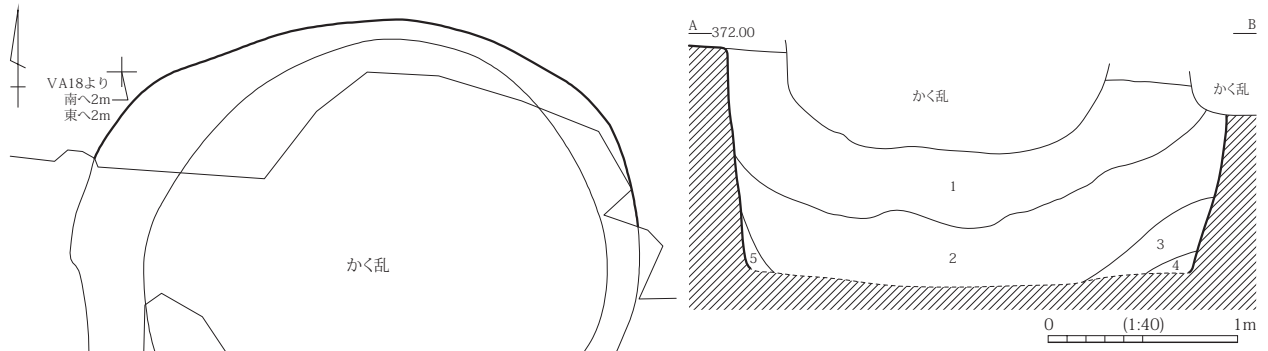
規模：長軸7.38m。短軸7.25m。深さ0.60m。

構造：平面形は不正形である。底面は平坦で、立ち上がりは垂直に近い。深めの土坑が浅い段状の部分でつながった環状に近い構造となる。ゴミ穴か。

遺物出土状況：埋土中から遺物が多量に出土している。掲載した遺物も埋土中からの出土である。

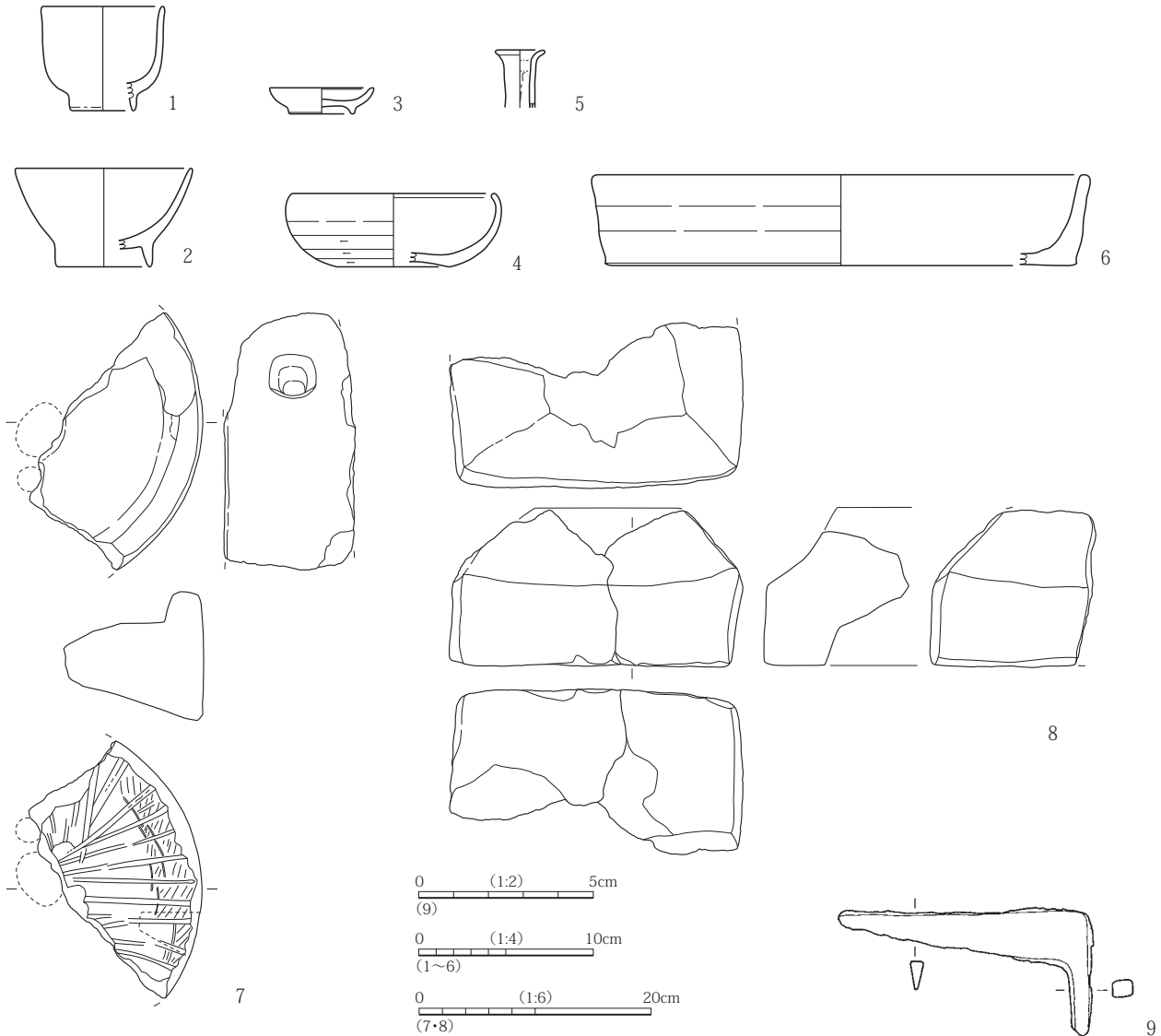
出土遺物：1・2・6は磁器の猪口。1は見込みに花(杜若か)の色絵が描かれる。2は見込みに山水の色絵が描かれる。6は外面に染付でウマが描かれる。3～5は磁器の碗。いずれも見込みと外面に染付で鳥(3外面)や花唐草(4外面)、扇(5外面)などが描かれる。7は陶器の碗。8～10は磁器の皿。8は小形で内外面に染付が描かれる。9は染付で外面には唐草、内面には雷文などが描かれる。焼継が施され、高台には焼継印と考えられる朱書きの文字(判読不明)が残る。10は輪花皿で、染付で外側には唐草、内側には花唐草や竹・松などが描かれる。11は陶器の灯明皿の破片。12は陶器の皿。方形で、内側に青海波や鳥などの文様が形打ちされる。13は磁器の鉢。香炉と考えられる。14は陶器の鉢。口唇部に欠損が認められ、煙草(キセル)の灰落しとして使用されたと考えられる。15は陶器の花瓶。16～23は徳利。16・17・20・21は磁器、18・19・22・23は陶器。17・20・21は染付で草木などが描かれる。18・19は全体

SK3634 (3区)



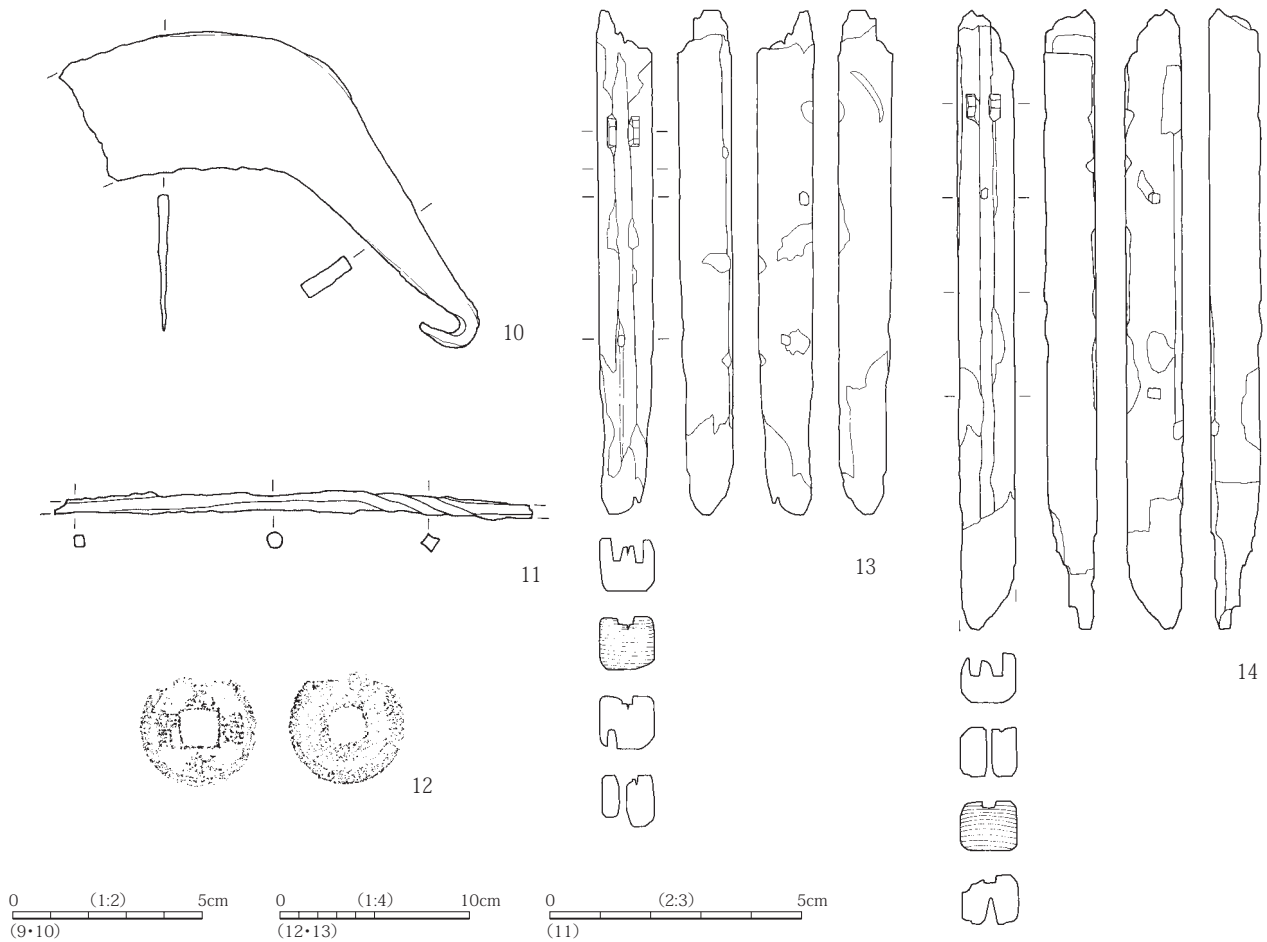
SK3634

- 1 暗褐色 (10YR3/3) シルト。しまりなし。粘性弱。径 15cm 礫少量。径 1cm 褐色 (10YR4/6) 細砂ブロック・径 1cm 炭化物微量。
- 2 黒褐色 (10YR2/3) シルト。しまりなし。粘性弱。径 20cm 礫多量。径 5cm 褐色 (10YR4/6) 細砂ブロック少量。
- 3 黒褐色 (10YR2/2) シルト。しまりなし。粘性弱。径 4cm 褐色 (10YR4/6) 細砂ブロック多量。
- 4 暗褐色 (10YR3/4) 粗砂。しまりなし。径 0.5cm 褐色 (10YR4/6) 粗砂ブロック少量。
- 5 黒褐色 (10YR2/2) 粘土。しまりあり。粘性強。径 3cm 礫少量。



第317図 SK3634 土坑

SK3634

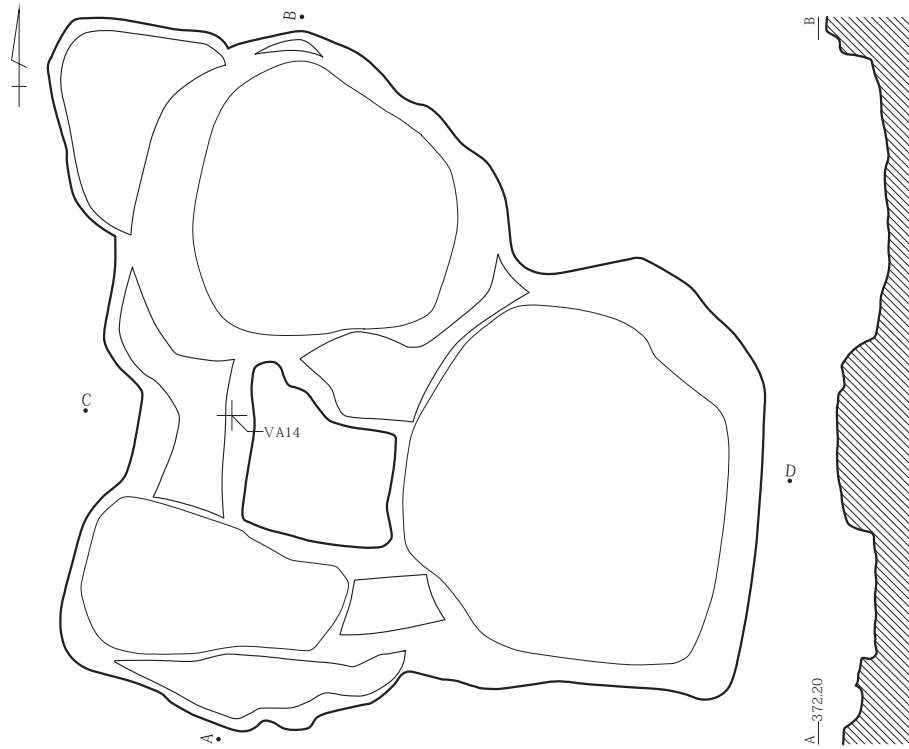


第318図 SK3634 出土遺物

的に緑釉が掛けられる。22は鉄釉などで草花が描かれる。23は、いわゆる「鴨徳利」である。頭部から頸部、羽の一部にあたる部分は緑釉が、胴部以下は飴釉が掛けられている。24は土師質土器の鉢である。火鉢だが内面が磨滅しており別の用途に使われていた可能性も考えられる。25は土師器質土器のほうろくである。26はサイコロで、○で表された数のほかに「JAPAN」の文字が認められる。磁器製か。27は天保通宝の土製模造貨。28は瓦器の破片を使用した砥石か。29～32は鉄製の釘。33は鉄製の火打金。両端を紐状にねじり上げている。34・35寛永通宝。「寛」と「寶」の字体の違いから、34は古寛永（日本1636～1659）、35は新寛永（日本1697～1747、1767～1781）と考えられる。

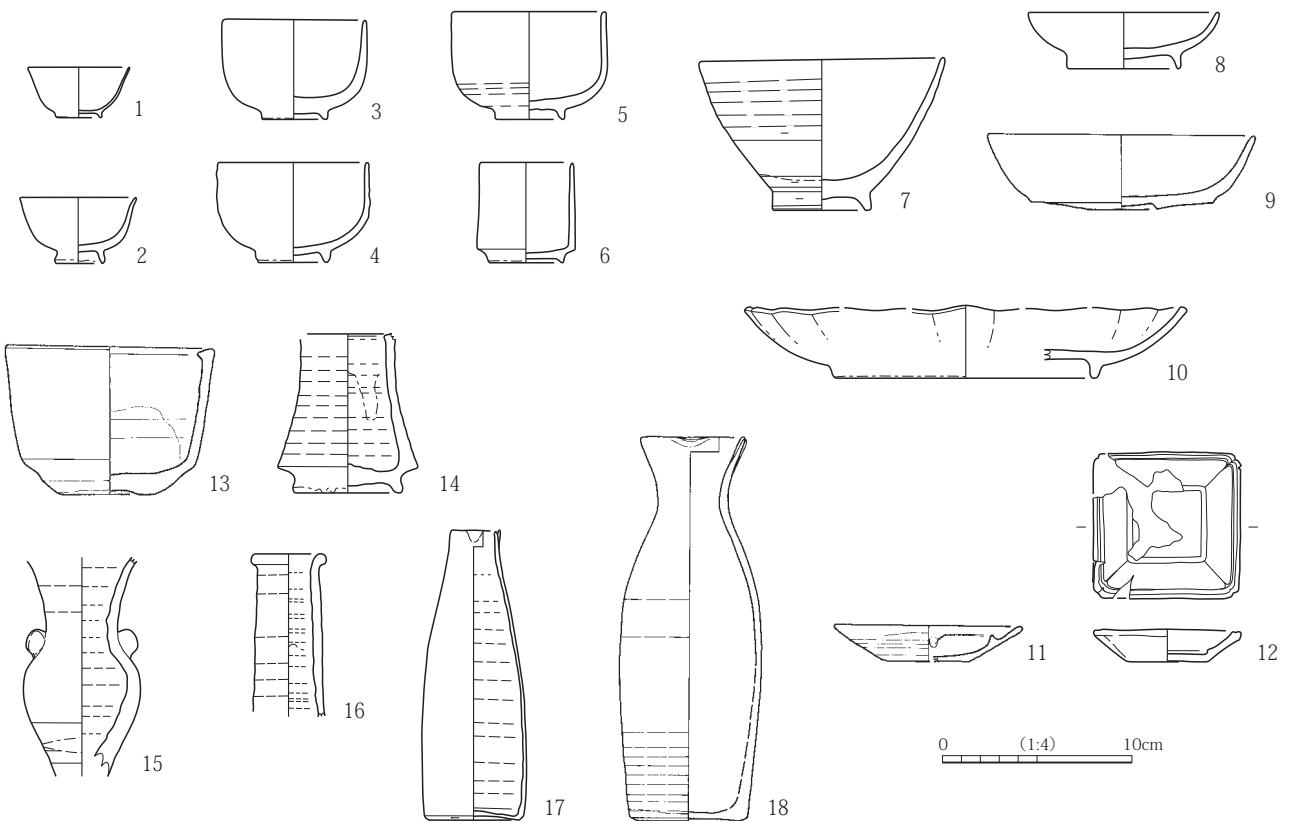
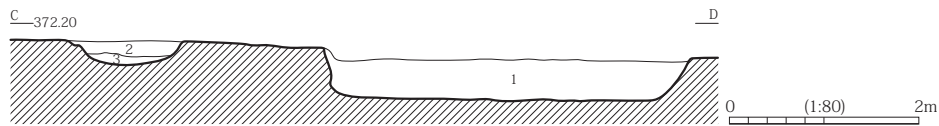
時期：詳細な時期は確定できないが、検出層位と埋土・出土遺物などから近世以降とした。

SK3721 (3区)

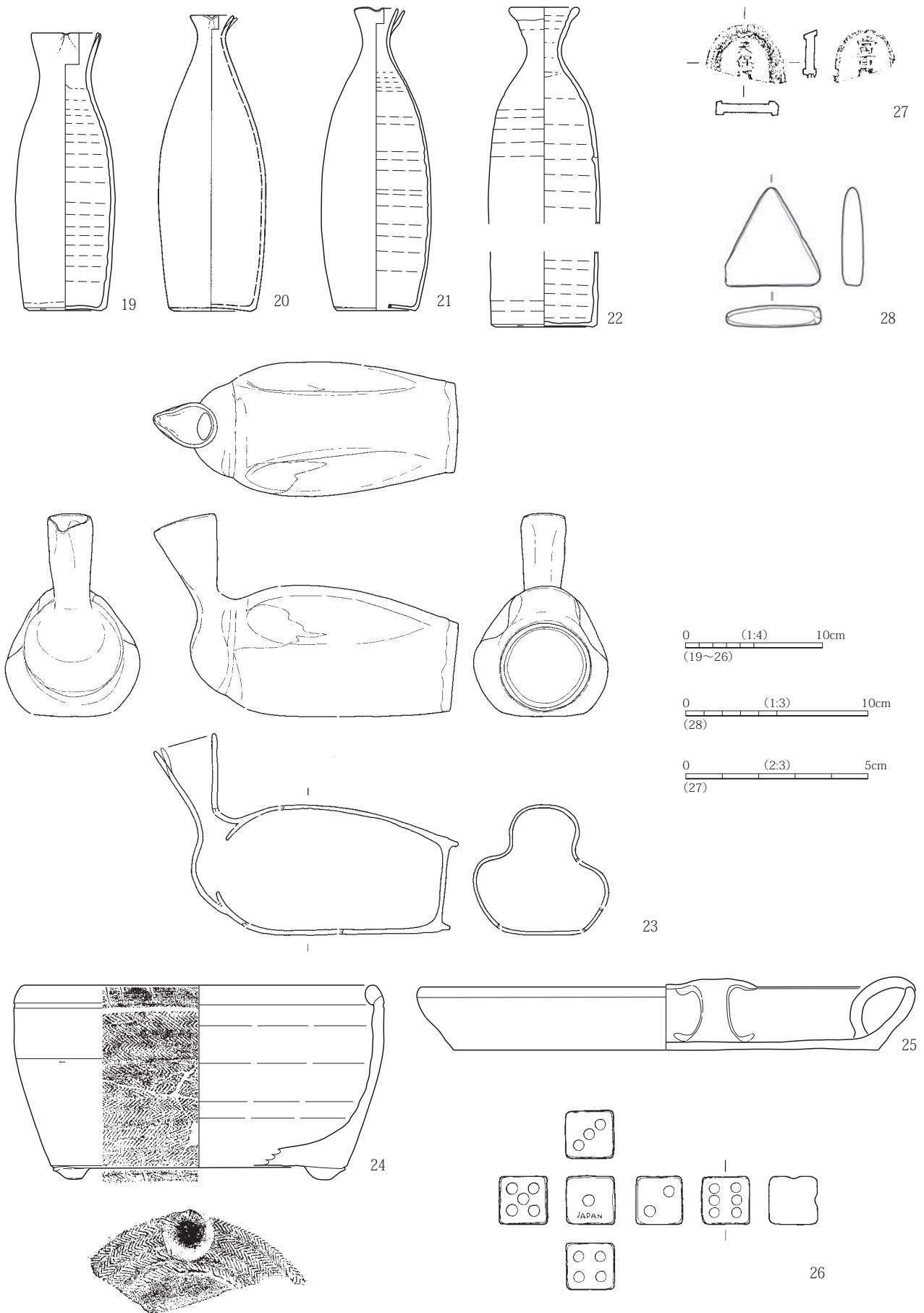


SK3721

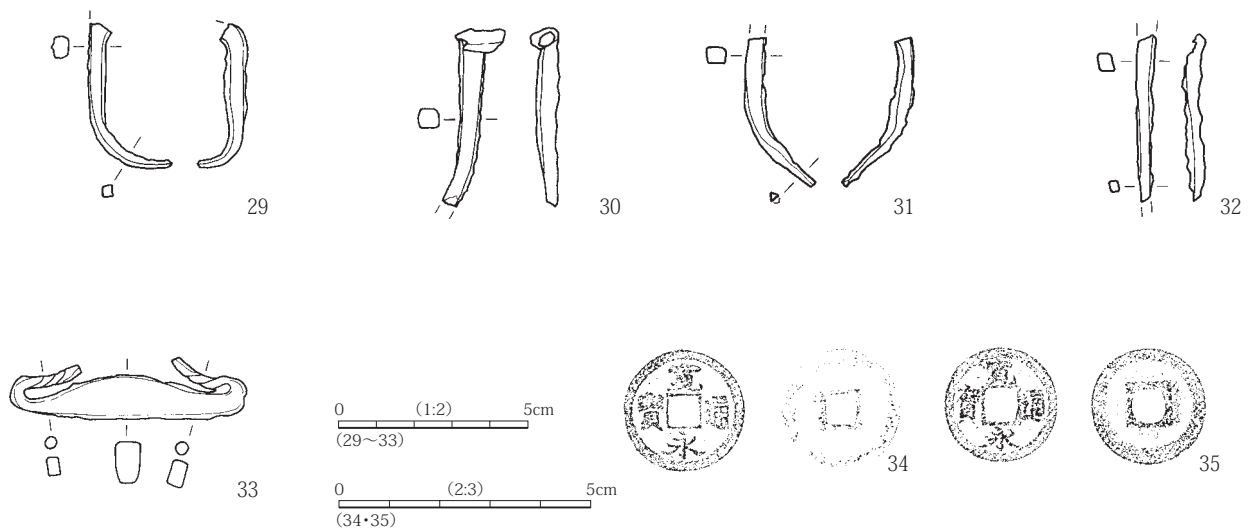
- 1 黒褐色 (10YR2/2) シルト。しまりなし。粘性弱。径1cm 礫多量。径3~10cm 礫少量。
- 2 黒褐色 (10YR2/2) シルト。しまりなし。粘性弱。径1cm 礫多量。径3~10cm 礫少量。
- 3 暗褐色 (10YR3/4) 砂質シルト。しまりなし。径0.5~5cm 礫多量。



第319図 SK3721 土坑



第320図 SK3721 出土遺物 1



第321図 SK3721 出土遺物 2

SK5083 [第322図 PL28・103・114・118]

位置：5区 II G01グリッド。

検出：V層上面で平面プランを検出。平面精査によりプランを確認して掘り下げを行った。

重複関係：切り合う遺構は無い。

埋土：複層である。埋土の状態から人為的に埋め戻されたと考えられる。

規模：長軸2.01m。短軸(1.04)m。深さ0.67m。

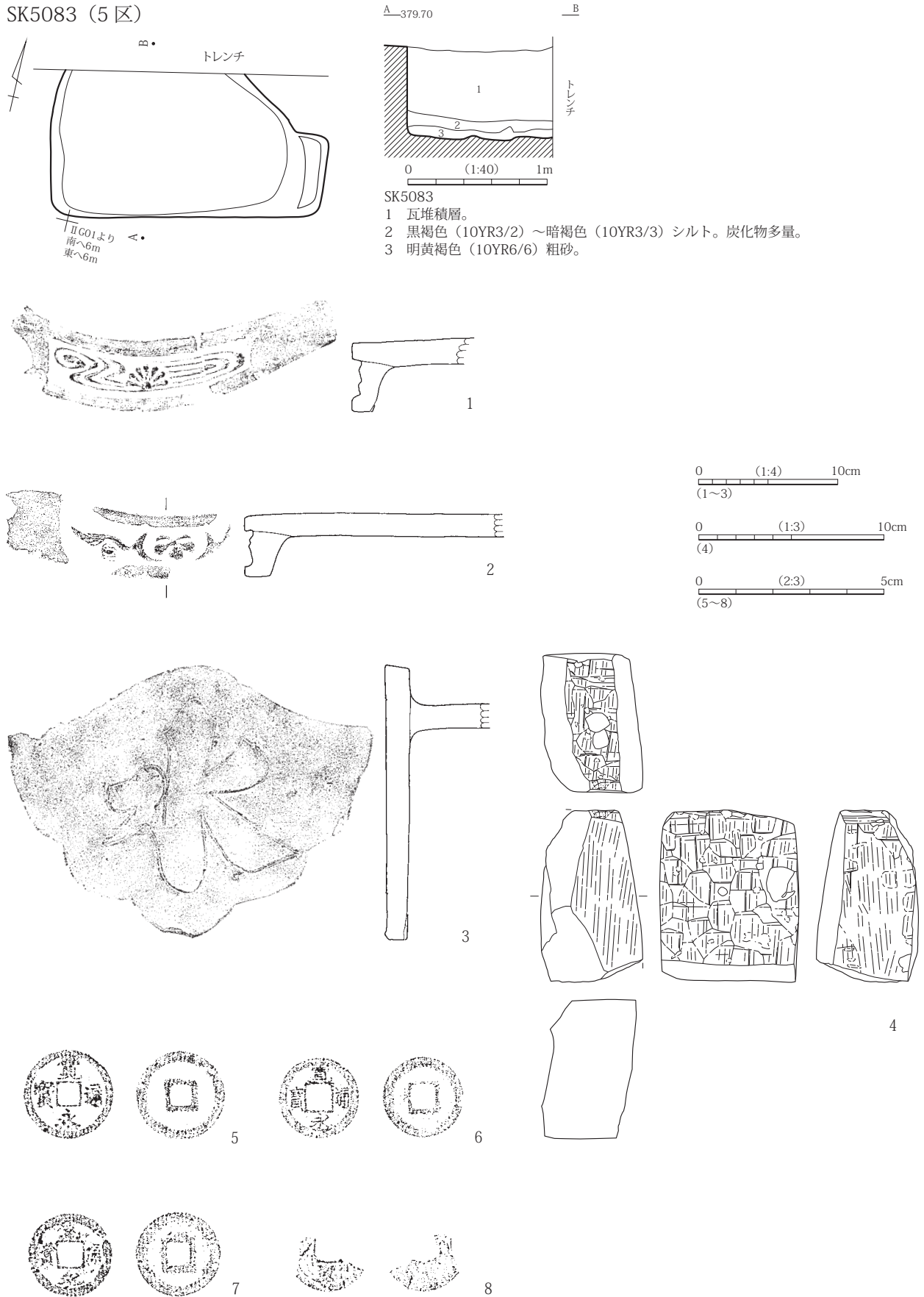
構造：平面形は不整形である。底面はほぼ平坦で、立ち上がりは垂直である。

遺物出土状況：埋土中から瓦が多量に出土している。掲載した遺物も埋土中からの出土である。

出土遺物：1・2は軒棧瓦。1は菊花文、2は唐草文などが描かれる。3は鬼瓦。いわゆる猫面瓦である。「水」の文字が線刻される。4は泥岩製の砥石。5～7は寛永通宝。字体の違いから5は古寛永(日本1636～1659)、6・7は新寛永(日本1697～1747、1767～1781)と考えられる。8は銭貨で3/4～2/3程を欠損。表面右に「通」字の左半分が確認できる。

時期：詳細な時期は確定できないが、検出層位と埋土・出土遺物などから近世以降とした。

SK5083 (5区)



第322図 SK5083 土坑

SK5084 [第323図 PL106]

位置：5区 II G08・09グリッド。

検出：V層上面で平面プランを検出。平面精査及び先行トレンチの土層断面の観察等により重複関係を確認して掘り下げを行った。

重複関係：(新) かく乱。

埋土：単層であり自然堆積と考えられる。

規模：長軸 (3.95) m。短軸 (1.11) m。深さ0.10m。

構造：平面形は不整形である。底面はほぼ平坦で、立ち上がりは緩やかである。

遺物出土状況：埋土中から遺物がわずかに出土している。掲載した遺物も埋土中からの出土である。

出土遺物：1は韃の羽口破片である。表面に被熱に因るとされる変色がみられるが、滓化や溶解は認められない。

時期：詳細な時期は確定できないが、検出層位と埋土などから近世以降とした。

SK5089 [第324図 PL28・104・118]

位置：5区 II C21グリッド。

検出：V層上面で平面プランを検出。平面精査及び先行トレンチの土層断面の観察等により重複関係を確認して掘り下げを行った。

重複関係：(旧) SK5101。

埋土：単層である。埋土の状態から人為的に埋め戻されたと考えられる。

規模：長軸2.48m。短軸2.02m。深さ0.35m。

構造：平面形は隅丸長方形である。底面は平坦で、立ち上がりはやや外傾する。

遺物出土状況：埋土中から遺物が少量出土している。掲載した遺物も埋土からの出土である。なお、埋土から出土した炭化材2点と炭化種子4点(分析 H31No.9~14)で炭素年代測定及び樹種・種実同定を行った。測定値は紀元1447~1895年で、室町時代から明治時代に相当する。炭化材No.9・14はいずれもタケ亜科。種子はNo.10がイネ、No.11がオオムギ、No.12がチャノキ、No.13がアズキで、いずれも栽培植物である(第4章第2・3節参照)。

出土遺物：1は磁器の猪口。2は磁器染付の皿。3は陶器のすり鉢。4は用途不明の環状銅製品。5は鉄釘で基部下端を欠損する。6は銅製のキセルの雁首。火皿を欠損し、表面に炭化物が付着する。遺存状態は良くない。7は鉄銭である。錆著しく、銭文不明。

時期：詳細な時期は確定できないが、検出層位と埋土・出土遺物などから近世以降とした。

SK5146 [第325図 PL104・114]

位置：5区 II C23グリッド。

検出：V層上面で平面プランを検出。平面精査及び先行トレンチの土層断面の観察等により重複関係を確認して掘り下げを行った。

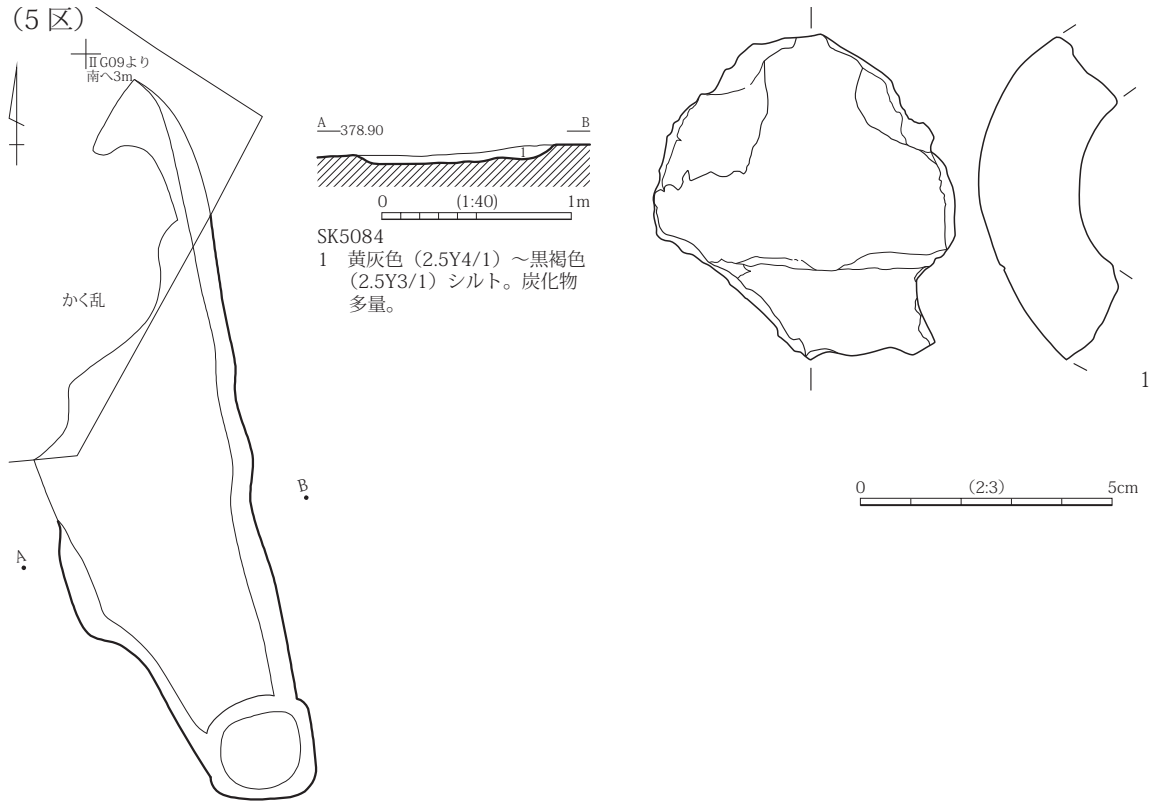
重複関係：(新) かく乱。

埋土：複層である。埋土の状態から人為的に埋め戻されたと考えられる。

規模：長軸 (1.70) m。短軸 (0.60) m。深さ0.18m。

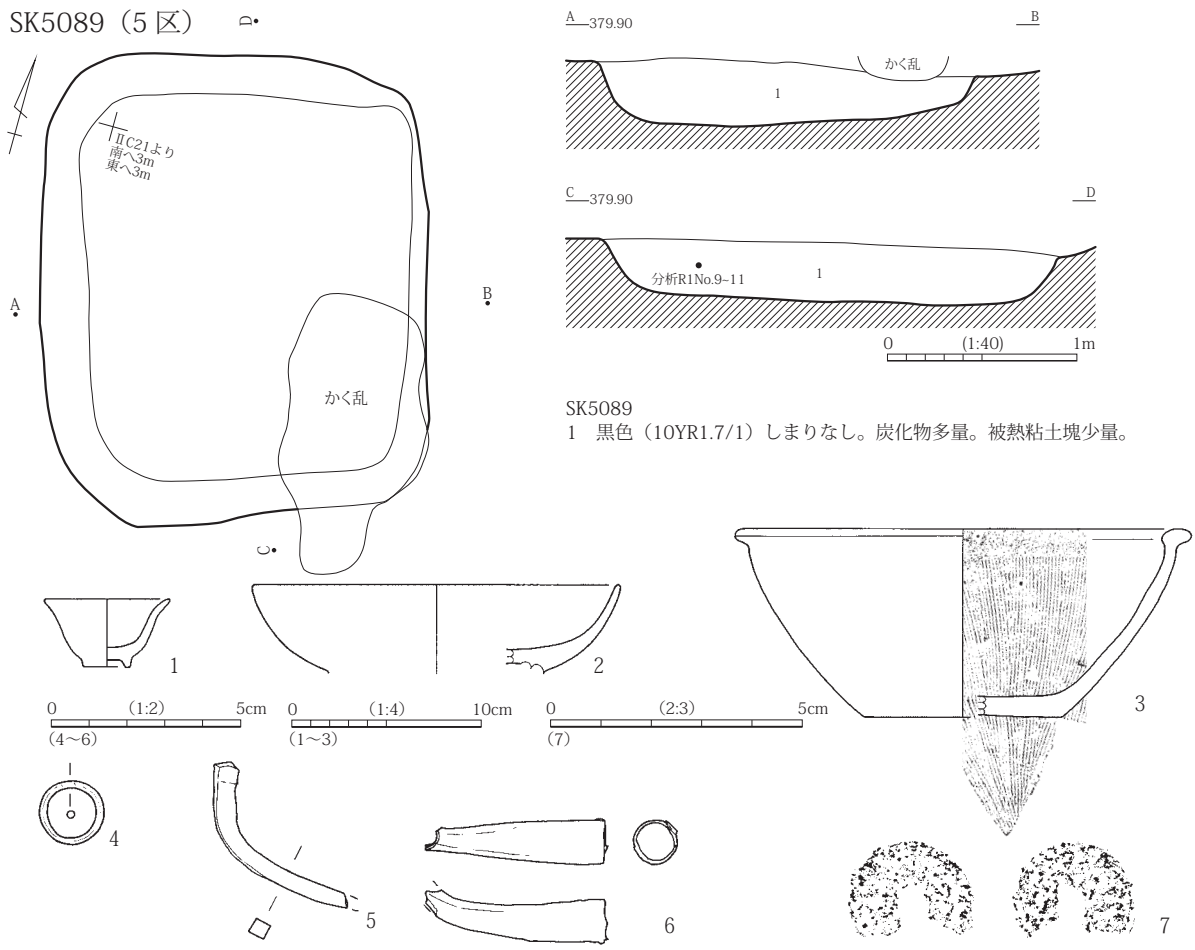
構造：北側がかく乱され南東側は調査区外となり、平面形は不明である。底面はほぼ平坦で、立ち上がりは緩やかである。

SK5084 (5区)



第323図 SK5084 土坑

SK5089 (5区)



第324図 SK5089 土坑

遺物出土状況：埋土中から遺物がわずかに出土している。掲載した遺物も埋土からの出土である。

出土遺物：1は陶器のすり鉢。内面の磨減が激しい。2は凝灰岩製の砥石である。

時期：詳細な時期は確定できないが、検出層位と埋土などから近世以降とした。

SK6051 [第326図 PL104]

位置：6区 II B09グリッド。

検出：V層上面で平面プランを検出。平面精査によりプランを確認して掘り下げを行った。

重複関係：切り合う遺構は無い。

埋土：単層である。埋土の状態から人為的に埋め戻されたと考えられる。

規模：長軸1.80m。短軸1.74m。深さ0.28m。

構造：平面形は円形である。底面には緩やかな凹凸があり、立ち上がりはやや外傾する。

遺物出土状況：埋土中から少量の遺物が出土している。掲載した遺物も埋土からの出土である。

出土遺物：1は磁器の鉢。内面口縁部直下と外面に染付で草木などが描かれる。2は土師質土器のほうろくで、内耳部を欠損する。

時期：詳細な時期は確定できないが、検出層位と埋土・出土遺物などから近世以降とした。

SK6066 [第327～329図 PL104～106・118・122]

位置：6区 II B03・04・08・09グリッド。

検出：V層上面で平面プランを検出。平面精査によりプランを確認して掘り下げを行った。

重複関係：切り合う遺構は無い。

埋土：複層である。埋土の状態から人為的に埋め戻されたと考えられる。

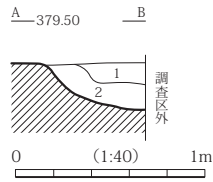
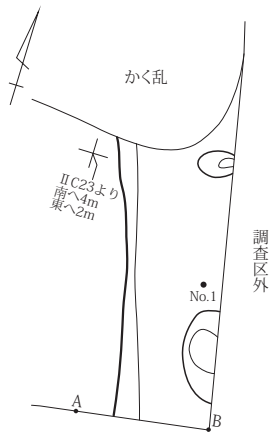
規模：長軸4.72m。短軸2.52m。深さ0.24m。

構造：平面形は隅丸長方形である。底面はほぼ平坦で、立ち上がりは垂直に近い。北東の一部が段状となる。ゴミ穴か。

遺物出土状況：埋土中から遺物が多量に出土している。掲載した遺物は、29は3層、その他は埋土中からの出土である。なお、出土した木製品（35～37）の一部（分析 H28No.13～15）で炭素年代測定及び樹種同定を行った。測定値は紀元1809～1897年で、江戸時代から近代に相当する。樹種は35・36がマツ属複雑維管束亜属、37がコナラ属コナラ節で、重硬な部類に属する木材である（第4章第4節参照）。

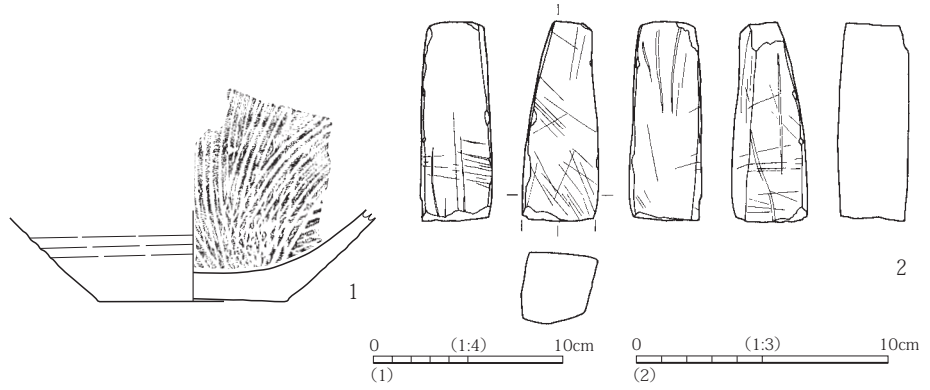
出土遺物：1～6は磁器の碗。1・3～6は染付けで、1の外面には鳥や松などが描かれる。3・4は焼継が施され、4の高台内には焼継印と考えられる朱書きの文字（吉田□□□□）が残る。7は陶器の鉢。内面が花卉状となる。8は磁器の仏飯具。染付けで花が描かれる。9は磁器の蓋。染付けや色絵付けが施される。10は陶器の鍋か。口縁部が受け口状の器形を呈する。11～17は磁器の皿。11は見込みに文様が型押しされる。12～14は染付けで草木などが描かれる。14・15は焼継が施される。14は高台に焼継印と考えられる文字（判読不明）が残る。15は方形で、内面は松竹梅などの陽刻が施される。16・17は輪花小皿。16内面には龍や獅子が、17内面にはタコ唐草が描かれる。18は磁器の徳利。染付で文字などが描かれる。4の底部には焼継印と考えられる朱書きの文字（判読不明）が残る。19は陶器の土瓶。20は陶器の鉢。口唇部に欠損が認められ、煙草（キセル）の灰落としとして使用されたか。底部に焼成後の穿孔が認められ、植木鉢等に再利用されたか。21は土師質土器のほうろくで、内耳部を欠損する。22は陶器の鉢。23は陶器の甕。24～26は陶器のすり鉢。27は陶器の甕か。2次的に被熱して変形している。28は土師質土器の焜炉か。29は鳩笛の破片。頭部から体部と息を吹き込む尾部分の大半を欠損。下部の一部が残存するのみで、

SK5146 (5区)



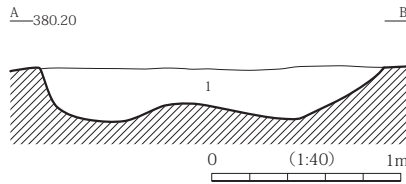
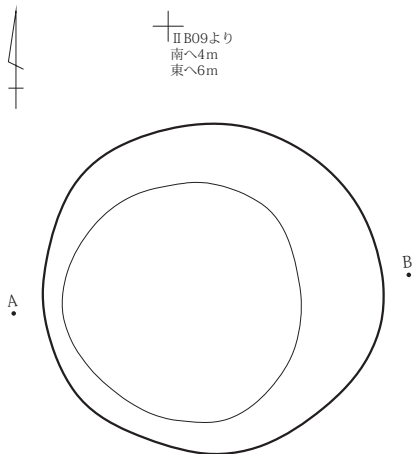
SK5146

- 1 黒褐色 (10YR2/2) シルト。しまりあり。粘性やや強。黄褐色シルトブロック・径 1 ~ 3cm 礫・炭化物少量。
- 2 黒色 (10YR2/1) シルト。しまりあり。粘性強。黄褐色シルトブロック・径 5 ~ 10cm 礫多量。径 3cm 礫少量。



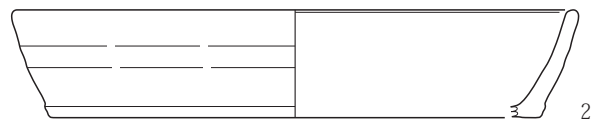
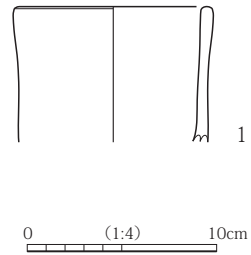
第325図 SK5146 土坑

SK6051 (6区)



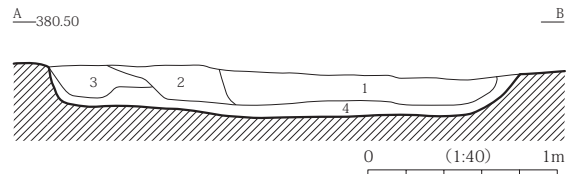
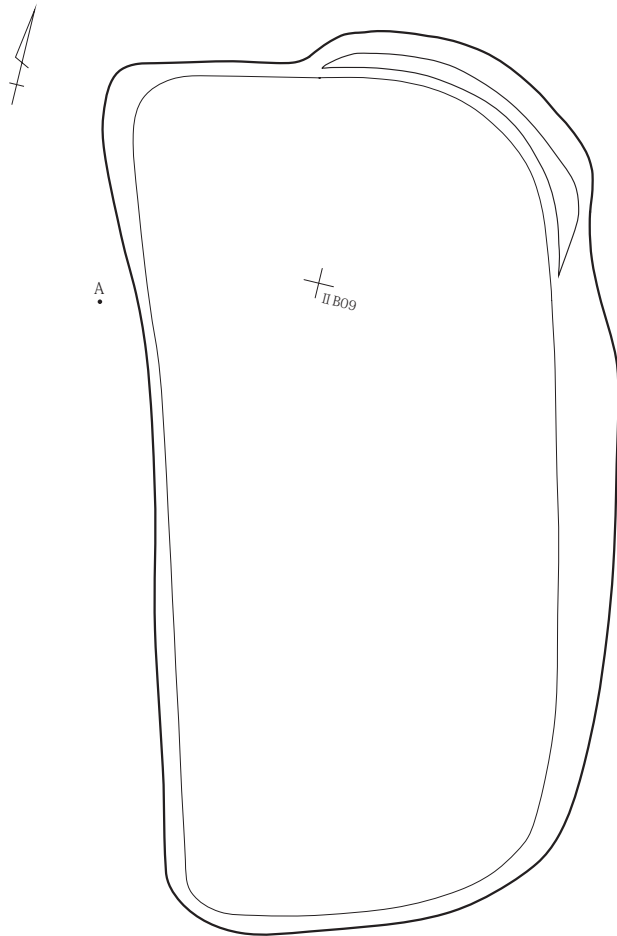
SK6051

- 1 褐灰色 (10YR4/1) 粘土。しまりなし。粘性やや強。径 3cm 褐色 (10YR4/6) 粗砂ブロック混。径 0.5cm 炭化物・焼土粒混。



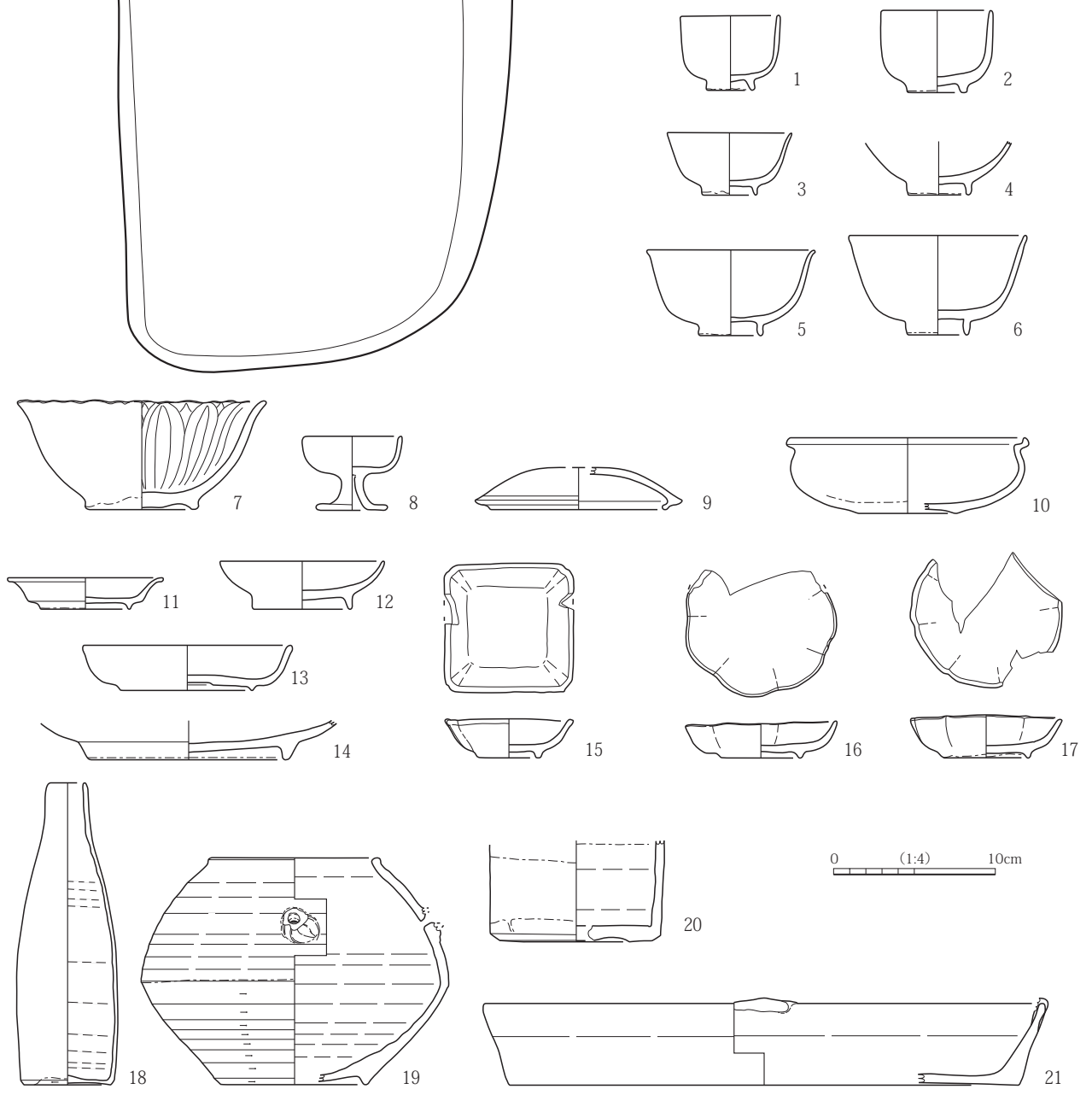
第326図 SK6051 土坑

SK6066 (6区)

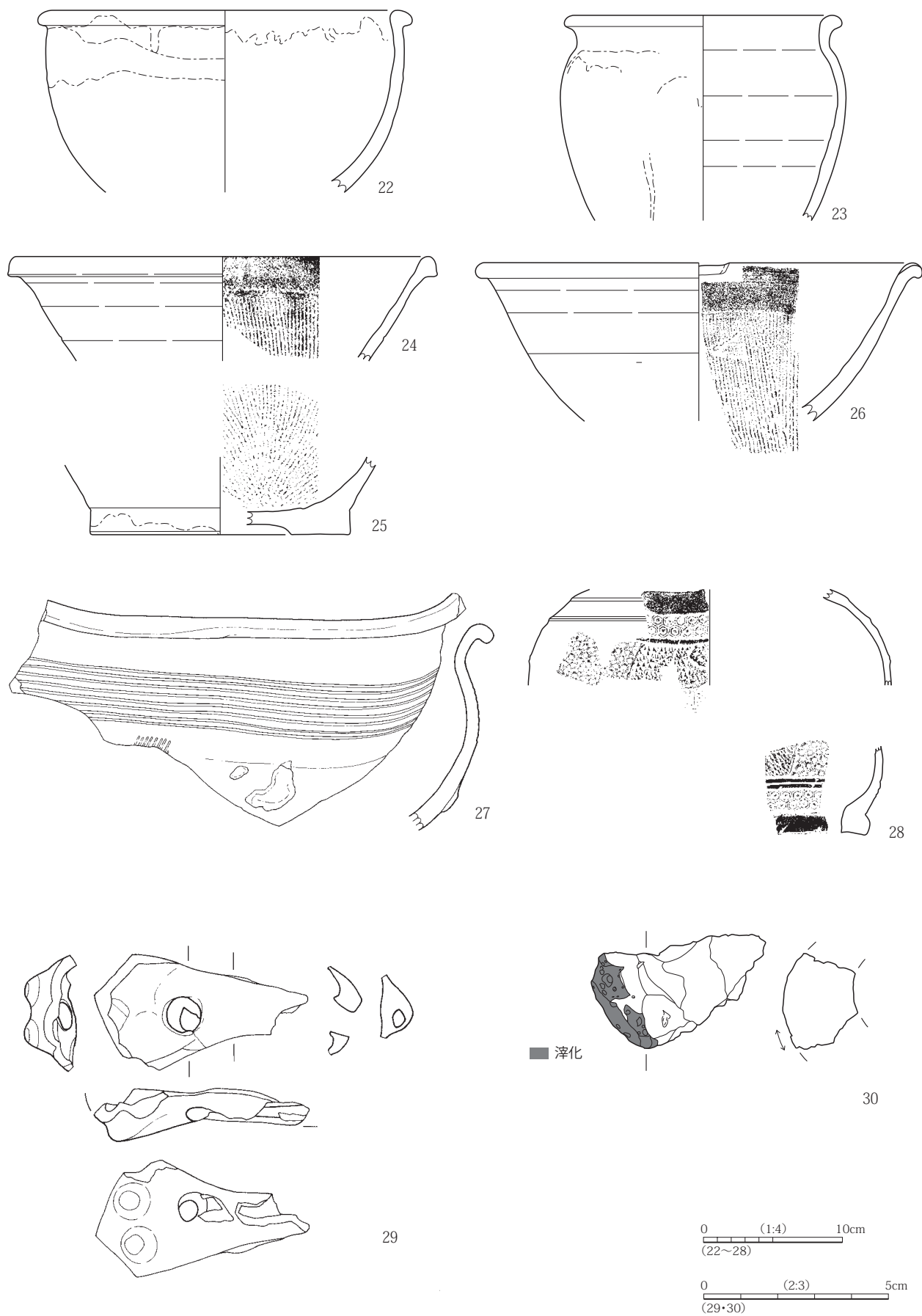


SK6066

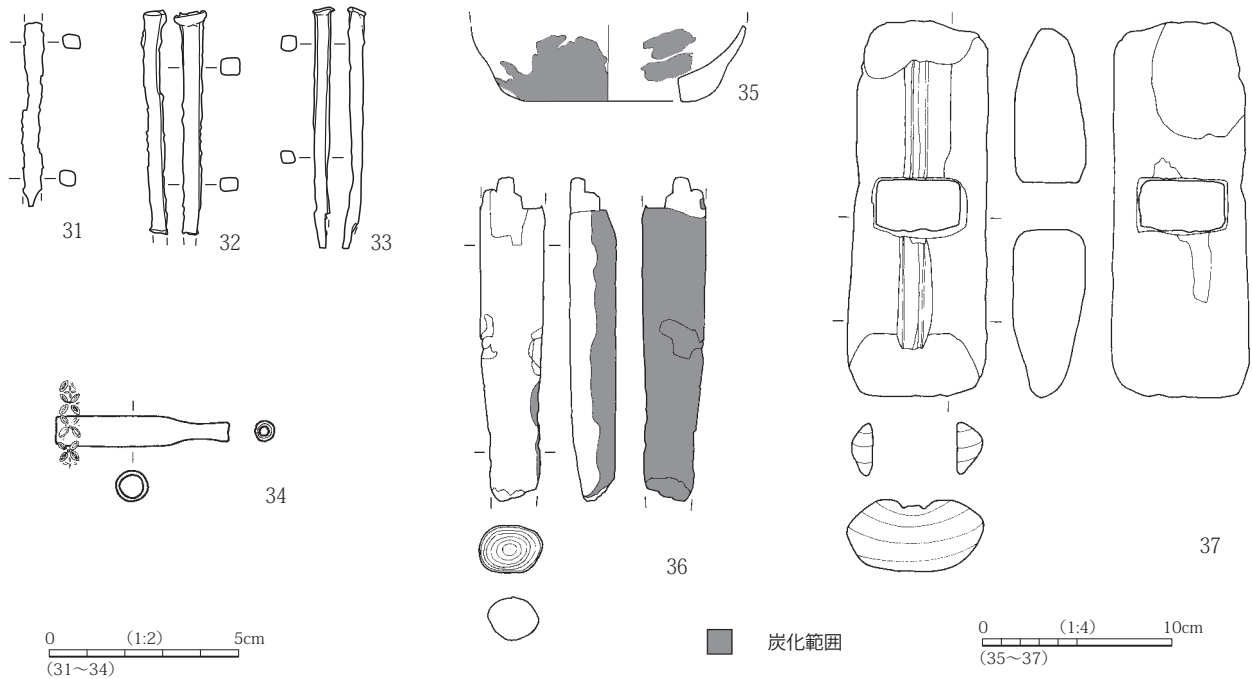
- 1 黄灰色(2.5Y4/1)粘土。しまりあり。粘性強。径5~10cm礫混。
- 2 黄灰色(2.5Y4/1)粘土。しまりあり。粘性強。炭化物混。
- 3 炭化物層。黄褐色・暗灰色粘土少量。
- 4 黒褐色(10YR3/1)粘土。炭化物微量。



第327図 SK6066 土坑



第328図 SK6066 出土遺物 1



第329図 SK6066 出土遺物2

脚の表現と吹き込んだ息が外に出る穴が確認できる。30は鞆の羽口小破片。表面には被熱に因るとされる変色と滓化が認められる。

31は棒状鉄製品である。32、33は鉄釘である。基部下端を欠損し、頭部をわずかに折り曲げているか。34は銅製のキセルの吸口。表面剥離のため判然としないが、小口外面に連続する模様（七宝か）を彫り込んでいる。35は、漆器の容器破片。底から胴部が残存する。内外面に漆が残存するが、内面は剥離が著しい。36は、柄と考えるが上下を欠損してははっきりしない。一部が炭化している。37は用途不明の部材。一部を欠くがほぼ完形と思われる。中央に長方形の孔が穿たれ、長辺の真ん中に溝状の窪みが施されている。

時期：詳細な時期は確定できないが、検出層位と埋土・出土遺物などから近世以降とした。

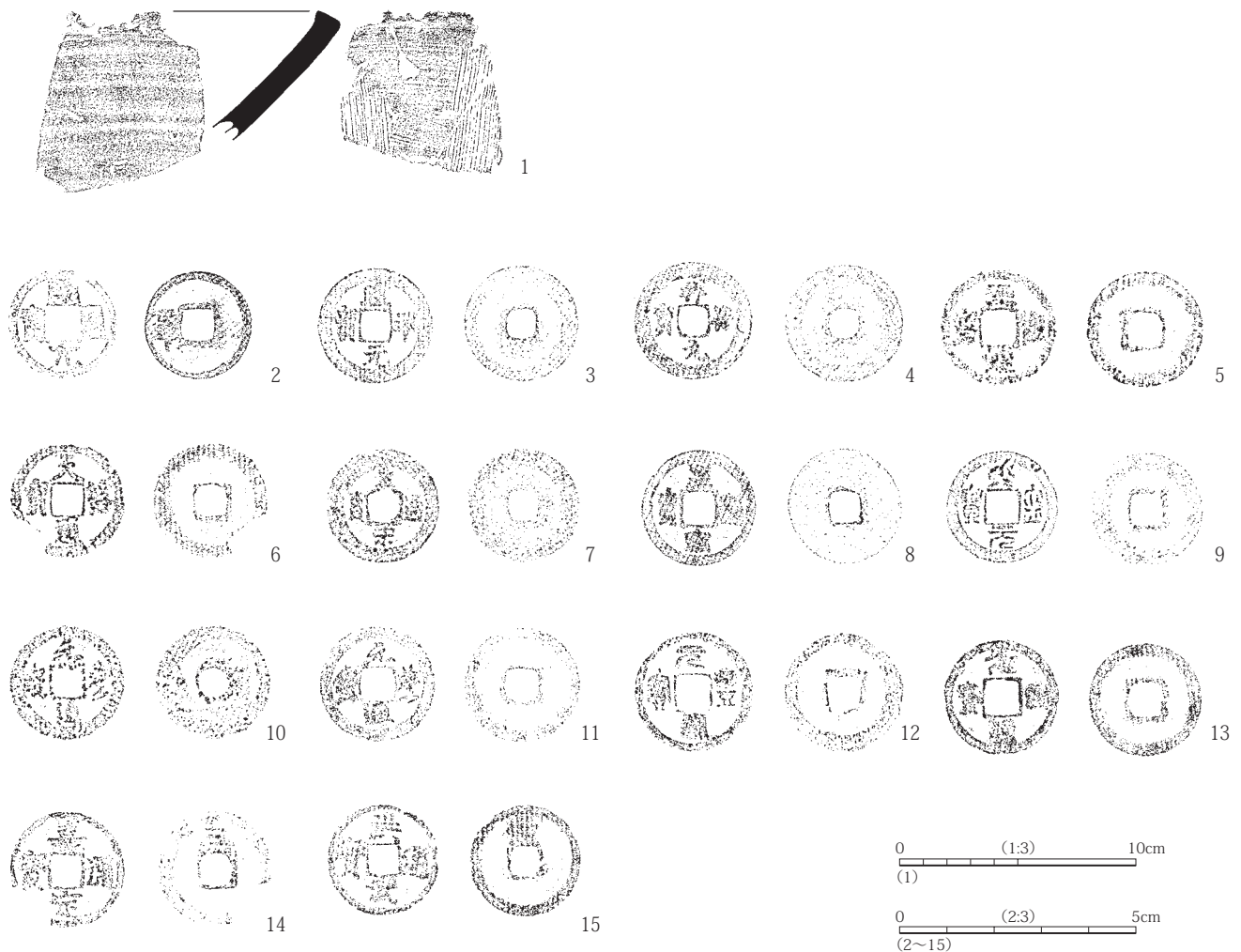
(6) 包含層出土遺物

包含層及び他時期の遺構埋土から出土した当該期の遺物の中で、とくに特筆すべきものを本項に掲載した。

ア) 中世 [第330図 PL102・117]

遺物の出土状況：1は4区調査区壁、2・3・8・9は3区表採、4・10・11・14は3区かく乱、5は1区検出面、6は1区かく乱、7は3区包含層、12は3区排土、13・15は2区かく乱、1263は3区近世以降の溝跡埋土から出土している。

包含層出土遺物：1は須恵器のすり鉢。珠洲産である。1263は中国産の青磁。劃花文碗の口縁部の破片。2～15は渡来銭。2は、開元通寶（真書）か。背面左の一字は判別できない。3は咸平元寶（北宋998初鑄、真書）。4は祥符元寶（北宋1008初鑄、真書）。5・6は天禧通寶（北宋1017初鑄、真書）。7・8は皇宋通寶（北宋1039初鑄）。7は真書、8は篆書。9は熙寧元寶（北宋1068初鑄、篆書）。10～12は元豐通寶（北宋1078初鑄）。10・11は行書、12は篆書。13は元祐通寶（北宋1086初鑄、篆書）か。14は嘉定通寶（南宋1208初鑄）。背面上に「三」。15は洪武通寶（明1368初鑄）。



第330図 包含層出土遺物（中世）

イ) 近世以降 [第331～337図 PL105・106・114・119～123]

遺物の出土状況：近世以降の遺構を多く検出した相ノ木通り（北国街道）周辺（5・6区）と、同じく該期の遺構を検出した桐原牧神社や旧清林寺が面する道（指導中195号線）の周辺（2・3区）の、表土やかく乱から多量の遺物が出土している。掲載した遺物は1・5・13～16・22・23・25・26・28・36・37・40～49・51・57・58・61・62・67・68・71・73・75～94・104～106・108・109・111・112・119～124・M158は2区、3・4・6～8・10～12・17・29～32・39・50・52・56・59・60・95～98・110・113～118・126・127は3区、53・63は4区、24・33・35・38・54～66・69・72・74・99～102・107・125は5区、2・9・19・27・34・70・103は6区からの出土である。

包含層出土遺物：1は磁器の猪口。外面は染付けで、高台内には「九谷」の文字、内面にはひょうたんや馬が色絵付けで描かれる。2～4は磁器の碗。2は焼継が施され、高台内には焼継印と考えられる朱書きの文字（判読不明）が残る。3は染付け型紙摺。焼継が施され、高台内には焼継印と考えられる朱書きの文字（判読不明）が残る。4は色絵付け。焼継が施され、高台内には焼継印と考えられる朱書きの文字（判読不明）が残る。5～7は陶器の碗。5は体部外面に鉄釉で花（菊か）が描かれている。6は鉄釉が掛けられる。8は陶器の小皿。9は陶器の灯明皿。10は陶器の皿。11は磁器のそば猪口。染付で草木が描かれる。12・13は陶器の乗燭。14は磁器の紅皿か。外面には色絵が施される。15は磁器の鉢である。染付型紙摺。花などが描かれている。16は磁器の染付けの花瓶。17は磁器の染付けの徳利。18～21は磁器の猪口。近代以降の戦争時に従軍や凱旋の記念として配られた「記念盃」（大西稔子2013）である。18は内面に「仲磨の月見し國で除夜の鐘 尚平」の文字と桜や星章の一部が描かれる。外面には体部に「□□記念輜重十四」高台内に「九谷」の文字が認められる。19は内面に「満洲派遣 君の為満洲として守備の任 果たして帰る今日ぞ嬉しき 騎兵十四聯隊上等兵」の文字と星章・馬の絵が金色一色で描かれている。また、高台内には、この杯を注文した兵士の名字が書かれている。20は内面に「支那事変記念 國 光」の文字と日章旗・鉄兜などの色絵が描かれている。外面は染付で風景が描かれている。21は胴部から底部の破片で、内面には退色しているが、日章旗と旭日旗が描かれていた痕跡が残る。22～24は統制陶器で統制番号が付されている。22は磁器の碗で、高台内に「瀬812」。23は磁器の瓶で、底部に「岐570」。24は磁器の瓶で、底部は「岐853」。25は陶器の汽車茶瓶。鋳込み生産されている。「鉄道局指定 お茶 尾張□ □ □ あきびんはこしかけの下へ」の文字が認められる。26は磁器の醤油入れ。横浜駅で売られていた崎陽軒のシウマイに入っていたものである。ひょうたん型で団扇を持つ「ひょうちゃん」が描かれる。27は土師質土器の火鉢。内面に印刻が認められる。28～30は泥面子である。28は芥子面、わずかな欠損があるがほぼ完形。表面には七福神の大黒天が立体的に表され、裏面は平らで指抑え時の指紋が残る。29は人型だが、頭部を欠損。背面を含め全体が立体的な作りだが、全体が摩耗している。底面に径0.3cm 深さ1.2cmの孔が穿たれている。30は面打で楕円盤状の完形。表面には貝殻を押し当てたようなヒダ状の模様、裏面は平らで指抑えの痕跡があるが、全体にやや摩耗している。31は欠損しているが、本来は円形と思われる土製品。器面は滑らかで摩耗はみられない。裏面には「み」の陽刻（エンボス）が、側面には3本1組の縦刻みが3か所確認できる。平らで指抑えの痕跡が確認できる。蓋のようなものか。32は土器片加工板。不整な隅丸方形で中央に穿孔している。縁辺を打ち欠いて整形している。33は土製模造貨である。表面に「一分銀」、裏面には「定 銀座常是」が陽刻で確認がある。ただし、「銀」「座」「是」には省略がみられる。一分銀は天保8（1837）年～明治2（1869）年に鑄造された貨幣である。34は鞆の羽口破片。被熱による変色、滓化や溶解が認められる。断面観察から、胎土に植物を混入していることがわかる。

35は泥岩製の硯の破片。36は安山岩製の墓石。正面に「釈成□不退位」、右側面に「天保二辛卯四月廿一日」、左側面下方に「金井□」が確認できる。37は安山岩製の台石か。38は安山岩製の石臼の上臼。上

面には供給孔と軸孔が確認でき、軸孔は貫通している。側面に引手孔が確認できる。

39は鉄製の刀子。切っ先を欠損している。茎端部は欠けている可能性もある。40～49は鉄製の釘。50は銅製のキセル雁首。表面の大部分に暗赤褐色の被膜がある。火皿奥の脂返し部分には充填物がある。51～54は銅製のキセル吸口。51-1は内側に円筒状の炭化材が残存していた(51-2)。吸口に差し込まれていた羅字の一部か。52・53は口付先端を欠損、54は表面に若干の剥離がみられる。55・56は鉄製の火打金。端部は細く上部へ折り曲げている。56には歪みがある。57は足袋などに使用される金具、コハゼと思われる銅製品である。58は不明銅製品。円形を呈し、「神 丹」の文字や亀の絵などの陰刻がある。神(仁)丹容器の蓋か。59は碗型滓(鉄滓)である。60は銅製の飾り金具か。左右に展開する可能性がある。両面に松と月を切り出しや線彫りで表現し、他に3点文などがある。61～66は寛永通寶(古寛永、日本1636～1659)と考えられる。65は遺存状態がやや悪い。67～72は寛永通寶(新寛永、日本1668～1683)で、背面に文字がある。67～71は背面上に「文」の文銭。72は背面上に「小」。73・74は寛永通寶(新寛永、日本1697～1747、1767～1781)と考えられ、背面上に「元」。75～103は寛永通寶(新寛永、日本1697～1747、1767～1781)と考えられる。104～107は寛永通寶の四文銭(日本1769～)、背11波である。104は内孔右下を円形に欠損。108～110は文久永寶(日本1863～1867?)背11波である。「文」が草書体の「草文」。108は「寶」略字の「玉宝(略宝)」。111～118は鉄銭である。鑄著しい。119は五銭銀貨(日本1873(明治6)年発行開始)。120は半銭銅貨。明治19年発行。121～124は一銭銅貨(日本1916(大正5)年発行開始)である。表図柄は「一銭」と唐草、裏図柄は桐。121が大正7年、122が大正8年、123は大正11年、124は昭和10年である。M158は一銭銅貨、発行年は明治15年、写真のみ掲載した。

125は、曲げ物の底板。約3/4を欠損する。年代測定及び樹種同定(分析H31No.16)を行った。測定値は紀元前10082～9878年で、縄文時代草創期となったが、撥水性や耐久性を高めるために石油由来の原料を含む液体が含侵された可能性が考えられ、製品自体の年代は得られなかった。樹種はスギで、割裂性や耐水性が比較的高い材である(第4章第4節参照)。126は、曲物の底板。約半分を欠損。小孔が2か所に穿たれている。年代測定及び樹種同定(分析H27No.6)を行った。測定値は紀元1678～1954年で、江戸時代から昭和時代に相当する。樹種はアスナロで、製材しやすく耐久性が高い材である。(第4章第4節参照)。127は桶の底板か。年代測定及び樹種同定(分析H27No.7)を行った。測定値は紀元1669～1954年で、江戸時代から昭和時代に相当する。樹種はケヤキで、耐久性・保存性が高水湿によく耐える材である(第4章第4節参照)。

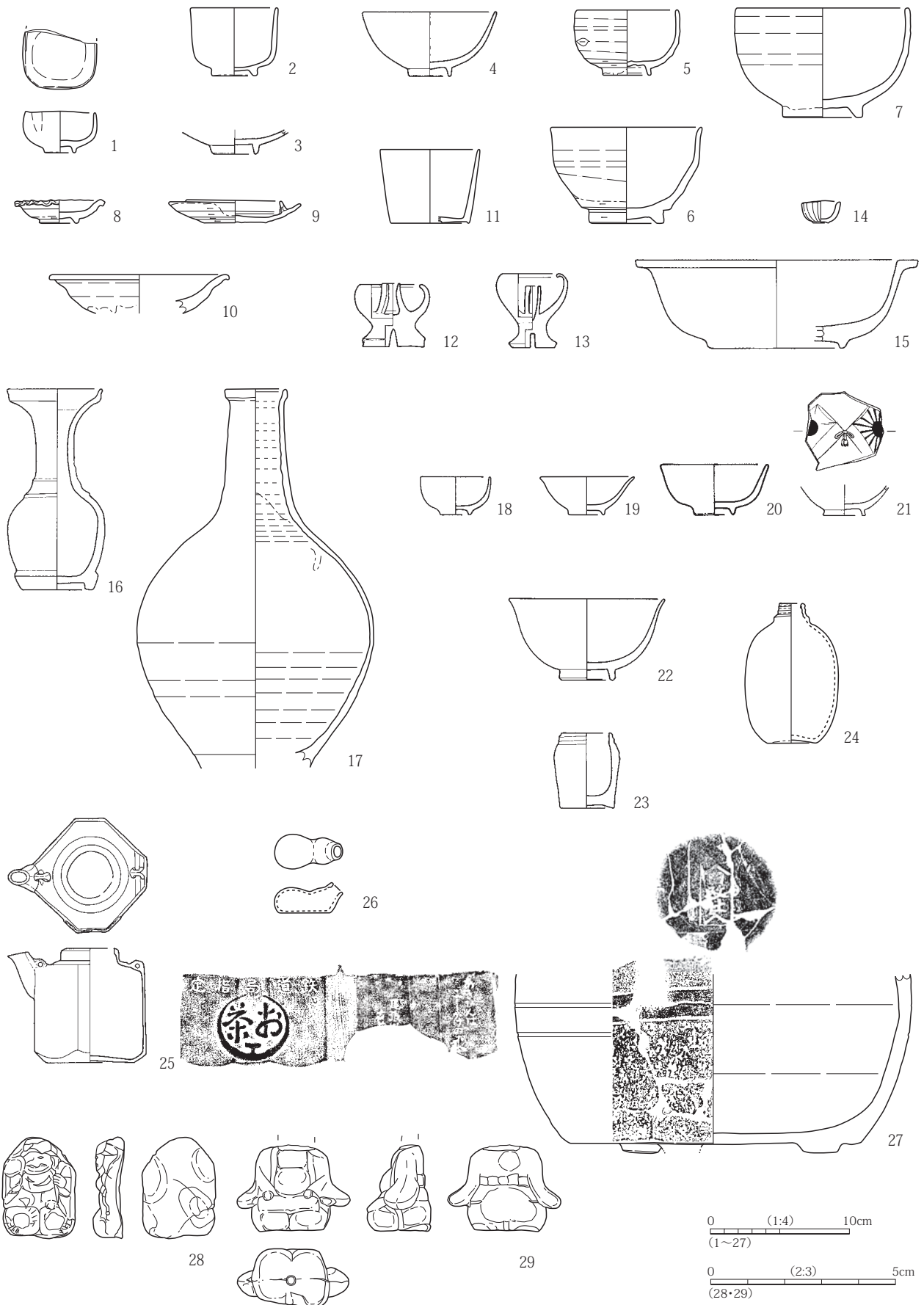
128～133は薬瓶。128は濃青色半透明ガラス瓶、胴部に「クラウド」の陽刻(エンボス)がある。イボやタコなどの治療薬の瓶と思われる。129は青色半透明、胴部に「東亜」、「神薬」の陽刻がある。一般薬瓶である。130は茶色半透明、胴部に「東京都電気局共済組合」の陽刻が確認できる。「東京市電気局共済組合「一粒丸」の瓶。昭和10年代のもの」という例が日本ガラス協会HPの「ガラスびんの歴史」で示されており、これに類するものと思われる。131は茶色半透明、胴部側面に「K. H. L.」、底部に「4」「マーク」「K」の陽刻がある。ビオフェルミン製薬の整腸剤「ビオフェルミン」瓶と思われる。132は無色透明、底部に「17」、「S(囲いあり、三共製薬の商標)」、「Y」の陽刻がある。三協製薬の薬瓶である。133は淡青色透明、胴部に「EYE WATER」、「ROHTO」の陽刻がある。ロート製薬のスポイト一体型目薬瓶、(両口式点眼瓶、1931～)である(町田忍2003)。134～136は白髪染めの瓶。134は淡青色半透明、135は淡緑色半透明で、胴部に「君か代」(「か」は「可」の変体仮名で表記)の陽刻がある。135は口部と胴の一部を欠損する。明治43年から発売した白髪染め染「君か代」の瓶である。136は無色透明、胴部に「黒蝴蝶」、「宅間謹製」の陽刻がある。明治42年から発売した白髪染め染「黒蝴蝶」の瓶である。「胡」と「蝴」の2種類あるが「蝴」を用いた方が古いようである。137は化粧瓶と思われる。無色透明で、胴部側面に「ゲ

ンソ液]、「GENSO」、底面に「元4素（右→左）」の陽刻がある。138は繊維染料瓶である。無色透明で、胴部に「みやこ染め」（「こ」は「古」の変体仮名で表記）、底部に「●（注3）」（注3：「●」は「入」の下に「ト」）、「A」、「16」の陽刻が確認できる。家庭用染料「みやこ染」の瓶である。139・140は文具瓶。ともに無色透明で、139は底部に「S」を囲った陽刻、140は底部に「SIMCO」をデザイン化した陽刻が確認できる。139はサムライインキ、140は篠崎インキのインク瓶である。141・142は、いずれも無色透明ガラス瓶で、味の素株式会社の化学調味料「味の素」瓶である。141が古く、142は新しくなると思われる。141の胴部横断面は横長十二角形で、底部に「味の素（右→左）」「16」の陽刻がある。142はスクリー栓で、胴部横断面は横長十二角形。底部に「AJINOMOTO」「5」の陽刻がある。143は無色半透明で、ガラス内に気泡が多くある。小型の把手付高坏状を呈し、戦前から戦後位に販売されたペロペロと呼ばれた舐め菓子瓶（食用瓶）と思われる。144は酒瓶である。茶色半透明で、胴上部に「TRADE Ⓞ MARK（商標）」、胴下部に「DAINIPPON BREWERY CO LTD」、底部に「☆」、「14」、「16」の陽刻が確認できる。大日本麦酒（明治39年～昭和24年）のビール瓶である。145～147は器種用途不明ガラス。147は無色透明で水晶の結晶のような八角柱、145は濃青色半透明の円形、146は乳白色半透明の板状を呈する（山本孝造1990、櫻井準也2006、平成ボトル倶楽部2017）。

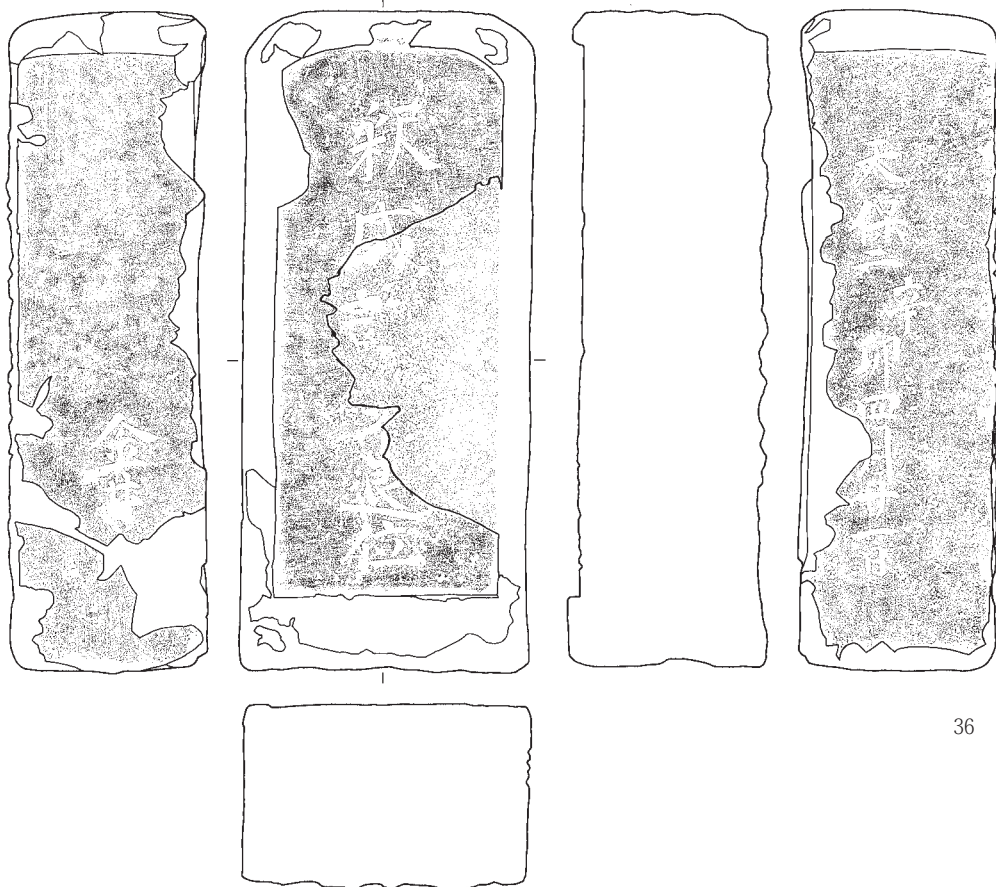
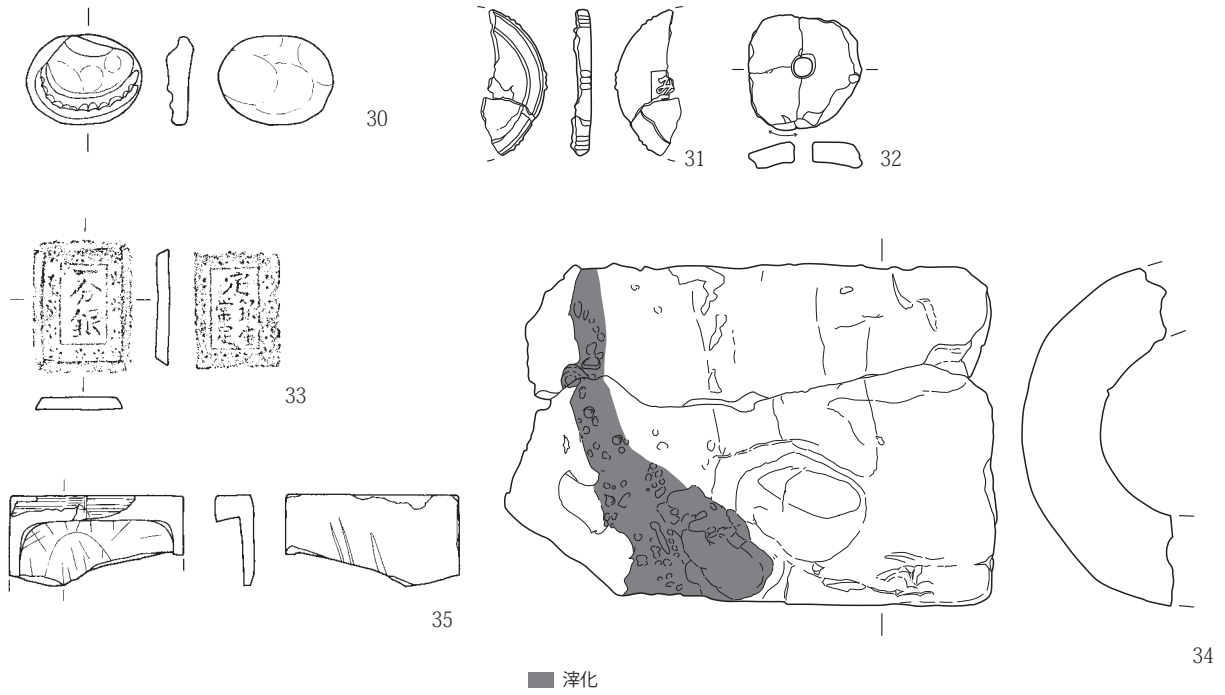
この項に掲載した遺物は、主にかく乱とした現代のゴミ穴様の埋土やその周辺から出土しており、見逃されがちな遺物である。しかし、「記念盃」や「統制陶器」などは戦時中の人々の生活や世情などを考える資料として、また、「汽車茶瓶」や「薬瓶・ビール瓶」などは現在も形や材質を変えて使われているものでもあり、私たちの生活の変化を考える資料として重要な遺物と考える。

参考文献

- 山本孝造 1990 『びんの話』（社）日本能率協会
 町田 忍 2003 『懐かしの家庭薬大全』 角川書店
 櫻井準也 2006 『ガラスの考古学』 八木書房
 大西稔子 2013 テーマ展「平和のいしずえ 2013」パンフレット 栗東歴史民俗博物館
 平成ボトル倶楽部 2017 『日本のレトロびん』 グラフィック社

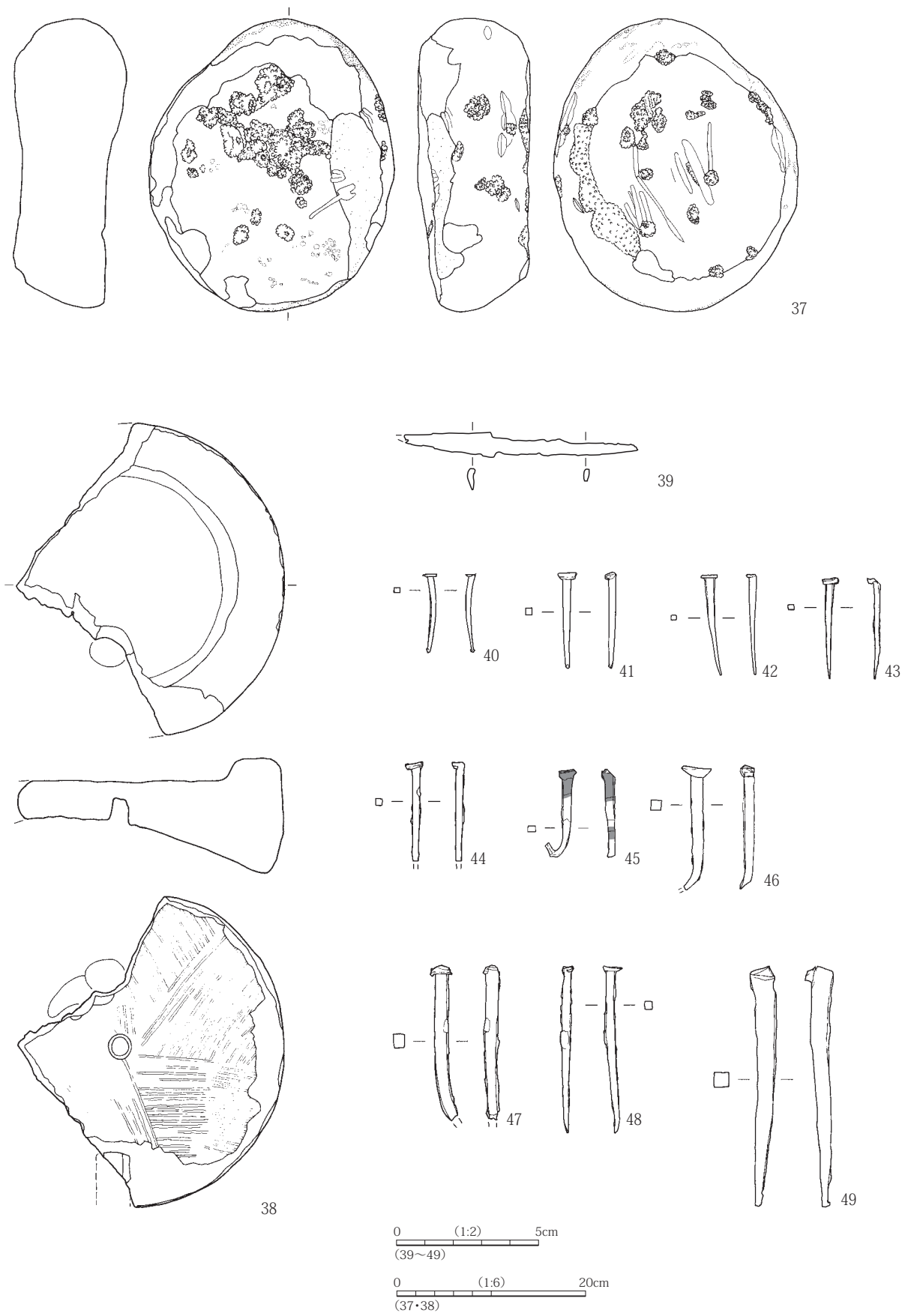


第331図 包含層出土遺物（近世以降1）

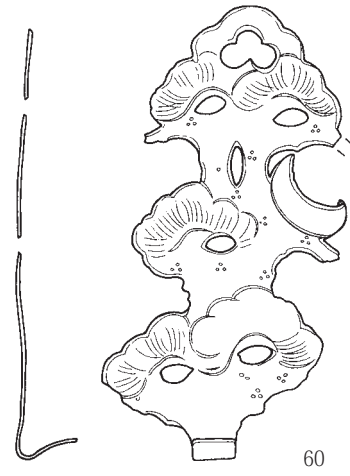
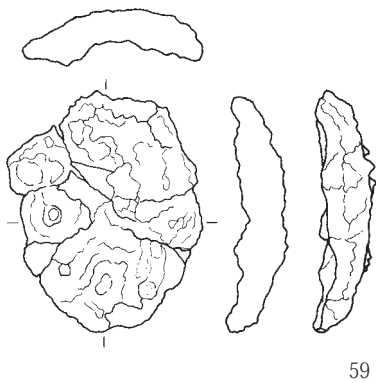
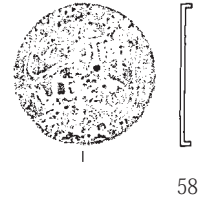
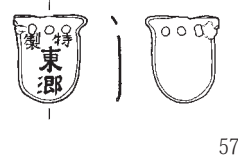
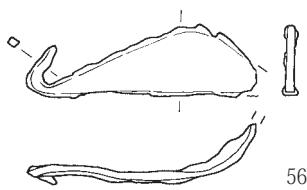
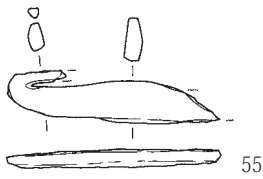
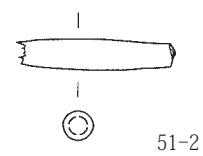
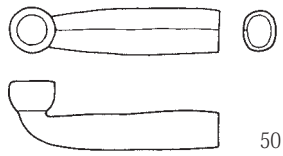


0 (2:3) 5cm (30・31・33・34) 0 (1:3) 10cm (32・35) 0 (1:6) 20cm (36)

第332図 包含層出土遺物（近世以降2）



第333図 包含層出土遺物（近世以降3）



0 (1:2) 5cm
(50~60)

0 (2:3) 5cm
(61~72)



61



62



63



64



65



66



67



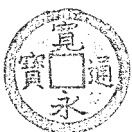
68



69



70

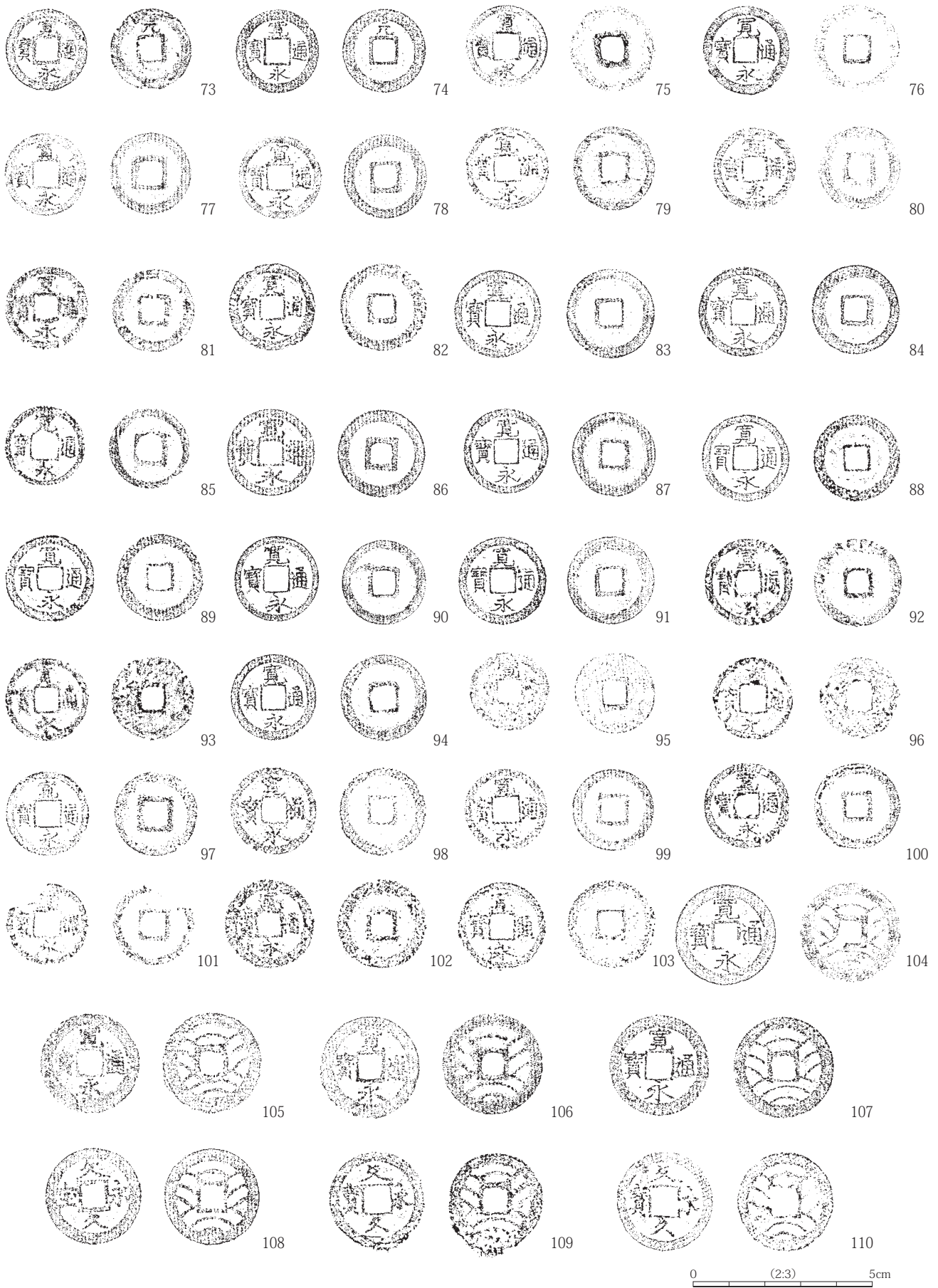


71

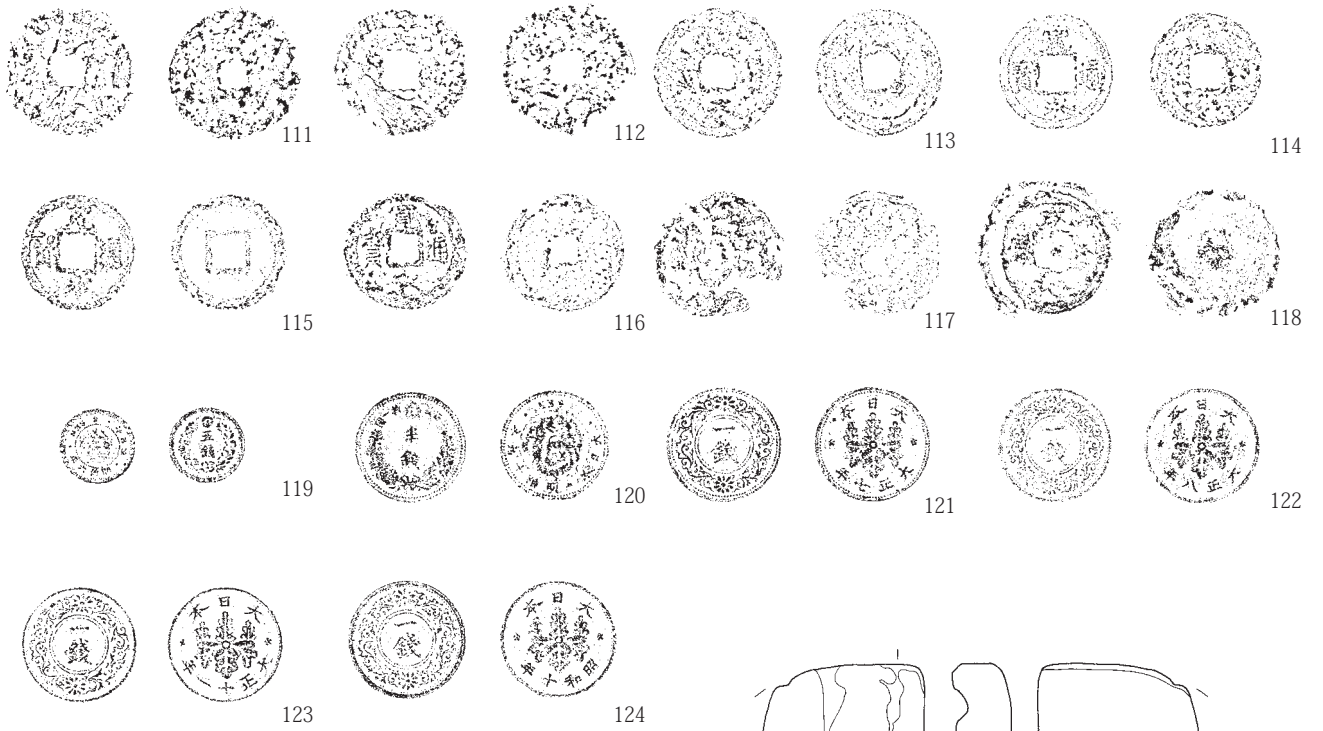


72

第334図 包含層出土遺物（近世以降4）



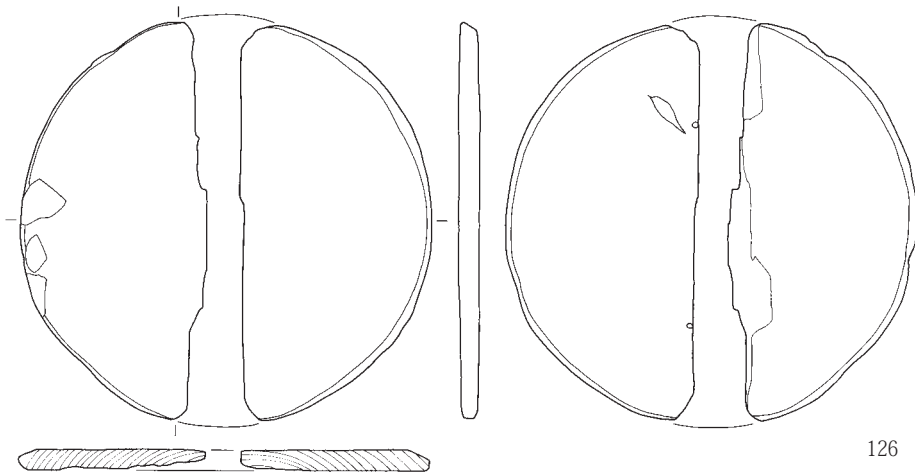
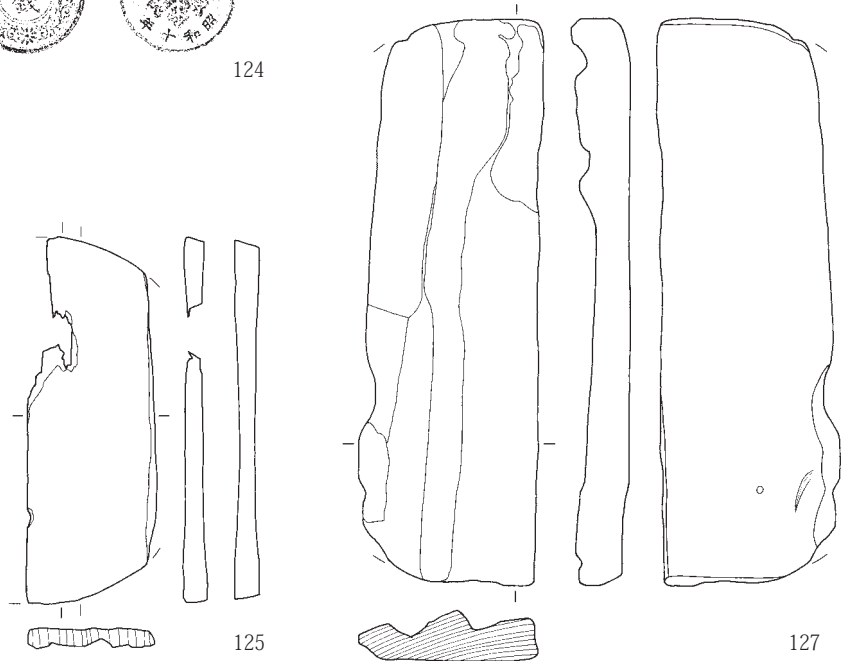
第335図 包含層出土遺物（近世以降5）



0 (2:3) 5cm
 (111~124)

0 (1:4) 10cm
 (125~126)

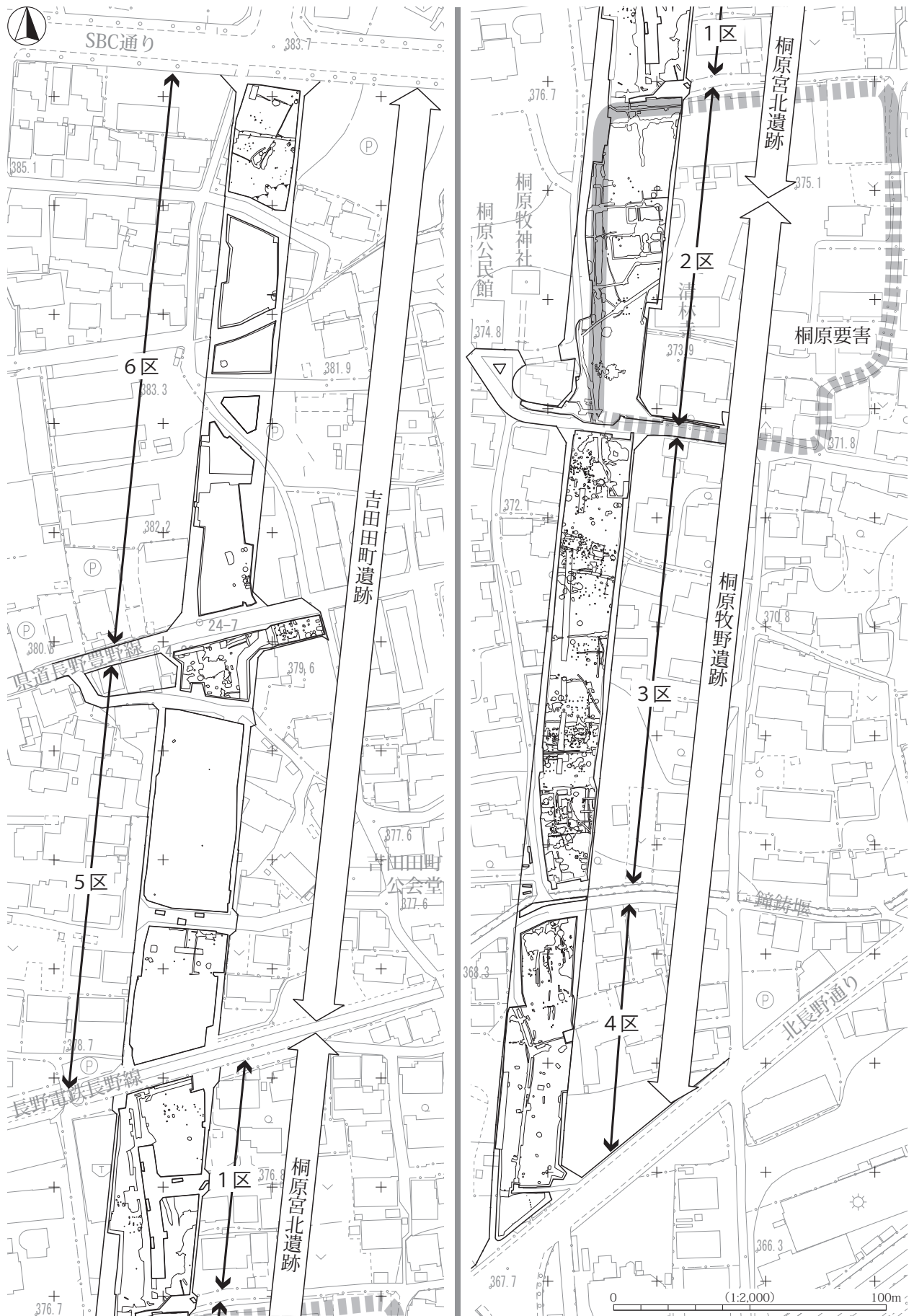
0 (1:6) 20cm
 (127)



第336図 包含層出土遺物（近世以降6）



第337図 包含層出土遺物（近世以降7）



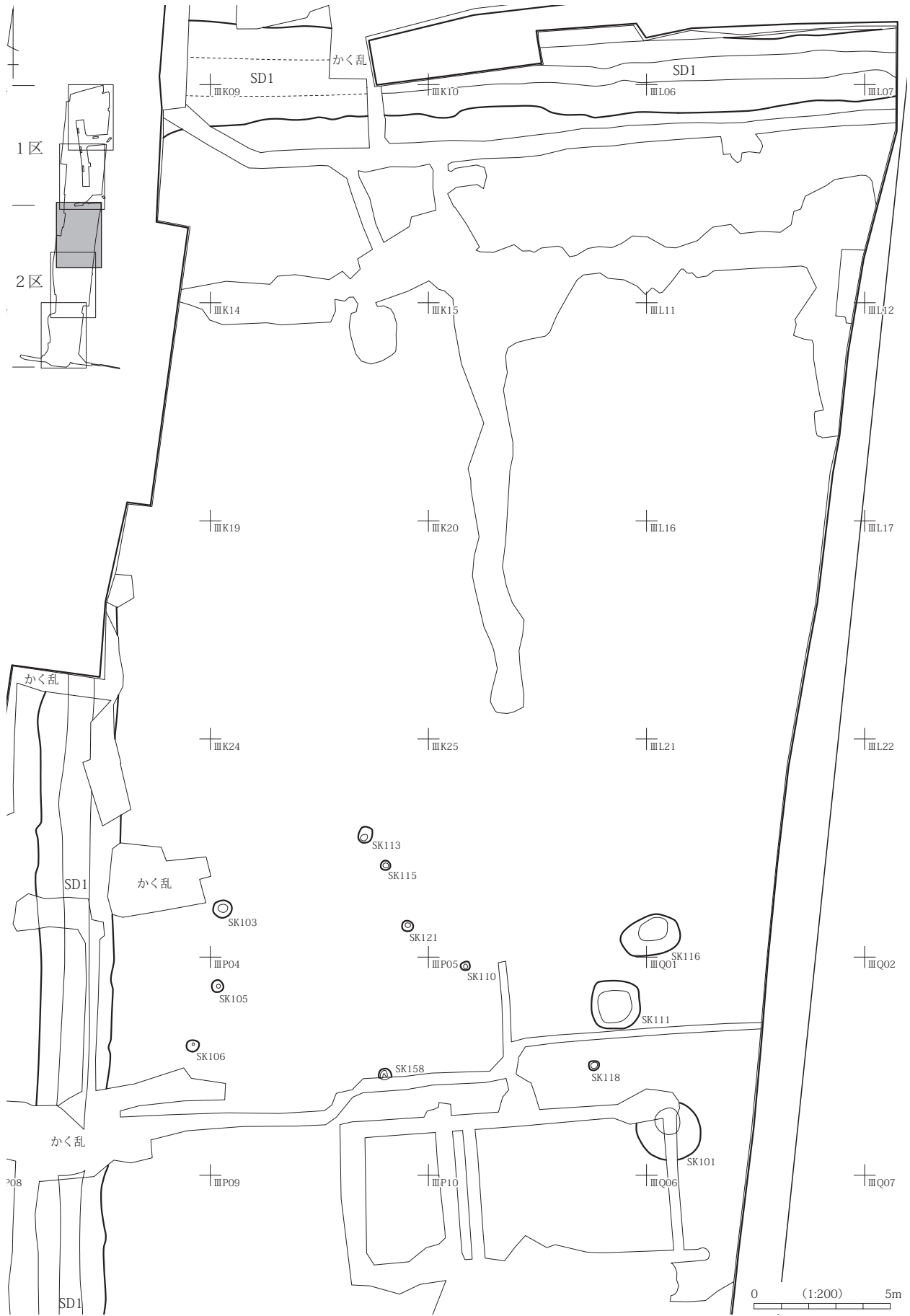
第338図 遺構配置図 中世以降 (1:2,000)

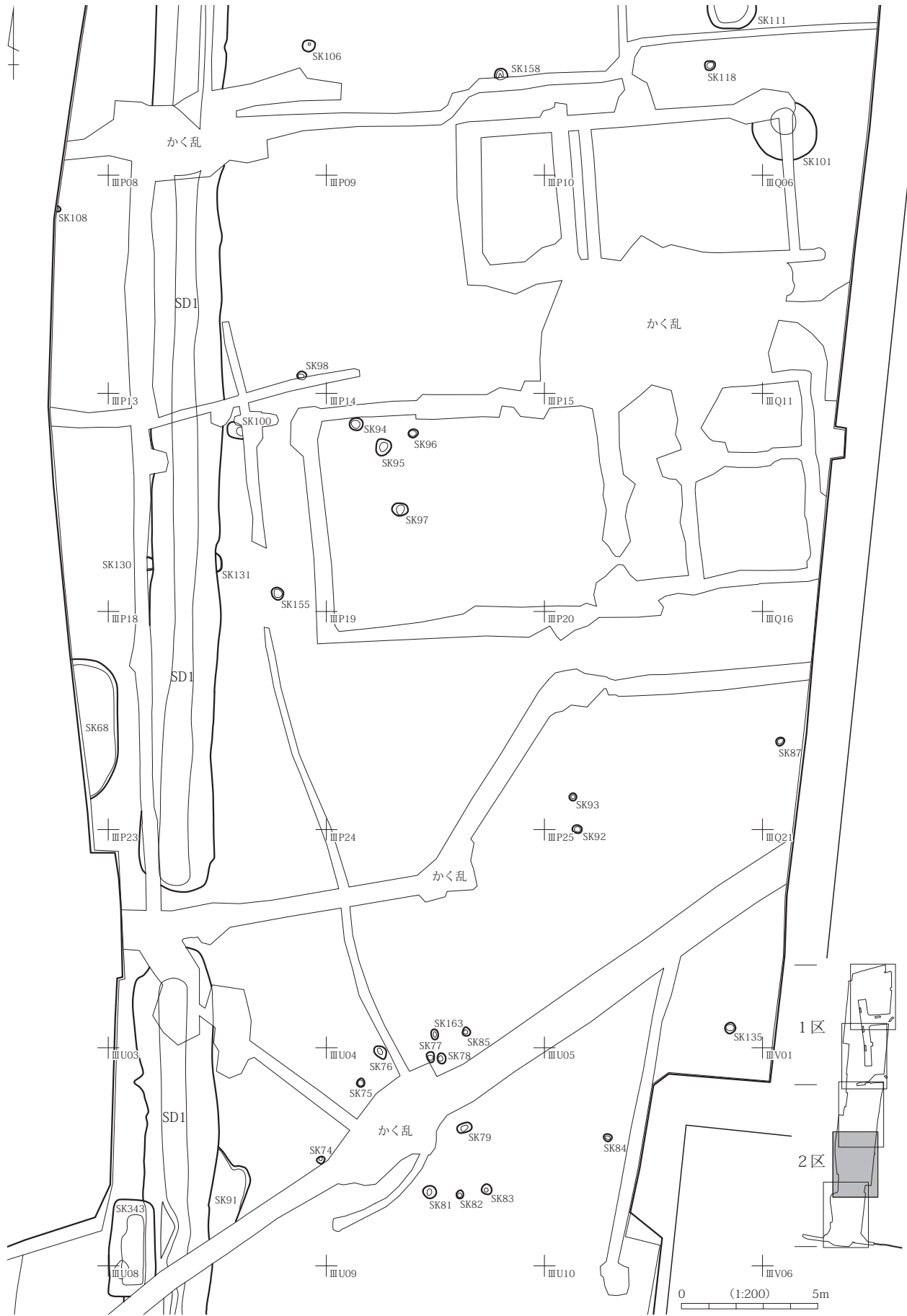


第339図 遺構分布図 中世以降1 (1:200)

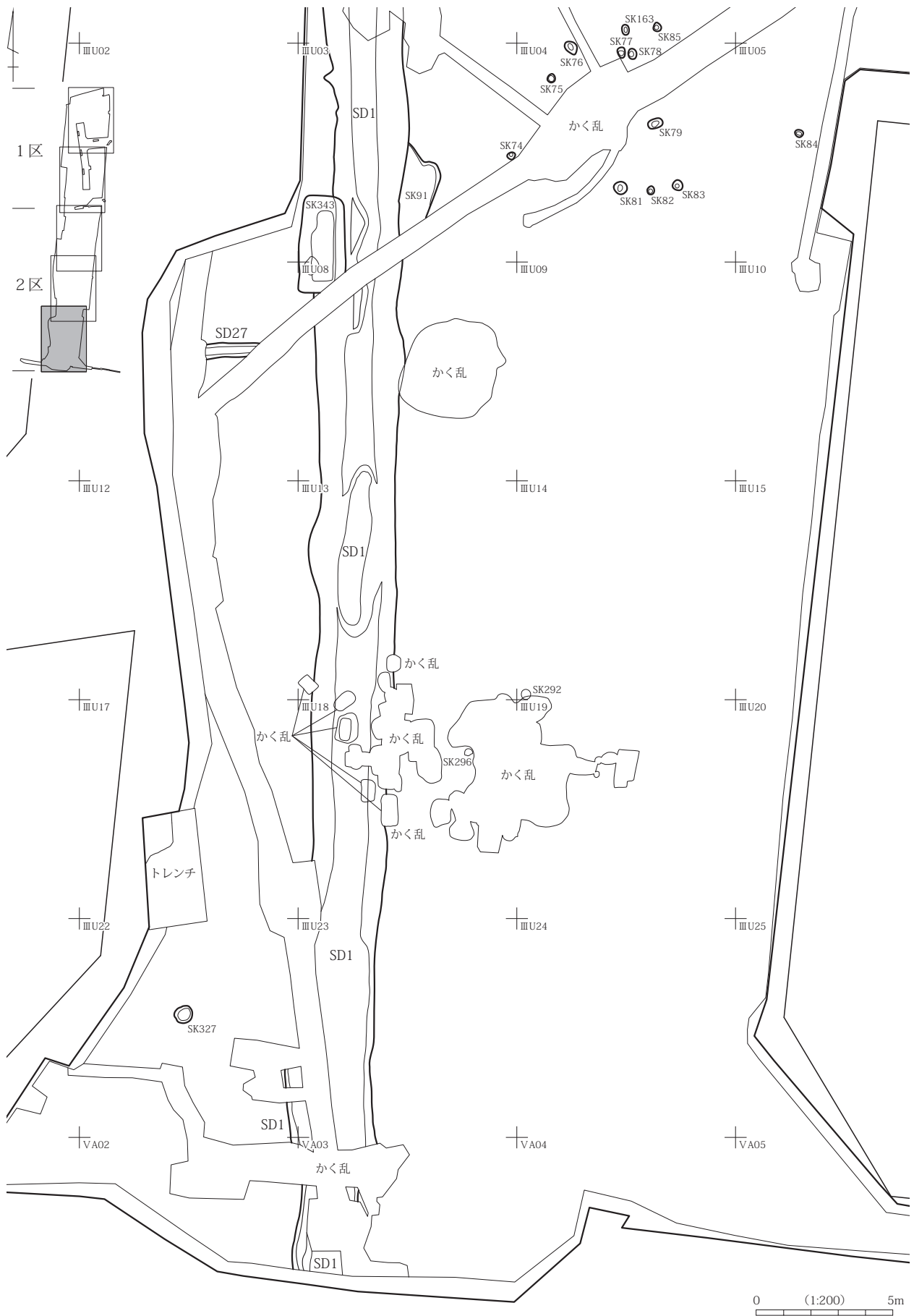


第340図 遺構分布図 中世以降2 (1:200)

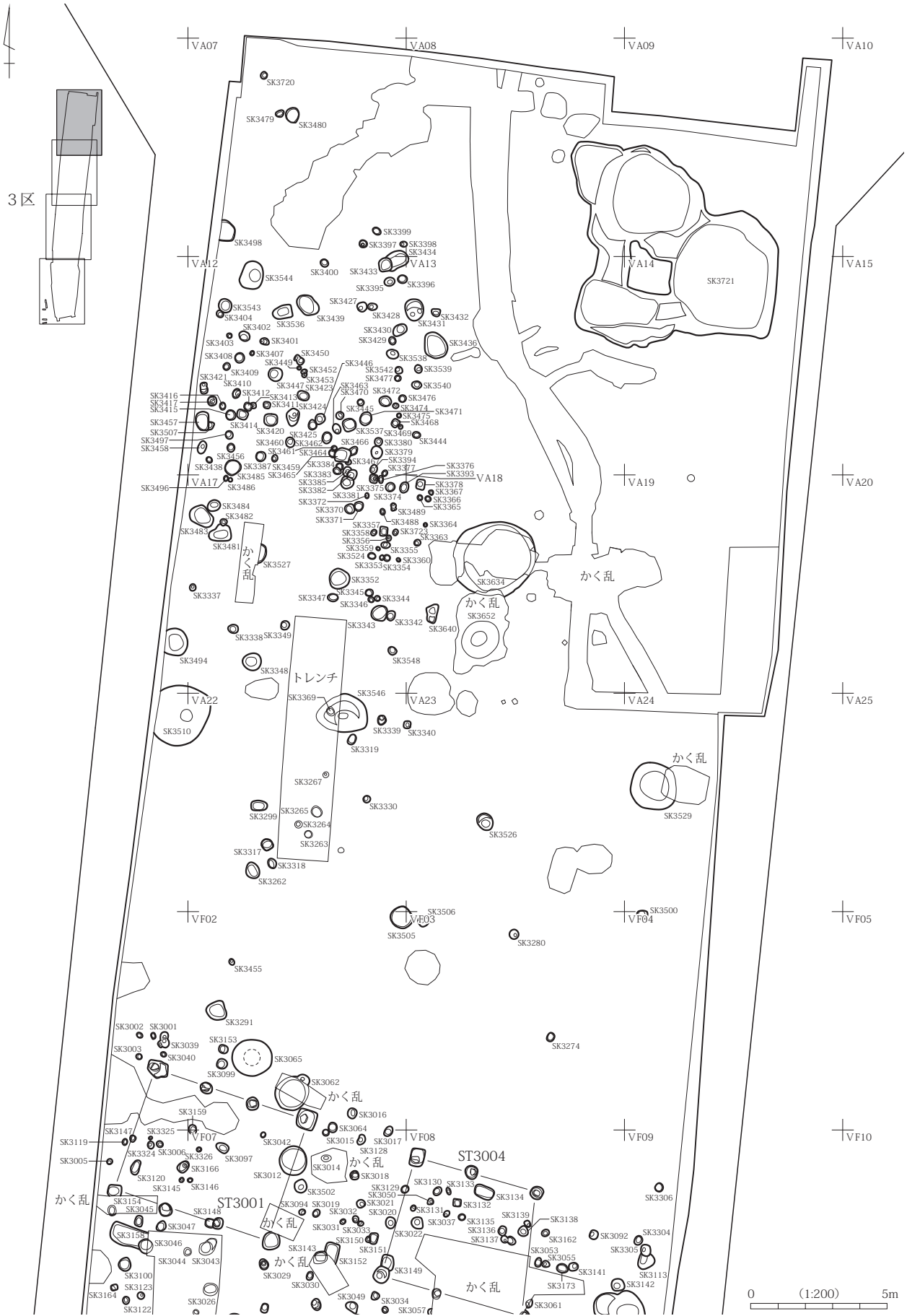




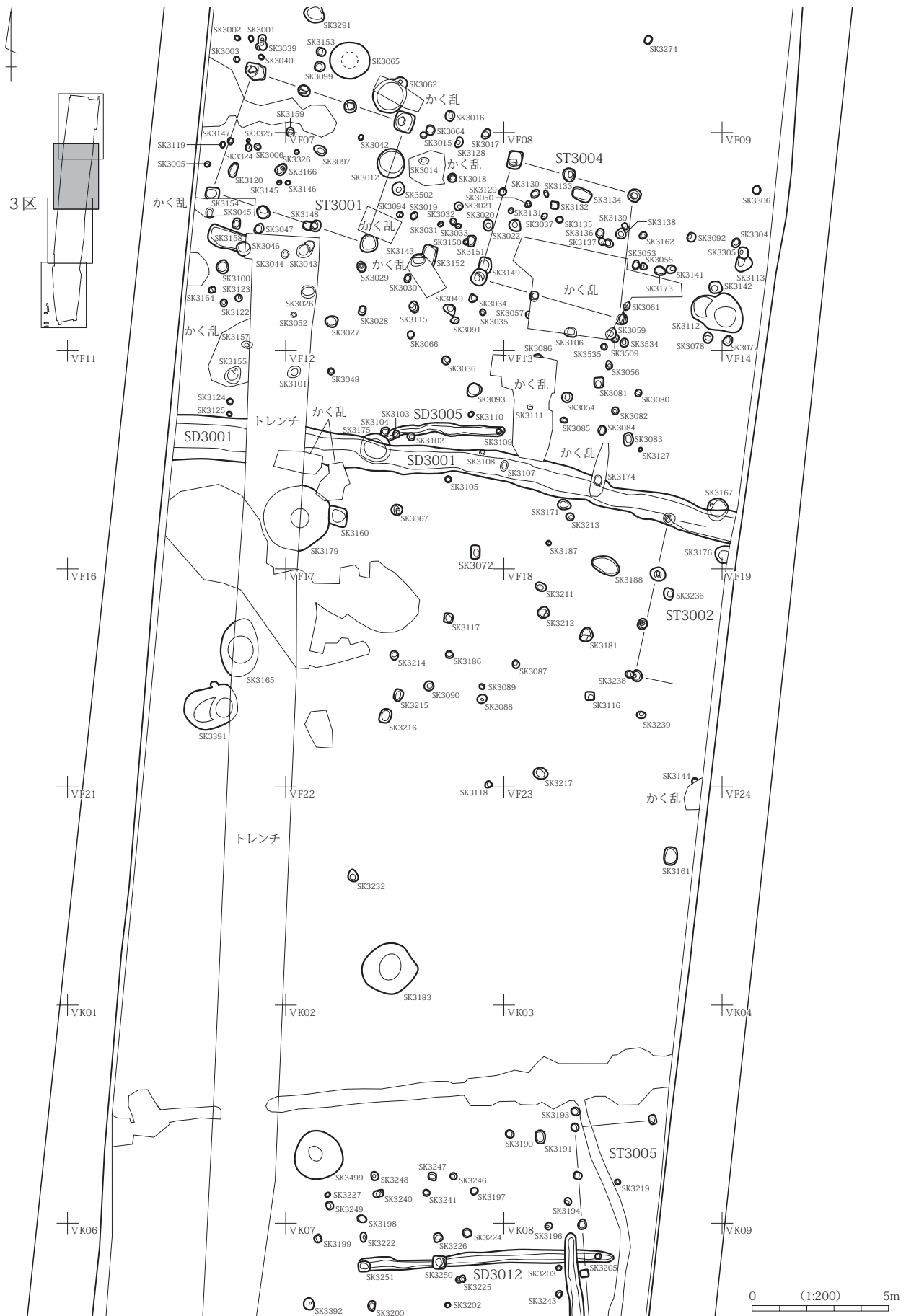
第342図 遺構分布図 中世以降4 (1:200)



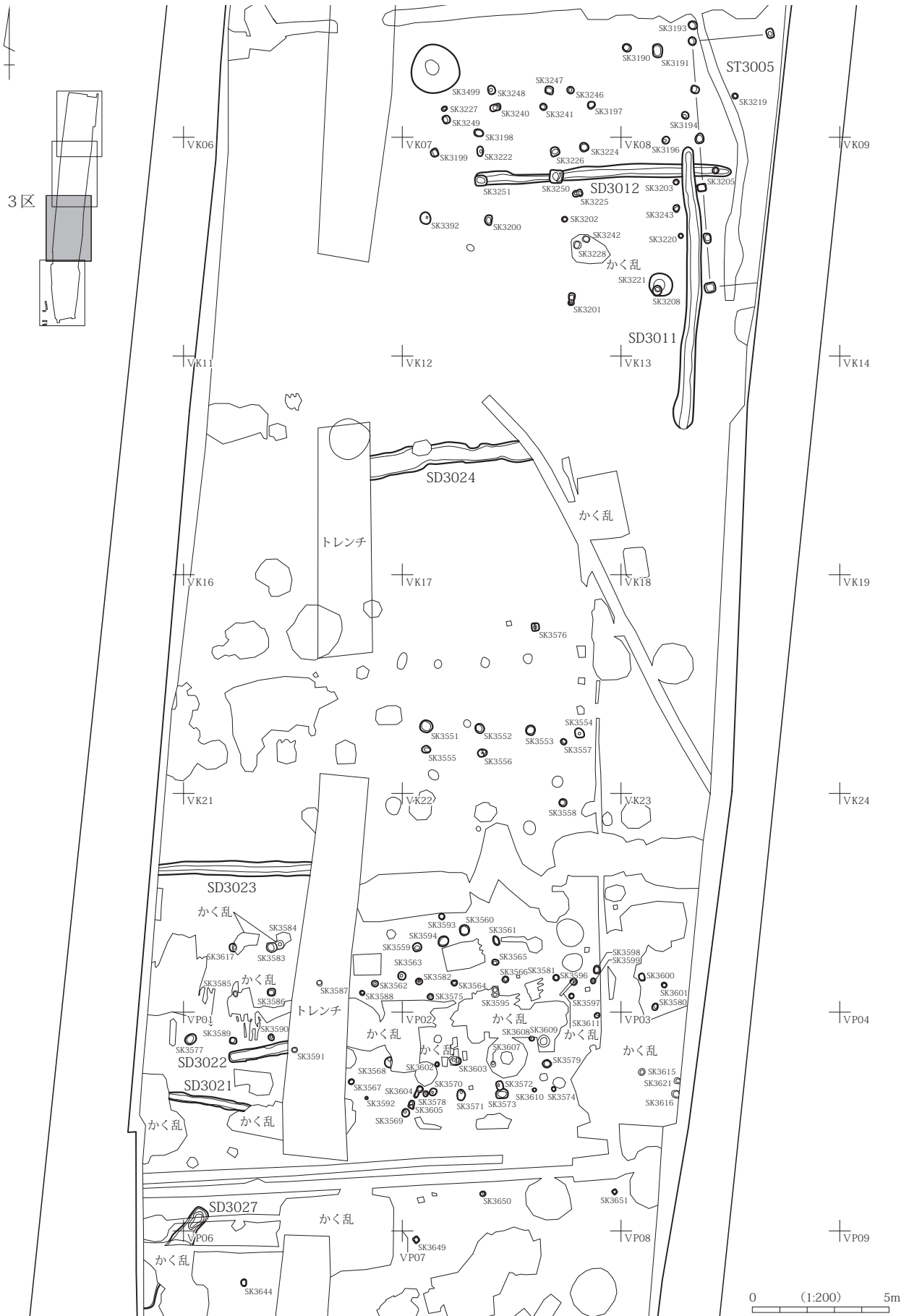
第343図 遺構分布図 中世以降5 (1:200)



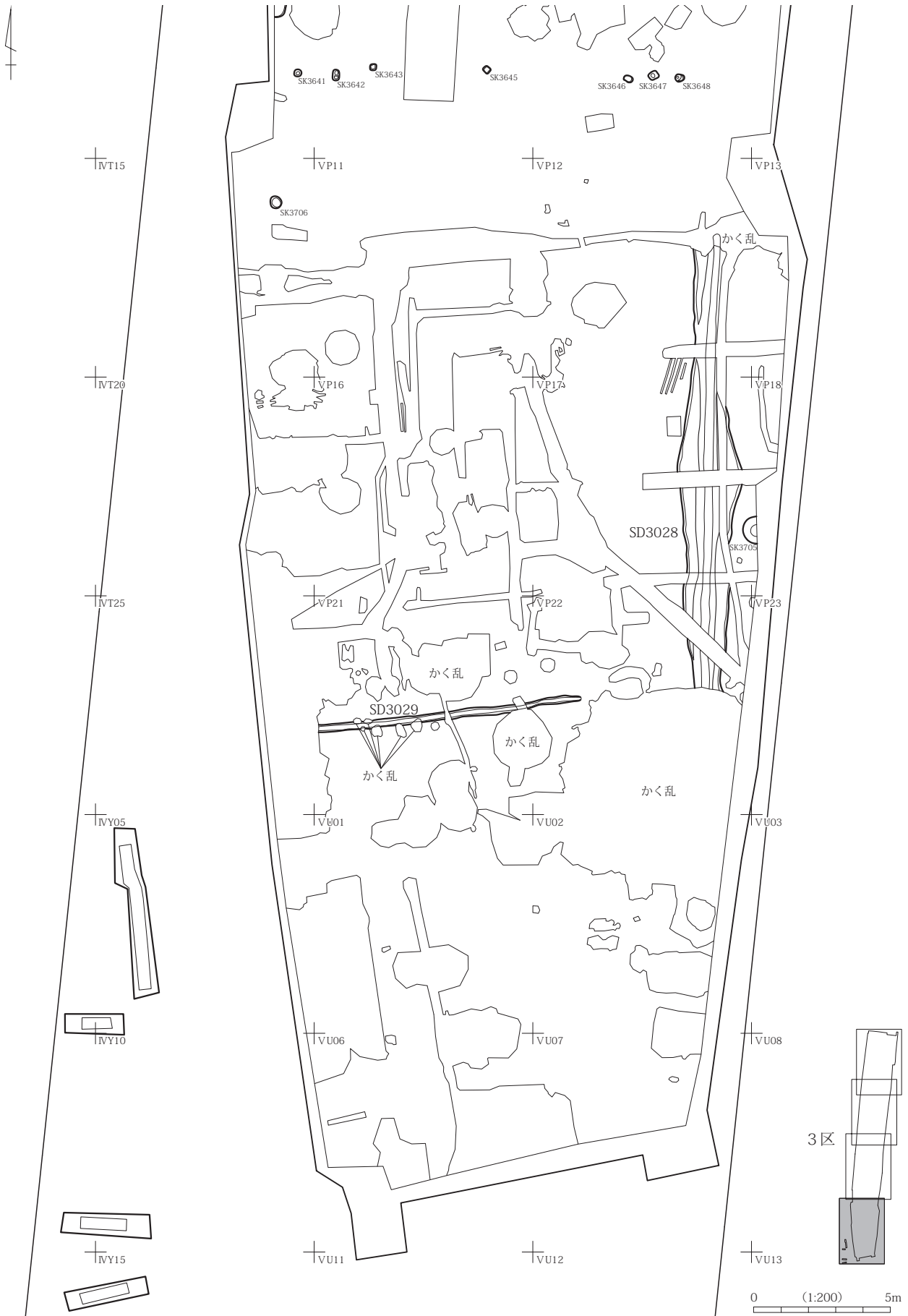
第344図 遺構分布図 中世以降 6 (1:200)



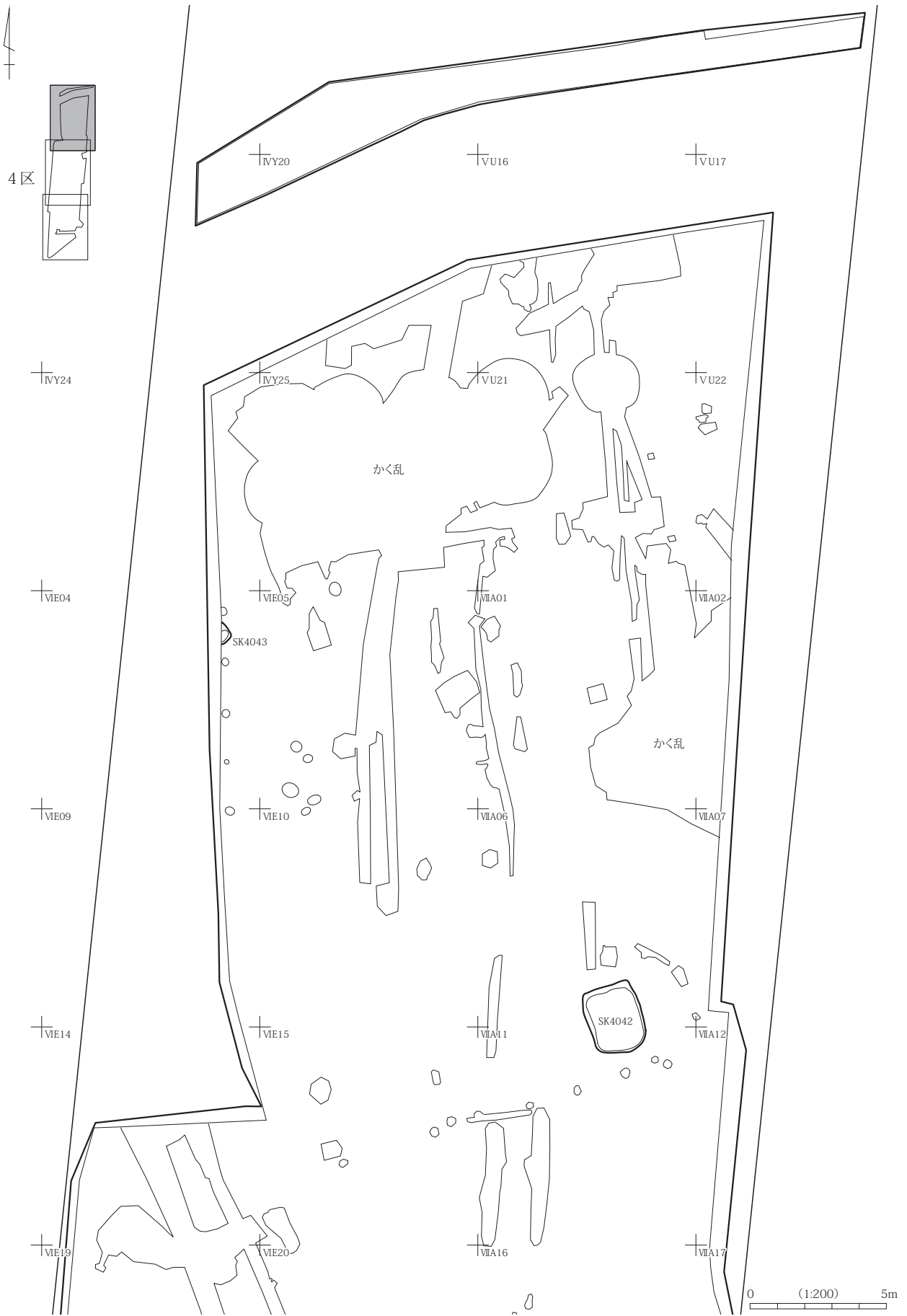
第345図 遺構分布図 中世以降7 (1:200)



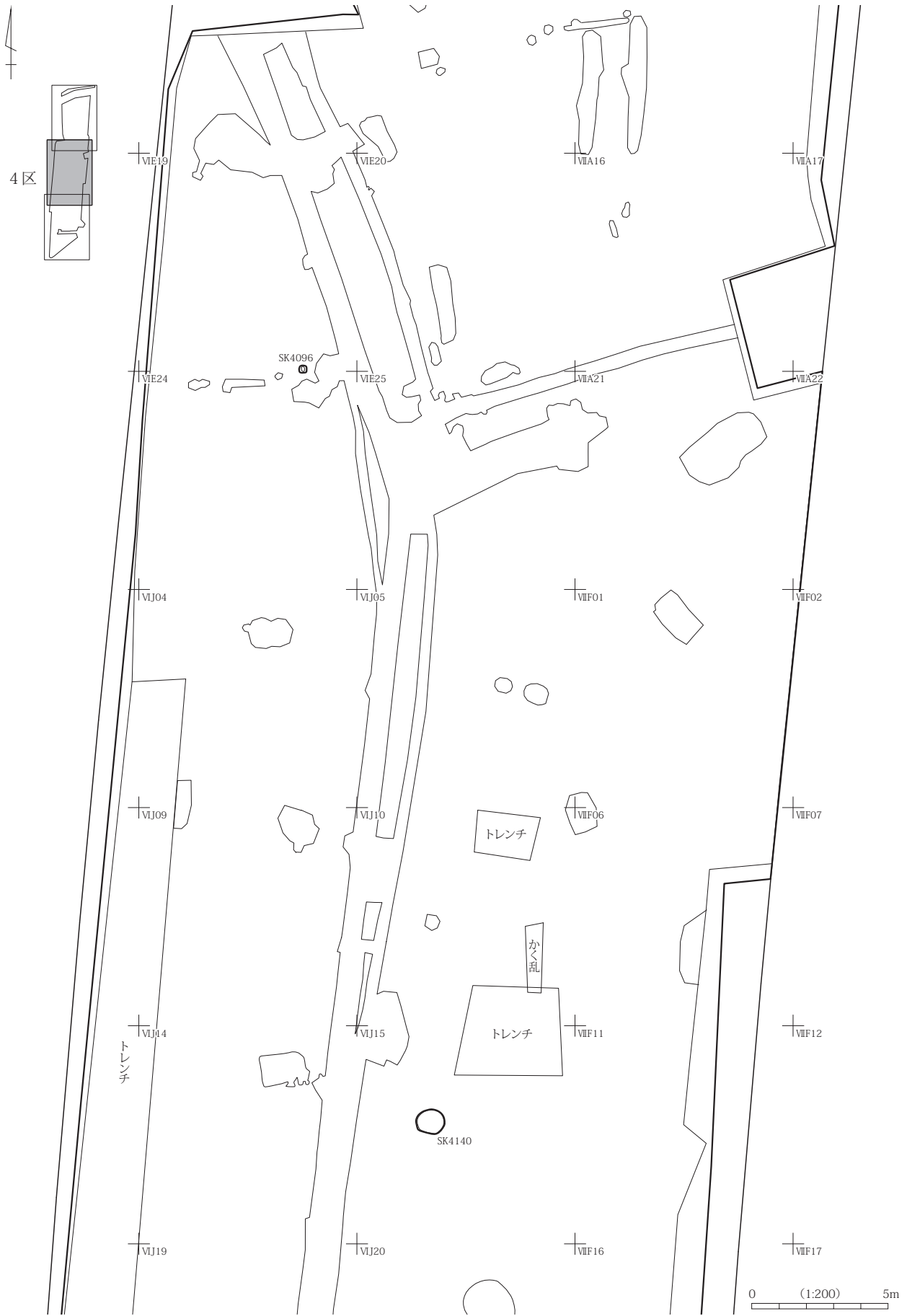
第346図 遺構分布図 中世以降 8 (1:200)



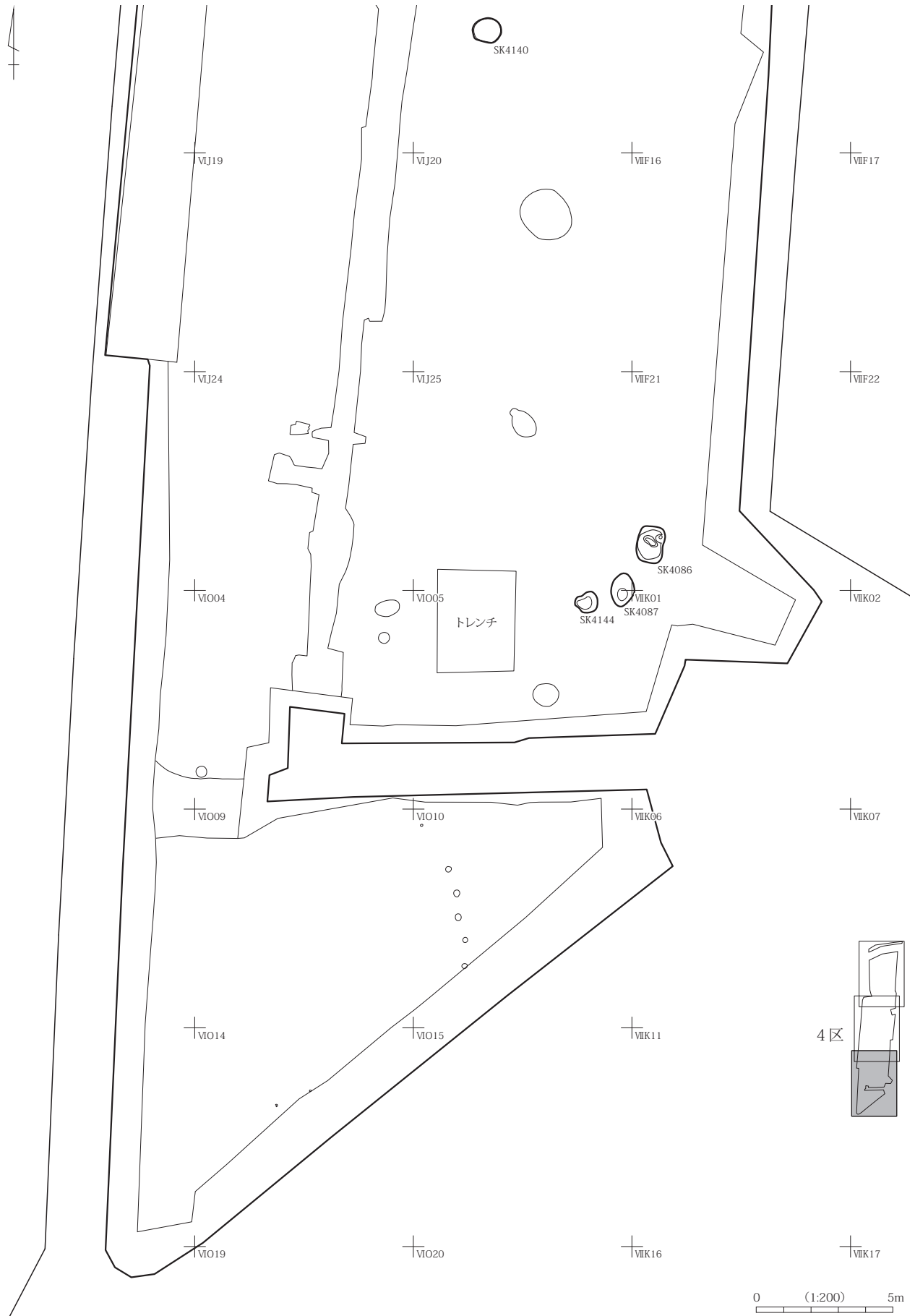
第347図 遺構分布図 中世以降9 (1:200)



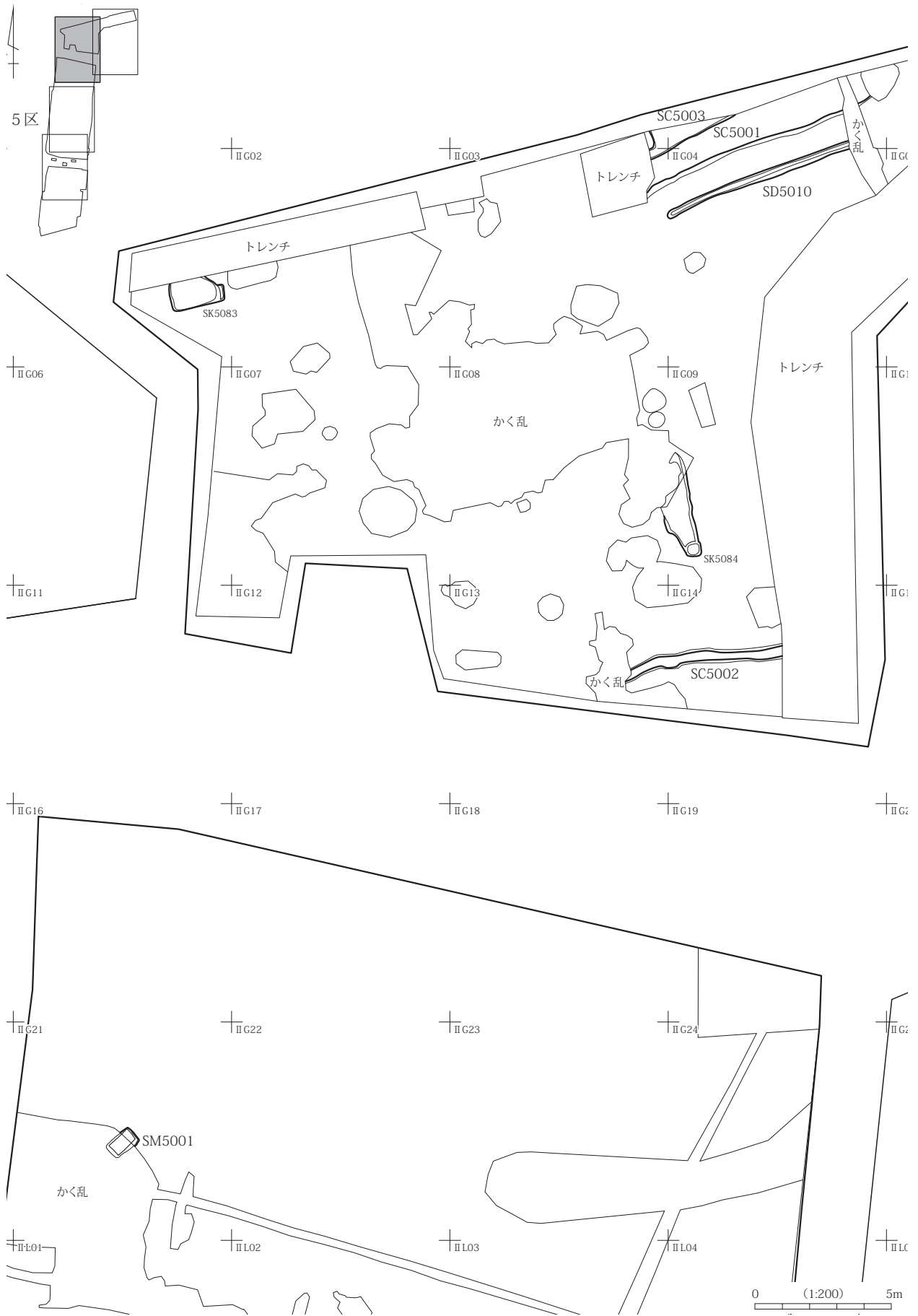
第348図 遺構分布図 中世以降10 (1:200)



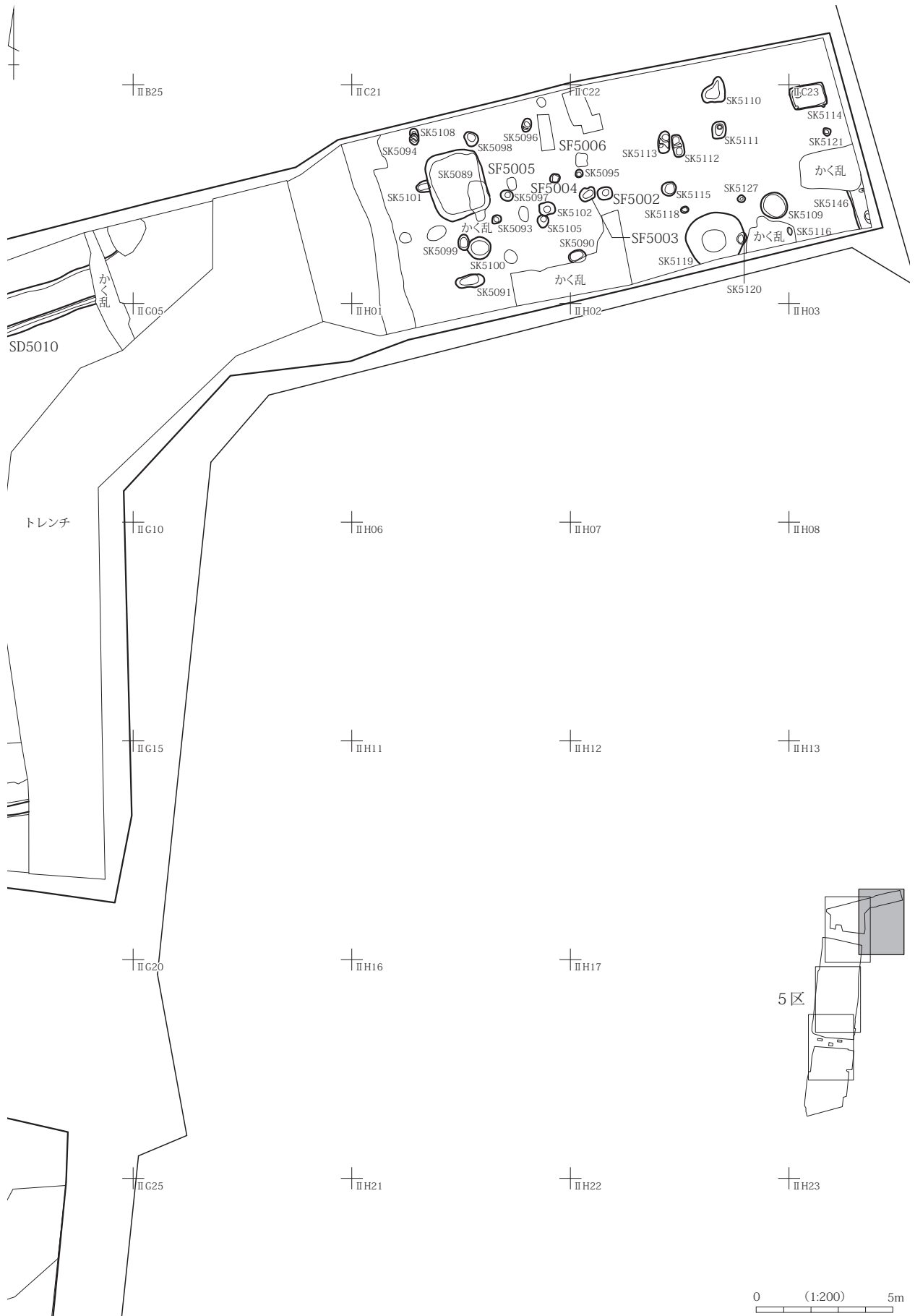
第349図 遺構分布図 中世以降11 (1:200)



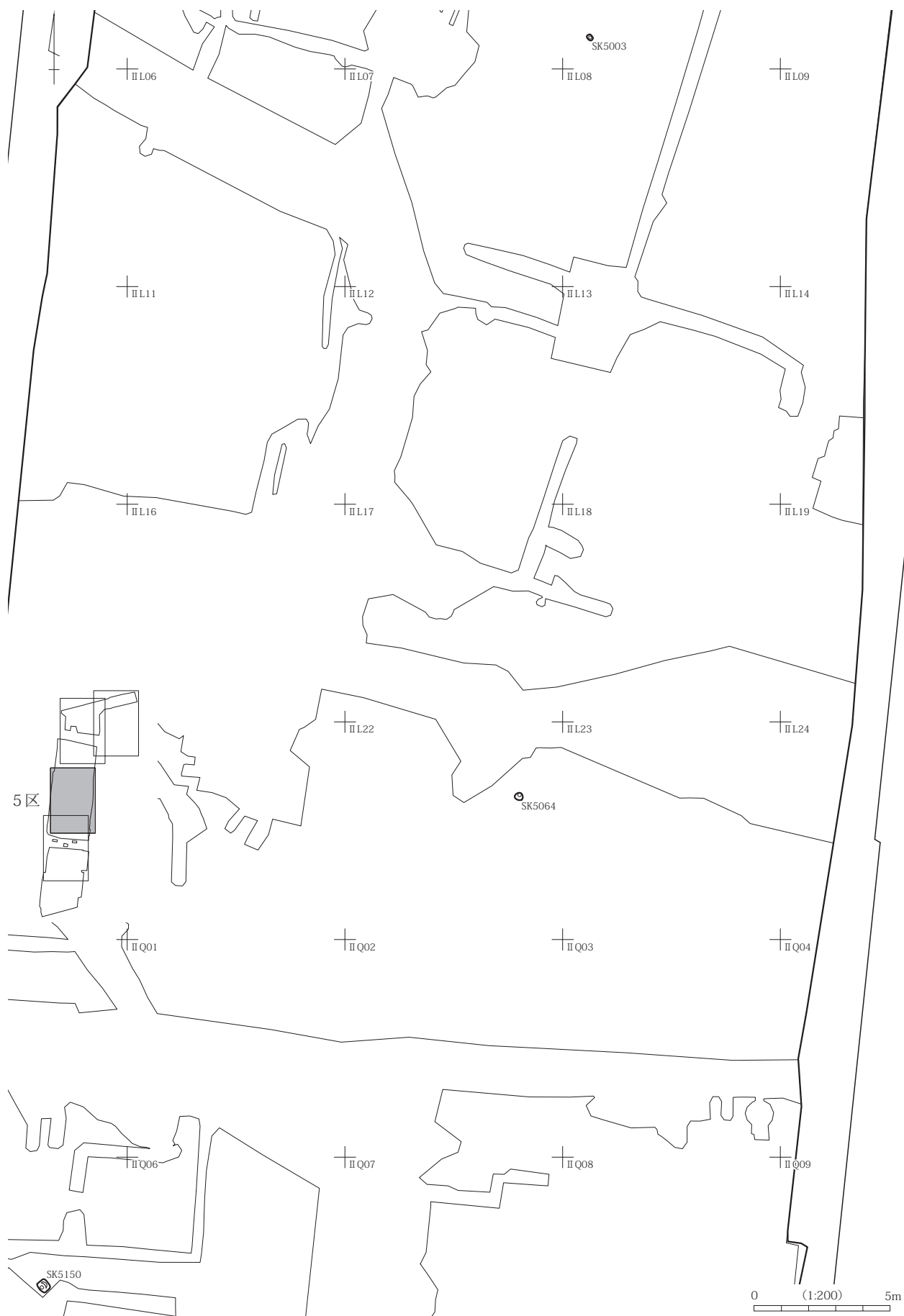
第350図 遺構分布図 中世以降12 (1:200)



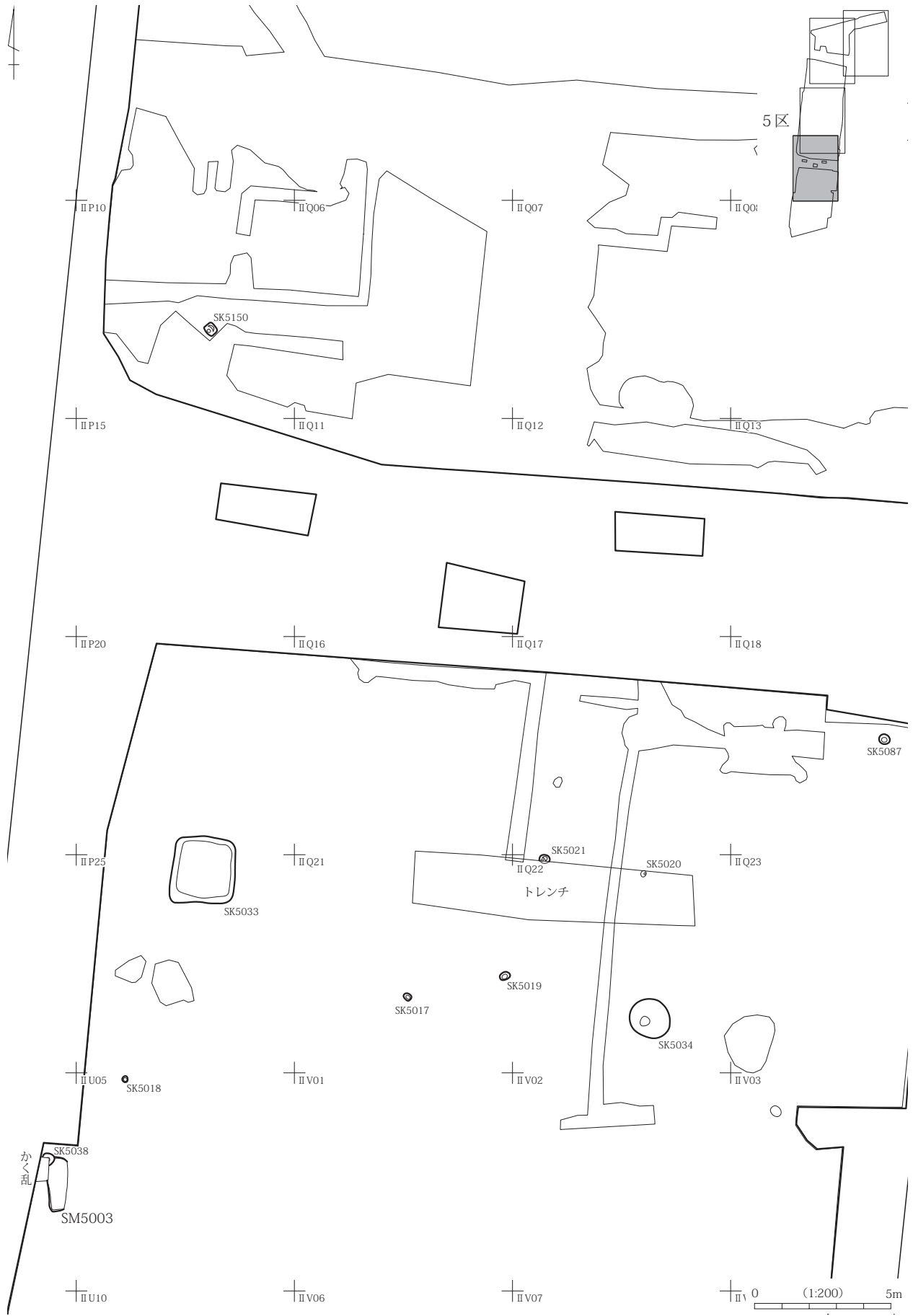
第351図 遺構分布図 中世以降13 (1:200)



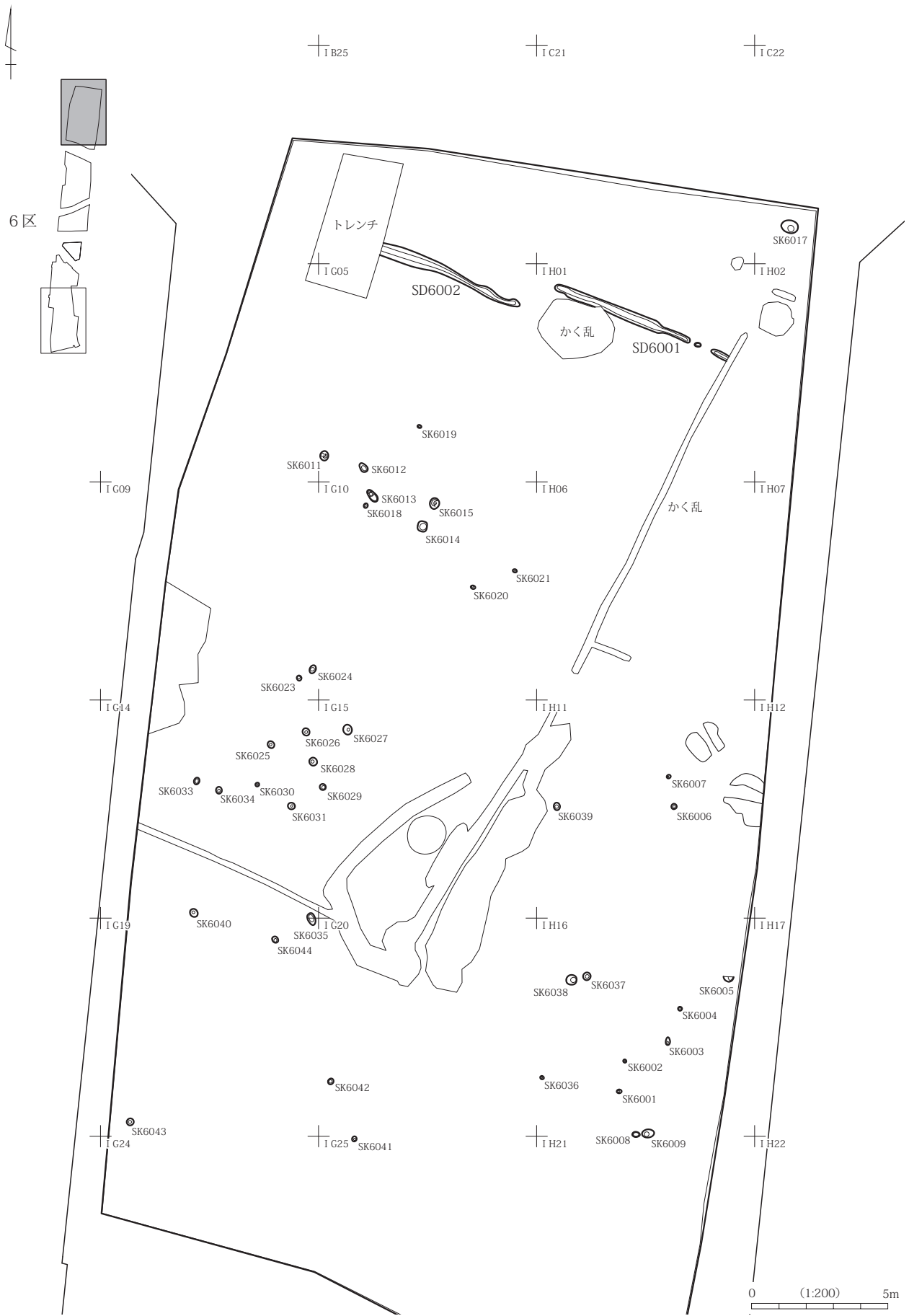
第352図 遺構分布図 中世以降14 (1:200)



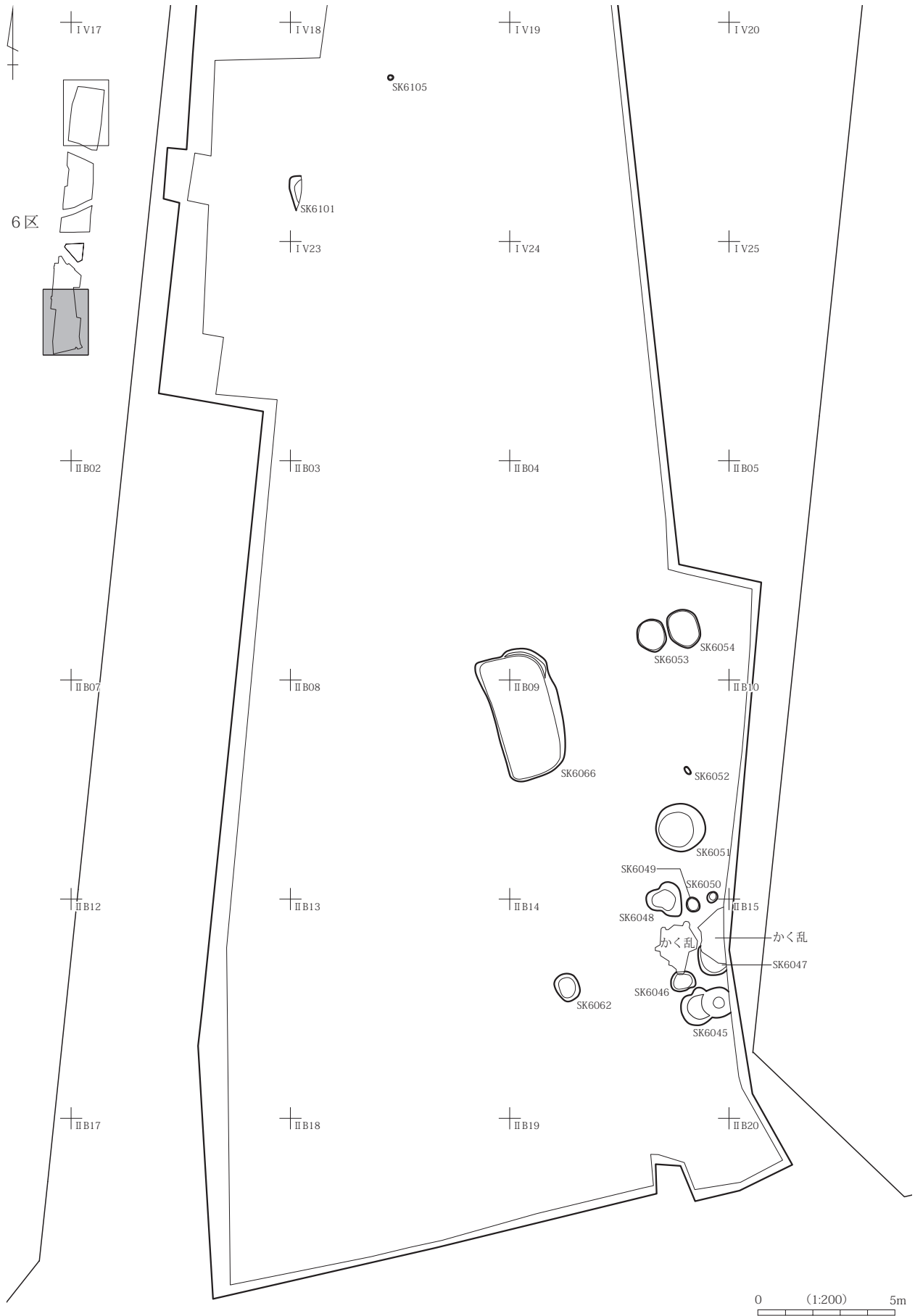
第353図 遺構分布図 中世以降15 (1:200)



第354図 遺構分布図 中世以降16 (1:200)



第355図 遺構分布図 中世以降17 (1:200)



第356図 遺構分布図 中世以降18 (1:200)

第10表 竪穴建物跡 (SB) 一覽

SB 番号	地区	グリッド	平面形	方位	規模 (m)			炉・カマド	時期	遺物	重複遺構		備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ				△新	▼古		
1	1	ⅢA18・19	(方形)	N21°W	5.78	(4.40)	0.21	-	古墳前期	土器	△SB2		58図 PL10	
2	1	ⅢA18・19・ 23・24	(方形)	N6°W	(3.87)	(2.70)	0.15	-	古代9C後	土器	▼SB1		153図 PL19	
3	1	ⅢF08	方形	N3°W	3.34	(3.30)	0.21	石組 カマド	古代9C前	土器・石器・ 鉄製品	△SK30		154・155 図 PL19	
4	1	ⅢA14・15・ 19	(隅丸長方形)	N44°W	(5.60)	4.82	0.22	-	弥生後期	土器・炭化材	-	年代測定 樹種同定	17図	
5	1	ⅢA23・24	方形	N20°W	4.25	3.84	0.20	(カマド)	古代8C後	土器・石器	▼SK55		157図	
6	1	ⅢA23・24、 ⅢF03・04	(方形)	N0°	4.17	(3.09)	0.18	-	古代8C後	土器・石器	-		158図	
7	1	ⅢA24、 ⅢF04	(長方形)	N15°W	(4.76)	4.72	0.32	石組 カマド	古代8C後	土器・鉄製品 ・獣骨	-		159・160 図	
8	1	ⅢF04・09	方形	N3°W	4.58	4.27	0.44	-	古代9C前	土器・石器・ 鉄製品・炭化 材・獣骨	△SK10・37・44・ 48 ▼SB9・16、SK54		161・162 図	
9	1	ⅢF04・09・ 10	(方形)	(N10°W)	(5.72)	(3.41)	0.24	(カマド)	古代8C後	土器	△SB8・16、SK42		161・162 図	
10	1	ⅢF14	(隅丸方形)	N19°W	(2.57)	(1.52)	0.26	-	古代	土器	△SB11・17 (▼SB65)		163図	
11	1	ⅢF14・19	(方形)	N2°W	(5.00)	(5.07)	0.10	-	古代7C末	土器	△SB17 ▼SB10・65		163・164 図	
13	1	ⅢF24	方形	N11°W	(5.00)	4.98	0.28	(カマド)	古代8C後	土器・土製品	▼SB14・15・18		167・168 図	
14	1	ⅢF19・24	(方形)	N8°W	5.78	(2.51)	0.26	(カマド)	古代8C後	土器・鉄製品 ・炭化材	△SB13		167・168 図	
15	1	ⅢF19・20・ 24・25	(隅丸方形)	N25°W	(5.48)	4.45	0.30	-	古墳前期	土器・炭化材	△SB13、SK40・41	年代測定	59・60図	
16	1	ⅢF04・09	(方形)	N11°W	4.74	(3.20)	0.06	-	古代9C前	土器・鉄製品 ・銅製品・炭 化材	△SB8、SK37・48、 SM1・2 ▼SB9、SK54		161・162 図	
17	1	ⅢF14・15・ 19・20	長方形	N16°W	4.74	6.40	0.37	石組 カマド	古代9C後	土器・石器・ 鉄製品・炭化 材・獣骨	▼SB10・11・65		163～166 図	
18	1	ⅢF24	(方形)	N9°W	(2.40)	5.10	0.21	-	古墳前期	土器・獣骨	△SB13			
20	2	ⅢU04・09	長方形	N3°E	4.00	4.85	0.23	(カマド)	古代8C後	土器・鉄製品 ・石器・獣骨	▼SB112、SD15		169図	
21	2	ⅢP25、 ⅢQ21、 ⅢU05、 ⅢV01	(方形)	N7°W	(1.41)	(3.20)	0.20	(カマド)	古代7C末	土器	△SK72		170図	
22	2	ⅢP24・25	長方形	N1°W	4.69	4.10	0.52	(カマド)	古代9C後	土器	▼SB23・24・33・ 37・39・50、 SK134		171・172 図 PL19	
23	2	ⅢP20・25、 ⅢQ21	隅丸方形	N17°W	5.76	5.75	0.40	石組 カマド	古代9C後	土器	△SB22 ▼SB35・41		174・175 図	
24	2	ⅢP25、 ⅢU05	方形	N2°W	(3.10)	4.33	0.14	-	古代8C後	土器・石器・ 鉄製品・鉄滓	△SB22、SK73 ▼SB33		171・172 図	
25	2	ⅢP20	隅丸方形	N38°W	4.74	5.08	0.17	-	古墳前期	土器・炭化材	△SK70 ▼SB26		61図	
26	2	ⅢP19・20	(長方形)	N13°W	4.87	(3.78)	0.12	-	弥生後期	土器・鉄製品	△SB25、SK70		18図	
27	2	ⅢP18・19	(方形)	N0°	(3.40)	(3.57)	0.15	-	古代9C後	土器・鉄製品	△SB28 ▼SB29、SK136・ 166		176・177 図	
28	2	ⅢP19・24	長方形	N1°W	5.18	3.92	0.28	石組 カマド	古代9C後	土器	△SK99 ▼SB27・30・39、 SK152		179・180 図	
29	2	ⅢP18・19・ 23	長方形	N5°W	5.52	4.34	0.33	石組 カマド	古代9C前	土器・炭化材	△SB27、SK166 ▼SK136	年代測定 樹種同定	176・178 図 PL19・20	
30	2	ⅢP23・24	方形	N9°W	4.31	(3.63)	0.18	-	古代8C後	土器	△SB28 ▼SB34・40		181図	
31	2	ⅢU03・04	(方形)	N17°W	(3.85)	(3.97)	0.26	石組 カマド	古代	土器	△SD1・SK71・91 ▼SB42・58、 SK138		182図	
32	2	ⅢP13・14・ 18・19	(方形)	N1°E	3.35	3.45	0.08	-	古代	土器	△SK86・155 ▼SK156			
33	2	ⅢP24・25、 ⅢU04・05	(方形)	N26°W	4.08	(1.78)	0.14	-	古代7C末	土器	△SB22・24 ▼SB50、SK134		171・173 図	
34	2	ⅢP23	-	(N12°W)	(2.24)	(1.93)	-	(カマド)	古代7C末	土器	△SB30		181図	

遺構一覧

SB 番号	地区	グリッド	平面形	方位	規模 (m)			炉・カマド	時期	遺物	重複遺構		備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ				△新	▼古		
35	2	ⅢP25、 ⅢQ21	(方形)	N 5° W	(1.20)	(1.52)	0.26	-	古代 9 C 末	土器	△SB23・41		174・175 図	
36	2	ⅢP20、 ⅢQ16	(方形)	N 9° E	(3.66)	(2.65)	0.19	-	古代	土器	△SK87 ▼SB61			
37	2	ⅢP24・25	(方形)	N 3° W	(5.53)	(5.70)	0.10	(カマド)	古代 8 C 後	土器・石器・ 鉄製品	△SB22・28・39、 SK152 ▼SB50、SK134		179・180 図	
38	2	ⅢP10・15、 ⅢQ06・11	-	-	(3.87)	(4.56)	0.20	-	古墳前期	土器	△SB51、SD 4		62図	
39	2	ⅢP19・24	方形	N 1° W	4.75	(3.90)	0.24	-	古代 9 C 前	土器	△SB22・28、 SK99・152 ▼SB37・50		179・180 図	
40	2	ⅢP24、 ⅢU04	-	-	(5.50)	(4.03)	-	-	古代	土器	△SB28・30、 SK69・76・99・ 161・162 ▼SB50			
41	2	ⅢP25、 ⅢQ21	方形	N 1° E	(3.50)	(3.35)	0.18	-	古代	土器・炭化材	△SB23 ▼SB35		174図	
42	2	ⅢP23・24、 ⅢU03	(方形)	N23° E	(2.47)	2.83	0.13	-	古代 8 C 後	土器	△SB31、SK71 (▼SB58)		182図 PL20	
43	2	ⅢQ01・06	(方形)	N 5° E	4.10	(1.02)	0.16	-	古代 8 C 後	土器・石器・ 鉄製品	▼SB45、SK142		183図	
44	2	ⅢP10、 ⅢQ06	長方形	N 1° E	3.92	3.50	0.23	石組 カマド	古代 9 C 前	土器	▼SB45・47、 SK141・147		184図	
45	2	ⅢP05・10、 ⅢQ01・06	(方形)	N44° W	(5.94)	(5.64)	0.09	-	古墳	土器	△SB43・44・47、 SK101・112・140・ 142・150・141・ 147			
46	2	ⅢP02・03・ 07・08	(隅丸長方形)	N17° W	4.68	(2.61)	0.10	-	古墳前期	土器	-		63図	
47	2	ⅢP05・10、 ⅢQ01・06	長方形	N 4° W	(3.50)	3.70	0.16	-	古代	土器	△SB44、SK101・ 112・140・164 ▼SB45、SK147		184図	
48	2	ⅢP04・05・ 09・10	長方形	N 0°	5.03	5.66	0.11	-	古代 7 C 末	土器・鉄製品 ・炭化材・獸 骨	▼SB49・64、 SK145・151・157・ 159		185・186 図	
49	2	ⅢP04・05	(方形)	N 2° E	(2.26)	(3.73)	0.08	(カマド)	古代 9 C 前	土器	△SB48、SK148		185・186 図	
50	2	ⅢP24	(方形)	N16° W	(1.45)	(3.11)	0.06	-	古墳前期	土器	△SB22・33・37・ 40、SK69・85・ 134			
51	2	ⅢP10・15	(方形)	N 1° E	(1.26)	3.85	0.10	-	古代	土器	▼SB38			
52	2	ⅢK25、 ⅢL21	(長方形)	N 2° W	4.80	4.40	-	(カマド)	古代 8 C 後	土器	△SK123~SK125		187図	
53	2	ⅢL11	方形	N 2° E	4.45	4.42	0.17	石組 カマド	古代 8 C 後	土器・鉄製品 ・石器	▼SB56・60・62		188~190 図 PL20	
54	2	ⅢK13・14・ 18・19	(隅丸長方形)	N25° W	5.44	6.11	-	-	古墳?	土器	△SB57、SD 1			
55	2	ⅢK14	長方形	N 2° W	3.41	2.50	0.09	(カマド)	古代	土器	-			
56	2	ⅢK15・20、 ⅢL11・16	長方形	N49° W	7.50	6.30	0.42	地床炉	古墳前期	土器・石器・ 玉類	△SB53 (・60)		64~70図 PL10	
57	2	ⅢK18・19・ 23	(方形)	N12° E	(3.88)	(3.89)	0.17	(カマド)	古代	土器・獸骨	△SD 1 ▼SB54			
58	2	ⅢP23、 ⅢU03	(隅丸方形)	N14° E	(3.35)	(1.52)	0.40	-	古代	土器	△SB31・42、SD 1 ▼SK138		182図	
59	2	ⅢL06・11	(方形)	N15° W	(1.96)	(2.36)	0.12	-	古代	土器	-			
60	2	ⅢL11	-	-	(2.01)	(0.47)	0.12	-	古代	土器	△SB53 (▼SB56)		188図	
61	2	ⅢQ16	-	N12° W	(3.28)	(1.14)	0.21	-	古代	土器	△SB36			
62	2	ⅢL06・11	(方形)	N15° W	(4.17)	(5.00)	0.10	-	古代	土器	△SB53		188図	
63	2	ⅢK10、 ⅢL06	-	-	(4.57)	(1.69)	-	-	古墳?	-	△SD 1			
64	2	ⅢP05・10	(隅丸方形)	N38° W	(1.50)	(1.30)	(0.08)	-	古墳?	土器	△SB48、SK150 (▼SK151・157)			
65	1	ⅢF14・19	-	(N 3° W)	-	-	-	(カマド)	古墳?	土器	△SB10・11・17			
66	1	ⅢB16・17・ 21・22	(方形)	N12° W	(3.29)	(4.44)	0.14	(カマド)	古代 8 C 後	土器・鉄製品 ・炭化物・獸 骨	△SB68 ▼SB67		191図	
67	1	ⅢB16・17	(隅丸方形)	N25° W	(2.72)	(3.62)	0.22	(カマド)	古墳後期	土器	△SB66		71図	
68	1	ⅢB16・21	(方形)	N 8° W	(2.20)	(2.50)	0.18	-	古代 8 C 後	土器・石器	▼SB66		191図	
69	1	ⅢA10・15	方形	N 6° W	2.62	(2.51)	0.21	-	古代 9 C 前	土器	△SK247		192図	

SB 番号	地区	グリッド	平面形	方位	規模 (m)			炉・カマド	時期	遺物	重複遺構		備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ				△新	▼古		
70	1	ⅢB16・17	(方形)	N12°W	(3.48)	(2.16)	0.16	-	古代9C前	土器・石器	▼SB71・73・74		193・194 図	
71	1	ⅢB16	(方形)	N4°W	(1.74)	(2.92)	0.26	-	古代9C前	土器	△SB70 ▼SB72・73・74		193図	
72	1	ⅢB16	(方形)	N4°E	(3.29)	(3.01)	0.18	-	古代9C前	土器・鉄製品	△SB71		193・194 図 PL21	
73	1	ⅢB16	-	-	(2.37)	(1.78)	0.10	-	古代8C後	土器	△SB70・71 ▼SB74		193・194 図	
74	1	ⅢB11・12・ 16・17	(長方形)	N25°W	(3.90)	(5.58)	-	-	古代	土器	△SB70・71・73、 SK169			
75	1	ⅢG11・12・ 16・17	方形	N39°W	5.22	5.55	0.52	地床炉	古墳前期	土器・石器	-		72~74図 PL10・11	
76	1	ⅢG21	(方形)	N1°W	(2.77)	3.67	0.22	石組 カマド	古代9C前	土器・獣骨	-		195図	
77	1	ⅢG02・07	-	-	(1.79)	(2.47)	0.27	-	古代	土器	△SK204・206			
78	1	ⅢB11・12	(方形)	N5°W	(1.04)	(4.46)	0.32	カマド 粘土	古代8C後	土器・鉄滓	△SK212 ▼SB79		196図	
79	1	ⅢB06・07・ 11・12	方形	N20°W	6.85	7.01	0.40	-	古墳前期	土器・鉄製品	△SB78、SD9、 SK211・230・231 ▼SK234・235・ 237・242		75~77図	
80	1	ⅢK03・04	(隅丸方形)	N30°W	(3.26)	(2.56)	0.29	地床炉	古墳前期	土器	△SD1		78図	
81	1	ⅢK04	(方形)	N6°E	(3.24)	3.44	0.11	(カマド)	古代	土器	-			
82	1	ⅢK05	(方形)	N18°W	(0.47)	3.36	0.22	-	古代?	土器	△SK244 ▼SB83			
83	1	ⅢK05	-	-	(0.30)	(1.03)	0.15	-	古代?	-	△SB82			
84	1	ⅢF25、 ⅢK05、 ⅢL01	(方形)	N17°W	(4.50)	(2.10)	0.21	粘土 カマド	古代	土器	-			
85	2	ⅢU17・22	(方形)	N0°	3.70	(3.08)	0.16	(カマド)	古代9C後	土器	-		197図	
86	2	ⅢU05・10	(方形)	N7°E	(2.26)	(0.46)	0.17	-	古代9C後	土器	-		198図	
87	2	ⅢU14・15・ 19・20	長方形	N2°E	(3.80)	2.93	0.22	-	古代9C後	土器・灰釉・ 石器	△SK266・269・ 273・274 ▼SB94		199図	
88	2	ⅢU09・10・ 14・15	-	N8°W	(4.04)	(1.20)	0.41	-	古代	土器	△SK267、SD20 ▼SB91・98			
89	2	ⅢU14・15	-	N16°W	(1.80)	(2.54)	0.14	石組 カマド	古代9C後	土器	△SK268 ▼SB94、SD19		200図	
90	2	ⅢU19・20	(方形)	N1°E	3.17	(1.80)	0.19	-	古代	土器・石器	△SK260			
91	2	ⅢU09・10・ 14・15	(隅丸長方形)	N18°W	(4.74)	(2.62)	0.15	-	弥生後期	土器	△SB88、SD16・ 19・20、SK270・ 277 (278)		19図	
92	2	ⅢU25、 VA5	(方形)	N32°W	4.65	(1.62)	0.33	-	古代9C前	土器・石器	△SD18 ▼SB97		201図	
93	2	ⅢU10	(方形)	N7°E	(2.82)	(0.24)	0.13	-	古代	土器・石器	△SD18			
94	2	ⅢU14・15	(方形)	N4°W	(2.20)	(2.11)	0.18	石組 カマド	古代9C後	土器	△SB87・89、 SD19、SK268		200図	
95	2	ⅢU24、 VA04	方形	N9°E	4.30	3.84	0.24	(カマド)	古代8C後	土器	△SB96 ▼SB106		202・203 図	
96	2	ⅢU24	(方形)	N1°E	(3.50)	(1.90)	0.32	-	古代	土器	△SD18 ▼SB95		202・203 図	
97	2	VA04・05	隅丸長方形	N30°W	(3.38)	4.08	0.35	地床炉	弥生後期	土器・石器	△SB92		20図	
98	2	ⅢU09・10	-	N34°W	(4.10)	(2.70)	0.12	-	弥生後期	土器	△SB88・91、 SD16~18、SK262・ 270		19図	
99	2	VB01	-	N31°W	(1.00)	(0.75)	0.19	-	弥生後期?	-	-			
100	2	ⅣE05、 ⅣY25	-	N0°	4.84	(2.20)	0.22	-	古代9C後	土器・鉄製品	△SB101		204図	
101	2	ⅣE05	-	-	(0.30)	(1.80)	0.65	-	古代9C後	土器	▼SB100		204図	
102	2	ⅢU18・19	隅丸方形	N25°W	(4.88)	4.62	0.18	-	古代9C後	土器・鉄製品	△SK295~SK298		205図 PL21	
103	2	ⅢU08・13・ 14	長方形	N40°W	6.52	4.76	0.23	地床炉	古墳前期	土器・石器・ 炭化材	△SD1・20、 SK311	年代測定 樹種同定	79~82図 PL11	
104	2	ⅢU18・19・ 23・24	長方形	N0°	3.74	3.12	0.28	(カマド)	古代9C前	土器・石器	△SK301・336 ▼SK307		206・207 図 PL21	
105	2	ⅢU23・24、 VA03・04	隅丸長方形	N32°W	(5.40)	(4.32)	0.40	地床炉	弥生後期	土器・炭化材	△SB106・111、 SK341	年代測定 樹種同定	21~25図 PL6	
106	2	ⅢU24、 VA04	(方形)	N36°W	(2.70)	(2.26)	0.18	-	古墳中期	土器	△SB95 ▼SB105		83図	

遺構一覧

SB 番号	地区	グリッド	平面形	方位	規模 (m)			炉・カマド	時期	遺物	重複遺構 △新 ▼古	備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ						
107	2	VA03	(方形)	(N 0°)	(3.55)	(2.68)	0.25	(カマド)	古代9 C前	土器・石器	△SD 1		208・209 図 PL21
110	2	VA01	(隅丸方形)	N 1° W	(1.20)	(1.75)	0.50	-	古代9 C後	土器	-		210図
111	2	VA03・04	(方形)	N 7° W	(2.87)	(4.24)	0.32	(カマド)	古代9 C前	土器	△SK342 ▼SB105		211図
112	2	ⅢU08・09	(方形)	N34° W	(3.06)	(2.78)	0.16	-	古代7 C末	土器・獣骨	△SB20		169図
3001	3	VF01・02・ 06・07	隅丸方形	N52° W	6.97	6.96	0.36	カマド 石組み	古墳後期	土器・石器・ 鉄製品・炭化 物	△ST3001・ SK3006・3012・ 3015・3016・3042・ 3062・3064・3065・ 3095~3099・3145・ 3146・3153・3159・ 3166・3291・3323~ 3327・3389・3502 ▼SB3019、SK3717		84~86図 PL11
3003	3	VF06・07・ 11・12	(隅丸長方形)	N40° W	(8.55)	(5.76)	0.20	-	古墳中期	土器・石器・ 炭化物	△SD3001・3005・ 3009、SK3048・ 3052・3100・3101・ 3104・3122~3125・ 3155・3164・3175・ 3253、SK3157・ 3179	年代測定 樹種同定	87・88図
3004	3	VF13・14	(隅丸方形)	N 8° E	4.72	(1.36)	0.10	-	古代	土器	▼SB3009		
3005	3	VF18	(方形)	N13° E	4.27	(2.90)	0.32	カマド	古代	土器・石器・ 鉄製品	△ST3002、 SK3210・3236 ▼SD3003・3008		212図
3006	3	VF03・04・ 08・09	方形	N32° W	4.81	5.15	0.54	カマド 地山削り出し	古墳中期	土器・石器・ 炭化物	△ST3004、 SK3139・3162・ 3303 ▼SB3017	年代測定	89図 PL12
3007	3	VF07・08・ 12・13	隅丸長方形	N24° W	4.80	4.37	0.30	-	弥生後期	土器・石器・ 炭化材	△SD3002、 ST3004、SK3030・ 3034~3036・3049・ 3091・3115・3143・ 3149~3152・3493・ 3066	年代測定 樹種同定	26・27図
3008	3	VF07・08	-	-	(3.13)	(2.34)	(0.30)	-	古代	土器・石器	△ST3004、 SK3022・3037		
3009	3	VF09・14	(隅丸方形)	N45° W	(0.94)	(1.51)	0.30	-	古代	土器	△SB3004		
3010	3	VF12・13・ 17・18・22・ 23	方形	N45° W	7.74	7.17	0.40	カマド 地山削り出し	古墳中期	土器・石器・ 炭化材	△SB3012、 SK3070~3072・ 3087~3090・3116~ 3118・3169・3180・ 3181・3186・3212・ 3214~3217 ▼SB3011	年代測定 樹種同定	90~93図 PL12
3011	3	VF12・13・ 17	(隅丸方形)	N24° W	(3.55)	(4.87)	0.22	-	弥生後期	土器	△SB3010、 SD3009、SK3067~ 3069・3071~3075・ 3172		28図
3012	3	VF17	-	-	(3.12)	(2.97)	0.11	-	古代	土器	▼SB3010		
3014	3	VF21、 VK01	-	-	(3.90)	(3.16)	0.12	-	弥生後期	土器	△SM3001		29図
3015	3	VK08・13	-	-	(4.20)	(4.39)	0.23	カマド 粘土	古墳中期	土器	-		94図
3016	3	VK03	(隅丸方形)	N 6° E	(2.50)	(1.85)	0.08	-	古墳前期	土器	△ST3005		95図
3017	3	VF03	隅丸方形	N28° W	4.76	4.74	0.24	石囲炉?	古墳前期	土器・石器	△SB3006・3025、 SK3273・3274		96・97図
3018	3	VF03・04	(隅丸方形)	(N48° W)	3.50	3.43	-	-	古代	土器	-		
3019	3	VF02	(隅丸長方形)	N20° W	(3.87)	(2.17)	0.29	-	弥生後期	土器	△SB3001、SK3301		30図
3020	3	VA21、 VF01	-	N24° W	(3.86)	(2.42)	0.22	-	弥生後期	土器	△SK3290・3307・ 3522・3523		
3021	3	VA22・23、 VF03	隅丸方形	N36° W	5.62	5.72	0.31	カマド 石組み	古墳後期	土器・石器	△SB3035・3056・ 3057、SK3276・ 3284・3526・3679		98 ~ 100 図 PL12
3022	3	VA22	(方形)	N 7° E	2.76	(1.90)	0.12	-	古代	土器	△SK3299・3317 ▼SB3041		
3023	3	VA24	(方形)	N10° E	(2.30)	(2.92)	0.14	-	古代9 C後	土器	△SB3036、SK3529		213図
3024	3	VA16・17・ 21・22	(方形)	N 5° E	3.92	(3.70)	0.18	-	古代9 C後	土器・石器・ 鉄製品・炭化 物	△SK3348・3494・ 3510 ▼SB3026・3038	年代測定 樹種同定	214図
3025	3	VF03	方形	N10° E	3.52	3.90	0.15	カマド	古代9 C前	土器・石器・ 鉄製品・炭化 物	▼SB3017		215・216 図

SB 番号	地区	グリッド	平面形	方位	規模 (m)			炉・カマド	時期	遺物	重複遺構	備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ				△新 ▼古		
3026	3	VA17・22	長方形	N54°W	3.94	4.60	0.31	カマド 地山削り出し	古墳後期	土器・石器	△SB3024、 SD3016・SK3343・ 3347～3349・3352・ 3545		101・102 図 PL12・13
3028	3	VF13	-	-	4.16	3.96	-	-	古代	土器	△SD3001、 SK3080～3084・ 3127・3174		
3029	3	VA07	(方形)	N1°E	(3.25)	3.57	0.10	-	古代9C前	土器	△SB3030、SK3406 ▼SD3017・3018		217図
3030	3	VA07	(方形)	N4°E	(3.64)	(1.61)	0.14	-	古代	土器	△SB3031 ▼SB3029		
3031	3	VA07・08	長方形	N17°E	4.11	3.16	0.14	-	古代	土器	▼SB3030・3032		
3032	3	VA08・13	(隅丸方形)	N1°W	3.75	(3.61)	0.20	-	古代	土器	△SB3031 ▼SK3680・3699		
3034	3	VA17・18・ 22・23	隅丸長方形	N6°E	2.94	3.30	0.22	-	古代9C後	土器	△SK3339・3340・ 3548 ▼SB3056、SK3679		218図
3035	3	VA22、 VF02	長方形	N1°E	4.25	3.59	0.18	カマド 石組み	古代9C前	土器・石器・ 鉄製品	△SK3270・3505 ▼SB3021		220・221 図 PL21・22
3036	3	VA23・24、 VF03・04	(隅丸長方形)	N7°E	3.28	(3.78)	0.16	-	古代	土器	△SK3500 ▼SB3023		
3037	3	VA17	(方形)	N12°W	(2.30)	(3.35)	0.04	-	古代	土器	△SD3014・3016・ 3020、SK3491・ 3492・3515・3527		
3038	3	VA16・17	-	N31°W	(1.55)	(1.15)	0.11	-	古代	-	△SB3024・3494・ 3510		
3039	3	VA12	-	-	(2.48)	(1.78)	-	-	古代	土器	△SK3427・3428		
3040	3	VA21	(方形)	N4°E	3.04	(1.27)	0.10	-	古代	土器	▼SB3041		
3041	3	VA21・22	-	N14°W	(2.00)	(1.83)	(0.06)	-	古代	土器	△SB3022・3040		
3042	3	VK12・17	隅丸長方形	N34°W	5.87	3.97	0.24	地床炉	弥生後期	土器	△SM3001、SK3619		31・32図 PL7
3043	3	VK16	(隅丸長方形)	N25°W	(2.14)	3.85	0.16	-	弥生後期	土器・炭化材	△SM3001	年代測定	33図 PL7
3044	3	VA09・14	(方形)	N3°E	(3.85)	(2.50)	0.34	-	古代	土器	△SK3721		
3046	3	VP03	-	N38°W	(2.48)	(2.75)	0.32	-	弥生後期	土器	△SM3002、 SK3615・3616・3621		34図
3047	3	VA13・18	-	-	(4.26)	(2.75)	0.12	カマド	古代9C後	土器	△SB3051・3053 ▼SB3058・3060、 SK3672		222・223 図
3048	3	VA08・09・ 13・14	-	N13°E	(3.13)	(1.82)	0.14	-	古代9C後	土器	△SK3721		225図
3049	3	VA19	(方形)	N4°E	3.80	(2.70)	0.13	-	古代	土器	△SD3016、 SK3624・3633		
3050	3	VA13・14・ 18・19	長方形	N14°E	4.07	3.41	0.12	-	古代9C後	土器・炭化物	△SK3628～3631・ 3639・3653 ▼SB3055、SK3657		226・227 図
3051	3	VA13・18	方形	N7°E	(3.74)	(3.28)	0.53	カマド	古代9C後	土器	▼SB3047・3055・ 3060・3061、 SK3684・3685・ 3692・3698		226・227 図
3053	3	VA13・18	(長方形)	N1°E	(4.80)	(0.83)	0.20	-	古代9C後	土器	△SK3547・3673・ 3674 ▼SB3047・3058・ 3060、SK3672・ 3675・3676・3687・ 3693		222・223 図
3054	3	IVT10・15、 VP06	(隅丸方形)	N35°W	(3.50)	(3.60)	0.23	-	古墳前期	土器	-		103図
3055	3	VA13・14・ 18	-	-	4.00	(1.41)	0.10	-	古代	土器	△SB3050・3051 ▼SK3697		
3056	3	VA18・23	(方形)	N18°E	(3.26)	(1.88)	0.10	-	古代	土器・鉄製品	△SB3034・3057、 SK3679 ▼SB3021、 SK3702・3703		218図
3057	3	VA18・23	(方形)	N20°E	(3.00)	(3.00)	0.18	カマド 石組み	古代9C後	土器	▼SB3021・3056、 SK3703・3690		218・219 図
3058	3	VA13	-	-	(2.09)	(2.35)	0.11	-	古代9C後	土器	△SB3047・3053、 SK3436・3701		222・224 図
3059	3	VA18	(方形)	N2°E	3.05	3.17	0.24	カマド 石組み	古代	土器	△SD3016、 SK3657・3681・ 3713 ▼SB3061、SK3697		

遺構一覧

SB 番号	地区	グリッド	平面形	方位	規模 (m)			炉・カマド	時期	遺物	重複遺構	備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ				△新 ▼古		
3060	3	VA18	-	-	(1.93)	(2.40)	0.22	-	古代	土器	△SB3047・3051・3053、SD3016、SK3634・3693 ▼SK3694～3696・3704		
3061	3	VA18	-	-	(0.70)	(0.50)	(0.40)	-	古代	土器	△SB3051・3059、SD3016、SK3634		
3062	3	VP12・16・17・18	方形	N43°W	6.46	7.00	0.16	カマド 粘土 地床炉	古墳中期	土器・石器・ 鉄製品・石製 模造品・種 子、ベンガラ	△SD3028 ▼SM3003		104～109 図 PL13・14
3063	3	VU02	(方形)	N28°W	(1.43)	(1.22)	0.26	カマド 粘土	古墳	土器	▼SM3004		
3064	3	VU01・02	(長方形)	N48°W	4.60	(1.16)	0.14	-	古墳前期	土器・石器・ 炭化材	△SM3004	年代測定 樹種同定	110図
3066	3	VA02・07	(方形)	N2°W	(0.60)	(0.56)	0.95	-	古代	土器	△SB3067 ▼SK3722		
3067	3	VA07	(方形)	N12°W	(1.20)	(0.60)	0.15	-	古代	土器	▼SB3066		
4001	4	VJ13・14	(隅丸方形)	N42°W	4.55	(4.14)	0.11	地床炉	古墳前期	土器・石器・ 炭化材	▼SK4032	年代測定 樹種同定	111図
4002	4	VA21、 VF01	(隅丸長方形)	N1°W	(4.79)	4.63	0.09	-	古墳前期	土器・石器・ 炭化材	▼SK4053	年代測定 樹種同定	112・113 図
4003	4	VJ14・15・ 19・20	方形	N37°W	(6.50)	6.35	0.44	-	古墳前期	土器・石器	▼SD4023、SX4003		114・115 図 PL14
4004	4	VU16・17・ 21・22	(隅丸方形)	N5°W	4.29	(4.20)	0.14	(地床炉)	古墳前期	土器	-		116図
4005	4	VE05	方形	N25°W	3.64	3.23	0.22	地床炉	古墳前期	土器・石器	▼SK4052		117図 PL14・15
4006	4	VE10、 VA06・11	隅丸方形	N30°W	6.35	5.90	0.11	地床炉	古墳前期	土器	△SK4047・4067		118・119 図 PL15
4007	4	VJ15・20、 VF11・16	隅丸方形	N57°W	6.90	6.60	0.52	(地床炉)	古墳前期	土器・石器・ 炭化材	▼SK4095	年代測定 樹種同定	120・121 図 PL15
4008	4	VU11・12	-	(N27°W)	(1.14)	(3.10)	0.13	-	古墳前期	-	△SD4011		112図
5001	5	IG21、 IL01	(方形)	N5°W	4.69	3.84	0.26	-	古代9C前	土器・羽口・ 鉄製品	▼SK5004・5005		228図
5002	5	IL01・02	長方形	N31°W	3.37	2.52	0.10	カマド	古代8C後	土器	-		229図
5003	5	IL14	(方形)	(N59°W)	(3.20)	(2.80)	0.15	カマド	古代9C前	土器	▼SK5013		230図
5004	5	IL08・09・ 13・14	(長方形)	N47°W	(3.62)	(2.74)	0.30	カマド 石組み?	古代	土器	△NR5001 ▼SB5005		
5005	5	IL08・13	方形	N30°E	(4.18)	(4.21)	0.18	カマド 石組み	古代9C前	土器・鉄製品・ 炭化物	△SB5004、 SM5002、NR5001 ▼SB5006	年代測定 樹種同定	231図
5006	5	IL13	(隅丸方形)	(N57°W)	(2.32)	(2.32)	(0.06)	-	古代	土器・骨	△SB5005・5023、 SM5002		
5007	5	IU14・19・ 20	方形	N44°W	4.32	4.43	0.16	-	古墳	土器	-		
5008	5	IU10・15	長方形	N3°E	4.58	3.06	0.51	-	古代	土器・石器	▼SK5022		232図
5009	5	IU05・10、 IV01・06	隅丸方形	N30°W	6.10	(5.68)	0.27	カマド 粘土	古墳後期	土器	△SB5011、 SK5023～5025・ 5035・5037 ▼SK5036		123・124 図 PL15・16
5010	5	IV03	(方形)	N14°W	(4.20)	(2.77)	0.22	カマド 石組み	古代9C前	土器	-		233図
5011	5	IU05・10	隅丸方形	N13°W	4.11	4.25	0.40	カマド 石組み	古代8C後	土器・鉄製品・ 炭化種子	△SK5023～5025・ 5035 ▼SB5009		234・235 図 PL15・22
5012	5	IU04・05・ 09・10	(隅丸方形)	N30°W	5.20	(5.13)	0.30	カマド	古代	土器	△SM5003、 SK5038・5039		
5013	5	IQ16・17	隅丸長方形	N35°W	5.35	4.16	0.22	-	弥生後期	土器・石器	-		35・36図
5016	5	IL16・21、 IK20・25	(方形)	N35°W	(4.35)	(3.86)	0.44	カマド 粘土	古代8C後	土器・石器・ 種子	▼SB5017、 NR5003・5004 不明SK5043		236図 PL22
5017	5	IK25、 IL21、 IQ01	隅丸長方形	N56°W	(7.70)	(5.12)	0.18	-	弥生後期	土器・石器	△SB5016、NR5003 ▼NR5004		37・38図
5018	5	IL11・16	(方形)	(N18°E)	(1.00)	(0.72)	0.21	-	古代	土器	▼NR5004		
5019	5	IK10・15、 IL06・11	隅丸方形	N35°W	6.95	(6.74)	0.22	-	古墳前期	土器・石器	△SK5041・5042 ▼NR5004		125・126 図
5021	5	IL12・13・ 17・18	長方形	N39°W	5.80	5.10	0.23	カマド 粘土	古代9C前	土器	△SB5022・5023・ 5032 ▼SB5025		237・238 図

SB 番号	地区	グリッド	平面形	方位	規模 (m)			炉・カマド	時期	遺物	重複遺構		備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ				△新	▼古		
5022	5	ⅡL12・13・ 17・18	隅丸方形	N19° E	(4.30)	4.44	0.15	-	古代	土器・石器・ 鉄製品	△SB5023、 SK5053・(5063) ▼SB5021・5024・ 5025、SK5078・ 5079・5081			
5023	5	ⅡL13・18	方形	N26° W	4.80	5.12	0.34	カマド 石組み	古代9 C前	土器・石器・ 銭・鉄製品	△SK5053 ▼SB5006・5021・ 5022・5024・5025、 SK5075～5079・ 5081		239・240 図	
5024	5	ⅡL13・14・ 18・19	隅丸長方形	N55° W	(4.45)	4.50	0.22	-	弥生後期	土器・石器	△SB5022・5023・ 5025、SK5075 ▼SK5079		39・40図	
5025	5	ⅡL12・13・ 17・18	(隅丸方形)	N44° W	(5.20)	(6.14)	0.20	-	古墳後期	土器・石器	△SB5021～5023・ 5032、SK5050・ 5052・5063 ▼SB5024、 SK5078・5079・ 5081		127図	
5026	5	ⅡL23	(方形)	N31° W	(0.86)	(2.48)	-	-	古代	土器	△SB5029 ▼NR5004			
5027	5	ⅡL18・22・ 23	(方形)	N52° E	(5.16)	(4.92)	0.48	カマド 粘土	古代9 C前	土器・石器	△SB5029、 SK5064・5073 ▼NR5004		241～243 図	
5029	5	ⅡL23	隅丸長方形	N28° W	3.01	3.39	0.30	カマド	古代9 C前	土器・獣骨	▼SB5026・5027、 NR5004		241・243 図	
5030	5	ⅡP05・10	(隅丸方形)	N39° W	7.06	(5.21)	0.36	地床炉	弥生後期	土器・石器・ 炭化材	△SB5031、 SK5150 ? ▼SK5054	年代測定	41～43図 PL 7・8	
5031	5	ⅡP05・10、 ⅡQ01・06	隅丸方形	N43° W	5.90	5.45	0.16	地床炉	古墳?	土器・炭化材	△SB5034、SD5001 ▼SB5030			
5032	5	ⅡL12・17	長方形	N31° W	(4.15)	(4.87)	0.30	カマド 粘土	古代9 C前	土器・石器	▼SB5021・5025、 NR5004			
5033	5	ⅡL19	(隅丸方形)	N53° W	(2.05)	3.51	0.18	-	弥生後期	土器・炭化材	-	年代測定	44図 PL 8	
5034	5	ⅡP10、 ⅡQ06・11	(方形)	N11° E	(1.76)	(4.88)	0.19	-	古代	土器	▼SB5031			
5036	5	ⅡQ07・08・ 12・13	(方形)	N31° W	(3.32)	(3.90)	0.20	カマド	古代9 C前	土器・石器	▼NR5004		244図	
5037	5	ⅡQ03・08・ 09	隅丸長方形	N31° W	5.42	4.27	0.33	地床炉	弥生後期	土器・石器	△SB5038 ▼NR5004		45図 PL 8	
5038	5	ⅡQ08	隅丸方形	N39° W	3.11	3.51	0.40	カマド 地山切出	古代9 C前	土器・石器・ 鉄製品	▼SB5037、NR5004		245図	
5039	5	ⅡQ08・09	(隅丸方形)	N36° W	(2.84)	(3.30)	0.26	カマド 粘土?	古代	土器	▼NR5004			
5040	5	ⅡQ03	(方形)	N38° W	(1.96)	(2.17)	0.06	-	古代	土器・石器	▼NR5004			
5041	5	ⅡQ07	(方形)	N39° W	(3.42)	(3.28)	0.22	カマド	古代	土器	▼NR5004 SD5007			
5042	5	ⅡQ18・23	(隅丸方形)	N44° W	(2.95)	(3.40)	0.22	-	弥生後期	土器・石器・ 炭化物	△SB5043	年代測定 樹種同定		
5043	5	ⅡQ18・23	方形	N20° W	2.65	2.46	0.18	-	古代	土器	△SK5088 ▼SB5042			
5044	5	ⅡC21、 ⅡH01	-	(N16° W)	(1.40)	(1.00)	0.12	-	弥生?	土器	-			
6001	6	ⅡB19・20	(隅丸長方形)	N65° W	(4.20)	(2.58)	0.24	-	弥生後期	土器	-		46図	
6002	6	ⅠV03・04・ 08・09	隅丸長方形	N45° W	6.62	4.82	0.36	-	弥生後期	土器・石器	-		47～49図 PL 8	

() 内の数値は既存値を示す

第11表 掘立柱建物跡 (ST) 一覧

ST 番号	地区	グリッド	方位	柱間数	規模 (m)		構造柱 配列	柱穴			柱間距離		時期	遺物	重複遺構 △新 ▼古	備考	図版番号
					長軸	短軸		平面形	深さ (m)	径 (m)	長軸 (m)	短軸 (m)					
1	1	ⅢB07・12	N 2° W	1 × 2	3.30	1.43	側柱	円・楕円	0.12 ～ 0.25	0.31 ～ 0.51	1.47 ～ 1.82	1.38 ～ 1.43	古代	土器	△SD 9		246図 PL22・23
3001	3	VF01・02・ 06・07	N72° W	1 × 3	6.04	4.77	側柱	円・隅丸方 ・不整	0.21 ～ 0.61	0.34 ～ 0.85	1.80 ～ 2.09	4.54 ～ 4.77	中世以降	土器	▼SB3001、 SK3148		288図 PL25
3002	3	VF13・18	N12° E	(1 × 3)	5.92	-	(側柱)	円	0.44 ～ 0.56	0.35 ～ 0.57	1.90 ～ 2.10	-	中世以降	土器	△SD3001、 SK3238 ▼SB3005		289図
3004	3	VF07・08	N75° W	1 × 2	5.46	4.53	側柱	円・楕円・ 隅丸長方	0.15 ～ 0.42	0.30 ～ 0.66	2.16 ～ 3.24	4.46 ～ 4.53	中世以降	土器・ 鉄製品	▼SB3006・3007・ 3008、SK3149		290図 PL25
3005	3	VK03・08	N 4° W	(1 × 5)	9.08	(2.87)	側柱	円・楕円・ 隅丸方・隅 丸長方	0.10 ～ 0.28	0.26 ～ 0.40	1.75 ～ 1.85	(2.87)	中世以降	土器	▼SB3016 SM3001		291図

() 内の数値は既存値を示す

第12表 溝跡 (SD) 一覧

SD 番号	地区	グリッド	平面形	傾斜方向	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構 △新 ▼古	備考	図版番号
					全長	最大幅	深さ					
1	1・2	ⅢK03~05・08~10・18・23、ⅢL01・02・06・07、ⅢP03・08・13・18・23、ⅢU03・08・13・18・22・23、VA02・03	(方形)	北辺 西→東 西辺 北→南	北辺 (26.92) 西辺 (98.87)	北辺 (2.72) 西辺 (3.24)	北辺 (0.98) 西辺 0.97	中世	土器・石器・ 鉄製品・土製 品・銭・炭化 材・獣骨	△SK343 ▼SB29・31・54・57・58・ 63・80・107、SD 5・20、 SK91・130~133・137・144・ 315	堀跡 年代測定	292~295 図 PL25・26
2	2	ⅢP15、 ⅢQ11	直線	西→東	(8.36)	1.27	0.37	古代?	土器・灰釉・ 獣骨	-		
3	2	ⅢP15、 ⅢQ11	直線	西→東	(4.04)	0.96	0.19	古代?	土器	-		
4	2	ⅢP14・15、 ⅢQ11	直線	西→東	(13.08)	(0.88)	0.14	古代?	土器	▼SB38、SK139		
5	2	ⅢL06	直線	-	(1.74)	0.46	0.20	古代?	土器	△SD 1 ▼SK144		
6	1	ⅢG21・22	(鉤形)	-	(6.55)	0.97	0.24	古代?	土器	△SD 8		
7	1	ⅢG21	直線	-	(5.53)	0.30	0.16	中世?	-	▼SK208・209		
8	1	ⅢG21・22	直線	-	2.52	0.73	0.11	中世?	-	▼SD 6		
9	1	ⅢB01・02・ 07・12	直線	北→南	(21.40)	1.44	0.20	古代	土器・筆立て 付円面硯・石 器	▼SB79、SD10、ST 1、 SK232・233・236~238・241	珪藻・花粉 プラント オパール 分析	247図
10	1	ⅢB01・02・ 06	直線	西→東	(13.20)	1.44	0.18	古代	土器	△SD 9 ▼SK213・248	珪藻・花粉 プラント オパール 分析	247図
11	1	ⅢA09・14	直線	-	(3.90)	(0.80)	0.20	古代?	土器	-		
12	1	ⅢK04	直線	-	1.74	0.33	0.10	中世?	-	-		
15	2	ⅢU09	(湾曲)	-	(6.65)	0.75	0.24	古代?	土器	△SB20、SD18 ▼SK335		
16	2	ⅢU10	直線	北→南	(2.43)	0.43	0.16	古代?	土器	△SD18 ▼SB91・98、SK270		
17	2	ⅢU10	直線	-	(1.97)	(0.84)	0.18	古代?	土器	△SD18 ▼SB98、SK262		
18	2	ⅢU09・10・ 14・19・24・ 25	(方形)	北→南	(35.20)	1.60	0.34	古代?	土器・石器	△SD20、SK321 ▼SB93・96・98、SD15~17・ 22・26、SK308・313		
19	2	ⅢU14・15	直線	西←東	(3.72)	(0.63)	0.18	古代?	土器	△SB89、SK268 ▼SB91・94		
20	2	ⅢU13~15	直線	-	(15.20)	1.33	0.20	古代?	土器	△SD 1、SK267 ▼SB88・91・103、SD18・22、 SK311		
21	2	ⅢE05	蛇行	-	(1.90)	1.70	0.55	古代	土器	▼SK283~287		248図 PL23
22	2	ⅢU08・09・ 13・14	直線	北→南	(12.35)	0.64	0.14	古代?	土器・獣骨	△SB112、SD18・20		
26	2	ⅢU13・14	直線	西→東	(8.65)	0.64	0.21	古代?	土器	△SD18		
27	2	ⅢU07	直線	-	(1.86)	0.58	0.10	中世?	土器	-		
3001	3	VF11~14	直線	-	(20.70)	1.60	1.00	近世以降	土器・石器	▼SB3003・3028、SD3002・ 3009、ST3002、SK3107・3108・ 3167・3174・3175・3311		
3002	3	VF07・12	直線	北→南	(5.50)	0.43	0.16	古代	土器・石器	△SD3001・3005、SK3066 ▼SB3007		
3003	3	VF18・23	ほぼ直線	北→南	(8.30)	0.56	0.19	古代	土器	△SB3005、SK3239 ▼SK3168		
3004	3	VF08	ほぼ直線	東→西	(2.10)	(0.70)	0.22	古代	土器	-		
3005	3	VF12・13	直線	東→西	(4.40)	0.48	0.10	近世以降	土器	△SK3102~3104・3109・3175 ▼SB3003、SD3002		
3008	3	VF18	直線	-	(1.60)	0.30	0.04	古代?	土器	△SB3005		
3009	3	VF11~14	直線	-	(20.80)	1.20	0.27	古代	土器	△SD3001、SK3067・3068・ 3076・3176・3179・3213 ▼SB3011、SK3244		
3010	3	VF13・18	直線	-	(2.42)	0.55	0.33	古代	-	△SK3188		
3011	3	VK08・13	直線	北→南	(10.30)	0.73	0.20	中世以降	土器	▼SD3012		
3012	3	VK07・08	ほぼ直線	-	9.30	0.48	0.07	中世以降	土器・石器	△SD3011・SK3205・3250・ 3251		
3014	3	VA12・17	ほぼ直線	北→南	(8.00)	1.60	0.25	古代	土器・獣骨	△SK3420・3423・3424・ 3426・3447・3460・3491・ 3512・3536 ▼SB3037、SD3020		249図

遺構一覧

SD 番号	地区	グリッド	平面形	傾斜方向	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構		備考	図版番号
					全長	最大幅	深さ			△新	▼古		
3015	3	VF23	直線	-	4.38	0.55	0.16	古代	土器	△SK3235 ▼SM3001			
3016	3	VA16~19	やや蛇行	-	(20.28)	(2.40)	0.14	古代	土器・土製品	△SK3350・3352・3481・3525・ 3527・3634 ▼SB3026・3037・3049・3059・ 3061、SK3530・3532・3533・ 3545・3633・3656・3681・3713 不明SK3518・3657		249図	
3017	3	VA07・12	直線	北→南	(2.87)	1.16	0.18	古代	土器	△SB3029、SK3536		249図	
3018	3	VA07	直線	-	(1.10)	0.38	0.15	古代	土器	△SB3029			
3020	3	VA12・17	やや蛇行	北西→ 南東	(2.10)	1.00	0.15	古代	-	△SD3014、SK3485 ▼SB3037			
3021	3	IVT05・ VP01	直線	-	(2.95)	0.35	0.27	中世以降	土器	-			
3022	3	VP01	直線	-	(2.26)	0.44	0.14	近世以降	土器	-			
3023	3	IVO25・ VK21	直線	-	(5.57)	0.54	0.28	中世	土器・炭化材	▼SM3001・3002	年代測定		
3024	3	VK11・12	ほぼ直線	-	(6.00)	0.93	0.05	中世以降	土器	-			
3026	3	VA08	ほぼ直線	-	(2.20)	0.40	0.11	古代	-	△SK3721			
3027	3	IVT05・10・ VP01・06	ほぼ直線	-	(4.24)	(0.80)	0.08	中世以降	-	-			
3028	3	VP12・17・ 22	直線	北→南	(16.20)	2.36	0.30	近世以降	土器・鉄製品	▼SB3062、SM3003・3004			
3029	3	VP21・22	直線	-	(9.74)	0.30	0.11	中世以降	土器	-			
3030	3	IVT25、 VP21、 VU01・02・ 07	蛇行	北西→ 南東	(22.8)	0.84	0.23	古墳	土器・石器	▼SM3005		128図	
3034	3	VP21	直線	-	(0.70)	0.20	0.05	古墳?	-	-			
3035	3	VP16	ほぼ直線	-	1.22	0.26	0.05	古墳?	-	-			
3036	3	IVT20	直線	-	1.14	0.26	0.05	古墳?	-	-			
4001	4	VU21、 VIIA01・06・ 11・16・21・ 22、VIIF02	直線	北→南	(44.30)	1.50	0.33	古墳中期	土器	△SK4042 ▼SD4007、SK4011		129・130 ・132図	
4003	4	VIE04・05・ 09・10・15・ 20・25、 VIIA16・21、 VIIF01・06	蛇行	北北西→ 南南東	(50.70)	2.90	0.36	古墳中期	土器・石器	△SK4043		129～131 図	
4004	4	VIE09・14・ 15・20・25、 VIIA21、 VIIF01・06	直線	北北西→ 南南東	(37.70)	4.00	0.48	古墳中期	土器・石器	△SD4017 ▼SD4005		129～132 図 PL16	
4005	4	VIIF01・06	直線	北北西→ 南南東	(10.10)	(1.18)	0.05	古墳中期	土器	△SD4004		129・130 ・132図	
4006	4	VIJ09	直線	-	3.16	0.54	0.05	古墳?	土器	-			
4007	4	VIIA06	直線	北→南	(6.00)	0.59	0.16	古墳中期	土器	△SD4001			
4009	4	IVY25、 VIE05、 VIIA01・06	直線	北北西→ 南南東	(18.60)	0.48	0.10	古墳中期	土器	△SK4042			
4011	4	VU11・16・ 17・22	直線	北北西→ 南南東	(14.40)	1.45	0.62	古墳中期	土器・石器	▼SB4008		129・130 ・132図	
4012	4	VIIA01・06	直線	北→南	2.90	0.46	0.14	古墳?	土器	-			
4014	4	IVY25、 (VIE05)、 VIIA01	直線	北西→ 南東	(10.40)	1.08	0.11	古墳?	-	△SK4050			
4015	4	VIIF06・11	直線	-	(3.20)	0.62	0.07	古墳?	土器	-			
4016	4	VIJ25、 VIIF21、 VIIK01	直線	-	(3.50)	0.29	0.13	古墳	土器	-			
4017	4	VIE20	円形	-	(7.20)	1.40	(0.21)	古墳	土器・石器	▼SD4004			
4018	4	VIJ23・24、 VIO03~05	蛇行	西→東	(11.70)	(1.00)	0.12	古墳	土器	▼SD4021			
4019	4	VIO08・09	直線	-	(3.00)	0.32	0.13	古墳?	獣骨	-			
4020	4	VIO08~10	直線	西→東	(12.60)	1.70	0.45	古代	土器・石器・ 獣骨・木製品 ・種子	-	年代測定 樹種同定	250図 PL23	
4021	4	IVJ23・24、 VIO04・05・ 10	直線	北西→ 南東	(13.40)	(1.10)	0.08	古墳	土器・種子	-			

SD 番号	地区	グリッド	平面形	傾斜方向	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構		備考	図版番号
					全長	最大幅	深さ			△新	▼古		
4022	4	VIJ18・19・23~25、 VIO04・05・10、 MK01	湾曲	北北西→ 南南東	(23.80)	(5.70)	(0.74)	古墳	土器・石器・ 木製品	-		年代測定 樹種同定	133・134 図 PL16
4023	4	VIJ19・20	直線	-	(1.02)	0.30	0.04	古墳?	-	△SB4003			
4024	4	VIO09・10	直線	北→南	(2.78)	0.24	0.05	古墳?	-	-			
4025	4	VIO05・09・10	(直線)	西→東	(11.00)	(0.90)	0.15	古墳?	土器	-			
4026	4	VIJ23・24	直線	-	(5.40)	0.30	0.17	古墳?	-	-			
5001	5	II P05・10	ほぼ直線	北西- 南東	3.45	0.35	0.07	古代	土器	▼SB5031			
5002	5	II Q01	直線	北東- 南西	3.70	0.51	0.10	古代	土器	△SK5072			
5003	5	II P05、 II Q01	直線	北西- 南東	2.65	0.50	0.03	古代	-	-			
5004	5	II P05	直線	北北西→ 南南東	(1.60)	0.46	0.27	古代	土器	-			
5005	5	II G02・03・ 08・09	蛇行	北西- 南東	(17.55)	1.96	0.15	古代	土器・石器	-			
5006	5	II B24、 II G04	ほぼ直線	北西→ 南東	(9.60)	4.22	0.42	(古代)	-	-			
5007	5	II Q03・07・ 08	ほぼ直線	北東- 南西	(8.70)	0.53	0.19	古代	土器	△SB5041			
5008	5	II Q02・03・ 07・08	屈曲	北東- 南西	(4.36)	0.90	0.16	古代	土器・石器	-			
5009	5	II Q08	直線	北西- 南東	3.86	0.33	0.12	古代	土器	-			
5010	5	II B24、 II G03・04	直線	東北東- 西南西	(7.23)	0.36	0.05	中世以降	-	-			
5011	5	II U19	直線	西-東	(2.12)	0.80	0.10	古代?	-	-			
5012	5	II U19	直線	西-東	(2.00)	0.65	0.20	古代?	-	-			
5013	5	II C17・18・ 22・23	やや蛇行	西-東	(6.82)	0.54	0.25	(弥生)	-	△SK5147			
6001	6	I H01	直線	北西→ 南東	(6.88)	0.40	0.11	(近世)	-	▼NR6003			
6002	6	I B25、 I G05	直線	-	(5.50)	0.63	0.18	近世?	土器	▼NR6003			
6003	6	I L19・24・ 25、I Q04・ 05・10	直線	北西→ 南東	(29.40)	2.40	0.30	(古代)	土器・石器	▼NR6008			
6005	6	II B13・18	T字形	-	南北 (3.95) 東西 (2.00)	0.97	0.19	古代?	土器	-			
6006	6	II B03・08	直線	北→南	(4.05)	0.48	0.12	古代?	土器	-			
6007	6	II B03	直線	-	2.00	0.41	0.10	古代?	-	-			
6008	6	I V08・13	直線	北→南	(6.70)	0.44	0.14	(古代)	土器	-			
6009	6	I V13・18	直線	北→南	(8.75)	0.62	0.14	古代?	土器	▼NR6010			
6010	6	I L25	直線	-	4.14	0.87	0.11	(古代)	-	-			

() 内の数値は既存値を示す

第13表 自然流路 (NR) 一覧

NR 番号	地区	グリッド	平面形	傾斜方向	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構	備考	図版番号
					全長	最大幅	深さ			△新 ▼古		
5001	5	II G16・21・22、II L01～03・07～09・14	蛇行	北西→南東	(41.00)	(4.90)	0.54	古代	土器・石器	△SM5001、SK5003 ▼SB5004・5005		251・252 図
5002	5	II G16・21・22、II L01～03・08・09	蛇行	北西→南東	(37.00)	(1.40)	0.50	古代	土器・石器	△NR5001		
5003	5	II K15・(20)、II L (16)・21・22、II Q01・02・07	ほぼ直線	-	(33.40)	(6.20)	-	古代?	-	△SB5016 ▼SB5017、NR5004		
5004	5	II K15・20・25、II L06・11・16・17・21～23、II P05、II Q01～04・06～09・13	ほぼ直線	-	(41.00)	(19.60)	-	-	-	△SB5016～5019・5026・5027・5029・5032・5036～5041、SD5002・5003・5007～5009、SK5041・5042・5056・5060～5062・5064～5074・5082・5085、NR5003 (SK5043・5049)		
6001	6	II L09・14・15・20、II M11・16	直線	北西→南東	(22.44)	5.00	(1.50)	弥生?	-	△NR6006		
6002	6	IG25、IH21、II L05、II M01	-	-	(14.90)	(11.70)	-	古代?	-	-		
6003	6	IB24・25、IC21、IG04・05、IH01・02・06・07	湾曲	-	(21.34)	8.10	1.18	古代?	土器・石器	△SD6001・6002		
6004	6	IG09・10、IH06・07・11・12	直線	西→東	(20.75)	1.58	0.41	古代?	-	-		
6005	6	I Q10・13～15	湾曲	-	(21.20)	(5.00)	1.20	古代?	土器	-		
6008	6	II L23・24	湾曲	北西→南東	(9.50)	6.20	(0.28)	弥生?	-	△SD6003		
6009	6	I Q03・04	湾曲	-	(6.20)	1.60	-	弥生?	-	-		
6010	6	IV13・14・17・18	直線	-	(14.20)	3.14	-	古代?	-	△SD6009、SK6107		

() 内の数値は既存値を示す

第14表 墓跡 (SM) 一覧

SM 番号	地区	グリッド	平面形	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構	備考	図版番号
				長軸	短軸	深さ			△新 ▼古		
1	1	ⅢF04	楕円形	1.25	0.66	0.10	中世	土器・人骨	▼SB16、SM 2、SK54	年代測定	296図 PL26
2	1	ⅢF04	楕円形	1.20	(0.76)	0.15	中世?	土器・石器・ 人骨	△SM 1 ▼SB16	年代測定	296図 PL26
3	1	ⅢF03	楕円形	(0.63)	0.34	0.10	中世?	人骨	△SK52		296図 PL27
4	1	ⅢB06	長方形	1.12	0.70	0.16	中世?	人骨	-	年代測定	296図 PL27
5	1	ⅢA05・09・ 10、ⅢB01	(方形)	(21.50)	2.80	1.05	弥生後期 終末	土器・石器	-	花粉・珪藻・プラ ントオパール・リ ン酸カルシウム分 析	50~54図 PL 9
3001	3	IVO20・25、 VF16・17・ 21~23、 VK01~03・ 07・08・11・ 12・16・21	(方形)	(31.10)	(27.80)	0.68	古墳前期	土器・石器	△ST3005、SD3015・3023、 SK3183・3235・3499 ▼SB3014・3042・3043	花粉・珪藻・プラ ントオパール分析	135・136 図 PL17
3002	3	IVO25、 IVT05・ VK21~23・ VP01~03・ 06~08	方形	(20.06)	22.24	0.40	古墳前期	土器・石器	△SD3023、SK3559・3594・ 3614・3678 ▼SB3046	花粉・珪藻・プラ ントオパール分析	137・138 図 PL17
3003	3	VP07・08・ 12・13・17・ 18	(方形)	(8.20)	(11.28)	0.30	古墳前期	土器・石器	△SB3062・SD3028		139図
3004	3	VP17・18・ 21・22、 VU01・02	(方形)	(11.90)	(9.84)	0.65	古墳前期	土器・石器	△SB3063、SD3028、SK3705 ▼SB3064	花粉・珪藻・プラ ントオパール分析	140~144 図 PL18
3005	3	VU01・02・ 06・07	(方形)	(9.52)	(9.10)	0.30	古墳前期	土器・石器	△SD3030		145図 PL18
4001	4	IVY20、 VU16	(方形)	(7.30)	1.45	0.54	古墳前期	土器・石器・ 石	-		146図
5001	5	II G21	長方形	(1.12)	0.73	0.19	中世	人骨・土器・ 木材片・角製 品	▼NR5001・5002		296図 PL27
5002	5	II L13	-	-	-	-	中世	人骨・土器・ 鉄製品	▼SB5005・5006		296図
5003	5	II U04	(長方形)	2.00	(0.75)	0.09	中世	人骨・土器	△SK5038 ▼SB5012、SK5039		297図 PL27

() 内の数値は既存値を示す

第15表 焼成遺構 (SF) 一覧

SF 番号	地区	グリッド	平面形	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構		備考	図版番号
				長軸	短軸	深さ			△新	▼古		
1	2	ⅢK24	不整形	1.10	0.90	0.06	古墳?	土器	-			
2	2	ⅧY25	不整形	0.42	0.33	-	古代?	-	-			
5001	5	ⅡL11	不整形	0.85	0.57	0.40	古代	土器	-			
5002	5	ⅡC22	隅丸方形	0.53	0.45	0.11	近世以降	-	-			
5003	5	ⅡC22	不整形	0.62	0.42	0.05	近世以降	-	-			
5004	5	ⅡC21	不整形	0.39	0.31	0.05	近世以降	-	-			
5005	5	ⅡC21	隅丸長方形	0.44	0.30	0.08	近世以降	-	-			
5006	5	ⅡC22	隅丸長方形	0.50	0.40	0.10	近世以降	-	-			

第16表 畔・畝跡 (SC) 一覧

SC 番号	地区	グリッド	平面形	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構		備考	図版番号
				全長	最大幅	高さ			△新	▼古		
5001	5	ⅡB24、 ⅡG03・04	直線	(8.93)	(1.32)	0.10	中世以降	-	-			
5002	5	ⅡG13・14	ほぼ直線	(5.67)	0.53	0.30	中世以降	-	-			
5003	5	ⅡB23、 ⅡG03	直線	(0.60)	(0.28)	0.07	中世以降	-	-			

() 内の数値は既存値を示す

第17表 土坑 (SK) 一覧

SK 番号	地区	グリッド	平面形	断面形	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構		備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ			△新	▼古		
1	1	ⅢF09	円形	C	0.69	0.64	0.14	中世?	-	-			
2	1	ⅢF09	楕円形	B	0.29	0.23	0.12	中世?	-	-			
3	1	ⅢF09	楕円形	B	0.17	0.13	0.15	近世?	-	-			
4	1	ⅢF09	楕円形	B	0.22	0.16	0.12	中世?	-	-			
10	1	ⅢF09	長楕円形	A	0.74	0.30	0.17	中世?	-	▼SB 8			
12	1	ⅢF09	不整形	E	0.37	0.30	0.20	中世?	-	-			
13	1	ⅢF09	長楕円形	C	0.55	0.32	0.12	中世?	-	-			
14	1	ⅢF09	楕円形	A	0.20	0.16	0.70	中世?	-	-			
15	1	ⅢF09	楕円形	A	0.33	0.25	0.12	近世?	-	-			
17	1	ⅢF09	楕円形	C	0.30	0.22	0.13	近世?	-	-			
18	1	ⅢF09	楕円形	C	0.96	0.52	0.40	古代	土器	-			
19	1	ⅢF14	隅丸長方形	F	0.89	0.61	0.37	古代	土器	-			
20	1	ⅢF09・14	楕円形	C	0.87	0.62	0.27	古代	土器	-			
21	1	ⅢF14	楕円形	C	0.34	0.26	0.15	近世?	-	-			
22	1	ⅢF09	円形	B	0.28	0.26	0.22	近世?	-	-			
23	1	ⅢF09	楕円形	E	0.38	0.31	0.21	古代	土器	-			
24	1	ⅢF09	楕円形	B	0.18	0.14	0.12	近世?	-	-			
25	1	ⅢF09・10	楕円形	B	0.37	0.26	0.27	近世?	-	-			
26	1	ⅢF09・10	楕円形	(F)	(0.54)	0.44	0.49	中世?	-	-			
27	1	ⅢF09	楕円形	B	0.23	0.17	0.10	近世?	-	-			
28	1	ⅢF09	円形	B	0.30	0.26	0.20	近世?	-	-			
29	1	ⅢF04	楕円形	A	0.88	0.66	0.26	古代	土器	-			
30	1	ⅢF08・09	楕円形	C	0.93	0.68	0.53	古代	土器	▼SB 3			
31	1	ⅢF09	隅丸方形	F	1.10	1.05	0.45	中世?	-	△SK168			
32	1	ⅢF14	楕円形	B	0.28	0.22	0.18	中世?	-	-			
33	1	ⅢF14	円形	C	0.39	0.36	0.15	古代	土器	-			
34	1	ⅢF14	楕円形	C	0.46	0.38	0.18	古代?	-	-			
37	1	ⅢF09	楕円形	A	1.10	0.91	0.17	古代	土器・獣骨	▼SB 8			
38	1	ⅢF03	楕円形	B	0.54	0.41	0.31	中世?	-	-			
39	1	ⅢF03	楕円形	C	0.36	0.28	0.31	古代	土器	-			
40	1	ⅢF19・24	円形	C	0.93	0.87	0.65	古代?	土器	▼SB15			
41	1	ⅢF25	長方形	B	1.12	0.90	0.47	古墳	土器	▼SB15			
42	1	ⅢF09・10	楕円形	C	1.62	1.35	0.30	古代	土器	▼SB 9			
44	1	ⅢF09	円形	B	0.29	0.24	0.60	古代	土器	▼SB 8			
45	1	ⅢF24	円形	A	0.39	0.33	0.08	古代	土器	-			
46	1	ⅢF24	楕円形	A	0.47	0.39	0.15	古代	土器	-			
48	1	ⅢF09	不整形	C	0.73	0.46	0.50	古代?	-	▼SB 8・16、SK54			
49	1	ⅢF04	楕円形	A	0.28	0.24	0.11	中世?	-	-			
50	1	ⅢF03	円形	C	0.36	0.35	0.17	中世?	土器	-			
51	1	ⅢF03・04	楕円形	A	0.77	0.63	0.17	中世?	土器	-			
52	1	ⅢF03	楕円形	B	0.40	0.32	0.32	中世?	土器	▼SM 3			
54	1	ⅢF04・09	不整形	G	(2.52)	(1.36)	0.66	古代?	-	△SB 8・16、SK48、SM 1			
55	1	ⅢA24	楕円形	G	(0.36)	(0.29)	(0.30)	古代	土器	△SB 5			
56	1	ⅢF19	不整形	A	0.34	0.28	0.08	中世?	-	-			
65	1	ⅢF08	円形	B	0.40	0.37	0.21	中世?	-	-			
66	1	ⅢF14	円形	(A)	0.30	0.25	0.11	古代?	-	-			
67	1	ⅢF14	楕円形	(E)	0.50	0.33	0.13	古代?	-	-			
68	2	ⅢP17・18	(隅丸長方形)	C	(5.16)	(1.50)	(0.56)	近世以降	土器・石器	-		308図	
69	2	ⅢP24	不整形	D	1.24	0.98	0.12	古代?	土器・炭化材 ・獣骨	▼SB40・50			
70	2	ⅢP20	円形	C	1.36	1.30	0.16	古代	土器	▼SB25・26			
71	2	ⅢP23、 ⅢU03	楕円形	C	1.77	(1.06)	0.24	古代	土器	▼SB31・42			
72	2	ⅢP25	円形	B	0.32	0.30	0.40	古代?	-	▼SB21			
73	2	ⅢU05	楕円形	E	0.71	0.47	0.13	古代?	土器	▼SB24			
74	2	ⅢU03	円形	B	0.29	0.26	0.22	中世?	-	-			
75	2	ⅢU04	円形	C	0.32	0.28	0.07	中世?	-	-			
76	2	ⅢU04	楕円形	A	0.53	0.39	0.10	中世?	-	▼SB40			
77	2	ⅢU04	楕円形	C	0.38	0.28	0.18	中世?	-	-			
78	2	ⅢU04	楕円形	A	0.38	0.28	0.06	中世?	-	-			
79	2	ⅢU04	楕円形	A	0.54	0.34	0.12	中世?	-	-			

遺構一覧

SK 番号	地区	グリッド	平面形	断面形	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構 △新 ▼古	備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ					
80	2	ⅢU04	円形	C	0.40	0.36	0.23	古代?	土器	-		
81	2	ⅢU04	円形	A	0.49	0.46	0.25	中世?	-	-		
82	2	ⅢU04	円形	B	0.30	0.26	0.18	中世?	-	-		
83	2	ⅢU04	円形	B	0.38	0.36	0.40	中世?	-	-		
84	2	ⅢU05	円形	B	0.30	0.27	0.14	中世?	-	-		
85	2	ⅢP24	円形	A	0.32	0.29	0.13	中世?	-	▼SB50		
86	2	ⅢP13	楕円形	F	2.08	1.38	0.29	古代	土器・炭化材	▼SB32		253図
87	2	ⅢQ16	円形	A	0.32	0.28	0.04	中世?	-	▼SB36		
88	2	ⅢP19	(円形)	A	(0.96)	(0.58)	0.12	古代?	土器・獣骨	▼SK90		
89	2	ⅢP19	(楕円形)	A	(1.15)	(0.46)	0.29	古代	土器・石器	▼SK90		254図
90	2	ⅢP19	(円形)	(A)	(0.50)	(0.49)	0.18	古代	土器	△SK88・89		
91	2	ⅢU03	(不整形)	G	(3.40)	(1.33)	(0.14)	中世?	土器	△SD 1 ▼SB31		
92	2	ⅢP20・25	円形	A	0.36	0.29	0.12	中世?	-	-		
93	2	ⅢP20	円形	A	0.27	0.26	0.11	中世?	-	-		
94	2	ⅢP14	円形	A	0.49	0.45	0.09	中世?	土器	-		
95	2	ⅢP14	楕円形	A	0.62	0.56	0.13	中世?	-	-		
96	2	ⅢP14	楕円形	A	0.36	0.30	0.04	中世?	-	-		
97	2	ⅢP14	楕円形	C	0.59	0.46	0.14	中世?	-	-		
98	2	ⅢP08	(円形)	C	0.34	(0.30)	0.10	中世?	-	-		
99	2	ⅢP24	円形	A	1.33	1.23	0.20	古代	土器・炭化材	▼SB28・39・40		
100	2	ⅢP13	(隅丸長方形)	A	(0.56)	(0.60)	0.20	中世?	-	-		
101	2	ⅢP05、 ⅢQ01	円形	F	2.39	(2.15)	(2.46)	中世	土器・鉄製品 ・炭化材	▼SB45・47	井戸 年代測定	298図
102	2	ⅢP10	(円形)	A	(0.32)	(0.29)	(0.09)	古代?	土器	-		
103	2	ⅢK24	円形	C	0.70	0.63	0.30	中世?	-	-		
104	2	ⅢK23・24	楕円形	E	0.71	0.55	0.26	古代?	土器	-		
105	2	ⅢP04	円形	A	0.44	0.43	0.11	中世?	-	-		
106	2	ⅢP03	円形	A	0.48	0.42	0.15	中世?	-	-		
107	2	ⅢP20	円形	C	0.29	0.28	0.18	古代?	土器	-		
108	2	ⅢP07	(円形)	B	(0.22)	(0.14)	0.34	中世?	-	-		
109	2	ⅢK25	円形	C	0.28	0.24	0.15	古代	土器	-		
110	2	ⅢP05	円形	B	0.34	0.32	0.16	近世?	-	-		
111	2	ⅢP05	隅丸方形	C	1.78	1.75	0.44	中世	土器	-		
112	2	ⅢP05	楕円形	C	0.44	0.37	0.26	古代?	土器	▼SB45・47		
113	2	ⅢK24	楕円形	C	0.60	0.50	0.31	中世?	-	-		
114	2	ⅢK25	円形	A	0.76	(0.69)	0.18	古墳?	土器	-		
115	2	ⅢK24	円形	A	0.35	0.35	0.11	中世?	-	-		
116	2	ⅢK25、 ⅢL21	楕円形	D	2.19	1.46	0.36	中世?	-	-		
117	2	ⅢP05	円形	B	0.25	0.23	0.17	古墳?	土器	-		
118	2	ⅢP05	円形	C	0.39	0.36	0.15	中世?	-	-		
119	2	ⅢP04	不整形	F	0.75	0.50	0.28	古代?	-	-		
120	2	ⅢP04	楕円形	B	0.60	0.50	0.20	古代	土器	-		
121	2	ⅢK24	円形	C	0.41	0.38	0.26	中世?	-	-		
122	2	ⅢP04	楕円形	A	0.63	0.54	0.12	古代?	土器	-		
123	2	ⅢK25、 ⅢL21	円形	D	0.74	0.72	0.13	古代?	-	▼SB52		
124	2	ⅢL21	円形	B	0.30	0.28	0.11	古代?	-	▼SB52		
125	2	ⅢL21	(円形)	C	0.18	0.14	0.11	古代?	-	▼SB52		
126	2	ⅢK10	円形	B	2.68	2.42	2.49	古代	土器	-	井戸	255図 PL23・24
127	2	ⅢL11	(円形)	A	(0.60)	(0.40)	0.08	古代	土器	-		256図
128	2	ⅢK15	(円形)	(A)	(0.38)	(0.48)	0.10	古代	土器	-		
129	2	ⅢK20・25	隅丸長方形	C	2.60	1.90	0.28	古代	土器・炭化材	-		
130	2	ⅢP13	(円形)	A	(0.48)	(0.26)	0.09	中世?	-	△SD 1		
131	2	ⅢP13	(楕円形)	A	(0.70)	(0.23)	0.09	中世?	-	△SD 1		
132	2	ⅢK09	楕円形	A	(1.34)	0.78	0.20	古代	土器	△SD 1		
133	2	ⅢK09	-	A	(1.40)	(0.42)	0.20	古代?	土器	△SD 1		
134	2	ⅢP24	(楕円形)	C	(0.63)	(0.54)	(0.43)	古墳?	土器	△SB22・(33)・37 ▼SB50		
135	2	ⅢP25	円形	B	0.40	0.38	0.50	中世?	-	-		
136	2	ⅢP18・19	隅丸長方形	A	(1.16)	(0.97)	(0.29)	古代?	土器	△SB27・29		
137	2	ⅢL06・07	不整形	D	(1.36)	(1.20)	0.15	古代?	-	△SD 1		

SK 番号	地区	グリッド	平面形	断面形	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構 △新 ▼古	備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ					
138	2	ⅢU03	隅丸長方形	G	(1.25)	(0.67)	(0.20)	古代	土器	△SB31・58		
139	2	ⅢQ11	円形	C	(0.65)	(0.57)	(0.28)	古墳中期	土器	△SD 4		147図
140	2	ⅢP05	不整形	C	0.46	0.44	0.30	古代?	土器	▼SB45・47		
141	2	ⅢQ06	隅丸方形	C	(0.40)	(0.38)	(0.23)	古代?	-	△SB44 (▼SB45)		
142	2	ⅢQ06	楕円形	F	(0.70)	0.41	0.56	古墳?	土器	△SB43 ▼SB45		
143	2	ⅢL06	(楕円形)	B	(0.55)	0.49	0.42	古墳?	土器	-		
144	2	ⅢL06	(楕円形)	C	(0.34)	(0.29)	(0.21)	古代?	-	△SD 1・5		
145	2	ⅢP04	円形	C	(0.62)	(0.57)	(0.32)	古代?	-	△SB48		
147	2	ⅢQ01・06	(楕円形)	A	(0.27)	(0.25)	(0.11)	古代?	土器	△SB44・47 (▼SB45)		
148	2	ⅢP05	円形	A	0.46	0.46	0.20	古代?	-	▼SB49		
149	2	ⅢL06	(長楕円形)	G	(0.84)	(0.37)	(0.11)	古代?	土器	-		
150	2	ⅢP10	楕円形	G	0.83	0.60	0.37	古墳?	土器	▼SB45・64		
151	2	ⅢP10	楕円形	C	(0.71)	(0.61)	(0.47)	古墳?	土器	△SB48・(64)		
152	2	ⅢP24	楕円形	C	(0.44)	0.20	0.09	古代?	-	△SB28 ▼SB37・39		
154	2	ⅢL06	隅丸方形	C	(1.22)	(1.15)	0.68	古墳?	土器	-		
155	2	ⅢP13	円形	C	0.46	0.44	0.31	中世?	-	▼SB32		
156	2	ⅢP13・18	円形	A	(0.72)	(0.63)	(0.21)	古代?	土器	△SB32		
157	2	ⅢP05	楕円形	C	(0.49)	(0.43)	(0.31)	古墳?	-	△SB48・(64)		
158	2	ⅢP04	(円形)	(D)	0.47	(0.40)	0.13	中世?	-	-		
159	2	ⅢP05	楕円形	A	(0.35)	(0.24)	(0.10)	古墳?	土器	△SB48		
161	2	ⅢP24	円形	B	0.31	0.30	0.19	古代?	土器	△SB40		
162	2	ⅢP24	楕円形	B	0.41	0.32	0.35	古代?	-	△SB40		
163	2	ⅢP24	楕円形	C	0.37	0.26	0.19	中世?	-	-		
164	2	ⅢP 5	円形	C	0.40	0.36	0.25	古代?	-	▼SB47		
166	2	ⅢP18・19	楕円形	C	(0.93)	(0.60)	(0.33)	古代?	-	△SB27 ▼SB29		
167	1	ⅢF08	円形	A	0.34	0.30	0.11	古代?	-	-		
168	1	ⅢF09・14	楕円形	B	0.45	0.38	0.35	中世?	-	▼SK31		
169	1	ⅢB12・17	隅丸長方形	C	1.25	0.86	0.39	古代	土器	▼SB74		
170	1	ⅢB12	楕円形	F	1.47	1.18	0.35	中世?	土器	▼SB74、SK185		
171	1	ⅢB17	長楕円形	C	1.49	0.40	0.44	古代?	土器・石器	-		
172	1	ⅢB17	円形	A	0.34	0.32	0.10	古代	土器	-		
173	1	ⅢB17	円形	B	0.28	0.27	0.21	古代?	-	-		
174	1	ⅢB06・11	楕円形	F	0.50	0.37	0.30	中世?	-	-		
175	1	ⅢB06	楕円形	A	0.74	0.54	0.20	中世?	-	-		
176	1	ⅢB06	楕円形	E	0.48	0.37	0.27	中世?	-	-		
177	1	ⅢB06	円形	A	0.34	0.30	0.11	中世?	-	-		
178	1	ⅢB06	楕円形	C	0.43	0.34	0.30	中世?	-	-		
179	1	ⅢB06	円形	B	0.66	0.62	0.50	中世?	-	-		
180	1	ⅢB06	円形	E	0.58	0.51	0.12	中世?	-	-		
181	1	ⅢB06	楕円形	C	0.36	0.27	0.27	中世?	-	-		
182	1	ⅢB17	楕円形	B	0.23	0.18	0.19	中世?	-	-		
183	1	ⅢB17	楕円形	C	0.38	0.32	0.29	古墳?	-	-		
184	1	ⅢB12	楕円形	C	0.43	0.34	0.20	古墳?	-	-		
185	1	ⅢB12	(長楕円形)	A	(0.59)	0.22	0.08	古墳?	-	△SK170		
186	1	ⅢB12	楕円形	B	0.35	0.23	0.12	古墳?	-	-		
187	1	ⅢB17	円形	A	0.29	0.26	0.10	古墳?	-	-		
188	1	ⅢB12・17	円形	C	0.51	0.50	0.24	古墳?	-	-		
189	1	ⅢB17	円形	A	0.38	0.36	0.13	古墳?	-	-		
190	1	ⅢB12	楕円形	B	0.26	0.21	0.14	古墳?	-	-		
191	1	ⅢB12	楕円形	E	0.37	0.30	0.38	古墳?	-	-		
192	1	ⅢB12	円形	A	0.39	0.36	0.15	古墳?	-	-		
193	1	ⅢB17	楕円形	A	0.62	0.47	0.28	古墳?	-	-		
194	1	ⅢB17	楕円形	C	0.39	0.28	0.16	古墳?	-	-		
195	1	ⅢB17	円形	B	0.46	0.43	0.31	古墳?	-	-		
196	1	ⅢB12・17	不整形	D	0.88	0.63	0.20	古墳?	-	-		
197	1	ⅢB17	円形	A	0.40	0.39	0.19	古墳?	-	-		
198	1	ⅢB12・17	円形	A	0.30	0.28	0.12	古墳?	-	-		
199	1	ⅢB17	円形	D	0.37	0.34	0.10	古墳?	-	-		
200	1	ⅢB17	円形	F	0.45	0.43	0.19	古墳?	-	-		

遺構一覧

SK 番号	地区	グリッド	平面形	断面形	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構		備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ			△新	▼古		
201	1	ⅢB17	楕円形	A	0.22	0.18	0.08	古墳?	-	-			
202	1	ⅢB17	円形	A	0.22	0.21	0.09	古墳?	-	-			
203	1	ⅢG11・12	不整形	A	(2.76)	1.88	(0.35)	古墳?	土器	-			
204	1	ⅢG02・07	円形	C	0.64	0.62	0.29	古代	土器	▼SB77			
205	1	ⅢG02	円形	A	0.48	0.44	0.14	弥生?	土器	-			
206	1	ⅢG02	円形	C	0.58	0.53	0.35	古代?	土器	▼SB77			
207	1	ⅢG16・17	(円形)	F	(1.08)	(1.00)	(0.76)	古墳?	土器	-			
208	1	ⅢG21	円形	E	(0.44)	(0.37)	(0.44)	中世?	-	△SD 7			
209	1	ⅢG21	円形	B	(0.43)	(0.40)	(0.40)	中世?	-	△SD 7			
210	1	ⅢG17	円形	A	0.32	0.30	0.12	中世?	-	-			
211	1	ⅢB12	円形	A	0.32	0.28	0.15	中世?	-	▼SB79			
212	1	ⅢB12	円形	C	0.83	0.75	0.68	古代?	土器・石器	▼SB78			
213	1	ⅢB01・06	円形	A	(0.37)	0.34	0.15	古代?	-	△SD10			
214	1	ⅢB06	楕円形	A	0.28	0.24	0.11	中世?	-	-			
215	1	ⅢB06	楕円形	A	0.33	0.24	0.12	中世?	-	-			
216	1	ⅢB06	楕円形	B	0.29	0.23	0.11	中世?	-	-			
217	1	ⅢB06	楕円形	B	0.35	0.26	0.13	中世?	-	-			
218	1	ⅢB06	楕円形	B	0.32	0.26	0.14	中世?	-	-			
219	1	ⅢB06	円形	B	0.22	0.19	0.15	中世?	-	-			
220	1	ⅢB06	円形	C	0.20	0.19	0.20	中世?	-	-			
221	1	ⅢB07	円形	A	0.36	0.34	0.16	中世?	-	-			
222	1	ⅢB07	長楕円形	C	0.46	0.20	0.21	中世?	-	-			
223	1	ⅢB07	円形	B	0.29	0.27	0.21	中世?	-	-			
224	1	ⅢB07	円形	B	0.22	0.21	0.33	中世?	-	-			
225	1	ⅢB07	円形	B	0.23	0.20	0.19	中世?	-	-			
226	1	ⅢB07	楕円形	B	0.27	0.23	0.26	古代?	土器	-			
227	1	ⅢB07	円形	A	0.22	0.21	0.11	中世?	-	-			
228	1	ⅢB07	円形	B	0.20	0.19	0.15	中世?	-	-			
229	1	ⅢB07	円形	A	0.27	0.25	0.13	中世?	-	-			
230	1	ⅢB12	円形	B	0.49	0.45	0.36	古代?	土器	▼SB79			
231	1	ⅢB12	長楕円形	C	0.91	0.29	0.13	古代?	土器	▼SB79			
232	1	ⅢB12	円形	B	(0.67)	(0.62)	0.33	古代?	土器	△SD 9			
233	1	ⅢB12	円形	C	0.23	0.20	0.18	古墳?	-	-			
234	1	ⅢB11	円形	A	0.42	0.37	0.16	古墳?	-	-			
235	1	ⅢB11・12	楕円形	A	(0.40)	0.33	(0.15)	古墳?	-	△SB79			
236	1	ⅢB12	円形	B	0.27	0.25	0.35	古墳?	-	-			
237	1	ⅢB12	楕円形	D	0.69	0.55	0.19	古墳?	-	-			
238	1	ⅢB12	不整形	E	0.50	0.46	0.20	古墳?	-	-			
239	1	ⅢB11・12	楕円形	A	0.30	0.26	0.18	古墳?	-	-			
240	1	ⅢB12	円形	C	0.28	0.24	0.25	古墳?	-	-			
241	1	ⅢB12	楕円形	C	0.38	0.28	0.16	古墳?	-	-			
242	1	ⅢB11・12	不整形	D	(1.52)	(1.07)	(0.20)	古墳?	-	△SB79			
243	1	ⅢK05	隅丸長方形	C	(0.64)	(0.57)	(0.32)	古墳?	土器	-			
244	1	ⅢK05	円形	B	0.42	0.38	0.32	古代?	土器	▲SB82			
246	1	ⅢB01	円形	B	0.36	0.32	0.36	中世?	-	-			
247	1	ⅢA15	隅丸長方形	A	1.23	(0.81)	0.12	中世?	-	▼SB69			
248	1	ⅢB01	円形	B	0.32	0.28	0.20	古代?	-	△SD10			
249	1	ⅢA09・10	(長方形)	C	(1.36)	(0.70)	0.18	古墳?	土器	-			
250	1	ⅢB02	(円形)	C	0.48	(0.30)	0.45	古代?	-	-			
251	1	ⅢB01	楕円形	(A)	0.54	0.46	0.16	古代?	-	-			
252	1	ⅢB01	円形	C	0.65	0.57	0.23	古墳?	土器	-			
253	1	ⅢB01	円形	C	0.42	0.41	0.25	古代?	-	-			
254	1	ⅢB01	楕円形	B	0.29	0.24	0.21	古代?	-	-			
255	1	ⅢA05	楕円形	(B)	0.22	0.17	0.19	古代?	-	-			
256	2	ⅢU19	円形	B	0.28	0.27	0.24	古代?	-	-			
257	2	ⅢU19・24	楕円形	A	0.80	0.56	0.14	古代?	-	▼SK263			
258	2	ⅢU24	楕円形	B	0.47	0.39	0.26	古代	土器	▼SK263			
259	2	ⅢU24	円形	B	0.28	0.24	0.11	古代?	-	-			
260	2	ⅢU19・20	楕円形	A	0.79	0.51	0.22	古代	土器	▼SB90			
261	2	ⅢU24	円形	A	0.41	0.40	(0.20)	古代?	-	-			
262	2	ⅢU10	(円形)	(A)	0.83	(0.78)	(0.12)	古代?	-	△SD17 ▼SB98			
263	2	ⅢU24	(楕円形)	C	(0.30)	0.35	-	古代?	-	△SK257・258			

SK 番号	地区	グリッド	平面形	断面形	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構		備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ			△新	▼古		
264	2	ⅢU19・24	隅丸長方形	G	1.88	1.30	0.55	古代?	-	-			
265	2	ⅢU24	楕円形	B	(0.44)	(0.23)	0.30	古代?	土器	-			
266	2	ⅢU19・20	不整形	G	3.03	1.40	0.54	古代	土器	▼SB87、SK273・274		257図	
267	2	ⅢU14	円形	D	0.90	0.82	0.24	古代?	土器	▼SB88、SD20			
268	2	ⅢU14・15	楕円形	A	1.64	(1.04)	0.22	古代	土器	▼SD19、SB89・94		258図	
269	2	ⅢU14	円形	A	0.35	0.34	0.11	古代	土器	▼SB87			
270	2	ⅢU10	(円形)	B	(0.31)	(0.20)	(0.18)	古代?	-	△SD16 ▼SB91・98			
271	2	ⅢU24	楕円形	B	0.34	0.26	0.12	古代?	土器	-			
272	2	ⅢU24・25	円形	B	0.35	0.35	0.14	古代?	土器	-			
273	2	ⅢU19	楕円形	C	(0.73)	(0.51)	(0.40)	古代	-	△SK266 ▼SB87		257図	
274	2	ⅢU20	楕円形	A	(1.15)	(0.73)	(0.10)	古代	土器	△SK266 ▼SB87		257図	
275	2	ⅢU10	楕円形	B	0.38	0.30	0.36	古代?	-	-			
276	2	ⅢU24・25	円形	E	0.48	0.47	0.32	古代?	-	-			
277	2	ⅢU15	(円形)	E	0.47	(0.45)	0.62	古代?	-	△SD19 ▼SB91			
278	2	ⅢU15	円形	B	(0.31)	(0.29)	0.19	弥生?	-	(▼SB91)			
279	2	VA04・05	円形	B	0.34	0.32	0.19	古代	土器	-			
280	2	ⅧY24	-	A	(1.70)	(0.70)	0.62	古代	土器	-			
281	2	ⅣE05、 VA01	楕円形	A	(0.77)	0.46	0.28	古代	土器	-			
282	2	ⅧY25	(円形)	B	0.36	0.26	0.42	古代?	-	-			
283	2	ⅧY25	(円形)	A	0.75	(0.56)	0.28	古代	土器	△SD21		259図	
284	2	ⅣE05	(円形)	B	0.34	(0.23)	0.18	古代	土器	△SD21			
285	2	ⅣE05、 ⅧY25	(楕円形)	B	(0.84)	0.55	0.23	古代	土器	△SD21、(SK287)			
286	2	ⅣE05、 ⅧY25	長楕円形	A	(1.40)	(0.43)	0.08	古代	土器・鉄製品	△SD21		259図	
287	2	ⅣE05、 ⅧY25	(円形)	A	0.56	0.55	0.18	古代?	-	△SD21、SK285			
288	2	ⅣE05	円形	B	0.30	0.28	0.36	古代?	-	-			
289	2	ⅢU08	円形	A	0.30	0.29	0.14	古代?	-	-			
290	2	ⅢU08	楕円形	B	0.26	0.22	0.18	古代?	-	-			
291	2	ⅢU09	不整形	A	0.73	0.54	0.14	古代?	-	-			
292	2	ⅢU14	(円形)	(C)	0.38	0.33	-	近世	銭・木製品	-	年代測定 樹種同定	309図 PL28	
293	2	ⅢU13	円形	F	0.33	0.32	0.13	古代?	-	-			
294	2	ⅢU14	楕円形	B	0.30	0.22	0.16	古代?	-	-			
295	2	ⅢU19	不整形	A	1.18	1.14	0.18	古代	土器	-			
296	2	ⅢU18	(円形)	(C)	(0.28)	(0.26)	-	近世	銭	▼SB102		310図	
297	2	ⅢU19	楕円形	A	1.48	0.78	0.16	古代	土器	▼SB102			
298	2	ⅢU19	楕円形	A	0.95	0.59	0.06	古代	土器	▼SB102			
299	2	ⅢU23	隅丸方形	C	0.60	0.60	0.29	古代?	土器	-			
300	2	ⅢU23	楕円形	A	0.55	0.42	0.14	古代?	土器	-			
301	2	ⅢU23・24	楕円形	A	1.14	0.82	0.20	古代?	土器・石器	▼SB104、SK307			
302	2	ⅢU14	円形	A	0.17	0.17	0.09	古代?	-	-			
303	2	ⅢU14	楕円形	A	(0.48)	0.29	0.07	古代?	-	-			
304	2	ⅢU14	円形	F	0.46	0.43	0.16	古代?	-	-			
305	2	ⅢU14	楕円形	A	0.48	0.34	0.18	古代?	-	-			
306	2	ⅢU23・24	不整形	D	1.24	0.48	0.15	古代	土器	-			
307	2	ⅢU23	不整形	A	2.38	2.34	0.55	古代?	土器	△SB104、SK301・336			
308	2	ⅢU19	楕円形	A	(0.75)	0.66	0.16	古代?	-	△SD18			
309	2	ⅢU23	楕円形	C	0.40	0.34	0.16	古代?	-	-			
310	2	ⅢU23	楕円形	A	0.62	0.44	0.15	古代?	土器	-			
311	2	ⅢU13・14	楕円形	D	(1.18)	(0.62)	0.23	古代	土器	△SD20 ▼SB103			
312	2	ⅢU14	楕円形	C	0.34	0.30	0.14	古代?	-	-			
313	2	ⅢU14	(楕円形)	A	(0.36)	0.38	0.24	古代?	-	△SD18			
314	2	ⅢU24	楕円形	F	0.60	0.54	0.26	古代	土器	-			
315	2	ⅢU03・08	不整形	C	(4.57)	(1.31)	0.18	古代	土器	△SD 1			
316	2	ⅢU08	(円形)	A	0.32	(0.28)	0.15	古代?	-	-			
317	2	ⅢU13	楕円形	D	1.20	0.66	0.07	古代?	-	-			
318	2	ⅢU24	円形	A	0.73	0.66	0.10	古代?	-	-			
319	2	ⅢU23	隅丸長方形	F	0.50	0.32	0.24	古代?	土器・獣骨	-			

遺構一覧

SK 番号	地区	グリッド	平面形	断面形	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構		備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ			△新	▼古		
320	2	ⅢU24	隅丸長方形	C	0.49	0.36	0.30	古代?	土器	-			
321	2	ⅢU19	円形	C	0.38	(0.30)	0.37	古代	土器	△SD18			
322	2	ⅢU12	円形	A	0.35	0.33	0.06	古代?	-	-			
323	2	ⅢU17・18	円形	C	0.68	0.60	0.60	古代?	-	-			
324	2	ⅢU07・12	不整形	D	(5.81)	(1.35)	0.46	古代	土器	-			260図 PL24
325	2	ⅢU22	長方形	E	1.08	0.80	0.30	古代?	-	-			
326	2	ⅢU21、 VA01	隅丸長方形	A	0.64	0.52	0.18	古代?	-	-			
327	2	ⅢU22	円形	C	0.64	0.60	0.15	中世?	銭・獣骨	-			299図
328	2	VA02	楕円形	B	0.60	0.50	0.24	古代?	-	-			
329	2	ⅢU22	円形	A	0.38	0.34	0.07	古代?	-	-			
330	2	ⅢU23	円形	A	0.18	0.18	0.06	古代?	-	-			
331	2	ⅢU23	円形	B	0.21	0.19	0.08	古代?	-	-			
334	2	ⅢU19・24	円形	A	0.47	0.47	0.09	古代?	-	-			
335	2	ⅢU09	(楕円)	A	(0.47)	0.39	0.10	古代?	-	△SD15			
336	2	ⅢU23	楕円	C	1.26	0.75	0.22	古代?	-	▼SB104、SK307			
337	2	VA02	円形	C	0.34	0.32	0.14	古代?	-	-			
338	2	VA02	円形	C	0.32	0.28	0.08	古代?	-	-			
339	2	VA02	(円形)	(C)	0.36	(0.28)	0.15	古代?	-	-			
340	2	VA02	円形	A	0.42	0.40	0.20	古代?	-	-			
341	2	VA03	(円形)	B	(0.34)	(0.20)	0.43	古代?	-	△SB111 ▼SB105			
342	2	VA03	円形	B	0.35	0.34	0.26	古代?	-	▼SB111			
343	2	ⅢU03・08	(長方形)	C	3.56	1.64	0.70	近世?	-	▼SD 1			
344	2	ⅢU03・08	楕円形	F	(0.58)	(0.48)	(0.43)	古代	-	-			
345	2	ⅢU21、 VA01	隅丸長方形	C	2.70	1.20	0.14	古代	土器	-			
3001	3	VF01	楕円形	B	0.24	0.16	0.08	中世以降	-	▼SK3388			
3002	3	VF01	楕円形	B	0.24	0.17	0.08	中世以降	-	-			
3003	3	VF01	円形	B	0.22	0.20	0.16	中世以降	-	-			
3005	3	VF06	円形	B	0.21	0.19	0.09	中世以降	-	-			
3006	3	VF06	円形	B	0.24	0.22	0.14	中世以降	-	▼SB3001			
3012	3	VF07	円形	C	1.05	1.00	0.71	中世以降	土器	▼SB3001、SK3717			300図
3014	3	VF07	楕円形	B	(0.36)	(0.24)	(0.16)	近世以降	土器	▼SB3001			
3015	3	VF02・07	円形	B	0.25	0.23	0.14	中世以降	土器	▼SB3001			
3016	3	VF02	円形	A	0.37	0.32	0.18	中世以降	土器	▼SB3001			
3017	3	VF02・07	楕円形	B	0.39	0.26	0.14	中世以降	土器	-			
3018	3	VF07	円形	F	0.32	0.32	0.18	中世以降	土器	-			
3019	3	VF07	楕円形	B	0.30	0.23	0.18	中世以降	-	-			
3020	3	VF07	円形	B	0.32	0.30	0.31	中世以降	-	-			
3021	3	VF07	楕円形	B	0.41	0.35	0.16	中世以降	土器	-			
3022	3	VF08	円形	C	0.48	0.42	0.31	中世以降	土器	▼SB3008			
3024	3	VF07	円形	B	0.23	0.20	0.10	古代?	-	-			
3025	3	VF07	楕円形	B	0.25	0.20	0.09	古代?	-	-			
3026	3	VF07	楕円形	C	0.54	0.46	0.23	中世以降	-	-			
3027	3	VF07	円形	C	0.47	0.42	0.14	中世以降	-	-			
3028	3	VF07	楕円形	C	0.34	0.24	0.12	中世以降	-	-			
3029	3	VF07	楕円形	E	0.38	0.32	0.21	中世以降	-	-			
3030	3	VF07	楕円形	B	0.31	0.23	0.15	近世以降	土器	▼SB3007			
3031	3	VF07	円形	B	0.20	0.18	0.16	中世以降	-	-			
3032	3	VF07	円形	B	0.24	0.21	0.19	中世以降	-	-			
3033	3	VF07	円形	B	0.21	0.18	0.21	中世以降	土器	-			
3034	3	VF07	円形	B	0.30	0.28	0.27	中世以降	土器・石器	▼SB3007			
3035	3	VF07	円形	B	0.23	0.21	0.20	中世以降	-	▼SB3007			
3036	3	VF12	円形	B	0.30	0.28	0.32	中世以降	-	▼SB3007			
3037	3	VF08	楕円形	B	0.25	0.18	0.10	中世以降	土器	▼SB3008			
3039	3	VF01	不整形	F	0.57	0.41	0.41	中世以降	-	-			
3040	3	VF01	円形	B	0.21	0.18	0.16	中世以降	土器	-			
3042	3	VF07	楕円形	B	0.20	0.18	0.06	中世以降	土器	▼SB3001			
3043	3	VF07	楕円形	F	0.78	0.51	0.30	中世以降	土器	-			
3044	3	VF06・07	円形	B	0.30	0.29	0.16	中世以降	土器	-			
3045	3	VF06	楕円形	B	0.38	0.28	0.23	中世以降	土器	-			
3046	3	VF06	円形	C	0.55	0.52	0.48	中世以降	土器・銭	▼SK3158			301図

SK 番号	地区	グリッド	平面形	断面形	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構		備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ			△新	▼古		
3047	3	VF06	楕円形	B	0.39	0.33	0.16	中世以降	-	-			
3048	3	VF12	円形	C	0.24	0.21	0.17	中世以降	-	▼SB3003			
3049	3	VF07	不整形	B	0.49	0.32	0.32	中世以降	-	▼SB3007			
3050	3	VF08	楕円形	B	0.21	0.17	0.11	中世以降	-	-			
3052	3	VF07	円形	B	0.22	0.21	0.18	中世以降	-	▼SB3003			
3053	3	VF08	楕円形	C	0.34	0.22	0.18	中世以降	土器	-			
3054	3	VF13	円形	A	0.38	0.37	0.13	中世以降	-	-			
3055	3	VF08	円形	A	0.26	0.24	0.12	中世以降	-	-			
3056	3	VF13	楕円形	B	0.30	0.24	0.21	中世以降	-	-			
3057	3	VF08	(円形)	B	0.26	(0.13)	0.23	中世以降	土器	-			
3059	3	VF08	(円形)	B	0.46	(0.36)	0.34	近世以降	土器	▼SK3509			
3061	3	VF08	(円形)	B	0.36	(0.23)	0.25	中世以降	-	-			
3062	3	VF02	不整形	C	1.45	(1.16)	0.74	中世以降	土器	▼SB3001			
3064	3	VF02・07	円形	A	0.35	0.31	0.05	近世以降	土器	▼SB3001			
3065	3	VF02	円形	C	1.47	1.33	(0.63)	中世以降	土器	▼SB3001	井戸		
3066	3	VF07	円形	C	0.28	0.24	0.08	中世以降	-	▼SD3002			
3067	3	VF12	円形	F	0.40	0.40	0.14	中世以降	-	▼SB3011、SD3009、SK3068			
3068	3	VF12	円形	A	0.37	(0.31)	0.12	古代?	土器	△SK3067 ▼SB3011、SD3009			
3069	3	VF17	楕円形	A	0.37	0.28	0.11	古代?	-	▼SB3011			
3070	3	VF17	円形	B	0.31	0.30	0.44	古代?	土器	▼SB3010			
3071	3	VF12・13	楕円形	E	0.72	0.52	0.50	古代?	土器	▼SB3010・3011			
3072	3	VF12	長方形	B	0.50	0.33	0.25	近世以降	土器	▼SB3010・3011			
3073	3	VF12	円形	A	0.45	0.43	0.15	古代?	土器	▼SB3011			
3074	3	VF12	円形	A	0.16	0.14	0.05	古代?	土器	▼SB3011			
3075	3	VF12	不整形	C	0.62	0.31	0.20	古代?	土器	▼SB3011			
3076	3	VF12	楕円形	A	0.36	0.28	0.08	古代	土器	▼SD3009			
3077	3	VF09	円形	A	0.37	0.32	0.12	中世以降	-	-			
3078	3	VF08	円形	B	0.40	0.35	0.30	中世以降	-	-			
3079	3	VF08	円形	A	0.28	0.26	0.13	古代?	-	-			
3080	3	VF13	円形	C	0.26	0.24	0.16	中世以降	土器	▼SB3028			
3081	3	VF13	方形	B	0.37	0.36	0.14	中世以降	土器	▼SB3028			
3082	3	VF13	円形	B	0.26	0.26	0.15	中世以降	-	▼SB3028			
3083	3	VF13	楕円形	B	0.48	0.36	0.18	中世以降	石製品	▼SB3028			
3084	3	VF13	円形	A	0.34	0.28	0.12	中世以降	土器	▼SB3028			
3085	3	VF13	楕円形	A	0.28	0.19	0.07	中世以降	-	-			
3086	3	VF13	(円形)	B	(0.31)	(0.20)	0.12	中世以降	-	-			
3087	3	VF18	楕円形	B	0.31	0.24	0.20	中世以降	土器	▼SB3010			
3088	3	VF17	円形	C	0.36	0.31	0.51	中世以降	土器	▼SB3010			
3089	3	VF17	円形	A	0.21	0.18	0.18	中世以降	-	▼SB3010			
3090	3	VF17	円形	C	0.35	0.35	0.27	中世以降	土器	▼SB3010			
3091	3	VF07	隅丸方形	B	0.27	0.23	0.38	近世以降	土器	▼SB3007			
3092	3	VF08	円形	A	0.33	0.30	0.10	中世以降	?	-			
3093	3	VF12	円形	C	0.53	0.48	0.19	中世以降	-	-			
3094	3	VF07	円形	B	0.23	0.22	0.28	中世以降	-	-			
3095	3	VF07	円形	B	0.28	0.26	0.13	古墳?	土器	▼SB3001			
3096	3	VF07	楕円形	B	0.24	0.20	0.19	古代?	土器	▼SB3001			
3097	3	VF07	楕円形	B	0.48	0.35	0.24	中世以降	-	▼SB3001			
3098	3	VF07	円形	B	0.20	0.18	0.16	古代?	-	▼SB3001			
3099	3	VF02	円形	B	0.38	0.36	0.34	中世以降	-	▼SB3001			
3100	3	VF06	円形	C	0.50	0.45	0.21	中世以降	-	▼SB3003			
3101	3	VF12	楕円形	B	0.52	0.40	0.26	中世以降	-	▼SB3003			
3102	3	VF12	円形	A	0.28	0.26	0.10	近世以降	-	▼SD3005			
3103	3	VF12	円形	B	0.26	0.24	0.12	近世以降	-	▼SD3005			
3104	3	VF12	楕円形	C	0.35	0.29	0.20	中世以降	土器	▼SB3003、SD3005			
3105	3	VF12	円形	A	0.23	0.22	0.09	中世以降	-	-			
3106	3	VF08	楕円形	B	(0.47)	(0.35)	0.31	中世以降	土器	-			
3107	3	VF12・13	楕円形	B	0.40	0.27	0.14	中世以降	土器	△SD3001			
3108	3	VF12	円形	B	0.20	0.19	0.10	中世以降	-	△SD3001			
3109	3	VF12	円形	A	0.19	0.18	0.06	近世以降	-	▼SD3005			
3110	3	VF12	楕円形	A	0.22	0.17	0.06	中世以降	-	-			
3111	3	VF13	円形	A	0.20	0.18	0.06	中世以降	-	-			
3112	3	VF08・09	不整形	E	1.95	1.40	0.45	中世以降	土器・石器・ 石製品	-		302図	

遺構一覧

SK 番号	地区	グリッド	平面形	断面形	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構		備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ			△新	▼古		
3113	3	VF09	(楕円形)	A	(0.50)	0.58	0.09	中世以降	-	△SK3305			
3114	3	VF08	楕円形	B	0.30	0.24	0.12	古代?	土器	-			
3115	3	VF07	楕円形	E	0.43	0.33	0.27	中世以降	土器	▼SB3007			
3116	3	VF18	方形	C	0.33	0.30	0.20	中世以降	土器	▼SB3010			
3117	3	VF17	方形	A	0.34	0.31	0.09	中世以降	-	▼SB3010			
3118	3	VF17・22	円形	B	0.27	0.23	0.11	中世以降	土器	▼SB3010			
3119	3	VF06	楕円形	B	0.24	0.18	0.28	中世以降	-	-			
3120	3	VF06	長楕円形	C	0.56	0.31	0.15	中世以降	土器	-			
3122	3	VF06	円形	B	0.27	0.24	0.13	中世以降	土器	▼SB3003			
3123	3	VF06	円形	B	0.25	0.25	0.12	中世以降	-	▼SB3003			
3124	3	VF11	円形	C	0.23	0.20	0.08	中世以降	-	▼SB3003			
3125	3	VF11	円形	A	0.19	0.16	0.08	中世以降	-	▼SB3003			
3127	3	VF13	円形	B	0.16	0.13	0.09	中世以降	-	▼SB3028			
3128	3	VF07	不整形	A	0.40	0.25	0.07	中世以降	-	-			
3129	3	VF07・08	楕円形	C	0.29	0.24	0.11	中世以降	-	-			
3130	3	VF08	楕円形	B	0.35	0.26	0.30	中世以降	-	-			
3131	3	VF08	円形	A	0.25	0.23	0.10	中世以降	-	-			
3132	3	VF08	方形	B	0.32	0.28	0.18	中世以降	土器	-			
3133	3	VF08	楕円形	B	0.27	0.14	0.08	中世以降	-	-			
3134	3	VF08	隅丸長方形	A	0.74	0.45	0.04	中世以降	-	-			
3135	3	VF08	円形	A	0.25	0.23	0.06	中世以降	-	-			
3136	3	VF08	楕円形	C	0.34	0.29	0.10	中世以降	-	-			
3137	3	VF08	不整形	E	0.54	0.27	0.13	中世以降	-	-			
3138	3	VF08	円形	B	0.38	0.35	0.32	中世以降	土器	-			
3139	3	VF08	楕円形	B	0.25	0.19	0.24	中世以降	土器	▼SB3006			
3141	3	VF08	円形	B	0.34	0.29	0.20	中世以降	土器	-			
3142	3	VF08	円形	B	0.49	0.47	0.35	中世以降	土器	-			
3143	3	VF07	楕円形	C	0.53	0.42	0.35	中世以降	土器	▼SB3007、SK3152			
3144	3	VF18	(円形)	B	(0.21)	0.23	0.26	中世以降	-	-			
3145	3	VF06	円形	B	0.17	0.14	0.12	中世以降	-	▼SB3001			
3146	3	VF06・07	円形	B	0.18	0.15	0.19	中世以降	土器	▼SB3001			
3147	3	VF06	円形	B	0.24	0.21	0.10	中世以降	土器	-			
3148	3	VF07	隅丸長方形	C	(0.30)	0.32	0.18	中世以降	土器	△ST3001			
3149	3	VF07	隅丸長方形	C	(0.54)	0.46	0.26	中世以降	-	△ST3004 ▼SB3007			
3150	3	VF07	(円形)	C	(0.22)	(0.18)	0.10	中世以降	-	△SK3151 ▼SB3007			
3151	3	VF07	隅丸長方形	C	0.40	0.30	0.11	中世以降	-	▼SB3007、SK3150			
3152	3	VF07	長方形	C	(0.68)	0.51	0.16	中世以降	-	△SK3143 ▼SB3007			
3153	3	VF02	円形	B	0.34	0.34	0.21	中世以降	-	▼SB3001			
3154	3	VF06	楕円形	B	(0.37)	(0.30)	(0.32)	中世以降	-	-			
3155	3	VF11	(楕円形)	A	(0.82)	(0.55)	0.18	中世以降	-	▼SB3003			
3157	3	VF06	楕円形	A	0.38	0.26	0.10	中世以降	-	▼SB3003			
3158	3	VF06	隅丸長方形	A	(1.38)	0.74	0.09	中世以降	土器・獣骨	△SK3046			
3159	3	VF02・07	楕円形	B	0.34	0.30	0.16	中世以降	-	▼SB3001			
3160	3	VF12	隅丸長方形	C	(0.78)	0.68	0.35	中世以降	土器	△SK3179			
3161	3	VF23	楕円形	A	0.65	0.53	0.14	中世以降	-	-			
3162	3	VF08	円形	B	0.29	0.25	0.14	中世以降	-	▼SB3006			
3164	3	VF06	隅丸長方形	B	0.25	0.20	0.36	中世以降	土器	▼SB3003			
3165	3	VF16	楕円形	-	2.12	1.37	(1.10)	近世	土器・石製品 ・木製品	-	井戸 年代測定 樹種同定	311図	
3166	3	VF06・07	楕円形	E	0.46	0.34	0.34	中世以降	土器	▼SB3001			
3167	3	VF13・14	円形	B	0.82	0.76	0.32	中世以降	-	△SD3001			
3168	3	VF23	楕円形	B	(0.50)	(0.40)	(0.16)	古代	土器	△SD3003			
3169	3	VF18	長楕円形	C	1.00	0.50	0.26	古代	土器・鉄製品	▼SB3010、SK3180			
3171	3	VF13	楕円形	B	0.49	0.36	0.36	中世以降	土器	-			
3172	3	VF17	不整形	G	2.22	1.28	0.42	古代	土器	▼SB3011			
3173	3	VF08	楕円形	C	0.41	0.32	0.22	中世以降	-	-			
3174	3	VF13	隅丸長方形	C	(0.38)	(0.27)	(0.17)	中世以降	土器	△SD3001 ▼SB3028			
3175	3	VF12	円形	-	1.15	1.02	(0.31)	近世以降	土器	△SD3001 ▼SB3003、SD3005	井戸		
3176	3	VF13・14	(円形)	C	0.61	(0.48)	0.21	中世以降	土器	▼SD3009			

SK 番号	地区	グリッド	平面形	断面形	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構 △新 ▼古	備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ					
3179	3	VF11・12	円形	D	(2.40)	2.40	2.40	近世	土器・木製品	▼SD3009、SK3160	井戸 年代測定 樹種同定	312図
3180	3	VF18	円形	G	(0.70)	0.73	0.29	古代?	-	△SK3169 ▼SB3010		
3181	3	VF18	円形	F	0.52	0.45	0.20	中世以降	土器	▼SB3010		
3183	3	VF22	円形	B	1.94	1.84	2.55	近世	土器・石製品	▼SM3001	井戸	313・314 図
3184	3	VF12	円形	C	0.26	0.26	0.42	古代?	-	-		
3186	3	VF17	円形	B	0.28	0.27	0.39	中世以降	土器	▼SB3010		
3187	3	VF13	円形	B	0.19	0.17	0.10	中世以降	-	-		
3188	3	VF13・18	楕円形	A	1.06	0.64	0.12	中世以降	土器	▼SD3010		
3190	3	VK03	円形	B	0.30	0.29	0.20	中世以降	土器	-		
3191	3	VK03	隅丸長方形	A	0.48	0.34	0.13	中世以降	-	-		
3193	3	VK03	円形	B	0.33	0.29	0.14	中世以降	-	-		
3194	3	VK03	楕円形	B	0.30	0.24	0.24	中世以降	-	-		
3196	3	VK03・08	円形	B	0.27	0.25	0.25	中世以降	-	-		
3197	3	VK02	円形	C	0.29	0.26	0.12	中世以降	-	-		
3198	3	VK02	楕円形	C	0.34	0.25	0.14	中世以降	-	-		
3199	3	VK07	隅丸方形	C	0.28	0.26	0.12	中世以降	土器	-		
3200	3	VK07	楕円形	B	0.36	0.25	0.21	中世以降	-	-		
3201	3	VK07	不整形	E	0.46	0.22	0.10	中世以降	-	-		
3202	3	VK07	円形	A	0.20	0.19	0.05	中世以降	-	-		
3203	3	VK08	円形	C	0.20	0.18	0.34	中世以降	-	-		
3205	3	VK08	円形	C	0.24	0.22	0.20	中世以降	土器	▼SD3012		
3208	3	VK08	円形	B	0.36	0.32	0.16	中世以降	土器	▼SK3221、SM3001		
3210	3	VF18	楕円形	E	0.62	0.39	0.28	古代?	土器	▼SB3005		
3211	3	VF18	楕円形	B	0.41	0.30	0.34	中世以降	-	-		
3212	3	VF18	円形	E	0.43	0.43	0.58	中世以降	土器	▼SB3010		
3213	3	VF13	円形	B	0.29	0.28	0.26	中世以降	-	▼SD3009		
3214	3	VF17	円形	B	0.33	0.28	0.36	中世以降	土器	▼SB3010		
3215	3	VF17	楕円形	C	0.43	0.34	0.20	中世以降	土器	▼SB3010		
3216	3	VF17	楕円形	B	0.54	0.40	0.30	中世以降	土器・石製品	▼SB3010		303図 PL27
3217	3	VF18	楕円形	B	0.53	0.41	0.15	近世以降	土器	▼SB3010		
3219	3	VK03	円形	B	0.21	0.19	0.11	中世以降	-	-		
3220	3	VK08	円形	B	0.18	0.16	0.12	中世以降	土器	-		
3221	3	VK08	円形	B	0.90	0.84	0.24	中世以降	-	△SK3208 ▼SM3001		
3222	3	VK07	楕円形	B	0.36	0.22	0.24	中世以降	-	-		
3223	3	VK03	楕円形	B	0.26	0.22	0.10	古墳前期	土器	-		148図
3224	3	VK07	円形	C	0.32	0.32	0.14	中世以降	-	-		
3225	3	VK07	不整形	E	0.36	0.26	0.32	中世以降	土器	-		
3226	3	VK07	円形	B	0.32	0.32	0.17	中世以降	土器	-		
3227	3	VK02	楕円形	B	0.20	0.15	0.16	中世以降	-	-		
3228	3	VK07	円形	A	(0.28)	(0.28)	(0.08)	中世以降	-	-		
3231	3	VF23	長楕円形	B	0.84	0.42	0.28	古代	土器	-		
3232	3	VF22	楕円形	A	0.46	0.36	0.14	中世以降	土器	-		
3233	3	VF17	楕円形	C	1.04	0.93	0.25	古代	土器	-		
3235	3	VF22・23	楕円形	C	1.18	0.80	0.34	古代	土器	▼SM3001、SD3015		
3238	3	VF18	楕円形	A	0.32	0.25	0.11	中世以降	-	▼ST3002		
3239	3	VF18	楕円形	C	0.32	0.25	0.18	中世以降	-	▼SD3003		
3240	3	VK02	隅丸長方形	F	0.40	0.23	0.30	中世以降	-	-		
3241	3	VK02	円形	C	0.25	0.25	0.11	中世以降	-	-		
3242	3	VK07	楕円形	C	(0.27)	(0.23)	(0.17)	中世以降	-	-		
3243	3	VK08	楕円形	A	0.26	0.22	0.07	中世以降	-	-		
3244	3	VF12	楕円形	D	(1.01)	(0.86)	(0.10)	古代	土器	△SD3009		
3246	3	VK02	円形	A	0.25	0.24	0.06	中世以降	-	-		
3247	3	VK02	隅丸方形	C	0.29	0.28	0.10	中世以降	-	-		
3248	3	VK02	楕円形	B	0.32	0.26	0.19	中世以降	-	-		
3249	3	VK02	円形	C	0.29	0.26	0.12	中世以降	-	-		
3250	3	VK07	隅丸方形	F	0.50	0.47	0.20	中世以降	土器	▼SD3012		
3251	3	VK07	楕円形	C	0.43	0.37	0.23	中世以降	土器	▼SD3012		
3252	3	VF12	円形	B	0.48	0.45	0.32	古代?	-	-		

遺構一覧

SK 番号	地区	グリッド	平面形	断面形	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構		備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ			△新	▼古		
3253	3	VF06	円形	B	0.29	0.28	0.41	古代?	土器	▼SB3003			
3254	3	VF16	円形	B	0.29	0.25	0.16	古代?	-	-			
3255	3	VF16	楕円形	C	0.41	0.30	0.17	古代?	-	-			
3256	3	VA21	円形	B	0.31	0.28	0.14	古代?	-	-			
3257	3	VA21	円形	A	0.18	0.16	0.07	古代?	土器	-			
3259	3	VA21	円形	B	0.26	0.24	0.46	古代?	-	-			
3260	3	VA21・22	楕円形	B	1.04	0.94	0.36	古代	土器	-			
3262	3	VA22	楕円形	C	0.61	0.47	0.10	中世以降	土器	-			
3263	3	VA22	円形	C	0.28	0.27	0.09	中世以降	-	-			
3264	3	VA22	円形	C	0.27	0.26	0.15	中世以降	-	-			
3265	3	VA22	楕円形	C	0.43	0.36	0.15	中世以降	-	-			
3267	3	VA22	円形	B	0.22	0.21	0.24	中世以降	-	-			
3270	3	VA22	楕円形	D	0.47	0.42	0.11	古代	土器	▼SB3035			
3271	3	VF02	円形	A	0.44	0.42	0.16	古代?	土器	-			
3273	3	VF03	隅丸長方形	A	0.28	0.20	0.05	古代?	-	▼SB3017			
3274	3	VF03	楕円形	B	0.32	0.26	0.15	中世以降	-	▼SB3017			
3276	3	VA23	楕円形	C	0.47	0.36	0.27	古代?	-	▼SB3021			
3278	3	VF03	楕円形	A	0.89	0.72	0.18	古代	土器	-			
3279	3	VF03	円形	A	0.82	0.72	0.16	古代	土器	-			
3280	3	VF03	円形	A	0.35	0.34	0.14	中世以降	土器	-			
3281	3	VF03	楕円形	B	0.34	0.30	0.14	古代?	-	-			
3282	3	VA23、VF03	円形	B	0.27	0.24	0.17	古代?	-	-			
3283	3	VA23	楕円形	B	0.29	0.19	0.21	古代?	-	-			
3284	3	VA23	楕円形	B	0.36	0.30	0.14	古代?	-	▼SB3021			
3285	3	VF03	円形	C	0.34	0.32	0.11	古代?	-	-			
3288	3	VF01	円形	A	0.19	0.19	0.08	古代?	-	-			
3289	3	VF02	円形	A	0.22	0.19	0.07	古代?	-	-			
3290	3	VF01・02	楕円形	B	0.41	0.36	0.26	古代?	-	▼SB3020			
3291	3	VF02	不整形	C	0.77	0.72	0.28	近世以降	土器	▼SB3001			
3294	3	VF02	楕円形	A	0.22	0.18	0.10	古代	-	-			
3295	3	VF02	円形	A	0.19	0.18	0.08	古代	-	-			
3296	3	VF02	楕円形	A	0.24	0.20	0.12	古代	-	-			
3297	3	VF02	不整形	A	0.64	0.52	0.14	古代?	土器	-			
3298	3	VA22、VF02	楕円形	C	0.36	0.30	0.06	古代?	-	-			
3299	3	VA22	隅丸長方形	C	0.60	0.37	0.18	近世以降	土器	▼SB3022			
3300	3	VA23	円形	A	0.38	0.38	0.09	古代?	土器	-			
3301	3	VF02	円形	C	0.44	0.41	0.17	古代?	土器	▼SB3019			
3302	3	VF03	円形	C	0.36	0.34	0.22	古代?	-	-			
3303	3	VF03・08	円形	B	0.88	0.83	0.62	古代?	土器	▼SB3006			
3304	3	VF09	楕円形	B	0.34	0.28	0.20	中世以降	-	-			
3305	3	VF09	円形	A	0.42	0.36	0.08	中世以降	-	▼SK3113			
3306	3	VF09	円形	C	0.32	0.28	0.13	中世以降	-	-			
3307	3	VF01	楕円形	A	0.17	0.14	0.10	古代?	-	▼SB3020			
3308	3	VF08	円形	A	0.34	0.31	0.13	古代?	-	-			
3310	3	VF13	楕円形	B	0.59	0.48	0.28	古代?	-	-			
3311	3	VF13	円形	B	(0.26)	(0.26)	0.17	古代?	-	△SD3001			
3312	3	VF01	楕円形	C	0.37	0.26	0.12	古代?	-	▼SK3528			
3313	3	VA21・22	楕円形	A	0.24	0.14	0.07	古代?	-	-			
3314	3	VA22	楕円形	B	0.31	0.22	0.12	古代?	-	-			
3315	3	VA22、VF02	円形	B	0.26	0.23	0.17	古代?	-	-			
3317	3	VA22	隅丸長方形	D	0.40	0.36	0.11	中世以降	土器	▼SB3022			
3318	3	VA22	楕円形	A	0.37	0.29	0.09	中世以降	-	-			
3319	3	VA22	楕円形	C	0.38	0.26	0.22	中世以降	-	-			
3320	3	VA22	円形	B	0.41	0.39	0.35	古代?	土器	-			
3322	3	VA22	隅丸長方形	E	0.37	0.25	0.18	古代?	-	-			
3323	3	VF01	隅丸長方形	B	0.28	0.25	0.31	古墳?	土器	▼SB3001			
3324	3	VF06	円形	B	0.26	0.23	0.28	中世以降	土器	▼SB3001			
3325	3	VF06	円形	B	0.14	0.10	0.16	中世以降	土器	▼SB3001			
3326	3	VF07	円形	B	0.18	0.16	0.38	近世以降	土器	▼SB3001			
3327	3	VF07	円形	B	0.45	0.45	0.44	古墳?	土器	▼SB3001			
3329	3	VA22	円形	C	0.29	0.29	0.11	古代?	土器	-			

SK 番号	地区	グリッド	平面形	断面形	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構		備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ			△新	▼古		
3330	3	VA22	円形	B	0.26	0.24	0.22	近世以降	土器	-	-		
3331	3	VA17	楕円形	A	0.24	0.17	0.08	古代?	-	-	-		
3332	3	VA17	円形	A	0.16	0.13	0.03	古代?	-	-	-		
3333	3	VA17	隅丸長方形	C	0.34	0.26	0.15	古代?	-	▼SK3334	-		
3334	3	VA17	(円形)	C	0.26	(0.23)	0.14	古代?	-	△SK3333	-		
3335	3	VA17	楕円形	A	0.24	0.20	0.09	古代?	-	-	-		
3336	3	VA17	楕円形	C	0.20	0.14	0.16	古代?	-	-	-		
3337	3	VA17	円形	A	0.26	0.22	0.08	近世以降	土器	-	-		
3338	3	VA17	円形	B	0.38	0.31	0.45	近世以降	土器	-	-		
3339	3	VA22	楕円形	C	0.36	0.30	0.20	中世以降	-	▼SB3034	-		
3340	3	VA22・23	隅丸方形	B	0.27	0.25	0.26	中世以降	土器	▼SB3034	-		
3341	3	VA22	円形	C	0.40	0.37	0.12	古代?	-	-	-		
3342	3	VA17	円形	B	0.36	0.30	0.10	中世以降	-	-	-		
3343	3	VA17	円形	B	0.57	0.56	0.15	中世以降	-	▼SB3026	-		
3344	3	VA17	円形	A	0.21	0.19	0.06	中世以降	-	-	-		
3345	3	VA17	円形	C	0.28	0.25	0.10	中世以降	-	-	-		
3346	3	VA17	円形	B	0.21	0.19	0.22	中世以降	-	-	-		
3347	3	VA17	楕円形	C	0.37	0.29	0.21	中世以降	-	▼SB3026	-		
3348	3	VA17	円形	B	0.69	0.63	0.53	近世以降	土器	▼SB3024・3026	-		
3349	3	VA17	円形	A	0.34	0.30	0.08	中世以降	-	▼SB3026	-		
3350	3	VA17	円形	C	0.70	0.64	0.60	古代	土器	▼SD3016、SK3525	-		
3351	3	VA17	楕円形	B	0.48	0.40	0.14	古代	土器	▼SK3525	-		
3352	3	VA17	円形	C	0.74	0.73	0.43	中世以降	土器	▼SB3026、SD3016	-		
3353	3	VA17	円形	B	0.18	0.16	0.34	中世以降	-	▼SK3354	-		
3354	3	VA17	円形	A	(0.23)	0.23	0.07	中世以降	-	△SK3353	-		
3355	3	VA17	楕円形	B	0.32	0.24	0.28	中世以降	-	-	-		
3356	3	VA17	円形	A	0.20	0.18	0.07	中世以降	-	-	-		
3357	3	VA17	隅丸長方形	C	0.35	0.28	0.27	近世以降	土器	-	-		
3358	3	VA17	楕円形	B	0.23	0.19	0.25	中世以降	-	-	-		
3359	3	VA17	楕円形	A	0.15	0.12	0.07	中世以降	-	-	-		
3360	3	VA17	円形	A	0.15	0.13	0.10	中世以降	土器	-	-		
3361	3	VA18	楕円形	B	0.22	0.14	0.15	古代?	-	-	-		
3362	3	VA18	楕円形	B	0.20	0.17	0.14	古代?	-	-	-		
3363	3	VA18	円形	B	0.24	0.23	0.16	中世以降	-	-	-		
3364	3	VA18	円形	A	0.14	0.13	0.05	中世以降	-	-	-		
3365	3	VA18	円形	A	0.20	0.18	0.05	中世以降	土器	-	-		
3366	3	VA18	円形	B	0.20	0.18	0.09	中世以降	-	-	-		
3367	3	VA18	楕円形	B	0.18	0.15	0.13	中世以降	-	-	-		
3368	3	VF03	円形	A	0.24	0.21	0.06	古代?	-	-	-		
3369	3	VA22	楕円形	C	0.35	0.27	0.22	中世以降	-	▼SK3546	-		
3370	3	VA17	円形	B	0.35	0.34	0.22	中世以降	-	-	-		
3371	3	VA17	円形	B	0.34	0.32	0.36	中世以降	-	-	-		
3372	3	VA17	楕円形	B	0.20	0.13	0.11	近世以降	土器	-	-		
3373	3	VA17	楕円形	A	0.30	0.23	0.09	古代?	土器	-	-		
3374	3	VA17	円形	B	0.34	0.31	0.17	中世以降	-	-	-		
3375	3	VA12・17	隅丸方形	E	0.31	0.30	0.42	中世以降	-	-	-		
3376	3	VA17	楕円形	B	0.27	0.16	0.10	中世以降	-	-	-		
3377	3	VA12・17	楕円形	B	0.24	0.18	0.16	中世以降	-	-	-		
3378	3	VA18	隅丸長方形	B	0.37	0.30	0.28	中世以降	-	-	-		
3379	3	VA12	円形	B	0.46	0.40	0.27	中世以降	土器	-	-		
3380	3	VA12	円形	B	0.30	0.28	0.12	中世以降	-	-	-		
3381	3	VA17	円形	A	0.45	0.45	0.10	中世以降	土器	▼SK3382	-		
3382	3	VA12・17	楕円形	B	(0.38)	0.32	0.20	中世以降	土器	△SK3381 ▼SK3385	-		
3383	3	VA12	楕円形	A	0.30	0.24	0.09	中世以降	土器	▼SK3384	-		
3384	3	VA12	(円形)	B	0.26	(0.23)	0.09	中世以降	-	△SK3383	-		
3385	3	VA12・17	(楕円形)	B	0.38	(0.21)	0.13	中世以降	-	△SK3382	-		
3387	3	VA12	円形	C	0.35	0.34	0.33	中世以降	-	-	-		
3388	3	VF01	楕円形	C	0.26	(0.17)	0.19	古代?	-	△SK3001	-		
3389	3	VF02・07	円形	C	0.33	0.31	0.10	古代?	-	▼SB3001	-		
3390	3	VF07	楕円形	B	0.42	0.36	0.12	古代?	-	-	-		
3391	3	VF16	不整形	E	(1.97)	1.48	1.04	近世以降	土器・石器・ 石製品	-	-		

遺構一覧

SK 番号	地区	グリッド	平面形	断面形	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構		備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ			△新	▼古		
3392	3	VK07	楕円形	B	0.43	0.37	0.17	中世以降	-	-			
3393	3	VA17・18	楕円形	A	0.40	0.30	0.07	中世以降	-	-			
3394	3	VA12	楕円形	B	0.32	0.25	0.34	近世以降	土器	-			
3395	3	VA12	楕円形	C	0.38	0.30	0.28	中世以降	-	-			
3396	3	VA12・13	円形	C	0.34	0.29	0.20	中世以降	-	-			
3397	3	VA07	円形	F	0.29	0.27	0.19	中世以降	-	-			
3398	3	VA07・08	楕円形	B	0.26	0.20	0.08	中世以降	-	-			
3399	3	VA07	楕円形	B	0.32	0.24	0.13	中世以降	-	-			
3400	3	VA12	円形	B	0.29	0.26	0.17	中世以降	-	-			
3401	3	VA12	楕円形	E	0.33	0.23	0.18	中世以降	-	-			
3402	3	VA12	楕円形	C	0.41	0.34	0.24	中世以降	-	-			
3403	3	VA12	円形	C	0.18	0.17	0.17	中世以降	土器	-			
3404	3	VA12	(円形)	A	0.26	0.23	0.08	中世以降	土器	△SK3543			
3406	3	VA07	楕円形	D	1.26	0.86	0.23	古代?	土器	△SK3480 ▼SB3029			
3407	3	VA12	円形	B	0.17	0.16	0.05	中世以降	-	-			
3408	3	VA12	円形	A	0.36	0.34	0.04	中世以降	-	-			
3409	3	VA12	円形	B	0.27	0.24	0.12	中世以降	-	-			
3410	3	VA12	楕円形	E	0.34	0.26	0.09	中世以降	-	-			
3411	3	VA12	隅丸方形	C	0.25	0.24	0.21	中世以降	-	-			
3412	3	VA12	円形	C	0.29	0.27	0.14	中世以降	-	▼SK3413			
3413	3	VA12	(円形)	A	0.21	(0.17)	0.10	中世以降	-	△SK3412			
3414	3	VA12	隅丸方形	B	0.40	0.33	0.34	中世以降	土器	-			
3415	3	VA12	円形	B	0.36	0.36	0.35	近世以降	土器	-			
3416	3	VA12	楕円形	B	0.26	0.20	0.13	中世以降	-	-			
3417	3	VA12	円形	E	0.36	0.32	0.31	中世以降	-	-			
3418	3	VA12	(円形)	B	(0.20)	0.26	0.42	古代?	土器	-			
3419	3	VA12	(楕円形)	E	0.30	(0.14)	0.39	古代?	土器	-			
3420	3	VA12	隅丸方形	C	0.48	0.43	0.27	近世以降	土器	▼SD3014			
3421	3	VA12	隅丸長方形	F	0.41	0.27	0.29	中世以降	-	-			
3423	3	VA12	楕円形	C	0.43	0.33	0.25	中世以降	土器	▼SD3014			
3424	3	VA12	楕円形	E	0.64	0.47	0.41	近世以降	土器	▼SD3014			
3425	3	VA12	楕円形	C	0.37	0.29	0.07	中世以降	-	-			
3426	3	VA12	円形	B	1.30	1.28	1.22	古代	土器	▼SD3014		261図 PL24	
3427	3	VA12	円形	B	0.35	0.34	0.21	近世以降	土器	▼SB3039			
3428	3	VA12	楕円形	B	0.33	0.25	0.41	近世以降	土器	▼SB3039			
3429	3	VA12	楕円形	B	0.29	0.25	0.16	中世以降	-	-			
3430	3	VA12	楕円形	C	0.53	0.37	0.21	中世以降	-	-			
3431	3	VA12・13	楕円形	G	0.79	0.66	0.58	中世以降	-	-			
3432	3	VA13	楕円形	B	0.34	0.27	0.18	中世以降	-	-			
3433	3	VA12	円形	B	0.48	0.43	0.29	中世以降	-	▼SK3434			
3434	3	VA07・08・ 12・13	楕円形	(C)	(0.67)	0.62	0.27	中世以降	土器	△SK3433			
3436	3	VA13	楕円形	D	0.98	0.81	0.24	近世以降	土器	▼SB3058			
3437	3	VF02	円形	B	0.26	0.24	0.14	古代?	-	-			
3438	3	VA12	円形	B	0.23	0.20	0.11	中世以降	-	-			
3439	3	VA12	楕円形	C	0.87	0.62	0.12	中世以降	土器	▼SK3440			
3440	3	VA12	楕円形	A	0.40	0.32	0.08	古代	土器	△SK3439 ▼SK3442			
3441	3	VA12	円形	A	0.39	0.37	0.14	古代?	土器	-			
3442	3	VA12	(円形)	B	0.22	(0.20)	0.14	古代?	-	△SK3440			
3444	3	VA13	楕円形	B	0.28	0.22	0.18	中世以降	-	-			
3445	3	VA12	円形	B	0.24	0.23	0.17	中世以降	-	-			
3446	3	VA12	楕円形	B	0.42	0.34	0.17	近世以降	土器	-			
3447	3	VA12	円形	B	0.50	0.49	0.20	近世以降	土器	▼SD3014			
3449	3	VA12	円形	B	0.15	0.14	0.12	中世以降	-	-			
3450	3	VA12	不整形	F	0.38	0.26	0.45	中世以降	-	-			
3452	3	VA12	楕円形	B	0.22	0.17	0.19	中世以降	-	-			
3453	3	VA12	円形	B	0.20	0.14	0.24	中世以降	-	-			
3454	3	VA22	円形	A	0.34	0.31	0.08	古代?	土器	-			
3455	3	VF02	楕円形	B	0.23	0.18	0.14	中世以降	-	-			
3456	3	VA12	円形	B	0.30	0.26	0.28	中世以降	-	-			
3457	3	VA12	楕円形	B	0.67	0.47	0.23	中世以降	土器	▼SK3495、SK3507			

SK 番号	地区	グリッド	平面形	断面形	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構 △新 ▼古	備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ					
3458	3	VA12	楕円形	C	0.46	0.28	0.30	中世以降	-	-		
3459	3	VA12	楕円形	B	0.25	0.20	0.16	中世以降	-	-		
3460	3	VA12	円形	B	0.36	0.32	0.31	近世以降	土器	▼SD3014		
3461	3	VA12	円形	A	0.20	0.17	0.16	中世以降	-	-		
3462	3	VA12	楕円形	B	0.41	0.34	0.28	近世以降	土器	-		
3463	3	VA12	楕円形	B	0.37	0.28	0.27	中世以降	-	-		
3464	3	VA12	(楕円形)	(C)	(0.20)	0.23	0.12	中世以降	-	△SK3465		
3465	3	VA12	隅丸方形	C	0.58	0.50	0.49	中世以降	土器	▼SK3464・3466・3467		
3466	3	VA12	(楕円形)	A	(0.30)	0.26	0.10	中世以降	-	△SK3465		
3467	3	VA12	(円形)	B	(0.13)	0.20	0.20	中世以降	-	△SK3465		
3468	3	VA12	隅丸方形	C	0.30	0.26	0.28	中世以降	-	-		
3469	3	VA12	円形	B	0.15	0.14	0.12	中世以降	-	-		
3470	3	VA12	円形	C	0.28	0.27	0.20	中世以降	-	-		
3471	3	VA12	楕円形	C	0.48	0.42	0.21	近世以降	土器	-		
3472	3	VA12	楕円形	C	0.44	0.37	0.21	中世以降	土器	-		
3473	3	VA12	楕円形	B	0.27	0.20	0.26	古代?	-	-		
3474	3	VA12	円形	B	0.20	0.19	0.15	中世以降	-	-		
3475	3	VA12	円形	B	0.17	0.16	0.10	中世以降	-	-		
3476	3	VA12	円形	C	0.27	0.26	0.13	中世以降	-	-		
3477	3	VA12	円形	B	0.22	0.22	0.32	中世以降	-	-		
3479	3	VA07	楕円形	B	0.32	0.24	0.14	中世以降	-	-		
3480	3	VA07	楕円形	A	0.48	0.42	0.17	中世以降	-	▼SK3406		
3481	3	VA17	不整形	B	0.82	(0.64)	0.17	中世	土器	△SK3482 ▼SD3016		
3482	3	VA17	円形	A	0.24	0.24	0.08	中世以降	-	▼SK3481		
3483	3	VA17	楕円形	A	0.92	0.68	0.10	近世以降	土器	-		
3484	3	VA17	楕円形	C	0.48	0.39	0.20	中世以降	-	-		
3485	3	VA12・17	円形	A	0.57	0.56	0.11	近世以降	土器	▼SD3020		
3486	3	VA17	円形	C	0.14	0.14	0.10	中世以降	-	-		
3488	3	VA17	楕円形	B	0.22	0.18	0.08	中世以降	-	-		
3489	3	VA17	楕円形	F	0.31	0.15	0.09	中世以降	-	-		
3491	3	VA17	円形	B	0.43	0.39	0.14	古代	土器	▼SB3037、SD3014		
3492	3	VA17	不整形	B	1.31	1.01	0.27	古代	土器・鉄製品	▼SB3037、SK3515		262図 PL24
3493	3	VF07	円形	B	0.42	0.38	0.26	古代?	-	▼SB3007		
3494	3	VA16	(円形)	B	(0.98)	(0.82)	0.52	近世以降	土器・銅製品	▼SB3024・3038		315図
3495	3	VA12	(円形)	C	(0.50)	(0.27)	0.22	古代?	土器	△SK3457		
3496	3	VA17	楕円形	B	0.20	0.17	0.08	中世以降	-	-		
3497	3	VA12	円形	B	0.30	0.26	0.30	中世以降	-	-		
3498	3	VA07	(円形)	C	0.76	(0.51)	0.14	中世以降	-	-		
3499	3	VK02	円形	(B)	1.74	1.73	1.05	中世以降	土器	▼SM3001		
3500	3	VA24、 VF04	隅丸長方形	C	0.39	0.31	0.08	中世以降	土器	▼SB3036		
3501	3	VK03・08	不整形	B	(2.60)	(2.09)	0.34	古代	土器	-		
3502	3	VF07	円形	B	0.47	0.46	0.26	中世以降	土器	▼SB3001		
3505	3	VA22・23、 VF02・03	円形	A	0.84	0.79	0.10	近世以降	土器	▼SB3035		
3506	3	VF03	円形	A	0.40	0.39	0.20	中世以降	土器	-		
3507	3	VA12	(円形)	C	(0.20)	0.29	0.20	中世以降	-	△SK3457		
3509	3	VF08	(円形)	B	0.30	(0.20)	0.23	中世以降	-	△SK3059		
3510	3	VA16・17・ 21・22	円形	B	2.17	(2.08)	1.64	近世以降	土器・石製品	▼SB3024・3038		316図
3511	3	VA12	隅丸方形	F	0.36	0.35	0.15	古代?	-	-		
3512	3	VA12	隅丸方形	C	0.61	0.53	0.40	古代?	土器	▼SD3014		
3514	3	VA12	円形	B	0.27	0.24	0.20	古代?	土器	-		
3515	3	VA17	円形	B	(0.21)	0.20	0.14	古代?	-	△SK3492 ▼SB3037		
3516	3	VA22	円形	B	0.21	0.20	0.15	古代?	-	-		
3517	3	VA22	円形	A	0.38	0.34	0.06	古代?	-	-		
3518	3	VA17	円形	C	0.52	0.49	(0.20)	古代?	-	不明SD3016		
3520	3	VA18	楕円形	B	0.20	0.16	0.40	古代?	土器	-		
3521	3	VA18	楕円形	B	0.19	0.17	0.18	古代?	-	-		
3522	3	VF01	楕円形	A	0.18	0.14	0.05	古代?	-	▼SB3020		
3523	3	VF01	円形	C	0.26	0.26	0.14	古代?	-	▼SB3020		

遺構一覧

SK 番号	地区	グリッド	平面形	断面形	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構		備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ			△新	▼古		
3524	3	VA17	楕円形	A	0.28	0.23	0.05	中世以降	-	-			
3525	3	VA17	(円形)	D	(0.58)	(0.47)	0.33	古代	土器	△SK3350、SK3351 ▼SD3016、SK3545			
3526	3	VA23	楕円形	E	0.64	0.54	(0.75)	近世以降	土器	▼SB3021			
3527	3	VA17	(楕円形)	A	0.70	(0.24)	0.08	中世以降	土器	▼SB3037、SD3016			
3528	3	VF01	(円形)	B	0.34	(0.20)	0.28	古代?	土器	△SK3312			
3529	3	VA24	円形	A	1.71	(1.67)	0.67	中世以降	土器・石製品 ・木製品	▼SB3023		304図	
3530	3	VA17	楕円形	B	(0.78)	(0.68)	(0.62)	古代?	土器	△SD3016			
3532	3	VA16	楕円形	B	0.42	0.37	(0.17)	古代?	-	△SD3016			
3533	3	VA17	円形	B	(0.23)	(0.20)	(0.15)	古代?	土器	△SD3016			
3534	3	VF08	円形	B	0.31	0.28	0.14	中世以降	-	-			
3535	3	VF08	円形	B	0.24	0.22	0.14	中世以降	-	-			
3536	3	VA12	楕円形	B	0.70	0.46	0.34	中世以降	-	▼SD3014・3017			
3537	3	VA12	隅丸方形	B	0.47	0.46	0.39	中世以降	-	-			
3538	3	VA12	楕円形	B	0.44	0.33	0.26	近世以降	土器	-			
3539	3	VA13	楕円形	B	0.30	0.26	0.40	近世以降	土器	-			
3540	3	VA13	楕円形	B	0.34	0.28	0.15	中世以降	土器	-			
3542	3	VA12	円形	B	0.27	0.25	0.13	中世以降	-	-			
3543	3	VA12	円形	B	0.52	0.47	0.28	中世以降	-	▼SK3404			
3544	3	VA12	楕円形	A	1.01	0.78	0.15	中世以降	-	-			
3545	3	VA17	不整形	F	(0.55)	0.55	0.24	古代?	-	△SD3016・SK3525 ▼SB3026			
3546	3	VA22	楕円形	E	(1.89)	1.39	0.57	中世以降	土器	△SK3369		305図	
3547	3	VA13	楕円形	B	1.00	0.88	0.36	古代?	土器	不明SB3047・3053			
3548	3	VA17	楕円形	B	0.31	0.26	0.26	中世以降	-	▼SB3034			
3549	3	VA17	楕円形	B	0.38	0.32	0.21	古代?	土器	-			
3551	3	VK17	円形	B	0.46	0.44	0.28	中世以降	土器	-			
3552	3	VK17	円形	B	0.35	0.32	0.42	中世以降	-	-			
3553	3	VK17	円形	C	0.35	0.33	0.30	中世以降	-	-			
3554	3	VK17	円形	B	0.36	0.33	0.32	中世以降	土器	-			
3555	3	VK17	楕円形	B	0.32	0.26	0.20	中世以降	土器	-			
3556	3	VK17	楕円形	E	0.34	0.28	0.34	中世以降	-	-			
3557	3	VK17	円形	B	0.22	0.20	0.20	中世以降	-	-			
3558	3	VK22	円形	B	0.28	0.27	0.13	中世以降	-	-			
3559	3	VK22	円形	B	0.31	0.30	0.42	中世以降	土器	▼SM3002			
3560	3	VK22	円形	A	0.37	0.35	0.11	中世以降	-	-			
3561	3	VK22	楕円形	B	0.36	0.21	0.20	中世以降	土器	-			
3562	3	VK21	円形	B	0.24	0.21	0.30	中世以降	-	-			
3563	3	VK21・22	円形	B	0.29	0.27	0.54	中世以降	土器	-			
3564	3	VK22	円形	B	0.21	0.20	0.36	中世以降	-	-			
3565	3	VK22	円形	B	0.24	0.20	0.42	中世以降	-	-			
3566	3	VK22	円形	B	0.23	0.23	0.54	中世以降	土器	-			
3567	3	VP01	円形	B	0.20	0.18	0.17	中世以降	-	-			
3568	3	VP01	(円形)	B	0.38	(0.28)	0.37	中世以降	土器	-			
3569	3	VP02	円形	B	0.30	0.26	0.50	中世以降	土器	-			
3570	3	VP02	円形	B	0.28	0.24	0.40	中世以降	-	-			
3571	3	VP02	楕円形	B	0.39	0.31	0.53	中世以降	-	-			
3572	3	VP02	隅丸長方形	B	0.32	0.24	0.54	中世以降	-	▼SK3573			
3573	3	VP02	楕円形	B	0.44	0.34	0.27	中世以降	-	△SK3572			
3574	3	VP02	円形	B	0.16	0.14	0.13	中世以降	-	-			
3575	3	VK22	円形	B	0.21	0.20	0.36	中世以降	-	-			
3576	3	VK17	隅丸方形	B	0.29	0.28	0.30	中世以降	土器	-			
3577	3	VP01	楕円形	A	0.43	0.34	0.13	中世以降	-	-			
3578	3	VP02	円形	B	0.20	0.18	0.39	中世以降	-	-			
3579	3	VP02	円形	B	0.32	0.28	0.21	中世以降	-	-			
3580	3	VK23	楕円形	C	0.26	0.20	0.16	中世以降	土器	-			
3581	3	VK22	円形	B	0.22	0.22	0.20	中世以降	-	-			
3582	3	VK22	円形	E	0.24	0.22	0.43	中世以降	土器	-			
3583	3	VK21	(円形)	B	(0.39)	(0.34)	(0.18)	中世以降	-	▼SK3584			
3584	3	VK21	(円形)	B	(0.28)	(0.30)	(0.29)	中世以降	土器	△SK3583			
3585	3	VK21	楕円形	B	(0.23)	(0.18)	(0.10)	中世以降	土器	-			
3586	3	VK21	隅丸方形	A	0.28	0.26	0.07	中世以降	-	-			
3587	3	VK21	円形	B	0.21	0.20	0.20	中世以降	-	-			

SK 番号	地区	グリッド	平面形	断面形	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構 △新 ▼古	備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ					
3588	3	VK21	円形	B	0.18	0.15	0.07	中世以降	-	-		
3589	3	VP01	隅丸方形	B	0.25	0.22	0.10	中世以降	-	-		
3590	3	VP01	円形	B	0.23	0.20	0.22	中世以降	-	-		
3591	3	VP01	円形	B	(0.23)	(0.20)	(0.11)	中世以降	-	-		
3592	3	VP01	円形	B	0.10	0.10	0.08	中世以降	-	-		
3593	3	VK22	円形	B	0.22	0.20	0.11	中世以降	-	-		
3594	3	VK22	円形	B	0.40	0.36	0.20	中世以降	-	▼SM3002		
3595	3	VK22	不整形	E	(0.39)	(0.26)	(0.15)	中世以降	-	-		
3596	3	VK22	円形	B	0.24	(0.23)	(0.20)	中世以降	-	-		
3597	3	VK22	円形	A	0.19	0.17	0.08	中世以降	土器	-		
3598	3	VK22	楕円形	A	0.30	0.25	0.06	中世以降	-	-		
3599	3	VK22	円形	A	0.20	0.17	0.08	中世以降	-	-		
3600	3	VK23	楕円形	C	0.30	0.24	0.17	中世以降	土器	-		
3601	3	VK23	円形	B	0.19	0.19	0.30	中世以降	土器	-		
3602	3	VP02	円形	B	0.16	0.14	0.08	中世以降	-	-		
3603	3	VP02	楕円形	E	(0.37)	(0.31)	(0.14)	中世以降	-	-		
3604	3	VP02	不整形	E	0.46	0.22	0.12	中世以降	-	-		
3605	3	VP02	楕円形	F	0.31	0.20	0.20	中世以降	-	-		
3607	3	VP02	円形	B	(0.20)	(0.18)	(0.18)	中世以降	-	-		
3608	3	VP02	円形	B	(0.18)	0.17	0.20	中世以降	-	-		
3609	3	VP02	円形	B	(0.45)	(0.44)	(0.19)	近世以降	土器	-		
3610	3	VP02	円形	B	0.14	0.12	0.09	中世以降	-	-		
3611	3	VP02	円形	B	0.20	0.17	0.08	中世以降	-	-		
3612	3	VP02	円形	B	0.12	0.10	0.05	古代?	-	-		
3613	3	VP02	楕円形	B	0.14	0.10	0.06	古代?	-	-		
3614	3	VP03	円形	B	0.16	0.15	0.21	古代?	-	▼SM3002		
3615	3	VP03	円形	B	(0.26)	(0.24)	(0.30)	中世以降	土器	▼SB3046		
3616	3	VP03	(楕円形)	(C)	(0.27)	(0.20)	(0.13)	中世以降	土器	▼SB3046		
3617	3	VK21	円形	B	0.30	(0.26)	(0.20)	中世以降	土器	-		
3618	3	VK22	楕円形	E	0.44	0.36	0.47	古代?	-	-		
3619	3	VK17	円形	E	0.40	0.39	0.26	古代?	土器	▼SB3042		
3620	3	VK17	円形	E	0.29	0.28	0.15	古代?	-	-		
3621	3	VP03	(楕円形)	B	(0.23)	(0.22)	(0.41)	中世以降	土器	▼SB3046		
3622	3	VA14	円形	B	(0.40)	(0.35)	0.18	古代?	土器	▼SK3721		
3623	3	VA19	円形	B	0.31	0.28	0.38	古代?	土器	-		
3624	3	VA19	楕円形	B	0.38	0.30	0.30	古代?	-	▼SB3049		
3625	3	VA08	(円形)	A	1.18	(0.59)	0.22	古代?	-	-		
3626	3	VA09	円形	B	0.78	0.70	0.54	古代?	土器	-		
3627	3	VA09	(楕円形)	A	(1.28)	1.50	0.12	古代?	土器	△SK3721		
3628	3	VA14	楕円形	B	0.41	0.35	0.10	古代?	土器	▼SB3050		
3629	3	VA14	円形	B	0.42	0.38	0.22	古代?	土器	▼SB3050		
3630	3	VA19	楕円形	B	0.33	0.24	0.11	古代?	土器	▼SB3050		
3631	3	VA14・19	円形	B	0.52	0.50	0.24	古代?	土器	▼SB3050		
3632	3	VA13	楕円形	A	0.46	(0.24)	0.06	古代?	-	△SK3721		
3633	3	VA19	円形	B	0.28	0.24	(0.19)	古代?	土器	△SD3016 ▼SB3049		
3634	3	VA18	円形	-	2.98	2.73	(1.25)	近世以降	土器・石製品 ・銭・鉄製 品・木製品	▼SB3059~3061、SD3016、 SK3681		317・318 図
3635	3	VA09	円形	B	0.45	0.43	0.14	古代?	土器	-		
3636	3	VA14	円形	A	0.40	0.40	0.10	古代?	-	-		
3637	3	VA14	円形	A	0.34	0.30	0.09	古代?	-	-		
3638	3	VA14	円形	B	0.40	0.34	0.13	古代?	土器	-		
3639	3	VA19	楕円形	B	0.40	0.36	0.50	古代?	-	▼SB3050		
3640	3	VA18	不整形	E	0.69	0.42	0.28	中世以降	土器	-		
3641	3	IVT10	円形	B	0.27	0.26	0.20	中世以降	-	-		
3642	3	VP06	楕円形	E	0.40	0.25	0.18	中世以降	-	-		
3643	3	VP06	隅丸方形	B	0.24	0.23	0.23	中世以降	土器	-		
3644	3	VP06	楕円形	B	0.25	0.19	0.16	中世以降	-	-		
3645	3	VP06	隅丸方形	B	0.26	0.23	0.14	中世以降	土器	-		
3646	3	VP07	楕円形	E	0.34	0.24	0.10	中世以降	-	-		
3647	3	VP07	隅丸長方形	A	0.35	0.29	0.13	中世以降	土器	-		
3648	3	VP07	楕円形	E	0.34	0.27	0.10	中世以降	土器	-		
3649	3	VP07	隅丸方形	B	0.22	0.20	0.22	中世以降	-	-		

遺構一覧

SK 番号	地区	グリッド	平面形	断面形	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構		備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ			△新	▼古		
3650	3	VP02	円形	B	0.20	0.18	0.16	中世以降	-	-			
3651	3	VP02	隅丸方形	C	0.17	0.16	0.03	中世以降	-	-			
3652	3	VA18	楕円形	C	(1.45)	(1.29)	(0.39)	近世以降	土器・石器・ 石製品	-			
3653	3	VA19	円形	A	0.42	0.36	0.28	古代?	-	▼SB3050			
3654	3	VA18	円形	B	0.16	0.16	0.08	古代?	-	-			
3655	3	VA18	円形	A	0.35	0.34	0.06	古代?	-	-			
3656	3	VA18	楕円形	C	(0.48)	(0.35)	(0.29)	古代?	土器	△SD3016			
3657	3	VA18・19	長楕円形	A	(2.44)	(1.53)	(0.18)	古代	土器	△SB3050 ▼SB3059、SK3713			
3658	3	VA14	楕円形	B	0.48	0.32	0.19	古代?	-	-			
3659	3	VA14	楕円形	A	0.40	0.32	0.10	古代?	-	-			
3660	3	VA14	楕円形	E	0.76	0.67	0.12	古代	土器	-			
3661	3	VA14	円形	B	0.30	0.28	0.08	古代?	-	-			
3662	3	VP06	楕円形	B	(0.40)	0.29	0.16	古代?	-	-			
3663	3	VP06	円形	B	0.38	0.36	0.12	古代?	-	-			
3664	3	VP06	円形	B	0.21	0.18	0.06	古代?	-	-			
3665	3	VP06	楕円形	B	0.32	0.24	0.08	古代?	-	-			
3666	3	VP06	(円形)	B	0.46	(0.36)	0.09	古代?	-	-			
3667	3	VT10	(円形)	B	0.26	(0.23)	0.14	古代?	-	-			
3668	3	VP06	円形	B	0.17	0.13	0.08	古代?	-	-			
3672	3	VA13	円形	B	(0.44)	(0.38)	(0.30)	古代?	-	△SB3047・3053 ▼SK3687			
3673	3	VA13	楕円形	B	0.45	0.24	0.30	古代?	-	▼SB3047・3053、SK3674			
3674	3	VA13	楕円形	F	0.70	(0.52)	0.66	古代?	土器	△SK3673 ▼SB3047・3053、SK3675			
3675	3	VA13	(円形)	B	(0.22)	(0.15)	(0.17)	古代?	-	△SB3053、SK3674			
3676	3	VA18	隅丸方形	C	(0.33)	(0.31)	(0.14)	古代?	-	△SB3053 ▼SB3047、SK3693			
3677	3	VA18	(長楕円形)	E	(1.50)	0.84	0.30	古代	土器	▼SK3690		263図 PL24	
3678	3	VP07	円形	B	0.29	0.25	0.14	古代?	-	▼SM3002			
3679	3	VA23	(円形)	B	(1.07)	0.95	0.28	古代	土器	△SB3034 ▼SB3021・3056			
3680	3	VA08・13	不整形	B	3.20	2.31	(0.76)	古代?	土器	△SB3032			
3681	3	VA18	楕円形	A	(0.77)	(0.57)	(0.14)	古代?	-	△SB3059、SD3016、SK3634			
3682	3	VA18・19	(円形)	A	(1.25)	(0.67)	0.06	古代	土器	△SK3683			
3683	3	VA18	(長楕円形)	A	1.33	(1.13)	0.13	古代	土器	▼SK3682			
3684	3	VA18	円形	A	(0.36)	(0.33)	(0.12)	古代?	-	△SB3051 ▼SK3692・3698			
3685	3	VA18	楕円形	E	(0.57)	(0.51)	(0.15)	古代?	-	△SB3051			
3687	3	VA13	円形	E	(0.30)	(0.26)	(0.37)	古代?	土器	△SB3047・3053、SK3672			
3690	3	VA18・23	(長楕円形)	B	(1.82)	(0.45)	0.26	古代	土器・炭化物	△SB3057、SK3677			
3691	3	VP06	楕円形	A	(0.64)	(0.36)	0.11	古代?	-	-			
3692	3	VA18	(円形)	B	(0.70)	(0.68)	(0.32)	古代?	-	△SB3051、SK3684 ▼SB3055			
3693	3	VA18	(不整形)	E	(0.55)	0.42	0.40	古代?	-	△SB3053、SK3676 ▼SB3060			
3694	3	VA18	(円形)	B	0.22	0.21	(0.16)	古代?	-	△SB3060			
3695	3	VA18	(楕円形)	B	(0.40)	(0.23)	(0.20)	弥生?	土器	△SB3060			
3696	3	VA18	円形	B	(0.34)	(0.29)	(0.58)	古代?	土器	△SB3060			
3697	3	VA18	不整形	(D)	(1.10)	(0.66)	(0.45)	古代	土器	△SB3055・3059			
3698	3	VA18	楕円形	B	(0.32)	(0.23)	(0.17)	古代?	-	△SB3051、SK3684			
3699	3	VA13	楕円形	E	(0.91)	0.70	(0.21)	古代?	-	△SB3032			
3700	3	VA13	楕円形	B	0.26	0.20	0.23	古代?	-	-			
3701	3	VA13	楕円形	B	0.34	0.30	0.19	古代?	-	▼SB3058			
3702	3	VA18	円形	B	(0.57)	(0.56)	(0.31)	古代?	土器	△SB3056 ▼SK3703			
3703	3	VA18	(円形)	B	(0.42)	(0.28)	(0.26)	古代?	-	△SB3056・3057、SK3702			
3704	3	VA18	楕円形	B	(0.25)	0.22	0.23	古代?	-	△SB3060			
3705	3	VP17・18	(円形)	B	1.00	(0.51)	1.12	中世以降	土器	▼SM3004			
3706	3	VT15	円形	A	0.46	0.41	0.13	中世以降	-	-			
3707	3	VU01	(楕円形)	B	0.54	(0.44)	0.14	古代?	-	-			
3708	3	VP21	円形	B	0.29	0.26	0.10	古代?	-	-			
3709	3	VP21	楕円形	A	1.24	1.02	0.08	古代?	-	-			
3710	3	VP16	楕円形	A	0.56	0.39	0.12	古代?	-	-			

SK 番号	地区	グリッド	平面形	断面形	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構		備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ			△新	▼古		
3711	3	VP16	楕円形	B	0.40	0.27	0.11	古代?	-	-			
3712	3	IVT10	隅丸方形	E	0.23	0.23	0.10	古代?	-	-			
3713	3	VA18	(円形)	B	(0.52)	(0.50)	0.50	古代?	土器	△SD3016、SK3657 ▼SB3059			
3714	3	VA14	(楕円形)	B	(0.48)	0.80	0.35	古代?	-	-			
3715	3	VA14	(楕円形)	C	2.20	(0.96)	0.18	古代?	-	▼SK3721			
3716	3	VA14	(楕円形)	B	1.70	(0.94)	0.22	古代?	-	-			
3717	3	VF07	(楕円形)	C	(0.50)	(0.48)	(0.40)	弥生後期	土器	△SB3001、SK3012		55図	
3718	3	VA07	楕円形	A	0.52	0.43	0.08	古代?	-	-			
3719	3	VA07	(長楕円形)	C	(0.80)	(0.78)	(0.30)	古代?	-	-			
3720	3	VA07	円形	C	0.26	0.24	0.06	中世以降	土器	-			
3721	3	VA08・09・ 13・14	不整形	G	7.38	7.25	0.60	近世以降	陶磁器・銭・ 金属製品	▼SB3044・3048、SD3026、 SK3622・3627・3632・3715		319～321 図	
3722	3	VA07	(楕円形)	(C)	(0.49)	(0.58)	0.48	古代?	-	△SB3066			
3723	3	VA17	楕円形	B	0.23	0.18	0.15	中世以降	-	-			
4001	4	VIJ14	楕円形	B	0.35	0.22	0.11	古墳?	-	-			
4002	4	VIJ09・14	円形	C	0.32	0.30	0.18	古墳?	-	-			
4003	4	VIJ09	楕円形	B	0.17	0.13	0.12	古墳?	-	-			
4004	4	VIJ09	円形	B	0.22	0.20	0.11	古墳?	-	-			
4005	4	VIJ09	楕円形	B	0.16	0.11	0.14	古墳?	-	-			
4006	4	VIJ09	楕円形	A	0.25	0.18	0.06	古墳?	-	-			
4007	4	VIJ09	円形	B	0.16	0.15	0.12	古墳?	-	-			
4008	4	VIJ09	円形	C	0.30	0.28	0.16	古墳?	-	-			
4009	4	VIJ09	円形	A	0.16	0.15	0.09	古墳?	-	-			
4010	4	VIJ04	円形	A	0.14	0.13	0.08	古墳?	-	-			
4011	4	ⅦA21	(楕円形)	C	0.69	(0.39)	0.12	古墳?	土器	△SD4001			
4012	4	ⅦF01	(不整形)	D	(0.55)	(0.25)	0.06	古墳?	土器	-			
4013	4	VIJ05	円形	A	0.24	0.24	0.08	古墳?	-	-			
4014	4	VIJ05	円形	B	0.17	0.16	0.11	古墳?	-	-			
4015	4	VIJ05	楕円形	C	0.29	0.21	0.12	古墳?	-	-			
4016	4	VIJ05	楕円形	A	0.20	0.14	0.04	古墳?	-	-			
4017	4	VIJ05	楕円形	A	0.28	0.19	0.07	古墳?	-	-			
4018	4	VIJ05	円形	C	0.30	0.25	0.11	古墳?	-	-			
4019	4	ⅦF01	楕円形	A	0.46	0.34	0.13	古墳?	-	-			
4020	4	VIJ10	円形	C	0.29	0.26	0.18	古墳?	-	-			
4021	4	VIJ05	楕円形	B	0.73	0.47	0.28	古墳?	-	-			
4022	4	ⅦF06	円形	B	0.22	0.21	0.36	古墳?	-	-			
4023	4	ⅦF06	長楕円形	B	0.54	0.28	0.16	古墳	-	-			
4024	4	ⅦF01	楕円形	B	0.58	0.47	0.36	古墳前期	土器	-		149図	
4025	4	VIJ05	楕円形	A	0.37	0.30	0.12	古墳?	-	-			
4026	4	ⅦF01	楕円形	C	0.42	0.31	0.09	古墳?	-	-			
4027	4	ⅦF01	楕円形	A	0.37	0.31	0.15	古墳?	-	-			
4028	4	ⅦF01	楕円形	A	0.36	0.28	0.08	古墳?	-	-			
4029	4	ⅦF06	楕円形	B	0.58	0.46	0.32	古墳?	-	-			
4030	4	ⅦF01	楕円形	B	0.34	0.28	0.17	古墳?	-	-			
4031	4	ⅦF01	円形	E	0.36	0.34	0.29	古墳?	-	-			
4032	4	VIJ14	方形	B	0.47	0.43	(0.12)	古墳?	-	△SB4001			
4033	4	ⅦA21	楕円形	A	0.69	0.42	0.14	古墳?	-	-			
4034	4	ⅦA21	楕円形	B	0.20	0.14	0.10	古墳?	-	-			
4035	4	ⅦA21	楕円形	A	0.88	0.61	0.10	古墳?	-	-			
4036	4	ⅦA21	円形	A	0.24	0.23	0.11	古墳?	-	-			
4037	4	ⅦA21	楕円形	C	0.74	0.63	0.09	古墳?	-	-			
4038	4	ⅦA21	円形	B	0.21	0.17	0.13	古墳?	-	-			
4039	4	ⅦF01	楕円形	E	0.41	0.32	0.29	古墳?	-	-			
4040	4	ⅦF01	円形	A	0.47	0.45	0.07	古墳?	-	-			
4041	4	ⅦF01	円形	B	0.24	0.22	0.12	古墳?	-	-			
4042	4	ⅦA06・11	隅丸長方形	D	2.54	2.04	0.20	中世?	土器	▼SD4001・4009			
4043	4	ⅦE04	(隅丸方形)	A	(0.55)	(0.46)	0.23	中世?	-	▼SD4003			
4044	4	ⅦE05	円形	A	0.55	0.55	0.13	古墳	-	-			
4045	4	ⅦA06	楕円形	A	0.59	0.50	0.16	古墳	-	-			
4046	4	ⅦA06	楕円形	F	0.48	0.40	0.11	古墳	-	-			
4047	4	ⅦA06	円形	C	0.63	0.59	0.37	古墳前期	土器	▼SB4006		150図	
4048	4	ⅦA01	円形	B	0.18	0.17	0.11	古墳	-	-			

遺構一覧

SK 番号	地区	グリッド	平面形	断面形	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構		備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ			△新	▼古		
4049	4	ⅥA01	円形	A	0.22	0.20	0.10	古墳	-	-			
4050	4	ⅥA01	円形	B	0.21	0.19	0.12	古墳	土器	▼SD4014			
4051	4	VU21	円形	A	0.22	0.21	0.11	古墳	-	-			
4052	4	ⅥE05	楕円形	C	(0.62)	(0.53)	0.28	古墳?	-	△SB4005			
4053	4	ⅥA21、 ⅥF01	楕円形	A	(0.85)	(0.70)	0.15	古墳?	-	△SB4002			
4054	4	ⅥA11	楕円形	B	0.42	0.34	0.15	古墳?	-	-			
4055	4	ⅥA11	円形	A	0.70	0.65	0.17	古墳?	-	-			
4056	4	ⅥA11	円形	A	0.32	0.31	0.08	古墳?	-	-			
4057	4	ⅥA11	楕円形	F	0.54	0.41	0.17	古墳?	-	-			
4058	4	ⅥA11	楕円形	F	0.41	0.34	0.22	古墳?	-	-			
4059	4	ⅥA11	楕円形	B	0.24	0.17	0.09	古墳?	-	-			
4060	4	ⅥA11	楕円形	B	0.48	0.28	0.17	古墳?	-	-			
4061	4	ⅥA11	不整形	D	0.61	0.50	0.12	古墳?	-	-			
4062	4	ⅥA11	楕円形	E	0.70	0.56	0.23	古墳?	土器	-			
4063	4	ⅥA11	楕円形	A	0.34	0.30	0.08	古墳?	-	-			
4064	4	ⅥA11	円形	C	0.23	0.22	0.09	古墳?	-	-			
4065	4	ⅥA11	楕円形	E	0.52	0.44	0.16	古墳?	-	-			
4066	4	ⅥA11	円形	A	0.23	0.20	0.06	古墳?	土器	-			
4067	4	ⅥA11	楕円形	B	0.47	0.35	0.12	古墳?	-	▼SB4006			
4068	4	ⅥA11	円形	B	0.21	0.20	0.12	古墳?	-	-			
4069	4	ⅥE15	円形	A	0.30	0.26	0.10	古墳?	-	-			
4070	4	ⅥE15	楕円形	A	0.60	0.41	0.10	古墳?	-	-			
4071	4	ⅥE20	楕円形	B	0.58	0.46	0.20	古墳?	-	-			
4072	4	ⅥE20	楕円形	B	0.40	0.28	0.21	古墳?	-	-			
4073	4	ⅥE20	楕円形	A	0.64	0.33	0.14	古墳?	-	-			
4074	4	ⅥE15	円形	B	0.22	0.20	0.23	古墳?	-	-			
4075	4	ⅥE20	楕円形	A	0.82	0.72	0.20	古墳?	-	-			
4076	4	ⅥE20	円形	B	0.32	0.28	0.12	古墳?	-	-			
4077	4	ⅥE20	円形	A	0.38	0.32	0.12	古墳?	-	-			
4078	4	ⅥE20	楕円形	E	0.57	0.45	0.20	古墳?	-	-			
4079	4	ⅥE15、 ⅥA11	円形	B	0.50	0.47	0.11	古墳?	-	-			
4080	4	ⅥA11・12・ 17	(円形)	C	0.96	(0.87)	0.16	古墳?	-	-			
4081	4	ⅥA16	楕円形	B	0.36	0.22	0.13	古墳?	-	-			
4082	4	ⅥA17	(円形)	A	(0.43)	(0.20)	0.11	古墳?	-	-			
4083	4	ⅥA16	円形	E	0.22	0.21	0.42	古墳?	-	-			
4084	4	ⅥA11	楕円形	A	0.47	0.34	0.08	古墳?	-	-			
4085	4	ⅥA16・17	円形	B	0.30	0.28	0.12	古墳?	-	-			
4086	4	ⅥF21	隅丸長方形	D	1.34	1.01	0.10	中世?	土器	-			
4087	4	ⅥJ25、 ⅥF21、 ⅥO05、 ⅥK01	楕円形	A	1.20	0.85	0.28	中世?	土器	-			
4088	4	ⅥF16	楕円形	A	0.28	0.22	0.07	古墳?	-	-			
4089	4	ⅥF16	円形	A	0.23	0.20	0.07	古墳?	-	-			
4090	4	ⅥF16	円形	B	0.28	0.26	0.13	古墳?	-	-			
4091	4	ⅥF11	楕円形	B	0.26	0.16	0.09	古墳?	-	-			
4092	4	ⅥF11	楕円形	A	0.52	0.38	0.12	古墳?	-	-			
4093	4	ⅥF06	楕円形	B	0.34	0.28	0.13	古墳?	-	-			
4094	4	ⅥF06	楕円形	B	0.33	0.24	0.27	古墳?	-	-			
4095	4	ⅥF11	(楕円形)	B	0.43	(0.27)	0.14	古墳?	-	△SB4007			
4096	4	ⅥE19・24	隅丸長方形	B	0.28	0.27	0.26	中世?	-	-			
4097	4	ⅥE19	円形	A	0.47	0.43	0.16	古墳?	-	-			
4098	4	ⅥE19	楕円形	A	0.40	0.24	0.09	古墳?	-	-			
4099	4	ⅥE19	円形	F	0.43	0.37	0.17	古墳?	-	-			
4100	4	ⅥE19	円形	A	0.52	0.44	0.09	古墳?	-	-			
4101	4	ⅥE19・20	(楕円形)	A	(0.56)	(0.24)	0.08	古墳?	-	-			
4102	4	ⅥE20	楕円形	E	0.63	0.48	0.22	古墳?	-	-			
4103	4	ⅥE25	楕円形	B	0.56	0.47	0.25	古墳?	-	-			
4104	4	ⅥE25	楕円形	B	(0.50)	(0.41)	0.19	古墳?	-	-			
4105	4	ⅥE24	円形	A	0.22	0.20	0.09	古墳?	-	-			
4106	4	ⅥE20	(楕円形)	B	0.50	(0.37)	0.22	古墳?	-	-			

SK 番号	地区	グリッド	平面形	断面形	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構		備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ			△新	▼古		
4107	4	VE20	(円形)	A	0.38	(0.20)	0.12	古墳?	-	-			
4108	4	VE20	楕円形	E	0.60	0.48	0.15	古墳?	-	-			
4109	4	VE20	円形	A	0.37	0.36	0.10	古墳?	-	-			
4110	4	VE20	円形	B	0.36	0.31	0.16	古墳?	-	-			
4111	4	VE20	楕円形	A	0.26	0.17	0.08	古墳?	-	-			
4112	4	VE20	楕円形	A	0.68	0.56	0.15	古墳?	-	-			
4113	4	VE20	円形	E	0.44	0.38	0.22	古墳?	-	-			
4114	4	VE20	円形	A	0.34	0.33	0.12	古墳?	-	-			
4115	4	VE20	楕円形	E	0.32	0.24	0.14	古墳?	-	-			
4116	4	VE20	円形	B	0.30	0.28	0.09	古墳?	-	-			
4117	4	VE20	不整形	F	1.05	0.64	0.22	古墳?	-	-			
4118	4	VA16	円形	F	0.69	0.61	0.16	古墳?	-	-			
4119	4	VA16	円形	F	0.32	0.31	0.15	古墳?	-	-			
4120	4	VE20	円形	A	0.25	0.25	0.07	古墳?	-	-			
4121	4	VE20	円形	B	0.34	0.30	0.21	古墳?	-	-			
4122	4	VE25	不整形	(G)	(1.75)	(0.64)	(0.29)	古墳?	土器	-			
4123	4	VE25	円形	A	0.32	0.31	0.10	古墳?	-	-			
4124	4	VE25	楕円形	B	0.19	0.16	0.09	古墳?	-	-			
4125	4	VIJ05	楕円形	G	0.78	0.51	0.18	古墳?	-	-			
4126	4	VIJ05	楕円形	B	0.24	0.19	0.10	古墳?	-	-			
4127	4	VIJ05	隅丸方形	B	0.34	0.32	0.14	古墳?	-	-			
4128	4	VIJ05	円形	A	0.41	0.38	0.09	古墳?	-	-			
4129	4	VIJ05	(楕円形)	C	0.29	(0.18)	0.17	古墳?	-	-			
4130	4	VIJ05	楕円形	A	0.47	0.32	0.14	古墳?	-	-			
4131	4	VIJ05	楕円形	A	0.64	0.55	0.16	古墳?	-	▼SK4137			
4132	4	VIJ10	楕円形	B	0.30	0.23	0.14	古墳?	-	-			
4133	4	VIJ10	楕円形	A	0.32	0.22	0.07	古墳?	-	-			
4134	4	VIJ10	楕円形	B	0.37	0.30	(0.17)	古墳?	-	-			
4135	4	VIJ10	(楕円形)	A	(0.30)	0.28	0.09	古墳?	-	-			
4136	4	VIJ09	楕円形	B	0.30	0.20	0.11	古墳?	-	-			
4137	4	VIJ05	楕円形	A	0.54	(0.36)	0.11	古墳?	土器・石器	△SK4131			
4138	4	VIJ15	楕円形	C	0.50	0.23	0.10	古墳?	-	-			
4139	4	VIJ15	楕円形	C	0.36	0.24	0.13	古墳?	-	-			
4140	4	VIJ15	楕円形	C	1.04	0.90	0.28	中世?	土器	-			
4141	4	VIJ15	円形	C	0.22	0.18	0.12	古墳?	-	-			
4142	4	VIJ15	円形	A	0.15	0.14	0.04	古墳?	-	-			
4143	4	VIJ20	円形	A	0.22	0.20	0.03	古墳?	-	-			
4144	4	VI05	不整形	A	0.80	0.65	0.22	中世?	土器	-			
4145	4	VIJ14	円形	C	0.16	0.16	0.14	古墳?	-	-			
4146	4	VIJ24	円形	B	0.30	0.28	0.19	古墳?	石器	-			
5003	5	IL03	楕円形	B	0.25	0.18	0.25	中世以降	-	▼NR5001			
5004	5	IL01	楕円形	C	(0.41)	(0.36)	0.45	古代?	土器・灰釉	△SB5001			
5005	5	IL01	円形	B	(0.28)	(0.26)	(0.23)	古代?	土器	△SB5001			
5006	5	IL13	円形	B	0.27	0.27	0.26	古代?	土器	-			
5007	5	IU10	円形	B	0.48	0.45	0.23	古代?	-	-			
5008	5	IU10	円形	B	0.36	0.35	0.09	古代?	-	-			
5009	5	IU14	楕円形	A	0.50	0.44	0.11	古代?	-	-			
5010	5	IU15	隅丸方形	B	0.44	0.44	0.14	古代?	-	-			
5011	5	IU15	円形	C	0.25	0.25	0.09	古代?	-	-			
5012	5	IU15	楕円形	B	0.23	0.19	0.15	古代?	-	-			
5013	5	IL14	円形	C	(0.31)	(0.27)	(0.10)	古代?	-	△SB5003			
5014	5	IL13	楕円形	C	0.32	0.28	0.16	古代?	-	-			
5015	5	IV06	円形	B	0.23	0.22	0.22	古代?	-	-			
5016	5	IU10	楕円形	B	0.29	0.19	0.26	古代?	-	-			
5017	5	IQ21	楕円形	B	0.30	0.24	0.10	中世以降	-	-			
5018	5	IU05	円形	A	0.23	0.20	0.09	中世以降	-	-			
5019	5	IQ21	楕円形	G	0.39	0.28	0.21	中世以降	-	-			
5020	5	IQ22	楕円形	B	0.24	0.19	(0.24)	中世以降	土器	-			
5021	5	IQ22	楕円形	E	0.37	(0.33)	0.36	中世以降	土器	-			
5022	5	IU15	(円形)	C	(0.23)	0.30	0.11	古代?	-	△SB5008			
5023	5	IU10	円形	B	0.23	0.20	0.08	古代	-	▼SB5009・5011			
5024	5	IU10	円形	B	0.27	0.26	0.12	古代	-	▼SB5009・5011			
5025	5	IU05	円形	C	0.29	0.27	0.21	古代	-	▼SB5009・5011			

遺構一覧

SK 番号	地区	グリッド	平面形	断面形	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構		備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ			△新	▼古		
5026	5	IIQ18	楕円形	B	0.35	0.27	0.35	古代?	土器	-			
5027	5	IIQ18	楕円形	B	0.38	0.30	0.30	古代?	土器	-			
5028	5	IIQ18	円形	A	0.34	0.30	0.12	古代?	土器	-			
5029	5	IIQ17・18	楕円形	B	0.38	0.30	0.48	古代?	-	-			
5030	5	IIQ18	円形	B	0.27	0.24	0.09	古代?	-	-			
5031	5	IIQ23	円形	B	0.42	0.39	0.15	古代?	-	-			
5032	5	IIP25	楕円形	B	0.71	0.57	0.26	古代?	-	-			
5033	5	IIP20・25	隅丸方形	C	2.42	2.35	0.60	中世	土器・砥石・ 鉄製品・銅製 品・銭・炭化 物	-	年代測定	306図 PL27・28	
5034	5	IIQ22	円形	B	1.54	1.39	0.58	中世以降	-	-			
5035	5	IIU05	楕円形	B	0.33	0.22	0.54	古代?	-	▼SB5009・5011			
5036	5	IIV06	楕円形	B	(0.32)	(0.24)	(0.11)	古代?	-	△SB5009			
5037	5	IIV06	円形	B	0.24	0.23	0.32	古墳?	-	▼SB5009			
5038	5	IIU04	(円形)	B	(0.40)	(0.42)	0.22	近世以降	炭化物	▼SB5012、SM5003	年代測定		
5039	5	IIU04	楕円形	B	0.42	(0.29)	0.08	古代?	土器	△SM5003 ▼SB5012			
5040	5	II L11	円形	C	1.24	1.17	0.23	古代	土器	-			
5041	5	IIK10、 IIL06	円形	C	0.38	0.38	0.25	古代?	土器	▼SB5019			
5042	5	IIK10・15	円形	C	0.70	0.68	0.33	古代?	土器	▼SB5019			
5043	5	II L21	楕円形	B	(0.40)	(0.30)	(0.20)	古代	土器	不明SB5016、 ▼NR5003・5004			
5044	5	II L06	円形	B	0.50	0.46	0.18	古代?	-	-			
5045	5	II L06	楕円形	B	0.32	0.26	0.18	古代?	-	-			
5046	5	II L06	円形	C	0.27	0.26	0.23	古代?	-	-			
5047	5	II L06	楕円形	E	0.43	0.32	0.10	古代?	-	-			
5048	5	II L11	隅丸方形	C	0.51	0.46	0.25	古代?	-	-			
5049	5	II L16	隅丸方形	C	0.36	0.33	0.09	古代?	-	▼NR5004			
5050	5	II L18	円形	C	0.33	0.31	0.23	古代?	土器	▼SB5025			
5051	5	II L18	円形	B	0.24	0.20	0.17	古代?	-	-			
5052	5	II L18	隅丸長方形	B	0.50	0.34	0.13	古代?	-	▼SB5025			
5053	5	II L13	円形	B	0.25	0.22	0.21	古代	-	▼SB5023			
5054	5	IIP05	(楕円形)	C	(1.31)	1.38	0.21	弥生後期	土器・石器	△SB5030		56図	
5056	5	IIQ03	円形	B	0.34	0.31	0.20	古代?	-	▼NR5004			
5057	5	II L23	円形	B	0.36	0.32	0.09	古代?	-	-			
5058	5	II L23	円形	B	0.32	0.32	0.11	古代?	-	-			
5059	5	II L24	楕円形	B	0.39	0.34	0.15	古代?	-	-			
5060	5	IIQ03	円形	B	0.32	0.32	0.21	古代?	-	▼NR5004			
5061	5	II L11	円形	B	0.24	0.21	0.09	古代?	土器	▼NR5004			
5062	5	II L11	円形	B	(0.41)	(0.40)	(0.09)	古代?	-	▼NR5004			
5063	5	II L17	(楕円形)	B	(0.54)	0.58	0.36	古代?	土器	▼SB5022・5025			
5064	5	II L22	円形	B	0.29	0.27	0.37	中世	土器・銭	▼SB5027、NR5004		307図	
5065	5	IIQ01	楕円形	A	0.38	0.28	0.07	古代?	-	▼NR5004			
5066	5	IIQ01	楕円形	B	0.46	0.38	0.14	古代?	-	▼NR5004			
5067	5	IIQ01	円形	C	0.24	0.21	0.08	古代?	-	▼NR5004			
5068	5	IIQ01	円形	B	0.34	0.33	0.26	古代?	土器	▼SK5069、NR5004			
5069	5	IIQ01	(楕円形)	B	(0.30)	0.32	0.15	古代?	-	△SK5068 ▼NR5004			
5070	5	II L21、 IIQ01	円形	B	0.27	0.23	0.10	古代?	-	▼NR5004			
5071	5	II L21	円形	B	0.27	0.26	0.28	古代?	-	▼NR5004			
5072	5	IIQ01	楕円形	B	0.30	0.16	0.10	古代?	-	▼SD5002、NR5004			
5073	5	II L22	楕円形	B	0.26	0.22	0.36	古代?	-	▼SB5027、NR5004			
5074	5	IIQ01	円形	B	0.35	0.34	0.22	古代?	土器	▼NR5004			
5075	5	II L13	楕円形	C	(0.61)	(0.46)	0.30	古代?	-	△SB5023 ▼SB5024			
5076	5	II L13	楕円形	B	(0.40)	(0.35)	(0.15)	古代?	-	△SB5023			
5077	5	II L13	楕円形	C	(0.55)	(0.47)	(0.21)	古代?	-	△SB5023			
5078	5	II L18	円形	B	(0.27)	(0.26)	(0.15)	弥生?	-	△SB5022・5023・5025			
5079	5	II L13・18	隅丸長方形	B	(2.66)	(1.08)	(0.46)	弥生?	土器	△SB5023~5025			
5080	5	IIP10	(円形)	C	(0.64)	(0.39)	0.10	古代?	-	-			
5081	5	II L18	円形	B	(0.29)	(0.26)	(0.14)	古代?	-	△SB5022・5023・5025			
5082	5	II L11	不整形	E	0.62	0.53	0.22	古代?	-	▼NR5004			

SK 番号	地区	グリッド	平面形	断面形	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構 △新 ▼古	備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ					
5083	5	II G01	不整形	G	2.01	(1.04)	0.67	近世以降	土器・石器・瓦・銭・炭化物	-		322図 PL28
5084	5	II G08・09	不整形	A	(3.95)	(1.11)	0.10	近世以降	土器・羽口	-		323図
5085	5	II Q08	円形	F	0.34	0.33	0.22	古代?	-	▼NR5004		
5086	5	II V16	円形	B	0.48	0.43	0.11	古代?	-	-		
5087	5	II Q18	円形	B	0.40	0.35	0.56	中世以降	-	-		
5088	5	II Q18	楕円形	B	0.64	0.53	0.33	古代	土器	▼SB5043		
5089	5	II C21	隅丸長方形	C	2.48	2.02	0.35	近世以降	土器・銭・銅製品・炭化種子・炭化材	▼SK5101	年代測定 樹種・種 実同定	324図 PL28
5090	5	II C21・22	隅丸方形	C	0.62	0.44	0.14	中世以降	土器	-		
5091	5	II C21	隅丸長方形	A	1.06	0.40	0.08	近世	土器	-		
5092	5	II C21	不整形	C	0.36	0.23	0.08	古代?	土器	-		
5093	5	II C21	円形	B	0.37	0.30	0.46	近世以降	-	-		
5094	5	II C21	円形	C	0.41	0.17	0.28	近世以降	-	▼SK5108		
5095	5	II C22	円形	B	0.30	0.26	0.39	近世以降	-	-		
5096	5	II C21	隅丸長方形	B	0.48	0.33	0.40	近世以降	-	-		
5097	5	II C21	楕円形	C	0.46	0.36	0.17	近世以降	-	-		
5098	5	II C21	不整形	B	0.56	0.38	0.34	近世以降	-	-		
5099	5	II C21	楕円形	C	0.57	0.38	0.04	近世以降	土器	▼SK5100		
5100	5	II C21	円形	D	0.81	0.80	0.06	近世以降	土器	△SK5099		
5101	5	II C21	(楕円形)	A	(0.45)	0.40	0.09	近世以降	土器	△SK5089		
5102	5	II C21	隅丸長方形	A	0.60	0.34	0.18	近世以降	-	-		
5103	5	II C22	円形	A	0.42	0.40	0.08	弥生?	-	-		
5104	5	II C22	楕円形	A	0.46	0.38	0.09	弥生?	-	-		
5105	5	II C21	円形	C	0.44	0.40	0.24	近世以降	-	-		
5106	5	II H01	(円形)	A	0.55	(0.34)	0.07	弥生?	-	-		
5107	5	II C21	不整形	A	2.58	1.20	0.46	弥生?	-	-		
5108	5	II C21	円形	B	0.40	0.38	0.42	近世以降	-	△SK5094		
5109	5	II C22	円形	C	0.96	0.94	0.08	近世以降	土器	-		
5110	5	II C17・22	不整形	A	1.05	0.75	0.10	近世以降	-	-		
5111	5	II C22	隅丸長方形	F	0.62	0.43	0.64	近世以降	土器	-		
5112	5	II C22	隅丸長方形	E	0.80	0.42	0.43	近世以降	土器	-		
5113	5	II C22	隅丸長方形	E	0.80	0.42	0.51	近世以降	-	-		
5114	5	II C18・23	長方形	C	1.26	0.82	0.16	近世以降	土器・石器・鉄製品・炭化物	-	年代測定	
5115	5	II C22	円形	C	0.52	0.48	0.12	近世以降	土器	-		
5116	5	II C22・23	楕円形	A	(0.30)	(0.17)	(0.07)	近世以降	-	-		
5118	5	II C22	円形	C	0.31	0.28	0.28	近世以降	-	-		
5119	5	II C22	円形	C	2.10	(1.70)	0.68	近世以降	土器	▼SK5120		
5120	5	II C22	楕円形	B	0.44	0.36	0.38	中世以降	-	△SK5119		
5121	5	II C23	円形	A	0.29	0.26	0.11	近世以降	土器	-		
5122	5	II C22	隅丸方形	C	0.36	0.30	0.28	弥生	-	-		
5123	5	II C22	隅丸方形	C	0.34	0.32	0.18	弥生	-	-		
5124	5	II C22	円形	B	0.34	0.30	0.18	弥生	-	-		
5125	5	II C22・23	楕円形	A	0.40	0.36	0.16	弥生	-	▼SK5126		
5126	5	II C22・23	(円形)	B	(0.08)	(0.26)	(0.40)	弥生	-	△SK5125		
5127	5	II C22	円形	C	0.32	0.26	0.15	近世以降	-	-		
5128	5	II C22	円形	C	0.36	0.30	0.12	弥生	-	-		
5129	5	II C22	円形	A	0.28	0.25	0.05	弥生	-	-		
5130	5	II C23	楕円形	B	0.34	0.28	0.20	弥生	-	-		
5131	5	II C22・23	円形	C	0.33	0.32	0.26	弥生	-	-		
5132	5	II C23	楕円形	B	0.34	0.24	0.30	弥生	-	-		
5133	5	II C22	隅丸方形	A	0.24	0.21	0.04	弥生	-	-		
5134	5	II C22	隅丸方形	C	0.26	0.24	0.22	弥生	-	-		
5135	5	II C22	楕円形	C	0.45	0.32	0.20	弥生	-	-		
5136	5	II C22	円形	C	0.32	0.30	0.21	弥生	-	-		
5137	5	II C22	隅丸方形	C	0.26	0.22	0.12	弥生	-	-		
5138	5	II C22	(円形)	B	(0.32)	(0.28)	(0.46)	弥生	-	△SK3139		
5139	5	II C22	楕円形	B	0.57	0.38	0.22	弥生	-	▼SK3138		
5140	5	II C22	円形	C	0.20	0.20	0.08	弥生	-	-		
5141	5	II C23	楕円形	B	0.36	0.30	0.36	弥生	-	-		

遺構一覧

SK 番号	地区	グリッド	平面形	断面形	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構		備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ			△新	▼古		
5142	5	IIC23	楕円形	B	0.40	0.32	0.26	弥生	-	-			
5143	5	IIC17・22	円形	B	0.24	0.24	0.14	弥生	-	▼SK5144			
5144	5	IIC17・22	円形	B	0.35	0.33	0.25	弥生	-	△SK5143			
5145	5	IIC22	円形	C	0.31	0.30	0.10	弥生	-	-			
5146	5	IIC23	-	D	(1.70)	(0.60)	0.18	近世以降	土器・石器	-		325図	
5147	5	IIC17	楕円形	B	0.30	0.23	0.22	弥生	-	▼SD5013			
5148	5	IIC22	円形	C	0.22	0.18	0.08	弥生	-	-			
5149	5	IIC18	(楕円形)	B	(0.14)	0.12	0.16	弥生	-	-			
5150	5	IIP10	隅丸方形	E	0.43	0.39	0.38	中世以降	-	▼SB5030			
6001	6	IH16	楕円形	A	0.18	0.15	0.07	中世?	-	-			
6002	6	IH16	円形	B	0.12	0.11	0.07	中世?	-	-			
6003	6	IH16	楕円形	A	0.29	0.16	0.09	中世?	-	-			
6004	6	IH16	円形	B	0.16	0.14	0.08	中世?	-	-			
6005	6	IH16	(円形)	C	(0.38)	(0.18)	0.12	中世?	-	-			
6006	6	IH11	円形	A	0.20	0.18	0.06	中世?	-	-			
6007	6	IH11	楕円形	B	0.20	0.14	0.09	中世?	-	-			
6008	6	IH16・21	楕円形	B	0.28	0.20	0.15	中世?	-	-			
6009	6	IH16・21	楕円形	B	0.45	0.29	0.20	中世?	-	-			
6011	6	IG05	円形	F	0.34	0.31	0.22	中世?	-	-			
6012	6	IG05	楕円形	B	0.38	0.25	0.16	中世?	-	-			
6013	6	IG10	長楕円形	E	0.52	0.26	0.15	中世?	-	-			
6014	6	IG10	隅丸方形	C	0.38	0.35	0.10	中世?	-	-			
6015	6	IG10	楕円形	F	0.40	0.34	0.11	中世?	-	-			
6017	6	IC22	楕円形	A	0.63	0.47	0.25	中世?	-	-			
6018	6	IG10	円形	B	0.17	0.16	0.10	中世?	-	-			
6019	6	IG05	楕円形	A	0.14	0.12	0.09	中世?	-	-			
6020	6	IG10	楕円形	A	0.17	0.12	0.08	中世?	-	-			
6021	6	IG10	楕円形	A	0.16	0.12	0.09	中世?	-	-			
6023	6	IG09	円形	B	0.19	0.18	0.13	中世?	-	-			
6024	6	IG09	楕円形	B	0.32	0.26	0.12	中世?	-	-			
6025	6	IG14	円形	A	0.26	0.24	0.07	中世?	-	-			
6026	6	IG14	円形	A	0.29	0.25	0.09	中世?	-	-			
6027	6	IG15	円形	B	0.37	0.32	0.15	中世?	-	-			
6028	6	IG14	円形	A	0.30	0.27	0.10	中世?	-	-			
6029	6	IG15	円形	B	0.24	0.22	0.11	中世?	-	-			
6030	6	IG14	円形	A	0.15	0.14	0.03	中世?	-	-			
6031	6	IG14	円形	A	0.25	0.24	0.08	中世?	-	-			
6033	6	IG14	楕円形	B	0.25	0.19	0.12	中世?	-	-			
6034	6	IG14	楕円形	B	0.26	0.22	0.11	中世?	-	-			
6035	6	IG14・19	楕円形	A	0.46	0.28	0.09	中世?	-	-			
6036	6	IH16	円形	B	0.15	0.12	0.12	中世?	-	-			
6037	6	IH16	円形	B	0.29	0.27	0.13	中世?	-	-			
6038	6	IH16	円形	B	0.39	0.36	0.22	中世?	-	-			
6039	6	IH11	楕円形	B	0.28	0.22	0.10	中世?	-	-			
6040	6	IG14	円形	A	0.30	0.27	0.09	中世?	-	-			
6041	6	IG25	円形	A	0.19	0.17	0.06	中世?	-	-			
6042	6	IG20	円形	B	0.22	0.20	0.12	中世?	-	-			
6043	6	IG19	円形	B	0.26	0.25	0.20	中世?	-	-			
6044	6	IG19	円形	B	0.24	0.21	0.17	中世?	-	-			
6045	6	IIB14・15	不整形	G	(1.83)	1.32	0.38	近世?	土器	-			
6046	6	IIB14	楕円形	C	0.90	(0.72)	0.19	近世?	土器	-			
6047	6	IIB14	(円形)	(C)	(1.02)	(0.98)	0.24	近世?	土器	-			
6048	6	IIB09・14	不整形	D	1.40	1.14	0.57	近世?	-	-	風倒木?		
6049	6	IIB09・14	円形	C	0.54	0.47	0.12	近世?	-	-			
6050	6	IIB09・14	楕円形	A	0.41	0.35	0.07	近世?	-	-			
6051	6	IIB09	円形	D	1.80	1.74	0.28	近世以降	土器	-		326図	
6052	6	IIB09	長楕円形	B	0.31	0.16	0.11	近世?	-	-			
6053	6	IIB04	円形	C	1.19	1.04	0.12	近世?	-	-			
6054	6	IIB04	楕円形	C	1.42	1.13	0.28	近世?	土器	-			
6062	6	IIB14	楕円形	A	1.01	0.84	0.19	近世?	土器・石器	-			
6066	6	IIB03・04・08・09	隅丸長方形	C	4.72	2.52	0.24	近世以降	土器・石器・土製品・瓦・鉄製品・銅製品・木製品・種子・炭化材	-	年代測定 樹種同定	327～329 図	

SK 番号	地区	グリッド	平面形	断面形	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構		備考	図版番号
					長軸	短軸	深さ			△新	▼古		
6067	6	II B02	円形	B	0.20	0.20	0.19	古代?	-	-			
6078	6	II B02・03	円形	C	0.39	0.37	0.15	古代?	-	-			
6081	6	II B03	円形	C	0.26	0.24	0.13	古代?	-	-			
6083	6	II B03	楕円形	B	0.28	0.23	0.13	古代?	-	-			
6084	6	II B03	円形	C	0.24	0.23	0.09	古代?	-	-			
6085	6	II B03	円形	A	0.34	0.31	0.06	古代?	-	-			
6086	6	II B03	円形	A	0.24	0.22	0.09	古代?	-	-			
6087	6	IV 23	円形	B	0.25	0.23	0.13	古代?	-	-			
6088	6	IV 23	楕円形	A	0.20	0.16	0.06	古代?	-	-			
6089	6	IV 23	円形	A	0.36	0.32	0.08	古代?	-	-			
6090	6	IV 23	円形	B	0.20	0.19	0.16	古代?	-	-			
6091	6	IV 08	楕円形	B	0.44	0.37	0.14	弥生?	-	-			
6092	6	IV 23	楕円形	B	0.24	0.17	0.24	弥生?	土器	-			
6093	6	IV 18	円形	B	0.21	0.20	0.24	古代?	-	-			
6094	6	IV 18	円形	B	0.18	0.16	0.12	弥生?	-	-			
6095	6	IV 18	円形	B	0.23	0.23	0.18	古代?	-	-			
6096	6	IV 18	円形	B	0.33	0.28	0.19	古代?	-	-			
6097	6	IV 18	楕円形	B	0.28	0.23	0.14	弥生?	土器	-			
6098	6	IV 18	楕円形	B	0.26	0.19	0.17	弥生?	-	-			
6099	6	IV 18	円形	E	0.22	0.20	0.21	弥生?	-	-			
6100	6	IV 23	円形	C	0.26	0.24	0.25	古代?	-	-			
6101	6	IV 17・18	(長方形)	A	(1.14)	(0.45)	0.30	中世?	土器	-			
6102	6	IV 23	楕円形	C	0.25	0.20	0.23	古代?	土器	-			
6103	6	IV 24	円形	B	0.23	0.22	0.12	弥生?	土器	-			
6104	6	IV 18	楕円形	C	0.24	0.18	0.20	古代?	-	-			
6105	6	IV 18	円形	B	0.20	0.18	0.15	中世?	-	-			
6106	6	IV 18	楕円形	B	0.35	0.29	0.26	弥生?	-	-			
6107	6	IV 17	円形	B	0.23	0.20	0.19	古代?	-	▼NR6010			
6108	6	IV 17・22	楕円形	B	0.30	0.26	0.26	古代?	土器	-			
6109	6	IV 22	楕円形	A	0.27	0.23	0.10	古代?	-	-			
6110	6	IV 22	(楕円形)	B	(0.28)	0.24	0.16	古代?	-	△SK6111			
6111	6	IV 22	円形	B	0.26	0.24	0.30	古代?	-	▼SK6110			

() 内の数値は既存値を示す

第18表 不明遺構 (SX) 一覧

SX 番号	地区	グリッド	平面形	規模 (m)			時期	遺物	重複遺構		備考	図版番号
				長軸	短軸	深さ			△新	▼古		
4001	4	VI J18・19	不整形	3.33	1.20	0.17	古墳?	-	-			
4002	4	VI J19	不整形	1.93	0.41	0.09	古墳?	-	-			
4003	4	VI J14・19	不整形	3.70	(2.45)	0.31	古墳?	-	△SB4003	年代測定		
4004	4	VI A21	楕円形	1.23	0.84	-	古墳?	-	-			

() 内の数値は既存値を示す

第19表 縄文土器一覽

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置 (所属遺構・地点名 は省略)						注記記号 (備前遺構・地点名 は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm								
14-1	PL29	2117-1	4	遺構外	埋土	4a1 1椀下, 2椀	縄文	土器	深鉢	胴部	-	-	-	10YR6/3 にふい, 黄褐色	10YR6/3 にふい, 黄褐色	径3~5mm礫少 石英・白色粒子多	良	隆帯 縹条体圧痕文	ナデ	-		
14-2	PL29	2117-2	4	遺構外	埋土	4a1 1椀下, 2椀	縄文	土器	深鉢	胴部	-	-	-	10YR6/3 にふい, 黄褐色	10YR6/3 にふい, 黄褐色	径3~5mm礫少 石英・白色粒子多	良	隆帯 条痕文 縹条体圧痕文	ナデ	-		
14-3	PL29	2580-1	2	SD23	埋土	SD23	縄文	土器	深鉢	口縁部 ~胴部	<33.4>	(8.6)	(50.8)	-	10YR4/4 褐色	セシ・黒色粒子・ 径5mm礫・ 10YR5/3 にふい, 黄褐色	良	縹文 波状沈線4本	ナデ	-		
14-4	PL29	2580-2	2	SD23	埋土	SD23	縄文	土器	深鉢	胴部	-	(6.7)	(89.6)	-	10YR6/4 にふい, 黄褐色	セシ・黒色粒子・ 5mm礫・ 10YR5/4 にふい, 黄褐色	良	縹文 沈線3本	ナデ	-		
14-5	PL29	2105	4	遺構外	埋土	4a1 1椀下	縄文	土器	深鉢	口縁部	-	-	83.4	-	10YR6/3 にふい, 黄褐色	石英・赤褐色粒 子・径2~3mm礫 少, 白色粒子多	良	縹文 沈線	ナデ	-		
14-6	PL29	2091	3	遺構外	埋土	3d 1椀下	縄文	土器	深鉢	胴部	-	-	20.3	-	10YR4/1 褐色	赤褐色粒子・ 石英・黒色粒子 少	良	縹文 沈線	摩耗不明	-		
14-7	PL29	1856	4	SD4001	埋土	SD4001	縄文	土器	深鉢	胴部	-	-	44.0	-	5YR6/6 褐色	石英・雲母・ 径2~5mm礫少・ 白色粒子・ 赤褐色粒子多	良	縹文 沈線 ミカキ?	ナデ	-		
14-8	PL29	2681	1	SB13	埋土	SB13, 15	縄文	土器	深鉢	胴部	-	-	24.5	-	10YR7/4 にふい, 黄褐色	黒色粒子・ 白色粒子・ 径2~5mm礫・ 赤褐色粒子少	良	刺突文	輪痕痕	-		
14-9	PL29	1987	3	遺構外	埋土	3d表	縄文	土器	深鉢	口縁部	-	-	30.7	-	10YR6/2 灰黄褐色	石英・雲母・ 径2~5mm礫少 赤褐色粒子少	良	縹文不明 (口唇部)沈線	摩耗不明	-		
14-10	PL29	2092	3	遺構外	埋土	3d 1椀下	縄文	土器	深鉢	頸部?	-	-	37.1	-	10YR5/2 灰黄褐色	雲母・石英・ 赤褐色粒子少・ 白色粒子多	良	縹文 沈線	摩耗	-		
14-11	PL29	2515-2	2	SB105	埋土 床下	SB105TR, SB105床下	縄文	土器	深鉢	口縁部	-	-	7.5	-	10YR5/4 にふい, 黄褐色	白色粒子・石英・ 径2~4mm礫多	良	隆帯文 縹文 縹文 刺突文	ナデ	-		
14-12	PL29	2515-1	2	SB105	埋土 床下	SB105TR, SB105床下	縄文	土器	深鉢	胴部	-	-	7.5	-	10YR5/4 にふい, 黄褐色	白色粒子・石英・ 径2~4mm礫多	良	縹文 縹文 縹文 ミカキ?	ナデ	-		

() 内の数値は既存値、< > 内の数値は推定値を示す

第20表 弥生土器一覽

図版番号	写真図版	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
		地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (所属遺構・地点名は省略)						口径cm	底径cm	器高cm	重量g								
16-1	PL29	5	NR5001	埋土	NR5001	弥生中期	土器	鉢?	口縁部	-	-	-	9.8	-	10YR8/4 浅黄褐色	10YR7/1 灰白	白色粒子微、赤褐色粒子・石英少	良	摩耗不明 口唇部 摩耗 縄文?	摩耗 ミガキ	-	
16-2	PL29	5	NR5001	埋土	NR5001	弥生中期	土器	鉢?	口縁部 ~体部	5%	-	-	34.8	-	10YR7/2 にぶい黄褐色	10YR7/2 にぶい黄褐色	赤褐色粒子微、白色粒子・石英少	良	摩耗 ハケのちミガキ 縄文	摩耗 ハケのちミガキ	-	
16-3	PL29	5	NR5001 NR5002	埋土	NR5001・5002	弥生中期	土器	鉢?	口縁部 ~体部	10%	<12.4>	(5.7)	23.7	<16.6>	10YR7/2 にぶい黄褐色	10YR5/1 褐色	褐色粒子微、白色粒子・石英少	良	ミガキ? 摩耗不明	ミガキ? 摩耗不明	-	
16-4	PL29	5	NR5001 NR5002	埋土	NR5001・5002	弥生中期	土器	鉢?	口縁部	20%	<16.0>	(5.1)	45.6	-	10YR7/4 にぶい黄褐色	10YR7/3 にぶい黄褐色	褐色粒子・白色粒子・石英微	やや不良	摩耗不明	摩耗 ハケのちミガキ	-	付着物あり
16-5	PL29	5	NR5001 NR5002	埋土	NR5001・5002	弥生中期	土器	壺	口縁部	-	-	-	7.9	-	10YR7/3 にぶい黄褐色	10YR7/4 にぶい黄褐色	赤褐色粒子・白色粒子・石英微、石英少	良	摩耗 沈線 刺突文	摩耗不明	外	
16-6	PL29	5	NR5001	埋土	NR5001	弥生中期	土器	壺	口縁部	-	-	-	10.4	-	10YR5/3 にぶい黄褐色	10YR4/2 灰黄褐色	赤褐色粒子・白色粒子微、石英少	良	摩耗 ナデ 条痕押圧	摩耗不明	外/内	
16-7	PL29	5	NR5001 NR5002	埋土	NR5001・5002	弥生中期	土器	壺	口縁部 ~頸部	5%	<8.0>	(7.2)	(26.5)	-	7.5YR7/4 にぶい褐色	7.5YR7/6 褐色	赤褐色粒子・白色細粒子・雲母・石英微	良	刺突文 横走沈線 沈線	摩耗不明	-	
16-8	PL29	5	NR5001 NR5002	埋土	NR5001・5002	弥生中期	土器	壺	口縁部 ~頸部	10%	<9.0>	(6.6)	(47.6)	-	7.5YR7/4 にぶい褐色	10YR7/3 にぶい黄褐色	褐色粒子・白色粒子・石英少	良	摩耗 刺突文 条痕文	摩耗不明	-	
16-9	PL29	5	NR5002	埋土	NR5002	弥生中期	土器	壺	口縁部 ~頸部	10%	<10.5>	(10.1)	263.5	-	10YR3/2 黒褐色	10YR5/2 灰黄褐色	褐色粒子微、径2mm未満少、白色細粒子・石英多	良	摩耗 刺突文 植物遺体? 条痕 摩耗 ハケのちミガキ	摩耗 ハケのちミガキ	-	
16-10	PL29	4	SD4004	埋土	VIE15 SD4004	弥生中期	土器	壺	頸部	-	-	-	12.5	-	10YR7/3 にぶい黄褐色	10YR7/3 にぶい黄褐色	石英・雲母・径2mm未満微、白色粒子少	良	ハケ	ハケ	-	
16-11	PL29	6	SD6003	1層 (皿高層)	SD6003 1層	弥生中期	土器	壺	頸部	-	-	-	13.7	-	10YR7/6 明黄褐色	10YR7/4 にぶい黄褐色	褐色粒子・石英微、白色粒子少	良	摩耗 沈線 沈線・キザミ 飾描直線文	摩耗 ナデ	-	
16-12	PL29	5	NR5001 NR5002	埋土	NR5001・5002	弥生中期	土器	壺	頸部	-	-	-	7.6	-	7.5YR4/4 褐色	7.5YR4/4 褐色	石英微、白色粒子少	良	細文・沈線 刺突文	摩耗不明	-	
16-13	PL29	5	NR5001 NR5002	埋土	NR5001・5002	弥生中期	土器	壺	胴部	-	-	-	6.2	-	7.5YR7/3 にぶい褐色	10YR8/2 灰白	赤褐色粒子・白色細粒子・雲母・石英微	良	沈線	摩耗不明	-	
16-14	PL29	5	NR5001 NR5002	埋土	NR5001・5002	弥生中期	土器	壺	頸部 ~胴部	20%	-	(16.5)	(787.4)	-	7.5YR6/4 にぶい褐色	10YR5/2 灰黄褐色	赤褐色粒子・白色粒子・石英微	良	横走沈線 細文・ミガキ 細文・沈線	ハケのちナデ 摩耗	-	
16-15	PL29	5	NR5001 NR5002	埋土	NR5001・5002	弥生中期	土器	壺	頸部 ~胴部	20%	-	(19.9)	(309.5)	<23.0>	7.5YR6/4 にぶい褐色	10YR6/2 灰黄褐色	雲母・石英・径2mm未満微、褐色粒子・赤褐色細粒子・白色細粒子多	良	沈線 刺突文 飾描直線文 摩耗斜線文	摩耗不明	-	
16-16	PL29	5	NR5002	埋土	NR5002	弥生中期	土器	壺	胴部	-	-	-	28.3	-	7.5YR6/3 にぶい褐色	10YR7/4 にぶい黄褐色	赤褐色粒子・白色粒子・石英少	良	縦羽状文 刺突文 条痕?	摩耗不明	-	
16-17	PL30	5	NR5001 NR5002	埋土	NR5001・5002	弥生中期	土器	壺	胴部	-	-	-	37.0	-	7.5YR7/6 褐色	10YR7/4 にぶい黄褐色	白色粒子・石英少、赤褐色粒子多	良	飾描直線文 沈線 刺突文	摩耗不明	-	
16-18	PL30	5	NR5001 NR5002	埋土	NR5001・5002	弥生中期	土器	壺	胴部	-	-	-	32.4	-	10YR7/4 にぶい黄褐色	10YR7/3 にぶい黄褐色	褐色粒子・白色粒子・石英少	不良	摩耗 沈線	摩耗不明	-	
16-19	PL30	5	NR5001	埋土	NR5001	弥生中期	土器	壺	胴部	5%	-	-	37.0	-	7.5YR7/4 にぶい褐色	7.5YR7/4 にぶい褐色	赤褐色粒子・白色粒子・石英少	やや不良	摩耗 細文・波状・直線沈線	摩耗不明	-	
16-20	PL30	5	NR5002	埋土	NR5002	弥生中期	土器	壺	胴部	-	-	-	58.7	-	10YR7/3 にぶい黄褐色	10YR7/3 にぶい黄褐色	褐色粒子・白色粒子・石英少	良	沈線 条痕 波状沈線 斜線沈線	摩耗 ハケ ハケのちナデ	-	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (所属遺構・地点名は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g						
16-21	PL30	2165	5	NR5001	埋土	NR5001	弥生中期	土器	壺	胴部	-	-	-	5.7	-	10YR7/3 にぶい黄緑	10YR7/2 赤褐色精子・白色 粒子・石英微	ハケ	外		
16-22	PL30	1475-2	5	NR5001	埋土	NR5001	弥生中期	土器	壺	胴部	-	-	-	36.9	-	7.5YR8/4 浅黄緑	7.5YR8/4 赤褐色精子・白色 粒子・石英少	摩耗 削突文 沈線 細文	不明	-	
16-23	PL30	2170	5	NR5001	埋土	NR5001	弥生中期	土器	壺	胴部	-	-	-	26.4	-	10YR6/4 にぶい黄緑	10YR6/2 赤褐色精子・ 白色粒子・雲母・ 石英微	摩耗 ハケのちナデ	ナデ	-	
16-24	PL30	2171	5	NR5001 NR5002	埋土	NR5001・5002	弥生中期	土器	壺	胴部	-	-	-	49.4	-	10YR8/4 浅黄緑	10YR6/2 径2mm塵微・ 褐色精子・白色粒 子・石英少	摩耗 ハケのちナデ	ナデ	-	
16-25	PL30	2172	5	NR5001	埋土	NR5001	弥生中期	土器	壺	胴部	-	-	-	50.2	-	7.5YR7/6 橙	10YR6/1 赤褐色精子・ 雲母・白色粒子・ 石英少	摩耗 ハケのちナデ	ナデ	-	
16-26	PL30	1850	4	SB4007	埋土	SB4007	弥生中期	土器	壺	底部	5%	<4.4>	-	36.7	-	7.5YR5/4 にぶい黄	7.5YR6/3 白色精子・石英微・ 褐色精子・径1~ 2mm塵少	条道文 摩耗 ナデ	ナデ	-	底部外面 種子痕?
16-27	PL30	2175	5	NR5001	埋土	NR5001	弥生中期	土器	甕	口縁部	-	-	-	8.7	-	10YR6/3 にぶい黄緑	10YR7/2 褐色精子・石英微 ・白色粒子	摩耗 ナデ	ナデ	-	
16-28	PL30	1476	5	NR5001 NR5002	埋土	NR5001・5002	弥生中期	土器	甕	口縁部	-	-	-	14.4	-	7.5YR5/4 にぶい黄	10YR7/4 赤褐色精子・ 白色粒子・雲母・ 石英微	細文 縦羽状文	ハケのちミガキ	-	
16-29	PL30	2176	5	NR5001 NR5002	埋土	NR5001・5002	弥生中期	土器	甕	口縁部	5%	-	-	53.4	-	7.5YR7/4 にぶい黄	10YR7/2 褐色精子・白色粒 子・雲母・石英微	摩耗 ハケのちミガキ	ナデ	-	
16-30	PL30	1479	5	NR5001 NR5002	埋土	NR5001・5002	弥生中期	土器	甕	口縁部	10%	<17.2>	-	46.6	-	7.5YR6/6 橙	7.5YR7/6 赤褐色精子・白色 粒子・石英少	細文 縦羽状文 削突文	不明	-	
16-31	PL30	2177	5	NR5001 NR5002	埋土	NR5001・5002	弥生中期	土器	甕	胴部	-	-	-	18.6	-	10YR7/4 にぶい黄緑	10YR8/3 褐色精子・白色粒 子・石英微	摩耗 ハケのちミガキ	ナデ	-	
16-32	PL30	2178	5	NR5002	埋土	NR5002	弥生中期	土器	甕	胴部	-	-	-	30.2	-	10YR1/1 黒	10YR8/4 赤褐色精子・白色 粒子・石英微	摩耗 ミガキ	ナデ	-	
16-33	PL30	1478	5	NR5001 NR5002	埋土	NR5001・5002	弥生中期	土器	甕	胴部	-	-	-	17.1	-	10YR7/3 にぶい黄緑	10YR8/2 赤褐色精子・白色 粒子・石英少	摩耗 不明	ナデ	-	
16-34	PL30	2179	5	NR5001 NR5002	埋土	NR5001・5002	弥生中期	土器	甕	胴部	5%	-	-	91.9	-	10YR5/2 灰黄緑	10YR6/3 褐色精子・微・白色 粒子・石英少	摩耗 ミガキ	ナデ	-	
17-1	PL30	2141	1	SB4	埋土	SB4	弥生後期	土器	甕	胴部	-	-	-	39.3	-	7.5YR5/3 にぶい黄	7.5YR3/1 黒褐	細線状文	ミガキ	-	
17-2	PL30	34	1	SB4	埋土	SB4	弥生後期	土器	甕	口縁部	10%	<19.0>	-	13.7	-	7.5YR5/6 明褐	7.5YR5/4 褐色細精子・白色 細精子・雲母・ 石英微	摩耗 不明	ナデ	-	
18-1	PL30	219	2	SB26	埋土	SB26	弥生後期	土器	高坏 鉢	口縁部	20%	<13.8>	-	85.0	-	10R4/4 赤褐	10R4/4 赤褐色精子・ 白色粒子・雲母・ 石英微	摩耗 ミガキ	ナデ	外/内	
18-2	PL30	220	2	SB26	埋土	SB26 No.2	弥生後期	土器	鉢	口縁部 ~底部	50%	<18.4>	6.4	265.0	-	10R4/6 赤	10R4/6 赤褐色精子・褐色 粒子・少・白色粒 子・雲母・石英微	摩耗 ミガキ	剥離	外/内	
18-3	PL30	2142	2	SB26	埋土	SB26	弥生後期	土器	壺	胴部	5%	-	-	81.1	-	7.5YR6/3 にぶい黄緑	7.5YR6/4 赤褐色精子・白色 粒子・雲母・ 石英微	摩耗 ミガキ	ナデ	外	
18-4	PL30	2143	2	SB26	埋土	SB26	弥生後期	土器	甕	口縁部 胴部	10%	<10.1>	-	40.2	<10.4>	5YR4/6 明赤褐	7.5R4/6 赤 10YR5/4 石英微 赤褐色精子・雲母・ 石英微	摩耗 ミガキ 飾描線状文 飾描字文	ナデ	内	
19-1	PL30	1687	2	SB91	埋土	SB91PI	弥生後期	土器	高坏	脚部	10%	<16.6>	-	48.7	-	10R4/6 赤	7.5YR7/4 赤褐色精子・ 白色粒子・雲母・ 石英微	ミガキ 三角スカン (脚内)ハケのち ナデ	内面 赤彩顔料 付着	外	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考	
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記番号 (所属遺構・地点名は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm							重量 g
19-2	PL30	1690	2	SB91	埋土	弥生後期	土器	甕	頸部	-	-	48.6	-	-	7.5R4/6 赤 7.5YR6/4 赤 にぶい、橙	10YR6/4 白色粒子・雲母・ 石英微	良	柳直線文 ミガキ	ハケのちナデ	外	
19-3	PL30	1688	2	SB91	埋土	弥生後期	土器	甕	口縁部	10%	<29.6>	(4.9)	-	-	10R3/6 赤 5YR4/3 赤 赤褐色粒子・白色 細粒子・雲母・ 石英微	5YR4/3 赤褐色粒子・白色 細粒子・雲母・ 石英微	良	ハケのちミガキ	ハケのちミガキ	外/内	
19-4	PL30	1686	2	SB91	埋土	弥生後期	土器	小形甕	頸部～ 胴部	-	-	8.2	-	-	7.5YR5/3 赤 赤褐色粒子・白色 細粒子・雲母・ 石英微	7.5YR5/3 赤褐色粒子・白色 細粒子・雲母・ 石英微	良	柳直線文 柳直線文	ハケのち ヨコミガキ	-	
19-5	PL30	1689	2	SB91	埋土	弥生後期	土器	甕	頸部～ 胴部	-	-	7.0	-	-	10YR7/4 赤 赤褐色粒子・白色 細粒子・雲母・ 石英微	10YR7/4 褐色粒子・白色 細粒子・雲母・ 石英微	良	柳直線文 柳直線文	ハケのち ヨコミガキ	-	
20-1	PL31	1746	2	SB97	埋土	弥生後期	土器	高坏	接合部 ～胴部	10%	-	(5.7)	-	-	7.5R4/6 赤 赤褐色粒子・白色 細粒子・雲母・ 石英微	10R4/4 赤 赤褐色粒子・白色 細粒子・雲母・ 石英微	良	ミガキ 三角スガシ (脚内)ナデ	ミガキ	外/内	
20-2	PL31	1743	2	SB97	埋土	弥生後期	土器	高坏	口縁部 ～胴部	70%	15.6	(11.8)	-	-	10R4/6 赤 赤褐色粒子・白色 細粒子・雲母・ 石英微	10R4/6 赤褐色粒子・白色 細粒子・雲母・ 石英微	良	ハケのち ヨコミガキ ハケのち タテミガキ (脚内)ハケ 工具に よるナデ	ハケのちミガキ	外/内	
20-3	PL31	1745	2	SB97	埋土	弥生後期	土器	無頸甕	口縁部 ～底部	90%	8.9	9.3	319.8	11.6	7.5R4/6 赤 赤褐色粒子・白色 細粒子・雲母・ 石英微	5YR6/6 赤 赤褐色粒子・白色 細粒子・雲母・ 石英微	良	ミガキ	ナデ 工具によるナデ	外	内面赤色顔 料付着
20-4	PL31	1750	2	SB97	埋土	弥生後期	土器	甕	口縁部	-	-	6.4	-	-	10YR5/3 赤 赤褐色粒子・白色 細粒子・雲母・ 石英微	10YR5/3 赤褐色粒子・白色 細粒子・雲母・ 石英微	良	柳直線文	ナデのちミガキ	-	
20-5	PL31	1749	2	SB97	埋土	弥生後期	土器	甕	口縁部	-	-	7.3	-	-	5YR4/3 赤 赤褐色粒子・白色 細粒子・雲母・ 石英微	5YR4/3 赤褐色粒子・白色 細粒子・雲母・ 石英微	良	柳直線文	ナデ	-	
20-6	PL31	1747	2	SB97	埋土	弥生後期	土器	甕	胴部	-	-	15.9	-	-	10YR5/3 赤 赤褐色粒子・白色 細粒子・雲母・ 石英微	7.5Y R5/4 赤 赤褐色粒子・白色 細粒子・雲母・ 石英微	良	ハケのち羽状文	ハケのちミガキ	-	
20-7	PL31	1744	2	SB97	床	弥生後期	土器	台付甕	胴部～ 接合部	10%	(3.8)	(57.5)	-	-	7.5YR5/4 赤 赤褐色粒子・白色 細粒子・雲母・ 石英微	7.5YR5/4 赤褐色粒子・ 白色細粒子・ 石英微	良	柳直線文 ハケのちミガキ	ミガキ 細線	-	
23-1	PL31	2507	2	SB105	埋土	弥生後期	土器	鉢	口縁部 ～体部	10%	<18.9>	(3.9)	42.1 +同一片 44.8)	-	10R3/6 暗赤 赤褐色粒子・ 白色細粒子・ 石英微	10R3/6 暗赤 赤褐色粒子・ 白色細粒子・ 石英微	良	ミガキ 摩耗	ミガキ	外/内	
23-2	PL31	2514	2	SB105	埋土	弥生後期	土器	台付 深鉢	接合部 ～胴部	20%	-	(4.9)	98.7	-	10R4/6 赤 赤褐色粒子・白色 細粒子・雲母・ 石英微	10YR4/1 褐色 赤褐色粒子・ 白色細粒子・ 石英微	良	ミガキ ケズリ? 摩耗 (脚内)工具 によるナデ 細線	ミガキ 摩耗	外/内	
23-3	PL31	2504	2	SB105	埋土	弥生後期	土器	高坏	口縁部 ～体部	10%	<35.7>	(8.0)	(263.2)	-	7.5YR5/2 灰褐 赤褐色粒子・白色 細粒子・雲母・ 石英微	7.5YR5/4 灰褐 赤褐色粒子・白色 細粒子・雲母・ 石英微	良	ナデ ハケ	ナデ ハケのち	-	
23-4	PL31	2483	2	SB105	埋土	弥生後期	土器	高坏	口縁部	10%	<42.4>	(6.7)	216.0 +同一片 166.2)	-	10R4/8 赤 赤褐色粒子・白色 細粒子・雲母・ 石英微	2.5YR5/6 明赤褐 赤褐色粒子・ 白色細粒子・ 石英微	良	ナデのちミガキ ハケのちミガキ	ミガキ	外/内	
23-5	PL31	2493	2	SB105	埋土 床	弥生後期	土器	蓋	ツマミ ～体部	50%	10.1	(12.5)	(483.8)	-	10R4/8 赤 赤褐色粒子・白色 細粒子・雲母・ 石英微	赤褐色粒子・雲母・ 石英微	良	ミガキ 摩耗 (ツマミ内)ミガキ ケズリ0.5ミガキ	ナデ? 摩耗	外	
23-6	PL31	2544	2	SB105	埋土	弥生後期	土器	甕	頸部	10%	-	(3.1)	25.6	-	7.5YR6/4 赤 赤褐色粒子・白色 細粒子・雲母・ 石英微	10YR4/3 赤褐色 赤褐色粒子・ 白色細粒子・ 石英微	良	ハケ ナデ	ハケ	外	
23-7	PL31	2498	2	SB105	埋土	弥生後期	土器	甕	頸部～ 胴部	10%	-	(8.2)	116.8 +同一片 68.0)	-	7.5YR6/4 赤 赤褐色粒子・白色 細粒子・雲母・ 石英微	7.5YR6/4 赤褐色粒子・ 白色細粒子・ 石英微	良	柳直線文 ハケのちミガキ	ハケのちナデ 輪線真	外	
23-8	PL31	2492	2	SB105	埋土	弥生後期	土器	甕	胴部～ 底部	20%	-	(8.5)	408.3	-	10R3/6 赤 赤褐色粒子・白色 細粒子・雲母・ 石英微	7.5YR7/2 明褐灰 赤褐色粒子・ 白色細粒子・ 石英微	良	ミガキ 摩耗 ケズリのちナデ?	ハケ ナデ?	外	
23-9	PL31	2489	2	SB105	埋土 床	弥生後期	土器	甕	口縁部 ～胴部	30%	-	(26.6)	(1880.0)	-	10R4/8 赤 赤褐色粒子・白色 細粒子・雲母・ 石英微	10R4/6 赤 赤褐色粒子・ 白色細粒子・ 石英微	良	直線文 垂下文 ミガキ	ミガキ ハケのちナデ	外	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置				注記番号 (所属遺構・地点名は省略)	時期	種類	器高 cm						
23-10	PL32	2500	2	SB105	埋土床	注記番号 SB105 No.55 ~ 59, 90 ~ 92, 炉No.1, 床, SB105	弥生後期	土器	壺	胴部 ~ 胸部	50%	—	10R5/6 赤	7.5YR5/4 灰褐色にぶい	10R5/6 赤	7.5YR5/4 灰褐色にぶい	外	ハケのちミガキによるナデ ハケ 剥離
23-11	PL32	2680	2	SB105	埋土	注記番号 SB105 No.22, SB105 (同一片, SB105TR, SB106, SB95)	弥生後期	土器	壺	口縁部 ~ 頸部	10%	—	10R5/6 赤	10R4/8 赤	10R5/6 赤	7.5YR6/4 赤	外/内	ハケのちミガキ 飾描状文
23-12	PL32	2506	2	SB105	埋土床	注記番号 SB105 炉 No.4, SB105床, SB105	弥生後期	土器	壺	頸部 ~ 胴部	10%	—	7.5YR6/4 灰褐色にぶい	7.5YR6/4 灰褐色にぶい	7.5YR6/4 赤	7.5YR6/4 赤	外	ハケのちミガキ 飾描状文
23-13	PL32	2486	2	SB105	埋土	注記番号 SB105 No.8, 78, SB105TR, 2区カ、, SB105	弥生後期	土器	壺	胴部 ~ 底部	30%	8.7	10R3/6 暗赤	7.5YR6/4 灰褐色にぶい	10R3/6 暗赤	7.5YR6/4 灰褐色にぶい	外	ハケのちミガキ 剥離
24-14	PL33	2490	2	SB105	埋土床	注記番号 SB105 No.15, 16, 17, 28, 39, 84, 86, TR, 床, SB105, 2区表	弥生後期	土器	壺	頸部 ~ 胴部	20%	—	10R4/6 赤	7.5YR6/4 灰褐色にぶい	10R3/6 暗赤	7.5YR6/4 灰褐色にぶい	外/内	ミガキ 飾描状文
24-15	PL33	2485	2	SB105	埋土床	注記番号 SB105 No.5, 6, 44, 45, 48, 50, 51, 54, 60, 61, 66, 71, 77, 81, 82, 床, SB105, SB106, 皿U23, 板	弥生後期	土器	壺	胴部 ~ 底部	60%	14.4	10R3/6 暗赤	7.5YR6/4 灰褐色にぶい	10R3/6 暗赤	7.5YR6/4 灰褐色にぶい	外	赤褐色粒子・石英・雲母・径2mm濃微, 白色粒子少
25-16	PL32	2499	2	SB105	埋土	注記番号 SB105 No.53, 63, 64, 65, 67, 86, 89, 炉No.2, TR, SB105	弥生後期	土器	壺	胴部 ~ 底部	20%	13.0	7.5YR6/6 赤	7.5YR6/6 赤	7.5YR6/6 赤	7.5YR6/6 赤	外	赤褐色粒子・石英・雲母・径2mm濃微, 白色粒子少
25-17	PL34	2508	2	SB105	埋土床下	注記番号 SB105床, SB111床下	弥生後期	土器	甕	頸部 ~ 胴部	10%	—	7.5YR4/1 褐色	7.5YR4/2 灰褐色	7.5YR4/2 灰褐色	7.5YR4/2 灰褐色	—	飾描状文 剥離
25-18	PL34	2482	2	SB105	埋土	注記番号 SB105 No.1	弥生後期	土器	甕	口縁部 ~ 頸部	10%	—	2.5YR4/6 赤褐色	7.5YR4/2 灰褐色	2.5YR4/6 赤褐色	7.5YR4/2 灰褐色	—	ナデ 飾描状文
25-19	PL34	2495	2	SB105	埋土	注記番号 SB105 No.38, 85, SB105	弥生後期	土器	甕	口縁部 ~ 胴部	60%	—	7.5YR4/2 灰褐色	2.5YR4/6 赤褐色	7.5YR4/2 灰褐色	2.5YR4/6 赤褐色	—	赤褐色粒子・石英・雲母・径2mm濃微, 白色粒子少
25-20	PL34	2484	2	SB105	埋土	注記番号 SB105 No.3	弥生後期	土器	甕	口縁部 ~ 胴部	10%	—	10YR5/3 灰褐色にぶい	10YR5/3 灰褐色にぶい	10YR5/3 灰褐色にぶい	10YR5/3 灰褐色にぶい	—	石英・雲母・径2mm濃微, 白色粒子多
25-21	PL34	2487	2	SB105	埋土	注記番号 SB105 No.9	弥生後期	土器	甕	口縁部 ~ 底部	90%	14.2	10YR3/2 黒褐色	10YR3/2 黒褐色	10YR3/2 黒褐色	10YR3/2 黒褐色	—	赤褐色粒子・石英・雲母・径2mm濃微, 白色粒子多
25-22	PL34	2505	2	SB105	埋土	注記番号 SB105 炉 No.3-5 ~ 14, SB105 No.72 ~ 76-93	弥生後期	土器	甕	口縁部 ~ 底部	90%	20.5	7.5YR7/4 灰褐色にぶい	7.5YR7/4 灰褐色にぶい	7.5YR7/4 灰褐色にぶい	7.5YR7/4 灰褐色にぶい	—	赤褐色粒子 微
25-23	PL34	2494	2	SB105	埋土床	注記番号 SB105 No.34 ~ 36, 床, SB105	弥生後期	土器	甕	口縁部 ~ 胴部	40%	—	10YR6/3 灰褐色にぶい	10YR6/3 灰褐色にぶい	10YR6/3 灰褐色にぶい	10YR6/3 灰褐色にぶい	—	赤褐色粒子・黒色粒子・雲母・径2mm濃微, 白色粒子多
25-24	PL34	2503	2	SB105	埋土	注記番号 SB105 No.79	弥生後期	土器	ミニチュア	口縁部 ~ 底部	90%	4.3	7.5YR5/4 灰褐色にぶい	7.5YR5/4 灰褐色にぶい	7.5YR5/4 灰褐色にぶい	7.5YR5/4 灰褐色にぶい	—	赤褐色粒子・黒色粒子・雲母・径2mm濃微, 白色粒子少
25-25	PL31	2513	2	SB105	埋土	注記番号 SB105TR	弥生後期	土器	土器片加工版	胴部	—	—	5YR4/6 赤褐色	7.5YR6/6 赤褐色	5YR4/6 赤褐色	7.5YR6/6 赤褐色	外	赤褐色粒子少

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時明	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考			
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記番号 (所属遺構・地点名は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g							胴部 最大径 cm	外面色調	内面色調
27-1	PL34	602	3	SB3007	埋土床	SB3007 No.1, 床 SB3007	弥生後期	土器	鉢	口縁部 ～底部	30%	<19.2>	<6.2>	11.9	270.0	<19.6>	7.5YR5/4 にぶい濁	7.5YR5/3 にぶい濁	赤褐色粒子・ 白色粒子・雲母・ 石英微	良	工具によるナデ のちミガキ・摩耗	ナデ ハケのちミガキ	外	
27-2	PL34	603	3	SB3007	床	SB3007 床	弥生後期	土器	鉢	底部	10%	—	6.0	(2.1)	89.1	—	10R4/6赤 7.5YR7/4 にぶい橙	10R4/6 赤	石英微 赤褐色粒子・ 褐色粒子・ 白色粒子 径3mm 礫少	良	ミガキ	ミガキ 剥離	外/内	
27-3	PL34	604	3	SB3007	埋土1層	SB3007 1層 SB3007	弥生後期	土器	高坏	胴部	10%	—	<21.8>	<10.6>	(128.3)	—	10R3/6 暗赤	10YR6/4 にぶい黄緑	褐色粒子・ 白色粒子・石英・ 径2mm礫微	良	ミガキ 丸スカン (脚内ケズリ) ハケ ナデ ハケのちナデ	ナデ	外	脚内一部赤 色顔料付着
27-4	PL34	2147	3	SB3007	1層	SB3007 1層	弥生後期	土器	甕	口縁部	—	—	—	—	18.3	—	10YR4/2 灰黄濁	10YR4/2 灰黄濁	白色粒子・石英微	良	ハケのち 飾描波状文	ナデ	—	
27-5	PL34	2148	3	SB3007	2層	SB3007 2層	弥生後期	土器	甕	口縁部	—	—	—	—	16.2	—	10YR5/2 灰黄濁	10YR5/2 灰黄濁	赤褐色粒子・ 白色粒子・雲母・ 石英微	良	ナデ 飾描波状文	ミガキ	—	
27-6	PL34	606	3	SB3007	埋土2層 床	SB3007 No.2, No.4 SB3007 2層, 床	弥生後期	土器	甕	胴部	10%	—	—	—	290.0	—	10R6/3 にぶい黄緑	10YR6/3 にぶい黄緑	赤褐色粒子・ 白色粒子・ 石英微・雲母少	良	ハケ ハケのち 飾描波状文	ハケ	—	
27-7	PL34	2149	3	SB3007	埋土床	SB3007 No.3, 床 SB3007	弥生後期	土器	甕	胴部	(5%)	—	—	—	137.1	—	10YR6/1 褐灰	10YR6/3 にぶい黄緑	白色粒子 少	2次 焼成	ハケのち 飾描波状文	ハケのちナデ	—	
28-1	PL35	634	3	SB3011	埋土	SB3011 No.2	弥生後期	土器	壺小 高坏	口縁部	10%	<37.6>	—	(3.6)	128.6	—	7.5R4/6 赤	7.5R4/6 赤	赤褐色粒子・褐色 母・白色粒子・雲 母・石英微	良	ミガキ	ミガキ	外/内	
28-2	PL35	635	3	SB3011	埋土	SB3011	弥生後期	土器	壺	頸部	10%	—	—	(10.8)	142.7	—	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・礫微	良	ミガキ 飾描T字文	ミガキ ハケ ハケのちミガキ	外/内	
28-3	PL35	638	3	SB3011	埋土	SB3011 No.2	弥生後期	土器	蓋	ツツミ部 ～体部	50%	—	—	(7.5)	(205.6)	—	2.5YR5/6 明赤濁	10YR6/2 灰黄濁	雲母・石英・ 径2mm礫微・ 白色粒子 少・ 褐色粒子 多	良	ハケのちミガキ 指押さる	摩耗 ナデ ハケ	—	内面一部に 二次的接熱
28-4	PL35	636	3	SB3011	埋土	SB3011 No.1	弥生後期	土器	甕	口縁部 ～頸部	10%	<12.2>	—	4.2	18.3	—	10YR4/2 灰黄濁	10YR4/2 灰黄濁	赤褐色粒子・ 白色粒子・雲母・ 石英微	良	ハケのち 飾描波状文 飾描波状文	ナデ ナデ ミガキ	—	
28-5	PL35	637	3	SB3011	埋土	SB3011 No.1	弥生後期	土器	甕	口縁部 ～胴部	20%	23.4	—	10.6	550	—	10YR6/3 にぶい黄緑	10YR6/2 灰黄濁	赤褐色粒子・ 白色粒子・雲母・ 石英微	良	飾描波状文 飾描波状文	ナデ ナデ ミガキ	—	
28-6	PL35	2151	3	SB3011	埋土	SB3011 椀	弥生後期	土器	土器片 加工板	肩部	—	長さ 4.7	厚さ 1.3	幅 6.3	25.6	—	7.5YR6/6 橙	7.5YR5/4 にぶい濁	赤褐色粒子・褐色 粒子・白色粒子・ 石英微	良	飾描波状文 飾描波状文 摩耗	ミガキ 摩耗	—	外面赤色顔 料付着
29-1	PL35	640	3	SB3014	埋土	SB3014 椀	弥生後期	土器	鉢	口縁部 ～体部	10%	<13.0>	—	(5.8)	29.9	—	10R4/6 赤	10R4/6 赤	径2mm礫微・ 赤褐色粒子・ 白色粒子・石英少	良	摩耗 ミガキ	摩耗 ミガキ	外/内	
29-2	PL35	639	3	SB3014	埋土	SB3014 No.1, No.2	弥生後期	土器	赤彩 深鉢	口縁部 ～頸部	10%	23.4	—	(6.6)	(467.0)	—	10R3/6 暗赤	10R3/6 暗赤	雲母・石英・径3mm 礫微 白色粒子 少 赤褐色粒子 多	良	ハケのちミガキ	ミガキ	外/内	口唇部突起 2ヶ所残存
29-3	PL35	641	3	SB3014	埋土	SB3014 西カベ	弥生後期	土器	高坏	环部	10%	—	—	(5.0)	(40.8)	—	10R6/4 赤	10R6/4 赤	石英・径2mm礫 微 白色粒子 少・ 褐色粒子 多	良	摩耗不明	摩耗不明	外/内	
29-4	PL35	642	3	SB3014	埋土	SB3014 椀	弥生後期	土器	高坏	接合部 ～脚部	20%	—	<14.5>	(11.4)	(154.9)	—	10R4/6 赤	10R4/6 赤	雲母・石英・2mm 礫微 褐色粒子・ 白色粒子 少	良	タテミガキ (脚内)ナデ ハケのちナデ	ミガキ	外/内	
30-1	PL35	678	3	SB3019	埋土	SB3019	弥生後期	土器	蓋	体部～ 口縁部	40%	<11.0>	—	3.2	43.0	—	10R4/6 赤	10R4/6 赤	赤褐色粒子・ 白色粒子・雲母・ 石英微	良	ミガキ	ハケのちミガキ	外/内	焼成前穿孔 2孔1対?

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考	
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記記号 (所属遺構・地点名は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm							重量 g
30-2	PL35	677	3	SB3019	埋土	SB3019 No.12, No.13	弥生後期	土器	壺	胴部	20%	—	(5.8)	(470.1)	—	10YR6/3 にぶい黄緑	10YR7/3 にぶい黄緑	ハケのちミガキ	ハケのちミガキ	—	
30-3	PL35	2150	3	SB3019	埋土	SB3019 No.3	弥生後期	土器	甕	頸部	—	—	—	—	10YR7/4 にぶい黄緑	10YR7/4 にぶい黄緑	摩擦 ハケのちミガキ	ハケのちミガキ	—		
30-4	PL35	682	3	SB3019	埋土	SB3019 No.1	弥生後期	土器	土器片 加工版	胴部	—	厚さ 0.7	—	—	5R6/6 橙	5R6/6 橙	工具によるナデ	ミガキ	外		
31-1	PL35	2155	3	SB3042	埋土	SB3042	弥生後期	土器	鉢	口縁部	20%	<13.2>	(3.9)	26.2	—	7.5R4/8 赤	7.5R4/8 赤	摩擦 ハケのちミガキ	ハケのちミガキ	外/内	
31-2	PL35	799	3	SB3042	埋土	SB3042 No.1 SB3042	弥生後期	土器	赤彩 深鉢	頸部~ 底部	80%	—	(14.4)	(506.5)	14.6	7.5R4/8 赤	7.5R4/8 赤	摩擦 ハケのちミガキ	ハケのちミガキ	外/内	
31-3	PL35	2153	3	SB3042	埋土	SB3042 No.15	弥生後期	土器	壺	頸部	—	—	—	—	7.5YR7/4 にぶい橙	7.5YR7/4 にぶい橙	摩擦 ナデ	ハケのちミガキ	—		
31-4	PL35	2152	3	SB3042	埋土	SB3042	弥生後期	土器	甕	頸部	—	—	—	—	7.5YR6/3 にぶい黄	7.5YR6/3 にぶい黄	摩擦不明	摩擦不明	—		
32-5	PL36	800	3	SB3042	埋土	SB3042 No.2, No.4, No.6, No.8, No.9, No.10, No.12, No.14, No.17, No.18, No.19, No.20	弥生後期	土器	壺	口縁部 胴部~ 底部	20%	31.2	(3723.2)	<46.2>	7.5R4/6 赤	7.5YR7/4 にぶい橙	摩擦 ハケ ヨコミガキ ヨコミガキ ハケのちミガキ	ハケのちミガキ ヨコミガキ ヨコミガキ ハケのちミガキ	外/内		
32-6	PL35	798	3	SB3042	埋土 床	SB3042 No.21,床 SB3042	弥生後期	土器	甕	口縁部 ~胴部	66%	13.7	(9.5)	(248.5)	13.7	7.5YR6/2 灰褐	7.5YR6/2 灰褐	摩擦 ハケのちミガキ ハケのちミガキ 工具によるナデ	ハケのちミガキ ハケのちミガキ 工具によるナデ	—	
33-1	PL36	2156	3	SB3043	埋土	SB3043 No.3	弥生後期	土器	高坏	环部	10%	<26.4>	(5.1)	43.6	—	10R4/8 赤	10R4/8 赤	摩擦不明	摩擦不明	外/内	
33-2	PL36	802	3	SB3043	埋土	SB3043 No.1周辺	弥生後期	土器	高坏	胴部	10%	<12.4>	(4.9)	52.8	—	10R6/4 にぶい赤褐	10YR7/3 赤褐色粒子少	—	—	外 脚内	脚内の彩色は淡くミガキかれない
33-3	PL36	801	3	SB3043	埋土	SB3043 No.1, No.1周辺 SB3043	弥生後期	土器	高坏	口縁部 ~胴部	80%	27.0	(23.4)	1310	—	10R3/6 暗赤	10R3/6 暗赤	摩擦 ミガキ	摩擦 ミガキ	外/内	2次の被熱 口唇部(脚内)付が突起2ヶ所残存
33-4	PL36	2157	3	SB3043	埋土	SB3043	弥生後期	土器	壺	頸部	10%	—	(2.1)	9.0	—	10R3/6 暗赤	10R3/6 暗赤	ヨコミガキ 摩擦 ナデ	ヨコミガキ 摩擦 ナデ	外/内	
33-5	PL36	803	3	SB3043	埋土	SB3043 No.1周辺	弥生後期	土器	甕	口縁部	10%	<18.0>	(2.9)	(35.5)	—	5YR5/4 にぶい赤褐	5YR5/4 にぶい赤褐	摩擦 ハケのちミガキ	ハケのちミガキ	—	
34-1	PL37	806	3	SB3046	埋土	SB3046 No.1	弥生後期	土器	高坏	口縁部 ~胴部	70%	<18.2>	(9.9)	(390.2)	—	10R4/6 赤	10R4/6 赤	摩擦 ハケのちミガキ	ハケのちミガキ	外/内	
34-2	PL37	807	3	SB3046	埋土	SB3046 No.3, No.4, No.5, No.6, No.7 SB3046	弥生後期	土器	赤彩 深鉢	口縁部 ~胴部	40%	14.2	(11.3)	(287.9)	<14.3>	10R4/6 赤	10R4/6 赤	摩擦 ヨコミガキ	ハケのちミガキ	外/内	2次の被熱 変形

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考		
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記番号 (所属遺構・地点名は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm							重量 g	胴部 最大径 cm
34-3	PL37	809	3	SB3046	埋土	弥生後期	土器	壺?	口縁付近	-	-	-	6.0	-	7.5R4/6赤 10YR7/3 にぶい黄緑	7.5YR7/3 にぶい橙	白色粒子・石英・ 径3mm礫 微	良	沈線 ナデ	ナデ 剥離	外	
34-4	PL37	2158	3	SB3046	埋土 床	弥生後期	土器	壺	頸部	-	-	-	16.6	-	7.5YR6/4 にぶい橙	5YR6/4 にぶい橙	雲母・石英 微、 赤褐色粒子・ 白色粒子 少	良	柳描T字文	摩耗不明	-	
34-5	PL37	810	3	SB3046	埋土	弥生後期	土器	壺	口縁部 ～頸部	10%	<33.8>	-	(401.5)	-	7.5R4/6 赤	7.5YR7/4 にぶい橙	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英・ 径2mm礫 微	良	ハケのちミガキ	ハケのちミガキ	外	
34-6	PL37	808	3	SB3046	埋土	弥生後期	土器	甕	頸部	10%	-	(6.8)	71.2	-	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	白色粒子・雲母・石 径2mm礫 微	良	柳描波状文 柳描礫状文	ヨコミミガキ ヨコミミガキ	-	
34-7	PL37	2160	3	SB3046	埋土	弥生後期	土器	土器片 加工板	胴部	-	短径 2.1	長さ 3.9	6.0	-	7.5R4/6 赤	10YR7/4 にぶい黄緑	褐色粒子・白色粒 子・石英 微	良	ミガキ	ハケのちナデ	外	
34-8	PL37	2159	3	SB3046	埋土	弥生後期	土器	土器片 加工板	胴部	-	短径 3.5	長さ (4.5)	13.7	-	10R4/6 赤	10R3/6 赤	赤褐色粒子・石英 白色粒子 少	良	ミガキ	ミガキ	外/内	
35-1	PL37	995	5	SB5013	埋土	弥生後期	土器	高坏	口縁部 ～脚部	20%	<21.8>	-	204.4	-	10R4/6 赤	10R4/6 赤	石英・径2mm礫 7.5YR6/4 微、褐色粒子・ 白色粒子 少	良	摩耗 タテミミガキ 脚内ナデ	ハケのちナデ	外/内	脚内一部赤 色顔料付着
35-2	PL37	994	5	SB5013	埋土	弥生後期	土器	壺	口縁部 ～頸部	30%	<24.8>	(16.8)	750.9	-	5YR6/6 橙	10R4/6 赤	褐色粒子・雲母・ 石英 微、 白色細粒子 多	良	ナデのち ヨコミミガキ ヨコミミガキ ハケのちミガキ ハケのち細面礫文	ヨコミミガキ ヨコミミガキ	内	
35-3	PL37	993	5	SB5013	埋土	弥生後期	土器	壺	口縁部 ～胴部	20%	<20.2>	(34.1)	1490.6	<33.0>	10YR6/4 にぶい黄緑	10YR5/2 灰黄褐	雲母・石英・ 径3mm礫 微、 赤褐色粒子・ 褐色粒子・ 白色粒子 少	良	ハケのちミガキ 柳描T字文 ミガキ	摩耗 ハケ ハケのちナデ	-	
36-4	PL37	996	5	SB5013	埋土	弥生後期	土器	甕	口縁部 ～底部	60%	<20.6>	28.5	1900.0	21.2	7.5YR5/4 にぶい黄	7.5YR3/1 黒褐	赤褐色粒子・ 白色粒子・石英・ 径3mm礫 少	良	柳描波状文 柳描礫状文 柳描波状文 ハケのちミガキ ハケのちミガキ ケズリ)のちミガキ	摩耗 ハケのち ハケのちミガキ	-	
38-1	PL38	1008	5	SB5017	埋土	弥生後期	土器	鉢	口縁部 ～底部	70%	4.6	5.7	(195.4)	-	10R3/6 暗赤	10R3/6 暗赤	褐色粒子・ 白色粒子・石英・ 径2mm礫 微	良	摩耗 ミガキ ナデ	摩耗 ハケのちミガキ	外/内	
38-2	PL38	1007	5	SB5017	埋土	弥生後期	土器	土器 裏か鉢	接合部 ～脚部	10%	8.5	(6.4)	179.6	-	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	白色粒子・雲母・ 石英 微	良	脚内摩耗ナデ 工具痕	摩耗 ナデ	外	
38-3	PL38	2220	5	SB5017	埋土	弥生後期	土器	壺	頸部	-	-	(6.7)	59.5	-	7.5YR5/6 明褐	7.5YR6/6 橙	石英・径2mm礫 微、 赤褐色粒子 少	良	摩耗 柳描直線文 柳描波状文	摩耗 ナデ	-	
38-4	PL38	1010	5	SB5017	埋土	弥生後期	土器	壺	頸部 ～胴部	30%	-	(23.2)	(826.2)	-	5YR6/6 橙	5YR5/6 明赤褐	赤褐色粒子・ 白色粒子・雲母・ 石英・径3mm礫 微	良	摩耗 ハケのちナデ 柳描T字文 かすかにタテミガキ	摩耗 ハケのちナデ 工具によるナデ	-	
38-5	PL38	1011	5	SB5017	埋土	弥生後期	土器	壺	胴部 ～底部	10%	9.0	(14.4)	(835.3)	-	7.5YR6/4 にぶい橙	10YR7/4 にぶい黄緑	石英 微、赤褐色粒 子・褐色粒子・白色 粒子 径2mm礫 少	良	摩耗 ハケのちミガキ ケズリ)	剥離	-	
38-6	PL38	1013	5	SB5017	埋土	弥生後期	土器	小形甕	口縁部 ～胴部	10%	<9.2>	(5.7)	24.9	<13.0>	7.5YR4/2 灰褐	7.5YR6/4 にぶい橙	褐色粒子 微、 白色粒子・雲母・ 石英 少	良	摩耗 柳描波状文 柳描礫状文	摩耗 ナデ 柳描直 工具によるナデ	-	
38-7	PL38	2223	5	SB5017	埋土	弥生後期	土器	甕	頸部	-	(5.3)	51.2	51.2	-	10YR7/3 にぶい黄緑	10YR6/3 にぶい黄緑	褐色粒子・雲母・石 径2mm礫 微、 白色粒子 少	良	柳描波状文 柳描礫状文	ミガキ	-	
38-8	PL38	2221	5	SB5017	埋土	弥生後期	土器	甕	口縁	-	-	-	17.6	-	10YR5/4 にぶい黄褐	10YR5/3 にぶい黄褐	白色粒子・ 褐色粒子・石英・ 径2mm礫 微	良	柳描波状文 摩耗	摩耗 ナデ	-	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考			
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm							重量 g	胴部 最大径 cm	外面色調
38-9	PL38	2222	5	SB5017	埋土	弥生後期	土器	壺?	頸部	-	-	-	41.3	-	5YR5/6 明赤褐	10YR5/4 にぶい黄褐	白色粒子・褐色粒子・赤褐色粒子・石英・雲母 微	良	飾描線状文 飾描波状文	ナデ	-	外面 スス付着	
38-10	PL38	2224	5	SB5017	埋土	弥生後期	土器	甕	胴部	-	-	-	59.6	-	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR6/4 にぶい黄褐	白色粒子・赤褐色粒子・雲母・石英・径2mm礫 微	良	飾描線状文 飾描波状文 ハケのち ハケのち ナデ	ナデ	摩耗	-	外面 スス付着
38-11	PL38	1012	5	SB5017	埋土	弥生後期	土器	甕	胴部~ 底部	20%	<7.1>	(11.2)	(602.6)	-	10YR5/4 にぶい黄褐	10YR5/3 にぶい黄褐	赤褐色粒子・ 褐色粒子・ 白色粒子・ 石英 微	良	摩耗 ミガキ ハケのち ミガキ	ハケのちミガキ	-	-	
39-1	PL38	1069	5	SB5024	埋土	弥生後期	土器	高坏	坏部~ 胴部	20%	-	(9.8)	170	-	10R4/4 赤	10R4/4 赤褐	赤褐色粒子・雲母 微・白色粒子 少	良	摩耗 ミガキ (胴内)ナデハケ	摩耗 ミガキ	外/内	-	
39-2	PL38	1066	5	SB5024	埋土	弥生後期	土器	壺	頸部	-	-	-	18.1	-	10YR6/3 にぶい黄褐	2.5Y6/2 灰黄	褐色粒子・白色粒子・径2mm礫 微・石英 少	良	摩耗 飾描文 飾描直線文	摩耗不明	-	-	
39-3	PL38	1065	5	SB5024	埋土一括	弥生後期	土器	壺	頸部	-	-	-	22.3	-	5YR5/4 明赤褐	5YR5/6	赤褐色粒子・ 白色粒子・石英 微	良	ハケのち ハケのち 飾描直線文	ハケのちナデ	-	-	
39-4	PL38	1062-1	5	SB5024	埋土	弥生後期	土器	甕	口縁部 ~胴部	10%	<16.2>	(9.4)	(102.2)	<16.4>	10YR5/4 にぶい黄褐	10YR5/3 にぶい黄褐	褐色粒子・雲母 微・ 白色粒子・ 石英 少	良	摩耗 飾描波状文 飾描直線文	摩耗 ミガキ	-	-	
39-5	PL38	1062-2	5	SB5024	埋土 床下	弥生後期	土器	甕	頸部~ 胴部	20%	-	(14.4)	(235.1)	<16.0>	2.5YR4/6 赤褐	10YR4/2 灰黄褐	赤褐色粒子・ 白色粒子・雲母・ 石英 微	良	飾描線状文 飾描波状文 ミガキ 摩耗	摩耗 ミガキ	-	-	
39-6	PL38	1061	5	SB5024	埋土	弥生後期	土器	甕	口縁部 ~胴部	10%	<20.0>	(13.0)	(326.6)	-	7.5YR6/3 にぶい褐	7.5YR6/3	赤褐色粒子・褐色 粒子・径3mm礫 白色粒子・ 雲母・石英 少	良	飾描波状文 飾描直線文	摩耗不明	-	2次の被熱?	
39-7	PL38	1064	5	SB5024	埋土	弥生後期	土器	甕?	胴部~ 底部	10%	<9.4>	(13.8)	370	-	7.5YR7/4 にぶい橙	7.5YR7/2 明褐灰	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英・ 径2mm礫 微	良	摩耗 ミガキ ハケのちミガキ (胴内)摩耗ナデ	摩耗 ナデ	-	2次の被熱	
39-8	PL38	1063	5	SB5024	埋土	弥生後期	土器	台付甕	胴部	10%	-	9.2	70	-	7.5YR5/6 明褐	5YR5/6	褐色粒子・雲母・ 石英 微・ 白色粒子 少	良	摩耗 ミガキ	-	-	-	
39-9	PL38	1067	5	SB5024	床	弥生後期	土器	土器片 加工板	体部	-	長径 3.3	厚さ 0.7	7.6	-	10R4/6 赤	10YR7/4 にぶい黄褐	赤褐色粒子・ 白色粒子・雲母・ 石英 微	良	摩耗 ハケ 剥離	摩耗不明 剥離	外	-	側面面磨?
39-10	PL38	1068	5	SB5024	床	弥生後期	土器	土器片 加工板	体部	-	長径 3.15	厚さ 0.4	5.9	-	10R4/6 赤	10R4/6 赤	赤褐色粒子・ 白色粒子・石英・ 径2mm礫 微	良	摩耗不明	ミガキ	外/内	-	
42-1	PL39	1115	5	SB5030	埋土	弥生後期	土器	鉢	口縁部 ~底部	90%	18.4	10.6	(556.2)	-	7.5R4/6 赤	7.5R4/6 赤	赤褐色粒子・ 白色粒子・石英・ 径3mm礫 少	良	摩耗 ナデ ハケのちミガキ	摩耗 ミガキ	外/内	-	
42-2	PL39	1117	5	SB5030	埋土	弥生後期	土器	高坏?	口縁部 ~体部	20%	<20.6>	(7.0)	185.4	-	10R4/6 赤	7.5R4/6 赤	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英・ 径2mm礫 微	良	摩耗 ヨコミミガキ	ミガキ	外/内	-	
42-3	PL39	1116	5	SB5030	埋土	弥生後期	土器	高坏?	胴部	20%	-	(4.5)	(103.2)	-	10R4/6 赤	10YR7/4 にぶい黄褐	赤褐色粒子・ 白色粒子・雲母・ 径2mm礫 微・ 石英 少	良	タテミミガキ (胴内)ハケ ナデ	-	外	-	
42-4	PL39	1125	5	SB5030	埋土	弥生後期	土器	壺	口縁部	10%	-	(5.2)	(165.5)	-	5YR5/6 明赤褐	5YR5/6	赤褐色粒子・ 白色粒子・雲母・ 石英 微	良	ハケのちナデ	ヨコミミガキ	-	-	
42-5	PL39	1122	5	SB5030	埋土	弥生後期	土器	壺	口縁部 ~頸部	20%	16.0	(9.8)	340	-	5YR5/6 明赤褐	5YR6/6 橙	赤褐色粒子・ 白色粒子・ 石英 微	良	ハケのちミガキ ハケのちミガキ	摩耗 ナデ ハケのちミガキ	-	-	内面に赤色 顔料付着

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考			
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)						口径 cm	底径 cm	高 cm	重量 g							胴部 最大径 cm	外面色調	内面色調
42-6	PL39	1121	5	SB5030	埋土	SB5030 No.23	弥生 後期	土器	壺	頸部	10%	—	—	(9.9)	(250.0)	—	5YR6/6 橙	5YR5/6 明赤褐	赤褐色粒子・ 白色粒子・雲母・ 石英 微	良	ハケのちミガキ 剥離	ハケのちミガキ	—	
42-7	PL39	1114	5	SB5030	埋土	SB5030 No.71	弥生 後期	土器	小形壺	口縁部 ～底部	90%	10.0	5.0	15.9	420.0	11.4	10R4/6 赤 7.5YR7/4 にぶい、黄 7.5R4/6 赤 2.5YR5/6 明赤褐	10R4/6 赤 5YR6/6 橙	赤褐色粒子・ 白色粒子・雲母・ 径 3mm 礫 微	良	ナデ 飾描線文 タテミガキ ヨコミガキ	工具によるナデ ヨコミガキ ナデ 種子圧痕	外/内	
42-8	PL39	1113	5	SB5030	埋土	SB5030 No.63 SB5030	弥生 後期	土器	壺	胴部～ 底部	40%	—	6.2	(17.2)	(812.7)	<20.0>	7.5YR5/4 にぶい、褐	7.5YR6/6 橙	赤褐色粒子・ 白色粒子・石英・ 径 2mm 礫 微	良	ハケのち ヨコミガキ ナデ タテミガキ クズリ	ハケのちナデ	外	内面種子 圧痕?
43-9	PL39	1126	5	SB5030	埋土	SB5030 No.4, No.5, No.64	弥生 後期	土器	壺	口縁部 ～頸部	10%	<21.8>	—	(11.2)	(242.5)	—	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	赤褐色粒子・ 白色粒子・石英・ 径 2mm 礫 微	良	摩耗不明 タテミガキ 飾描線文	摩耗不明	—	
43-10	PL39	2140	5	SB5030	埋土	SB5030 No.54 SB5030	弥生 後期	土器	壺	口縁部 ～頸部	10%	<24.6>	—	(7.4)	98.4	—	10R4/6 赤	10R4/6 赤	赤褐色粒子・ 白色粒子・雲母・ 石英・ 径 3mm 礫 微	良	ハケのち ヨコミガキ 剥離	ハケのち ヨコミガキ 剥離	外/内	
43-11	PL39	2128	5	SB5030	埋土	SB5030	弥生 後期	土器	壺	口縁部 ～頸部	10%	<26.0>	—	(10.6)	133.5	—	5YR4/6 赤褐	5YR5/4 にぶい、赤褐	赤褐色粒子・ 白色粒子・雲母・ 石英 微	良	ナデ ハケのちナデ 剥離	ナデ ハケのちミガキ 剥離	—	
43-12	PL39	1120	5	SB5030	埋土	SB5030 No.30, No.32, No.33, No.35, No.36, No.37	弥生 後期	土器	壺	口縁部 ～頸部	10%	<26.6>	—	(13.0)	578.4	—	10YR7/3 にぶい、黄橙	10YR7/3 暗赤	褐色粒子・雲母・ 石英・ 径 2mm 礫 微	良	摩耗 飾描T文字 ハケのちミガキ	摩耗 剥離 ミガキ	外/内	
43-13	PL39	1123	5	SB5030	埋土	SB5030 No.6	弥生 後期	土器	壺	頸部～ 胴部	—	—	—	(9.5)	140.9	—	7.5R4/6 赤 7.5YR7/4 にぶい、橙	10YR6/3 にぶい、黄橙	白色粒子・雲母・ 径 2mm 礫 微、褐 色粒子・石英 少	良	ナデ ハケのちミガキ 剥離	ナデ ハケのちミガキ 剥離	外	
43-14	PL39	1124	5	SB5030	埋土	SB5030 No.29, No.65 SB5030	弥生 後期	土器	甕?	胴部～ 底部	10%	—	9.4	(11.8)	(856.7)	—	10YR7/4 にぶい、黄橙	7.5YR5/6 明褐	白色粒子・ 石英・ 径 3mm 礫 微、 赤褐色粒子 少	良	摩耗 ナデ 剥離 ハケのちナデ	摩耗 ナデ 剥離 ハケのちナデ	—	
43-15	PL39	1118	5	SB5030	埋土	SB5030 No.44	弥生 後期	土器	甕	口縁部 ～頸部	—	—	—	—	49.7	—	10YR6/3 にぶい、黄橙	7.5YR6/3 径 2～7mm 礫 微、 赤褐色粒子 少 白色粒子 少	雲母・石英・ 径 2～7mm 礫 微、 赤褐色粒子・ 白色粒子 少	良	飾描波状文 飾描線状文 縄文	飾描波状文 飾描線状文 縄文	—	
43-16	PL39	1119	5	SB5030	埋土	SB5030 No.66	弥生 後期	土器	甕	頸部～ 胴部	10%	—	—	(7.7)	101.5	—	10YR7/4 にぶい、黄橙	10YR7/3 にぶい、黄橙	赤褐色粒子・ 白色粒子・雲母・ 石英 微	良	摩耗 ハケのちミガキ	摩耗 ハケのちミガキ	—	
44-1	PL40	1136	5	SB5033	埋土	SB5033 No.1	弥生 後期	土器	高坏	口縁部 ～坏部	50%	18.4	—	(6.7)	(312.0)	—	7.5R4/6 赤 7.5YR6/2 灰褐	7.5R4/6 赤	赤褐色粒子・ 雲母・石英 微、 白色粒子 多	良	摩耗 ミガキ	摩耗 ミガキ	外/内	突起3ヶ所 残存
44-2	PL40	1135	5	SB5033	埋土	SB5033 No.2, 検 SB5033	弥生 後期	土器	甕	口縁部 ～胴部	20%	<17.9>	—	(17.9)	100.1	<19.4>	5YR5/6 明赤褐	10YR4/3 にぶい、黄橙	赤褐色粒子色・ 雲母・石英 微、 白色粒子 少	良	摩耗 飾描波状文 沈線? 飾描波状文 ハケのち 飾描波状文	摩耗 ミガキ ハケのちミガキ	—	内面にスズ? 付着
45-1	PL40	1144	5	SB5037	埋土	SB5037 No.16 SB5037	弥生 後期	土器	壺	口縁部 ～胴部	30%	<14.8>	—	(22.2)	829.3	<19.2>	10YR7/4 にぶい、黄橙	10YR7/4 にぶい、黄橙	褐色粒子・ 径 3mm 礫 微、 雲母・石英 少	良	摩耗 ミガキ ナデ ナデのち ヨコミガキ ナデ 飾描線文?	摩耗 ナデ ヨコミガキ 工具によるナデ	—	
45-2	PL40	2145	5	SB5037	埋土	SB5037 No.14 SB5037	弥生 後期	土器	壺	頸部	10%	—	—	(6.0)	65.5	—	10YR7/4 にぶい、黄橙	10YR7/4 にぶい、黄橙	白色粒子・ 雲母 微、赤褐色粒 子、石英 少	良	飾描T文字 飾描波状文	摩耗不明	—	
45-3	PL40	1143	5	SB5037	埋土	SB5037 No.21 SB5037	弥生 後期	土器	壺	口縁部 ～頸部	10%	<25.0>	—	(9.2)	413.9	—	5YR4/6 赤褐	5YR4/6 赤褐	赤褐色粒子・ 白色粒子・ 石英 微	良	ナデ ハケのち ヨコミガキ	ハケのち ヨコミガキ	外/内	
45-4	PL40	2144	5	SB5037	埋土	SB5037	弥生 後期	土器	甕	口縁部	10%	<17.0>	—	(4.0)	56.6	—	7.5YR5/4 にぶい、褐	10YR4/3 にぶい、黄橙	白色粒子・雲母・ 石英 微	良	ハケのち ヨコミガキ 飾描波状文	ハケのち ヨコミガキ	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考	
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (所属遺構・地点名は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g							胴部 最大径 cm
45-5	Pl40	2146	5	SB5037	埋土	SB5037 No.17	弥生後期	土器	胴部	-	-	-	44.5	-	5YR5/4 にぶい赤褐	7.5YR5/2 灰褐	白色細粒子・微・石英少	良	御描線状文 ハケのち御描線状文	ハケのちミガキ	-	
45-6	Pl40	1145	5	SB5037	埋土	SB5037	弥生後期	土器	ミニア チュア	40%	<3.0>	(3.3)	15.1	-	10R4/6 赤	10R4/6 赤 にぶい黄緑	赤褐色粒子・雲母・石英微、 径2mm礫少、 白色粒子多	良	摩耗不明 (脚内)摩耗不明	摩耗不明	外/内	
46-1	Pl40	1157	6	SB6001	埋土	SB6001 No.1, No.4	弥生後期	土器	高坏 ~脚部	90%	11.2	5.3	175.0	-	10R4/6 赤	10R4/6 赤 にぶい黄緑	雲母・石英微、 褐色粒子・ 径2mm礫少、 白色粒子多	良	摩耗 剥離 ヨコミミガキ タテミミガキ (脚内)剥離 ナデ	摩耗 ヨコミミガキ タテミミガキ	外/内	
46-2	Pl40	1158	6	SB6001	埋土	SB6001 No.3	弥生後期	土器	口縁部	-	-	-	70.0	-	7.5YR6/3 にぶい褐	7.5YR6/4 にぶい褐	赤褐色粒子・石英・ 径2mm礫 微・白 色粒子・雲母 少	良	摩耗不明 御描線状文	摩耗 ハケ ハケのちヨコミ ガキ	-	
48-1	Pl40	2129	6	SB6002	埋土	SB6002	弥生後期	土器	高坏	10%	<9.8>	(3.8)	14.1	-	10R4/6 赤	7.5YR6/6 橙	赤褐色粒子・ 白色粒子・ 石英 少	良	摩耗不明 (脚内)摩耗不明	-	外	
48-2	Pl40	1159	6	SB6002	埋土	SB6002 No.19 SB6002	弥生後期	土器	高坏	50%	-	10.5	130	-	10YR5/4 赤褐	7.5YR7/4 にぶい橙	赤褐色粒子・ 白色粒子・雲母・ 石英・ 径2mm礫 微	良	摩耗 ミガキ (脚内)摩耗ハケ 輪描線ナデ ハケのちナデ	-	外	
48-3	Pl40	2134	6	SB6002	埋土	SB6002	弥生後期	土器	頸部	-	-	-	8.7	-	10YR7/4 にぶい黄橙	7.5YR6/6 橙	赤褐色粒子・ 白色粒子・ 雲母 微	良	摩耗 御描線文	摩耗 ナデ	-	
48-4	Pl40	1163	6	SB6002	埋土	SB6002 No.19	弥生後期	土器	頸部	-	-	-	15	-	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	白色粒子・雲母・ 石英 微、 赤褐色粒子・ 褐色粒子 少	良	摩耗 御描線文	-	-	
48-5	Pl40	2130	6	SB6002	埋土	SB6002 P3	弥生後期	土器	頸部	-	-	-	20.3	-	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR5/4 にぶい褐	赤褐色粒子・白色 粒子 微、石英 少	良	御描T字文 ミガキ	ナデのちミガキ ナデ	-	
48-6	Pl40	2131	6	SB6002	埋土	SB6002 No.2	弥生後期	土器	頸部	5%	-	-	94.8	-	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR6/3 にぶい黄緑	褐色粒子・白色粒 子・雲母 微、 石英 少	良	摩耗 ミガキ 御描線文 御描線状文	摩耗 ハケのちナデ	-	
48-7	Pl40	2133	6	SB6002	埋土	SB6002 No.10	弥生後期	土器	頸部~ 胴部	10%	-	(10.2)	209.1	-	10YR7/4 にぶい黄橙	10YR7/3 にぶい黄緑	赤褐色粒子・ 白色粒子・ 褐色粒子・石英・ 径2mm礫 少	良	摩耗 ミガキ 御描線文	摩耗不明	-	
48-8	Pl40	2132	6	SB6002	埋土	SB6002 No.19, No.26	弥生後期	土器	胴部	10%	-	(7.6)	127.0	-	5YR4/3 にぶい赤褐	5YR4/4 にぶい赤褐	赤褐色粒子 微、 白色粒子・石英 少	良	御描T字文 ナデのちミガキ	ナデ	-	
48-9	Pl40	1162	6	SB6002	埋土	SB6002 P2	弥生後期	土器	胴部	10%	-	(10.4)	210	-	10R4/6 赤 7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR5/3 にぶい褐	赤褐色粒子・ 白色粒子・石英 微、 雲母 少	良	摩耗 御描線文 タテミガキ	摩耗 輪描痕	外	
48-10	Pl40	1160	6	SB6002	埋土	SB6002 No.19	弥生後期	土器	頸部~ 胴部	10%	-	(26.7)	285	<27.2>	10R5/6 赤 7.5YR6/6 にぶい黄橙	10YR6/3 にぶい黄緑	雲母・径2mm礫 微、 褐色粒子・ 白色粒子・石英 少	良	摩耗 ミガキ 御描線文	摩耗 ミガキ	外/内	
48-11	Pl40	1611	6	SB6002	埋土	SB6002 No.31-5	弥生後期	土器	胴部	10%	-	(13.0)	2400	<29.0>	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR7/1 明褐灰	赤褐色粒子・ 白色粒子・雲母・ 径2mm礫 微、 石英 少	良	ハケのちナデ 剥離	ハケのちナデ	-	
48-12	Pl41	1161	6	SB6002	埋土	SB6002 No.23, P3 SB6002	弥生後期	土器	胴部	20%	-	(17.6)	1210	<31.6>	5YR5/6 明赤褐	7.5YR3/1 黒褐	石英・径5mm礫 微、 赤褐色粒子・ 褐色粒子 少、 白色粒子 多	良	摩耗 ミガキ	摩耗不明	-	
48-13	Pl41	2138	6	SB6002	埋土	SB6002	弥生後期	土器	土器片 加工版	-	長さ 2.4	短径 2.0	3.2	-	10YR7/4 にぶい黄橙	5YR5/6 明赤褐	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英・ 径2mm礫 微	良	摩耗不明	摩耗不明	-	
48-14	Pl41	2139	6	SB6002	埋土	SB6002	弥生後期	土器	土器片 加工版	-	長さ 4.0	短径 3.2	6.4	-	10YR3/1 黒褐	10YR5/2 灰黄褐	石英 微、 白色細粒子 多	良	ミガキ 摩耗	摩耗不明	-	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記番号 (所属遺構・地点名は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm							
48-15	PL41	1171	6	SB6002	埋土	弥生後期	土器片加工版	胴部	—	長径 8.5	短径 6.3	厚さ 0.7	55.0	—	7.5YR6/3 にぶい褐	白色粒子・石英微、赤褐色粒子少	良	御描羽状文 御描波状文	ナデ	—	
48-16	PL41	1166	6	SB6002	埋土	弥生後期	甕	口縁部 ～胴部	70%	26.0	—	(29.5)	1620	30.3	10YR3/2 黒褐	赤褐色粒子・白色粒子・雲母・石英微	やや不良	摩耗 ハケ ハケのち 御描波状文 御描羽状文	内		
49-17	PL41	1164	6	SB6002	埋土	弥生後期	甕 (台付)	口縁部 ～胴部	20%	<11.0>	—	(6.1)	69	—	5YR4/3 にぶい赤褐	赤褐色粒子 微 白色粒子・石英 少	良	ナデ 御描波状文 御描波状文	ハケのち ヨコミガキ	—	
49-18	PL41	2135	6	SB6002	埋土	弥生後期	甕	底部	10%	—	<6.0>	(2.0)	68.7	—	7.5YR6/3 にぶい褐	雲母・石英 微、赤褐色粒子・白色粒子少	良	摩耗 ミガキ ケズリのち 御描波状文	ミガキ	—	
49-19	PL41	2136	6	SB6002	埋土	弥生後期	甕	口縁部	10%	<18.8>	—	(5.6)	46.9	—	7.5YR7/4 にぶい橙	雲母・径4mm礫微、赤褐色粒子・石英少	良	御描波状文 御描波状文	摩耗不明	—	
49-20	PL42	2137	6	SB6002	埋土	弥生後期	甕	頸部～胴部	20%	—	—	(15.5)	3100	<25.0>	7.5YR6/4 にぶい橙	雲母 微、石英・径3mm礫 少、赤褐色粒子 多	良	御描波状文 御描波状文	摩耗 ヨコミガキ	—	
49-21	PL41	1619	6	SB6002	埋土	弥生後期	甕	口縁部 ～胴部	30%	<30.4>	—	(26.6)	7500	<32.0>	10YR7/4 にぶい黄褐	赤褐色粒子・白色細粒子・雲母・石英、径3mm礫 微	良	御描波状文 御描波状文 御描波状文	ハケのちミガキ	—	
49-22	PL41	1165	6	SB6002	埋土	弥生後期	甕	口縁部 ～胴部	30%	23.8	—	(22.4)	1430	<26.0>	10YR4/1 褐灰	雲母・石英 微、赤褐色粒子・白色粒子 少	良	摩耗 ハケのちミガキ ハケのち 御描波状文 御描波状文	摩耗 ミガキ 剥離 ハケのちミガキ	—	
49-23	PL41	1167	6	SB6002	埋土	弥生後期	甕	口縁部 ～胴部	10%	<27.8>	—	(17.8)	420	—	10YR5/3 にぶい黄褐	褐色粒子・白色粒子・雲母・石英 微	良	御描波状文 ナデ 御描波状文 御描波状文	摩耗 ハケのちミガキ	—	
49-24	PL42	1168・1170	6	SB6002	埋土	弥生後期	甕	口縁部 ～胴部	30%	<25.8>	—	(26.1)	725.0	<34.0>	5YR4/2 灰褐	雲母・径2mm礫 微、赤褐色粒子・白色細粒子・石英 少	良	御描波状文 御描波状文 御描波状文	摩耗 ヨコミガキ	—	
49-25	PL42	1169・1618	6	SB6002	埋土	弥生後期	甕	頸部～胴部	30%	—	—	(23.5)	(684.6)	<38.0>	7.5YR5/1 褐灰	赤褐色粒子・雲母・石英 微、白色粒子 少	良	摩耗 御描波状文 御描波状文 御描波状文	摩耗 ハケ 輪痕痕	—	
52-1	PL42	1202	1	SM5	埋土	弥生後期	鉢	口縁部 ～底部	20%	<8.4>	—	(4.0)	111.2	<7.6>	10YR7/3 にぶい黄褐	赤褐色粒子・石英 微、白色粒子 少	良	ハケのちナデ	工具によるナデ	外?	
52-2	PL43	1197	1	SM5	埋土	弥生後期	台付片口	口縁部 ～胴部	60%	<7.6>	<5.6>	11.0	(346.8)	<11.2>	7.5YR6/3 にぶい褐	赤褐色粒子・白色粒子・石英・径2mm礫 微	良	ナデ ハケのちナデ ケズリのちナデ (脚内)ナデ	ハケのちナデ	—	
52-3	PL42	1210	1	SM5	埋土	弥生後期	高坏	口縁部 ～底部	30%	<19.0>	—	(5.7)	(125.0)	—	10R5/4 赤	褐色粒子・石英 微、白色粒子 少	不良	摩耗 ミガキ	摩耗 ミガキ	外/内	
52-4	PL42	1211	1	SM5	埋土 2層	弥生後期	高坏	口縁部 ～底部	30%	<21.4>	—	(6.0)	(155.0)	—	7.5R3/6 暗赤	白色粒子・雲母・石英 微、赤褐色粒子 少	良	ハケのちミガキ	ハケのちミガキ	外/内	
52-5	PL42	1206	1	SM5	埋土 2層	弥生後期	高坏	底部～胴部	20%	—	—	(8.3)	136.7	—	7.5R4/8 赤	褐色粒子・石英 微、白色粒子 少	良	ハケのちミガキ (脚内) 工具によるナデ ハケ	ハケのちミガキ	外/内	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g								
52-6	PL42	1198	1	SM5	3層	SD13 3層No.22	弥生 後期	土器	高坏	接合部 ~胴部	20%	—	(8.6)	—	10R4/4 赤褐	10R4/4 赤褐	赤褐色粒子・ 雲母・石英微	良	ハケのちミガキ 丸スガシ (脚内) ハケのちナデ	ミガキ	外/内		
52-7	PL42	1217	1	SM5	埋土	SD13 No.16 SD13 2区	弥生 後期	土器	高坏	脚部	30%	—	(7.6)	<16.4>	10R4/6 赤	10R4/6 赤	赤褐色粒子・ 白色粒子・ 石英微	良	ハケのちミガキ 丸スガシ (脚内)ハケのち ナデ当て具痕	—	外		
52-8	PL42	1218	1	SM5	埋土 2層	SD13 No.9 SD13 2区2層	弥生 後期	土器	蓋	ツマミ部 ~口縁部	ほぼ 完形	22.4	—	—	7.5R4/6 赤	7.5R4/6 赤	赤褐色粒子・ 雲母・石英微・ 白色細粒子少	良	摩耗 ハケのち ヨコミガキ	ハケのちミガキ	外/内		
52-9	PL42	1207	1	SM5	埋土 2層	SD13 No.4周辺 SD13 2区2層	弥生 後期	土器	壺	口縁部	10%	<8.4>	—	—	7.5R4/6 赤	7.5R4/6 赤	赤褐色粒子・ 白色粒子・石英微	良	ハケのちミガキ	ハケのちミガキ	外/内		
52-10	PL43	1213	1	SM5	埋土 2層	SD13 No.7 SD13 2区2層	弥生 後期	土器	小形壺	頸部~ 底部	60%	—	3.5	—	10R4/6 赤	10R4/6 赤	褐色粒子・ 白色粒子・石英・ 径4mm礫微	良	ハケのちミガキ ケズリのちナデ	摩耗 ナデ ハケのちナデ	外/内		
52-11	PL43	1196	1	SM5	3層	SD13 3層No.28	弥生 後期	土器	小形壺	口縁部	70%	<10.5>	—	—	10R4/6 赤	10R4/6 赤	雲母・石英・ 径3mm礫微・ 褐色粒子少	良	ハケのちミガキ	ハケのちミガキ	外/内		
52-12	PL43	1219	1	SM5	埋土	SD13 No.19	弥生 後期	土器	小形壺	口縁部 ~底部	90%	10.0	13.6	4.0	7.5R4/6 赤	7.5R4/6 赤	7.5R4/6 赤 赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英・ 径3mm礫微	良	ハケのちミガキ ケズリのちナデ	ハケのちミガキ ハケのちナデ	外/内		
52-13	PL43	1214	1	SM5	埋土 2層	SD13 No.4周辺 SD13 2区2層, 4区2層	弥生 後期	土器	小形壺	頸部~ 底部	60%	—	3.9	—	10R3/4 暗赤	10R3/4 暗赤	赤褐色粒子・ 褐色細線文 ハケのちミガキ ナデ ミガキ	良	ハケのち 御描直線文 ハケのちミガキ ナデ ミガキ	摩耗 ハケのちナデ	外/内		
52-14	PL43	1220	1	SM5	埋土	SD13 No.3 SD13 2区	弥生 後期	土器	小形壺	口縁部 ~底部	ほぼ 完形	<9.5>	11.3	10.3	7.5R4/6 赤	7.5R4/6 赤	白色粒子・雲母・ 石英微・ 赤褐色粒子少	良	ハケのちミガキ 御描I字文 ケズリのちナデ	ハケのちミガキ ハケのちナデ	外/内		
52-15	PL43	1216	1	SM5	埋土	SD13 No.10	弥生 後期	土器	小形壺	口縁部 ~底部	90%	8.8	11.6	4.3	10R4/6 赤	10R4/6 赤	褐色粒子・ 白色粒子・雲母・ 石英微	良	ハケのちミガキ ナデ	ハケのちミガキ ナデ	外/内		
52-16	PL43	1215	1	SM5	埋土	SD13 No.18	弥生 後期	土器	赤彩 深鉢?	頸部~ 底部	70%	—	4.3	—	10R4/4 赤褐	10R4/4 赤褐	白色粒子・雲母・ 石英微・ 赤褐色粒子少	良	ハケのちミガキ ミガキ	工具によるナデ ハケのちナデ ヨコミガキ	外/内		
52-17	PL43	1209	1	SM5	埋土 2層	SD13 No.8 SD13 No.8付近2層	弥生 後期	土器	壺	頸部~ 脚部	40%	—	(15.9)	<18.0>	10YR8/4 浅黄橙	10YR8/4 浅黄橙	白色粒子・雲母・石 英・径3mm礫微・ 赤褐色粒子多	良	ハケのちミガキ	工具によるナデ	外		
52-18	PL43	1223	1	SM5	埋土 2層 3層	SD13 No.4, No.5, No.6 SD13 2区2層, 2区3層	弥生 後期	土器	壺	口縁部 ~底部	80%	17.6	27.2	21.9	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	石英微・ 赤褐色粒子・ 白色粒子少	良	ハケのちミガキ 御描I字文 ナデ ケズリ 刺雕	ナデ ハケのちミガキ ハケのちミガキ 工具によるナデ ハケのちナデ ハケのち工具に よるナデ	—		
52-19	PL43	1221	1	SM5	埋土	SD13 No.21	弥生 後期	土器	壺	口縁部 ~底部	90%	15.2	19.8	17.9	7.5R4/6 赤	7.5R4/6 赤	赤褐色粒子・ 白色粒子・雲母・ 石英微	良	ミガキ ハケのちミガキ ハケ 工具によ るナデ 当て具 痕 ミガキ	ハケのちミガキ ハケのちミガキ ハケのちミガキ ハケのちミガキ ハケのちミガキ ハケのちミガキ	外/内		
52-20	PL43	2185	1	SM5	2層	SD13 2区2層	弥生 後期	土器	土器片 加工板	脚部	—	厚さ 0.7	—	—	10YR7/6 明黄褐	7.5YR7/8 黄橙	雲母 赤褐色粒子・ 白色粒子・石英多	良	摩耗 ハケのちミガキ	摩耗 ハケのちミガキ	—		
52-21	PL43	2184	1	SM5	2層	SD13 2区2層	弥生 後期	土器	土器片 加工板	脚部	—	厚さ 1.0	—	—	7.5R3/6 暗赤	7.5YR5/4 暗赤	赤褐色粒子・ 白色粒子・雲母・ 石英微	良	摩耗 ハケのちミガキ	ハケ	外		
53-22	PL44・45	1224	1	SM5	埋土 2層 3層	SD13 No.3, No.17 SD13 2区 SD13 2区2層, 2区3層	弥生 後期	土器	壺	口縁部 ~脚部	80%	20.5	27.7	20.6	10R3/6 暗赤	10R3/6 暗赤	褐色粒子・ 白色粒子・雲母・ 石英微	良	ハケのちミガキ ハケのちミガキ 御描I字文	ハケ ハケのちミガキ ハケのちミガキ 工具によるナデ	外/内		

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (所属遺構・地点名は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g								
53-23	PL44・45	1222	1	SM5	埋土	SD13 No.14	弥生後期	土器	口縁部 ～胴部	90%	23.7	—	31.5	2600	25.7	10R4/6 赤 10YR6/3 にぶい黄緑	10R4/6 赤 7.5YR6/4 にぶい橙	褐色粒子・ 白色粒子・雲母・ 石英微	良	ナデのちミガキ ナデ 貼付痕 ハケのちミガキ ハケのち 佛指字文	ハケのちミガキ 工具によるナデ	外/内	
53-24	PL44・45	1225	1	SM5	埋土	SD13 No.20	弥生後期	土器	口縁部 ～底部	90%	<28.0>	8.7	39.4	(4524.2)	29.2	10R4/6 赤 7.5YR6/4 にぶい橙	10R4/6 赤 7.5YR6/4 にぶい橙	赤褐色粒子・ 白色粒子・ 7.5YR6/4 石英微	良	ハケのちミガキ ハケのち 佛指字文 佛指字文	ハケのちミガキ ケズリのち工具 によるナデ	外/内	
53-25	PL46	1212	1	SM5	埋土 2層	SD13 No.13 SD13 2区2層	弥生後期	土器	台付囊	口縁部 ～胴部	40%	<11.4>	—	(12.1)	<12.2>	2.5YR5/6 明赤褐	5YR6/6 橙	白色粒子・雲母・ 石英微 赤褐色粒子 少	良	佛指状文 ハケのち 佛指字文 ハケのちナデ (脚内)工具によ るハケのちナデ	ハケのちミガキ ナデ	—	
53-26	PL46	1205	1	SM5	2層	SD13 2区2層	弥生後期	土器	接合部 ～胴部	20%	<8.1>	—	(4.6)	62.4	—	10YR8/3 浅黄緑 2.5YR5/6 明赤褐	10YR8/3 浅黄緑 2.5YR5/6 明赤褐	赤褐色粒子・ 白色粒子 微、 石英少	良	ハケのちナデ 当て具痕 (脚内)ハケのち ナデ当て具痕	ハケのちミガキ ナデ	—	
53-27	PL46	2187	1	SM5	2層	SD13 2区2層	弥生後期	土器	胴部	—	—	—	—	10.5	—	5YR7/6 橙	5YR6/6 橙	赤褐色粒子・ 白色粒子・雲母・ 石英微	良	ハケ 沈線	ナデ 輪積痕	—	
53-28	PL46	2180	1	SM5	埋土	SD13 IIIA5	弥生後期	土器	口縁部	—	—	—	—	37.4	—	10YR8/4 浅黄緑 10YR3/1 黒褐	5YR3/2 暗赤褐	赤褐色粒子・ 白色粒子・石英 微	良	佛指状文 佛指状文	摩耗 ミガキ	—	内外面 付着物あり
53-29	PL46	2181	1	SM5	2層 3層	SD13 2区2層 SD13 2区3層	弥生後期	土器	口縁部	—	—	—	—	65.4	—	10YR8/6 黄緑	7.5YR7/6 橙	褐色粒子・ 白色粒子・雲母・ 石英微	良	ナデ 佛指状文 佛指状文	摩耗 ハケのちミガキ	—	
53-30	PL46	1199	1	SM5	埋土 3層	SD13 3層No.24, 3層No.25 SD13 IIIA5	弥生後期	土器	口縁部 ～底部	20%	<10.2>	<4.6>	15.0	(589.9)	<14.0>	7.5YR7/4 にぶい橙	5YR5/6 明赤褐	白色粒子・ 石英少、 褐色粒子多	良	佛指状文 佛指状文 佛指状文	工具によるナデ	—	
53-31	PL46	1204	1	SM5	埋土	SD13 No.2	弥生後期	土器	口縁部 ～胴部	10%	<15.8>	—	(6.7)	100.5	—	5YR5/6 明赤褐	7.5YR5/6 明褐	3mm礫・ 赤褐色粒子・ 石英・雲母 微	良	佛指状文 佛指状文	摩耗 ハケのちナデ	—	
53-32	PL46	2182	1	SM5	3層	SD13 3層No.23	弥生後期	土器	口縁部 ～頸部	10%	<20.6>	—	(7.0)	98.4	—	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	褐色粒子・ 白色粒子・ 石英微	良	佛指状文 佛指状文 佛指状文	摩耗 ハケのちミガキ ナデのちミガキ	—	
53-33	PL46	2186	1	SM5	覆土	SD13 IIIA9	弥生後期	土師	口縁部	10%	<21.6>	—	(5.3)	39.9	—	10YR7/4 にぶい黄緑	7.5YR7/6 橙	白色粒子・雲母・ 石英微	良	ハケのちナデ 当て具痕	ハケのちナデ	—	
53-34	PL46	2183	1	SM5	埋土	SD13 No.2	弥生後期	土器	口縁部 ～頸部	10%	<23.8>	—	(10.0)	153.9	—	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	赤褐色粒子・ 白色粒子・石英・ 後2mm礫 微	良	佛指状文 佛指状文 斜線文?	摩耗 ハケのちミガキ	—	
54-35	PL46	1203	1	SM5	埋土 3層	SD13 3層No.27 SD13 IIIA15	弥生後期	土器	口縁部 ～底部	60%	23.4	10.5	31.8	(2560.0)	28.9	5YR5/6 明赤褐	5YR5/3 にぶい赤褐	雲母 微、 石英・石英微、 赤褐色粒子・ 褐色粒子・ 白色粒子 少	良	ハケのち 佛指状文 ハケのち 佛指状文 ハケのちミガキ ハケのちミガキ ケズリのちミガキ	ハケのちミガキ 剥離	—	
55-1	PL46	1559	3	SK3717	埋土 床下	SB3001 PL1No.1 SB3001 No.22, 床下	弥生後期	土器	口縁部 ～胴部	90%	<11.6>	6.0	12.4	(344.3)	10.0	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	雲母 微、 赤褐色粒子・ 褐色粒子・ 白色粒子 少	良	佛指状文 佛指状文 佛指状文 ハケのち 佛指状文 (脚内)ナデ	摩耗 ハケのちミガキ ヨコミミガキ	—	
56-1	PL46	1415	5	SK5054	埋土	SK5054	弥生後期	土器	口縁部 ～底部	15%	<14.0>	—	(4.7)	24.8	—	10YR7/6 明黄褐	7.5YR7/6 橙	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英・ 後2mm礫 微	良	摩耗 ハケのちミガキ	摩耗 ミガキ	外/内	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g								
56-3	PL46	2162	5	SK5054	埋土	SK5054	弥生 後期	土器	甕	口縁部	-	-	-	10YR7/4 にふい、真緑	10YR7/4 にふい、真緑	褐色粒子・ 白色粒子・石英 微	良	節描波状文	摩擦 ハケのちミガキ	-	-		
56-4	PL46	1414	5	SK5054	埋土	SK5054 No.4 SK5054	弥生 後期	土器	甕	口縁部 ～胴部	40%	<10.4>	(7.2)	2.5YR4/6 赤褐	5YR7/8 橙 5YR2/1 黒褐	赤褐色粒子・白色 粒子 微、石英少、 径2mm 礫多	やや 良	節描波状文	摩擦 ハケのちミガキ	-	-		
57-1	PL46	1466	5	-	埋土	SQ5002a	弥生 後期	土器	片口鉢	口縁部 ～底部	75%	9.1	12.5	5YR6/4 にふい、橙	7.5YR7/4 にふい、橙	白色粒子・黒針・ 石英 微、褐色粒子 少、径2mm 礫多	良	摩擦不明	摩擦 ナデ	-	-		
57-2	PL46	1597	5	-	検	IIQ23 No.1_2 検	弥生 後期	土器	壺	頸部～ 胴部	10%	-	(14.2)	5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	褐色粒子・ 白色粒子・石英・ 径2～3mm 礫 微	良	節描線文 ハケのち藍陶文 ハケのちミガキ	工具によるナデ	-	-		

第21表 古墳土器一覽

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				内面色調	外面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置 (所属遺構・地点名は省略)	注記記号 (所属遺構・地点名は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g								
58-1	PL47	2286	1	SB1	埋土	SB02	古墳前期	土師	器台?	接合部	10%	—	—	—	10R4/4 赤褐色	5YR6/6 橙	白色粒子・雲母・ 石英・径2mm礫 少	良	ミガキ 剥離 (脚内)ケズリ	ミガキ	外/内		
58-2	PL47	5	1	SB1	埋土	SB01 No.2	古墳	土師	台付甕	胴部	10%	—	—	—	5YR6/8 橙	5YR6/8 橙	白色粒子・褐色 粒子・径2mm礫 微・石英少	やや 不良	ハケのちナデ (脚内)工具によ るナデ摩耗	ハケ 摩耗	—		
58-3	PL47	2285	1	SB1	埋土	SB01	古墳	土師	土器片 加工版	—	—	長さ 3.3	短径 3.0	—	5YR4/6 赤褐色	10 Y 7/3 にぶい黄緑	白色粒子・雲母・ 赤褐色粒子 微・ 径2mm礫少	良	ケズリ 摩耗	ナデ? 摩耗	—		
60-1	PL47	153	1	SB15	埋土	SB13	古墳前期	土師	鉢	口縁部 ~胴部	10%	—	—	—	5YR5/4 にぶい赤褐色	5YR5/4 にぶい赤褐色	赤褐色粒子・白色 粒子・石英・径 4mm礫微	良	ミガキケズリ ケズリのちミガキ ナデのちミガキ (脚内) 摩耗 ナ デ	ハケのちミガキ	—		
60-2	PL47	151	1	SB15	埋土	SB15 No.8 SB13	古墳前期	土師	器台	器受部 ~脚部	30%	—	—	—	5YR5/4 にぶい赤褐色	5YR5/4 にぶい赤褐色	褐色粒子・白色粒 子・雲母・石英 微・ 径3mm礫少	良	摩耗 ナデ 丸スガシ ナデのちミガキ ハケのちミガキ (脚内) 指押さえ 痕 ナデ ハケのちナデ	摩耗 ナデのちミガキ	—	2 次的被焼	
60-3	PL47	150	1	SB15	埋土	SB15 No.4 SB15	古墳前期	土師	高坏	口縁部 ~脚部	70%	—	—	—	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	赤褐色粒子・褐色 粒子・白色粒子・ 雲母・石英 微・ 径2mm礫少	良	摩耗 ミガキ 丸スガシ 3ヶ所 ケズリのちミガ キ (脚内) 指押さえ 痕 ナデ ハケのちナデ	摩耗 ミガキ	—		
60-4	PL47	145	1	SB15	埋土	SB15 No.13	古墳前期	土師	甕	口縁部 ~底部	70%	—	丸底	—	7.5YR5/4 にぶい褐色	7.5YR5/4 にぶい褐色	褐色粒子・白色粒 子・石英・雲母 微	良	ナデ ハケのちミガキ ミガキケズリ	ミガキ	—		
60-5	PL47	147	1	SB15	埋土	SB15 P1 No.1 SB15 P1 SB13-SB15	古墳前期	土師	壺	口縁部 ~頸部	20%	—	—	—	5YR4/4 にぶい赤褐色	5YR5/6 明赤褐色	褐色粒子・白色 粒子・石英・径 2mm礫微	良	ハケのちナデ ナデハケ	ハケ ハケのちナデ	—		
60-6	PL47	149	1	SB15	埋土	SB15 No.10.No.14 SB13	古墳	土師	壺	胴部 ~底部	20%	—	—	4.4	7.5YR8/6 浅黄褐色	5YR6/8 橙	褐色粒子・白色粒 子・雲母・石英 微	良	ハケのちミガキ	ハケのち工具に よるナデ	—		
60-7	PL47	2190	1	SB15	埋土	SB15	古墳前期	土師	壺	頸部 ~胴部	10%	—	—	—	10R4/6 赤 2.5YR5/6 明赤褐色	10R4/6 赤 2.5YR5/6 明赤褐色	赤褐色粒子・雲母・ 石英 微・白色細 粒子少	良	ハケのち脚指T 字文	ミガキ ハケのちナデ	内		
60-8	PL47	146	1	SB15	埋土	SB15 No.6	古墳前期	土師	甕?	口縁部	10%	—	—	—	7.5R4/6 赤	7.5R4/6 赤	赤褐色粒子・白色 粒子・石英 微	良	摩耗 ミガキ	摩耗 ミガキ	外/内		
60-9	PL47	160	1	SB15	埋土	SB13-SB15 SK41	古墳前期	土師	甕	口縁部 ~底部	50%	—	3.9	—	5YR4/3 にぶい赤褐色	5YR5/4 にぶい赤褐色	赤褐色粒子・褐色 粒子・白色粒子・ 石英・径2mm礫 微	良	ナデケズリ ハケのちナデ ハケのちミガキ ハケのち工具に よるナデ	ハケのちナデ ナデ ハケのちミガキ ハケのち工具に よるナデ	—		
60-10	PL47	144	1	SB15	埋土	SB15 No.5.No.12 SB13、SB15	古墳	土師	甕	口縁部 ~胴部	15%	—	—	—	7.5YR6/6 橙	7.5YR7/8 黄褐色	褐色粒子・白色粒 子・雲母・石英 微	良	ハケのちナデ	工具によるナデ	—		
60-11	PL47	148	1	SB15	埋土	SB15 No.3	古墳前期	土師	台付甕	胴部 ~接合部	10%	—	—	—	7.5YR6/4 にぶい褐色 7.5YR4/1 赤褐色	7.5YR6/4 にぶい褐色 7.5YR4/1 赤褐色	白色粒子・石英 微・ 赤褐色粒子少	良	ハケのちミガキ ミガキ	摩耗 ミガキ	—		

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記番号 (所属遺構・地点名 は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g								
60-12	PL47	142	1	SB15	埋土	SB15 No.1 SB13、SB15	古墳 前期	土師	腹 ~頸部	20%	20.6	—	(7.3)	(530.7)	—	5YR5/6 明赤褐	7.5YR6/4 にぶい橙	石英・雲母・径 2mm 礫微、褐色 粒子・白色粒子 少	良	ハケのちナデ ナデハケ	絞り痕? ハケのちナデ	—	
60-13	PL47	143	1	SB15	埋土	SB15 No.11 SB13、SB15	古墳 前期	土師	口縁部 ~胴部	30%	18.9	—	(16.4)	(1210.5)	24.3	10YR7/3 にぶい黄緑	10YR8/3 浅黄緑	白色粒子微、石 英少、褐色粒子・ 径2mm 礫多	良	摩耗ナデ ケズリのちハケ	摩耗 ハケのちナデ	—	
60-14	PL47	141-1	1	SB15	埋土	SB15 No.12	古墳 前期	土師	口縁部 ~頸部	10%	<27.8>	—	(7.3)	224.8	—	5YR6/6 橙	5YR6/6	赤褐色粒子・白色 細粒子・石英・径 3mm 礫少	良	ナデハケ ハケのちナデ	ナデハケ ハケのちナデ	—	
60-15	PL47	141-2	1	SB15	埋土	SB15 No.2, No.15 SB15	古墳 前期	土師	胴部 ~底部	30%	—	6.5	(15.6)	(879.9)	—	5YR5/6 明赤褐	5YR5/6 明赤褐	赤褐色粒子・白 色粒子・石英少、 径3mm 礫多	良	摩耗ハケ ハケのちナデ	摩耗ハケ	—	焼成後穿孔
60-16	PL47	154	1	SB15	1層	SB13 1層 SB13	古墳 前期	土師	頸部 ~胴部	10%	—	—	—	(53.5)	—	10YR6/2 灰黄褐	10YR6/2	赤褐色粒子・白色 粒子微、雲母・ 石英多	良	ハケのちナデ 銅文? ナデ	ナデケズリ	—	
60-17	PL47	2189	1	SB15	埋土	SB15 No.9	古墳 前期	土師	胴部	—	長径 4.4	短径 4.2	厚さ 0.6	13.0	—	5YR5/4 にぶい赤褐	5YR5/6	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・径 4mm 礫微	良	ハケのちミガキ	ハケ	—	
61-1	PL48	212	2	SB25	埋土	SB25	古墳 前期	土師	高環	10%	<15.4>	—	(5.2)	34.0	—	5YR5/6 明赤褐	5YR5/6	白色粒子・雲母・ 径2mm 礫微、石 英少	良	ナデ	ハケのちミガキ	—	
61-2	PL48	215	2	SB25	埋土	SB25	古墳 前期	土師	高環	10%	—	<17.6>	(4.0)	54.8	—	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4	白色粒子・雲母・ 石英・径3mm 礫 微、赤褐色粒子 少	良	ミガキ 丸スカン4ヶ所 (脚内)ハケのち ナデ	—	—	
61-3	PL48	213	2	SB25	埋土	SB25	古墳 前期	土師	器受部	5%	—	—	—	4.9	—	10R4/6 赤	10R4/6	褐色粒子・白色粒 子・雲母・石英 微	良	かすかにミガキ	かすかにミガキ	外/内	
61-4	PL48	214	2	SB25	床	SB25 床	古墳 前期	土師	口縁部 ~頸部	10%	<18.2>	—	(4.2)	(38.0)	—	5YR5/6 明赤褐	5YR5/6	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英・ 径4mm 礫微	良	ハケのちナデ	ナデ	—	
61-5	PL48	216	2	SB25	埋土	SB25	古墳 前期	土師	口縁部 ~頸部	10%	<13.8>	—	(4.4)	32.4	—	5YR4/4 にぶい赤褐	5YR5/4	褐色粒子・白色 粒子・雲母・径 2mm 礫微	良	ハケのちナデ	ハケのちナデ 指押さえる痕	—	
61-6	PL48	217	2	SB25	埋土	SB25	古墳 前期	土師	接合部 ~脚部	10%	—	<6.2>	(5.2)	60.3	—	5YR2/1 黒褐	5YR4/4	石英 微、褐色粒 子少、白色粒子・ 径2~5mm 礫 多	良	ハケのちナデ (脚内)工具によ るナデ	工具によるナデ?	—	
62-1	PL48	300	2	SB38	埋土	SB38 No.3, No.4 SB38 椀、SB38	古墳 前期	土師	高環	60%	12.4	19.6	12.0	(439.4)	—	5YR6/6 橙	5YR6/6	赤褐色粒子・白 色粒子・石英 微、褐色粒子・径 2mm 礫少	良	摩耗丸スカン ハケのちミガキ (脚内)ナデハ ケのちナデ 絞り 痕	ナデ ミガキ	—	
62-2	PL48	301	2	SB38	埋土	SB38 No.1 SB38	古墳 前期	土師	口縁部 ~頸部	20%	<22.8>	—	(9.3)	350	—	7.5YR7/4 にぶい橙	7.5YR6/6	石英 微、赤褐色粒 子・褐色粒子・白 色粒子・径2~ 3mm 礫少	良	ナデミガキ ナデのちミガキ ハケのちミガキ 工具痕 輪軸痕	摩耗ミガキ ナデ ナデのちミガキ ハケのちミガキ 工具痕 輪軸痕	—	
62-3	PL48	302	2	SB38	埋土	SB38 No.1 SB38	古墳 前期	土師	胴部 ~底部	20%	—	7.0	(18.5)	(653.2)	<26.0>	10YR7/3 にぶい黄緑	10YR7/3	径3mm 礫微、褐 色粒子・白色粒 子少、石英少	良	摩耗ケズリ ハケのちナデ	摩耗ナデ 輪軸痕	—	
62-4	PL48	2191	2	SB38	埋土	SB38	古墳 前期	土師	口縁部 ~頸部	10%	<16.2>	—	(4.5)	51.5	—	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4	赤褐色粒子・褐色 粒子・白色粒子・ 石英・径2mm 礫 微	良	ハケのちナデ	ナデハケ ハケのちナデ	—	
62-5	PL48	303	2	SB38	埋土	SB38 No.2 SB38 椀	古墳 前期	土師	口縁部 ~脚部	40%	<13.2>	—	(17.5)	(437.1)	<18.4>	10YR4/2 灰黄褐	10YR5/4	白色粒子・石英 微、褐色粒子・径 2mm 礫少	良	ハケのちナデ ハケ	ハケのちナデ 工具によるナデ	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm								
63-1	PL48	331	2	SB46	埋土	SB46 No.1	古墳 前期	土師	壺	肩部	5%	-	-	5YR6/6 橙	7.5YR5/6 明褐	白色粒子・雲母・ 石英・径3~ 6mm 礫微	良	摩耗 剥離 脚指痕状文 ナデ?	ハケ	-		
66-1	PL48	2204	2	SB56	下層	SB56 下層 SB56	古墳 前期	土師	鉢	口縁部 ~体部	5%	-	-	10R4/6 赤	10R4/6 赤	赤褐色粒子・石英 微、白色粒子少	良	ヨコミガキ	ハケのちミガキ	外/内		
66-2	PL48	2203	2	SB56	埋土	SB56	古墳 前期	土師	鉢	口縁部 ~体部	5%	-	-	10R4/8 赤	10R4/8 赤	赤褐色粒子・白色 粒子・石英・径 2mm 礫微	良	ハケのちミガキ	ハケのちミガキ	外/内		
66-3	PL48	412	2	SB56	埋土	SB56	古墳 前期	土師	鉢	口縁部 ~底部	40%	<6.0>	<2.0>	5YR4/3 にぶい、赤褐色 にぶい、赤褐色	5YR4/3 にぶい、赤褐色	赤褐色粒子・石英・ 径2mm 礫微、白 色粒子少	良	ナデ ハケ ケズリのちハケ	ナデ	-		
66-4	PL48	408	2	SB56	埋土	SB56	古墳 前期	土師	鉢	口縁部 ~体部	20%	<9.9>	-	10YR6/3 にぶい、黄褐色	7.5YR6/3 にぶい、褐色	白色粒子・石英 少	良	摩耗 ミガキ	ハケ?のちミガ キ	-		
66-5	PL48	407	2	SB56	埋土	SB56	古墳 前期	土師	鉢	口縁部 ~体部	20%	<13.2>	-	7.5YR7/4 にぶい、橙	7.5YR7/4 にぶい、橙	赤褐色粒子・褐色 粒子・白色粒子・ 雲母・石英・径 3mm 礫微	良	摩耗 ナデ ハケのちナデ?	摩耗 ミガキ	-		
66-6	PL48	413	2	SB56	埋土	SB56 No.24	古墳 前期	土師	鉢	口縁部 ~底部	30%	<13.4>	8.0	10YR5/2 灰黄緑	10YR4/1 褐色	赤褐色粒子・径2 ~3mm 礫微、白 色粒子・石英 少	良	ハケのちミガキ ナデ	ハケのちミガキ	-		
66-7	PL48	419	2	SB56	埋土	SB56	古墳 前期	土師	鉢	口縁部	10%	<18.0>	-	10YR7/3 にぶい、黄褐色	10YR7/3 にぶい、黄褐色	赤褐色粒子 微、 白色粒子・石英・ 径3mm 礫少	良	ナデ ケズリ ハケのちナデ	摩耗 ミガキ ハケ 輪痕	-		
66-8	PL49	418	2	SB56	下層	SB56 下層	古墳 前期	土師	鉢	口縁部	10%	<25.6>	-	7.5YR6/4 にぶい、橙	7.5YR6/4 にぶい、橙	褐色粒子・白色粒 子・径3mm 礫微、 石英 少	良	摩耗 ナデ ハケのちナデ	摩耗 ハケのちミガキ	-		
66-9	PL48	416	2	SB56	埋土	SB56	古墳 前期	土師	鉢	口縁部	10%	<20.6>	-	7.5YR6/4 にぶい、橙	7.5YR6/4 にぶい、橙	赤褐色粒子・白色 粒子・石英・径3 ~4mm 礫微	良	ミガキ ハケのちミガキ ケズリ 摩耗	ハケのちミガキ	-		
66-10	PL49	374	2	SB56	上層	SB56 上層	古墳 前期	土師	鉢	口縁部 ~脚部	10%	<20.2>	-	10YR6/3 にぶい、黄褐色 英少	10YR6/3 にぶい、黄褐色 英少	雲母・径2mm 礫 微、白色粒子・石 英 少	良	ナデ ハケ ケズリ	ハケ ケズリ	-		
66-11	PL49	367	2	SB56	上層	SB56 No.70, 上層 SB56	古墳 前期	土師	鉢	口縁部 ~底部	70%	<20.6>	5.7	5YR5/6 明赤褐色	7.5YR5/4 にぶい、褐色	赤褐色粒子・径2 ~4mm 礫微、白 色粒子・石英 少	良	ハケのちナデ ケズリ	ハケ 剥離	-		
66-12	PL48	402	2	SB56	埋土 床	SB56 No.58, No.85 SB56 床 SB56	古墳 前期	土師	台付鉢 ? 深鉢?	口縁部 ~底部	90%	9.8	4.1	10R4/6 赤	10YR4/6 赤	褐色粒子・白色粒 子・石英 微	良	ハケのちミガキ (脚内) ナデ	ハケのちミガキ	外/内		
66-13	PL48	405	2	SB56	埋土	SB56	古墳 前期	土師	台付 深鉢?	脚部 ~接合部	10%	-	-	7.5R4/6 赤	7.5R4/6 赤	白色粒子・石英・ 径2mm 礫微、赤 褐色粒子 少	良	摩耗 ハケ ハケのちミガキ	摩耗 ハケのちミガキ	外/内		
66-14	PL49	400	2	SB56	埋土	SB56 No.61	古墳 前期	土師	台付 深鉢?	接合部 ~脚部	20%	-	8.2	7.5R4/6 赤	7.5YR6/6 橙	褐色粒子・雲母・ 石英 微、白色粒 子 少	良	摩耗 不明 ナデ ハケ 指押さえ痕	摩耗 不明	外/内		
66-15	PL49	382	2	SB56	下層	SB56 下層	古墳 前期	土師	蓋	ソマニ部 ~体部	20%	-	-	7.5YR6/4 にぶい、橙	7.5YR6/4 にぶい、橙	赤褐色粒子・石英 微、白色粒子 少	良	ハケのちミガキ ナデ	ハケのちミガキ	-	内外共種子 庄痕	
66-16	PL49	2192	2	SB56	埋土	SB56	古墳 前期	土師	高坏	脚部	10%	<10.8>	(3.7)	10R4/6 赤	7.5YR6/3 にぶい、褐色	褐色粒子・白色粒 子・雲母 微	良	ミガキ (脚内) ハケ ナデ	ハケのちミガキ	外		
66-17	PL49	435	2	SB56	埋土 床下 下層	SB56 No.82 SB56 下層・床下 SB56	古墳 前期	土師	高坏	脚部	10%	<12.8>	(6.9)	10YR6/4 にぶい、黄褐色	10YR6/3 にぶい、黄褐色	褐色粒子・白色 粒子・石英・径 3mm 礫微	良	ハケのちミガキ 丸スカシ (脚内) ハケのち 工具によるナデ	ハケのちミガキ	-		
66-18	PL49	427	2	SB56	埋土	SB56	古墳 前期	土師	器受部	器受部	10%	<9.8>	(2.3)	10YR7/4 にぶい、黄褐色	10YR7/4 にぶい、黄褐色	赤褐色粒子・白色 粒子・石英・径 3mm 礫微	良	ナデ ハケのちミガキ	ハケのちミガキ	-		

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (所属遺構・地点名は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g								
66-19	PL49	432	2	SB56	埋土	SB56 No.2	古墳 前期	土師	器台	接合部 ~脚部	10%	<11.2>	(7.1)	96.9	—	5YR5/6 明赤褐	2.5YR5/6 明赤褐	雲母・微、褐色粒 子・白色粒子・石 英・径2mm 礫少	良	摩耗ミガキ 丸スカン3ヶ所 (脚内)ナデ ケズリ当て具痕	ミガキ剥離	—	
66-20	PL49	431	2	SB56	埋土	SB56	古墳 前期	土師	器台	脚部	20%	—	(6.6)	187.8	—	7.5YR6/4 にぶい・黄褐	5YR5/4 にぶい・赤褐	赤褐色粒子・雲母・ 石英 微	良	ミガキ 丸スカン4ヶ所 (脚内)ハケのち ナデ	—	—	
66-21	PL49	433	2	SB56	埋土	SB56 No.3	古墳 前期	土師	器台?	接合部 ~脚部	20%	<12.4>	(6.6)	127.8	—	7.5YR7/4 にぶい・黄褐	10YR7/4 にぶい・黄褐	白色粒子・雲母・ 石英・径2mm 礫 微、赤褐色粒子 少	良	ケズリのちミガ キ (脚内)工具によ るナデ	ミガキ	—	
66-22	PL49	434	2	SB56	下層	SB56 No.60 SB56 下層 SB56	古墳 前期	土師	器台	接合部 ~脚部	20%	<16.0>	(7.7)	(247.7)	—	7.5YR6/4 にぶい・黄褐	7.5YR6/4 にぶい・黄褐	赤褐色粒子・白色 粒子・石英 微	良	丸スカン上3・ 下3ヶ所 (脚内)ハケのち ナデ	ミガキ	—	
66-23	PL49	2196	2	SB56	埋土	SB56 P5	古墳 前期	土師	壺	口縁部	—	—	—	5.8	—	10R4/6 赤	10R4/6 赤	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母 微	良	柳描波状文	ミガキ	外/内	
66-24	PL48	2197	2	SB56	埋土	SB56	古墳 前期	土師	壺	頸部	10%	—	(1.8)	5.7	—	10R4/8 赤	10R4/8 赤	褐色粒子・白色粒 子・石英 微	良	ハケのちミガキ	ミガキナデ	外/内	
66-25	PL49	2199	2	SB56	埋土	SB56	古墳 前期	土師	壺	口縁部	5%	—	—	9.0	—	10YR8/3 浅黄褐	10YR8/3 浅黄褐	褐色粒子・白色粒 子・石英 微	良	ヨコミガキ	ヨコミガキ	—	
66-26	PL49	2198	2	SB56	埋土	SB56	古墳 前期	土師	壺	口縁部	5%	—	—	9.8	—	7.5YR7/4 にぶい・黄褐	7.5YR7/4 にぶい・黄褐	褐色粒子・白色粒 子・石英 微	良	ナデのちヨコミ ガキ ケズリのちヨコ ミガキ ナデ	ナデのちヨコミ ガキ ケズリのちミガ キ	—	
66-27	PL49	373	2	SB56	埋土	SB56 No.56 SB56	古墳 前期	土師	甕	口縁部 ~頸部	20%	13.1	(5.1)	150	—	10YR7/2 にぶい・黄褐	10YR7/2 にぶい・黄褐	褐色粒子・白色 粒子・雲母・径2 mm 礫 微	良	沈線 ミガキ	摩耗 ナデ ハケのちミガキ	—	
66-28	PL49	384	2	SB56	下層	SB56 下層	古墳 前期	土師	壺	口縁部	10%	<13.8>	(5.3)	58.6	—	7.5YR6/4 にぶい・黄褐	7.5YR6/4 にぶい・黄褐	褐色粒子・微、白 色粒子・石英・径 3~5mm 礫少	良	摩耗 ミガキ ナデ 剥離	摩耗 ハケ ハケのちミガキ?	—	
66-29	PL49	2193	2	SB56	埋土	SB56 No.5.No.6 SB56	古墳 前期	土師	壺	口縁部 ~頸部	10%	<34.7>	(10.3)	469.4	—	10YR6/3 にぶい・黄褐	7.5YR6/3 にぶい・黄褐	赤褐色粒子・褐色 粒子・白色粒子・ 雲母・石英 微	良	柳描波状文 ハケ ハケのちナデ 柳描1文字	摩耗 ハケのちミガキ ナデ	—	
66-30	PL49	424	2	SB56	埋土	SB56 No.57 SB56	古墳 前期	土師	壺	頸部 ~底部	30%	—	(3.7)	(44.9)	<6.5>	5YR5/6 明赤褐	5YR5/6 明赤褐	赤褐色粒子・径 2mm 礫 微、白色 粒子・雲母・石英 少	良	ケズリのちミガ キ ケズリ	ケズリのちミガ キ	—	
66-31	PL49	421	2	SB56	上層	SB56 No.48 SB56 上層	古墳 前期	土師	壺	口縁部 ~頸部	10%	<11.6>	(5.1)	34.1	—	7.5YR5/3 にぶい・黄褐	7.5YR5/4 にぶい・黄褐	白色粒子・径 2mm 礫 微、石英 少	良	ハケのちミガキ	ハケのちミガキ	—	
66-32	PL49	420	2	SB56	埋土	SB56	古墳 前期	土師	壺	口縁部 ~頸部	10%	<17.8>	(6.2)	40.4	—	5YR6/6 黄	5YR6/6 黄	褐色粒子・白色粒 子・雲母・石英・ 径3mm 礫 微	良	ハケのちナデ	摩耗 ハケのちナデ	—	
66-33	PL49	372	2	SB56	上層	SB56 上層 SB56	古墳 前期	土師	甕	口縁部 ~頸部	10%	<15.4>	(5.7)	119.6	—	7.5YR6/4 にぶい・黄褐	7.5YR6/4 にぶい・黄褐	赤褐色粒子・白 色粒子・石英 微、 雲母 少	良	ナデ ハケのちナデ 指 押さえる ハケのちケズリ?	ハケナデ	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記番号 (所属遺構・地点名 は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm								
66 - 34	PL49	370	2	SB56	埋土	SB56 No.10	古墳 前期	土師	腹部 ~底部	20%	—	(9.8)	(158.1)	<16.6>	7.5YR6/4 にぶい濁	10YR6/3 にぶい黄緑	雲母 微、褐色粒 子・白色粒子・石 英・径 2~5mm 礫 少	良	摩耗 ケズリ ケズリのちナデ?	摩耗 ハケ? 指押さえ痕	—	剝離 焼成後穿孔
67 - 35	PL49	378	2	SB56	埋土	SB56 No.91	古墳 前期	土師	口縁部 ~頸部	10%	<12.8>	(5.9)	(120.1)	—	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	褐色粒子・白色粒 子・雲母・石英・ 径 2mm 礫 微	良	ハケのちナデ	ハケのちミガキ ハケのちナデ	—	
67 - 36	PL52	369	2	SB56	埋土	SB56 No.74, No.97	古墳 前期	土師	腹部 ~底部	30%	—	(12.1)	417.4	15.8	5YR6/6 橙	7.5YR7/3 にぶい橙	白色粒子・雲母・ 石英 微、赤褐色 粒子 多	良	摩耗 ミガキ? ハケのちミガキ ハケのちナデ	摩耗 ハケ ハケのちナデ	—	
67 - 37	PL50	375	2	SB56	埋土	SB56 No.14, No.15, No.17	古墳 前期	土師	口縁部 ~腹部	10%	<13.8>	(9.7)	165	—	7.5YR5/4 にぶい濁	10YR6/3 にぶい黄緑	雲母・径 2mm 礫 微、赤褐色粒子・ 褐色粒子・白色粒 子・石英 少	良	摩耗 工具によるナデ? ハケのちナデ ? 輪痕	摩耗 工具によるナデ? ハケのちナデ ? 輪痕	—	
67 - 38	PL50	390	2	SB56	埋土	SB56 No.90 SB56	古墳 前期	土師	腹部 ~底部	20%	—	(13.3)	(343.2)	—	7.5YR6/3 にぶい濁	7.5YR6/3 にぶい濁	石英・径 2mm 礫 微、褐色粒子 少、 白色粒子 多	良	摩耗 ハケのちミガキ ハケのちナデ	摩耗 ハケのちミガキ ハケ 輪痕	—	
67 - 39	PL50	368	2	SB56	埋土	SB56 No.50	古墳 前期	土師	口縁部 ~腹部	50%	12.3	(15.2)	(444.3)	16.4	5YR4/4 にぶい赤濁	5YR4/1 濁灰	褐色粒子・径 2~ 8mm 礫 微、白 色粒子・石英 少	良	ナデ ハケ ケズリ ケズリのちミガ キ?	ナデ ハケ ケズリ ケズリのちナデ	—	
67 - 40	PL49	385	2	SB56	埋土	SB56	古墳 前期	土師	口縁部~ 腹部	10%	<16.4>	(10.3)	88.4	—	7.5YR6/3 にぶい濁	7.5YR6/2 灰濁	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英・ 径 2mm 礫 微	良	ナデ ハケ ケズリ ケズリのちナデ	ナデ ハケ ケズリ ケズリのちナデ	—	
67 - 41	PL49	383	2	SB56	埋土	SB56	古墳 前期	土師	口縁部 ~頸部	10%	<16.2>	(3.8)	19.0	—	7.5YR6/4 にぶい濁	5YR6/6 橙	白色粒子・雲母・ 石英 微、褐色粒 子 少	良	ナデ ハケ	ナデ	—	
67 - 42	PL50	364	2	SB56	下層	SB56 No.13, No.33, No.87, SB56	古墳 前期	土師	頸部 ~底部	70%	—	(18.2)	(988.8)	20.2	10YR5/3 にぶい黄濁	10YR6/2 灰黄濁	赤褐色粒子・褐 色粒子・白色粒 子 少、石英・径 2mm 礫 多	良	摩耗 ケズリ ハケのちナデ ハケのちミガキ?	摩耗 ケズリ ハケのちナデ ハケのちミガキ?	—	
67 - 43	PL50	2200	2	SB56	埋土	SB56	古墳 前期	土師	口縁部	—	—	—	7.5	—	10YR6/8 明黄濁	10YR6/8 明黄濁	褐色粒子・白色 粒子・石英・径 2mm 礫 微	良	摩耗 磨擦波状文	摩耗 ハケのちミガキ?	—	
67 - 44	PL50	2201	2	SB56	床下	SB56 床下	古墳 前期	土師	口縁部	5%	—	—	23.2	—	5YR5/4 にぶい赤濁	2.5YR5/4 にぶい赤濁	褐色粒子・白色粒 子・雲母・石英 微	良	ナデ 磨擦波状文	摩耗 不明	—	
67 - 45	PL50	395	2	SB56	上層 下層	SB56 No.28, No.68, No.76, 上層, 下層 SB56	古墳 前期	土師	口縁部 ~腹部	20%	<18.6>	(21.0)	(735.9)	<27.0>	7.5YR7/4 にぶい濁	10YR7/1 灰白	石英・径 5mm 礫 微、白色粒子 少、 赤褐色粒子 多	良	ナデ ハケのちナデ ハケ	摩耗 ミガキ ハケのちミガキ	—	
67 - 46	PL50	398	2	SB56	埋土	SB56 No.34 SB56	古墳 前期	土師	口縁部 ~腹部	20%	14.0	(7.9)	(164.4)	—	7.5YR6/4 にぶい濁	7.5YR6/4 にぶい濁	白色粒子・雲母・ 石英・径 2mm 礫 微、赤褐色粒子・ 褐色粒子 少	良	摩耗 磨擦波状文 ハケのち磨擦波 状文	摩耗 ミガキ 指押さえ痕	—	
67 - 47	PL50	2195	2	SB56	下層	SB56 上層 SB56	古墳 前期	土師	口縁部 ~腹部	10%	<17.8>	(9.2)	106.1	—	7.5YR4/3 濁	7.5YR5/4 にぶい濁	白色粒子・雲母・ 石英・径 2mm 礫 微、赤褐色粒子・ 褐色粒子 少	良	ハケのち磨擦波 状文 磨擦波状文	ミガキ 工具によるナデ	—	
67 - 48	PL50	2194	2	SB56	下層	SB56 下層	古墳 前期	土師	口縁部 ~頸部	10%	<19.8>	(6.1)	58.1	—	7.5YR7/4 にぶい濁	7.5YR6/6 橙	白色粒子・径 2mm 礫 微、赤褐 色粒子・褐色粒子・ 石英 少	良	磨擦波状文 磨擦波状文	ミガキ 工具によるナデ	—	
67 - 49	PL51	393	2	SB56	上層	SB56 No.7, No.8, No.9, No.10 上層 SB56	古墳 前期	土師	口縁付近 ~腹部	20%	—	(27.3)	(1009.9)	<25.6>	7.5YR5/4 にぶい濁	7.5YR6/4 にぶい濁	褐色粒子 微、白 色粒子・雲母・石 英 少	良	摩耗 ハケ ケズリ ハケのちナデ	摩耗 ハケ ケズリ 工具によるナデ	—	
67 - 50	PL51	366	2	SB56	埋土	SB56	古墳 前期	土師	腹部 ~底部	10%	—	(8.3)	(281.9)	—	7.5YR6/4 にぶい濁	7.5YR6/2 灰濁	径 4mm 礫 微、褐 色粒子・白色粒子・ 石英 少	良	摩耗 ハケ 工具によるナデ	摩耗 ハケ 工具によるナデ	—	底部種子丘 痕?

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm								
68-51	PL51	2202	2	SB56	埋土	古墳 前期	土師	鉢	口縁部 ~底部	40%	<6.8>	<3.4>	306	—	7.5YR6/4 にぶい 褐色	7.5YR6/4 にぶい 褐色	白色粒子・石英・ 径2mm 礫微、赤 褐色粒子少	良	ナデのちハケ ナデ	ハケ	—	
68-52	PL51	437	2	SB56	下層	古墳 前期	土師	鉢	口縁部 ~底部	70%	6.4	<3.4>	648	—	10YR7/3 にぶい 黄褐色	10YR6/4 にぶい 黄褐色	赤褐色粒子・白色 粒子・石英・径 2mm 礫微	良	ナデのちハケ ナデ	指押さえる ハケのちナデ 輪轡痕	—	
68-53	PL51	438	2	SB56	埋土	古墳 前期	土師	鉢	口縁部 ~底部	完形	7.6	5.8	1110	—	7.5YR6/4 にぶい 褐色	7.5YR6/4 にぶい 褐色	白色粒子・石英 微、赤褐色粒子 少	良	ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ	ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ	—	
68-54	PL51	392	2	SB56	上層	古墳 前期	土師	甕	口縁部 ~胴部	40%	<12.0>	—	(558.6)	<16.1>	7.5YR6/4 にぶい 褐色	10YR6/2 灰黄褐色	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英 微、径2mm 礫少	良	ナデ ナデ	ナデ ナデ	—	
68-55	PL51	379	2	SB56	下層	古墳 前期	土師	甕	口縁部 ~胴部	10%	<16.0>	—	(37.5)	—	10YR7/4 にぶい 黄褐色	10YR7/3 にぶい 黄褐色	褐色粒子・白色 粒子・石英・径 2mm 礫微	良	ハケのちナデ ハケのちナデ	ハケのちナデ ハケのちナデ	—	
68-56	PL51	377	2	SB56	下層	古墳 前期	土師	甕	口縁部 ~胴部	10%	<15.6>	—	(179.1)	—	5YR4/3 にぶい 赤褐色	5YR5/4 にぶい 赤褐色	褐色粒子・白色粒 子・雲母・石英・ 径2mm 礫微	良	ナデ ナデ	ナデ ナデ	—	
68-57	PL51	371	2	SB56	上層	古墳 前期	土師	甕	口縁部 ~胴部	20%	<15.0>	—	(165.8)	<18.3>	5YR5/4 にぶい 赤褐色	5YR5/4 にぶい 赤褐色	褐色粒子・雲母・ 径3mm 礫微、白 色粒子・石英少	良	ハケのちナデ ハケのちナデ	ハケのちナデ ハケのちナデ	—	
68-58	PL51	365	2	SB56	埋土	古墳 前期	土師	甕	口縁部 ~底部	80%	14.6	<5.6>	(1134.8)	19.8	10YR6/3 にぶい 黄褐色	10YR6/3 にぶい 黄褐色	白色粒子・石英・ 径2~3mm 礫 微、赤褐色粒子 少	良	ナデ ナデ	ナデ ナデ	—	
68-59	PL51	391	2	SB56	下層	古墳 前期	土師	甕	口縁部 ~胴部	20%	<15.4>	—	(385.6)	<19.0>	7.5YR7/4 にぶい 褐色	7.5YR7/4 にぶい 褐色	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英・ 径2mm 礫微	良	ハケ ハケ	ハケ ハケ	—	
68-60	PL51	387	2	SB56	上層	古墳 前期	土師	甕	口縁部 ~胴部	20%	<15.6>	—	(511.1)	<20.4>	5YR5/6 明赤褐色	5YR4/6 赤褐色	雲母・石英・径 2mm 礫微、赤褐 色粒子・白色粒子 少	良	ナデ ナデ	ナデ ナデ	—	
68-61	PL52	397	2	SB56	下層	古墳 前期	土師	甕	口縁部 ~底部	90%	18.2	6.2	(1187.0)	22.1	5YR5/6 明赤褐色	7.5YR8/2 にぶい 褐色	褐色粒子・白色粒 子・石英微	良	ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ	ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ	—	内面コケ?
68-62	PL52	440	2	SB56	埋土	古墳 前期	土師	甕	口縁部~ 底部	ほぼ完 形	20.1	6.8	2040.0	25.0	7.5YR8/2 灰白	7.5YR8/2 灰白	褐色粒子・雲母・ 石英微、白色粒 子少	良	ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ	ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ ハケのちナデ	—	内外面ス 付着
68-63	PL50	394	2	SB56	下層	古墳 前期	土師	甕	胴部 ~底部	20%	—	(14.0)	(272.6)	—	10YR3/1 黒褐色	10YR3/1 黒褐色	径2mm 礫微、褐 色粒子・白色粒子・ 石英少	良	ナデ ナデ	ナデ ナデ	—	
68-64	PL52	389	2	SB56	埋土	古墳 前期	土師	甕	胴部 ~底部	20%	—	(6.0)	132.2	—	5YR5/6 明赤褐色	5YR5/6 明赤褐色	白色粒子・雲母・ 石英微、赤褐色粒 子少	良	ハケ ハケ	ハケ ハケ	—	
68-65	PL52	396	2	SB56	下層	古墳 前期	土師	甕	口縁部~ 胴部	30%	<13.2>	—	(464.4)	<18.6>	5YR6/6 褐色	5YR6/6 褐色	石英・径2mm 礫 微、褐色粒子・雲 母少、白色粒子 多	良	ナデ ナデ	ナデ ナデ	—	モミ痕?
68-66	PL52	376	2	SB56	下層	古墳 前期	土師	甕	口縁部 ~胴部	10%	<14.0>	—	(52.1)	—	2.5YR5/6 明赤褐色	5YR6/6 褐色	赤褐色粒子・石英・ 径2mm 礫微、白 色粒子少、雲母 多	良	ナデ ナデ	ナデ ナデ	—	
68-67	PL52	388	2	SB56	埋土	古墳 前期	土師	甕	口縁部 ~胴部	20%	<13.6>	—	(293.9)	<23.2>	10YR7/4 にぶい 黄褐色	7.5YR6/4 にぶい 褐色	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・径 2mm 礫微、石英 少	良	ナデ ナデ	ナデ ナデ	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm								
68-68	PL52	386	2	SB56	下層	古墳 前期	土師	台付甕	胴部 ~脚部	30%	-	<7.6>	(15.7)	(424.7)	-	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 白色粒子・微、褐 色粒子・雲母少	良	ハケナデ (脚内) 工具によ るナデ	摩耗 ミガキ 工具によるナデ	-	
68-69	PL52	401	2	SB56	埋土	古墳 前期	土師	台付甕 ?	接合部 ~脚部	10%	-	<8.1>	(3.7)	80.8	-	5YR5/6 明赤褐	褐色粒子・白色 粒子・石英・径 3mm 礫 微	良	ケズリのみミガ キ (脚内) ケズリ 工具によるナデ	工具によるナデ 工具痕	外/内	
68-70	PL52	439	2	SB56	埋土	古墳 前期	土師	ミニ ニ エ 器 (台部)	脚部 (台部)	30%	-	3.0	(2.6)	21.4	-	5YR5/6 明赤褐	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英 微	良	(脚内) ナデモ ミガキ	ナデ	-	
68-71	PL52	406	2	SB56	埋土	古墳 前期	土師	ミニ ニ エ 器 台	口縁部 ~脚部	70%	<2.3>	<3.3>	2.9	12.6	-	7.5YR3/6 暗赤	白色粒子・石英 微、赤褐色粒子 少	良	摩耗 ミガキ (脚内) ナデ	摩耗 ミガキ	外	
69-72	PL52	2206	2	SB56	埋土	古墳 前期	土師	土器片 加工板	胴部	-	長さ 3.9	短径 2.6	0.5	5.8	-	7.5YR6/3 にぶい濁	赤褐色粒子・雲母 微、白色粒子・石 英少	良	ハケ	ミガキ	-	
69-73	PL52	2205	2	SB56	埋土	古墳 前期	土師	土器片 加工板	胴部	-	長さ 4.5	短径 4.0	0.7	13.4	-	5YR7/4 にぶい橙	7.5YR7/4 石英微、赤褐色 粒子少	良	糊塗液状文	ハケのちナデ	-	
69-74	PL52	2207	2	SB56	埋土	古墳 前期	土師	土器片 加工板	胴部	-	長さ 6.3	短径 4.9	0.7	25.9	-	5YR6/6 橙	10YR7/3 石英・径3mm 礫 微、赤褐色粒子 多	良	ケズリのみミガ キ	ナデ?	-	
71-1	PL52	451	1	SB67	埋土	古墳 後期	土師	甕	口縁部 ~底部	80%	10.2	7.2	12.7	(541.5)	11.2	10YR4/2 灰黄褐	白色粒子・黄白色 粒子多、赤褐色 粒子少、石英・ 径3~5mm 礫 多	良	ナデ ケズリ	ナデ 輪痕	-	
71-2	PL52	452	1	SB67	埋土	古墳 後期	土師	甕	口縁部 ~脚部	40%	15.8	-	(14.5)	720.0	-	7.5YR6/4 にぶい橙	白色粒子・黄白 色粒子・赤褐色 粒子・石英・径3 ~4mm 礫 多、 黒色粒子・角閃石・ 輝石少	良	ロクロナデのち 指圧痕 ケズリ 摩耗	ロクロナデのち 指圧痕 ケズリ 摩耗	-	
71-3	PL52	453	1	SB67	埋土	古墳 後期	土師	甕	口縁部 ~脚部	30%	<19.3>	-	(26.5)	565.0	<18.7>	7.5YR5/4 にぶい濁	10YR6/3 にぶい黄緑	良	ロクロナデ ケズリ	ロクロナデ 工具によるナデ 摩耗 輪痕	-	
73-1	PL53	495	1	SB75	埋土	古墳 前期	土師	鉢	口縁部 ~底部	50%	10.4	4.5	3.8	(116.5)	-	5YR5/4 にぶい赤褐	5YR5/4 白色粒子・雲母 微、石英少	良	ナデ ハケのち工具に よるナデ	ハケのちミガキ	-	
73-2	PL53	491	1	SB75	埋土	古墳 前期	土師	鉢	口縁部 ~底部	95%	9.8	2.0	5.4	78.6	-	7.5YR5/4 にぶい濁	7.5YR4/3 褐	良	ハケのちナデ 輪痕 ケズリのみハケ ケズリ	ハケのちナデ 輪痕 ナデのちミガキ	-	
73-3	PL53	492	1	SB75	埋土	古墳 前期	土師	鉢	口縁部 ~底部	90%	11.0	-	4.9	(113.9)	-	10YR4/2 灰黄褐	10YR3/2 黒褐	良	ハケのちナデ 工具によるナデ	ハケのちナデ ナデ当て真痕	-	
73-4	PL53	493	1	SB75	埋土	古墳 前期	土師	鉢	口縁部 ~底部	80%	15.0	-	5.6	(218.0)	-	10YR4/2 灰黄褐	10YR3/2 黒褐	良	ハケのちナデ	ナデ ハケのちナデ	-	内外面種子 圧痕
73-5	PL53	494	1	SB75	埋土	古墳 前期	土師	鉢	口縁部 ~底部	50%	<17.5>	<3.5>	8.7	(295.6)	-	7.5YR5/6 明濁	7.5YR5/6 明濁	良	摩耗 ケズリ ハケのちミガキ ナデ ミガキ	ミガキ 剥離	-	
73-6	PL53	488	1	SB75	埋土	古墳 前期	土師	器受部 ~脚部	脚部	10%	<10.1>	-	(3.3)	42.6	-	10R4/6 赤	10R4/6 赤	良	ハケのちミガキ (脚内) ナデ	ハケのちミガキ	外/内	
73-7	PL53	486	1	SB75	埋土	古墳 前期	土師	高坏	口縁部 ~脚部	90%	13.9	-	(8.4)	(230.1)	-	10R4/6 赤	10R4/6 赤	良	輪痕 ハケのちミガキ (脚内) ハケ	工具によるナデ のちミガキ	外/内	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記記号 (所属遺構・地点名は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm								
73-8	PL53	487	1	SB75	埋土	古墳 前期	土師	高環? 脚部	10%	-	(4.8)	96.1	-	10R4/6 赤	5YR5/6 明赤褐	褐色粒子・雲母・ 石英微、白色粒 子少	良	ハケのちミガキ 丸スガシ6ヶ所 (脚内)ハケのち ナデ	ナデ? 剥離?	外		
73-9	PL53	489	1	SB75	埋土	古墳 前期	土師	高環 脚部	10%	-	(3.3)	26.3	-	2.5YR5/6 明赤褐	2.5YR5/6 明赤褐	褐色粒子・白色粒 微	良	ハケのちミガキ 丸スガシ (脚内)ハケ	-	-		
73-10	PL53	2209	1	SB75	埋土	古墳 前期	土師	蓋 体部 ~口縁部	5%	-	-	12.8	-	7.5YR7/6 赤褐	10YR7/4 赤褐色	赤褐色粒子・白色 微	良	摩耗 ミガキ? ナデ	ミガキ	-	孔2ヶ所	
73-11	PL53	511	1	SB75	埋土	古墳 前期	土師	蓋 ツマミ部 ~口縁部	ほぼ完 形	14.0	5.3	216.8	-	2.5YR4/6 赤褐	2.5YR4/6 赤褐	褐色粒子・白色粒 微	良	ナデのちミガキ スリ ハケのちミガキ 輪量痕	ナデ ハケのちミガキ	-	ツマミ部分 に穴	
73-12	PL53	496	1	SB75	埋土	古墳 前期	土師	壺 口縁部~ 脚部	70%	<10.2>	(9.5)	(283.5)	11.6	7.5YR4/3 褐	7.5YR3/2 黒褐	褐色粒子・白色粒 微、石英少	良	ハケのちナデ 工具によるナデ	ハケのちナデ 工具によるナデ	-		
73-13	PL53	498	1	SB75	埋土	古墳 前期	土師	壺 口縁部 ~底部	80%	<10.6>	10.4	(324.0)	12.4	5YR5/6 明赤褐	5YR5/6 明赤褐	褐色粒子・白色粒 子、径2mm微 微、石英少	良	摩耗ハケのちミ ガキ ケズリのちミガ キ	摩耗ハケのちミ ガキ ハケのちナデ	-		
73-14	PL53	497	1	SB75	埋土	古墳 前期	土師	壺 口縁部 ~底部	ほぼ完 形	10.6	10.8	382.7	11.5	10YR7/4 赤褐色	10YR7/4 赤褐色	赤褐色粒子・白色 微	良	ハケのちミガキ ケズリのちミガ キ	ハケのちミガキ ケズリのちミガ キ	-		
73-15	PL53	499	1	SB75	埋土	古墳 前期	土師	壺 口縁部 ~頸部	10%	<22.6>	(6.7)	(217.6)	-	7.5YR6/6 橙	5YR5/6 明赤褐	赤褐色粒子・白色 微	良	摩耗 ナデ ハケのちミガキ	ナデ? ハケのちミガキ ケズリのちミガ キ	-		
73-16	PL53	501	1	SB75	埋土	古墳 前期	土師	壺 胴部 ~底部	10%	5.4	(5.7)	(117.5)	-	7.5YR5/4 赤褐色	7.5YR5/4 赤褐色	白色粒子・石英 微、褐色 色粒子少	良	ケズリハケ ハケのちナデ	ハケのちナデ	-	底部孔の周 辺に付着物 焼成後穿孔	
73-17	PL54	500	1	SB75	埋土	古墳 前期	土師	壺 口縁部 (口唇欠) ~底部	80%	6.0	(22.5)	(1593.8)	25.3	10YR6/3 赤褐色	10YR6/3 赤褐色	雲母・石英微、 赤褐色粒子・白色 粒子少	良	摩耗 ナデ ミガ キ ケズリ	ナデ? 工具?によるナ デ 剥離	-		
73-18	PL53	510	1	SB75	埋土	古墳 前期	土師	甗 口縁部 ~底部	80%	17.9	9.2	(446.0)	-	7.5YR6/4 赤褐色	5YR5/6 明赤褐	赤褐色粒子・白色 微	良	ナデ ケズリ	ハケ 工具によるナデ	-		
73-19	PL53	503	1	SB75	埋土	古墳 前期	土師	甗 口縁部 ~頸部	10%	<15.6>	(4.1)	(38.0)	-	10YR7/3 赤褐色	10YR7/4 赤褐色	褐色粒子・白色 微	良	ナデハケ	ナデハケ剥離	-		
73-20	PL53	502	1	SB75	埋土	古墳 前期	土師	甗 口縁部~ 脚部	10%	<15.8>	(5.8)	(90.4)	-	5YR6/4 赤褐	5YR6/4 赤褐	赤褐色粒子・白色 微	良	ハケケズリ ハケのちナデ	ナデ ハケのちナデ	-		
73-21	PL53	505	1	SB75	埋土	古墳 前期	土師	甗 胴部 ~底部	10%	-	(5.2)	(182.0)	-	5YR4/6 赤褐	5YR5/4 赤褐	雲母・石英微、赤 褐色粒子・径2~ 4mm微	良	ハケのちケズリ ハケのちナデ	ハケのちケズリ のちナデ	-		
73-22	PL53	2210	1	SB75	埋土	古墳 前期	土師	甗 頸部 ~脚部	5%	-	-	59.7	-	5YR5/4 赤褐	5YR4/3 赤褐色	赤褐色粒子・白色 微	良	御描直線文 ハケのち御描羽 状文	ミガキ	-		
73-23	PL53	2211	1	SB75	埋土	古墳 前期	土師	甗 胴部 ~脚部	-	短径 1.9	厚さ 0.5	2.5	-	2.5YR5/6 明赤褐	2.5YR5/6 明赤褐	赤褐色粒子・白色 微	良	御描波状文	ナデ	-		
73-24	PL54	508	1	SB75	埋土	古墳 前期	土師	甗 口縁部 ~底部	40%	<14.8>	27.5	(1482.1)	<26.6>	7.5YR5/4 赤褐色	10YR5/3 赤褐色	雲母・径2~ 6mm微、褐色 粒子・白色粒子・ 石英少	良	ハケのちナデ ハケのちケズリ ナデケズリ	ナデ ハケのちナデ 剥離	-	内外面穀類 の圧痕	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記番号 (所属遺構・地点名は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm								
74 - 25	PL54	509	1	SB75	埋土	古墳前期	土師	口縁部 ～胴部	40%	15.8	—	(14.2)	(843.0)	<23.0>	5YR3/1 黒褐色	5YR5/6 明赤褐色	雲母・赤褐色 粒子・白色粒子・ 石英・径2～ 4mm 礫少	良	ナデ ケズリのち工具 によるナデ	ナデ ナデ ナデ	—	外面スス付 着
74 - 26	PL54	504	1	SB75	埋土	古墳前期	土師	口縁部～ 胴部	30%	17.6	—	(17.5)	(480.0)	<22.5>	10YR6/4 にぶい黄褐色	10YR6/3 にぶい黄褐色	褐色粒子・白色 粒子・径2mm 礫 石英少	良	ナデ ケズリ	ハケ ナデ	—	外面スス付 着
74 - 27	PL53	507	1	SB75	埋土	古墳前期	土師	口縁部 ～胴部	70%	8.7	—	(8.5)	(180.7)	10.0	5YR5/6 明赤褐色	5YR5/6 明赤褐色	雲母・石英・径 2mm 礫・赤褐色 包粒子・白色粒子 少	良	ナデ ハケ (脚内)ナデ	ナデ	—	—
74 - 28	PL53	490	1	SB75	埋土	古墳前期	土師	口縁部 ～胴部	10%	—	<4.0>	(2.6)	14.0	—	10YR3/2 黒褐色	10YR3/2 黒褐色	赤褐色粒子・白色 粒子・石英微	良	ハケのち工具に よるナデ (管内)工具によ るナデ	ナデ ハケ (脚内)ナデ	—	—
74 - 29	PL53	506	1	SB75	埋土	古墳前期	土師	口縁部 ～胴部	80%	<13.8>	—	(13.1)	(493.3)	14.0	7.5YR6/3 にぶい褐色	7.5YR6/4 にぶい褐色	赤褐色粒子・褐色 粒子・白色粒子・ 石英・径2mm 礫 少	良	ナデ ハケ (脚内)ナデ	ナデ ハケのちミ ガキ	—	—
74 - 30	PL53	512	1	SB75	埋土 床	弥生 後期	土器	口縁部～ 胴部	10%	<28.8>	—	(18.1)	(268.9)	<31.8>	7.5YR6/4 にぶい褐色	7.5YR5/4 にぶい褐色	褐色粒子・白色 粒子・石英・径 2mm 礫微	良	彫刻施文 ハケのち磨削格 子目文	ナデ ハケのちヨコミ ガキ ナデ	—	—
77 - 1	PL54	533	1	SB79	埋土	古墳前期	土師	口縁部 ～体部	10%	<12.8>	—	(3.1)	8.9	—	7.5YR6/6 褐色	7.5YR6/6 褐色	褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英 微	良	ハケのちナデ	ハケのちミガキ ? 摩耗	—	—
77 - 2	PL54	531	1	SB79	埋土	古墳前期	土師	口縁部 ～体部	10%	<21.0>	—	(6.7)	51.6	—	10R4/6 赤	10R3/3 暗赤褐色	石英・径3mm 礫微・白色粒子 少	良	ヨコミガキ	ナデ ヨコミガキ 摩耗	外/内	2次の被熱? 灰? 付着
77 - 3	PL54	532	1	SB79	埋土	古墳前期	土師	口縁部 ～胴部	20%	—	—	(4.7)	71.7	—	10YR7/4 にぶい黄褐色	7.5YR5/3 にぶい褐色	褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英・ 径3mm 礫微	良	ハケのちナデ (脚内)ハケのち ナデ	ナデ	—	孔3ヶ所
77 - 4	PL54	2213	1	SB79	埋土	古墳前期	土師	口縁部 ～胴部	10%	<12.6>	—	(3.5)	14.5	—	7.5YR6/3 にぶい褐色	7.5YR6/4 にぶい褐色	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英 微	良	ハケのちミガキ ? 摩耗	ハケのちナデ	外	—
77 - 5	PL54	539	1	SB79	埋土	古墳前期	土師	口縁部 ～底部	40%	<10.8>	6.8	12.8	(344.5)	<13.1>	10YR5/3 にぶい黄褐色	10YR6/4 にぶい黄褐色	褐色粒子・白色 粒子・石英・径 2mm 礫微	良	ハケのちナデ? 摩耗 輪刷痕?	ハケのちナデ? 摩耗 輪刷痕	—	—
77 - 6	PL54	535 - 1	1	SB79	埋土	古墳前期	土師	口縁部 ～底部	10%	<17.0>	—	(2.5)	21.6	—	7.5YR6/3 にぶい褐色	7.5YR6/3 にぶい褐色	雲母・径2mm 礫 微・赤褐色粒子・ 白色粒子・石英 少	良	(口縁)ナデハ ケのちミガキ 摩耗 剥離 (底部)ナデ 白色粒子・石英 ケズリ? 摩耗	(口縁)ナデ ハケのちナデ 摩耗 剥離 (底部)ナデ 白色粒子・石英 ケズリ? 摩耗	—	—
77 - 7	PL54	535 - 2	1	SB79	埋土	古墳前期	土師	口縁部 ～底部	535 - 1と合 わせて	—	7.8	(3.2)	(142.2)	—	7.5YR6/3 にぶい褐色	7.5YR6/3 にぶい褐色	雲母・径2mm 礫 微・赤褐色粒子・ 白色粒子・石英 少	良	(口縁)ナデ ハケのちミガキ 摩耗 剥離 (底部)ナデ 白色粒子・石英 ケズリ? 摩耗	(口縁)ナデ ハケのちミガキ 摩耗 剥離 (底部)ナデ 白色粒子・石英 ケズリ? 摩耗	—	—
77 - 8	PL54	534	1	SB79	埋土	古墳前期	土師	口縁部 ～底部	10%	<18.5>	—	(3.0)	(284.1)	—	7.5YR6/3 にぶい褐色	10YR6/3 にぶい黄褐色	雲母・赤褐色粒 子・白色粒子・石 英・径3mm 礫少	良	ハケのちナデ? 摩耗	ハケのちミガキ	—	—
77 - 9	PL54	2212	1	SB79	埋土	古墳前期	土師	口縁部 ～底部	—	—	—	—	14.7	—	10R4/6 赤 10YR6/2 にぶい褐色	10YR6/2 にぶい褐色	雲母・径2mm 礫 微・赤褐色粒 子・白色粒子・石 英・径3mm 礫少	良	ハケのちミガキ	ヨコミガキ	外/内	—
77 - 10	PL55	538	1	SB79	埋土	古墳前期	土師	口縁部 ～底部	40%	—	6.3	(13.8)	(534.9)	<19.8>	10YR6/3 にぶい黄褐色	10YR1.7/1 黒	褐色粒子・白色 粒子・石英・径 2mm 礫微	良	ミガキ ハケのちミガキ	ハケのちミガキ	—	—
77 - 11	PL55	536	1	SB79	埋土	古墳前期	土師	口縁部 ～底部	20%	—	—	20.2	(1105.7)	<29.1>	10YR6/4 にぶい黄褐色	10YR6/4 にぶい黄褐色	白色粒子・雲母・ 石英・径2～4 mm 礫微・褐色 粒子少	良	ナデ ナデ ナデ	ナデ ナデ ナデ	—	—

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記記号 (所属遺構・地点名は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm								
77-12	PL55	2214	1	SB79	埋土	古墳前期	土師	鏝?	口縁部	10%	<22.8>	—	(5.9)	10YR7/4 にぶい黄緑	7.5YR7/6 橙	赤褐色粒子・白色 粒子・石英 微	良	ナデ ハケのちナデ 細指板文	ハケのちミガキ 摩耗	—		
77-13	PL55	2219	1	SB79	埋土	古墳前期	土師	土器片 加工板	胴部	—	長径 3.0 短径 2.4	厚さ 0.4	3.2	7.5YR6/4 にぶい黄緑	7.5YR1.7/1 黒	赤褐色粒子・白色 粒子・石英 微	良	ナデ ミガキ摩耗	ナデ?	—		
77-14	PL55	2218	1	SB79	埋土	古墳前期	土師	土器片 加工板	胴部	—	長径 3.3 短径 2.4	厚さ 0.5	5.8	10YR7/4 にぶい黄緑	10YR7/4 黒	赤褐色粒子・白色 粒子・石英 微	良	ナデ	ナデ	—		
77-15	PL55	2217	1	SB79	埋土	古墳前期	土師	土器片 加工板	胴部	—	長径 5.0 短径 3.6	厚さ 0.6	13.2	7.5YR6/4 にぶい黄緑	10R4/8 赤	褐色粒子・白色 粒子・石英 微	良	ハケのちミガキ	ミガキ	内		
77-16	PL55	2216	1	SB79	埋土	古墳前期	土師	土器片 加工板	胴部	—	長径 4.9 短径 3.4	厚さ 0.7	12.7	10YR5/2 灰黄緑	10YR7/3 にぶい黄緑	赤褐色粒子・白色 粒子・石英 微	良	ミガキ摩耗	ミガキ	—		
77-17	PL55	2215	1	SB79	埋土	古墳前期	土師	土器片 加工板	胴部	—	長径 7.1 短径 6.5	厚さ 0.6	38.1	10YR6/4 にぶい黄緑	10YR5/4 にぶい黄緑	褐色粒子・白色 粒子・石英 微 赤褐色粒子・雲母・ 石英・径2mm礫 微	良	ミガキ摩耗	ハケのちナデ	—		
78-1	PL55	541	1	SB80	埋土	古墳前期	土師	鉢	口縁部 ～底部	60%	<15.0>	4.9	6.0	5YR5/6 明赤褐	5YR5/6 明赤褐	石灰・径2mm 礫 微、白色粒子 少	良	ハケのちミガキ 工具によるナデ	ハケのちミガキ ハケのちナデ?	—		
78-2	PL55	542	1	SB80	埋土	古墳前期	土師	鉢	口縁部	10%	<17.2>	—	(3.1)	2.5YR5/8 明赤褐	2.5YR5/8 明赤褐	褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英 微	良	ハケのちナデ	ハケのちナデ	—		
78-3	PL55	540-1	1	SB80	埋土	古墳前期	土師	台付鉢	口縁部 ～胴部	50%	16.7	—	(22.4)	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/4 にぶい黄緑	白色粒子・径2～ 4mm礫 微、褐色 色粒子・石英 少	良	ナデ ハケ 剥離 工具によるナデ よるナデ	ハケのちナデ ハケのちミガキ ハケのちナデ ハケのちミガキ	—	内外面ス 付着	
78-4	PL55	540-2	1	SB80	埋土	古墳前期	土師	台付鉢	接合部 ～胴部	540- 1と合 わえて	—	10.0	(6.0)	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	白色粒子・径5 mm礫 微、褐色 粒子・石英 少	良	ナデ ハケのちナデ 工具によるナデ (脚内)ナデ	ハケのちナデ ハケのちミガキ	—		
81-1	PL55	2462	2	SB103	埋土	古墳前期	土師	鉢?	胴部	10%	—	—	(4.3)	2.5YR4/6 赤褐	2.5YR5/6 明赤褐	白色粒子少、赤 褐色粒子・石英 微	良	ミガキ摩耗	ミガキ摩耗	外/内		
81-2	PL55	2445	2	SB103	埋土	古墳前期	土師	鉢	口縁部 ～底部	80%	<13.9>	4.8	6.9	10R4/6 赤	10YR6/4 にぶい黄緑	白色粒子少、赤 褐色粒子・石英 微	良	ミガキ摩耗	ミガキ 剥離	外/内		
81-3	PL55	2434	2	SB103	埋土	古墳前期	土師	台付鉢	体部 ～台部	10%	—	—	(5.1)	5YR4/6 赤褐	2.5YR4/6 赤褐	赤褐色粒子 微、 石灰 少、白色粒 子 多	良	ミガキ摩耗	ミガキ 剥離	外/内		
81-4	PL56	2426	2	SB103	埋土	古墳前期	土師	蓋?	ツマミ ～体部	10%	—	—	(3.2)	7.5YR5/4 にぶい黄緑	10YR5/3 にぶい黄緑	白色粒子・径2m mm礫 微、赤褐色 粒子・石英 少	良	ナデのちタテミ ナデ	ナデ	—		
81-5	PL56	2444	2	SB103	埋土	古墳前期	土師	蓋	ツマミ部 ～口縁部	60%	15.3	—	4.6	7.5YR6/4 にぶい黄緑	7.5YR6/4 にぶい黄緑	径2mm礫 微、 白色粒子・赤褐色 粒子・石英 多	良	ハケのちミガキ 摩耗 剥離	ハケケズリナデ ハケのちミガキ 摩耗 剥離	—		
81-6	PL55	2429	2	SB103	埋土	古墳前期	土師	台付鉢 ?	接合部 ～胴部	20%	—	—	(5.1)	10R5/6 赤	10YR5/4 にぶい黄緑	雲母・径2mm 礫 微、白色粒子 2～3mm礫 微、 石灰 少	やや 不良	ミガキ摩耗 (脚内)ハケのち ナデ	ミガキ ナデ	外/内		
81-7	PL56	2463	2	SB103	埋土	古墳前期	土師	高環?	胴部	30%	—	<13.0>	(4.0)	7.5YR6/4 にぶい黄緑	7.5YR6/4 にぶい黄緑	赤褐色粒子・径3 mm礫 微、白色 粒子・石英 少	良	ハケのちナデ (脚内)ハケのち ナデ 剥離 ケズリ	—	—		
81-8	PL55	2449	2	SB103	埋土	古墳前期	土師	器台	口縁部 ～胴部	70%	<8.9>	11.9	8.1	5YR5/4 にぶい赤褐	5YR4/4 にぶい赤褐	白色粒子・赤褐色 粒子・雲母・径 2～3mm礫 微、 石灰 少	良	ミガキ摩耗 丸スガシ3ヶ所	ナデ 工具によるナデ ミガキ摩耗	—		
81-9	PL55	2448	2	SB103	埋土	古墳前期	土師	器台	台部 ～胴部	40%	—	—	(5.6)	7.5YR5/6 明褐	7.5YR4/1 褐灰	径2mm礫 微、白色粒子・石 英 少、赤褐色粒 子 多	良	ハケナデ ミガキ	ミガキ ナデ	—		
81-10	PL56	2469	2	SB103	埋土	古墳前期	土師	器台?	胴部	30%	<17.0>	—	(4.6)	7.5YR4/3 褐	7.5YR4/3 褐	白色粒子・赤褐色 粒子・雲母・径2 mm礫 微、石英 少	良	ハケのちミガキ 摩耗 ハケのちナデ (脚内)ハケのち ナデ 摩耗	—	—		
81-11	PL55	2464	2	SB103	埋土	古墳前期	土師	小形 丸底	口縁部 ～胴部	20%	<8.9>	—	(5.0)	7.5YR6/3 にぶい黄緑	7.5YR6/3 にぶい黄緑	白色粒子 微、赤 褐色粒子・石英 径2～3mm礫 少	良	ハケのちナデ ナデ	ハケのちナデ	—		

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考		
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm									重量 g	胴部 最大径 cm
81-12	PL55	2465	2	SB103	埋土	SB103	古墳 前期	土師	壺	口縁部 ~胴部	20%	<10.5>	—	(6.2)	(30.1) +27.5 (同一片)	—	7.5YR6/3 にぶい濁	7.5YR6/3 にぶい濁	白色粒子・赤褐色 粒子・径2mm 濃微・石英多 白色粒子・石英 多	良	ハケのちナデ ケズリ?ナデ	ハケのちナデ ナデ	—	
81-13	PL56	2468	2	SB103	埋土	SB103	古墳 前期	土師	壺	口縁部 ~頸部	20%	<14.0>	—	(9.9)	(157.0) +(111.1) (同一片)	—	7.5YR5/4 にぶい濁	7.5YR5/4 にぶい濁	ミガキ・赤褐色 ケズリ・工具による ナデ	良	ミガキ・赤褐色 ケズリ・工具による ナデ	ミガキ・赤褐色 ケズリ・工具による ナデ	—	
81-14	PL56	2467	2	SB103	埋土	SB103	古墳 前期	土師	壺	頸部	10%	—	—	(3.0)	36.6	—	7.5YR6/4 にぶい濁	10YR6/4 にぶい濁	白色粒子少・赤 褐色粒子・石英 多	やや 不良	ハケのちナデ	ハケのちナデ	—	
81-15	PL56	2452	2	SB103	埋土	SB103	古墳 前期	土師	壺	胴部	5%	—	—	—	46.4	—	7.5YR6/4 にぶい濁	10YR4/2 灰濁	赤褐色粒子微 白色粒子・石英 少	やや 不良	ハケ	ハケ	外	
81-16	PL56	2435	2	SB103	埋土	SB103	古墳 前期	土師	壺	頸部	—	—	—	—	9.3	—	7.5YR5/4 にぶい濁	7.5YR5/4 にぶい濁	石英・赤褐色 粒子・雲母少 白色粒子多	良	不明	不明	—	
81-17	PL56	2433	2	SB103	埋土	SB103	古墳 前期	土師	壺	頸部	5%	—	—	—	(55.9)	—	7.5YR5/3 にぶい濁	7.5YR5/2 灰濁	雲母・石英・径2 mm濃微・白色 粒子・赤褐色粒子 少	良	ハケ	ハケ	外	
81-18	PL56	2436	2	SB103	埋土	SB103	古墳 前期	土師	壺	頸部	10%	—	—	—	(256.8)	—	5YR5/4 にぶい赤	10YR5/2 赤	石英・径2~3 mm濃微・白色 粒子・赤褐色粒子 少	良	ハケのちミガキ の 磨耗 ハケのちナデ の 磨耗	ハケのちミガキ の 磨耗 ハケのちナデ の 磨耗	外/内	内面種子? 圧痕
81-19	PL56	2440	2	SB103	埋土	SB103	古墳 前期	土師	壺	口縁部 ~頸部	20%	<36.0>	—	(16.1)	(641.3)	—	10R4/6 赤	7.5YR5/4 にぶい濁	雲母微・赤褐色 粒子少・白色粒 子・石英多	やや 不良	ハケのちミガキ の 磨耗 ハケのちナデ の 磨耗	ハケのちミガキ の 磨耗 ハケのちナデ の 磨耗	外	
81-20	PL56	2441	2	SB103	埋土	SB103	古墳 前期	土師	壺	胴部	30%	—	(18.7)	<29.5>	1127.8	<17.2>	7.5YR4/2 灰濁	10YR4/1 濁灰	白色粒子・雲母・ 石英・径2mm濃 微・赤褐色粒子 少	良	ナデのちミガキ 指押さるる磨耗 黒色処理?	ナデのちミガキ 指押さるる磨耗 黒色処理?	—	
81-21	PL56	2466	2	SB103	埋土	SB103	古墳 前期	土師	無頸蓋 壺	口縁部 ~胴部	40%	<10.0>	—	(11.8)	(179.3)	<17.2>	7.5YR6/4 にぶい濁	10YR4/1 濁灰	白色粒子・石英 多	良	ハケのちミガキ の 磨耗	ハケのちミガキ の 磨耗	外/内	外面スス付 着
81-22	PL56	2443	2	SB103	埋土	SB103	古墳 前期	土師	無頸蓋 壺	口縁部 ~底部	60%	11.3	—	(13.8)	(489.0)	17.0	7.5R4/4 にぶい赤	10YR5/3 にぶい黄濁	赤褐色粒子・径 2~3mm濃微・ 白色粒子・石英 多	良	ハケのちミガキ の 磨耗	ハケのちミガキ の 磨耗	外/内	
81-23	PL56	2421	2	SB103	埋土	SB103	古墳 前期	土師	土器片 加工板	胴部	—	長さ 3.20	厚さ 0.6	幅 3.6	7.8	—	10YR4/1 濁灰	2.5YR4/6 赤濁	径3mm濃微・ 白色粒子・赤褐色 粒子少・石英多	やや 不良	不明	不明	—	
81-24	PL56	2418	2	SB103	埋土	SB103	古墳 前期	土師	土器片 加工板	胴部	—	長さ 3.9	厚さ 0.6	幅 4.4	12.7	—	2.5YR4/6 赤濁	10YR4/1 濁灰	白色粒子・赤褐色 粒子・径2 mm濃微・白 色粒子少・石英 多	良	不明	不明	外/内	
81-25	PL56	2420	2	SB103	埋土	SB103	古墳 前期	土師	土器片 加工板	胴部	—	—	—	—	11.6	—	5YR5/4 にぶい濁	10YR5/4 にぶい黄濁	赤褐色粒子・径2 mm濃微・白 色粒子少・石英 多	良	ナデ?磨耗	ナデ?磨耗	—	
81-26	PL56	2442	2	SB103	埋土	SB103	古墳 前期	土師	囊	底部	10%	—	5.9	(6.0)	171.9	—	7.5YR4/3 濁	7.5YR5/3 にぶい濁	赤褐色粒子・雲 母・径2mm濃 微・白色粒子・石 英少	良	ハケのちナデ の 磨耗 ハケのちナデ の 磨耗	ハケのちナデ の 磨耗 ハケのちナデ の 磨耗	—	
81-27	PL56	2425	2	SB103	埋土	SB103	古墳 前期	土師	囊?	同部 ~底部	10%	—	2.9	(3.3)	28.7	—	10YR4/1 濁灰	10YR4/1 濁灰	白色粒子・赤褐色 粒子・径2mm濃 微・石英多	良	ハケのちミガキ の 磨耗 ハケのちナデ の 磨耗	ハケのちミガキ の 磨耗 ハケのちナデ の 磨耗	—	
82-28	PL57	2456	2	SB103	埋土	SB103	古墳 前期	土師	囊	口縁部 ~頸部	20%	13.6	—	(6.1)	141.4	—	7.5YR4/4 濁	10YR4/6 濁	径2mm濃微・ 白色粒子・赤褐色 粒子少・石英多	やや 不良	ハケのちミガキ の 磨耗 ハケのちナデ の 磨耗	ハケのちミガキ の 磨耗 ハケのちナデ の 磨耗	—	
82-29	PL57	2446	2	SB103	埋土	SB103	古墳 前期	土師	囊	口縁部 ~胴部	30%	14.3	—	(10.9)	(340.0)	—	7.5YR5/2 灰濁	7.5YR5/4 にぶい濁	赤褐色粒子・径3 mm濃微・白色 粒子・石英少	良	ハケのちナデ の 磨耗 ハケのちナデ の 磨耗	ハケのちナデ の 磨耗 ハケのちナデ の 磨耗	—	
82-30	PL57	2451 2455	2	SB103	埋土	SB103	古墳 前期	土師	囊	口縁部 ~胴部	20%	<17.7>	—	(7.9)	(125.5)	—	7.5YR4/2 灰濁	7.5YR5/3 にぶい濁	径2mm濃微 白色粒子・赤褐色 粒子・石英少	やや 不良	ハケのちナデ の 磨耗 ハケのちナデ の 磨耗	ハケのちナデ の 磨耗 ハケのちナデ の 磨耗	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (所属遺構・地点名は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g								
82-31	PL57	2461	2	SB103	埋土	SB103	古墳前期	土師	腹部 ~ 脚部	10%	<19.0>	(13.9)	(293.5)	<21.0>	7.5YR6/4 にぶい褐色	7.5YR6/3 にぶい褐色	赤褐色粒子・径2~4mm礫微、白色粒子・石英少	良	ナデ ハケのち御描波状文御描波状文ミガキ主摩耗	ハケのちミガキ 摩耗	-		
82-32	PL57	2428	2	SB103	埋土	SB103	古墳前期	土師	口縁部 ~ 脚部	10%	<12.0>	(6.4)	29.2	-	7.5YR6/4 にぶい褐色	7.5YR6/4 にぶい褐色	白色粒子微、赤褐色粒子少、石英・径2mm礫多	良	ナデ ハケのちナデ?	ハケのちナデ? 指ナデ輪痕	-		
82-33	PL57	2430	2	SB103	埋土	SB103 No.6	古墳前期	土師	口縁部 ~ 頸部	10%	<14.3>	(4.3)	36.7	-	7.5YR6/4 にぶい褐色	7.5YR6/4 にぶい褐色	白色粒子・赤褐色粒子・径2~3mm礫微、石英多	良	ナデ ハケ	ナデ	-		
82-34	PL57	2457	2	SB103	埋土	SB103	古墳前期	土師	口縁部 ~ 腹部	20%	<15.8>	(3.8)	(107.1)	-	7.5YR5/4 にぶい褐色	7.5YR5/4 にぶい褐色	赤褐色粒子微、白色粒子・径3~5mm礫少、石英多	良	ハケ ナデ	ナデ	-		
82-35	PL57	2438	2	SB103	埋土	SB103 No.7 No.8 集中、検、TR.2区III U13 検	古墳前期	土師	口縁部 ~ 脚部	40%	14.7	(14.8)	<22.8>	(385.2)	7.5YR4/2 にぶい褐色	7.5YR4/2 にぶい褐色	赤褐色粒子・雲母微、白色粒子・石英・径2~4mm礫少	良	ナデ ハケ	ナデ ハケのちナデ 輪痕	-		
82-36	PL57	2437	2	SB103	埋土	SB105 No.5 集中	古墳前期	土師	口縁部 ~ 脚部	40%	<14.8>	(18.0)	(501.7)	<22.5>	10YR4/2 にぶい褐色	10YR4/2 にぶい褐色	赤褐色粒子微、白色粒子・径2~5mm礫少	良	ナデ ハケのちケズリ	ナデ ハケのちケズリ 輪痕	-		
82-37	PL57	2459	2	SB103	埋土	SB103 SB103 集中、III U12 検	古墳前期	土師	口縁部	10%	<15.2>	(3.4)	56.0	-	10YR6/3 にぶい黄褐色	10YR6/3 にぶい黄褐色	赤褐色粒子少、白色粒子・石英・径3~6mm礫多	やや不良	ハケのちナデ	ハケのちナデ	-		
82-38	PL57	2470	2	SB103	埋土	SB103	古墳前期	土師	口縁部 ~ 頸部	10%	<15.9>	(3.8)	37.4 +43.8 (同一片)	-	7.5YR5/2 にぶい褐色	7.5YR5/4 にぶい褐色	径3mm礫微、白色粒子少、石英多	良	ナデ ハケ	ナデ ハケ	-		
82-39	PL57	2439	2	SB103	埋土	SB103 No.12 SB103	古墳前期	土師	口縁部 ~ 頸部	10%	<15.9>	(3.8)	37.4 +43.8 (同一片)	-	7.5YR5/2 にぶい褐色	7.5YR5/4 にぶい褐色	径3mm礫微、白色粒子少、石英多	良	ナデ ハケ	ナデ ハケ	-		
82-40	PL57	2424	2	SB103	埋土	SB103	古墳前期	土師	底部	10%	-	(3.0)	71.8	-	7.5YR5/4 にぶい褐色	10YR4/2 にぶい褐色	赤褐色粒子微、白色粒子・径2~4mm礫少、石英多	良	ハケ ケケズリ	ハケ ケケズリ 摩耗	-		
82-41	PL57	2450	2	SB103	埋土	SB103 SB103 TR	古墳前期	土師	腹部 ~ 底部	20%	-	(4.2)	134.4	-	5YR4/6 赤褐色	7.5YR5/4 にぶい褐色	白色粒子・赤褐色粒子・石英・径2mm礫多	良	ハケ ケケズリ	ハケ ケケズリ 工具によるナデ	-		
82-42	PL57	2431	2	SB103	埋土	SB103	古墳前期	土師	脚部	20%	<6.7>	(4.6)	76.4	-	7.5YR5/4 にぶい褐色	10YR5/2 にぶい褐色	赤褐色粒子・径2mm微、白色粒子・石英少	良	ハケ ナデ	ナデ	-		
82-43	PL57	2447	2	SB103	埋土	SB103 No.41 SB103 集中、SB103 TR	古墳前期	土師	脚部 ~ 脚部	20%	7.8	(7.6)	(180.9)	-	10YR3/2 黒褐色	10YR3/2 黒褐色	赤褐色粒子・径2mm礫微、白色粒子・石英多	良	ハケ ナデ	ハケ ナデ ハケ 工具によるナデ	-		
82-44	PL57	2432	2	SB103	埋土	SB103 No.50	古墳前期	土師	腹部 ~ 脚部	20%	-	(6.0)	109.1	-	10YR6/4 にぶい黄褐色	10YR6/4 にぶい黄褐色	赤褐色粒子・径2mm礫微、白色粒子少、石英多	良	ミガキ 輪痕	ミガキ 輪痕 ミガキ 剥離	-		
82-45	PL56	2427	2	SB103	埋土	SB103	古墳前期	土師	不明	10%	<21.0>	7.0	120.1	-	10YR6/4 にぶい黄褐色	10YR7/4 にぶい黄褐色	赤褐色粒子・径2mm礫微、白色粒子・石英少	良	ハケのちミガキ	ハケのちミガキ	-		
83-1	PL57	2517	2	SB106	埋土	SB106 No.2.2 区表	古墳中期	土師	頸部 ~ 底部	60%	-	(7.1)	(248.9)	10.8	7.5YR4/3 褐色	7.5YR4/3 褐色	赤褐色粒子・径2mm礫微、白色粒子少、石英多	良	ハケのちミガキ 摩耗	ハケのちミガキ 摩耗 工具によるナデ?	-		
83-2	PL57	2516	2	SB106	埋土	SB106 No.1.2 区表	古墳中期	土師	脚部 ~ 底部	30%	-	(7.3)	(138.5)	<13.9>	7.5YR6/4 にぶい褐色	5Y2/1 黒	赤褐色粒子・石英微、雲母少、白色粒子多	良	ハケのちミガキ 摩耗	ハケのちミガキ 摩耗 工具によるナデ?	-		
83-3	PL57	2519	2	SB106	埋土	SB106 SB105 TR	古墳中期	土師	高坏	20%	12.0	(2.3)	(86.5)	-	7.5YR6/6 褐色	7.5YR6/6 褐色	赤褐色粒子・石英微、雲母少、白色粒子多	良	ミガキ 剥離	ミガキ 剥離 工具によるナデ	-		
85-1	PL57	559	3	SB3001	埋土	SB3001 検	古墳前期	須恵	体部	10%	-	(2.2)	6.7	-	N4/ 灰	N3/ 暗灰	白色粒子微	良	ロクロナデ 回転ケズリ	ロクロナデ	-		

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考			
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記番号 (所属遺構・地点名 は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm							重量 g	胴部 最大径 cm	外面色調
85-2	PL57	557	3	SB3001	埋土	古墳 前期	土師	環	口縁部 ~体部	10%	<11.0>	—	(3.6)	11.9	—	5YR6/6 にぶい	5YR7/4 にぶい	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英 微	良	ハケのちミガキ 摩耗	ミガキ 摩耗	—	
85-3	PL57	550	3	SB3001	埋土	古墳 前期	土師	環	口縁部 ~底部	40%	<14.6>	<7.4>	4.3	90.6	—	2.5YR5/6 明赤褐	2.5YR5/6 明赤褐	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・径3 mm・5mm 摩耗	良	ハケのちミガキ ミガキ	ハケのちミガキ	—	
85-4	PL57	552	3	SB3001	埋土	古墳 後期	土師	環	口縁部 ~底部	30%	<11.8>	<8.5>	(4.6)	(171.8)	—	7.5YR6/4 にぶい	7.5YR1.7/1 黒	白色粒子・雲母・ 石英・径2mm 石英・褐色粒子 少	良	ハケのちケズリ のちミガキ 摩耗 ケズリ 摩耗	黒色ハケのちミ ガキ 黒色処理	—	内面種子痕
85-5	PL57	558	3	SB3001	埋土	古墳 前期	土師	環	口縁部 ~体部	10%	<17.0>	—	(2.8)	7.9	—	10YR4/1 褐灰	10YR6/3 にぶい	白色粒子・雲母・ 石英微	良	ナデ	ハケのちミガキ	—	
85-6	PL58	556	3	SB3001	埋土	古墳 後期	土師	環	口縁部 ~底部	10%	<17.8>	<8.0>	(3.7)	30.0	—	10YR4/2 灰黄褐	7.5YR4/2 灰褐	白色粒子・雲母・ 石英・径2mm 石英 微	良	ナデ ケズリ のちナデ ? 摩耗	ミガキ 摩耗	—	2 次的被熱?
85-7	PL58	551	3	SB3001	床下	古墳 前期	土師	環	口縁部 ~底部	70%	15.7	7.7	4.5	(264.2)	—	10YR7/3 にぶい	10YR1.7/1 黒	褐色粒子・白色粒 子・雲母・石英・ 径2mm 摩耗	良	ハケのちミガキ ケズリ 摩耗	ハケのちミガキ 黒色処理	—	
85-8	PL58	553	3	SB3001	埋土	古墳 後期	土師	鉢	口縁部 ~底部	20%	<10.6>	<7.0>	(7.9)	(283.1)	—	7.5YR6/6 にぶい	7.5YR6/6 にぶい	赤褐色粒子・白 色粒子・石英・ 径2mm 摩耗	良	ハケのちミガキ ケズリ 摩耗	工具によるナデ のちミガキ 摩耗	—	
85-9	PL57	555	3	SB3001	埋土	古墳 前期	土師	鉢	口縁部 ~体部	10%	<18.1>	—	(6.0)	32.0	—	5YR6/6 にぶい	7.5YR7/4 にぶい	雲母・石英微、 白色粒子 少	良	ハケのちミガキ 摩耗	ハケのちミガキ	—	2 次的被熱?
85-10	PL57	560	3	SB3001	埋土	古墳 前期	土師	高坏	胴部	10%	—	<11.4>	(1.7)	25.6	—	5YR6/6 にぶい	5YR6/6 にぶい	白色粒子・石英・ 径2mm 摩耗	良	ナデ	—	—	2 次的被熱?
85-11	PL58	562	3	SB3001	埋土	古墳 前期	土師	甕	胴部 ~底部	80%	—	6.9	(18.4)	792.1	13.3	7.5YR6/6 にぶい	7.5YR6/6 にぶい	赤褐色粒子・白色 粒子・石英・径2 mm 摩耗	良	ハケのちミガキ 摩耗	ハケのちミガキ	—	
85-12	PL58	565	3	SB3001	埋土	古墳 前期	土師	甕	口縁部 ~底部	90%	13.7	7.4	18.4	(937.4)	15.2	7.5YR6/4 にぶい	7.5YR6/4 にぶい	赤褐色粒子・白 色粒子・石英・ 径2~4mm 摩 少	良	ナデ	ハケのちナデ	—	
85-13	PL58	568	3	SB3001	埋土	古墳 前期	土師	甕	口縁部 ~底部	70%	<16.4>	7.4	19.4	(1205.6)	16.0	10YR6/4 にぶい	10YR7/4 にぶい	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英・ 径3mm 摩耗	良	ナデ ケズリ のちナデ ? 摩耗	ナデ ハケのちナデ	—	
86-14	PL58	563	3	SB3001	埋土	古墳	土師	甕	口縁部 ~胴部	80%	17.9	—	(17.2)	(851.4)	—	10YR6/3 にぶい	10YR5/3 にぶい	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英 微・径2~4mm 摩少	良	ケズリ のちナデ ? 摩耗	ナデ ハケのちナデ	—	
86-15	PL58	561	3	SB3001	埋土	古墳	土師	甕	口縁部 ~底部	90%	16.5	7.4	33.4	(2380.0)	18.1	7.5YR6/4 にぶい	7.5YR6/4 にぶい	褐色粒子・白色粒 子・雲母・径2 ~6mm 摩少	良	ケズリ のちナデ ? 摩耗	ナデ ハケのちナデ	—	外面付着物
86-16	PL58	566	3	SB3001	埋土	古墳 後期	土師	甕	口縁部 ~胴部	20%	<18.6>	—	(11.0)	(527.8)	—	5YR5/6 明赤褐	5YR5/6 明赤褐	褐色粒子・白色粒 子・石英微、径 2~4mm 摩少	良	ナデ ケズリ のちナデ ? 摩耗	ナデ ハケのちナデ	—	種子痕、糞 痕 粘土に混 入?
86-17	PL58	564	3	SB3001	埋土	古墳 後期	土師	甕	胴部 ~底部	30%	—	6.3	(17.8)	(617.1)	—	7.5YR5/3 にぶい	7.5YR4/3 にぶい	白色粒子・雲母 微、褐色粒子・径 2~4mm 摩少	良	ナデ ケズリ のちナデ ? 摩耗	ナデ ハケのちナデ	—	外面付着物
86-18	PL58	567	3	SB3001	埋土	古墳 後期	土師	甕	胴部 ~底部	10%	—	8.0	(17.7)	1254.3	—	7.5YR6/3 にぶい	7.5YR6/4 にぶい	赤褐色粒子・雲母・ 石英微、白色細 粒子 少、径2~ 6mm 摩中	良	ナデ ケズリ のちナデ ? 摩耗	ナデ ハケのちナデ	—	外面 2 次的 被熱?
86-19	PL58	2226	3	SB3001	埋土	古墳 前期	土師	土器片 加工板	胴部	—	長径 4.7	短径 4.1	厚さ 0.7	16.5	—	10YR5/3 にぶい	5YR4/6 赤褐	赤褐色粒子・白色 粒子・石英・径2 ~7mm 摩微	良	ケズリ のちナデ ? 摩耗	ハケのちナデ 摩耗	—	
86-20	PL58	2228	3	SB3001	埋土	古墳 前期	土師	土器片 加工板	胴部	—	長径 4.9	短径 3.4	厚さ 0.8	18.7	—	7.5YR6/4 にぶい	10YR5/3 にぶい	白色粒子・石英 微、2~7mm 摩 少	良	ハケのちミガキ ナデ	ナデ	—	
86-21	PL58	2227	3	SB3001	埋土	古墳 前期	土師	土器片 加工板	胴部	—	長径 6.0	短径 3.4	厚さ 0.7	21.0	—	10R3/6 暗 赤 7.5YR2/2 黒褐	7.5YR6/4 にぶい	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英 微	良	ミガキ 摩耗	ナデ	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考	
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記記号 (所属遺構・地点名は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm									重量 g
87-1	PL59	581	3	SB3003	上層床	古墳中期	土師	環	口縁部 ~体部	20%	<12.4>	—	(5.0)	—	2.5YR5/6 明赤褐	7.5YR6/4 にぶい橙	赤褐色粒子・白色 粒子・石英・径2 mm礫微	良	ナデ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ	ナデ ナデのちミガキ	—		
87-2	PL59	580	3	SB3003	埋土	古墳中期	土師	環	口縁部 ~底部	10%	<13.8>	<6.0>	4.5	30.5	10YR7/2 にぶい黄褐	7.5YR6/6 橙	褐色粒子・雲母・ 石英・径2mm礫 子・雲母・石英微	良	ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ	ミガキ ナデのちミガキ	—		
87-3	PL59	583	3	SB3003	下層床	古墳中期	土師	鉢	口縁部 ~体部	10%	<15.4>	—	(6.4)	(52.9)	2.5YR1.7/1 明赤褐	2.5YR1.7/1 赤黒	褐色粒子・雲母・ 石英・径2mm礫 子・雲母・石英微	良	ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ	ハケのちミガキ 黒色処理	—		
87-4	PL59	582	3	SB3003	埋土	古墳中期	土師	環	口縁部 ~体部	10%	<18.0>	—	(4.6)	23.5	10YR7/4 にぶい黄褐	7.5YR8/4 黄緑	赤褐色粒子・白色 粒子・石英微	良	ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ	ハケのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ	—		
87-5	PL59	587	3	SB3003	埋土	古墳前期	土師	高環	環部	40%	<15.7>	—	(5.0)	(206.9)	5YR5/6 明赤褐	2.5YR5/6 明赤褐	赤褐色粒子・白色 粒子・石英微	良	ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ	ミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ	—		
87-6	PL59	585	3	SB3003	埋土床	古墳中期	土師	高環	環部 ~脚部	20%	—	—	(6.6)	(192.9)	2.5YR5/3 赤褐	7.5YR5/3 にぶい濁	赤褐色粒子・雲母 ・石英・径2mm礫 子・雲母・石英微	良	ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ	ハケのちミガキ ハケのちミガキ ハケのちミガキ ハケのちミガキ ハケのちミガキ ハケのちミガキ	—	内面もみ?	
87-7	PL59	586	3	SB3003	埋土	古墳前期	土師	高環	環部	50%	16.7	—	(5.7)	(337.7)	5YR6/6 橙	2.5YR6/6 にぶい黄橙	赤褐色粒子・白色 粒子・石英・径2 mm礫微	良	ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ	ミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ	—		
87-8	PL59	584	3	SB3003	埋土	古墳前期	土師	壺	頸部 ~脚部	10%	—	—	(2.2)	79.0	7.5YR7/4 にぶい黄橙	10YR7/2 にぶい黄緑	褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英 ・径2mm礫微	良	ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ	ハケのちミガキ ハケのちミガキ ハケのちミガキ ハケのちミガキ ハケのちミガキ ハケのちミガキ	—		
87-9	PL59	591-1	3	SB3003	埋土床	古墳中期	土師	壺	口縁	50%	<18.6>	—	(5.0)	63.8	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/1 濁灰	白色粒子・石英・ 径2~5mm礫 子・赤褐色粒子・ 褐色粒子多	良	ナデ ナデ ナデ ナデ ナデ ナデ	(口縁)ナデ ナデハケ ナデハケ ナデハケ ナデハケ ナデハケ	—	2次の被熱?	
87-10	PL59	591-2	3	SB3003	埋土床	古墳中期	土師	壺	胴部 ~底部	59.1 1と合 わせて	—	8.1	(25.4)	(2480.0)	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/1 濁灰	白色粒子・石英・ 径2~5mm礫 子・赤褐色粒子・ 褐色粒子多	良	ナデ ナデ ナデ ナデ ナデ ナデ	(口縁)ナデ ナデハケ ナデハケ ナデハケ ナデハケ ナデハケ	—	2次の被熱?	
87-11	PL59	588	3	SB3003	床	古墳前期	土師	壺?	口縁部	10%	<15.0>	—	(2.4)	(49.6)	10YR7/4 にぶい黄橙	10YR7/4 赤褐色粒子・白色 粒子・石英微	良	ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ	ハケのちミガキ ハケのちミガキ ハケのちミガキ ハケのちミガキ ハケのちミガキ ハケのちミガキ	—			
87-12	PL59	589	3	SB3003	埋土床	古墳中期	土師	甌	口縁部 ~底部	40%	<20.2>	<8.5>	24.0	(741.8)	7.5YR7/4 にぶい橙	7.5YR7/4 にぶい橙	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英・ 径3mm礫少	良	ナデ ナデ ナデ ナデ ナデ ナデ	ナデハケ ナデハケ ナデハケ ナデハケ ナデハケ ナデハケ	—	外面粘土付 着	
87-13	PL59	590	3	SB3003	埋土床	古墳前期	土師	甌	口縁部 ~胴部	20%	<23.6>	—	(13.0)	(260.7)	7.5YR7/4 にぶい黄橙	7.5YR7/4 にぶい橙	雲母微・褐色粒 子・白色粒子・石 英・径2~4mm 礫少	良	ナデ ナデ ナデ ナデ ナデ ナデ	ハケのちミガキ ハケのちミガキ ハケのちミガキ ハケのちミガキ ハケのちミガキ ハケのちミガキ	—	内外面種子 ?痕	
87-14	PL59	2229	3	SB3003	埋土	古墳	土師	土器片 加工版	胴部	—	長径 3.7	短径 2.5	厚さ 0.7	7.9	5YR5/4 にぶい赤褐	7.5YR6/6 橙	褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英 ・径3mm礫微	良	ナデ ナデ ナデ ナデ ナデ ナデ	ナデ ナデ ナデ ナデ ナデ ナデ	—		
87-1	PL59	597	3	SB3006	埋土	古墳中期	土師	環	口縁部 ~底部	80%	10.8	6.8	4.5	(159.8)	7.5YR6/6 橙	7.5YR1.7/1 黒	白色粒子・雲母・ 石英・径3mm礫 子・径3mm礫 少	良	ナデ ナデ ナデ ナデ ナデ ナデ	ナデ ナデ ナデ ナデ ナデ ナデ	ミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ	—	
87-2	PL59	598	3	SB3006	埋土	古墳中期	土師	高環	環部 ~脚部	30%	—	<7.8>	(3.2)	54.5	7.5YR6/4 脚内も同色	10YR5/2 灰黄褐	白色粒子・雲母・ 石英微・赤褐色 粒子少	良	ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ	ハケのちミガキ 黒色処理?	—		
87-3	PL59	599	3	SB3006	1層2層	古墳中期	土師	高環	環部 ~脚部	20%	—	—	(8.4)	(89.3)	7.5YR5/4 にぶい濁	7.5YR6/4 にぶい橙	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英 ・径2mm礫微	良	ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ	ハケのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ	—		
87-4	PL59	600	3	SB3006	埋土	古墳中期	土師	?	口縁部 ~胴部	—	—	—	—	12.0	7.5YR7/4 にぶい橙	7.5YR7/4 にぶい橙	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英 ・径2mm礫微	良	ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ	ハケのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ ナデのちミガキ	—		
87-5	PL59	601	3	SB3006	1層	古墳中期	土師	甌	口縁部 ~胴部	10%	<20.4>	—	(5.7)	(116.7)	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	褐色粒子・雲母・ 石英微・径2~ 4mm礫少	良	ナデ ナデ ナデ ナデ ナデ ナデ	ナデケズリ ナデケズリ	—	工具によるナデ	
87-6	PL59	2230	3	SB3006	埋土	古墳中期	土師	土器片 加工版	胴部	—	長径 5.9	短径 4.0	厚さ 0.7	25.3	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	白色粒子・雲母・ 石英・径2~5 mm礫微・赤褐 色粒子少	良	ハケ ナデ ナデ ナデ ナデ ナデ	ハケ ナデ ナデ ナデ ナデ ナデ	—		

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (脚底遺構・地点名 は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g						
92-1	PL60	617	3	SB3010	1層 2層	SB3010 1層・2層	古墳 中期	土師	口縁部 ～体部	10%	<9.8>	—	(3.3)	(22.5)	褐色粒子・白色粒 子・雲母・石英・ 径2mm礫微	良	ナデのちミガキ 摩耗	ナデのちミガキ 摩耗	—		
92-2	PL60	613	3	SB3010	1層	SB3010 1層	古墳 中期	土師	口縁部 ～底部	60%	<11.1>	3.0	4.8	(122.1)	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英 微	良	ナデ ハケのちミガキ 摩耗	ナデ ハケのちミガキ のちミミガキ 摩耗	—		
92-3	PL60	2233	3	SB3010	埋土	SB3010	古墳 中期	土師	底部	10%	—	—	—	51.0	赤褐色粒子・白色 粒子・石英・径 3mm礫微	良	はけのちミガキ 摩耗	はけのちミガキ 摩耗	—		
92-4	PL60	611	3	SB3010	埋土	SB3010 No.5	古墳 中期	土師	口縁部 ～底部	50%	<11.4>	3.1	4.1	77.3	褐色粒子・白色粒 子・雲母・石英・ 径2mm礫少	良	ナデ ナデのちミガキ 摩耗	ナデ 工具によるナデ のちミミガキ 摩耗	—		
92-5	PL60	612	3	SB3010	埋土	SB3010 No.16	古墳 中期	土師	口縁部 ～底部	100%	11.6	—	5.1	157.3	褐色粒子・白色粒 子・雲母・石英 微	良	ナデのちミガキ ハケのちミガキ ケズリのちナデ ミガキ	ナデのちミガキ ハケのちミガキ 工具痕	—	植物繊維？ 種子？圧痕	
92-6	PL60	608	3	SB3010	1層	SB3010 No.11層 SB3010	古墳 中期	土師	口縁部 ～底部	40%	<12.0>	<4.0>	5.8	101.3	褐色粒子・白色粒 子・雲母・石英 微	良	ナデのちミガキ	ナデのちミガキ	—	内面アワ？ 植物繊維？ 痕	
92-7	PL60	614	3	SB3010	埋土	SB3010 No.32	古墳 中期	土師	口縁部 ～底部	100%	11.7	3.5	4.0	133.8	褐色粒子・白色粒 子・雲母・石英 微	良	ナデのちミガキ 底部にうず巻状 痕あり	ナデのちミガキ 摩耗	—		
92-8	PL60	609	3	SB3010	埋土	SB3010 No.33	古墳 中期	土師	口縁部 ～底部	30%	<11.9>	<5.0>	4.5	50.5	褐色粒子・白色 粒子・石英 微	良	ナデ ハケのちミガキ 摩耗	ナデ ハケのちミガキ 摩耗	—		
92-9	PL60	607	3	SB3010	1層 2層	SB3010 1層・2層	古墳 中期	土師	口縁部 ～底部	80%	10.6	—	7.2	(245.9)	褐色粒子・白色 粒子・赤褐色粒 子・雲母・石英 微	良	ナデのちミガキ 摩耗	ナデのちミガキ 摩耗	—		
92-10	PL60	615	3	SB3010	埋土	SB3010 No.24	古墳 中期	土師	口縁部 ～体部	10%	<13.0>	—	(3.1)	10.2	褐色粒子・白色粒 子・雲母・石英 微	良	ナデのちミガキ ハケのちミガキ 黒色処理	ナデのちミガキ ハケのちミガキ 黒色処理	—		
92-11	PL60	618	3	SB3010	1層	SB3010 1層	古墳 中期	土師	口縁部 ～体部	10%	<15.2>	—	(4.6)	28.2	褐色粒子・石英 微・白色粒子少	良	ナデ ハケのちミガキ 摩耗不明	ナデ ハケのちミガキ 黒色処理？	—		
92-12	PL60	625	3	SB3010	2層	SB3010 2層	古墳 中期	土師	坏部	10%	<17.4>	—	(5.6)	58.2	褐色粒子・白色 粒子・石英・径2 mm礫微	良	ナデ ハケのちミガキ 摩耗	ナデ ハケのちミガキ 摩耗	—		
92-13	PL60	623	3	SB3010	2層	SB3010 No.23.No.30-1. No.30-2.2層 SB3010	古墳 中期	土師	口縁部 ～脚部	30%	<14.8>	—	(11.9)	(238.5)	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英 ・径2mm礫微	良	ナデ ハケのちミガキ (脚内)ナデ	ナデ ハケのちミガキ 摩耗	—		
92-14	PL60	622	3	SB3010	2層	SB3010 No.22.No.24.No.27. No.11.No.29-2.1層 SB3010	古墳 中期	土師	口縁部 ～脚部	70%	<16.3>	<13.5>	1.37	(522.6)	褐色粒子・白色 粒子・雲母・石 英・径2mm礫少	良	ナデのちミガキ (脚内)ハケのち ナデ	ナデのちミガキ 摩耗	—		
92-15	PL60	621	3	SB3010	1層	SB3010 No.11.No.29-2.1層	古墳 中期	土師	坏部 ～脚部	40%	—	<13.0>	(12.9)	(532.8)	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石 英・径2～4mm礫 微	良	ナデのちミガキ 摩耗	ナデのちミガキ 摩耗 たて方向のミガ キあり	—	モミ？圧痕	
92-16	PL60	619	3	SB3010	2層	SB3010 2層	古墳 中期	須恵	胴部	20%	—	—	(5.6)	64.1	白色粒子微	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—		
92-17	PL60	620	3	SB3010	1層 2層	SB3010 1層・2層	古墳 中期	土師	胴部	20%	—	—	(3.0)	33.6	赤褐色粒子・白色 粒子微	良	ミガキ摩耗	ナデ輪痕	—		
92-18	PL61	627	3	SB3010	1層	SB3010 No.28.No.29-1.1層	古墳 中期	土師	口縁部 ～脚部	60%	15.1	—	(21.1)	1231.1	褐色粒子・白色粒 子・雲母・石英 ・径2mm礫微	良	ナデのち細かい ミガキナデ	ナデ輪痕	—	モミ？圧痕	
92-19	PL60	633	3	SB3010	1層 2層	SB3010 1層・2層	古墳 中期	土師	脚部	10%	—	<12.5>	(3.7)	(66.6)	赤褐色粒子・雲母・ 石英・径2mm礫 少	良	ハケ	ハケ	—		
92-20	PL61	632	3	SB3010	1層 2層	SB3010 1層・2層	古墳 中期	土師	頸部 ～底部	30%	—	5.9	(9.1)	(273.0)	白色粒子・雲母・ 石英・径2～ 3mm礫微・赤褐 色粒子少	良	ナデ ハケのちミガキ ナデ	ナデによるナデ のちミガキ ナデ	—		

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記番号 (所属遺構・地点名は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g								
92-21	PL60	2234	3	SB3010	埋土	SB3010 No.12, No.14-2	古墳中期	土師	口縁部 ~胴部	10%	<15.8>	(9.2)	113.8	(18.9)	7.5YR6/6 橙	5YR5/6 明赤褐	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英 微、径2~6mm 礫多	良	ナデ ハケ	ハケのちナデ	-		
92-22	PL60	631	3	SB3010	1層	SB3010 No.15, No.17, 1層	古墳中期	土師	口縁部 ~胴部	20%	<18.6>	(14.7)	(333.7)	<21.0>	7.5YR7/3 にぶい橙	7.5YR7/3 にぶい橙	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英・ 径2mm礫微	良	ナデ ハケ ハケのちナデ	ナデ ハケのちナデ によるナデ によるナデ によるナデ によるナデ	-		
92-23	PL61	628	3	SB3010	1層 2層	SB3010 1層, 2層 SB3010	古墳中期	土師	口縁部 ~胴部	20%	<17.8>	(12.5)	(282.2)	<21.0>	10YR6/3 にぶい黄緑	10YR6/3 にぶい黄緑	赤褐色粒子・褐色 粒子・白色粒子・ 雲母・石英・径 2mm礫少	良	工具によるナデ 摩擦 輪磨痕	工具によるナデ 輪磨痕	-	外面 種子圧痕	
92-24	PL61	629	3	SB3010	1層 2層	SB3010 No.9, No.13, No.14-1, No.14-2, 1層, 2層	古墳中期	土師	口縁部 ~胴部	50%	13.3	(20.9)	(975.1)	16.6	10YR4/2 灰黄褐	10YR5/3 にぶい黄緑	褐色粒子・白色 粒子・石英・径 2~8mm礫少	良	ナデ 工具によるナデ 輪磨痕	ナデ 工具によるナデ によるナデ によるナデ	-		
92-25	PL60	2231	3	SB3010	1層	SB3010 1層	古墳中期	土師 加工板	胴部	-	長さ 6.2 短径 4.8	厚さ 0.7	30.8	-	7.5YR6/4 にぶい橙	10YR4/3 にぶい黄緑	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母	良	ハケのちミガキ	ハケのちナデ	-		
92-26	PL60	2232	3	SB3010	1層	SB3010 1層	古墳後期	土師 加工板	胴部	-	長さ 8.3 短径 7.0	厚さ 1.0	67.7	-	5YR6/6 明赤褐	10YR6/2 灰黄褐	白色粒子・石英・ 径2~4mm礫 微、褐色粒子少	良	ハケのちナデ 剥離	ハケのちナデ	-		
93-27	PL61	630	3	SB3010	1層 2層	SB3010 No.7, No.8, No.10, No.17, P.1, 1層, 2層, 磨溝 SB3010	古墳中期	土師	口縁部 ~底部	30%	18.8 <10.2>	29.5	(1196.2)	<25.8>	7.5YR4/2 灰褐	10YR5/2 灰黄褐	雲母・石英・径 2~3mm礫少、 赤褐色粒子・白色 粒子多	良	ナデ ハケ ケズリ ケズリ によるナデ によるナデ によるナデ	ナデ ハケ ケズリ によるナデ によるナデ によるナデ	-		
93-28	PL61	626	3	SB3010	1層 2層	SB3010 No.2, No.3, No.14-1, 1層, 2層 SB3010	古墳中期	土師	口縁部 ~底部	30%	<24.4>	(22.2)	(754.4)	-	10YR5/4 にぶい黄緑	10YR5/4 にぶい黄緑	褐色粒子・白色 粒子・石英・径 2~8mm礫少	良	工具によるナデ ナデ	工具によるナデ ナデ	-		
94-1	PL62	643	3	SB3015	埋土	SB3015 灰下, P.1	古墳中期	土師	口縁部 ~底部	40%	12.4	4.4	(103.7)	-	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	赤褐色粒子・白 色粒子・石英 微、褐色粒子・径 2mm礫少	良	ナデ? 摩擦	ミガキ? 摩擦	-		
94-2	PL62	644	3	SB3015	埋土	SB3015 No.1 SB3015	古墳中期	土師	口縁部 ~底部	30%	<14.8>	(6.3)	(78.9)	-	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	褐色粒子・白色 粒子・石英・径 2mm礫微	良	ナデ 摩擦	ナデのちミガキ 摩擦	-		
94-3	PL62	646	3	SB3015	埋土	SB3015 灰下 SB3015	古墳中期	土師	高坏 高坏	10%	<17.0>	(6.2)	(63.2)	-	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・径2 mm礫微	良	ハケのちミガキ 摩擦	ハケのちミガキ 摩擦	-		
94-4	PL62	645	3	SB3015	埋土	SB3015 No.1 SB3015 v k13 南 ^ハ TR	古墳中期	土師	高坏	70%	18.2 <13.0>	14.6	(593.7)	-	7.5YR6/4 にぶい橙	5YR6/6 橙	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石 英・径2~3mm 礫微	良	ハケのちミガキ 摩擦 (脚内)ナデ 当て具痕	ハケのちミガキ 摩擦	-		
94-5	PL62	647	3	SB3015	埋土	SB3015 No.2-1, No.2-2, 灰下	古墳中期	土師	口縁部 ~頸部	10%	<17.0>	(4.9)	113.5	-	10YR6/3 にぶい黄緑	10YR6/3 にぶい黄緑	雲母・石英・径 4mm礫少	良	ハケのちナデ 工具によるナデ か?	ハケのちナデ	-		
95-1	PL62	650	3	SB3016	Ⅲ層	SB3016 V K3 Ⅲ層	古墳前期	土師	高坏	20%	<19.9>	(5.8)	(96.8)	-	10YR5/3 にぶい黄緑	5YR4/4 にぶい赤褐	白色粒子・雲母・ 石英・径2mm礫 微、赤褐色粒子少	良	ミガキ 摩擦	ミガキ 摩擦	外/内	種子圧痕	
95-2	PL62	648	3	SB3016	埋土	V K3	古墳前期	土師	接合部 ~胴部	10%	-	(4.3)	61.7	-	5YR5/6 明赤褐	5YR6/4 にぶい橙	白色粒子・雲母・ 石英・径2~6 mm礫微、赤褐 色粒子少	良	ハケのちミガキ 剥離 丸ヌカシ3ヶ所 (脚内)ナデ 工具痕	ハケのちナデ?	外/内		
95-3	PL62	655	3	SB3016	埋土	SB3016	古墳前期	土師	口縁部 ~頸部	30%	14.3	(6.7)	267.8	-	7.5YR7/4 にぶい橙	7.5YR5/1 褐灰	雲母・径2~3 mm礫微、赤褐 色粒子・石英・ 白色粒子多	良	ハケのちナデ? 摩擦 ナデ? 摩擦	ミガキ 摩擦 不明	-		

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)					時期	口径 cm	底径 cm	器高 cm								
99-1	PL63	697	3	SB3021	埋土床	SB3021 No.9.床	古墳 後期	土師	口縁部 ~底部	40%	<12.8>	-	(4.9)	(190.3)	-	10YR6/4 にぶい黄緑	10YR2/1 黒	白色粒子・雲母 微、赤褐色粒子 少	良	ハケのちミガキ 黒色処理	-	
99-2	PL63	693	3	SB3021	埋土床	SB3021 No.10.床	古墳 後期	土師	口縁部 ~底部	40%	<14.0>	<8.5>	(4.8)	(238.0)	-	10YR6/4 にぶい黄緑	10YR2/1 黒	白色粒子・雲母・ 石英微、赤褐色 粒子少	良	ハケのちミガキ 黒色処理	-	
99-3	PL63	694	3	SB3021	床	SB3021 床	古墳 後期	土師	口縁部 ~底部	20%	<14.6>	<7.8>	3.5	27.0	-	7.5YR5/6 明褐色	7.5YR2/1 黒	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英 微	良	ナデ? 摩耗不明	-	
99-4	PL63	695	3	SB3021	埋土	SB3021 No.22	古墳 後期	土師	口縁部 ~底部	10%	<15.6>	<8.4>	2.5	19.9	-	7.5YR6/6 橙	7.5YR2/1 黒	赤褐色粒子・白色 粒子・石英微	良	ハケのちミガキ 黒色処理	-	
99-5	PL63	698	3	SB3021	埋土	SB3021 No.9	古墳 後期	土師	口縁部 ~底部	10%	<13.6>	-	(3.5)	31.2	-	5YR7/6 橙	N2/0 黒	赤褐色粒子・白色 粒子・石英微	良	ハケのちミガキ 黒色処理	-	
99-6	PL63	696	3	SB3021	埋土	SB3021 No.29.47 ⁺	古墳 後期	土師	口縁部 ~底部	30%	<14.0>	<11.3>	(4.6)	(176.0)	-	10YR6/4 にぶい黄緑	10YR6/3 にぶい黄緑	白色粒子・雲母・ 石英微	良	ハケのちミガキ 黒色処理	-	
99-7	PL63	692	3	SB3021	埋土床	SB3021 No.3.No.4.No.9.47 ⁺ 床	古墳 後期	土師	口縁部 ~底部	80%	14.6	8.5	4.8	(283.0)	-	10YR6/3 にぶい黄緑	10YR6/2 灰黄褐	赤褐色粒子・雲母 微、白色粒子・石 英少	良	ナデのちミガキ 黒色処理	-	
99-8	PL63	2239	3	SB3021	埋土	SB3021	古墳 後期	土師	口縁部 ~底部	10%	<11.7>	-	(3.9)	29.4	-	5YR6/6 明赤褐	5YR6/6 橙	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英・ 径2mm礫	良	ミガキ 摩耗	-	
99-9	PL63	701	3	SB3021	埋土	SB3021 No.17	古墳 後期	土師	口縁部 ~底部	20%	<15.0>	-	(7.1)	55.2	<15.0>	7.5YR5/3 にぶい褐	10YR5/3 にぶい黄緑	褐色粒子・白色粒 子・雲母・石英・ 径2~4mm礫	良	ハケのちナデ 摩耗	-	
99-10	PL63	2240	3	SB3021	埋土	SB3021	古墳 後期	土師	口縁部 ~底部	10%	<20.6>	-	(6.1)	(94.0)	-	10YR7/2 にぶい黄緑	10YR7/4 にぶい黄緑	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英・ 径2mm礫	良	ハケのちナデ 摩耗	-	
99-11	PL63	700-1	3	SB3021	埋土床	SB3021 床	古墳 後期	土師	口縁部 ~底部	10%	<12.0>	-	(8.6)	(68.8)	<15.0>	10R6/6 赤褐	N2/0 黒	赤褐色粒子・白色 粒子・石英・径2 ~5mm礫	良	ナデ 摩耗	-	
99-12	PL63	699	3	SB3021	床	SB3021 床	古墳 後期	土師	口縁部 ~底部	10%	<23.1>	-	(6.3)	56.9	-	N2/0 黒	N2/0 黒	白色粒子・雲母・ 石英・径2mm礫	良	ハケのちミガキ 黒色処理	-	
99-13	PL63	691	3	SB3021	埋土	SB3021	古墳 後期	土師	脚部	30%	-	<12.8>	(7.6)	(154.4)	-	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR5/4 にぶい褐	白色粒子・雲母・ 石英微	良	タテミガキ (脚内)ハケ状 工具によるナデ 絞り痕あり	-	
99-14	PL63	688	3	SB3021	埋土	SB3021 No.9	古墳 後期	土師	脚部 ~底部	20%	-	4.0	(6.4)	162.4	-	10YR7/3 にぶい黄緑	10YR7/3 にぶい黄緑	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英 微	良	ナデ 強い指ナデ	-	
99-15	PL63	690 -1-2	3	SB3021	埋土	SB3021 No.54.No.36.No.39, No.42	古墳 後期	土師	頸部 ~胸部 ~底部	20%	-	10.1	<18.1> <12.2>	(716.9) (586.7)	<31.2>	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR6/4 にぶい褐	雲母・石英微、 赤褐色粒子・径2 ~5mm礫少、白 色粒子多	良	ミガキ 剥離 摩耗 ナデ 摩耗不明	-	2次時被熱?
99-16	PL63	684	3	SB3021	埋土床 床下	SB3021 No.3.No.23. 47 ⁺ 床下.P7	古墳 後期	土師	口縁部 ~脚部	20%	<17.6>	-	(13.4)	(449.4)	-	5YR5/4 にぶい赤褐	7.5YR5/4 にぶい褐	赤褐色粒子・白 色粒子・石英微、 径2~5mm礫	良	ハケのちナデ 工具によるナデ	-	
99-17	PL63	686	3	SB3021	埋土	SB3021 No.26.47 ⁺	古墳 後期	土師	口縁部 ~脚部	10%	<16.8>	-	(16.5)	(275.9)	-	7.5YR6/6 橙	7.5YR5/6 明褐	赤褐色粒子・白色 粒子・石英・径2 ~3mm礫	良	ナデ 工具によるナデ 輪痕痕	-	外面粘土付 着
99-18	PL63	687	3	SB3021	埋土	SB3021 No.30.No.38.No.39, 47 ⁺	古墳 後期	土師	口縁部 ~底部	40%	<15.4>	<7.4>	(22.6)	(948.4)	<17.0>	7.5YR4/4 褐	7.5YR3/1 黒褐	赤褐色粒子・白 色粒子・石英微、 径2~5mm礫	良	ハケのちナデ 工具によるナデ	-	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考		
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm									重量 g	胴部 最大径 cm
99-19	PL63	685	3	SB3021	埋土	SB3021 No.2 SB3021	古墳 後期	土師	甕	口縁部 ～胴部	40%	—	(21.7)	1443.7	<19.4>	10YR3/3 暗褐	10YR5/4 にぶい黄褐色	褐色粒子・白色 粒子・石英・径2 ～4mm 礫	良	ハケのちナデ ハケ	—	—	焼成後穿孔 粘土付着	
99-20	PL63	683	3	SB3021	埋土	SB3021 No.15, No.28, No.32, No.33, No.34, 軒下	古墳 後期	土師	甕	口縁部 ～底部	90%	6.5	34.7	(3100.0)	200	10YR5/3 にぶい黄褐色	10YR2/1 黒	赤褐色粒子・石英・ 径3mm 礫 微、白 色粒子少	良	回転ナデ ケズリのちナデ 化粧土? ナデ ケズリ? 底部工具痕	回転ナデ ハケのちナデ	—	—	—
99-21	PL63	689	3	SB3021	埋土	SB3021 No.21	古墳 後期	土師	ミニ チュア	口縁部 ～底部	100%	3.3	3.1	31.9	—	10YR5/2 灰黄緑	10YR5/1 褐灰	白色粒子・雲母・ 石英・径3mm 礫 微	良	ハケのちタテナ デ (工具?) 底部ケズリ ケズリ	ヨコナデ 底部 工具痕?	—	—	—
102-1	PL64	760	3	SB3026	埋土	SB3026 No.1	古墳 後期	須恵	壺	胴部 ～胴部	10%	—	(8.2)	(337.6)	<14.7>	7.5Y2/1 黒	7.5YR6/4 にぶい黄褐色	石英微、白色粒 子少	良	回転ナデ 回転ケズリ ナデのちケズリ	回転ナデ	—	—	—
102-2	PL64	759	3	SB3026	埋土 床	SB3026 SB3026 床	古墳 後期	土師	環?	口縁部 ～底部	20%	—	(3.9)	(45.9)	—	7.5YR6/4 にぶい黄褐色	7.5YR6/4 にぶい黄褐色	白色粒子・雲母・ 石英・径2～3 mm 礫 微、赤褐 色粒子少	良	ナデのちミガキ ? 摩擦不明 ケズリのちミガ キ 摩擦	ナデのちミガキ ? 摩擦不明	—	—	—
102-3	PL64	754	3	SB3026	埋土	SB3026 No.6, No.7, 軒下	古墳 後期	土師	環	口縁部 ～底部	60%	—	6.1	(288.2)	—	7.5YR7/4 にぶい黄褐色	7.5YR7/4 にぶい黄褐色	赤褐色粒子・雲母・ 石英・径2～6 mm 礫 微、白色 粒子少	良	ナデのちミガキ 摩擦 ケズリのちミガ キ 摩擦	ナデのちミガキ 摩擦	—	—	内面底部 爪圧痕?
102-4	PL64	756	3	SB3026	埋土	SB3026 No.4	古墳 後期	土師	鉢	口縁部 ～底部	30%	—	(9.2)	140.1	<14.0>	N2/0 黒	7.5YR6/4 にぶい黄褐色	赤褐色粒子・雲母 微、白色粒子・石 英・径2～3 m m 礫 少	良	ハケのちミガキ 摩擦 工具痕 ケズリのちミガ キ	ハケのちミガキ 摩擦 工具痕 黒色処理	—	—	—
102-5	PL64	757	3	SB3026	埋土	SB3026	古墳 後期	土師	鉢	口縁部 ～底部	10%	—	(7.5)	55.2	—	N2/0 黒	N2/0 黒	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石 英微、石英 黒色処理	良	ハケのちミガキ 摩擦 ケズリのちミガ キ 摩擦	ハケのちミガキ 摩擦 黒色処理	—	—	—
102-6	PL64	758	3	SB3026	埋土	SB3026	古墳 後期	土師	鉢	底部 ～底部	20%	—	(3.1)	(95.7)	—	N2/0 黒	N2/0 黒	赤褐色粒子・石 英・径2～3 mm 礫 微、白色粒子少	良	ミガキ 摩擦 黒色処理?	ミガキ 摩擦 黒色処理	—	—	—
102-7	PL64	753	3	SB3026	埋土	SB3026 No.9	古墳 後期	土師	鉢	口縁部 ～底部	90%	—	11.5	474.0	14.4	7.5YR7/8 黄緑	7.5YR7/4 にぶい黄褐色	赤褐色粒子・白 色粒子・石英微、 径2～3 mm 礫 少	良	回転ナデ ケズリ	回転ナデ	—	—	—
102-8	PL64	751	3	SB3026	埋土	SB3026 No.10	古墳 後期	土師	甕	口縁部 ～底部	100%	6.8	9.3	502.2	—	10YR7/3 にぶい黄褐色	10YR7/3 にぶい黄褐色	赤褐色粒子・雲母・ 石英・径2～3 mm 礫 微、白色 粒子少	良	回転ナデ ケズリ 摩擦 ケズリ	回転ナデ 工具によるナデ	—	—	—
102-9	PL64	752	3	SB3026	埋土	SB3026 No.11	古墳 後期	土師	土師 台付甕	口縁部 ～胴部	90%	9.3	15.5	800.0	12.3	5YR5/4 にぶい赤褐色	7.5YR3/1 黒褐	赤褐色粒子 微、 白色粒子少、石 英・径2～3mm 礫 多	良	ナデ 剥離 ケズリ ケズリ 工具によるナデ (脚内) ナデ	ナデ ケズリのちミガ キ	—	—	—
102-10	PL64	750	3	SB3026	埋土	SB3026 No.17	古墳 後期	土師	甕	口縁部 ～底部	100%	6.0	17.8	969.5	14.9	7.5YR4/4 褐	7.5YR7/4 にぶい黄褐色	赤褐色粒子・白色 粒子少、石英・ 径2～4 mm 礫 多	良	回転ナデ ケズリ	回転ナデ 指ナデ	—	—	—
102-11	PL64	749	3	SB3026	埋土	SB3026 No.18	古墳 後期	土師	甕	口縁部 ～底部	90%	—	27.7	(1482.6)	13.8	7.5YR4/4 褐	7.5YR6/6 橙	白色粒子 微、赤褐 色粒子・径2～3 mm 礫 少、石英多	良	ハケのちナデ 輪軸痕 ケズリ ケズリのちミガ キ 底部 ケズリ? 工具痕? 圧痕?	ハケのちナデ 輪軸痕 工具によるナデ	—	—	—
102-12	PL64	747	3	SB3026	埋土	SB3026 No.15	古墳 後期	土師	甕	口縁部 ～底部	90%	4.3	34.6	1960.0	18.6	10YR4/2 灰黄緑	10YR3/1 黒褐	赤褐色粒子 微、 白色粒子・石 英・径2～4mm 礫 少	良	回転ナデ ナデ ケズリ	回転ナデ 工具によるナデ 輪軸痕	—	—	外面粘土付 着

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	内面着色	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記番号 (所属遺構・地点名は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm									
102-13	PL65	746	3	SB3026	埋土	SB3026 No.13, No.14, 灰下周辺	古墳後期	土師	口縁部～底部	70%	<20.1>	5.1	34.5	(2000.0)	<16.7>	7.5YR6/3 灰	7.5YR6/3 灰	赤褐色粒子・石英微、白色粒子少、径2～4mm 礫多	良	ナデ？ 摩耗 回転ナデ タテ方向のケズリ部分的に粘土付着	回転ナデ	—	
102-14	PL65	748	3	SB3026	埋土	SB3026 No.16, 灰下周辺	古墳後期	土師	口縁部～底部	90%	19.6	7.1	36.4	3220.0	17.8	7.5YR7/4 灰	7.5YR7/4 灰	白色粒子・径2mm 礫少、赤褐色粒子・石英多	良	回転ナデ ケズリ 底面ナデ？ 工具によるナデハテ	回転ナデ 工具によるナデ	—	
102-15	PL65	755	3	SB3026	埋土	SB3026 No.3, No.13, 灰下周辺	古墳後期	土師	口縁部～底部	40%	<20.8>	<6.4>	<36.2>	(1489.3)	<19.4>	5YR5/6 明赤褐	5YR6/6 灰	褐色粒子・白色粒子・雲母微、石英少、径2～3mm 礫多	良	ナデ ケズリ	ナデ 工具によるナデ 輪痕	—	
103-1	PL65	867	3	SB3054	1層	SB3054 1層 No.1	古墳前期	土師	口縁部～底部	40%	<18.2>	<4.4>	7.0	(187.7)	—	7.5YR6/6 灰	7.5YR6/6 灰	白色粒子・雲母・石英・径3mm 礫微、赤褐色粒子少	良	摩耗 ナデのちミガキ ケズリのちミガキ	摩耗 ハケのちミガキ	—	
106-1	PL65	1805	3	SB3062	埋土	SB3062	古墳中期	須恵	口縁部	5%	<13.9>	—	(2.6)	4.7	—	N5/0 灰	N5/0 灰	白色粒子 微	良	回転ナデ 自然釉？	回転ナデ	—	
106-2	PL65	1789	3	SB3062	埋土	SB3062 No.4	古墳中期	土師	ツマミ部～体部	50%	—	—	(2.1)	83.4	—	5YR5/6 明赤褐	5YR5/6 明赤褐	赤褐色粒子 微、白色粒子・石英・径2mm 礫少	良	ナデ ケズリのちミガキ 摩耗	ナデ 工具によるナデ 摩耗	—	
106-3	PL65	1788	3	SB3062	埋土	SB3062 No.3	古墳中期	土師	口縁部～底部	100%	12.9	—	5.7	239.2	—	N2/0 黒	N2/0 黒	赤褐色粒子・雲母・径2mm 礫微、白色粒子・石英少	良	ハケのちミガキ 摩耗	ミガキ 摩耗 黒色処理	—	
106-4	PL65	1799	3	SB3062	埋土	SB3062 No.5, No.54, 灰下、灰	古墳中期	土師	口縁部～底部	30%	<13.1>	—	5.6	(79.2)	—	10YR7/3 灰	10YR7/3 灰	雲母・径2mm 礫微、赤褐色粒子・石英少	良	ナデのちミガキ 摩耗 ケズリのちミガキ ナデ 摩耗	ナデのちミガキ 摩耗 ミガキ 摩耗	—	
106-5	PL65	1796	3	SB3062	埋土	SB3062 No.2, 灰	古墳中期	土師	口縁部～底部	90%	13.8	—	5.2	(198.9)	—	5YR7/6 灰	5YR6/6 灰	雲母・石英・径2mm 礫微、赤褐色粒子・白色粒子少	良	ナデのちミガキ 摩耗 ケズリのちミガキ ナデ 摩耗	ナデのちミガキ 摩耗	—	
106-6	PL65	1800	3	SB3062	埋土	SB3062	古墳中期	土師	口縁部～体部	10%	<13.5>	—	(4.0)	45.7	—	7.5YR6/4 灰	7.5YR6/4 灰	赤褐色粒子・雲母・石英少	良	ナデ ケズリのちミガキ 摩耗	ナデ ミガキ 摩耗	—	
106-7	PL65	1798	3	SB3062	埋土	SB3062 No.5	古墳中期	土師	高坏	10%	—	—	(5.5)	(70.5)	—	7.5YR7/6 灰	7.5YR6/4 灰	雲母・石英微、赤褐色粒子・白色粒子少	良	ハケのちミガキ 摩耗 ハケのちナデ？ 摩耗	ハケのちミガキ 摩耗	—	
106-8	PL65	1794	3	SB3062	埋土	SB3062	古墳中期	土師	高坏	10%	—	—	(4.3)	25.2	—	(脚内) 7.5YR6/6 灰	(脚内) 7.5YR6/6 灰	赤褐色粒子・白色粒子・径2mm 礫微、石英少	良	剥離 ミガキ 摩耗 ミガキ 摩耗 (脚内) ナデ？ 摩耗不明 (脚内) ナデ？ 摩耗不明	—		
106-9	PL65	1790	3	SB3062	埋土	SB3062 No.7	古墳中期	土師	高坏	10%	—	<12.9>	(4.9)	35.8	—	7.5YR8/3 浅黄褐	(脚内) 7.5YR7/4 灰	白色粒子・雲母・石英微、赤褐色粒子少	良	ミガキ？ 摩耗不明 (脚内) ナデ？ 摩耗不明	—		
106-10	PL65	1795	3	SB3062	埋土	SB3062 灰下、No.6, No.7, 灰	古墳中期	土師	口縁部～底部	90%	12.2	—	7.1	(242.1)	12.8	5YR4/6 赤褐	5YR6/6 灰	赤褐色粒子・雲母・径2mm 礫微、白色粒子・石英少	良	ハケのちミガキ 摩耗	ミガキ？ 剥離 摩耗	—	
106-11	PL65	1802	3	SB3062	埋土	SB3062 P6, TR, SB3062	古墳中期	土師	口縁部～底部	60%	13.3	—	7.0	(258.5)	—	N2/0 黒	N2/0 黒	赤褐色粒子・雲母・石英・径2mm 礫微、白色粒子少	良	ナデのちミガキ 摩耗 ケズリのちミガキ ナデ 摩耗	ナデのちミガキ 摩耗 ミガキ 摩耗 黒色処理	—	
106-12	PL65	1793	3	SB3062	埋土	SB3062 灰下、No.4	古墳中期	土師	口縁部～底部	70%	<14.9>	—	7.6	197.1	—	7.5YR5/4 灰	N3/3 暗灰	雲母・石英微、白色粒子・径2～3mm 礫微、白色粒子少	良	ココミガキ ハケのちココミガキ ナデのちココミガキ ナデ 摩耗	ハケのちココミガキ ナデ ミガキ 黒色処理	—	
106-13	PL66	1786	3	SB3062	埋土	SB3062 灰下、No.10, SB3062	古墳中期	土師	口縁部～胴部	30%	<14.8>	—	(12.6)	(87.5)	—	10YR6/2 灰黄褐	10YR6/2 灰黄褐	赤褐色粒子・雲母・石英・径2～3mm 礫微、白色粒子少	良	ナデ 工具によるナデ ケズリのちミガキ一部 ケズリか	ナデ 工具によるナデ ケズリ ヘラミガキ？	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (所属遺構・地点名は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g								
106-14	PL65	1801	3	SB3062	埋土	SB3062 No.46 SB3062	古墳 中期	土師	腹部 ~底部	10%	—	4.3	(10.0)	(326.2)	—	5YR5/4 にぶい黄褐色	10YR5/2 灰黄褐色	赤褐色粒子・白色 粒子・石英・径2 径2mm礫多	良	ナズ ケズリ	ナズ? 摩耗不明	—	
106-15	PL66	1783	3	SB3062	埋土	SB3062 No.31, No.32, No.33, No.34, No.37, No.38, No.40, No.42, No.49, ホド, TR, PG, 枡, 3a, 1 椀下	古墳 中期	土師	口縁部 ~腹部	40%	<21.8>	—	(25.6)	(2180.0)	<34.3>	7.5YR6/6 褐色	7.5YR7/3 にぶい褐色	赤褐色粒子・白色 粒子・石英・径2 ~4mm礫少	良	ナズ ハケのちミガキ キ 摩耗	ナズのちミガキ 剥離 工具 (ハケ?) に よるナズ 輪痕痕	—	
106-16	PL66	1782	3	SB3062	埋土	SB3062 No.51, P6No.1 SB3062	古墳 中期	土師	口縁部 ~底部	80%	<23.1>	8.2	20.0	(1438.7)	—	10YR6/2 灰黄褐色	10YR6/2 灰黄褐色	赤褐色粒子・石英 微、白色粒子少	良	回転ナズ 工具によるナズ ハケのちヘラミ ガキ	ハケのち工具に よるナズ ミガキ? 摩耗	—	内外面ミミ 痕
106-17	PL66	1797	3	SB3062	埋土	SB3062 No.8, P6No.6	古墳 中期	土師	口縁部 ~頸部	10%	17.0	—	(5.1)	454.2	—	5YR6/6 褐色	5YR5/8 明赤褐色	雲母・石英微、 赤褐色粒子・径2 ~3mm礫少、白 色粒子多	良	ハケのちミガキ ? 摩耗	ハケのちナズ ハケのちナズ	—	内面粘土? 付着
106-18	PL66	1785	3	SB3062	埋土	SB3062 P5No.1, No.6No.16, No.23, No.26, P7No.1, P7, TR SB3062	古墳 中期	土師	口縁部 ~腹部	10%	<25.6>	—	(14.8)	(517.5)	<26.4>	7.5YR7/3 にぶい褐色	7.5YR6/4 にぶい褐色	雲母・石英微、 赤褐色粒子・白色 粒子・径2mm礫 少	良	ミガキ? 摩耗 ハケのちナズ? 摩耗	ミガキ? 摩耗 ハケのちナズ? 摩耗	—	
106-19	PL66	1791	3	SB3062	埋土	SB3062 ホド 支脚	古墳 中期	土師	—	100%	最大径 5.0	最小径 4.3	13.2	372.8	—	7.5YR6/4 にぶい褐色	5YR5/6 明赤褐色	褐色粒子・白色粒 子・雲母・石英 微、径2~3mm 礫少	良	ハケのちナズ (底部内面) ナズ	—	—	外面粘土付 着 外面上部付 着物
106-20	PL66	1792	3	SB3062	埋土	SB3062 ホド ミユア	古墳 中期	土師	口縁部 ~底部	100%	4.7	1.8	2.8	26.5	—	7.5YR6/3 にぶい褐色	7.5YR6/4 にぶい褐色	赤褐色粒子・石英 ・径2mm礫微、 白色粒子少	良	ナズ 剥離	ナズ 剥離	—	内面2次的 被熱?
106-21	PL66	1803	3	SB3062	埋土	SB3062 土器片 加工板	古墳 中期	土師	腹部	—	長さ 6.2	短径 3.9	厚さ 0.8	24.5	—	10YR7/3 にぶい黄褐色	10YR4/1 褐色	雲母・石英微、 赤褐色粒子少、 白色粒子多	良	ハケのちミガキ 不明	ナズ 摩耗不明	外	
107-22	PL66	1784	3	SB3062	埋土	SB3062 No.20.1 椀 下	古墳 中期	土師	口縁部 ~底部	80%	14.1	6.5	23.0	(1067.1)	18.4	10YR7/2 にぶい黄褐色	10YR6/4 にぶい黄褐色	赤褐色粒子・雲母 微、白色粒子・石 英・径2~4mm 礫少	良	ナズ ケズリのち工具 によるナズ 摩耗 ケズリ 摩耗 輪痕痕	ナズ 工具によるナズ 輪痕痕	—	
107-23	PL66	1780	3	SB3062	埋土 床	SB3062 No.50, TR, SB3062	古墳 中期	土師	口縁部 ~底部	90%	16.8	5.7	6.1	(1990.7)	21.2	10YR6/3 にぶい黄褐色	10YR7/3 にぶい黄褐色	赤褐色粒子微、 白色粒子・径2 ~3mm礫少	良	ハケのちナズ ハケ ナズ ナズ	ハケのちナズ ハケ ナズ ナズ	—	
107-24	PL66	1781	3	SB3062	埋土	SB3062 No.48	古墳 中期	土師	口縁部 ~底部	70%	<16.8>	5.1	30.9	(1696.4)	22.2	7.5YR6/4 にぶい褐色	7.5YR5/3 にぶい褐色	赤褐色粒子・石英 少、白色粒子・径 2~3mm礫多	良	ナズ ハケのちナズ 摩耗 ケズリ 摩耗 輪痕痕	ナズ 工具によるナズ 摩耗輪痕痕	—	
110-1	PL65	1807	3	SB3064	埋土	SB3064 P2 SB3064	古墳 前期	土師	口縁部 ~頸部	10%	<18.9>	—	(4.5)	83.6	—	7.5YR7/4 にぶい褐色	7.5YR6/4 にぶい褐色	赤褐色粒子・雲母・ 石英・径2mm 礫微、白色粒子 少	良	ハケのちナズ ハネ	ハケのちナズ ナズ 摩耗	—	
111-1	PL67	890	4	SB4001	1層	SB4001 1層	古墳 前期	土師	口縁部 ~体部	20%	<17.9>	—	(4.9)	19.0	—	10YR7/2 にぶい黄褐色	10YR7/3 にぶい黄褐色	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英 微	良	ナズのちミガキ ? 摩耗 ケズリのちミガ キ	ナズのちミガキ? ハケナズ?のち ミガキ 剥離	—	
111-2	PL67	893	4	SB4001	1層	SB4001 1層	古墳 前期	土師	器受部	20%	9.3	—	(1.9)	(54.8)	—	2.5YR6/6 褐色	7.5YR4/2 灰褐色	褐色粒子・白色粒 子・雲母・石英・ 径2mm礫微	良	ミガキ 剥離	ミガキ 剥離	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考	
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (所属遺構・地点名は省略)						口径 cm	底径 cm	高さ cm	重量 g								胴部最大径 cm
111-3	PL67	892	4	SB4001	1層	SB4001 1層	古墳前期	土師	器台	器受部	20%	9.5	-	(2.0)	(60.4)	-	5YR5/6 明赤褐	7.5YR4/2 灰褐	赤褐色粒子・雲母・石英・径2mm礫微、白色粒子少	良	ミガキ 摩耗	-	
111-4	PL67	891	4	SB4001	1層	SB4001 1層	古墳前期	土師	器台	脚部	10%	-	<11.8>	-	29.8	-	5YR6/6 橙	7.5YR6/4 にぶい橙	褐色粒子・白色粒子・雲母・径2mm礫微、石英少	良	-	-	
111-5	PL67	2238	4	SB4001	1層	SB4001 1層	古墳前期	土師	壺?	胴部 ~底部	10%	-	2.0	(3.1)	26.8	-	7.5YR7/3 にぶい橙	7.5YR7/3 にぶい橙	褐色粒子・白色粒子・石英・径2~3mm礫微、赤褐色粒子少	良	ハケのちミガキ 摩耗	-	
111-6	PL67	889	4	SB4001	1層	SB4001 1層	古墳前期	土師	甕	口縁部 ~胴部	10%	-	<16.8>	-	58.5	-	10YR4/1 褐灰	10YR4/1 褐灰	褐色粒子・石英ハケのちナデ 摩耗 ナデケズリ? 摩耗	良	ナデ 摩耗	-	
113-1	PL67	897	4	SB4002	埋土	SB4002	古墳前期	土師	高坏?	口縁部 ~体部	10%	-	<16.8>	-	11.6	-	2.5YR3/4 暗赤褐	10YR4/8 赤	赤褐色粒子・白色粒子微、石英少	良	ハケのちミガキ 摩耗	外/内	
113-2	PL67	895	4	SB4002	1層 2層	SB4002 1層 No.2,2層 No.6 SB4002	古墳前期	土師	台付甕	口縁部 ~胴部	60%	-	<14.4>	-	(626.6)	-	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	赤褐色粒子・雲母・白色粒子・石英・径2~4mm礫多	良	細かいハケ 摩耗? ナデ? 剝離	-	
113-3	PL67	896	4	SB4002	2層	SB4002 2層 No.7	古墳前期	土師	台付甕	胴部 ~脚部	20%	-	<8.3>	-	(257.8)	-	5YR6/4 にぶい橙	5YR6/4 にぶい橙	白色粒子・石英・径2~3mm礫微、赤褐色粒子・褐色粒子少	良	ハケ 摩耗 (脚内) ナデ 輪磨痕 摩耗	-	
113-4	PL67	898	4	SB4002	1層	SB4002 1層 No.11	古墳前期	土師	鉢	口縁部 ~底部	100%	9.8	5.6	5.9	153.3	-	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	白色粒子・石英・径2~3mm礫微、赤褐色粒子多	良	ナデ 輪磨痕 指押さえ	-	
113-5	PL67	894	4	SB4002	1層 2層	SB4002 1層 No.16, No.17, No.19, 2層 No.10 SB4002	古墳前期	土師	壺	口縁部 ~胴部	20%	-	<15.9>	-	(1456.3)	-	7.5YR6/4 にぶい橙	10YR5/1 褐灰	石英微、赤褐色粒子・白色粒子・雲母・径2~3mm礫少	良	ナデ 摩耗	-	
114-1	PL67	2340	4	SB4003	埋土	SB4003P3	古墳前期	土師	器台	口縁部 ~体部	10%	<8.6>	-	(1.9)	16.4	-	7.5YR7/3 にぶい黄橙	7.5YR6/3 石英少、白色粒子多	赤褐色粒子微	やや不良	ミガキ 摩耗	-	
114-2	PL67	2336	4	SB4003	埋土	SB4003	古墳前期	土師	高坏?	脚部	10%	-	<8.8>	-	12.5	-	7.5YR7/3 にぶい橙	7.5YR7/3 にぶい橙	赤褐色粒子微	やや不良	ナデハケ 摩耗 剝離不明	外	外面二次的 被熱?
114-3	PL67	2338	4	SB4003	埋土	SB4003No.6	古墳前期	土師	壺	胴部 ~底部	20%	-	2.9	(3.8)	110.1	-	2.5Y7/3 浅黄	2.5Y7/2 灰黄	雲母・径2mm礫微、白色粒子・赤褐色粒子少、石英多	良	ハケのちミガキ 摩耗	外	
114-4	PL67	2339	4	SB4003	埋土	SB4003No.13, SB4003	古墳前期	土師	壺	口縁部 ~底部	80%	9.8	3.5	12.2	320.3	-	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR7/4 にぶい橙	白色粒子・石英・径2~3mm礫少、赤褐色粒子多	やや不良	ハケのちミガキ 摩耗	-	
114-5	PL67	2335	4	SB4003	埋土	SB4003	古墳前期	土師	甕	頸部 ~胴部	-	-	-	-	11.5	-	7.5YR5/2 灰褐	10YR6/3 にぶい黄橙	赤褐色粒子・石英・雲母微、白色粒子少	良	脚部被状文	-	
114-6	PL67	2337	4	SB4003	埋土	SB4003No.2	古墳前期	土師	台付甕	接合部	10%	-	-	(3.2)	62.3	-	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	径2mm礫微、赤褐色粒子・石英少、白色粒子多	良	ハケ (脚内) ナデ 摩耗不明	-	
116-1	PL67	904	4	SB4004	埋土	SB4004	古墳前期	土師	鉢	口縁部	10%	<12.6>	-	(3.1)	8.4	-	7.5YR8/4 浅黄橙	7.5YR7/4 にぶい橙	赤褐色粒子・白色粒子・雲母・石英微	良	ハケのちミガキ 摩耗	外/内	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g								
116-2	PL67	905-1	4	SB4004	埋土	SB4004	古墳 前期	土師	鉢	口縁部 ~頸部	10%	<7.0>	(3.8)	5.9	—	2.5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	白色粒子・雲母・ 石英微、褐色粒 子・径2mm 礫少	良	摩耗不明 工具によるナデ ? 摩耗	—	—	
116-3	PL67	905-2	4	SB4004	埋土	SB4004	古墳 前期	土師	鉢	底部	10%	—	(1.5)	10.8	—	2.5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	白色粒子・雲母・ 石英微、褐色粒 子・径2mm 礫少	良	ハケのちミガキ ? 摩耗 ナデ? 摩耗	—	—	
116-4	PL67	903	4	SB4004	埋土	SB4004	古墳 前期	土師	高坏	脚部 ~腹部	10%	<10.9>	(5.8)	(53.8)	—	7.5YR7/4 にぶい橙	7.5YR7/3 にぶい橙	白色粒子・雲母・ 石英・径2mm 礫 微	良	ハケのちミガキ 摩耗不明 (脚内)ナデ摩耗 ハケのちナデ 摩耗	—	—	
116-5	PL67	899	4	SB4004	埋土	SB4004	古墳 前期	土師	甕	口縁部 ~底部	70%	10.6	13.6	(469.6)	12.7	2.5YR6/6 橙	5YR6/4 にぶい橙	白色粒子・雲母・ 石英・径2~ 3mm 礫微、赤褐 色粒子少	良	ハケのちナデ 摩耗 工具によるナデ ヘスリ 摩耗	—	—	外面ス入付 着
116-6	PL67	901	4	SB4004	2層	SB4004 2層 No.1	古墳 前期	土師	甕	口縁部 ~脚部	10%	<16.4>	(8.0)	(88.1)	—	2.5YR6/6 橙	2.5YR6/8 橙	赤褐色粒子・石英 微、白色粒子・径 2~3mm 礫少	良	ナデのちハケ? 摩耗	—	—	
116-7	PL67	900	4	SB4004	埋土	SB4004	古墳 前期	土師	甕	口縁部 ~頸部	10%	<15.0>	(3.2)	15.7	—	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/8 橙	褐色粒子・石英 微、白色粒子・径 2mm 礫少、雲母 多	良	ナデ ハケ 摩耗	—	—	
117-1	PL67	911	4	SB4005	1層	SB4005 1層 No.6	古墳 前期	土師	高坏	口縁部 ~脚部	20%	<10.2>	(3.3)	(15.4)	—	7.5YR7/4 にぶい橙	7.5YR6/6 橙	赤褐色粒子・白 色粒子・石英微、 径2~3mm 礫 少	良	ミガキ? 摩耗	—	—	モミ? 痕
117-2	PL67	909	4	SB4005	埋土	SB4005	古墳 前期	土師	高坏	接合部 ~脚部	10%	—	(3.4)	37.2	—	7.5YR5/3 にぶい濁	7.5YR4/2 灰濁	赤褐色粒子・白色 粒子・石英少	良	ミガキ 摩耗 剥離	—	—	
117-3	PL67	908	4	SB4005	1層	SB4005 1層 No.4	古墳 前期	土師	高坏	接合部 ~腹部	50%	—	(5.7)	139.0	—	10R4/4 赤濁	箱内 10YR8/2 灰白	雲母・径2mm 礫微、赤褐色粒 子・白色粒子・石 英少	良	ミガキ 摩耗 ハケのちナデ ナデ? 摩耗	—	外/内	
117-4	PL67	906	4	SB4005	1層	SB4005 1層 No.3	古墳 前期	土師	壺	口縁部 ~脚部	30%	11.8	(12.5)	(467.3)	<22.6>	5YR7/6 橙	5YR7/3 にぶい橙	雲母微、白色粒 子・石英少、赤 褐色粒子・径2 ~3mm 礫多	良	ナデ ハケのちナデ? ナデ? 摩耗	—	—	
117-5	PL67	907	4	SB4005	1層	SB4005 1層 No.2	古墳 前期	土師	甕	口縁部 ~頸部	10%	<23.0>	(3.3)	53.2	—	7.5YR6/6 橙	7.5YR5/6 明濁	雲母・石英・径2 mm 礫微、赤褐 色粒子・白色粒子 少	良	ナデ 摩耗 ハケ ナデ	—	—	
117-6	PL67	912	4	SB4005	埋土	SB4005 周溝	古墳 前期	土師	ミニ チュ ェア	口縁部 ~底部	90%	3.5	1.9	8.8	—	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR5/4 にぶい濁	赤褐色粒子・白色 粒子・石英微	良	ナデ? 摩耗 ケズリ? のちミ ガキ	—	—	
119-1	PL68	924	4	SB4006	1層	SB4006 1層 No.1	古墳 前期	土師	器台	口縁部 ~脚部	20%	<8.1>	(6.5)	58.0	—	7.5YR7/4 にぶい橙	5YR6/4 にぶい橙	白色粒子・石英・ 径2mm 礫微、 赤褐色粒子少	良	ハケのちミガキ 摩耗 (脚内)ナデ 丸スガシ1ヶ所	—	—	
119-2	PL68	922	4	SB4006	埋土	SB4006	古墳 前期	土師	高坏	口縁部	10%	<12.0>	3.0	(12.2)	—	7.5YR7/4 にぶい橙	7.5YR7/4 にぶい橙	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英・ 径2~3mm 礫微	良	ナデのちナデ 摩耗	—	—	
119-3	PL68	923	4	SB4006	埋土	SB4006	古墳 前期	土師	高坏	脚部	10%	<10.4>	4.6	26.7	—	2.5YR6/6 橙	(脚内) 5YR6/4 にぶい橙	赤褐色粒子・石英・ 径2mm 礫微、 白色粒子少	良	ミガキ 摩耗 ナデ 丸スガシ1ヶ所 (脚内)ハケのち ナデ 摩耗	—	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g								
119-4	PL68	925	4	SB4006	1層	古墳 前期	土師	高坏	口縁部 ～体部	10%	<18.4>	(5.4)	43.0	—	10YR7/4 にぶい黄緑	10YR6/4 にぶい黄緑	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・径2 mm礫微、石英 少	良	ハケのちミガキ 摩耗	ハケのちミガキ 摩耗	外/内		
119-5	PL68	2242	4	SB4006	埋土	古墳 前期	土師	壺	口縁部	10%	<14.0>	(3.4)	42.3	—	5YR5/3 にぶい赤褐	5YR5/3 にぶい赤褐	赤褐色粒子・雲母・ 石英・径2mm礫 微、白色粒子少	良	ハケのちミガキ 摩耗	ハケのちミガキ 摩耗	—		
119-6	PL68	921	4	SB4006	床	古墳 前期	土師	甕	口縁部	5%	—	—	6.3	—	2.5YR4/3 にぶい赤褐	2.5YR5/3 にぶい赤褐	赤褐色粒子・石英・ 径2～3mm礫 微、白色粒子少	良	ハケのちミガキ 摩耗	ハケのちミガキ 摩耗	—		
119-7	PL68	920-1	4	SB4006	1層	古墳 前期	土師	甕	口縁部	10%	<16.0>	(2.4)	20.0	—	2.5YR6/6 橙	2.5YR4/6 明赤褐	白色粒子・石英・ 径2～3mm礫 微、赤褐色粒子少	良	ナデ 剥離	ハケのちミガキ 摩耗	—		
119-8	PL68	920-2	4	SB4006	1層	古墳 前期	土師	甕	頸～胴部	5%	—	—	27.9	—	2.5YR6/6 橙	2.5YR4/6 明赤褐	白色粒子・石英・ 径2～3mm礫 微、赤褐色粒子少	良	ハケ	ハケ 工具によるナデ	—		
119-9	PL68	919	4	SB4006	1層 床	古墳 前期	土師	甕	口縁部 ～胴部	10%	<17.7>	(7.6)	(181.8)	—	10YR5/3 にぶい黄緑	7.5YR6/3 にぶい褐	雲母・径2mm礫 微、赤褐色粒子・石 英多	良	制突 ハケのちミガキ 摩耗 ハケ 摩耗	ハケのちミガキ? 摩耗	—	外面スス付 着	
119-10	PL68	914	4	SB4006	1層	古墳 前期	土師	台付甕	口縁部 ～胴部	10%	<13.8>	(5.1)	(112.1)	—	7.5YR5/3 にぶい褐	7.5YR5/4 にぶい褐	赤褐色粒子・褐色 粒子・白色粒子・石 英・径2mm礫 微	良	ナデ ハケのちミガキ 摩耗 ハケ	ナデ ハケのちミガキ 摩耗	—		
119-11	PL68	915	4	SB4006	1層	古墳 前期	土師	台付甕	口縁部 ～胴部	20%	<16.6>	(18.3)	(546.5)	<21.0>	5YR4/6 赤褐	5YR4/6 赤褐	赤褐色粒子・褐色 粒子・雲母・径2 ～3mm礫微、白 色粒子少	良	ナデ ハケのちミガキ 摩耗 ハケ	ナデ ハケのちミガキ 摩耗	—		
119-12	PL68	916	4	SB4006	1層	古墳 前期	土師	甕	口縁部 ～胴部	10%	<18.2>	(6.8)	(105.5)	—	7.5YR5/4 にぶい褐	10YR7/2 にぶい黄緑	赤褐色粒子・白色 粒子微、石英少、 径2mm礫多	良	ナデ ハケ	ナデ ハケ 摩耗	—		
119-13	PL68	917	4	SB4006	床	古墳 前期	土師	甕	口縁部 ～胴部	10%	<17.2>	(7.0)	(45.7)	—	7.5YR8/2 灰白	7.5YR8/2 灰白	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石 英・径2～3mm 礫微	良	ナデ ハケのちミガキ 摩耗 ナデ 摩耗	ナデ ハケのちミガキ 摩耗 ナデ 摩耗	—		
119-14	PL68	913	4	SB4006	1層	古墳 前期	土師	台付甕	口縁部 ～胴部	10%	<17.9>	(8.5)	39.5	—	10YR5/2 灰黄緑	10YR7/3 にぶい黄緑	褐色粒子・白色粒 子・石英微、雲 母少	良	ナデ ハケのちミガキ 摩耗 ハケ	ナデ ハケのちミガキ 摩耗 ハケ	—		
119-15	PL68	2241	4	SB4006	埋土	古墳 前期	土師	甕	口縁部 ～胴部	10%	<18.2>	(7.7)	(110.5)	—	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR6/4 にぶい橙	赤褐色粒子・雲 母微、白色粒子多 少	良	回転ナデ ハケのちミガキ ナデ ハケ	ハケのちミガキ ナデ ハケのちミガキ ナデ	—		
119-16	PL68	918	4	SB4006	1層	古墳 前期	土師	台付甕	接合部 ～脚部	20%	—	18.8	147.5	—	5YR6/4 にぶい橙	5YR5/4 にぶい赤褐	雲母・径2～3 mm礫微、赤褐 色粒子・石英少、 白色粒子多	良	ハケ ナデ ナデ (脚内)ナデ	摩耗不明	—	内面スス付 着	
119-17	PL68	2243	4	SB4006	埋土	古墳 前期	土師	土器片 加工板	胴部	—	長径 4.4	厚さ 0.6	13.0	—	5YR6/4 にぶい橙	5YR3/3 明赤褐	白色粒子・雲母・ 石英・径2mm礫 微、赤褐色粒子少	良	ハケ	工具によるナデ 摩耗	—		
121-1	PL68	1855	4	SB4007	2層	古墳 前期	土師	鉢	口縁部 ～体部	20%	<13.0>	(4.3)	24.1	—	10YR6/3 にぶい黄緑	10YR2/1 黒	白色粒子・雲母・ 径2mm礫微、赤 褐色粒子・石英 少	良	ハケのちミガキ 摩耗 ケズリ?のちミ ガキ 摩耗	ハケのちミガキ 摩耗 黒色処理	—		
121-2	PL68	2343	4	SB4007	東側拡張	古墳 前期	土師	高坏	口縁部 ～体部	10%	<17.6>	(3.4)	21.4	—	7.5YR5/3 にぶい褐	10YR4/2 灰黄緑	赤褐色粒子・石英・ 雲母・径2mm 礫微、白色粒子 少	良	ハケのちミガキ 摩耗	ハケのちミガキ 摩耗	—		
121-3	PL68	2345	4	SB4007	東側拡張	古墳 前期	土師	高坏	坏底部 ～脚部	20%	—	(3.7)	93.3	—	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	赤褐色粒子・黒色 粒子・石英・雲母・ 径2mm礫微、 白色粒子少	良	ミガキ のちミガキ (脚内)工具ナデ	ミガキ 摩耗	—		

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記記号 (所属遺構・地点名は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm								
121-4	PL68	1849	4	SB4007	埋土	古墳 前期	土師	高坏?	脚部	30%	—	12.3	(5.8)	—	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英・ 径2mm礫 少	良	ハケ?のちミガ キ ナデ ナデ 丸スカン3ヶ所 (脚内)ハケのち ナデ ナデ ナデ ナデ	—	—	外面・脚内 面スエ付着
121-5	PL68	1852	4	SB4007	埋土	古墳 前期	土師	器台?	脚部	10%	—	<10.7>	—	—	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR7/3 にぶい黄橙	白色粒子・微、石 英・径2mm礫 少、 赤褐色粒子多	良	ハケのちミガ キ ナデ ナデ ナデ ナデ ナデ ナデ	—	—	
121-6	PL68	1848	4	SB4007	2層	古墳 前期	土師	甕部 ~脚部	甕部	10%	—	(8.4)	(122.7)	—	7.5YR7/4 にぶい橙	7.5YR7/4 にぶい橙	雲母・石英・微、 白色粒子・径 2mm礫 少、赤褐 色粒子多	良	ハケ ハケ ハケ ハケ ハケ ハケ	—	—	
121-7	PL68	2344	4	SB4007	東側並張	古墳 前期	土師	口縁部 ~頸部	甕	10%	<17.0>	—	(3.1)	—	10YR3/1 黒濁	10YR3/1 黒濁	径2mm礫 微、 赤褐色粒子・石英 少、 白色粒子多	良	ハケのちナ デ ナデ ナデ ナデ ナデ	—	—	
121-8	PL68	1854	4	SB4007	埋土	古墳 前期	土師	口縁部	甕	10%	<18.4>	—	(3.5)	—	10YR3/2 黒濁	10YR3/2 黒濁	白色粒子・微、赤 褐色粒子・石英 少、径2~3mm 礫多	良	ハケ ハケ ハケ ハケ ハケ ハケ	—	—	
121-9	PL68	1853	4	SB4007	埋土	古墳 前期	土師	口縁部	甕	10%	<20.0>	—	(2.9)	—	7.5YR3/1 オリーブ黒	7.5YR2/1 黒	雲母・微、赤褐色 粒子・石英 少、 白色粒子多	良	ハケのちナ デ ナデ ナデ ナデ ナデ	—	—	
121-10	PL68	2341	4	SB4007	埋土	古墳 前期	土師	底部	甕	10%	—	<5.0>	(1.4)	—	10YR4/2 灰黄橙	7.5YR7/6 橙	黒色粒子・石英・ 雲母・径2mm 礫 微、 白色粒子多	良	ハケ ハケ ハケ ハケ ハケ ハケ	—	—	
121-11	PL68	2342	4	SB4007	東側並張	古墳 前期	土師	脚部	甕	10%	—	<9.4>	(4.2)	—	10YR6/3 にぶい黄橙	7.5YR6/3 にぶい黄橙	赤褐色粒子・黒色 粒子・石英・雲母・ 径2mm礫 微、 白色粒子少	良	ハケのちナ デ ナデ ナデ ナデ ナデ	—	—	
122-1	PL68	2333	4	SB4008	埋土	古墳 前期	土師	口縁部 ~体部	高坏	20%	<22.8>	—	(5.4)	—	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	赤褐色粒子・微、 白色粒子・石英・ 径2~5mm礫 少	良	ハケのちミガ キ ナデ ナデ ナデ ナデ	—	—	
122-2	PL68	2332	4	SB4008	埋土	古墳 前期	土師	环体部 ~脚部	高坏	70%	—	8.9	(9.7)	—	7.5YR7/3 にぶい橙	7.5YR7/4 にぶい橙	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・径2 mm礫 微	良	ミガキ ナデ ナデ ナデ ナデ ナデ	—	—	
122-3	PL68	2334	4	SB4008	埋土	古墳 前期	土師	胴部	甕	5%	—	—	—	—	10YR4/2 灰黄橙	10YR4/1 濁灰	赤褐色粒子・雲母 微、 白色粒子・石 英 少	良	ハケ ハケ ハケ ハケ ハケ ハケ	—	—	
124-1	PL68	955	5	SB5009	埋土	古墳 後期	土師	口縁部 ~底部	环	90%	12.5	—	4.5	—	10YR7/3 にぶい黄橙	7.5YR7/4 にぶい橙	赤褐色粒子・褐色 粒子・白色粒子・ 雲母・径2mm礫 微、 石英少	良	ナデのちミガ キ ナデ ナデ ナデ ナデ	—	—	
124-2	PL68	956	5	SB5009	埋土	古墳 後期	土師	口縁部 ~底部	环	70%	12.8	—	4.2	—	7.5YR7/3 にぶい橙	10YR1.7/1 黒	白色粒子・雲母・ 径2mm礫 微、 赤褐色粒子・石英 多	良	ナデのちミガ キ ナデ ナデ ナデ ナデ	—	—	
124-3	PL68	957	5	SB5009	埋土	古墳 後期	土師	口縁部 ~底部	鉢	90%	10.6	—	7.6	—	10YR7/2 にぶい黄橙 N1.5/O 黒	N1.5/O 黒	赤褐色粒子・白色 粒子・微、 石英・径 2mm礫 少	良	ハケのちミガ キ ナデ ナデ ナデ ナデ	—	—	
124-4	PL68	958	5	SB5009	埋土	古墳 後期	土師	体部 ~底部	鉢?	50%	—	<5.0>	(7.2)	—	10YR1.7/1 黒	10YR1.7/1 黒	赤褐色粒子・白色 粒子・微、 石英・ 径2mm礫 少	良	ハケのちミガ キ ナデ ナデ ナデ ナデ	—	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記番号 (所属遺構・地点名 は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g								
124-5	PL69	960	5	SB5009	埋土	SB5009 No.3	古墳 後期	土師	台付鉢	口縁部 ～脚部	70%	<9.7>	<4.4>	(5.2)	(110.9)	—	7.5YR6/4 にぶい、黄緑	10YR7/3 にぶい、黄緑	赤褐色粒子・白 色粒子・雲母微、 石英・径2mm 礫少	やや 不良	ミガキ？ 摩耗不明	—	
124-6	PL69	959	5	SB5009	埋土	SB5009 No.4	古墳 後期	土師	台付鉢	口縁部 ～脚部	60%	10.6	<5.9>	5.5	(127.7)	—	7.5YR7/3 にぶい、黄緑	7.5YR7/3 にぶい、黄緑	赤褐色粒子・白色 粒子・径2mm 礫微、石英少	良	ハケのちミガキ 摩耗 ハケのちミガキ 摩耗 工具痕	—	内面種子庄 痕？
124-7	PL69	961	5	SB5009	埋土	SB5009 No.7	古墳 後期	土師	蓋	ソマミ部 ～口縁部	100%	9.6	—	4.2	122.8	—	10YR7/4 にぶい、黄緑	10YR7/3 にぶい、黄緑	雲母微、赤褐色 粒子・白色粒子・ 石英・径2～ 3mm礫少	良	ケズリのちミガキ 摩耗	—	
124-8	PL69	962	5	SB5009	埋土	SB5009 No.11	古墳 後期	土師	甔	胴部 ～底部	30%	—	5.8	(8.8)	210.4	—	10YR6/1 褐色	N2/O 黒	赤褐色粒子微 白色粒子・石英・ 径2～4mm礫	良	ケズリ 工具によるナ デのちミガキ？ 摩耗不明 黒色処理？	—	
124-9	PL69	967	5	SB5009	埋土	SB5009 No.1	古墳 後期	土師	壺	口縁部 ～胴部	60%	<22.2>	—	(22.1)	(2340.0)	28.5	10YR7/4 にぶい、黄緑	10YR6/2 灰黄緑	赤褐色粒子・白色 粒子少、石英・ 径2～4mm礫 多	良	ミガキ 摩耗	—	
124-10	PL69	963	5	SB5009	埋土	SB5009 No.6	古墳 後期	土師	甕	口縁部 ～胴部	10%	<18.5>	—	(8.5)	134	—	7.5YR7/4 にぶい、黄緑	7.5YR6/3 にぶい、黄緑	雲母・石英微、 赤褐色粒子・白色 粒子少、径2～ 3mm礫多	良	ナデ摩耗 工具によるナデ 摩耗	—	
124-11	PL69	966	5	SB5009	埋土	SB5009 No.18, No.19, No.23, No.24	古墳 後期	土師	甕	口縁部 ～胴部	10%	<20.4>	—	11.7	(347.3)	—	7.5YR7/3 にぶい、黄緑	7.5YR8/3 浅黄緑	赤褐色粒子・径2 ～3mm礫少、白 色粒子・石英・径2 ～3mm礫少	やや 不良	ナデ摩耗 工具によるナデ？ 摩耗不明	—	
124-12	PL69	965	5	SB5009	埋土	SB5009 No.2, No.7	古墳 後期	土師	甕	口縁部 ～胴部	80%	19.3	—	(26.6)	(1722.3)	16.8	10YR6/3 にぶい、黄緑	10YR7/3 にぶい、黄緑	赤褐色粒子・白色 粒子・石英・径2 ～3mm礫少	良	ナデ？摩耗 ナデ摩耗 輪痕	—	
124-13	PL69	1637	5	SB5009	埋土	SB5009 No.9, No.17	古墳 後期	土師	甕	胴部 ～底部	30%	—	6	(21.6)	(593.6)	<16.1>	10YR6/4 にぶい、黄緑	10YR7/3 にぶい、黄緑	雲母微、白色粒 子・石英・径2 ～3mm礫少、赤 褐色粒子多	良	ナデ？ 摩耗不明	—	底部木炭痕
124-14	PL69	964	5	SB5009	埋土	SB5009 No.15, No.16, No.27, No.28, No.31	古墳 後期	土師	甕	口縁部 ～胴部	20%	<19.6>	—	(22.0)	(917.5)	<20.9>	7.5YR7/6 にぶい、黄緑	7.5YR6/3 にぶい、黄緑	雲母微、白色粒 子少、赤褐色粒 子・石英・径2 ～3mm礫多	良	ナデ 工具によるナデ 摩耗	—	
126-1	PL69	1024	5	SB5019	埋土	SB5019 P2	古墳 前期	土師	三子 ユア	口縁部 ～底部	90%	5.8	2.8	3.8	58.0	5.4	5YR5/6 明赤褐	5YR6/6 橙	白色粒子・石英・ 径2mm礫微、赤 褐色粒子少	良	ナデ ケズリのちナデ 摩耗 ケズリ	—	
126-2	PL69	1022	5	SB5019	床下	SB5019 P床下	古墳 前期	土師	器台	口縁部 ～器受部	20%	<12.2>	—	(3.9)	(83.1)	—	5YR6/6 橙	2.5YR6/6 橙	赤褐色粒子・白色 粒子・石英少	良	ナデ？摩耗 ミガキ摩耗	—	
126-3	PL69	1019	5	SB5019	埋土	SB5019 No.5, No.9, No.10	古墳 前期	土師	高坏	口縁部 ～体部	10%	<22.2>	—	(6.0)	(148.4)	—	5YR3/2 暗赤褐	10R4/6 赤	赤褐色粒子・白色 粒子・石英・径2 ～3mm礫少	良	ミガキ 摩耗激しい （接合部）剥離	内/外	
126-4	PL69	1020	5	SB5019	埋土	SB5019 P4	古墳 前期	土師	高坏	接合部 ～脚部	20%	—	<12.0>	(6.2)	91.7	—	10R4/6 赤	5YR6/4 にぶい、黄緑	白色粒子・雲母・ 石英・径2mm礫 微、赤褐色粒子少	良	ミガキ摩耗 （脚内）ナデ 摩耗	外	孔3ヶ所？
126-5	PL69	1018	5	SB5019	埋土	SB5019 No.1, No.2, SB5019	古墳 前期	土師	甕	胴部 ～底部	20%	—	<6.0>	(14.9)	(400.8)	<20.6>	10R5/6 赤	10YR3/1 黒褐	雲母微、赤褐色 粒子・石英少 白色粒子多	良	ナデ	外	
126-6	PL69	1025	5	SB5019	埋土	SB5019 No.1 SB5019	古墳 前期	土師	鉢	口縁部 ～体部	30%	<7.6>	—	(6.9)	(44.7)	—	5YR5/6 明赤褐	7.5YR6/6 橙	白色粒子・石英・ 径2mm礫微、赤 褐色粒子少	良	ハケのちミガキ 摩耗 ナデ	—	ハケのちミガキ 摩耗

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記番号 (所属遺構・地点名 は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm								
127-1	PL70	1070	5	SB5025	埋土	古墳 後期	土師	小甕	口縁部 ～底部	70%	<10.0>	4.7	11.9	(369.3)	10.7	7.5YR6/4 にぶい黄	7.5YR5/4 赤褐色粒子・白色 粒子・石英・径 2mm 礫微	良	ハケのちミガキ 剥離摩耗 ナデ	ハケのちミガキ 剥離摩耗 ナデ	-	
128-1	PL70	1841	3	SD3030	埋土	古墳 中期	土師	環	口縁部 ～腰部	10%	<15.9>	-	(3.1)	8.9	5YR7/4 にぶい黄	5YR7/4 石英・雲母 白色粒子・赤褐色 粒子 少	良	ハケのちミガキ 摩耗	ハケのちミガキ 摩耗	-		
128-2	PL70	1836	3	SD3030	埋土	古墳 中期	土師	高坏	口縁部 ～腰部	10%	<18.0>	-	(4.5)	66.3	10YR7/2 にぶい黄	10YR7/2 白色粒子・褐色粒 子・石英 微	良	摩耗不明 黒色処理	ミガキ摩耗 黒色処理	-		
128-3	PL70	1843	3	SD3030	埋土	古墳 中期	土師	高坏	接合部 ～脚部	10%	-	(5.7)	74.8	10YR6/3 にぶい黄	10YR6/2 雲母 微、白色 粒子・径 2mm 礫 少	良	赤彩摩耗 ハケのちミガキ (脚内) ナデ 輪轡痕 絞り痕	ミガキ? 摩耗	外/内			
128-4	PL70	1842	3	SD3030	埋土	古墳 中期	土師	高坏	接合部 ～脚部	20%	-	(8.6)	92.7	7.5YR6/4 にぶい黄	7.5YR6/4 石英・径 2mm 礫 微、白色粒子・赤 褐色粒子・褐色粒 子 少	良	ミガキ? 摩耗	ヘラ描き?	-			
128-5	PL70	1840	3	SD3030	埋土	古墳 中期	土師	甕	口縁部 ～頸部	10%	<18.9>	-	(4.0)	28.7	7.5YR7/3 にぶい黄	7.5YR7/3 赤褐色粒子・石英 ・径 2mm 礫 少	良	ハケのちミガキ 摩耗	ハケのちミガキ 摩耗	-		
128-6	PL70	1846	3	SD3030	埋土	古墳 中期	土師	甕	口縁部 ～頸部	10%	<19.9>	-	(3.3)	14.7	7.5YR6/4 にぶい黄	7.5YR6/4 白色粒子・赤褐色 粒子・石英 微、 径 2mm 礫 少	良	ハケのちミガキ 摩耗	ハケのちミガキ 摩耗	-		
128-7	PL70	2256	3	SD3030	埋土	古墳 中期	土師	甕?	頸部	5%	-	-	10.4	5YR6/4 にぶい黄	7.5YR6/4 石英 微、白色粒 子・赤褐色粒子・ 径 2～3mm 礫 少	良	沈線 摩耗不明	摩耗不明	-			
128-8	PL70	1837	3	SD3030	埋土	古墳 中期	土師	甕	口縁部 ～頸部	10%	<36.5>	-	(13.8)	353.7	5YR6/4 にぶい黄	10YR6/3 石英 微、白色粒 子・赤褐色粒子・ 褐色粒子・径 2 ～3mm 礫 少	良	ミガキ 摩耗 ナデ? 摩耗 ハケ のちミガキ 摩耗 隆部・刺突 凹部 凹突?	ハケのちミガキ 摩耗 偏離 摩耗 ナデ? ミガキ?	-		
130-1	PL70	1280	4	SD4001	埋土	古墳 中期	土師	高坏	口縁部 ～腰部	10%	<19.4>	-	(4.3)	51.6	7.5YR6/4 にぶい黄	7.5YR6/4 白色粒子・雲母・ 径 2mm 礫微、 赤褐色粒子・石英 少	良	ハケのちミガキ 摩耗	ハケのちミガキ 摩耗	-		
130-2	PL70	1275	4	SD4001	埋土	古墳 中期	土師	甕	胴部	5%	-	-	15.3	5YR5/4 にぶい黄	10YR5/3 白色粒子・赤褐色 粒子・雲母 微	良	ミガキ? 摩耗 銅線 凹突 痕文	ハケのちミガキ 摩耗	外			
130-3	PL70	1858	4	SD4001	埋土	古墳 中期	土師	台付 深鉢?	脚部	10%	-	<2.5>	36.8	5YR6/6 にぶい黄	5YR6/6 白色粒子・石英・ 雲母・径 2mm 礫微、赤褐色粒 子 少	良	ハケのちミガキ (脚内) ナデ 輪轡痕	ハケのちミガキ 摩耗	外			
130-4	PL70	1859	4	SD4001	埋土	古墳 中期	土師	ミニ ユア	口縁部 ～腰部	10%	<6.3>	-	(3.9)	11.4	2.5YR5/4 にぶい赤	2.5YR5/4 白色粒子・径 2 mm 礫、石英 微、 赤褐色粒子 少	やや 不良	ハケのちミガキ 摩耗	ハケのちミガキ 摩耗	外/内		
130-5	PL70	1277	4	SD4001	埋土	古墳 中期	土師	甕	口縁部 ～底部	30%	<14.9>	4.0	13.8	(269.6)	7.5YR6/3 にぶい黄	7.5YR6/3 雲母・径 2～3m m 礫微、白色粒 子 少	やや 不良	剥離 ハケ ケズリ 摩耗 ナデ	ナデ 工具によるナデ 摩耗	-		
130-6	PL70	1276	4	SD4001	埋土	古墳 中期	土師	台付甕	頸部	10%	-	(3.0)	26.8	7.5YR6/4 にぶい黄	7.5YR6/4 径 2mm 礫 微、 白色粒子・赤褐色 粒子・石英・雲母 少	良	ハケのちミガキ ハケ 摩耗	ハケのちミガキ ハケ 剥離	-			
130-7	PL70	1278	4	SD4001	埋土	古墳 中期	土師	台付甕	脚部	10%	<11.0>	(5.8)	45.6	7.5YR6/4 にぶい黄	7.5YR6/4 褐色粒子・石英 ・径 2mm 礫 少	良	摩耗不明 ハケのちミガキ ハケ 摩耗	摩耗不明 輪轡痕	-			
130-8	PL70	1284	4	SD4003	埋土	古墳 中期	土師	環	口縁部 ～腰部	20%	<14.2>	-	(6.3)	(56.8)	7.5YR6/4 にぶい黄	7.5YR6/4 白色粒子・赤褐色 母少、赤褐色粒 子 多	やや 不良	ハケのちミガキ ケズリのちミガ キ 摩耗	ミガキ 摩耗	-		
130-9	PL70	1283	4	SD4003	埋土	古墳 中期	土師	環	口縁部 ～底部	60%	13.8	-	7.6	168.5	10YR7/3 にぶい黄	7.5YR7/3 石英・径 2mm 礫微、白色粒子・ 赤褐色粒子 少	やや 不良	ハケのちミガキ 摩耗	ミガキ 摩耗	-		

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考	
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記番号 (所属遺構・地点名は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm							重量 g
130-10	PL70	1879	4	SD4003	埋土	SD4003.SD4004TR	古墳中期	土師	高坏	接合部 ~脚部	10%	—	—	—	10YR7/4 にぶい黄緑	10YR7/4 にぶい黄緑	褐色粒子 微、白 色粒子 少、石英 多	やや 不良	ミガキ 丸スガシ (脚内) 工具によ るナデ 摩耗	—	—
130-11	PL70	1303	4	SD4003	埋土	SD4010	古墳中期	土師	高坏	脚部	30%	—	<11.6>	—	7.5YR6/4 にぶい黄	7.5YR6/4 にぶい黄	赤褐色粒子・石英 微、白色粒子・径 2~3mm 摩少	良	ミガキ 丸スガシ (脚内) 工具によ るナデ	—	—
130-12	PL70	1861	4	SD4003	埋土	SD4003	古墳中期	土師	器台	口縁部 ~接合部	10%	<9.0>	—	7.5YR6/3 にぶい黄	10YR7/3 にぶい黄	白色粒子・赤褐色 粒子 微、石英・ 径 2mm 摩少	良	ミガキ 丸スガシ (脚内) 工具によ るナデ	—	—	
130-13	PL70	1877	4	SD4003	埋土	SD4003.SD4003TR	古墳中期	土師	壺	頸部 ~脚部	10%	—	—	—	10YR7/3 にぶい黄	10YR6/4 にぶい黄	白色粒子・赤褐色 粒子・雲母・石英 微	やや 不良	ミガキ 丸スガシ (脚内) 工具によ るナデ	—	内面付着物
130-14	PL70	1874	4	SD4003	埋土	SD4003	古墳中期	土師	囊	口縁部	10%	—	(3.4)	—	5YR5/4 にぶい赤	5YR5/4 にぶい赤	白色粒子・黒色粒 子・雲母・石英・ 径 2mm 摩微、 赤褐色粒子 少	良	ミガキ 丸スガシ (脚内) 工具によ るナデ	—	—
130-15	PL70	1300	4	SD4003	埋土	SD4010 No.1, SD4010	古墳中期	土師	囊	口縁部 ~脚部	20%	15.2	—	(6.4)	10YR7/3 にぶい黄	10YR7/3 にぶい黄	白色粒子・石英 微、赤褐色粒子 径 2~3mm 摩 少	良	ミガキ 丸スガシ (脚内) 工具によ るナデ	—	—
131-16	PL70	1863	4	SD4003	埋土	SD4003	古墳中期	土師	囊	口縁部 ~脚部	10%	—	(6.5)	—	7.5YR7/4 にぶい黄	7.5YR7/4 にぶい黄	白色粒子・雲母・ 径 2mm 摩微、 赤褐色粒子 少	良	ミガキ 丸スガシ (脚内) 工具によ るナデ	—	—
131-17	PL70	1302	4	SD4003	埋土	SD4010 No.8, SD4010	古墳中期	土師	囊	口縁部 ~脚部	20%	—	(20.1)	<23.6>	10YR7/3 にぶい黄	10YR7/3 にぶい黄	石英 微、白色粒 子 少、赤褐色粒 子 径 2~5mm 摩多	やや 不良	ミガキ 丸スガシ (脚内) 工具によ るナデ	—	—
131-18	PL70	1865	4	SD4003	埋土	SD4003	古墳中期	土師	壺	口縁部	10%	—	(2.9)	—	7.5YR7/3 にぶい黄	7.5YR7/3 にぶい黄	白色粒子・雲母・ 石英 微、赤褐色 粒子 少	良	ミガキ 丸スガシ (脚内) 工具によ るナデ	—	—
131-19	PL70	1875	4	SD4003	埋土	SD4003	古墳中期	土師	囊	口縁部 ~頸部	10%	—	(3.1)	—	7.5YR6/4 にぶい黄	7.5YR6/3 にぶい黄	石英 微、白色粒 子・赤褐色粒子 少	やや 不良	ミガキ 丸スガシ (脚内) 工具によ るナデ	—	—
131-20	PL70	1282	4	SD4003	埋土	SD4003	古墳中期	土師	囊	口縁部	10%	—	(3.5)	—	7.5YR7/3 にぶい黄	7.5YR7/3 にぶい黄	白色粒子・赤褐色 粒子・雲母・石英 ・径 2~3mm 摩 微	良	ミガキ 丸スガシ (脚内) 工具によ るナデ	—	—
131-21	PL70	1881	4	SD4003	埋土	SD4003.SD4004TR	古墳中期	土師	囊	口縁部 ~脚部	10%	—	(4.7)	—	10YR7/4 にぶい黄	7.5YR7/3 にぶい黄	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・径 2 mm 摩微	やや 不良	ミガキ 丸スガシ (脚内) 工具によ るナデ	—	—
131-22	PL70	1281	4	SD4003	埋土	SD4003	古墳中期	土師	囊	口縁部 ~脚部	10%	—	(7.3)	—	10YR6/3 にぶい黄	10YR5/3 にぶい黄	石英・径 2mm 摩微、白色粒子・ 赤褐色粒子 少	良	ミガキ 丸スガシ (脚内) 工具によ るナデ	—	—
131-23	PL70	2281	4	SD4003	埋土	SD4010 No.6	古墳中期	土師	土器片 加工版	—	—	—	—	7.5YR7/3 にぶい黄	7.5YR7/4 にぶい黄	赤褐色粒子・石英 ・雲母 微、白色粒 子 径 2mm 摩少	良	ミガキ 丸スガシ (脚内) 工具によ るナデ	—	—	
131-24	PL71	1953	4	SD4004	埋土	VIE25.SD4004	古墳中期	土師	环	口縁部 ~底部	30%	—	(6.6)	<12.0>	7.5YR6/6 にぶい黄	N1.5/0 黒	赤褐色粒子・石英 ・径 2~3mm 摩 微、白色粒子 少	やや 不良	ミガキ 丸スガシ (脚内) 工具によ るナデ	—	—
131-25	PL71	1934	4	SD4004	埋土	SD4004No.21, VIE25	古墳中期	土師	环	口縁部 ~底部	70%	—	5.5	—	10YR5/2 灰黄	10YR5/2 灰黄	白色粒子・赤褐色 粒子 少	良	ミガキ 丸スガシ (脚内) 工具によ るナデ	—	内外面 2次 的焼成
131-26	PL71	1285	4	SD4004	1層	SD4004 1層No.19	古墳中期	土師	环	口縁部 ~底部	100%	12.6	5.5	184.6	10YR7/3 にぶい黄	10YR6/3 にぶい黄	赤褐色粒子・石英 ・雲母・径 2mm 摩微、白色粒子 少	良	ミガキ 丸スガシ (脚内) 工具によ るナデ	—	内面付着物
131-27	PL71	1286	4	SD4004	埋土	SD4004	古墳中期	土師	环	口縁部 ~底部	80%	—	5.1	200	10YR7/4 にぶい黄	10YR7/4 にぶい黄	白色粒子・石英・ 雲母 微、褐色粒 子 少	良	ミガキ 丸スガシ (脚内) 工具によ るナデ	—	—
131-28	PL71	1946	4	SD4004	埋土	VIE20.SD4004	古墳中期	土師	环	口縁部 ~底部	60%	—	3.9	(122.1)	5YR6/4 にぶい黄	5YR6/4 にぶい黄	赤褐色粒子・石英 ・径 2mm 摩微、 白色粒子 少	良	ミガキ 丸スガシ (脚内) 工具によ るナデ	—	内面付着物

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考		
			地区	遺構・地点	層位・位置					注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)	時期	口径 cm	底径 cm									器高 cm	重量 g
131-29	PL71	1287	4	SD4004	1層	SD4004 1層 No.1	古墳 中期	土師	環	口縁部 ~底部	50%	13.2	6.0	4.6	(123.6)	—	5YR5/6 明赤褐色	7.5YR6/4 にぶい橙	褐色粒子・赤褐色 粒子・石英・珩 2~3mm礫微、 白色粒子少	良	ナズのちミガキ ハケのちミガキ 工具痕 圧痕?	ナズのちミガキ 工具痕 圧痕?	—
131-30	PL71	1290	4	SD4004	1層	SD4004 1層 No.2	古墳 中期	土師	環?	口縁部 ~胴部	70%	14.0	—	(5.9)	(193.1)	—	5YR7/6 橙	5YR7/6 橙	ケズリのちミガキ 摩耗	良	ケズリのちミガキ 摩耗	ケズリのちミガキ 摩耗	—
131-31	PL71	1289	4	SD4004	埋土	SD4004	古墳 中期	土師	環	口縁部 ~底部	50%	14.2	2.0	4.9	(146.8)	—	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	赤褐色粒子・石英・ 珩2~3mm礫 微、白色粒子少	良	ハケのちミガキ 摩耗	ハケのちミガキ 摩耗	—
131-32	PL71	1288	4	SD4004	1層	SD4004 1層 No.15・16	古墳 中期	土師	環	口縁部 ~底部	30%	<15.0>	6.0	4.8	(93.7)	—	10YR8/2 灰白	10YR8/2 灰白	褐色粒子・石英・ 礫微、珩2mm 礫微、白色粒子 少	良	ミガキ摩耗	ミガキ摩耗	—
131-33	PL71	1291	4	SD4004	1層	SD4004 1層 No.13、 SD4004	古墳 中期	土師	環	口縁部 ~底部	40%	<16.2>	8.0	5.8	(153.2)	—	2.5YR6/6 明赤褐色	2.5YR6/6 明赤褐色	白色粒子・褐色粒 子・石英・雲母 微、珩2~4mm礫 少	良	ミガキ ケズリのちミガキ 摩耗	ミガキ摩耗	—
131-34	PL71	1930	4	SD4004	埋土	SD4004 No.20	古墳 中期	土師	鉢	口縁部 ~底部	70%	15.5	—	7.6	343.0	—	10YR6/2 灰黄褐色	10YR6/2 灰黄褐色	石英・雲母微 白色粒子・赤褐色 粒子・珩2mm 礫少	良	ハケのちミガキ 摩耗 工具痕 黒色処理	ハケのちミガキ 摩耗 工具痕 黒色処理	—
131-35	PL71	1295	4	SD4004	埋土	SD4004	古墳 中期	土師	器台?	接合部 ~胴部	10%	—	—	(3.8)	35.1	—	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	雲母・珩2mm 礫微、石英・赤 褐色粒子・白色粒 子少	良	不明	不明	—
131-36	PL71	1948	4	SD4004	埋土	VIE20SD4004	古墳 中期	土師	高坏	胴部	20%	—	—	(6.1)	85.3	—	7.5YR7/4 にぶい橙	7.5YR7/4 にぶい橙	褐色粒子・赤褐色 粒子・石英・雲母 微、白色粒子少	良	—	—	—
131-37	PL71	1935	4	SD4004	埋土	VIE15SD4004	古墳 中期	土師	蓋	ツマミ ~体部	30%	—	—	(3.3)	51.6	—	5YR7/4 にぶい橙	5YR7/4 にぶい橙	白色粒子・赤褐色 粒子少	良	ミガキ摩耗 工具痕?	ミガキ摩耗 工具痕?	—
131-38	PL71	1945	4	SD4004	埋土	VIE15 SD4004,TR, VIE20	古墳 中期	須恵	ハソウ ~底部	頸部 ~底部	60%	—	—	(8.9)	(314.4)	—	N7/0 灰白	N6/0 灰	白色粒子微	良	脚指状文 回転ナデ ナデ 指押さえ痕 平行タタキ	脚指状文 回転ナデ ナデ 指押さえ痕 平行タタキ	底部隆成後 穿孔
131-39	PL71	1931	4	SD4004	埋土	SD4004 No.22	古墳 中期	土師	壺	口縁部 ~底部	90%	5.2	—	6.6	134.9	8.9	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	赤褐色粒子・雲 母・珩2mm礫 微、白色粒子・石 英少	やや 不良	ナズのちミガキ 摩耗	ナズのちミガキ 摩耗	—
131-40	PL71	1950	4	SD4004	埋土	VIE20SD4004	古墳 中期	土師	壺	口縁部 ~頸部	10%	<10.3>	—	(2.3)	9.7	—	10R4/6 赤	10R4/6 赤	白色粒子・褐色粒 子・石英・雲母 珩2mm礫微	良	ミガキナデ ハケ摩耗 山形丸線文	ミガキナデ ハケ摩耗 山形丸線文	外
131-41	PL71	2100	4	SD4004	埋土	SD4004TR	古墳 中期	土師	壺	(肩部)	5%	—	—	—	11.9	—	5YR5/4 にぶい赤褐色	5YR5/4 にぶい赤褐色	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・雲母・ 珩2mm礫微	良	ハケ?摩耗 沈痕	ハケのちナデ 摩耗	—
131-42	PL71	1939	4	SD4004	埋土	VIE15 SD4004	古墳 中期	土師	壺?	口縁部 ~頸部	10%	<12.0>	—	(3.9)	38.6	—	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	石英微、珩2mm 礫少、白色粒子・ 赤褐色粒子多	良	ミガキ? 摩耗不明	ミガキナデ? 摩耗	—
131-43	PL71	1932	4	SD4004	埋土	SD4004 No.23, VIE20SD4004	古墳 中期	土師	壺	口縁部 ~底部	30%	14.7	—	(11.5)	704.8	—	7.5YR7/4 にぶい橙	7.5YR7/3 にぶい橙	石英微、白色粒 子・珩2~5m m礫少、赤褐色 粒子多	不良	ナデ摩耗 輪痕	ナデ摩耗 輪痕	—
131-44	PL71	1938	4	SD4004	埋土	VIE15 SD4004	古墳 中期	土師	囊	口縁部 ~頸部	10%	<17.6>	—	(5.3)	(87.8)	—	7.5YR7/4 にぶい橙	7.5YR7/4 にぶい橙	赤褐色粒子・石英 微、白色粒子少	良	ハケのちミガキ 摩耗	ハケのちミガキ 摩耗	—
131-45	PL71	1940	4	SD4004	埋土	VIE15 SD4004	古墳 中期	土師	壺	口縁部 ~頸部	10%	<20.7>	—	(4.8)	70.8	—	10YR6/3 灰黄褐色	10YR6/2 灰黄褐色	赤褐色粒子・雲母・ 石英微、白色粒 子多	良	ハケのちミガキ 摩耗	ハケのちミガキ ナデ	—

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記番号 (所属遺構・地点名 は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm								
136-3	PL72	1239	3	SM3001	埋土	SD3013	古墳 前期	土師	器台	接合部	20%	—	—	5YR6/4 にぶい橙	2.5YR6/6 橙	白色粒子・雲母・ 石英・径2~4 mm礫微、赤褐色 色粒子少	良	ハケのちミガキ ? 摩耗不明	ナデ? 摩耗 ミガキ? 摩耗不明	—		
136-4	PL72	2247	3	SM3001	埋土	SD3013 V K16	古墳 前期	土師	高坏	口縁部	10%	<18.8>	—	7.5YR6/3 にぶい濁	7.5YR6/3 にぶい濁	褐色粒子・白色粒 子・雲母・石英 微	良	ミガキ 沈線	ミガキ 摩耗	—		
136-5	PL72	1245	3	SM3001	埋土	SD3013 V K16	古墳 前期	土師	高坏	口縁部 ~体部	20%	<22.8>	—	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英 微	良	ミガキ 摩耗	ハケのちミガキ	—		
136-6	PL72	1229	3	SM3001	Ⅲa層	SD3013 Ⅲa層	古墳 前期	土師	高坏	接合部 ~脚部	10%	—	—	5YR4/2 灰濁	5YR4/2 灰濁	石英微、赤褐色 粒子・径2mm礫 少、白色粒子多	良	ミガキ 摩耗	ハケのちミガキ 所 (脚内)ナデ	—		
136-7	PL72	1230	3	SM3001	Ⅲ層	SD3013 V K1 Ⅲ層 SD3013	古墳 前期	土師	高坏?	脚部	30%	—	11.5	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	雲母・石英・径 2~3mm礫微、 白色粒子少、赤 褐色粒子多	良	—	—	—		
136-8	PL72	1231	3	SM3001	Ⅲ層	SD3013 南西Ⅲ層 O ~10cm V K07,南 西Ⅲ層-10~-20cm V K07	古墳 前期	土師	高坏	脚部	30%	<14.4>	—	7.5YR7/6 橙	7.5YR7/6 橙	雲母・石英微 赤褐色粒子・径 2~3mm礫少、 白色粒子多	良	—	—	—		
136-9	PL72	2249	3	SM3001	埋土	SD3013 V K16	古墳 前期	土師	壺	口縁部	10%	<8.2>	—	5YR6/6 橙	5YR6/4 にぶい橙	石英微、赤褐色 粒子・白色粒子 少	良	ハケのちミガキ 摩耗	ハケのちミガキ 摩耗	—		
136-10	PL72	1247	3	SM3001	埋土	SD3013 V K16	古墳 前期	土師	壺	口縁部 ~頸部	10%	<8.4>	—	7.5YR6/4 にぶい橙	10YR5/2 灰濁	赤褐色粒子・白色 粒子・石英・径2 mm礫微	良	ミガキ	ミガキナデ	—		
136-11	PL72	1235	3	SM3001	埋土 1層 2層	SD3013 1層, 2層 SD3013	古墳 前期	土師	壺	口縁部 ~頸部	10%	<8.4>	—	5YR7/4 にぶい橙	5YR7/6 橙	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英・ 径2mm礫微	良	ハケのちミガキ ? 摩耗	ハケのちミガキ 摩耗 ナデ絞り痕	—	種子痕?	
136-12	PL72	2303	3	SM3001	Ⅲ層	SD3013 南西Ⅲ層	古墳 前期	土師	壺	口縁部 ~頸部	10%	<5.3>	—	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	白色粒子・褐色 粒子・石英・径 2mm礫微	やや 不良	ナデ	ナデ	—		
136-13	PL72	2304	3	SM3001	Ⅲ層	SD3013 南東Ⅲ層 -30~-40cmV K07	古墳 前期	土師	壺	口縁部 ~頸部	10%	<8.8>	—	2.5YR3/6 暗赤濁	7.5YR6/4 にぶい橙	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・径 2mm礫微	やや 不良	ハケのちミガキ 摩耗	ハケのちミガキ? 摩耗	外		
136-14	PL72	1241	3	SM3001	埋土 2層	SD3013 2層, V K11	古墳 前期	土師	壺?	口縁部 ~頸部	10%	<12.0>	—	7.5YR7/4 にぶい橙	7.5YR7/3 にぶい橙	雲母・石英微、 赤褐色粒子・白 色粒子・径2~3 mm礫少	良	ナデ 摩耗	ミガキ 摩耗 ナデ? 摩耗	—		
136-15	PL72	2244	3	SM3001	埋土	SD3013 V K16	古墳 前期	土師	壺	口縁部 ~頸部	10%	<16.6>	—	10YR6/3 にぶい黄濁	10YR6/3 にぶい黄濁	白色粒子・雲母・ 石英微、赤褐色 粒子少	良	ミガキ 摩耗	粘土貼り付残る 摩耗 ハケのちミガキ 摩耗	—		
136-16	PL72	2250	3	SM3001	埋土	SD3013 V K16	古墳 前期	土師	壺	胴部	—	—	—	10YR7/2 にぶい黄濁	10YR7/2 にぶい黄濁	赤褐色粒子・白色粒 子・石英微、褐色 粒子少	良	磨削面 ミガキ 摩耗	ハケ	外		
136-17	PL72	1234	3	SM3001	Ⅲ層	SD3013 南東Ⅲ層 -10~-20cm V K07	古墳 前期	土師	壺	頸部 ~胴部	40%	<13.0>	—	7.5YR3/4 暗赤	7.5YR3/4 暗赤	赤褐色粒子・白色 粒子・石英・径2 mm礫微	良	ハケのちミガキ 摩耗 ケズリ? のちミ ガキ 摩耗	ハケのちミガキ 摩耗 幅狭痕	外		
136-18	PL72	1236	3	SM3001	2層	SD3013 2層 No.23	古墳 前期	土師	壺	口縁部 ~頸部	10%	<14.0>	—	5YR5/4 にぶい赤濁	7.5YR5/3 にぶい濁	褐色粒子・白色 粒子・石英・径2 mm礫微	良	ハケのちミガキ 摩耗	ハケのちミガキ ? 摩耗 ケズリ? 摩耗 ナデ ハケのちミガキ	—		
136-19	PL72	1233	3	SM3001	Ⅲ層	SD3013 南東Ⅲ層 V K1-垢	古墳 前期	土師	壺	胴部 ~底部	10%	—	4.6	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/3 にぶい濁	白色粒子・雲母・ 石英微、径2~ 3mm礫少、赤 褐色粒子多	良	ケズリ	工具によるナデ	—		
136-20	PL72	1248	3	SM3001	埋土	SD3013 V K16	古墳 前期	土師	壺	口縁部 ~頸部	—	—	—	7.5YR7/4 にぶい橙	7.5YR7/4 にぶい橙	径2mm礫微、 赤褐色粒子・白色 粒子・石英少	良	ミガキ? 摩耗	ナデ	—		

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm								
136-21	PL72	1242	3	SM3001	埋土	古墳前期	土師	頸部 ~脚部	20%	-	(6.7)	(106.6)	-	10R4/6 赤 7.5YR6/4 にぶい黄	10R4/6 赤 7.5YR6/4 にぶい黄	白色粒子微、石 英・赤褐色粒 子・径2~3mm 多	良	ミガキ?摩耗 ナデ 工具によるナデ	ミガキ?摩耗 ナデ 工具によるナデ	外/内		
136-22	PL72	1237	3	SM3001	2層	古墳前期	土師	頸部 ~脚部	10%	-	(6.6)	94.5	-	10R4/6 赤	7.5YR6/3 にぶい黄	白色粒子・石英・ 雲母・径2mm 少	良	ミガキ 工具によるナデ	ミガキ 工具によるナデ	外/内	種子?痕	
136-23	PL72	1238	3	SM3001	2層	古墳前期	土師	口縁部	10%	<14.6>	(3.5)	17.8	-	7.5R4/8 赤	7.5R4/8 赤	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石 英・径2~3mm 少	良	ナデのちミガキ ?摩耗	ナデのちミガキ ?摩耗	外/内		
136-24	PL72	1249	3	SM3001	埋土	古墳前期	土師	口縁部 ~頸部	10%	<16.7>	(5.0)	(68.8)	-	10R4/6 赤	7.5YR6/3 にぶい黄	石英・径3mm微 、赤褐色粒子・ 白色粒子多	良	ミガキ	ミガキ ナデ	外/内	外面スス付 着	
136-25	PL72	1240	3	SM3001	埋土 1層	古墳前期	土師	口縁部 ~脚部	10%	<23.0>	(7.8)	(236.7)	-	7.5YR6/3 にぶい黄	7.5YR6/4 にぶい黄	白色粒子・雲母・ 石英・径2~3 mm微、赤褐色 色粒子多	良	ナデ ハケのち工具に よるナデ	ナデ? 工具によるナデ 摩耗	-		
136-26	PL72	1232	3	SM3001	Ⅲ層	古墳前期	土師	口縁部 ~脚部	20%	<14.0>	(8.0)	74.8	-	7.5YR7/3 にぶい黄	10YR7/2 にぶい黄	白色粒子・雲母・ 石英微、赤褐色 粒子多	良	ナデのちミガキ 摩耗 ナデのちミガ キ ナデ	ナデのちミガキ 摩耗 工具によるナデ 摩耗	-		
136-27	PL72	1243	3	SM3001	1層	古墳前期	土師	口縁部 ~脚部	10%	<15.8>	(4.4)	42.7	-	10YR5/2 灰黄褐	10YR6/2 灰黄褐	赤褐色粒子・石英・ 径2~3mm微 少、白色粒子多	良	ナデ ハケ	ハケ ナデ	-		
136-28	PL72	2251	3	SM3001	埋土	古墳前期	土師	脚部	10%	5.3	(3.0)	41.9	-	10R5/6 赤	10R5/8 赤	赤褐色粒子・白色 粒子・石英・径2 mm微	良	ハケ ケズリ ケズリ (脚内)ナデ	-	-		
136-29	PL72	1244	3	SM3001	埋土	古墳前期	土師	接合部 ~脚部	20%	-	(4.4)	68.4	-	7.5YR5/3 にぶい黄	7.5YR6/3 にぶい黄	白色粒子・雲母 微、赤褐色粒子・ 石英・径2~3 mm微少	良	ナデ	ナデ	-	2次的被熱	
136-30	PL72	2246	3	SM3001	埋土	古墳前期	土師	脚部	-	長径 3.3 短径 2.4	厚さ 0.6	5.2	-	5YR5/4 明赤褐	5YR5/4 明赤褐	赤褐色粒子・白色 粒子・石英微	良	ハケ ナデ	ナデ	-		
136-31	PL72	2245	3	SM3001	1層	古墳前期	土師	脚部	-	長径 10.2 短径 7.7	厚さ 0.9	83.0	-	7.5R4/6 赤	7.5YR6/4 にぶい黄	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英 微	良	ハケのちミガキ 摩耗	ハケ	外		
138-1	PL73	1272	3	SM3002	土層	古墳前期	須恵	体部 ~口縁部	10%	<13.6>	(4.3)	35.0	-	N6/ 灰	N6/ 灰	白色粒子・赤褐色 粒子・径3mm微	良	口ロナデ 磨滅	口ロナデ 磨滅	-		
138-2	PL73	1267	3	SM3002	埋土	古墳前期	土師	高环?	10%	<15.7>	(4.7)	17.2	-	10YR7/3 にぶい黄	10YR7/3 にぶい黄	白色粒子・赤褐色 粒子・径2mm微	良	ハケのちミガキ ?摩耗 丸スガシ (脚内)ナデ?	ハケのちミガキ ?摩耗 丸スガシ (脚内)ナデ?	-		
138-3	PL73	1269	3	SM3002	1層	古墳前期	土師	高环	20%	<14.4>	(4.4)	39.7	-	10YR7/4 にぶい黄	10YR5/3 にぶい黄	石英・雲母、微、 赤褐色粒子・褐色 粒子・径2mm微 少	やや 不良	ハケのちミガキ ?摩耗	ハケのちミガキ ?摩耗	-		
138-4	PL73	1264	3	SM3002	埋土 1層	古墳前期	土師	高环	10%	-	(4.8)	(73.9)	-	10R4/4 赤褐	10R5/6 赤	白色粒子・石英・ 雲母微、赤褐色 粒子少	良	ハケのちミガキ 摩耗	ハケのちミガキ 摩耗	外/内		
138-5	PL73	1265	3	SM3002	埋土	古墳前期	土師	口縁部	5%	-	-	18.7	-	10R5/4 赤褐	10R5/4 赤褐	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・径 2mm微	良	ハケのちミガキ 摩耗	ハケのちミガキ 摩耗	外		
138-6	PL73	1268	3	SM3002	土層	古墳前期	土師	口縁部	10%	16.0	(2.4)	13.6	-	10YR7/3 にぶい黄	7.5Y2/1 黒	赤褐色粒子・褐色 粒子・径2mm微、 雲母・石英、微、 白色粒子少	やや 不良	ナデ 摩耗	ミガキ ナデ	-		
138-7	PL73	1273	3	SM3002	埋土	古墳前期	土師	頸部 ~脚部	10%	-	(6.0)	(155.6)	-	10YR6/4 にぶい黄	10YR6/3 にぶい黄	赤褐色粒子・雲母・ 石英微、白色粒 子少	良	ハケのちミガキ ケズリのちミガ キ	ハケのちミガキ ケズリのちミガ キ	-		

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm								
138-8	PL73	1270	3	SM3002	埋土 1層	古墳 前期	土師	甕	胴部 ～底部	20%	5.8	(13.1)	(585.3)	—	10YR6/3 にぶい黄橙	10YR6/2 灰黄褐	雲母・石英・赤褐色 白色粒子・赤褐色 粒子・褐色粒子・ 径2～5mm礫 少	良	ハケ ケズリ	ハケのちミガキ ナデ	—	ハケのちミガキ ナデ(工具 痕)輪線痕
138-9	PL73	1274	3	SM3002	埋土	古墳 前期	土師	甕	口縁部 ～胴部	20%	—	(14.7)	(311.7)	<14.5>	7.5YR5/3 にぶい濁	5YR6/6 橙	石英・雲母・微 白色粒子・径 2mm礫 少	良	ナデ	ナデ	—	ハケのちナデ 輪線み痕ナデ 摩耗
138-10	PL73	1266	3	SM3002	埋土	古墳 前期	土師	台付甕	口縁部 ～頸部	10%	—	(2.0)	15.0	—	5YR5/4 にぶい赤褐	5YR5/4 にぶい赤褐 2mm礫 微	白色粒子・赤褐色 粒子・雲母・径 2mm礫 微	良	ナデ	ナデ	—	ハケのちナデ 輪線み痕ナデ 摩耗
138-11	PL73	2253	3	SM3002	埋土	古墳	土師	土器片 加工板	胴部	—	長さ 4.8	厚さ 0.9	27.1	—	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	白色粒子・雲母・ 石英・微・赤褐色 粒子・少	良	ナデ	ナデ	—	ナデ摩耗
138-12	PL73	2252	3	SM3002	上層	古墳	土師	土器片 加工板	胴部	—	長さ 5.4	厚さ 0.8	22.4	—	7.5YR6/6 にぶい橙	7.5YR5/1 褐灰	赤褐色粒子・雲母・ 石英・微・白色粒 子 少	良	ハケ	ハケ	—	ハケ
139-1	PL73	1810	3	SM3003	埋土	古墳 前期	土師	高坏	口縁部 ～接合部	20%	—	(3.7)	(57.1)	—	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	白色粒子・雲母・ 径2～3mm礫 微・赤褐色粒子・ 石英 少	良	ハケ	ハケ	—	ハケのちミガキ 摩耗
139-2	PL73	1847	3	SM3003	埋土	古墳 前期	土師	高坏	口縁部 ～体部	10%	—	(5.8)	38.3	—	7.5YR7/3 にぶい橙	7.5YR7/3 にぶい橙	白色粒子・雲母・ 赤褐色粒子・微・ 径2mm礫 少	良	ナデ	ナデ	—	ハケのちミガキ 摩耗
139-3	PL73	1811	3	SM3003	埋土	古墳 前期	土師	甕	口縁部 ～胴部	—	—	—	10.7	—	10YR5/2 灰黄褐	7.5YR7/3 にぶい橙	白色粒子・雲母・ 径2mm礫 微・赤褐色粒子・ 石英 少	良	ナデ	ナデ	—	ナデ ナデ
139-4	PL73	1812	3	SM3003	1層	古墳 前期	土師	甕	口縁部 ～胴部	—	—	—	5.7	—	7.5YR6/2 灰濁	7.5YR7/4 にぶい橙	赤褐色粒子・微・ 径2mm礫 少	良	ナデ	ナデ	—	ナデ ナデ
142-1	PL73	2258	3	SM3004	埋土	古墳 前期	土師	高坏	胴部	10%	—	(2.9)	8.6	—	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR7/3 にぶい黄橙	白色粒子・径2～ 4mm礫・褐色粒 子・微・石英 少	良	ナデ	ナデ	—	ナデ ナデ
142-2	PL73	1929	3	SM3004	埋土	古墳 前期	土師	鉢	口縁部 ～底部	100%	6.5	4.9	92.3	7.2	7.5YR7/3 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	赤褐色粒子・少・ 白色粒子・石英・ 径2～4mm礫・赤褐色 粒子	良	ナデ	ナデ	—	ナデ ナデ
142-3	PL73	1924	3	SM3004	埋土	古墳 前期	土師	高坏	胴部	10%	—	(5.0)	31.7	—	2.5YR6/4 にぶい黄	10YR7/3 にぶい黄橙	白色粒子・石英・ 雲母・径2～ 4mm礫・赤褐色 粒子	良	ナデ	ナデ	—	ナデ ナデ
142-4	PL73	1922	3	SM3004	埋土	古墳 前期	土師	高坏	胴部	10%	—	(4.2)	60.1	—	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/3 にぶい濁	白色粒子・径 2mm礫 微・赤 褐色粒子・石英 少	良	ハケ	ハケ	—	ハケのちミガキ 摩耗
142-5	PL73	1895	3	SM3004	埋土	古墳 前期	土師	高坏?	胴部	40%	—	(4.4)	126.9	—	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR7/3 にぶい黄橙	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・雲母・ 径2～4mm礫 微	良	ナデ	ナデ	—	ハケのちミガキ 丸スガシ3ヶ所 (脚内)工具によ るナデ
142-6	PL73	1645	3	SM3004	埋土	古墳 前期	土師	高坏	口縁部 ～胴部	80%	25.5	15.3	962	—	7.5YR7/4 にぶい橙	7.5YR7/4 にぶい橙	白色粒子・雲母・ 石英・微・赤褐色 粒子・褐色粒子 少	良	ナデ	ナデ	—	ナデ ナデ
142-7	PL73	1644	3	SM3004	埋土	古墳 前期	土師	高坏	口縁部 ～体部	40%	24.9	(6.8)	(612.7)	—	7.5YR7/3 にぶい橙	7.5YR7/3 にぶい橙	白色粒子・雲母・ 赤褐色粒子・ 石英・径2～ 4mm礫 少	良	ナデ	ナデ	—	ハケのちミガキ ケズリ?のちミ ガキ

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考		
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記番号 (所属遺構・地点名は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm									重量 g	胴部最大径 cm
142-8	PL73	1920	3	SM3004	埋土	SM3004 VP17	古墳前期	土師	片口鉢	口縁部 ~胴部	10%未	<15.1>	-	(3.7)	16.6	-	5YR6/6 にぶい橙	5YR6/6 橙	白色粒子・石英・ 雲母・径2mm礫 少、赤褐色粒子 少	良	ハケのちミガキ 摩耗	ハケのちミガキ 摩耗	-	
142-9	PL73	1893	3	SM3004	埋土	VP17 SM3004	古墳前期	土師	鉢	口縁部	10%	<16.6>	-	(5.1)	30.5	-	10R4/6 赤	10R4/6 赤	ハケのちミガキ 摩耗 赤彩	ナデ ハケのちナデ	ナデハケ	ハケのちミガキ 摩耗 赤彩	外/内	
142-10	PL73	1652	3	SM3004	埋土	SM3004 No.66 No.68 No.73 No.76 No.78 No.79 SM3004 V P22	古墳前期	土師	甌	口縁部 ~底部	50%	<16.9>	1.6	8.2	(195.2)	-	10YR4/1 褐灰	7.5YR6/6 橙	雲母 微、赤褐色 粒子・石英・径 ~3ミリ礫 少、 白色粒子 多	良	ナデ ハケのちナデ	ナデハケ	ナデハケ	-
142-11	PL73	2257	3	SM3004	埋土	VU12 SM3004	古墳前期	土師	器台	器受部	10%	<9.0>	-	(2.4)	9.6	-	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	白色粒子・石英・ 雲母・褐色粒子 微	良	ミガキ 摩耗	ミガキ 摩耗	-	
142-12	PL73	1894	3	SM3004	埋土	VP17 SM3004	古墳前期	土師	器台	口縁部 ~接合部	30%	8.7	-	(3.7)	(78.4)	-	10YR7/2 にぶい黄橙	10YR7/2 にぶい黄橙	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・径 2mm 微	良	ハケのちナデ 剥離 摩耗	ハケのちナデ ミガキ? 摩耗	-	
142-13	PL73	1642	3	SM3004	埋土	SM3004 No.113 ~No.120 SM3004	古墳前期	土師	器台	口縁部 ~底部	40%	17.8	-	(5.6)	(261.4)	-	10YR7/2 にぶい黄橙	10YR7/3 にぶい黄橙	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・径 2mm ~4ミリ礫 少	良	剥離ハケ 丸スガシ 上段H5ヶ所 下段H3ヶ所残 る	剥離ハケ 丸スガシ 上段H5ヶ所 下段H3ヶ所残 る	一部2次的 被熱	
142-14	PL73	1928	3	SM3004	埋土	SM3004 No.111	古墳前期	土師	器台	接合部 ~脚部	50%	-	14.7	(7.5)	275.0	-	10YR7/2 にぶい黄橙	7.5YR7/3 にぶい橙	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・径 2mm ~4ミリ礫 少	良	ナデ	ナデ	外周モミ痕? 一部2次的 被熱	
142-15	PL73	1926	3	SM3004	埋土	VU2 SM3004 集	古墳前期	土師	壺	口縁部	-	-	-	-	17.5	-	7.5YR6/4 にぶい橙	5YR5/4 にぶい赤褐 微・石英 微	白色粒子・雲母 微、赤褐色粒子・ 径2mm礫・石英 少	良	ハケのちナデ? 摩耗	ハケのちナデ? 摩耗	外/内	
142-16	PL73	1902	3	SM3004	埋土	SM3004 No.30 VP22 SM3004	古墳前期	土師	壺	頸部 ~胴部	10%	-	-	(5.2)	(66.3)	-	7.5YR6/3 にぶい濁 褐色粒子 少	7.5YR6/3 にぶい濁	白色粒子・褐色 粒子・石英・径 2mm 微、赤 褐色粒子 少	良	ナデ?	ナデ?	外	
142-17	PL73	1925	3	SM3004	埋土	SM3004 VU2	古墳前期	土師	壺?	頸部	-	-	-	-	16.7	-	10YR7/2 にぶい黄橙	10YR7/2 にぶい黄橙	褐色粒子・白色粒 子・径2~3mm 礫・石英 微	良	ハケ ケズリ ナデ	ハケ ケズリ ナデ	-	
142-18	PL73	1641	3	SM3004	埋土	SM3004	古墳前期	土師	壺	口縁部 ~底部	50%	<6.0>	-	10.4	(159.2)	-	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR7/2 にぶい黄橙	白色粒子・赤褐色 粒子・径2mm礫・ 石英・雲母 微	良	工具によるナデ 摩耗	工具によるナデ 摩耗	-	
143-19	PL74	1903	3	SM3004	埋土	SM3004 No.47	古墳前期	土師	壺	口縁 ~頸部	10%	<17.2>	-	(6.1)	59.8	-	7.5YR7/3 にぶい橙	10YR6/4 にぶい黄橙	褐色粒子・石英・ 径2~5mm礫 少、白色粒子 多	やや 不良	ハケのちナデ 摩耗	ハケのちナデ 摩耗	-	
143-20	PL74	1643	3	SM3004	埋土	SM3004 No.110 No.127 No.128 No.129	古墳前期	土師	壺	口縁部 ~底部	50%	11.9	4.9	14.7	(429.2)	-	10YR7/4 にぶい黄橙	7.5YR7/4 にぶい黄橙	赤褐色粒子 少、 白色粒子・雲母・ 径2~4mm礫 微、 褐色粒子 少	良	ハケのちミガキ 剥離	ハケのちミガキ 剥離	底部種子痕 痕?	
143-21	PL74	1900	3	SM3004	埋土	SM3004 No.59	古墳前期	土師	壺	胴部 ~底部	10%	-	3.3	(3.3)	60.5	-	7.5YR7/4 にぶい橙	5YR7/4 にぶい橙	白色粒子・径2 mm 微、赤 褐色粒子・石英・ 雲母 少	良	ハケのちミガキ 摩耗 ケズリ	ハケのちミガキ 摩耗	-	
143-22	PL74	1649	3	SM3004	埋土	SM3004 No.26 No.28 No.29 No.32	古墳前期	土師	壺	肩 ~底部	70%	-	5.9	(14.2)	(648.9)	-	5YR6/6 橙	7.5YR5/2 灰褐	白色粒子・径2 ~4mm礫 微、 赤褐色粒子 少、 石英 多	良	ナデ 摩耗 工具?によるナ デ 摩耗	ナデ 摩耗 工具?によるナ デ 摩耗	2次的被熱 種子痕?	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考	
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記記号 (附属遺構・地点名は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm									重量 g
143 - 39	PL74	1898	3	SM3004	埋土	SM3004 No.19	古墳 前期	土師	口縁 ~頸部	10%	<22.6>	-	(4.3)	47.3	-	10YR5/2 灰黄褐色	10YR5/1 褐灰	石英 微、白色粒子・赤褐色粒子 少	良	ハケのちナデ	ハケのちナデ	-	
143 - 40	PL74	1653	3	SM3004	埋土	SM3004 No.23, No.24, No.25, No.33, No.35, No.36, No.37, No.40, No.41, No.42, No.43	古墳 前期	土師	口縁部 ~腹部	70%	17.6	-	(20.5)	1072.1	22	10YR7/3 にぶい黄褐色	10YR7/2 にぶい黄褐色	白色粒子・石英・径2~3mm 礫 少、赤褐色粒子 少	良	ハケのちナデ	ハケのちナデ 工具痕 ナデ	-	
143 - 41	PL75	2259	3	SM3004	埋土	SM3004 TR	古墳	土師片 加工版	-	-	長径 4.1	短径 3.2	厚さ 0.7	12.0	-	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	白色粒子・径2mm 礫・石英・雲母 微、赤褐色粒子 多	良	ハケのちミガキ	ハケのちミガキ	外	
143 - 42	PL75	1927	3	SM3004	埋土	SM3004 VU2	古墳	土師片 加工版	-	-	長径 6.5	短径 5.0	厚さ 0.5	36.8	-	10R4/6 赤	7.5YR6/3 にぶい褐色	赤褐色粒子・石英・雲母 微、白色粒子 少	良	ハケのちミガキ	ハケのちミガキ	外	
144 - 43	PL75	1650・1651	3	SM3004	埋土	SM3004 No.13, No.53, No.54, No.56, No.60, No.69, No.82, No.92, No.138, No.134	古墳 前期	土師	口縁部 ~底部	60%	(17.4)	<5.2>	29.8	(1576.8)	25.9	10YR6/3 にぶい黄褐色	10YR6/3 にぶい黄褐色	雲母 微、白色粒子 少、赤褐色粒子・石英・径2~5mm 礫 少	良	ナデ	ナデ ハケのちナデ	-	
144 - 44	PL75	1899	3	SM3004	埋土	SM3004 No.88, No.150	古墳 前期	土師	胴部 ~底部	10%	-	7.8	(6.1)	(269.3)	-	7.5YR4/2 灰褐色	7.5YR7/4 にぶい橙	赤褐色粒子 多、白色粒子 少、雲母・石英・径2mm 礫 微	良	ハケ	ハケ ケズリ	-	外面スス付 着
144 - 45	PL75	1640	3	SM3004	埋土	SM3004 No.50	古墳 前期	土師	口縁部 ~腹部	60%	13.8	-	(11.0)	(300.2)	14.1	5YR4/3 にぶい赤褐色	7.5YR5/3 にぶい褐色	白色粒子・石英・径2~5mm 礫 微、赤褐色粒子 少	良	ハケのちナデ	ハケのちナデ 工具によるナデ	-	
144 - 46	PL74	1889	3	SM3004	埋土	SM3004 NO.155	古墳 前期	土師	胴部	10%	-	6.2	(4.2)	96.9	-	5YR6/6 橙	5YR6/3 にぶい橙	石英・径2mm 礫 微、白色粒子・赤褐色粒子 多	良	ハケのちナデ	ハケのちナデ 工具によるナデ	-	
144 - 47	PL74	1890	3	SM3004	埋土	SM3004 NO.10, VP17	古墳 前期	土師	台付囊	10%	-	7.2	(4.2)	75.0	-	2.5YR5/6 明赤褐色	2.5YR4/6 赤褐色	赤褐色粒子・石英・径2mm 礫 微、白色粒子 少	良	ハケ	ハケ ケズリ	-	
144 - 48	PL74	1888	3	SM3004	埋土	SM3004 NO.153	古墳 前期	土師	台付囊	10%	-	<7.8>	(4.2)	116.0	-	5YR5/3 にぶい赤褐色	5YR5/4 にぶい赤褐色	石英・径2~3mm 礫 少、白色粒子・赤褐色粒子 多	良	ハケ	ハケ ケズリ	-	
144 - 49	PL74	1891	3	SM3004	埋土	SM3004 No.98	古墳 前期	土師	台付囊	40%	-	<8.6>	(6.3)	76.6	-	10YR7/2 にぶい黄褐色	10YR7/1 灰白	白色粒子・褐色・径2~4mm 礫 微、石英 少	良	ナデ	ナデ ハケ	-	
144 - 50	PL74	1887	3	SM3004	埋土	SM3004 No.140	古墳 前期	土師	台付囊	40%	-	<8.8>	(6.1)	166.3	-	5YR6/4 にぶい赤褐色	5YR6/4 にぶい橙	赤褐色粒子・雲母・径2~3mm 礫・石英 少、白色粒子 少	やや不良	ナデ	ナデ ハケ	-	
144 - 51	PL75	1646	3	SM3004	埋土	SM3004 No.5, No.31, No.45, No.46, No.57, No.58, V P17, V P22, SM3004	古墳 前期	土師	口縁部 ~腹部	30%	26.0	-	(19.2)	(2357.0)	-	5YR6/4 にぶい橙	5YR6/3 にぶい橙	白色粒子・石英・雲母 微、赤褐色粒子・径2mm 礫 少	良	ナデ	ナデ ハケのちミガキ	-	
144 - 52	PL75	1647	3	SM3004	埋土	SM3004 No.145, 161	古墳 前期	土師	胴部 ~底部	10%	-	8.1	(13.9)	(891.5)	-	7.5YR6/3 にぶい褐色	7.5YR7/4 にぶい橙	雲母・径2mm 礫 微、白色粒子・石英 少、赤褐色粒子 多	良	ハケ	ハケ ケズリ	-	
144 - 53	PL75	1904	3	SM3004	埋土	SM3004 No.65	古墳	土師片 加工版	胴部	100%	長径 9.0	短径 7.7	厚さ 0.9	82.9	-	10R4/8 赤	7.5YR7/4 にぶい橙	白色粒子・雲母・径2~5mm 礫 微、赤褐色粒子 少	良	ハケのちミガキ	ハケのちミガキ	外	
145 - 1	PL75	1821	3	SM3005	埋土	SM3004	古墳	土師	口縁部 ~腹部	10%	<11.0>	-	(4.3)	10.3	-	10YR7/4 にぶい黄褐色	7.5YR7/4 にぶい橙	白色粒子・褐色粒子・石英・雲母 微	不良	ナデ	ナデ ハケ	-	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記番号 (所属遺構・地点名 は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g								
145-2	PL75	2254	3	SM3005	1層	SM3005 1層 VU2	古墳 前期	土師	高坏	腰部	-	-	-	7.5YR7/3 にぶい橙	7.5YR7/4 にぶい橙	白色粒子・石英 微、褐色粒子少	良	摩耗不明	直線文・山形文? ハケのちミガキ 摩耗	-	-		
145-3	PL75	1814	3	SM3005	埋土	SM3005 TR	古墳 前期	土師	高坏	口縁部	5%	(3.6)	29.3	-	7.5YR7/4 にぶい橙	7.5YR7/4 にぶい橙	白色粒子・雲母・ 石英・赤褐色・ 褐色、径2~3 mm 摩耗少	不良	ハケ? 磨減	ハケのちミガキ 摩耗	-	-	
145-4	PL75	1813	3	SM3005	埋土	SM3005 No.3	古墳 前期	土師	器台	口縁部 ~脚部	70%	(5.2)	92.8	-	10YR7/4 にぶい黄橙	7.5YR7/4 にぶい橙	褐色粒子・雲母・ 石英・径2mm 摩 微、白色粒子少	良	ハケのちミガキ ケズリ?のちミ ガキ摩耗 丸ミガキ (脚内)ナデ?摩 耗	ミガキ摩耗	-	-	
145-5	PL75	1815	3	SM3005	埋土	VU6 SM3005	古墳 前期	土師	壺	口縁部 ~頸部	5%	(16.2)	47.6	-	5YR7/6 橙	7.5YR7/4 にぶい橙	雲母微、白色粒 子・赤褐色粒子・ 径2~6mm 摩 少	良	ハケのちミガキ 摩耗	ハケのちミガキ 摩耗 剥離	外/内	口縁部から 内面二次的 縦線?	
145-6	PL75	1822	3	SM3005	埋土	VU6 SM3005 TR, VU6 SM3005	古墳 前期	土師	壺	口縁部 ~肩部	10%	(22.6)	(170.6)	-	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・径2 ~4mm 摩微	不良	ハケのちミガキ ケズリ? ハケのちミガキ 隆部ナデキザミ	ハケのちミガキ 摩耗 ナデ	-	-	
145-7	PL75	1816	3	SM3005	埋土	SM3005 VU1	古墳 前期	土師	囊	口縁部	-	-	12.7	-	7.5YR6/2 灰褐	7.5YR7/3 にぶい橙	赤褐色粒子・石英・ 雲母・径2mm 摩微、白色粒子 少	良	ナデハケ	ナデ ハケのちナデ	-	-	
145-8	PL75	1817	3	SM3005	1層	SM3005 1層 VU2	古墳 前期	土師	囊	口縁部	10%	(3.1)	16.1	-	7.5YR4/3 褐	7.5YR4/2 灰褐	赤褐色粒子・石英・ 径2mm 摩微、 白色粒子少	良	摩耗不明 工具によるナデ ? 磨耗	摩耗不明	-	種子庄痕?	
145-9	PL75	1819	3	SM3005	2層	VU6 SM3004 2層	古墳 前期	土師	台付囊 ?	頸部 ~肩部	5%	(3.6)	47.6	-	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR7/4 にぶい橙	白色粒子・雲母・ 石英・径2mm 摩微、赤褐色粒 子少	良	ハケのちナデ ハケ	ハケのちナデ ハケ摩耗 ケズリ?摩耗	-	-	
145-10	PL75	2255	3	SM3005	埋土	SM3005 VUR TR	古墳	土師	土器片 加工版	胴部	-	-	5.5	-	7.5YR7/3 にぶい橙	7.5YR7/4 にぶい橙	白色粒子・石英・ 赤褐色粒子・径2 ~4mm 摩微	良	ミガキ摩耗	ナデ	-	-	
146-1	PL75	1309	4	SM4001	埋土	SD4013	古墳 前期	土師	台付囊	接合部 ~脚部	10%	(4.2)	17.6	-	10YR7/2 にぶい黄橙	10YR7/2 にぶい黄橙	赤褐色粒子・石英・ 径2~3mm 摩 微	良	ハケのちナデ ナデ (脚内)ナデ 剥離	ナデ? 摩耗不明	-	-	
147-1	PL75	1338	2	SK139	埋土	SK139	古墳 中期	土師	器台	口縁部	10%	(2.3)	(9.4)	-	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	白色粒子・石英・ 径2mm 摩微、赤 褐色粒子少	良	ミガキ?摩耗 ナデ?摩耗	ナデ工具痕 摩耗	-	-	
147-2	PL75	1337	2	SK139	埋土	SK139	古墳 中期	土師	壺	口縁部 ~頸部	10%	(4.3)	28.8	-	5YR6/6 橙	7.5YR6/4 にぶい橙	赤褐色粒子・白 色粒子・雲母微 石英・径2mm 摩 少	良	ハケのちナデ ハケのちケズリ?	ハケのちナデ	-	-	
147-3	PL75	1339	2	SK139	埋土	SK139	古墳 中期	土師	囊	口縁部 ~頸部	10%	(15.5)	34.3	-	7.5YR7/4 にぶい橙	7.5YR7/4 にぶい橙	白色粒子・石英・ 径2mm 摩微、褐 色粒子少	良	ハケのちナデ ケズリ?摩耗	ハケのちナデ 摩耗	-	-	
148-1	PL75	1362	3	SK3223	埋土	SK3223	古墳 前期	土師	蓋	ツマミ部 ~口縁部	60%	6.8	33.4	-	10R4/8 赤	7.5YR6/4 にぶい橙	雲母・石英・径2 mm 摩微、赤褐色 粒子・褐色粒子少 ナデ	良	ハケのちミガキ ケズリ?摩耗	ハケのちミガキ ナデ	外/内	-	
149-1	PL75	1408	4	SK4024	埋土	SK4024	古墳 前期	土師	器台	口縁部 ~体部	20%	(7.7)	16.6	-	7.5YR7/4 にぶい橙	7.5YR7/4 にぶい橙	褐色粒子・白色粒 子・雲母微	良	ミガキ摩耗	ミガキ	-	-	
150-1	PL75	1409	4	SK4047	埋土	SK4047	古墳 前期	土師	片口鉢	口縁部 ~底部	90%	(12.8)	3.6	-	10YR6/3 にぶい黄橙	10YR6/3 にぶい黄橙	赤褐色粒子・褐色 粒子・白色粒子・ 雲母・径2mm 摩微、石英少	良	ハケのちミガキ 摩耗 輪線痕 ハケのちナデ	ハケのちミガキ 摩耗	-	-	
151-1	PL75	1505	2	SB3	埋土	SB31	古墳	須恵	坏身	体部	10%	(2.4)	46.3	-	2.5Y6/1 灰白	2.5Y7/1 灰白	白色粒子微	良	回転ナデ 回転ケズリ 自然曲	回転ナデ	-	-	
151-2	PL76	1580	4	-	表土	4a-2表	古墳	土師	坏	口縁部 ~底部	60%	6.6	(164.6)	-	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	雲母・径2mm 摩微、赤褐色粒 子・石英少、白 色粒子多	良	ハケ?のちミガ キケズリ?のちミ ガキケズリ?のちミ ガキ摩耗	ハケ?のちミガ キ ナデ	-	底部ヘラ揃 き	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考	
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm									重量 g
151-3	PL75	1969	4	VI E15	検出面	4a1VI E15No.2	古墳	土師	高坏	口縁部 ~脚部	90%	<12.5>	<5.6>	8.8	(224.1)	—	7.5YR6/4 にぶい、橙	5YR5/6 明赤褐	白色粒子・褐色粒 子・石英・雲母・ 径2~4mm礫 微、赤褐色粒子 少	良	剥離 摩耗不明 ミガキ?	—	内面跡分付 着
151-4	PL75	1493	1	SB3	埋土	SB3No.7	古墳	土師	高坏	口縁部 ~接合部	10%	<15.4>	—	(6.1)	105.5	—	7.5YR6/3 にぶい、橙	7.5YR2/1 黒	白色粒子・赤褐 色粒子・径2~4 mm礫微、石英 ナデ	良	ミガキ 摩耗 (脚内) 剥離? ミガキ?	—	—
151-5	PL76	1972	4	II A16	検出面	4a1V II A16 1 検 No.10	古墳	土師	高坏	接合部 ~脚部	30%	<9.2>	<9.2>	(5.5)	95.8	—	7.5YR5/3 にぶい、濁	7.5YR5/2 灰濁	白色粒子・雲母・ 石英・径2~3 mm礫微、赤褐 色粒子 少	良	ミガキ 摩耗 (脚内) ナデ ハケのちミガキ ナデ	—	—
151-6	PL75	2107	4	VII A17	検出面	4a1 VII A17 2 検 No.1	古墳	土師	高坏	口縁部 ~脚部	90%	18.3	10.0	103.0	465.4	—	5YR6/6 橙 10R4/8 赤	5YR6/6 橙 10R4/9 赤	石英・雲母・径2 mm礫微、白色 粒子・赤褐色粒子 多	良	ハケのちミガキ ナデ ケズリ?のちミ ガキ ナデ 摩耗 (脚内) ハケのち ナデ	外/内	—
151-7	PL76	1978	3	—	包含層	3d1 検下	古墳	土師	高坏	脚部	20%	—	—	(5.5)	51.6	—	7.5YR7/6 橙	7.5YR6/6 橙	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・雲母 ナデ 摩耗	良	ナデ 輪痕	—	—
151-8	PL76	2115	4	—	検出面	4a4 1 検	古墳	土師	器台	口縁部 ~器受部	10%	<6.9>	—	(1.1)	8.1	—	7.5YR5/4 赤	10R4/6 赤	白色粒子 微、石 英多	良	ナデ? 摩耗	内	—
151-9	PL75	1582	4	—	表土	4a-2	古墳	土師	鉢	口縁部 ~底部	80%	<8.2>	7.2	5.5	(192.5)	9.7	7.5YR7/3 にぶい、橙	7.5YR7/3 にぶい、橙	径2~4mm礫 微、赤褐色粒子・ 石英少、白色粒 子多	良	ナデ? ケズリ?のちナデ? 摩耗	—	—
151-10	PL76	1768	2	西カベ	検出面	2d 西カベ、2d 検	古墳	土師	鉢	口縁部	10%	<16.8>	—	(3.9)	17.3	—	5YR5/6 明赤濁	7.5YR6/4 赤褐色粒子・褐色 粒子・石英 微	良	ナデのちミガキ 摩耗 ハケのちミガキ ナデ	—	—	
151-11	PL76	2120	4	かく乱	埋土	4a4 初	古墳	須恵	甕?	口縁部	5%	—	—	—	12.1	—	7.5Y5/3 灰オリーブ	7.5Y5/2 灰オリーブ	白色粒子 少	良	軸 直線文	—	—
151-12	PL76	1778	2	かく乱	埋土	2d 初	古墳	土師	甕	口縁部	—	—	—	—	11.8	—	7.5YR6/4 にぶい、濁	7.5YR6/3 粒・褐色粒子・ 石英 微	良	ナデ 沈線	—	—	
151-13	PL76	2116	4	—	包含層	4a4 1 検下	古墳 前期	土師	壺	口縁部	10%	<18.0>	—	(4.2)	73.7	—	7.5YR6/4 にぶい、橙	5YR5/6 明赤濁	赤褐色粒子・褐色 粒子・径2mm 礫微、白色粒子・ 石英、雲母 少	良	ミガキ 摩耗 棒状浮文 ハケのちハケ 刺突文 ミガキ 摩耗	外/内	—
151-14	PL76	2110	4	—	表土	4a1 表	古墳 前期	土師	壺	口縁部	10%	<19.9>	—	(2.0)	38.1	—	10YR7/3 にぶい、黄橙 10R4/8 赤	10YR7/3 石英 微、赤褐色 粒子・径2mm 礫微、白色粒子 少	良	ハケのちナデ 摩耗 ナデ ハケのちナデ 刺突文	外/内	—	
151-15	PL75	1572	4	—	表土	4a-1 表	古墳 前期	土師	壺	口縁部 ~頸部	10% 以下	<20.6>	—	(5.6)	(105.1)	—	7.5YR5/4 にぶい、濁	7.5YR5/4 にぶい、濁	褐色粒子・石英・ 雲母 微、白色粒 子・径2mm礫 少	良	ハケのちナデ 刺突? 文 剥離 ナデのちハケ ハケのちミガキ ナデ	外/内	—
151-16	PL76	2098	4	VII A16	検出面	4a4V II A16 1 検	古墳	土師	壺	口縁部 ~頸部	10%	<13.8>	—	(4.1)	69.7	—	10YR7/3 にぶい、黄橙	10YR7/2 にぶい、黄橙	褐色粒子・赤褐色 粒子 微、白色粒 子・径2~3mm 礫 少	良	ハケのちミガキ 摩耗 ナデ ハケのちミガキ ナデ 刺突文	—	—
151-17	PL76	2121	4	かく乱	埋土	4a4 初	古墳	土師	壺	口縁部	10%	—	—	(3.8)	36.8	—	7.5YR6/4 にぶい、橙	7.5YR6/4 にぶい、橙	赤褐色粒子・雲 母・径2mm礫 微、白色粒子・石 英 少	良	沈線? ナデ ハケのちミガキ ナデ	—	—
151-18	PL76	1520	3	SK3260	I 層	SK3260 1 層	古墳	土師	壺	頸部	10% 以下	—	—	(3.3)	27.0	—	10YR4/2 灰黄濁	10YR4/2 灰黄濁	白色粒子・褐色 粒子・石英・径2 mm礫 微	良	ハケ ナデのち刺突? 文 脚部直線文	—	—
151-19	PL76	1574	4	—	表土	4a-1 表	古墳 前期	土師	壺	胴部	10%	—	—	(2.5)	13.7	—	7.5YR4/6 濁	7.5YR4/6 濁	径2~4mm礫 微、白色粒子・赤 褐色粒子・石英 少	良	沈線 山形文 ミガキ? 摩耗	外	—
151-20	PL76	2118	4	—	表土	4a4 表	古墳	土師	壺	胴部	5%	—	—	—	20.4	—	7.5YR6/4 にぶい、濁	7.5YR6/6 橙	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・雲母・ 径2mm礫 微	良	ミガキ? 摩耗 刺突文	—	—

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g								
151-21	PL76	2106	4	VII A16	検出面	4aIV II A16 1 検 No.1	古墳	土師 壺	底部	10%	—	5.8	(3.6)	—	10YR4/8 赤	7.5YR5/4 にぶい濁	石英・雲母・径2 mm礫 微、白色 粒子・赤褐色粒子 少	良	ハケのちミガキ 摩耗 ナデ	輪轡痕 工具によるナデ	外	底部穿孔 (焼成前)	
151-22	PL76	1982	3	—	包含層	3dI 検下	古墳	須恵 壺?	胴部	10%	—	—	(14.3)	—	N5/0 灰	N5/0 灰	黒色粒子 微	良	タタキのちナデ によるナデ	ナデ タタキのち工具 によるナデ	—		
151-23	PL76	1981	3	—	検出面	3dI 検下・2 検	古墳	土師 壺	口縁部	10%	—	—	(3.6)	—	10YR7/4 にぶい黄橙	10YR7/4 にぶい黄橙	白色粒子・赤褐色 粒子 少、石英・ 径2~5 mm礫 多	良	ハケのちミガキ キザミ ハケのちナデ 摩耗	ハケのちミガキ ナデ	—		
151-24	PL76	1983	3	—	包含層	3dI 検下	古墳	土師 壺	頸部	5%	—	—	—	—	7.5YR7/3 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい濁	白色粒子・褐色粒 子・赤褐色粒子・ 雲母・石英 微	良	ハケ ハケのちナデ 隆帯の上から刷 突文 ハケ?のちミガ キ 摩耗	ナデ ナデ 摩耗	—		
151-25	PL76	1584	5	II G05	検出面	5a II G5 No.1	古墳	土師 壺	頸部 ~底部	90%	—	4.9	(10.7)	13.8	7.5YR6/4 にぶい濁	7.5YR5/4 にぶい濁	白色粒子・石英・ 径2~3 mm礫 少、赤褐色粒子 多	良	ハケのちミガキ 摩耗 ナデ?	ナデ ナデ?	—	肩部穿孔 (焼成前?) 内面附着物	
151-26	PL76	1971	4	II A16	検出面	4aIV II A16 I 検 No.12・No.13, 4a4 I 検	古墳	土師 土師 台付裏	胴部 ~脚部	50%	—	<8.2>	(16.3)	<17.0>	10YR3/2 黒濁	10YR5/2 灰黄濁	白色粒子・石英・ 雲母・径2~4 mm礫 微、褐色 粒子 少	良	ナデハケ ハケのちナデ (胴内)ハケのち ナデ 工具痕	ハケ 摩耗 ナデ	—		
151-28	PL76	1563	3	—	表採	3b Z	古墳	土師 ミニア ユア	口縁部 ~底部	100%	3.9	1.3	3.2	—	7.5YR6/3 にぶい濁	7.5YR6/3 にぶい濁	白色粒子・褐色粒 子・雲母 微	良	ナデ ナデ	ナデ 指押さる痕	—		
151-29	PL76	1776	2	かく乱	埋土	2d 初?)	古墳	土師 ミニア ユア	口縁部 ~底部	30%	<6.2>	<3.8>	5.0	—	7.5YR6/4 にぶい橙	10YR4/2 灰黄濁	赤褐色粒子・石英・ 雲母 微、白色粒 子・褐色粒子 少	やや 不良	輪轡痕 ナデ ナデ 摩耗	輪轡痕	—		

第22表 古代土器一覽

図版番号	写真図版	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
		地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (所属遺構・地点名 (は省略))						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g								
153-1	PL76	2	SB2	埋土 床	SB1 No.3, 床 SB1	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	70%	<13.0>	6.0	4.1	100	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR5/4 にぶい濁 灰白	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・径2 ~3mm 礫 少	不良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	-	内面モミ? 庄痕
153-2	PL76	1	SB2	埋土	SB1	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	40%	<13.1>	6.4	3.9	74	2.5Y/1 黄灰	2.5Y7/1 灰白	白色粒子・石英・ 雲母・径2~3mm 礫 微	やや 不良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	-	
153-3	PL76	10	SB2	埋土 床下	SB2 床下 SK36 No.2	古代	土師	環	体部 ~底部	40%	-	5.4	(3.6)	115	10YR1.7/1 にぶい黄濁	10YR1.7/1 黒	赤褐色粒子 少、 石英・白色粒子 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ハケのちミガキ 摩耗 剥離 黒色処理	-	
153-4	PL76	11	SB2	埋土	SK36 No.1	古代	土師	環	口縁部 ~底部	40%	<14.4>	6.2	4.8	116	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR1.7/1 黒	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・雲母・ 径2~10mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ココミガキのち タテミミガキ 摩耗 黒色処理	-	
153-5	PL76	12	SB2	埋土	SB2 No.5	古代	土師	環	体部 ~底部	20%	-	6.0	(4.4)	(102.0)	5YR6/6 橙	5YR1.7/1 黒	白色粒子・赤褐色 粒子・雲母 微	良	ロクロナデ 回転ケズリ? 摩耗 回転糸切り のち回転ケズリ?	摩耗 ミガキ 黒色処理	-	
153-6	PL76	16	SB2	埋土	SB2 No.1	古代	灰軸 陶器	碗	口縁部 ~高台部	60%	<14.0>	6.0	(4.3)	120	5Y7/1 灰白	2.5Y7/1 灰白	-	良	ロクロナデ	ロクロナデ	-	内面高台重 ね痕
153-7	PL76	4	SB2	埋土	SB1 No.2	古代	土師	鉢	体部 ~底部	10%	-	<5.8>	(4.4)	60	5YR5/6 明赤濁	5YR5/3 にぶい赤濁	白色粒子・石英・ 雲母・径2mm 礫 微・赤褐色粒子 少	良	ロクロナデ 回転ケズリ 摩耗	摩耗 不明	-	
153-8	PL76	6	SB2	埋土	SB1	古代	土師	囊	口縁部 ~胴部	10%	<14.7>	-	(8.5)	91	5YR5/6 明赤濁	5YR6/6 橙	赤褐色粒子・雲母 少、白色粒子・石 英・径2mm 礫 微	良	ロクロナデ	摩耗	-	
153-9	PL76	7	SB2	埋土	SB1 No.4 SB1	古代	土師	囊	口縁部 ~胴部	10%	<24.0>	-	(15.0)	415	10YR7/3 にぶい黄橙	7.5YR7/4 にぶい橙	赤褐色粒子・雲母・ 石英 微、白色細 粒子 少	良	ロクロナデ ケズリ	ロクロナデ カキヌ	-	
155-1	PL77	33	SB3	埋土	SB3 No.5	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	70%	<12.0>	5.9	4.0	(100.0)	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	白色粒子・褐色 粒子・石英・径 2mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	-	外面黒書 底部線刻
155-2	PL77	21	SB3	埋土 灰下	SB3 灰下 No.22	古代	須恵	環	体部 ~底部	20%	-	6.4	2.2	238	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	白色粒子・径 2mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	-	外面黒書
155-3	PL77	18	SB3	埋土 灰下	SB3 灰下 No.20	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	50%	<13.0>	6.0	3.9	109	7.5Y7/1 明赤灰	2.5Y6/1 黄灰	白色粒子 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	-	
155-4	PL77	20	SB3	埋土	SB3 No.6	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	100%	12.7	5.4	4.0	128	5Y7/1 灰白	2.5Y6/1 黄灰	白色粒子 微、径 2~4mm 礫 少	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	-	
155-5	PL77	19	SB3	埋土 灰下	SB3 灰下 No.21	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	30%	<12.9>	6.8	4.0	103	5YR6/3 にぶい橙	5YR4/1 褐色	白色粒子・赤褐色 粒子・雲母・石英・ 径2~5mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	-	
155-6	PL77	17	SB3	埋土 灰下	SB3 灰下 No.1	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	100%	12.4	5.9	3.7	140	10Y7/1 灰白	10Y7/1 灰白	白色粒子・褐色 粒子・径2~8mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	-	
155-7	PL77	27	SB3	埋土	SB3	古代	土師	環	底部	10%	-	5.5	(2.1)	86	7.5YR6/4 にぶい橙	10YR1.7/1 黒	赤褐色粒子 少、 白色粒子・石英・ 径2~5mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転ケズリ? の ち回転ケズリ	ミガキ 摩耗 黒色処理	-	
155-8	PL77	24	SB3	埋土	SB3	古代	土師	環	口縁部 ~底部	30%	<12.3>	<5.4>	4.1	(41)	5YR5/6 明赤濁	N1.5/ 黒	白色粒子・赤褐色 粒子・雲母 少、 径2mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ミガキ 摩耗 黒色処理	-	
155-9	PL77	23	SB3	埋土	SB3 No.8 SB3	古代	土師	環	口縁部 ~底部	50%	12.2	5.8	4.3	(83.4)	10YR7/3 にぶい黄橙	N1.5/ 黒	白色粒子・褐色粒 子・径3mm 礫・ 石英 微	良	ロクロナデ 回転糸切り の ち回転ケズリ 摩耗	ミガキ 摩耗 黒色処理	-	
155-10	PL77	25	SB3	埋土	SB3	古代	土師	環	口縁部 ~体部	30%	<14.4>	-	(4.7)	44	10YR6/3 にぶい黄橙	N1.5/ 黒	白色粒子・褐色粒 子・径2~6mm 礫・ 雲母 微	良	ロクロナデ 摩耗 剥離	ミガキ 摩耗 黒色処理	-	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考				
			地区	遺構・地点	層位・位置 (所属遺構・地点名は省略)						注記記号 (所属遺構・地点名は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm								重量 g	胴部 最大径 cm		
155-11	PL77	22	1	SB3	埋土	SB3	古代	土師	環	口縁部 ~底部	20%	<14.2>	<6.1>	5.3	80	—	5YR3/1 黒褐色	5YR4/6 赤褐色	5YR3/1 黒褐色	白色粒子・雲母 少、赤褐色粒 子 微	良	ミガキ 摩耗 黒色処理	ロクロナデ	—	
155-12	PL77	31	1	SB3	床下	SB3	古代	須恵	壺	胴部 ~底部	10%	<13.0>	—	(8.1)	175	—	10R1/4 暗赤灰	N3/ 暗灰	10R1/4 暗赤灰	白色粒子 微	良	ロクロナデ ハケ?のちナデ 当て具痕	ロクロナデ	—	敷物?圧痕
155-13	PL77	32	1	SB3	埋土	SB3	古代	須恵	四耳壺	胴部	10%	—	—	(14.2)	233.9	<24.2>	5YR4/3 赤褐色	5YR4/3 暗赤灰	5YR5/1 灰	白色粒子 微	良	タタキ 自然釉	ロクロナデ	—	
155-14	PL77	28	1	SB3	埋土	SB3 No.2	古代	土師	甕	口縁部 ~胴部	10%	(4.2)	—	(5.8)	50	—	2.5YR6/8 橙	5YR6/6 橙	2.5YR6/8 橙	白色粒子 少、 径2mm 礫・石英 微	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
155-15	PL77	30	1	SB3	灰下 床下	SB3 灰下 No.5, No.15, No.16, SB3 P2	古代	土師	甕	口縁部 ~胴部	10%	<24.8>	—	(10.3)	(249.1)	—	10YR7/4 黄褐色	10YR7/4 黄褐色	10YR7/4 黄褐色	白色粒子・赤褐色 粒子・雲母・径2 ~5mm 礫 微、 石英 少	良	ロクロナデ カキメハケ	ロクロナデ	—	
156-1	PL77	36	1	SB5	埋土	SB5	古代	須恵	環	体部 ~底部	20%	—	5.8	(1.8)	73	—	10YR5/2 灰黄褐色	10YR5/2 灰黄褐色	10YR5/2 灰黄褐色	白色粒子・径 2mm 礫・雲母 微	良	ロクロナデ 磨滅	ロクロナデ	—	内面炭化物 付着
156-2	PL77	35	1	SB5	埋土	SB5 No.18	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	60%	13.3	5.7	3.7	120	—	10YR5/1 褐色	10YR5/1 褐色	10YR5/1 褐色	白色粒子・径2~ 4mm 礫 多	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
156-3	PL77	38	1	SB5	埋土	SB5	古代	須恵	台付環	環部 ~高古部	20%	<8.2>	—	(2.9)	55	—	N4/ 灰	N4/ 灰	N4/ 灰	白色粒子・径 2mm 礫 少	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
156-4	PL77	40	1	SB5	埋土	SB5 P1 No.1	古代	土師	環	口縁部 ~底部	80%	13.1	6.0	4.1	165	—	5YR1/7 黒	5YR1/7 黒	5YR1/7 黒	白色粒子 微、径 2~4mm 礫・褐色 粒子 少	良	ロクロナデ 磨滅 黒色処理	ロクロナデ	—	
156-5	PL78	42	1	SB5	埋土	SB5 俵	古代	土師	鉢	口縁部 ~体部	10%	<24.5>	—	(3.8)	35	—	5YR1/7 黒	5YR1/7 黒	5YR1/7 黒	径2mm 礫・石英・ 褐色粒子 微	良	ミガキ 摩耗 剥離 黒色処理	ロクロナデ	—	
156-6	PL77	39	1	SB5	埋土 床下	SB5 No.10, 床 SB5	古代	須恵	蓋	体部 ~口縁部	50%	<18.4>	—	(2.8)	135	—	N3/ 暗灰	N3/ 暗灰	N4/ 灰	白色粒子 少、径 2~3mm 礫 微	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
156-7	PL78	49	1	SB5	灰下	SB5 灰下	古代	須恵	甕	胴部	5%	—	—	—	114.1	—	7.5YR4/1 褐色	N4/ 灰	7.5YR4/1 褐色	白色粒子 少	良	平行タタキのち ロクロナデ	ロクロナデ	—	
156-8	PL78	50	1	SB5	埋土	SB5 No.18	古代	須恵	四耳壺	胴部	5%	—	—	(5.7)	66.9	—	N5/ 灰	N5/ 灰	N5/ 灰	白色粒子・径 2mm 礫 微	良	タタキ	ロクロナデ	—	
156-9	PL77	51	1	SB5	埋土	SB5 No.1, No.4, No.5, No.1 3, No.16, No.22, 俵 SB5 1俵	古代	須恵	甕	胴部 ~底部	70%	—	—	(38.5)	(6900.0)	<45.6>	10R3/3 暗赤褐色	10R3/3 暗赤褐色	N3/ 暗灰	白色粒子 少、褐 色粒子・径2~ 5mm 礫 微	良	タタキ 下方磨滅 自然釉	ロクロナデ	—	
157-10	PL77	43	1	SB5	埋土	SB5 No.2	古代	土師	甕	胴部 ~底部	40%	—	6.3	(7.2)	275	—	5YR5/4 赤褐色	5YR5/4 赤褐色	5YR5/6 明赤褐色	白色粒子・赤褐色 粒子 少、石英・ 雲母・径2mm 礫 微	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
157-11	PL78	48	1	SB5	床下	SB5 床下	古代	土師	甕	口縁部 ~胴部	10%	<21.8>	—	(8.5)	(129)	—	7.5YR6/4 赤褐色	7.5YR6/4 赤褐色	7.5YR6/4 赤褐色	赤褐色粒子・径2 ~3mm 礫 微、 石英 多	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	外面付着物 (灰?)
157-12	PL78	47	1	SB5	埋土	SB5 No.17 SB5	古代	土師	甕	口縁部 ~胴部	10%	<21.8>	—	(12.0)	(198)	—	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	褐色粒子・径2~ 3mm 礫 微、石 英 多	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
157-13	PL78	45	1	SB5	埋土 床下	SB5 No.18, No.19, 灰下, 床下 SK55	古代	土師	甕	口縁部 ~胴部	20%	<22.8>	—	(16.1)	(497)	<22.6>	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	2.5YR5/8 明赤褐色	白色粒子・赤褐色 粒子・石英 少、 径2~4mm 礫 微	良	ロクロナデ 摩耗 ケズリ	ロクロナデ	—	外面付着物 (スス?灰?)
157-14	PL78	46	1	SB5	埋土 灰下	SB5 No.20, No.21, 灰 下 SB5	古代	土師	甕	口縁部 ~胴部	10%	<23.8>	—	(6.3)	117.6	—	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	白色粒子・褐色粒 子・石英・雲母・ 径2~4mm 礫 微	良	ナデ	ナデ	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm						
157-15	PL77	44	1	SB5	埋土 灰下	SB5 No.9.No.12.No.17. No.23.灰下	古代	土師	口縁部 ~胴部	50%	23.6 (23.8)	—	23.6	5YR5/4 にぶい赤褐色	5YR6/4 にぶい橙	白色粒子・褐色粒 子・石英・径2~ 4mm 礫 少、雲 母 微	良好	ロクロナデ 摩耗 カキメのちナデ?	—	
158-1	PL78	52	1	SB6	埋土	SB6 No.1	古代	須恵	口縁部 ~底部	20%	<12.9>	<5.6>	—	7.5YR7/6 橙	7.5YR6/6 橙	白色粒子 微、赤 褐色粒子・石英 少	良好	回転ナデ 回転糸切り	—	
158-2	PL78	53	1	SB6	床下	SB6 床下	古代	土師	口縁部 ~底部	70%	12.7	6.2	—	10YR6/3 にぶい黄褐色	10YR2/1 黒	赤褐色粒子・白色 粒子・石英 少	良好	回転ナデ 回転糸切り	—	
158-3	PL78	54	1	SB6	埋土 床	SB6 床下 SB6	古代	土師	胴部 ~底部	10%	—	6.8	<14.1>	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR7/6 橙	赤褐色粒子・石英 少	良好	回転ナデ 回転糸切り	—	
158-4	PL78	60	1	SB6	埋土	SB6 No.17	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<22.8>	—	—	7.5YR7/4 にぶい橙	7.5YR6/6 橙	赤褐色粒子・褐色 粒子・白色粒子・ 径2mm 礫 微、赤 褐色粒子・白色粒 子 少	良好	ロクロナデ	—	
158-5	PL78	56	1	SB6	埋土	SB6 No.1 SB6	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<23.6>	—	—	5YR6/6 明赤褐色	5YR5/8 明赤褐色	径2mm 礫 微、赤 褐色粒子・白色粒 子 少	良好	回転ナデ 回転糸切り	—	
158-6	PL78	55-1	1	SB6	埋土 床	SB6 PI.No.6.PI.No.7.PI. 床下	古代	土師	口縁部 と合 せて	10%	<21.0>	—	<20.6> (200.8) (55-2と(55-1と 合せて)合せて)	2.5YR6/6 橙	2.5YR5/4 にぶい赤褐色	赤褐色粒子・白色 粒子・石英 少	良好	回転ナデ ケズリのちナデ ハケ	—	
158-7	PL78	55-2	1	SB6	埋土 床	SB6 PI.No.6.PI.No.7.PI. 床下	古代	土師	底部 と合 せて	10%	<5.2>	—	<20.6> (200.8) (55-1と(55-1と 合せて)合せて)	10YR5/2 灰黄褐色	10YR5/3 にぶい黄褐色	赤褐色粒子・白色 粒子・石英 少	良好	回転ナデ ケズリのちナデ ハケ	—	
158-8	PL78	59	1	SB6	埋土	SB6	古代	土師	口縁部 ~胴部	20%	<26.0>	—	—	2.5Y7/4 浅黄	10YR6/6 明黄褐色	白色粒子・黒色粒 子・石英・径2m m 礫 微	良好	ロクロナデ ケズリ	—	
158-9	PL78	58	1	SB6	埋土 床	SB6 PI.No.2.PI.No.10.PI. 床下	古代	土師	胴部 ~底部	30%	<3.0>	—	—	10YR5/4 にぶい黄褐色	10YR2/2 黒褐色	赤褐色粒子・白色 粒子・黒色粒子・ 径2mm 礫 微	良好	ロクロナデ ケズリ 摩耗 ケズリのちナデ ハケ	—	
160-1	PL78	69	1	SB7	埋土	SB7 敏	古代	須恵	体部 ~口縁部	30%	<12.7>	—	—	N5/0 灰	N5/0 灰	白色粒子・石英 微	良好	回転ナデ 自然釉	—	
160-2	PL78	66	1	SB7	埋土	SB7	古代	須恵	体部 ~口縁部	20%	<14.4>	—	—	5YR5/2 灰褐色	5YR5/2 灰褐色	褐色粒子・白色粒 子 微	良好	ロクロナデ 自然釉	—	
160-3	PL78	2289	1	SB7	埋土	SB7	古代	須恵	底部	20%	<7.0>	—	—	N5/0 灰	N4/0 灰	白色粒子・黒色粒 子・石英 微	良好	ロクロナデ 摩滅 ケズリ? 摩耗	—	
160-4	PL78	61	1	SB7	埋土	SB7 敏	古代	須恵	口縁部 ~底部	30%	<13.3>	6.6	—	2.5Y5/2 暗灰黄	2.5Y5/2 暗灰黄	灰褐色粒子・白色 粒子・径~5 mm 礫 少	良好	ロクロナデ 回転糸切り	—	
160-5	PL78	62	1	SB7	埋土	SB7	古代	須恵	口縁部 ~底部	10%	<14.8>	<9.6>	—	N4/0 灰	N4/0 灰	白色粒子・灰色粒 子 微	良好	ロクロナデ 回転糸切り	—	
160-6	PL78	63	1	SB7	埋土	SB7 No.1	古代	須恵	口縁部 ~高台部	90%	11.5	8.2	—	7.5Y4/1 灰	N4/0 灰	白色粒子・灰色 粒子・径3mm 礫 微	良好	ロクロナデ 貼付ナデ 回転糸切り	—	
160-7	PL78	64	1	SB7	埋土	SB7 敏 SB7	古代	須恵	口縁部 ~高台部	30%	<14.9>	<11.2>	—	5Y5/1 灰	5Y5/1 灰	白色粒子・灰色 粒子・径~2mm 礫 微	良好	ロクロナデ 貼付ナデ 回転糸切り	—	
160-8	PL79	68	1	SB7	埋土	SB7	古代	須恵	口縁部 ~体部	10%	<17.9>	—	—	5YR5/6 明赤褐色	5YR5/6 明赤褐色	褐色粒子・白色粒 子・石英 微	良好	ロクロナデ 剥離? 摩耗?	—	
160-9	PL79	65・71	1	SB7	埋土	SB7	古代	須恵	口縁部 ~胴部	10%	<22.9>	—	<23.5>	10YR4/1 褐色	10YR4/1 褐色	赤褐色粒子・白色 粒子・石英・径2 ~7mm 礫 微	良好	回転ナデ ナデ 摩耗 輪軸痕	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置 (所属遺構・地点名は省略)						注記記号 (所属遺構・地点名は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm									
160-10	PL78	72	1	SB7	埋土	SB7 No.2	古代	須恵	胴部 ~高台部	40%	8.4	(8.8)	196.5	-	7.5YR4/1 褐灰	7.5YR4/1 褐灰	石英微・白色粒 子少	良	回転ナデ 高台貼付回転 ナデ	回転ナデ	-		
160-11	PL79	70	1	SB7	埋土	SB7 検	古代	須恵	口縁部 ~胴部	10%	-	(10.1)	213.5	<22.5>	10YR4/1 褐灰	7.5YR4/1 褐灰	白色粒子・黒色粒 子・石英・径3mm 微	良	回転ナデ 回転系切り	回転ナデハケ 当て具痕 自然釉	-		
160-12	PL79	73	1	SB7	埋土	SB7	古代	須恵	口縁部 ~頸部	10%	-	(5.5)	78.2	-	N4/0 灰	N4/0 灰	白色粒子 微	良	ロクロナデ ロクロナデのち 平行タタキ	ロクロナデ	-		
160-13	PL78	74	1	SB7	埋土	SB7 No.4 SB7	古代	須恵	胴部 ~底部	10%	-	(7.1)	(263.6)	-	2.5Y6/2 灰黄	2.5Y6/2 灰黄	褐色粒子・白色 粒子・径2mm微	良	平行タタキ 摩耗ケズリ 輪痕	当て具痕のちヨ コナデ 指押さえナデ	-		
160-14	PL78	75	1	SB7	埋土	SB7 検 No.4, 検 No.7, 検 No.11, 検 SB7	古代	須恵	胴部	10%	-	-	(1492.6)	-	7.5Y6/2 灰オリーブ	10Y4/1 灰	褐色粒子・白色粒 子 微	良	格子目タタキ 自然釉	無文当て具	-		
160-15	PL79	79	1	SB7	埋土	SB7 No.3 SB7	古代	土師	口縁部 ~胴部	20%	-	(5.1)	31.7	<12.8>	7.5YR7/4 にぶい・橙	7.5YR7/4 浅黄	赤褐色粒子・白色 粒子・石英・径1 mm砂 少	良	回転ナデ 摩耗	回転ナデ 摩耗	-		
160-16	PL78	77	1	SB7	埋土	SB7 検 No.6, 検 No.13	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	-	(6.7)	(53.1)	-	7.5YR5/6 明褐	7.5YR5/6 明褐	白色粒子・角閃石・ 石英微・褐色粒 子 少	良	ナデ 摩耗 輪痕 ハケケズリ ナデ 摩耗	ナデ 輪痕 ハケケズリ ナデ 摩耗	-		
160-17	PL79	78	1	SB7	埋土	SB7 No.6	古代	土師	翼部 ~胴部	10%	-	(13.0)	(141.9)	-	7.5YR7/4 にぶい・橙	7.5YR7/4 褐	白色粒子・石英・ 径2~4mm微 微・赤褐色粒子・ 褐色粒子 少	良	ナデ 輪痕 ハケ ナデ	ナデ 輪痕 ハケ	-		
160-18	PL79	76	1	SB7	埋土	SB7 検	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	-	(9.2)	82.7	-	5YR5/6 明赤褐	5YR5/4 にぶい・赤褐	赤褐色粒子・白色 粒子・石英・径2 mm微 微	良	ロクロナデ カキのちナデ ハケのちナデ カキのちナデ	ロクロナデ カキのちナデ ハケのちナデ カキのちナデ	-		
160-19	PL79	80	1	SB7	埋土	SB7	古代	土師	把手?	10%	長さ 8.0	厚さ 2.0	35.0	-	10YR7/4 にぶい・黄橙	-	赤褐色粒子・石英・ 径2mm微 微・ 白色粒子・灰色粒 子 少	良	ミガキ 指押さえ	-	-		
162-1	PL79	85	1	SB8	埋土	SB8 SB16	古代	須恵	口縁部 ~底部	20%	-	6.4	100	-	10YR5/2 灰黄褐	2.5Y6/1 黄灰	白色粒子・径 2mm微	良	ロクロナデ 磨減 回転系切り	ロクロナデ 磨減	-		
162-2	PL79	84	1	SB8	埋土	SB8 SB16	古代	須恵	口縁部 ~底部	60%	12.8	3.9	90	-	2.5Y6/1 黄灰	2.5Y6/2 黄灰	白色粒子・径 2mm微	や や 不良	ロクロナデ や や 不良 回転系切り	ロクロナデ	-		
162-3	PL79	82	1	SB8	埋土	SB8 No.3	古代	須恵	口縁部 ~底部	30%	<6.0>	4.2	85	-	2.5YR5/6 明赤褐	2.5YR5/6 明赤褐	白色粒子 少・径 2~4mm微 微	や や 不良	ロクロナデ や や 不良 回転系切り	ロクロナデ	-		
162-4	PL79	83	1	SB8	埋土	SB8	古代	須恵	口縁部 ~底部	80%	13.6	4.1	140	-	7.5YR6/1 灰	7.5YR7/1 灰白	白色粒子・径2~ 5mm微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	-		
162-5	PL79	81	1	SB8	埋土	SB8 No.6	古代	須恵	口縁部 ~底部	20%	<6.6>	(3.6)	40	-	N5/ 灰	N4/ 灰	白色粒子 少・径 2mm微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	-		
162-6	PL79	93	1	SB8	埋土	SB8 No.4	古代	土師	口縁部 ~底部	70%	14.1	5.0	176.5	-	10YR7/4 にぶい・黄橙	N1.5/ 黒	白色粒子・褐色粒 子・径2~3mm 微・石英 多	良	ロクロナデ ケズリ 回転系切り	ミガキ 黒色処理	-	底部ヘラ揃 き?	
162-7	PL79	89	1	SB8	埋土	SB8 No.5 SB8	古代	須恵	ツマミ ~口縁	40%	-	5.1	85	-	N4/ 灰	5Y4/1 灰	白色粒子・径2~ 4mm微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ 自然釉	-		
162-8	PL79	90	1	SB8	床	SB8床	古代	須恵	体部 ~口縁部	30%	-	(3.4)	100	-	2.5YR5/1 黄灰	2.5YR4/1 黄灰	白色粒子 少・径 2~4mm微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ 自然釉	-		
162-9	PL79	87	1	SB8	床	SB8床	古代	須恵	口縁部 ~底部	10%	-	(2.9)	20	-	N3/ 暗灰	7.5YR3/4 明褐	白色粒子・径 2mm微	良	ロクロナデ ナデ	ロクロナデ	-		
162-10	PL79	86	1	SB8	埋土 床	SB8 SB8床	古代	須恵	口縁部 ~体部	20%	-	(6.5)	80	-	N4/ 灰	5Y4/1 灰	白色粒子・径 2mm微	良	ロクロナデ 回転ナデ	回転ナデ	-		
162-11	PL79	98	1	SB8	埋土	SB8	古代	須恵	口縁部 ~胴部	10%	-	(11.9)	(247.1)	-	N4/ 灰	N4/ 灰	白色粒子 少・ 石英・径2mm微	良	ロクロナデ ロクロナデのちハケ	ロクロナデ ナデ 当て具痕 摩耗	-		

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考				
			地区	遺構・地点	層位・位置 (所属遺構・地点名は省略)	注記記号 (所属遺構・地点名は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g							胴部 最大径 cm	外面色調	内面色調	内面色調
162-12	PL79	94	SB8	1	SB8	2層	SB8	2層	土師	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<20.0>	—	(7.9)	62.2	—	7.5YR6/4 にふい、黄褐色	白色粒子・褐色 少	良	ロクロナデ	ナデ	ハケ?のちカキ メ	外面付着物 (底?炭化 物?)
162-13	PL79	96	SB8	1	SB8	埋土 床	SB8 SB8	埋土 床	土師	古代	土師	口縁部 ~胴部	20%	<22.3>	—	(11.6)	(174.1)	—	7.5YR6/4 にふい、黄褐色	白色粒子・褐色 少	良	ロクロナデ	ナデ	工具によるナデ	内面スス? 付着
162-14	PL79	97	SB8	1	SB8	埋土 P	SB8 SB19 SB19	埋土 P	土師	古代	土師	胴部 ~底部	10%	—	(2.2)	(10.6)	133.1	—	10YR6/3 にふい、黄褐色	白色粒子・褐色 少	良	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ
162-15	PL79	99	SB8	1	SB8	埋土	SB8	埋土	土師	(古代)	土師	把手	(5%)	—	—	—	10	—	10YR7/2 にふい、黄褐色	白色粒子・赤褐色 少	良	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ
162-1	PL79	100	SB9	1	SB9	埋土	SB9	埋土	須恵	古代	須恵	体部 ~口縁部	30%	<13.6>	—	(2.5)	40.1	—	5Y6/1 灰	白色粒子・黄白色 少	良	ロクロナデ	ナデ	ナデ	ナデ
162-2	PL79	102	SB9	1	SB9	埋土	SB9	埋土	土師	古代	土師	口縁部	10%	<14.3>	—	(3.0)	17.8	—	7.5YR6/4 にふい、黄褐色	白色粒子・黒色 微	良	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ
164-1	PL79	103	SB11	1	SB11	埋土	SB11 No.2.3 SB11・12	埋土	須恵	古代	須恵	口縁部 ~底部	90%	12.8	5.9	3.7	(162.0)	—	10YR7/2 にふい、黄褐色	白色粒子・褐色 微	良	ロクロナデ	ナデ	ナデ	ナデ
164-2	PL79	104	SB11	1	SB11	埋土	SB11	埋土	須恵	古代	須恵	口縁部 ~底部	30%	<13.5>	<7.1>	4.1	55	—	10YR6/3 にふい、黄褐色	白色粒子・褐色 微	やや 不良	ロクロナデ	ナデ	ナデ	ナデ
164-3	PL79	106	SB11	1	SB11	埋土	SB11	埋土	須恵	古代	須恵	口縁部 ~底部	40%	<14.4>	<6.1>	4.8	65	—	2.5Y6/1 黄褐色	白色粒子・褐色 微	やや 不良	ロクロナデ	ナデ	ナデ	ナデ
164-4	PL79	105	SB11	1	SB11	埋土 P	SB11 P1 SB11・12 SB12 2・3層	埋土 P	須恵	古代	須恵	口縁部 ~底部	50%	<14.2>	<7.5>	4.7	92.0	—	7.5YR6/6 にふい、黄褐色	白色粒子・褐色 微	良	ロクロナデ	ナデ	ナデ	ナデ
164-5	PL79	109	SB11	1	SB11	埋土 床下 3層	SB11 床下 SB12 3層 SB12・17	埋土 床下 3層	須恵	古代	須恵	体部 ~口縁部	20%	<18.6>	—	(2.1)	105	—	7.5YR5/1 灰	白色粒子・石英 微	良	ロクロナデ	ナデ	ナデ	ナデ
164-6	PL79	107	SB11	1	SB11	埋土	SB11 No.6 SB11	埋土	須恵	古代	須恵	口縁部 ~高台部	40%	<17.7>	<12.5>	4.0	190	—	5Y5/1 灰	白色粒子・褐色 微	良	ロクロナデ	ナデ	ナデ	ナデ
164-7	PL79	108	SB11	1	SB11	埋土	SB11 No.6 SB11・12	埋土	須恵	古代	須恵	口縁部 ~高台部	20%	<17.6>	<12.5>	(3.8)	(71.3)	—	5YR6/4 にふい、黄褐色	白色粒子・褐色 微	良	ロクロナデ	ナデ	ナデ	ナデ
164-8	PL79	110	SB11	1	SB11	埋土	SB11 No.8	埋土	須恵	古代	須恵	胴部	20%	—	—	19.0	440	—	N5/ 黄褐色	白色粒子・赤褐色 微	良	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ
164-9	PL79	2302	SB11	1	SB11	埋土	SB11	埋土	土師	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<20.3>	—	(6.1)	99.1	—	10YR6/2 にふい、黄褐色	白色粒子・石英・ 雲母・礫2~4 mm 微	良	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ
164-10	PL79	2301	SB11	1	SB11	埋土 床下	SB11 床下 SB12・17	埋土 床下	土師	古代	土師	底部	10%	—	<7.4>	(5.7)	118.1	—	5YR5/6 明赤褐色	白色粒子・石 英・雲母・礫2~ 4mm 微、褐色 少	良	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ
168-1	PL79	128	SB13	1	SB13	埋土	SB13	埋土	須恵	古代	須恵	口縁部 ~底部	80%	12.9	5.8	4.3	(162.5)	—	2.5Y7/2 灰黄	赤褐色粒子・白色 微	良	ロクロナデ	ナデ	ナデ	ナデ
168-2	PL79	2260	SB13	1	SB13	埋土	SB13	埋土	須恵	古代	須恵	体部 ~高台部	10%	—	<9.3>	(3.0)	61.4	—	5Y4/1 灰	赤褐色粒子・白色 少、黄白色 多、石英 微	良	ロクロナデ	ナデ	ナデ	ナデ
168-3	PL79	130	SB13	1	SB13	埋土	SB13 No.5	埋土	須恵	古代	須恵	体部 ~高台部	30%	—	10.3	(2.2)	216.3	—	7.5YR4/1 褐色	白色粒子 微	良	ロクロナデ	ナデ	ナデ	ナデ
168-4	PL79	131	SB13	1	SB13	1層	SB13 No.3.1層	1層	土師	古代	土師	口縁部 ~体部	20%	<12.8>	—	(3.9)	(61.1)	—	10YR4/1 褐色	赤褐色粒子・白色 少、角閃石・ 礫 微、石英 少	良	ロクロナデ	ナデ	ナデ	ナデ

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g								
168-5	PL79	132	1	SB13	埋土	SB13 No.3	古代	鉢	口縁部 ～底部	30%	<18.7>	<7.9>	6.1	(262.2)	—	7.5YR6/6 橙	N1.5/O 黒	赤褐色粒子・白色 粒子・黄白色 粒子・雲母 少、 石英 多	良	ロクロナデ 摩耗 回転糸切り	ミガキ 黒色処理	—	
168-6	PL79	136	1	SB13	埋土	SB13	古代	甕	口縁部 ～胴部	10%	<9.7>	—	(4.1)	18.0	—	10YR5/2 灰黄褐	10YR4/2 灰黄褐	黄白色粒子・角四 石・輝石・石英 少	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
168-7	PL79	134	1	SB13	埋土	SB13 No.2 SB13	古代	甕	口縁部 ～胴部	10%	<22.9>	—	(12.2)	(235.8)	—	7.5YR6/6 橙	7.5YR5/3 にぶい黄	赤褐色粒子 多、 黄白色粒子 石英 少、角四石・輝石、 径2～5mm 礫 微、 径2～5mm 礫 微、	良	ロクロナデ カキメ 回転糸切る	ハケ 輪郭み残る	—	
168-8	PL80	133	1	SB13	埋土	SB13 No.2, No.10, No.11 SB13	古代	甕	口縁部 ～底部	50%	<22.6>	<3.8>	33.0	(1520.0)	<24.0>	5YR5/4 にぶい赤褐	10YR6/4 にぶい黄緑	赤褐色粒子・白色 粒子・黄白色 粒子・径2～3 mm 礫 少、石英 多	良	ロクロナデ カキメ ケズリ	ナデ カキメ ハケ 輪郭み残る	—	
168-9	PL79	135	1	SB13	埋土	SB13 No.9	古代	甕	胴部 ～底部	20%	—	<4.0>	(9.2)	304.7	—	10YR6/4 にぶい黄緑	10YR6/3 にぶい黄緑	黄白色粒子 多、 白～灰粒子・角四 石・輝石 微、径 2～6mm 礫 多、 赤褐色粒子・石 英 少	良	ケズリ	ハケ 輪郭み残る	—	
168-1	PL80	137	1	SB14	埋土	SB14 No.1	古代	須恵 台付環	口縁部 ～高台部	60%	12.9	8.3	4.3	151.6	—	5Y6/1 灰	5Y6/1 灰	白色粒子 微、黒 色粒子 少、径3～ 5mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り 高台付けのち 回転ナデ	ロクロナデ	—	
168-2	PL80	138	1	SB14	埋土	SB14 No.7	古代	須恵 台付環	高台部	10%	<11.2>	(1.4)	92.4	(121.8)	—	2.5Y4/1 暗オリーブ 灰	2.5Y4/1 暗オリーブ 灰	黄白色粒子・灰色 粒子・黒色粒子 微、径2～3mm 礫 微	良	ロクロナデ ケズリ ハケ	ロクロナデ	—	
168-3	PL80	140	1	SB14	床下	SB14 床下・周溝	古代	甕	口縁部 ～胴部	20%	<14.4>	—	(8.7)	(121.8)	—	7.5YR6/4 にぶい橙	10YR6/2 灰黄褐	黄白色粒子・灰色 粒子・白色粒子・ 赤褐色粒子・黒色 粒子・角四石・輝 石 微、石英 少	良	ロクロナデ カキメ ハケ	ロクロナデ	—	
168-4	PL80	139	1	SB14	埋土	SB14 No.1 SB14	古代	甕	口縁部 ～胴部	10%	<22.8>	—	(15.3)	249.9	<24.5>	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	黄白色粒子・赤褐 色粒子・黒色粒子 微、径2mm 礫、 石英 微	良	ロクロナデ ケズリ ハケ	ロクロナデ	—	
168-5	PL80	2261	1	SB14	埋土	SB14 周溝	古代	甕	底部	10%	—	—	—	65.8	—	7.5YR5/3 にぶい黄	5YR6/6 灰白	黄白色粒子・赤褐 色粒子・灰色粒子 少、 赤褐色粒子 少、 石英 多	良	ロクロナデ ケズリ ハケ	ロクロナデ	—	
162-1	PL80	162	1	SB16	埋土	SB16 No.4 SB16	古代	須恵 環	口縁部 ～底部	90%	12.2	5.7	3.6	(101.0)	—	10YR7/1 灰白	10YR7/1 灰白	白色粒子・灰色粒 子 微 赤褐色粒子 少、 黄白色粒子 多、 角四石・輝石・雲 母 少、径4mm 礫 微、石英 多	良	ロクロナデ 回転糸切り 高台付けのち 回転ナデ	ロクロナデ	—	
162-2	PL80	163	1	SB16	埋土	SB16	古代	甕	口縁部 ～高台部	50%	<12.3>	<7.7>	3.6	(164.6)	—	10YR5/4 にぶい黄褐	10YR5/2 灰黄褐	黄白色粒子 少、 赤褐色粒子 多、 角四石・輝石・雲 母 少、径4mm 礫 微、石英 多	良	ロクロナデ ケズリ ハケ	ロクロナデ	—	
162-3	PL80	166	1	SB16	埋土	SB16 No.10	古代	甕	胴部 ～底部	20%	—	6.2	(2.7)	84.0	—	10YR4/2 灰黄褐	10YR4/2 灰黄褐	白色粒子・角四石・ 輝石・径3～4mm 礫 少、雲母 微、石英 多	良	ロクロナデ ケズリ ハケ	ロクロナデ	—	
162-4	PL80	165	1	SB16	埋土	SB16 No.6 SB16	古代	甕	口縁部 ～胴部	10%	<20.6>	—	(12.5)	(205.3)	—	10YR6/4 にぶい黄緑	10YR6/3 にぶい黄緑	白色粒子・灰色粒 子・赤褐色粒子 少、黒色粒子・角 四石・輝石・径2 ～3mm 礫 微、 石英 少	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
162-5	PL80	164	1	SB16	埋土	SB16 No.3 SB16	古代	甕	口縁部 ～胴部	10%	<25.0>	—	(9.9)	129.5	—	10YR7/3 にぶい黄緑	10YR6/4 にぶい黄緑	灰色粒子・白色粒 子 微、赤褐色粒 子 少、角四石・輝 石・石英 少	良	ロクロナデ ケズリ	ロクロナデ	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考		
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記番号 (所属遺構・地点名 は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g							胴部 最大径 cm	外面色調
165-1	PL80	167	1	SB17	2層 3層	SB12 2・3層, 床	古代	須恵	口縁部 ~底部	40%	<12.2>	<6.0>	4.9	82.9	—	2.5Y6/1 黄灰	5Y5/1 灰	黒色粒子・赤褐色 粒子 微、白色粒 子・灰色粒子・黄 白色粒子 少、径 2mm 礫 微	良	ロクロナデ 静止へ多切りの ちナデ	ロクロナデ	—	
165-2	PL80	112	1	SB17	3層	SB12 3層	古代	須恵	口縁部 ~底部	10%	<12.9>	<4.2>	3.6	34.3	—	5Y7/1 灰白	5Y6/1 灰	白色粒子・灰色 粒子・褐色粒子・ 黒色粒子・径2 ~3mm 礫・石英 微	良	ロクロナデ ナデ摩滅 回転へ多切り 回転へラケスリ	ロクロナデ	—	
165-3	PL80	111	1	SB17	2層 3層	SB12 2層・3層	古代	須恵	口縁部 ~底部	10%	<15.8>	<8.2>	3.7	(216.9)	—	5Y6/1 灰	5Y6/1 灰	白色粒子・灰色粒 子・褐色粒子・黒 色粒子・径2mm 礫 微	良	ロクロナデ ナデ	ロクロナデ	—	
165-4	PL80	170	1	SB17	埋土	SB17 P2	古代	土師	口縁部 ~底部	30%	<9.7>	<3.2>	3.5	(57.2)	—	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR7/3 にぶい黄橙	白色粒子・灰色粒 子・赤褐色粒子 少、赤褐色粒子 微、石英 少	不良	ナデ 摩耗 ケスリ	ナデ 摩耗	—	
165-5	PL80	169	1	SB17	埋土	SB17 床下	古代	土師	口縁部 ~底部	10%	<11.8>	—	(2.8)	26.5	—	N1.5/0 黒	N1.5/0 黒	白色粒子・灰色粒 子 少、赤褐色粒 子・黄白色粒子 微、石英少、角四 石 微	良	ミガキ	ミガキ 黒色摩耗 黒色処理	—	
165-6	PL80	2263	1	SB17	埋土	SB17	古代	土師	口縁部 ~底部	10%	<12.0>	—	(3.2)	23.6	—	10YR7/4 にぶい黄橙	10YR7/4 にぶい黄橙	白色粒子・灰色粒 子 少、赤褐色粒 子・黒色粒子・ 径2~3mm 礫・ 角四石 微	良	ミガキ	ミガキ 黒色摩耗 黒色処理	—	
165-7	PL80	2264	1	SB17	床下	SB17 床下	古代	土師	口縁部 ~底部	10%	<16.0>	—	(5.0)	35.6	—	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR7/3 にぶい黄橙	白色粒子・灰色粒 子 少、赤褐色粒 子・黒色粒子・ 径2~3mm 礫・ 角四石・輝石 微	やや 不良	回転ナデ ケスリ 摩耗	回転ナデ ケスリ 摩耗	—	
165-8	PL80	118	1	SB17	埋土	SB12 No.8, No.9	古代	須恵	ソマミ部 ~口縁部	90%	13.5	—	2.8	(150.3)	—	7.5Y5/1 灰	2.5Y5/2 暗灰黄	白色粒子・灰色粒 子・褐色粒子・黄 白色粒子・黒色粒 子・径2~3mm 礫・ 石英 微	良	ロクロナデ 回転ケスリ	ロクロナデ	—	
165-9	PL80	117	1	SB17	埋土	SB12 No.12	古代	須恵	ソマミ部 ~口縁部	100%	16.5	—	3.9	284.0	—	10YR4/1 褐灰	5Y5/1 灰	白色粒子・灰色粒 子・黒色粒子・径 2~4mm 礫 微	良	ソマミ貼付けの ちロクロナデ 回転ケスリ	ロクロナデ	—	
165-10	PL80	113	1	SB17	1層 3層	SB12 1層・3層	古代	須恵	口縁部 ~高台部	20%	<11.8>	<8.8>	3.8	(175.1)	—	7.5Y4/1 灰	7.5Y4/1 灰	白色粒子・灰色粒 子・褐色粒子・黄 白色粒子 微	良	ロクロナデ 回転系切り 回転ケスリ 高台貼付けのち ナデ	ロクロナデ	—	
165-11	PL80	115	1	SB17	1層	SB12 No.9, 1層 SB11・SB12	古代	須恵	口縁部 ~高台部	80%	<12.5>	<8.0>	3.8	(169.8)	—	N4/0 灰	N5/0 灰	白色粒子・灰色粒 子・褐色粒子・黄 白色粒子・径2~ 3mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転系切り 回転ケスリ	ロクロナデ	—	
165-12	PL80	168	1	SB17	埋土	SB17	古代	須恵	口縁部 ~高台部	10%	<14.6>	<10.2>	3.4	39.2	—	5Y5/1 灰	5Y5/1 灰	白色粒子・灰色粒 子・赤褐色粒子・ 褐色粒子・石英・ 径2~3mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転ナデ 回転へ多切り 高台貼付けのち ナデ	ロクロナデ	—	
165-13	PL80	116	1	SB17	埋土	SB12 No.15 SB11	古代	須恵	口縁部 ~高台部	10%	<16.4>	<10.0>	3.5	(258.9)	—	7.5Y4/1 灰	7.5Y4/1 灰	白色粒子・灰色粒 子・黒色粒子・黄 白色粒子・径2~ 4mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転ケスリ 回転へ多切り 高台貼付けのち ナデ	ロクロナデ	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考				
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記番号 (所属遺構・地点名 は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm							重量 g	胴部 最大径 cm	外面色調	内面色調
165-14	PL80	114	1	SB17	埋土	SB12 No.18	古代	須恵	台付杯	口縁部 ~高台部	20%	<17.4>	<12.0>	4.1	69.3	—	10YR4/2 灰黄褐	7.5YR5/4 にぶい褐	白色粒子・灰色粒 子・黄白色粒子・ 黒色粒子・赤褐色 粒子	ロクロナデ へラ切り 回転ナデ ナデ 摩耗	ロクロナデ	—		
165-15	PL80	119	1	SB17	埋土	SB11・SB12	古代	須恵	盤	口縁部 ~高台部	20%	<19.8>	<9.4>	3.6	(298.4)	—	2.5Y6/3 にぶい黄	2.5Y6/4 にぶい黄	黒色粒子・灰色 粒子 微、褐色 粒子少、径2~ 3mm 礫 微	回転へら切りの ちナデ付けによ る高台部付 ロクロナデ	ロクロナデ	—		
165-16	PL80	120	1	SB17	2層 3層	SB12 No.24,1層・ 2層・3層,3層 SB17No.25,SB11・ 12	古代	須恵	鉢	口縁部 ~高台部	80%	<15.8>	<9.8>	7.8	(505.9)	—	5Y4/1 灰	10Y4/1 灰	白色粒子・灰色 粒子・黒色粒子・ 褐色粒子・径2~ 5mm 礫 微	回転へら切りの ち回転ケズリ 高台ナデ付 高台ナデ付	ロクロナデ	—		
165-17	PL80	121	1	SB17	3層	SB17 下, SB12 下, 3層, 水 SB11・SB12,SB12・ SB17	古代	須恵	鉢	口縁部 ~底部	10%	—	<20.2>	<13.0>	(14.3)	(1100.0)	—	2.5Y4/2 暗灰黄	10YR4/2 灰黄褐	白色粒子・灰色粒 子・赤褐色粒子・ 石英、径3mm 礫	ロクロナデ 回転ケズリ	ロクロナデ	—	
165-18	PL80	2262	1	SB17	埋土	SB11・12	古代	須恵	甕	底部	10%	—	<8.4>	(3.1)	213.2	—	5Y4/1 灰	5Y4/1 灰	白色粒子・灰色粒 子 少、赤褐色粒 子・黄白色粒子 微、径2mm 礫	格子状タタキ ナデ 木炭痕	あて具痕のちナ デか不明瞭 指頭正痕	—		
165-19	PL80	123	1	SB17	埋土	SB12 No.26	古代	須恵	甕	頸部	10%	—	(11.6)	—	(167.5)	—	10YR3/2 黒褐	10YR4/1 褐灰	白色粒子・灰色粒 子・黒色粒子・石 英 微、黄白色粒 子 少	ロクロナデ 回転ナデ 平行タタキ	ロクロナデ 回転ナデ	—	外面平行タ タキ尖羽眼 状	
165-20	PL80	125	1	SB17	3層	SB12 No.22,3層	古代	土師	甕	口縁部 ~胴部	10%	<18.7>	—	(14.4)	210.5	—	7.5YR5/4 にぶい褐	10YR5/2 灰黄褐	白色粒子・灰色粒 子 少、黒色粒 子・赤褐色粒子・ 角閃石 微、石英 少	回転ナデ ハケ	回転ナデ ハケ	—		
165-21	PL81	1448	1	SB17	埋土	SQ1	古代	土師	甕	口縁部 ~胴部	10%	<22.9>	—	(18.5)	(184.4)	—	7.5YR5/4 にぶい褐	10YR6/4 にぶい黄橙	赤褐色粒子・黄白 色粒子 微、径 3mm 礫・石英 少、角閃石・輝 石 微	ナデ 粗いハケのちロ クロナデ ケズリ	ロクロナデ	—		
165-22	PL81	124	1	SB17	3層	SB12 No.16,3層 SB11・SB11・SB12	古代	土師	甕	口縁部 ~胴部	20%	<23.3>	—	(22.9)	(631.0)	<23.8>	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	黒色粒子 微、白 色粒子・灰色粒子・ 角閃石・輝石・石 英 少、赤褐色粒 子多、径2~3mm 礫 微	ロクロナデ ハケ 摩耗	ロクロナデ ハケのちナデ ハケ 摩耗	—	内面線刻	
166-23	PL81	1449	1	SB17	埋土	SQ1	古代	土師	甕	口縁部 ~胴部	20%	<25.6>	—	(21.0)	(484.6)	<26.2>	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR5/4 にぶい褐	白色粒子・灰色粒 子 少、赤褐色粒 子多、黒色粒 子・黄白色粒子・ 角閃石・輝石・石 英、径2~6mm 礫 少	回転ナデ ケズリ	回転ナデ 輪轆痕	—		
166-24	PL81	2265	1	SB17	埋土	SB17 No.10	古代	土師	甕	胴部 ~底部	10%	—	5.8	(9.5)	317.2	—	10YR6/4 にぶい黄橙	7.5YR6/4 にぶい橙	白色粒子・灰色粒 子 少、赤褐色 粒子・黒色粒子・ 黄白色粒子・径 2mm 礫・角閃石・ 輝石 微、石英	ケズリ 回転ケズリ	ナデ	—		
166-25	PL81	126	1	SB17	埋土	SB11・12 SD9 No.4	古代	須恵	竪立付 凹面碗	口縁部 ~凹面部	10%	<14.7>	—	(3.4)	(301.3)	—	N4/0 灰	N6/0 灰	白色粒子 微	—	—	—		
169-1	PL81	2363	2	SB20	埋土	SB20P1,SB20	古代	須恵	環	口縁部 ~高台部	40%	<10.3>	<6.6>	4.2	(58.3)	—	7.5Y5/0 灰	7.5Y5/0 灰	白色粒子・石英・ 径2mm 礫 微	ロクロナデ 高台部ナデ付 ナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—		
169-2	PL81	2364	2	SB20	埋土	SB20No.3	古代	須恵	環	口縁部 ~高台部	30%	<12.8>	7.5	4.3	67.1	—	2.5Y5/1 黄灰	2.5Y5/1 黄灰	黄白色粒子・石英 微、白色粒子・径 2~4mm 礫 少、 黒色粒子多	ロクロナデ 高台部ナデ付 ナデ 摩耗	ロクロナデ 摩耗	—		

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考	
			地区	遺構・地点	層位・位置 (所属遺構・地点名は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g							胴部 最大径 cm
169-3	PL81	2365	2	SB20	埋土	SB20	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<15.8>	—	(5.0)	(51.1)	—	2.5YR6/6 橙	7.5YR4/1 褐色	白色粒子・石英・ 径3mm礫 微、 角閃石 少	ナデ ロクロ 摩耗 黒色処理	—	
169-4	PL81	2368	2	SB20	埋土	SB20TR	古代	須恵	口縁部 ~頸部	10%	<18.4>	—	(3.9)	50.3	—	2.5YR5/3 にぶい赤褐色	2.5YR5/4 にぶい赤褐色	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・径2 mm礫 微	ロクロナデ	—	
169-5	PL81	2367	2	SB20	埋土	SB20	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<19.2>	—	(9.2)	(61.1)	—	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	黒色粒子・雲母・ 径2mm礫 微、 白色粒子・赤褐色 粒子・石英 少	ロクロナデ ナデ? 摩耗	—	
169-6	PL81	2369	2	SB20	埋土	SB20No.4,SB20	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<24.8>	—	(9.1)	92.2	—	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	赤褐色粒子・黒色 粒子・雲母・径2 mm礫 微、白色 粒子・石英 少	ロクロナデ ケズリ ナデ 摩耗	—	
170-1	PL81	2290	2	SB21	埋土	SB21	古代	須恵	底部 ~高台部	10%	<12.4>	—	(1.1)	50.1	—	N5/ 灰	N5/ 灰	白色粒子・灰色粒 子 微	ロクロナデ 回転ケズリ 高台貼付ナデ	—	
170-2	PL81	2291	2	SB21	埋土 床下	SB21 床下 SB21	古代	土師	口縁部 ~胴部	5%	—	—	—	(84.2)	—	7.5YR5/4 にぶい濁	7.5YR6/4 にぶい橙	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・径 2mm礫 微	ヨコナデ ナデ 摩耗	—	
170-3	PL81	2294	2	SB21	埋土	SB21	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<14.6>	—	(5.5)	(37.9)	—	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	白色粒子・赤褐色 褐色粒子 微	ナデケズリ ナデ 摩耗	—	
170-4	PL81	2293	2	SB21	埋土	SB21 No.3, No.5, No.6, No.7	古代	土師	胴部 ~底部	30%	—	7.8	(18.4)	(836.7)	—	7.5YR7/3 にぶい橙	7.5YR7/3 にぶい橙	白色粒子・赤褐色 粒子・黒色粒子 多、石英 少	ケズリ 摩耗 ナデ 摩耗	—	底面凹痕 (モミ?葉?) 外面欠入 (灰?)付着
170-5	PL81	2292	2	SB21	埋土 床下	SB21 床下 SB22	古代	土師	口縁部 ~胴部	60%	21.1	—	(18.0)	(1055)	—	5YR6/6 にぶい赤	5YR5/4 にぶい赤	白色粒子・赤褐色 粒子 少、雲母・ 径2~4mm礫 微	ハケ ナデ 輪磨痕	—	
170-6	PL81	2295	2	SB21	埋土 床下	SB21 床下	古代	土師	口縁部 ~頸部	10%	<20.9>	—	(4.7)	32.6	—	7.5YR6/4 にぶい橙	10YR6/2 灰黄濁	白色粒子 微、赤 褐色粒子 少、径 2mm礫 微	ナデハケ ナデ 輪磨痕	—	
172-1	PL81	2268	2	SB22	埋土	SB22	古代	須恵	体部 ~底部	20%	—	5.5	(1.6)	32.8	—	2.5Y6/1 黄灰	2.5Y6/1 黄灰	白色粒子・灰色粒 子・石英 微	ナデ ナデ 輪磨痕	—	
172-2	PL81	177	2	SB22	埋土 床下	SB22 床 SB22	古代	土師	口縁部 ~体部	20%	<12.0>	—	(4.0)	(27.9)	—	5YR7/6 橙	7.5YR6/4 にぶい橙	白色粒子・灰色粒 子・赤褐色粒子・ 石英 微	ナデ ロクロナデ(回 転ナデ?)	—	外面欠入付 着?
172-3	PL81	173	2	SB22	床	SB22 床	古代	土師	口縁部 ~底部	20%	<12.9>	<5.0>	3.9	(56.4)	—	10YR7/4 にぶい黄橙	N1.5/0 黒	白色粒子・赤褐色 粒子・黄白色粒子・ 灰色粒子・黒色 粒子・径2~3mm 礫 微、石英 少	ナデ ナデ 輪磨痕	—	
172-4	PL81	174	2	SB22	1層 2層	SB22 1・2層 SB22	古代	土師	口縁部 ~底部	20%	<14.7>	<6.8>	5.5	62.5	—	10YR5/1 褐色	N2/0 黒	白色粒子・灰色粒 子・赤褐色粒子・ 径2mm礫 微、 赤褐色粒子・石 英 少	ロクロナデ ナデ 輪磨痕 黒色処理	—	
172-5	PL81	176	2	SB22	埋土	SB22 No.6, No.8	古代	土師	口縁部 ~体部	30%	<17.2>	—	(6.6)	(114.4)	—	7.5YR7/6 橙	N1.5/0 黒	白色粒子・黄白色 粒子・灰色粒子・ 径2mm礫 微、 赤褐色粒子・石 英 少	ロクロナデ ナデ 輪磨痕 黒色処理	—	
172-6	PL81	175	2	SB22	1層 2層	SB22 1・2層	古代	土師	口縁部 ~体部	10%	<13.2>	—	(2.3)	17.8	—	10YR4/2 灰黄濁	N2/0 黒	白色粒子・赤褐色 粒子・黄白色粒子・ 灰色粒子・黒色粒 子・径3mm礫 微、石英 少	ロクロナデ ナデ 輪磨痕 黒色処理	—	
172-7	PL81	180	2	SB22	埋土	SB22 No.1	古代	土師	脚部	10%	—	8.4	(3.4)	88.3	—	5YR4/6 赤濁	5YR5/4 にぶい赤濁	白色粒子・灰色粒 子・黒色粒子・角 閃石 微、石英 少	回転ナデ (脚内)ナデ 回転ナデ	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考	
			地区	遺構・地点	層位・位置 (所属遺構・地点名は省略)						注記記号 (備忘録・地点名は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm									重量 g
172-8	PL81	179-1	2	SB22	埋土 床下 1層 2層	SB22 No.2, 1・2 層	古代	土師	口縁部 ～胴部	20% (179-2と 合わせて)	<14.8>	—	(5.4)	299.7 (179-2と 合わせて)	—	10YR6/4 にぶい黄褐色	10YR4/1 褐色	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・雲 母 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	
172-9	PL81	179-2	2	SB22	埋土 床下 1層 2層	SB22 No.2, 1・2 層	古代	土師	胴部 ～底部	20% (179-1と 合わせて)	—	<7.9>	(6.1)	299.7 (179-1と 合わせて)	—	10YR6/4 にぶい黄褐色	10YR4/1 褐色	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・雲 母 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	
172-10	PL81	181	2	SB22	埋土	SB22	(古代)	土師 ミア チュア	口縁部 ～底部	40%	<5.0>	<3.6>	2.5	19.6	—	10YR6/3 にぶい黄褐色	10YR6/4 にぶい黄褐色	赤褐色粒子・黒色 粒子 微、白色粒 子、灰色粒子・石 英 少	良	ユビオサエ ナデ	ユビオサエ ナデ	—	
—	PL81	178	2	SB22	埋土	SB22	古代	土師 器	口縁部	5%	—	—	—	4.1	—	7.5YR8/3 淡黄褐色	7.5YR8/3 淡黄褐色	—	良	釉	釉	—	写真のみ
175-1	PL82	2269	2	SB23	埋土	SB23	古代	土師 須恵 蓋	口縁部 ～底部	20%	—	—	(2.0)	76.0	—	N4/0 灰	N5/0 灰	白色粒子・灰色粒 子、黄白色粒子 微、径4mm 微、少	良	ナデ 回転系 ナデ ナデ 回転系 ナデ	ナデ 回転系 ナデ ナデ 回転系 ナデ	—	
175-2	PL82	2270	2	SB23	埋土	SB23 No.5	古代	土師 須恵 台付 杯	口縁部 ～高台部	30%	<12.4>	<8.0>	4.0	66.6	—	2.5Y3/1 黒褐色	2.5Y5/1 黄褐色	白色粒子・灰色粒 子、黄白色粒子・ 赤褐色粒子 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	
175-3	PL82	186	2	SB23	埋土	SB23 No.12	古代	土師 器	胴部 ～高台部	30%	—	7.2	(2.9)	113.4	—	2.5Y7/1 灰白	2.5Y7/1 灰白	灰色粒子・白色粒 子 少、径4mm 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	
175-4	PL82	196	2	SB23	埋土	SB23 P4 SB23	古代	土師 器	口縁部 ～底部	40%	<10.6>	<4.2>	3.0	52.1	—	7.5YR6/4 にぶい褐色	7.5YR6/4 にぶい褐色	白色粒子・黄白色 粒子・灰色粒子・ 赤褐色粒子・石英・ 雲母 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	
175-5	PL82	194	2	SB23	埋土	SB23 P4 SB23	古代	土師 器	口縁部 ～底部	50%	<10.8>	4.3	3.2	(90.9)	—	7.5YR5/4 にぶい褐色	7.5YR6/4 にぶい褐色	赤褐色粒子・黒色 粒子・白色粒子・ 灰色粒子・径2～ 3mm 微、石 英・雲母 少	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	
175-6	PL82	199	2	SB23	埋土	SB23	古代	土師 器	口縁部 ～底部	40%	<11.0>	4.8	3.0	(84.4)	—	10YR5/3 にぶい黄褐色	10YR5/4 にぶい黄褐色	白色粒子・灰色粒 子、赤褐色粒子・ 黒色粒子・角閃 石 微、石英 少	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	
175-7	PL82	182	2	SB23	埋土	SB23	古代	土師 器	口縁部 ～底部	80%	11.2	4.4	3.9	(99.1)	—	7.5YR6/6 褐色	7.5YR6/6 褐色	白色粒子・灰色粒 子・赤褐色粒子・ 径2～4mm 微、角 閃石 微、石英 少	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ 回転系切り	—	外面黒書
175-8	PL82	195	2	SB23	埋土	SB23 P4 SB23	古代	土師 器	口縁部 ～底部	50%	11.2	3.4	3.8	(86.8)	—	10YR6/4 にぶい黄褐色	10YR6/4 にぶい黄褐色	白色粒子・灰色粒 子・黒色粒子・径 2～3mm 微、 赤褐色粒子 少、 石英 多	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ 回転系切り	—	
175-9	PL82	197	2	SB23	埋土	SB23	古代	土師 器	口縁部 ～底部	40%	<11.2>	<5.8>	3.3	(62.7)	—	7.5YR5/4 にぶい褐色	7.5YR5/4 にぶい褐色	黄白色粒子 微、 石英 多	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ 回転系切り	—	
175-10	PL82	183	2	SB23	埋土	SB23 No.7	古代	土師 器	口縁部 ～底部	90%	11.7	4.8	3.4	115.4	—	5YR6/6 褐色	5YR6/6 褐色	白色粒子・灰色粒 子・赤褐色粒子・ 径2～3mm 微、 赤褐色粒子 少、 石英 多	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ 回転系切り	—	
175-11	PL82	198	2	SB23	埋土	SB23	古代	土師 器	口縁部 ～底部	40%	<12.2>	<5.8>	3.3	(104.2)	—	7.5YR5/3 にぶい褐色	7.5YR5/3 にぶい褐色	白色粒子・灰色粒 子・赤褐色粒子・ 黒色粒子・黄白色 粒子・黒色粒子・ 径2～5mm 微、 径2～5mm 微、 石英 少	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ 回転系切り	—	
175-12	PL82	189	2	SB23	埋土	SB23 灰 SB23	古代	土師 器	口縁部 ～底部	20%	<15.0>	<6.0>	(5.1)	(75.5)	—	10YR7/4 にぶい黄褐色	N1.5/0 黒	白色粒子・灰色粒 子・黒色粒子・径 3mm 微、黄 白色粒子 少、赤 褐色粒子・石英 多	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ 回転系切り	ミガキ 黒色処理	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整	内面調整	赤彩	備考			
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (所属遺構・地点名は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g							胴部 最大径 cm	外面色調	内面色調
175-13	PL82	185	2	SB23	埋土	SB23 No.3.No.4	古代	土師	鉢	口縁部 ~底部	90%	18.9	6.3	6.0	(408.3)	—	7.5YR6/4 にぶい黄	N1.5/0 黒	褐色粒子・赤褐色粒子・石英・径3mm 少、角閃石 微	良	ロクロナデ ケズリ 回転・すのち ケズリのちナデ	ミガキ 黒色処理	—	外面ス入付 着?
175-14	PL82	190	2	SB23	床	SB23 床	古代	土師	台付杯	口縁部 ~体部	30%	<10.0>	—	(3.3)	42.9	—	10YR7/2 にぶい黄橙	N1.5/0 黒	白色粒子・灰色粒子・黒色粒子・石英 多、角閃石 微	良	回転ナデ 高台脚離	ミガキ 黒色処理	—	内面付着物 (漆?)
175-15	PL82	191	2	SB23	埋土	SB23 P4 SB23	古代	土師	碗	口縁部 ~高台部	20%	<14.0>	<7.8>	6.0	(191.1)	—	7.5YR5/4 にぶい黄	N1.5/0 黒	赤褐色粒子・雲母 微	良	回転ナデ 回転糸切り (高台貼付け) ナデ	ミガキ 摩耗 黒色処理	—	穿孔?
175-16	PL82	200	2	SB23	埋土	SB23	古代	土師	碗	口縁部 ~高台部	80%	14.0	8.0	5.8	(214.9)	—	7.5YR7/6 橙	7.5YR7/6 橙	灰色粒子・黒色粒子・赤褐色粒子・白色粒子・雲母・角閃石・石英 少、径2~4mm 微	良	ロクロナデ 回転糸切り 高台貼付けのち 回転ナデ	ロクロナデ	—	
175-17	PL82	192	2	SB23	埋土	SB23	古代	土師	碗	口縁部 ~高台部	40%	<14.4>	<7.3>	5.0	(190.9)	—	10YR6/3 にぶい黄橙	N1.5/0 黒	黄白色粒子 微、赤褐色粒子 多、径2~4mm 微、石英 少、雲母 微	良	ロクロナデ 摩耗 回転糸切り (高台貼付け) ナデ	ミガキ 摩耗 黒色処理	—	
175-18	PL82	184	2	SB23	埋土	SB23	古代	土師	碗	口縁部 ~高台部	80%	13.8	6.7	5.2	(196.8)	—	10YR6/4 にぶい黄橙	N1.5/0 黒	白色粒子・灰色粒子・赤褐色粒子・黄白色粒子・石英 少、径2~3mm 微	良	ミガキ 回転ナデ 回転糸切り 高台貼付けのち ナデ	ミガキ 黒色処理	—	
175-19	PL82	193	2	SB23	埋土	SB23	古代	土師	碗	口縁部 ~底部	70%	15.1	—	(5.4)	(204.6)	—	10YR7/4 にぶい黄橙	N1.5/0 黒	白色粒子・灰色粒子・黒色粒子・角閃石・径2~3mm 微、赤褐色粒子 多、石英 少	良	ロクロナデ 回転糸切り 高台脚離 (高台貼付け) ナデ	ミガキ 黒色処理	—	
175-20	PL82	201	2	SB23	埋土	SB23	古代	土師	甕	口縁部 ~胴部	10%	<25.8>	—	(26.5)	(256.3)	<25.4>	7.5YR6/6 橙	10YR7/3 明黄褐	黄白色粒子・白色粒子・灰色粒子・角閃石・径2~3mm 微、赤褐色粒子 多、石英 少	良	回転ナデ 回転ナデ カキメ ナデのち工具に よるケズリ	回転ナデ 輪轆 ハケ	—	
172-1	PL82	202	2	SB24	埋土	SB24 No.10 SB24	古代	須恵	杯	口縁部 ~底部	70%	13.6	6.9	3.9	147.0	—	5YR7/1 灰白	5YR7/1 灰白	白色粒子・灰色粒子・赤褐色粒子・石英 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—	
172-2	PL82	207	2	SB24	埋土	SB24 No.2	古代	土師	杯	口縁部 ~底部	20%	<14.0>	<6.3>	4.5	52.7	—	2.5Y6/2 黄灰	N1.5/0 黒	白色粒子・灰色粒子・赤褐色粒子・雲母 微	良	ロクロナデ ケズリ	摩耗? 黒色処理	—	
172-3	PL82	208	2	SB24	埋土	SB24 No.9	古代	土師	杯	口縁部 ~体部	20%	<16.8>	—	(5.0)	82.2	—	10YR7/3 にぶい黄橙	N1.5/0 黒	白色粒子・灰色粒子・赤褐色粒子・黒色粒子・径2~5mm 微、石英 角閃石 微	やや 不良	ロクロナデ 摩耗	ミガキ 摩耗 黒色処理	—	
172-4	PL82	205	2	SB24	埋土	SB24 No.7 SB24	古代	須恵	蓋	ツマミ ~口縁部	40%	<13.8>	—	3.1	140.0	—	7.5Y6/1 灰	7.5Y5/1 灰	黄白色粒子 少、灰色粒子・黒色粒子・赤褐色粒子・径2~5mm 微、石英 微	良	ロクロナデ 回転ケズリ	ロクロナデ	—	
172-5	PL82	206	2	SB24	埋土	SB24 No.11.No.12.No.13 SB24	古代	須恵	蓋	ツマミ ~口縁部	60%	14.3	—	2.2	(140.2)	—	7.5YR5/1 灰	7.5Y4/1 灰	白色粒子・灰色粒子・黒色粒子・径2~3mm 微	良	ロクロナデ 回転ケズリ	ロクロナデ	—	
172-6	PL82	203	2	SB24	埋土 床	SB24 床 SB24	古代	須恵	台付杯	口縁部 ~高台部	20%	<12.2>	<7.9>	3.9	(55.2)	—	7.5YR4/1 褐灰	7.5YR4/1 褐灰	灰色粒子・黄白色粒子・径2~3mm 微	良	ロクロナデ 回転糸切り 高台貼付けのち 回転ナデ	ロクロナデ	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考	
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm									重量 g
172-7	PL82	204	2	SB24	埋土	SB24 No.25	古代	須恵	台付杯	高台部	10%	7.3	(1.5)	75.0	—	7.5YR5/1 灰	7.5Y5/1 灰	白色粒子・灰色粒子・黒色粒子・径2~4mm 礫 微	良	回転糸切りのち 回転ナデ 高台貼付のち 回転ナデ	回転ナデ	—	高台内に墨 書とへら描 き
172-8	PL82	210	2	SB24	埋土	SB24 No.3, No.15, No.17, No.19, SB24	古代	須恵	壺	胴部 ~底部	30%	6.2	(10.0)	(373.7)	<16.4>	N3/0 暗灰	白色粒子・灰色粒子・黒色粒子・黄白色粒子・径2~3mm 礫 微	良	回転ナデ 回転ナデ 回転ナデ 回転糸切りのち 回転ナデ 高台貼付のち 回転ナデ	回転ナデ	—		
172-9	PL82	211	2	SB24	埋土	SB24 No.24	古代	須恵	甕	口縁部 ~頸部	10%	—	(9.7)	340.6	—	7.5Y4/1 灰	白色粒子・灰色粒子・赤褐色粒子・黄白色粒子・径2~4mm 礫 微	良	回転ナデ 自然釉	回転ナデ 自然釉	—		
172-10	PL82	209	2	SB24	埋土	SB24 No.1, SB24	古代	須恵	甕	口縁部 ~胴部	10%	—	(15.5)	(247.4)	<23.2>	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/6 橙	白色粒子・灰色粒子・赤褐色粒子・径2~4mm 礫・角閃石 微	良	回転ナデ カキメのちケズリ	回転ナデ カキメのちハケ	—	
177-1	PL82	221	2	SB27	埋土	SB27	古代	須恵	杯	口縁部 ~底部	90%	12.4	3.3	(111.8)	—	2.5Y7/2 黄灰	2.5Y7/2 黄灰	白色粒子・径2mm 礫・雲母 微	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ	—	
177-2	PL82	222	2	SB27	埋土	SB27	古代	須恵	杯	口縁部 ~底部	20%	<6.4>	4.7	44.8	—	2.5Y5/2 暗灰黄	2.5Y5/2 暗灰黄	白色粒子・赤褐色粒子・径2~5mm 礫 微	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ	—	
177-3	PL82	228	2	SB27	埋土	SB27 No.10, SB27	古代	須恵	杯	口縁部 ~底部	70%	12.1	3.5	(120.8)	—	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	白色粒子・赤褐色粒子・径2~3mm 礫 微	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ	—	
177-4	PL82	230	2	SB27	埋土	SB27 No.2, SB27	古代	須恵	杯	口縁部 ~底部	40%	4.8	3.7	63.4	—	5YR6/4 にぶい橙	5YR6/4 にぶい橙	白色粒子・径2~3mm 礫 少・赤褐色粒子・雲母 微	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ	—	
177-5	PL82	226	2	SB27	埋土	SB27	古代	須恵	杯	口縁部 ~底部	80%	4.8	3.7	(144.7)	—	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	白色粒子・褐色粒子・径3~6mm 礫 少・石英 微	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ	—	内面ホミ? 柱痕
177-6	PL82	225	2	SB27	埋土	SB27 No.1, SB27	古代	須恵	杯	口縁部 ~底部	70%	4.1	3.2	(109.9)	—	10YR5/3 にぶい黄褐色	10YR3/2 黒褐色	白色粒子・灰色粒子・径2~3mm 礫 微	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ	—	
177-7	PL82	227	2	SB27	埋土	SB27 No.4, SB27	古代	須恵	杯	口縁部 ~底部	60%	4.2	3.1	(85.5)	—	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	白色粒子・灰色粒子・径2~3mm 礫 微	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ	—	
177-8	PL82	232	2	SB27	埋土	SB27 No.5, SB27	古代	須恵	杯	口縁部 ~底部	50%	5.4	3.4	56.9	—	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	白色粒子・赤褐色粒子・径2mm 礫 微	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ	—	
177-9	PL82	231	2	SB27	埋土	SB27	古代	須恵	杯	口縁部 ~底部	40%	4.2	4.0	(63.0)	—	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	白色粒子・灰色粒子・径2~3mm 礫 微	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ	—	
177-10	PL82	229	2	SB27	埋土	SB27	古代	須恵	杯	口縁部 ~底部	50%	5.7	3.9	(125.1)	—	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	白色粒子・灰色粒子・径2~3mm 礫 微	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ	—	
177-11	PL82	224	2	SB27	埋土	SB27	古代	須恵	碗	体部 ~底部	20%	—	(2.8)	70.5	—	7.5YR6/4 にぶい橙	N1.5/0 黒	白色粒子・灰色粒子・径2~3mm 礫 微	良	回転ナデ 回転糸切り 回転ナデ 高台ナデ付け 高台ナデ 高台ナデ	回転ナデ ミガキ 黒色処理	—	
177-12	PL82	223	2	SB27	埋土	SB27	古代	須恵	碗	口縁部 ~体部	20%	—	(4.4)	36.9	—	7.5YR6/4 にぶい橙	N1.5/0 黒	白色粒子・灰色粒子・径2~3mm 礫 微	良	回転ナデ	回転ナデ 黒色処理	—	
177-13	PL82	234	2	SB27	埋土	SB27	古代	須恵	鉢	口縁部 ~体部	10%	—	(4.1)	29.9	—	10YR6/4 にぶい黄褐色	7.5YR5/4 にぶい橙	白色粒子・赤褐色粒子・径2~3mm 礫 微	良	回転ナデ	回転ナデ	—	
177-14	PL82	233	2	SB27	埋土	SB27	古代	須恵	甕	口縁部 ~胴部	10%	—	(5.5)	29.1	<13.8>	5YR4/4 にぶい赤褐色	5YR4/4 にぶい赤褐色	白色粒子・赤褐色粒子・径2~3mm 礫 微	良	回転ナデ	回転ナデ 回転ナデ 摩擦	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm								
177-15	PL82	235	2	SB27	埋土	SB27 No.7, No.9, No.15, SB27	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<22.4>	—	(17.5)	(306.9)	<24.2>	7.5YR5/4 にぶい濁	白色粒子・灰色粒子 少、黒色粒子 赤褐色粒子・石英・ 黄白色粒子・石英・ 径2~4mm 礫 微	良	回転ナデ 輪襷痕残る	回転ナデ 輪襷痕残る	—	
177-16	PL82	236	2	SB27	埋土	SB27	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<25.4>	—	(16.9)	(257.5)	<27.3>	5YR6/6 橙	白色粒子・灰色粒子 子・黒色粒子・赤 褐色粒子・径2~ 3mm 礫 微	良	ロクロナデのち ケズリ タタキ目のちケ ズリ ナデ ナデ 回転へラ切り ナデ ロクロナデ	ロクロナデ 輪襷痕残る	—	内面にモミ 圧痕
180-1	PL83	237	2	SB28	床下	SB28 床下	古代	須恵	口縁部 ~底部	30%	<14.8>	<9.6>	3.6	80.2	—	N4/0 灰	白色粒子・灰色粒子 子・黒色粒子 微	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
180-2	PL83	2272	2	SB28	埋土	SB28	古代	須恵	体部 ~高台部	10%	—	<8.4>	(2.6)	34.4	—	2.5Y6/1 黄灰	白色粒子・灰色粒子 子・黒色粒子・赤 褐色粒子 微	良	回転糸切り (高台部付け) ナデ	ロクロナデ	—	
180-3	PL83	2271	2	SB28	埋土	SB28 No.21	古代	須恵	ツマミ部 ~体部	20%	—	(2.7)	101.6	—	7.5YR4/1 褐灰	黄白色粒子・灰色 粒子・黒色粒子 微	良	ロクロナデ 自然釉	回転ナデ 自然釉	—		
180-4	PL83	242	2	SB28	埋土	SB28 No.5	古代	土師	口縁部 ~底部	20%	<11.5>	<5.2>	3.3	35.8	—	2.5Y7/4 浅黄	黒色粒子・赤褐色 粒子 微	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
180-5	PL83	243	2	SB28	埋土	SB28 No.30	古代	土師	口縁部 ~底部	20%	<12.4>	<6.0>	3.3	27.0	—	10YR7/4 にぶい黄緑	黒色粒子・赤褐色 粒子 微	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
180-6	PL83	239	2	SB28	埋土	SB28 No.29	古代	土師	口縁部 ~底部	100%	12.3	4.6	3.5	117.6	—	7.5YR6/6 橙	白色粒子・灰色粒 子・黄白色粒子・ 赤褐色粒子・径 2~9mm 礫・石 英 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—	
180-7	PL83	240	2	SB28	埋土	SB28 No.28	古代	土師	口縁部 ~底部	30%	<12.4>	<4.5>	3.8	49.4	—	10YR6/4 にぶい黄橙	白色粒子・灰色 粒子・黒色粒子・ 赤褐色粒子・径 2~3mm 礫・石英 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—	
180-8	PL83	241	2	SB28	埋土	SB28	古代	土師	口縁部 ~底部	40%	<12.5>	<5.2>	(3.1)	51.5	—	10YR7/4 にぶい黄橙	白色粒子・灰色 粒子・黒色粒子・ 赤褐色粒子・径 4mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—	
180-9	PL83	238	2	SB28	埋土	SB28 No.18 SB28	古代	土師	口縁部 ~底部	70%	12.9	5.8	3.4	(107.5)	—	5YR6/6 橙	白色粒子・灰色 粒子・黒色粒子・ 径2mm 礫・雲母 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—	
180-10	PL83	244	2	SB28	埋土	SB28	古代	土師	口縁部 ~底部	10%	<13.0>	<5.0>	4.0	24.6	—	10YR6/4 にぶい黄橙	黄白色粒子・白色 粒子・灰色粒子・ 赤褐色粒子・径 2~5mm 礫 微	良	ミガキ 黒色処理	ミガキ 黒色処理	—	
180-11	PL83	245	2	SB28	埋土	SB28 折下 No.2	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<18.0>	—	(8.6)	100.8	<17.8>	7.5YR6/4 にぶい橙	赤褐色粒子・白色 粒子 微	良	回転ナデ	回転ナデ 輪襷痕	—	
180-12	PL83	246	2	SB28	埋土 床下	SB28 No.22~ No.27, 床下 SB28	古代	土師	口縁部 ~胴部	40%	19.8	—	(30.1)	2120	18.9	10YR6/3 にぶい黄緑	白色粒子・灰色粒 子・黒色粒子・赤 褐色粒子・黄白色 粒子・径2~5mm 礫・径4mm 礫 微	良	回転ナデ ナデ ケズリ一部ナデ	回転ナデ ナデ ケズリによるナデ	—	
178-1	PL83	260	2	SB29	埋土	SB29 P4 No.15 SB29 P4 SB29	古代	須恵	口縁部 ~底部	100%	12.5	4.6	3.7	(128.0)	—	5Y7/1 灰白	白色粒子・径2~ 3mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—	
178-2	PL83	251	2	SB29	埋土	SB29 P4 No.12	古代	須恵	口縁部 ~底部	90%	12.5	5.4	4.0	(130.4)	—	5Y7/1 灰白	白色粒子・灰色粒 子・黒色粒子・径 2~4mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—	
178-3	PL83	257	2	SB29	埋土	SB29 折下	古代	須恵	口縁部 ~底部	80%	12.7	6.0	4.0	(129.2)	—	2.5Y7/1 灰白	白色粒子・灰色粒 子・黒色粒子・径 2~4mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—	
178-4	PL83	249	2	SB29	埋土	SB29 P4 No.3 P4 No.9, P4	古代	須恵	口縁部 ~底部	60%	12.5	<5.6>	3.6	(92.9)	—	5Y7/1 灰白	灰色粒子・黒色 粒子・径2~4mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考		
			地区	遺構・地点	層位・位置 (所属遺構・地点名 は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g							胴部 最大径 cm	外面色調
178-5	PL83	247	2	SB29	埋土	SB29 P4 No.11	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	100%	12.8	6.0	3.9	118.1	—	2.5Y7/1 灰白	2.5Y7/2 灰黄	白色粒子・微	ロクロナデ 回転糸切り	—	外面黒書
178-6	PL83	254	2	SB29	埋土	SB29 P1	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	20%	<12.8>	<6.0>	3.1	20.8	—	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	灰色粒子・黒色粒 子・微	ロクロナデ 回転糸切り	—	—
178-7	PL83	256	2	SB29	埋土	SB29	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	30%	<12.6>	<6.0>	3.6	(60.9)	—	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	黒色粒子・微	ロクロナデ 回転糸切り	—	外面黒書 「貝」
178-8	PL83	262	2	SB29	埋土	SB29 No.9	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	70%	12.4	6.0	3.0	(98.4)	—	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	白色粒子・灰色粒 子・黒色粒子・赤 褐色粒子・径2~ 5mm 礫 微	ロクロナデ 回転糸切り	—	—
178-9	PL83	255	2	SB29	埋土	SB29 P4	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	60%	<12.8>	5.8	4.0	106.2	—	5Y7/1 灰白	5Y5/1 灰白	白色粒子・灰色粒 子・黒色粒子・径 2~4mm 礫・石 英 微	ロクロナデ 回転糸切り	—	—
178-10	PL83	263	2	SB29	埋土	SB29	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	20%	<12.9>	<6.4>	3.0	(29.8)	—	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	白色粒子・灰色粒 子・黒色粒子・赤 褐色粒子・雲母 微	ロクロナデ 回転糸切り	—	—
178-11	PL83	258	2	SB29	埋土	SB29 No.11	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	80%	13.1	6.2	3.7	(126.9)	—	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	黒色粒子・石英 微	ロクロナデ 回転糸切り	—	—
178-12	PL83	259	2	SB29	埋土	SB29 P4 No.23P4	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	50%	<13.2>	<5.0>	3.5	(87.3)	—	5Y8/1 灰白	5Y7/1 灰白	白色粒子・灰色粒 子・黒色粒子 微	ロクロナデ 回転糸切り	—	外面黒書 「貝」?
178-13	PL83	248	2	SB29	埋土	SB29 P4 No.16P4 No.17P4	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	90%	13.3	5.6	3.9	(123.5)	—	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	白色粒子・灰色粒 子・黒色粒子・径 2~5mm 礫 微	ロクロナデ 回転糸切り	—	外面黒書
178-14	PL83	250	2	SB29	埋土	SB29 P4 No.15P4 No.20P4 No.21	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	80%	13.4	5.6	4.0	(146.5)	—	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	灰色粒子・黒色 粒子・径6mm 礫 微	ロクロナデ 回転糸切り	—	—
178-15	PL83	253	2	SB29	埋土 床下	SB29 P6, 床下	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	60%	12.8	5.8	3.8	(117.4)	—	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	黄白色粒子・黒色 粒子 微	ロクロナデ 回転糸切り	—	外面黒書 へず揃き?
178-16	PL83	252	2	SB29	埋土	SB29 P4 No.4P4 No.5P4 No.10P4	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	60%	13.0	5.9	4.1	(122.4)	—	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	白色粒子・灰色粒 子・黒色粒子・径 2~3mm 礫 微	ロクロナデ 回転糸切り	—	—
178-17	PL83	2273	2	SB29	埋土	SB29	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	40%	<13.3>	<5.4>	3.6	(92.0)	—	N7/1 灰白	N7/1 灰白	白色粒子・径 2mm 礫 微	ロクロナデ 回転糸切り	—	内外面油煙 ニス付着
178-18	PL83	2274	2	SB29	埋土	SB29 No.15 SB29	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	20%	—	<7.1>	(2.6)	(46.6)	—	5YR5/6 明赤褐	5YR5/6 明赤褐	白色粒子・灰色粒 子・黒色粒子・雲 母 微、石英 少	ミガキ 回転糸切りのち ナデ	ミガキ 回転糸切り ナデ	—
178-19	PL83	261	2	SB29	埋土	SB29	古代	須恵	高盤	接合部	10%	—	—	(2.3)	53.4	—	5X3/2 暗赤褐	10YR5/3 にぶい黄橙	白色粒子・褐色粒 子・黒色粒子 微	ロクロナデ	平滑に摩耗	—
178-20	PL83	271	2	SB29	埋土	SB29 P4 No.22	古代	土師	皿	口縁部 ~底部	70%	12.0	—	(1.9)	(106.3)	—	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR7/3 にぶい黄橙	白色粒子・赤褐色 粒子・褐色粒子・ 雲母 微	ロクロナデ 回転糸切り 高台貼付ナデ	—	—
178-21	PL84	273	2	SB29	床下	SB29 床下	古代	土師	皿	口縁部 ~底部	10%	<14.6>	—	1.8	(12.2)	—	N1.5/ 黒	N1.5/0 黒	白色粒子・黄白色 粒子・黒色粒子・ 赤褐色粒子 微	ミガキ 回転糸切り 黒色処理	—	—
178-22	PL83	264	2	SB29	埋土	SB29 No.13 SB29	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	90%	12.6	3.8	4.0	(152.1)	—	10YR7/3 にぶい黄橙	N1.5/0 黒	白色粒子・黒色粒 子・赤褐色粒子・ 径2mm 礫 微	ロクロナデ 回転糸切り	—	—
178-23	PL83	266	2	SB29	埋土	SB29 P4 No.1P4 No.2P4	古代	土師	環	口縁部 ~底部	70%	13.2	4.5	5.3	(201.1)	—	7.5YR7/6 橙	N1.5/0 黒	白色粒子・灰色粒 子・黒色粒子・黄 白色粒子・赤褐 色粒子・径2mm 礫 微	ロクロナデ 回転糸切り	—	—
178-24	PL83	268	2	SB29	埋土	SB29 灰土 No.3	古代	土師	環	口縁部 ~底部	30%	<13.5>	<6.0>	4.5	(181.1)	—	10YR6/4 にぶい黄橙	N1.5/0 黒	白色粒子・黄白色 粒子 少、灰色粒 子・赤褐色粒子 微	ロクロナデ 静止ケズリ 手持ちケズリ	—	—

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g								
178-25	PL83	265	2	SB29	埋土	SB29 P4 No.8, P4 No.19,P4 SB29	古代	土師	口縁部 ~底部	70%	<13.6>	<6.4>	5.3	(213.7)	—	7.5YR6/6 橙	N1.5/0 黒	白色粒子・灰色粒 子・黒色粒子・黄 白色粒子・赤褐 色粒子・径2mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ミガキ? 摩耗 黒色処理	—	
178-26	PL83	267	2	SB29	埋土	SB29 P4 No.18 SB29	古代	土師	口縁部 ~底部	100%	14.3	5.0	5.4	228.7	—	10YR7/4 にぶい黄橙	10YR1.7/1 黒	白色粒子・赤褐色 粒子・褐色粒子・ 黄褐色・径2~3mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転ケズリ	ハケのちミガキ 摩耗 黒色処理	—	
178-27	PL83	269	2	SB29	埋土	SB29	古代	土師	口縁部 ~底部	50%	<14.8>	<5.6>	5.2	(202.0)	—	7.5YR5/4 にぶい褐	N1.5/0 黒	白色粒子・灰色粒 子・黒色粒子 微	良	ロクロナデ 糸切りのちケズ リ	ミガキ 摩耗 黒色処理	—	
178-28	PL83	270	2	SB29	埋土	SB29 P4 No.13	古代	土師	口縁部 ~底部	80%	<18.3>	6.6	(7.7)	435.9	—	7.5YR7/4 にぶい橙	N1.5/0 黒	白色粒子・黒色粒 子・黄白色粒子・ 赤褐色粒子・径2 ~5mm礫 微、 石英 多	良	ロクロナデ 回転糸切りのち ケズリ	回転ナデ ミガキ 摩耗 黒色処理	—	
178-29	PL83	277	2	SB29	埋土 床下	SB29 No.10, 7P1, No.1,床下 SB27	古代	須恵 短頸甕	口縁部 ~胴部	10%	<14.4>	—	(9.8)	240	—	N5/ 灰	N4/ 灰	白色粒子 微	良	ロクロナデ タタキのちカキ メ	ロクロナデ カキメ ナデ 当て黒痕	—	
178-30	PL83	276	2	SB29	埋土	SB29	古代	土師	口縁部 ~底部	30%	<12.8>	<7.5>	1.29	(479.7)	<14.5>	7.5YR4/2 灰褐	10YR4/2 灰黄褐	白色粒子・赤褐色 粒子・褐色粒子・ 石英・径2mm 礫 微	良	ロクロナデ	ナデ 雑なナデ	—	内面種子 痕
178-31	PL83	275	2	SB29	埋土 床下	SB29 P1,P2,床下	古代	土師	口縁部 ~胴部	20%	<24.8>	—	(14.6)	479.1	(25.0)	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	白色粒子・黒色粒 子・赤褐色粒子・ 石英・径2~4mm 礫 微	良	ロクロナデ ケズリ	ロクロナデ 工具によるナデ 剥離	—	
178-32	PL84	274	2	SB29	埋土	SB29 No.7	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<21.6>	—	(10.7)	221.5	—	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR7/4 にぶい黄橙	白色粒子・黒色粒 子・赤褐色粒子・ 径4mm礫・雲母・ 石英 微	良	ロクロナデ	ロクロナデ カキメのちナデ カキメ	—	
178-33	PL84	278 -1・2	2	SB29	埋土	SB29 7P1,P4,P6 SB29	古代	灰軸 陶器	肩 胴部 ~高台部	10%	—	<15.8>	(8.9) (13.7)	(115.6) (225.4)	—	7.5Y6/1 灰 軸7.5Y4/2 灰ナリーフ	10YR6/1 褐灰	白色粒子・黒色粒 子 微	良	回転ナデ 高台貼付のちナ デ	回転ナデ	—	外面植物 種子? 圧痕 内外面火 スキ
181-1	PL84	279	2	SB30	埋土	SB30	古代	須恵	口縁部 ~底部	20%	<12.0>	—	(3.2)	27.0	—	5Y5/1 灰	5Y5/1 灰	白色粒子・赤褐色 粒子・黄白色粒 子・石英 少、 石 微	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
181-2	PL84	283	2	SB30	埋土	SB30 No.6 SB30	古代	土師	口縁部 ~底部	80%	13.5	6.0	4.4	1600	—	2.5Y7/2 灰黄	N1.5/0 黒	白色粒子・黄白色 粒子・石英 多、 赤褐色粒子・角閃 石・礫石 少	良	ロクロナデ ケズリ	摩耗 ミガキ 黒色処理	—	
181-3	PL84	281	2	SB30	床下	SB30 床下	古代	須恵	体部 ~口縁部	10%	<14.0>	—	(2.5)	35.7	—	N3/0 暗灰	5Y4/1 灰	白色粒子・径3~ 5mm礫 少、赤 褐色粒子 微、黄 褐色粒子 微	良	回転ケズリ ロクロナデ	ロクロナデ	—	
181-4	PL84	282	2	SB30	埋土	SB30	古代	須恵	体部 ~口縁部	10%	<22.4>	—	(2.5)	79.7	—	2.5Y4/1 黄灰	5Y4/1 灰	白色粒子・黄白色 粒子・少、赤褐色 粒子・石英 微	良	ロクロナデ 自然釉	ロクロナデ	—	
181-5	PL84	280	2	SB30	埋土	SB30 No.4 SB30	古代	須恵	口縁部 ~高台部	60%	15.3	9.2	7.0	295.0	—	5Y4/1 灰	5Y5/1 灰	白色粒子 多、赤 褐色粒子・径3~ 4mm礫 少、石 英 微	良	回転糸切り 回転ケズリ 高台貼付のちナ デ	ロクロナデ	—	
181-6	PL84	284	2	SB30	埋土	SB30 No.1	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<26.0>	—	(14.0)	112.8	<25.4>	10YR4/2 灰黄褐	10YR4/4 褐	白色粒子・赤褐色 粒子 微、黄白色 粒子・石英 少	良	回転ナデ カキメのち一部 ナデ カキメのちケズ リケズリ	カキメ カキメのちナデ	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置 (所属遺構・地点名は省略)						注記記号 (所属遺構・地点名は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm								
182-1	PL84	285	2	SB31	埋土	古代	土師	口縁部 ~胴部	20%	<15.6>	—	(13.3)	(190.2)	<16.8>	10YR5/4 にぶい黄褐色	10YR4/4 褐色	白色粒子・黄白色粒子・少、赤褐色粒子・径3~5mm 礫・角閃石・輝石・微、石英・多	良	回転ナデ 平行タタキ ハケメ	ロクロナデ 輪轆痕 ハケメ	—	
182-2	PL84	286	2	SB31	埋土	古代	土師	口縁部 ~胴部	20%	<20.8>	—	(7.5)	(247.3)	—	7.5YR6/6 褐色	7.5YR6/6 褐色	黄白色粒子・多 白色粒子・赤褐色粒子・石英・少、褐色粒子・径3~4mm 礫多	良	回転ナデ ハケメ	ハケメ	—	
173-1	PL84	290	2	SB33	埋土	古代	須恵	口縁部 ~底部	40%	<13.4>	<4.4>	4.3	129.4	—	5YR6/1 灰	5YR6/1 灰	白色粒子・灰色粒子・黒色粒子・径2~3mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転ナデ ヘラ切	ロクロナデ	—	
173-2	PL84	291	2	SB33	埋土	古代	須恵	底部	10%	—	—	(2.2)	67.1	—	10YR3/4 暗褐色	10YR3/4 褐色	白色粒子・灰色粒子・赤褐色粒子・少、黄白色粒子・径2~5mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転ナデ	ロクロナデ	—	
173-3	PL84	292	2	SB33	埋土	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<24.7>	—	(11.4)	(136.0)	—	10YR3/2 黒褐色	10YR6/4 にぶい黄褐色	黄白色粒子・少、灰色粒子・褐色粒子・石英・微	良	ロクロナデ	ナデ ケズリ	—	
175-1	PL84	295	2	SB35	埋土	古代	土師	口縁部 ~高台部	90%	10.2	<5.1>	3.9	105.8	—	10YR7/3 にぶい黄褐色	N1.5/0 黒	赤褐色粒子・少、灰色粒子・黄白色粒子・径2~3mm 礫 微	良	回転ナデ 回転ナデ 高台貼付けのち	ミガキ 摩耗 黒色処理	—	内外面付着物(炭化物?)
175-2	PL84	294	2	SB35	埋土	古代	土師	口縁部 ~高台部	90%	11.6	6.4	4.6	(140.7)	—	10YR7/4 にぶい黄褐色	N1.5/0 黒	赤褐色粒子・灰色粒子・黒色粒子・角閃石・微	良	ロクロナデ 回転ナデ 高台貼付けのち	ミガキ 摩耗 黒色処理	—	
175-3	PL84	296	2	SB35	埋土	古代	土師	口縁部 ~高台部	80%	12.0	6.4	5.0	(131.7)	—	10YR7/3 にぶい黄褐色	N1.5/0 黒	赤褐色粒子・褐色粒子・微	良	ロクロナデ 回転ナデ 高台貼付けのち	ミガキ 摩耗 黒色処理	—	
175-4	PL84	293	2	SB35	埋土	古代	土師	口縁部 ~高台部	50%	14.5	6.6	6.3	(225.4)	—	10YR7/3 にぶい黄褐色	N1.5/0 黒	赤褐色粒子・少、赤褐色粒子・黄白色粒子・径2mm 礫 微	良	ロクロナデ 摩耗 回転ナデ 高台貼付けのち	ミガキ 摩耗 黒色処理	—	
180-1	PL84	305	2	SB39	埋土	古代	須恵	口縁部 ~底部	20%	<12.4>	<5.6>	3.8	41.5	—	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	白色粒子・褐色粒子・径2~5mm 礫・石英・微	良	ロクロナデ 回転ナデ	ロクロナデ	—	
180-2	PL84	304	2	SB39	埋土	古代	須恵	口縁部 ~底部	100%	12.8	6.0	3.5	167.1	—	2.5GY5/1 オリーブ灰	5Y4/1 灰	白色粒子・黄白色粒子・褐色粒子・微	良	ロクロナデ 回転ナデ	ロクロナデ	—	
180-3	PL84	306	2	SB39	埋土	古代	土師	口縁部 ~底部	20%	<14.4>	6.4	4.1	(89.2)	—	5Y5/4 にぶい赤褐色	N1.5/0 黒	白色粒子・黒色粒子・石英・角閃石・微	良	ロクロナデ 回転ナデ 切り離しのちケズリ	ミガキ 摩耗 黒色処理	—	
180-4	PL84	312	2	SB39	埋土	古代	土師	口縁部 ~底部	20%	<14.4>	6.2	4.5	(61.6)	—	10YR6/3 にぶい黄褐色	N1.5/0 黒	白色粒子・赤褐色粒子・角閃石・微	良	ロクロナデ 回転ナデ 黒色処理	ミガキ 摩耗 黒色処理	—	
180-5	PL84	308	2	SB39	埋土	古代	土師	口縁部 ~高台部	60%	12.5	6.8	3.2	(164.9)	—	7.5YR6/4 にぶい橙	N1.5/0 黒	白色粒子・灰色粒子・赤褐色粒子・少、赤褐色粒子・径2~6mm 礫・雲母 微	良	ロクロナデ 回転ナデ 高台貼付けのち	ミガキ 摩耗 黒色処理	—	
180-6	PL84	307	2	SB39	埋土	古代	土師	口縁部 ~底部	10%	<24.6>	—	(5.7)	(69.4)	—	10YR7/4 にぶい黄褐色	N1.5/0 黒	白色粒子 微	良	ロクロナデ	ミガキ 摩耗 黒色処理	—	
180-7	PL84	311	2	SB39	埋土	古代	土師	口縁部 ~底部	10%	<29.0>	—	(8.3)	(95.5)	—	7.5YR4/4 褐色	10YR4/4 褐色	黄白色粒子・赤褐色粒子・石英・微	良	ロクロナデ タテミガキ	ロクロナデ 輪轆痕	—	
180-8	PL84	309	2	SB39	埋土	古代	土師	胴部 ~底部	20%	—	6.1	(4.5)	(108.5)	—	10YR5/3 にぶい黄褐色	10YR6/3 にぶい黄褐色	赤褐色粒子・少、石英・雲母・径2~5mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転ナデ	ロクロナデ	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考		
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (所属遺構・地点名は省略)				口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g									胴部最大径 cm	
180-9	PL84	1635	2	SB39	埋土	SB39 No.16 SB39	古代 土師	甕	口縁部 ~胴部	20%	<24.0>	-	(12.0)	(351.9)	<23.4>	10YR6/4 にぶい黄褐色	10YR6/4 にぶい黄褐色	黒色 粘土・赤褐色 粘土 少	良	ロクロナデ へラ描き	ロクロナデ へラ描き	-	管理 No.310 と同一か
180-10	PL84	310	2	SB39	埋土	SB39 No.4, No.16	古代 土師	甕	口縁部 ~胴部	20%	<23.6>	-	(21.0)	(382.1)	<23.1>	5YR5/6 明赤褐色	5YR5/6 明赤褐色	白色 粘土・赤褐色 粘土 少	良	ロクロナデ へラ描き	ロクロナデ へラ描き	-	No.1635と 同一か
182-1	PL84	318	2	SB42	埋土	SB42 No.2	古代 須恵	蓋	ツマミ ~体部	20%	-	(3.1)	158.1	-	2.5Y6/1 黄灰	5Y6/1 灰	白色 粘土・灰色 粘土 少	良	ソタミ貼付けナ デ 回転ケズリ	ロクロナデ	-		
182-2	PL84	317	2	SB42	埋土	SB42 No.2	古代 須恵	壺	頸部 ~高台部	60%	-	9.5	(15.6)	(1550.0)	18.5	N4/0 灰	N4/0 灰	黄白色 粘土・赤褐色 粘土 少	良	ロクロナデ へラ描き	ロクロナデ へラ描き	-	
182-3	PL84	316	2	SB42	埋土	SB42 No.6, No.7, No.8, No.13, No.42, No.44, SB42	古代 土師	甕	口縁部 ~胴部	10%	<19.5>	-	(30.8)	(764.8)	<18.2>	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	白色 粘土・赤褐色 粘土 少	良	ロクロナデ へラ描き	ロクロナデ へラ描き	-	
183-1	PL85	319	2	SB43	埋土	SB43	古代 須恵	環	口縁部 ~底部	70%	13.2	6.0	4.1	(135.3)	-	5Y6/1 灰	5Y6/1 灰	白色 粘土・赤褐色 粘土 少	やや 不良	ロクロナデ へラ描き	ロクロナデ へラ描き	-	
183-2	PL85	320	2	SB43	埋土	SB43	古代 須恵	環	口縁部 ~底部	80%	13.5	5.3	4.2	(150.1)	-	2.5Y7/2 灰黄	2.5Y7/2 灰黄	白色 粘土・赤褐色 粘土 少	良	ロクロナデ へラ描き	ロクロナデ へラ描き	-	
183-3	PL85	322	2	SB43	埋土	SB43 No.8 SB43	古代 土師	甕	口縁部 ~胴部	10%	<24.6>	-	(14.9)	228.1	-	10YR4/2 灰黄褐色	10YR6/6 明黄褐色	黄白色 粘土・赤褐色 粘土 少	良	ロクロナデ へラ描き	ロクロナデ へラ描き	-	
183-4	PL85	321	2	SB43	埋土	SB43 No.1 ~ No.3, No.10 SB43	古代 土師	甕	口縁部 ~底部	40%	<22.0>	<4.1>	(34.6)	(1420.0)	<23.4>	10YR6/3 にぶい黄褐色	10YR3/2 黒褐色	黄白色 粘土・赤褐色 粘土 多	良	ロクロナデ へラ描き	ロクロナデ へラ描き	-	
184-1	PL85	325	2	SB44	埋土	SB44 No.4 SB44	古代 須恵	環	口縁部 ~底部	50%	<13.0>	6.4	3.8	(102.6)	-	5Y7/1 灰白	2.5Y7/2 灰黄	白色 粘土・赤褐色 粘土 少	やや 不良	ロクロナデ へラ描き	ロクロナデ へラ描き	-	
184-2	PL85	324	2	SB44	埋土	SB44 No.3	古代 須恵	環	口縁部 ~底部	100%	13.1	6.0	3.6	127.7	-	2.5Y7/2 灰黄	5Y7/2 灰白	赤褐色 粘土 多	やや 不良	ロクロナデ へラ描き	ロクロナデ へラ描き	-	
184-3	PL85	323	2	SB44	埋土	SB44 No.5	古代 須恵	環	口縁部 ~底部	20%	<13.9>	<5.5>	(3.9)	63.3	-	2.5Y5/2 暗灰黄	2.5Y5/2 暗灰黄	白色 粘土・赤褐色 粘土 少	良	ロクロナデ へラ描き	ロクロナデ へラ描き	-	外面底部工 具痕
184-4	PL85	326	2	SB44	埋土	SB44	古代 土師	環	口縁部 ~体部	10%	<13.7>	-	(3.6)	(37.4)	-	5YR5/4 にぶい赤褐色	7.5YR2/1 黒	黄白色 粘土・赤褐色 粘土 少	良	ロクロナデ へラ描き	ロクロナデ へラ描き	-	内面ス入付 着
184-5	PL85	327	2	SB44	埋土	SB44 No.6	古代 土師	環	口縁部 ~底部	20%	<15.0>	<7.0>	(5.2)	85.7	-	7.5YR6/4 にぶい橙	N2/0 黒	黄白色 粘土・赤褐色 粘土 少	良	ロクロナデ へラ描き	ロクロナデ へラ描き	-	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考				
			地区	遺構・地点	層位・位置				注記番号 (所属遺構・地点名 は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm									重量 g	胴部 最大径 cm		
184-6	PL85	328	2	SB44	埋土	SB44	古代	土師	鉢	口縁部 ~体部	10%	<24.0>	—	(5.2)	41.2 (209.1)	—	10YR7/3 にぶい黄緑	N2/0 黒	白色粒子・角閃石・ 輝石 微、黄白色 粒子 少、赤褐色 粒子・石英 多	やや 不良	ロクロナデ 摩耗	ミガキ 黒色処理	—	
184-7	PL85	330	2	SB44	埋土	SB44	古代	土師	甕	口縁部 ~胴部	70%	12.4	—	(10.1)	(209.1)	—	10YR4/2 灰黄褐	10YR4/2 灰黄褐	白色粒子・角閃石・ 輝石 微、赤褐色 粒子・石英 多、 黄白色粒子 少	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
184-8	PL85	329	2	SB44	埋土	SB44	古代	土師	甕	口縁部 ~底部	20%	<24.2>	<7.5>	(3.1.1)	(450.0)	<26.7>	10YR3/3 暗褐	10YR6/4 にぶい黄緑	白色粒子・微、白 色粒子・石英 多、 赤褐色粒子 少、 角閃石・輝石 微	良	ロクロナデ ケズリ	ロクロナデ 輪轆痕 カキメ 一部ハケナデ	—	
186-1	PL85	333	2	SB48	埋土	SB48	古代	須恵	坏	口縁部 ~底部	20%	<14.7>	<10.1>	3.9	45.0	—	2.5YR6/2 灰黄	10YR5/2 灰黄褐	白色粒子・黄白色 粒子・赤褐色粒子、 角閃石・輝石 微	良	ロクロナデ 回転へラ切 摩耗	ロクロナデ	—	
186-2	PL85	334	2	SB48	埋土	SB48	古代	須恵	蓋	ソマミ ~口縁部	40%	<15.9>	—	3.2	(207.9)	—	2.5Y5/1 黄灰	N5/0 灰	白色粒子・灰色粒 子・褐色粒子・径 2~6mm 微	良	ソマミ貼付けナ デ 回転ケズリ	ロクロナデ	—	
186-3	PL85	2275	2	SB48	埋土	SB48	古代	須恵	蓋?	体部 ~口縁部	20%	<18.4>	—	(3.9)	(48.6)	—	N3/0 暗灰	N4/0 灰	白色粒子・褐色粒 子 微	良	ロクロナデ 回転ケズリ	ロクロナデ	—	
186-4	PL85	336	2	SB48	埋土	SB48	古代	土師	甕	口縁部 ~頸部	10%	<25.5>	—	(3.6)	28.4	—	7.5YR6/6 橙	10Y6/4 にぶい橙	白色粒子 少、灰 色粒子 多、褐色 粒子・黒色粒子・ 径2mm 微	良	ロクロナデ	ロクロナデ 摩耗	—	
186-5	PL85	335	2	SB48	埋土	SB48	古代	土師	甕	口縁部 ~胴部	10%	<18.2>	—	(10.2)	179.1	—	10YR6/4 にぶい橙	10YR6/4 にぶい橙	白色粒子 少、灰 色粒子・黄白色粒 子・黒色粒子・雲 母・石英・径2~ 9mm 微	良	ロクロナデ ハケ	ロクロナデ	—	
186-6	PL85	337	2	SB48	埋土	SB48	古代	土師	甕	胴部 ~底部	10%	—	8.9	(7.4)	(166.9)	—	2.5YR6/3 にぶい黄	10YR6/3 にぶい黄	白色粒子 少、黄 白色粒子・黒色 粒子・灰色粒子・ 石英・径2~3mm 微	良	ハケ 木炭痕	ナデ	—	
186-1	PL85	340	2	SB49	埋土	SB49	古代	土師	甕	口縁部 ~胴部	10%	<15.0>	—	(6.7)	45.3	<15.0>	10YR7/4 にぶい黄緑	10YR7/4 にぶい黄緑	白色粒子・赤褐色 粒子・径2~4mm 微	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
186-2	PL85	338	2	SB49	埋土	SB49	古代	土師	甕	口縁部 ~胴部	10%	<12.6>	—	(11.4)	(91.7)	<12.0>	7.5YR5/3 にぶい褐	10YR4/2 灰黄褐	白色粒子・赤褐色 粒子・角閃石・輝 石 微、黄白色粒 子 少、石英 多	良	ロクロナデ 摩耗 カキメ ナデ	ロクロナデ	—	
186-3	PL85	339	2	SB49	埋土	SB49	古代	土師	甕	胴部 ~底部	10%	—	<10.0>	(10.4)	183.5	—	10YR6/4 にぶい黄緑	10YR6/4 にぶい黄緑	白色粒子 微、赤 褐色粒子 少、石 英 多、黄白色 粒子・径3~4mm 微 少	良	ケズリ	工具によるナデ 輪轆痕 ナデ	—	
187-1	PL85	343	2	SB52	埋土	SB52	古代	須恵	坏	口縁部 ~底部	10%	<12.9>	<5.9>	3.7	(29.8)	—	5Y6/1 灰	2.5Y6/2 灰黄	白色粒子・黄白色 粒子 微	良	ロクロナデ 回転ケズリ	ロクロナデ	—	
187-2	PL85	345	2	SB52	埋土	SB52	古代	須恵	蓋	体部 ~口縁部	10%	<15.6>	—	(2.2)	40.9	—	2.5Y6/2 黄灰	2.5Y6/2 灰黄	黄白色粒子・赤褐 色粒子 微	良	回転ケズリ ロクロナデ	ロクロナデ	—	外面黒書
187-3	PL85	344	2	SB52	埋土	SB52	古代	土師	坏	口縁部 ~底部	20%	<15.7>	<6.3>	6.4	73.2	—	7.5YR5/4 にぶい褐	10YR4/1 褐灰	白色粒子・石英・ 微、黄白色粒子・ 赤褐色粒子・径3 ~6mm 微 少	良	ロクロナデ 回転ケズリ ケズリ	ミガキ 黒色処理	—	
187-4	PL85	346	2	SB52	埋土 床	SB52	古代	土師	甕	口縁部 ~底部	50%	<11.7>	6.1	10.8	(253.7)	<12.1>	7.5YR4/4 褐	7.5YR5/4 にぶい褐	黄白色粒子・赤褐 色粒子・径3mm 微 少、石英 多	良	ロクロナデ 回転ケズリ	ロクロナデ	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置		時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考	
			地区	遺構・地点						層位・位置	注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)	口径 cm	底径 cm										器高 cm
189-1	PL85	351	2	SB53	埋土	SB53 灰下 No.10, 灰下 No.35, 灰下 P2	古代 須恵	環	口縁部 ~底部	70%	12.6	<5.3>	3.5	(165.2)	—	2.5Y4/1 黄灰	2.5Y4/1 黄灰	白褐色粒子・赤褐色 色粒子 少、径5 ~7mm 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	
189-2	PL85	348	2	SB53	埋土	SB53 灰下 No.16, 灰下 No.29, 灰下 No.30, 灰下 No.31, 灰下 No.34, 灰下 No.42	古代 須恵	環	口縁部 ~底部	90%	12.9	6.2	3.8	(165.6)	—	2.5Y6/1 黄灰	2.5Y6/2 灰黄	白色粒子・赤褐色 粒子・石英 少、 黄褐色粒子・径3 ~5mm 微 多	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	内外面ス 附着
189-3	PL85	350	2	SB53	埋土 床	SB53 集中 No.2 SB53 灰下 SB53	古代 須恵	環	口縁部 ~底部	40%	<13.2>	6.4	4.0	(153.9)	—	5Y4/1 灰	5Y4/1 灰	白色粒子・黄白色 粒子 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	
189-4	PL85	349	2	SB53	埋土	SB53 No.3	古代 須恵	環	口縁部 ~底部	90%	13.2	6.4	3.6	159.9	—	2.5Y5/2 暗黄灰	2.5Y5/2 暗黄灰	白色粒子・黄白色 粒子・赤褐色粒 子 微、径3mm 微 少	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	
189-5	PL85	347	2	SB53	埋土	SB53	古代 須恵	環	口縁部 ~底部	70%	12.6	5.0	4.0	(169.6)	—	5Y4/1 灰	5Y5/1 灰	白色粒子・黄白色 粒子・径3~5mm 微 多、赤褐色粒 子・黒色粒子・雲 母 微、石英 少	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	
189-6	PL85	357	2	SB53	埋土	SB53 No.1	古代 土師	環	口縁部 ~底部	90%	13.3	6.2	4.2	(211.2)	—	7.5YR7/4 にぶい橙	N2/O 黒	白色粒子・径3 mm 微、黄白色 粒子・石英 少、 赤褐色粒子 多	良	ロクロナデ 磨底 回転系切りのち ナデ	ミガサ 黒色処理	—	
189-7	PL85	358	2	SB53	埋土	SB53 No.4, No.5 SB53	古代 土師	環	口縁部 ~底部	70%	14.8	6.7	5.2	(212.2)	—	7.5YR6/6 橙	N2/O 黒	白色粒子・径2 ~3mm 微 少、 黒色粒子 微、赤 褐色粒子 多	良	ロクロナデ ケズリ ケズリ	ミガサ磨底 黒色処理	—	
189-8	PL85	359	2	SB53	埋土 床	SB53 灰下、床下	古代 土師	環	口縁部 ~底部	10%	<18.0>	<6.5>	6.5	(284.3)	—	10YR5/3 にぶい黄褐	N2/O 黒	黄白色粒子・石 英 多、白色粒 子・赤褐色粒子 少、角閃石・輝石 微	良	ロクロナデ (ケズリ)切り離し (ケズリ)ケズリ	ミガサ磨底 黒色処理	—	
189-9	PL86	352	2	SB53	埋土	SB53 灰下 No.22, 灰下 No.33, 灰下 No.38, 灰下 No.40	古代 須恵	台付環	口縁部 ~高台部	70%	12.3	9.0	3.8	(180.7)	—	10YR5/2 灰黄褐	10YR4/3 にぶい黄褐	白色粒子 少、黄 白色粒子・赤褐 色粒子・径2~ 3mm 微 多、石 英 微	良	ロクロナデ 回転系切り 高台貼付けのち ナデ	ロクロナデ	—	
189-10	PL86	355	2	SB53	埋土	SB53 No.6	古代 須恵	台付環	口縁部 ~高台部	90%	15.0	9.0	6.9	(368.0)	—	2.5Y6/1 黄灰	5Y5/2 灰オリーブ	白色粒子・黄白色 粒子・赤褐色粒子・ 黒色粒子・石英 微、径3~5mm 微 少	良	ロクロナデ 回転系切り 高台貼付けのち ナデ	ロクロナデ	—	
189-11	PL86	354	2	SB53	埋土	SB53 P2	古代 須恵	台付環	口縁部 ~高台部	10%	<15.0>	<12.0>	4.3	33.3	—	10YR4/1 褐灰	10YR4/1 褐灰	白色粒子・赤褐色 粒子・石英 微、 黄褐色粒子・径 3mm 微 少	良	ロクロナデ 回転系切り 高台貼付けのち ナデ	ロクロナデ	—	
189-12	PL86	353	2	SB53	埋土	SB53 No.2 SB53	古代 須恵	台付環	口縁部 ~高台部	60%	<15.6>	11.2	4.2	(263.5)	—	7.5Y4/1 灰	7.5Y4/1 灰	白色粒子・黄白色 粒子・石英 少、 赤褐色粒子・径2 ~4mm 微 多	良	ロクロナデ 回転系切り 高台貼付けのち ナデ	ロクロナデ	—	
189-13	PL86	2276	2	SB53	埋土	SB53	古代 須恵	壺	口縁部 ~胴部	10%	<10.0>	—	(3.3)	20.7	—	10YR5/1 褐灰	7.5YR4/2 灰オリーブ	白色粒子・黄白色 粒子 微	良	ロクロナデ 自然釉	ロクロナデ	—	
190-14	PL86	360	2	SB53	埋土	SB53 灰下 No.4, 灰下 No.27, 灰下 No.28, 灰下 No.32, 灰下 No.36, 灰下 No.43, 灰下 No.44, 灰下 P2	古代 土師	甕	口縁部 ~底部	40%	<19.0>	<3.5>	30.4	(833.4)	<19.0>	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR3/3 暗褐	白色粒子 少、黄 白色粒子・石英 径3~5mm 微 多、赤褐色粒子・ 角閃石・輝石 微	良	ロクロナデ ケズリ	ロクロナデ	—	
190-15	PL86	361	2	SB53	埋土	SB53 土器集中 No.3o, No.8, No.11, No.15, No.16, No.17 SB53 集中	古代 土師	甕	口縁部 ~底部	30%	<22.2>	<4.3>	29.6	(992.3)	<24.7>	10YR6/4 にぶい黄橙	7.5YR6/6 橙	白色粒子・黄白色 粒子・赤褐色粒 子 少、石英・径 3~5mm 微 多	良	ロクロナデ ケズリ	ロクロナデ ハケメ ナデ	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考		
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記番号 (所属遺構・地点名は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm									重量 g	胴部 最大径 cm
191-1	PL86	445	1	SB66	埋土	SB66 灰F No.1	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	70%	13.8	7.6	4.5	172.1	—	10YR6/1 褐色	5Y8/1 灰白	白色粒子・黄白色 粒子・赤褐色粒子・ 黒色粒子・石英 少、角閃石・輝石 微、径3mm 礫多 少、黄 白色粒子 少、黄 白色粒子・赤褐色 粒子 多、石英 少、角閃石・輝 石 微、径3mm 礫 少	良	ロクロナデ 摩耗 切り離しのちケ ズリ	ロクロナデ 摩耗	—	
191-2	PL86	446	1	SB66	埋土	SB66	古代	土師	環	口縁部 ~底部	20%	<11.0>	<4.9>	(2.8)	27.3	—	7.5YR6/6 橙	N2/0 黒	白色粒子・赤褐色 粒子 多、石英 少、角閃石・輝 石 微、径3mm 礫 少	良	ロクロナデ 摩耗 ケズリ	ミガキ 摩耗 黒色処理	—	
191-3	PL86	449	1	SB66	埋土	SB66 P2	古代	須恵	囊	口縁部 ~胴部	10%	<30.0>	—	(6.0)	95.0	—	10YR7/4 にぶい黄褐色	10YR7/4 にぶい黄褐色	白色粒子・赤褐色 粒子 微、黄 白色粒子・赤褐色 粒子 少、石英 少、角閃石・輝 石 微、径3mm 礫 多	やや 不良	ロクロナデ 格子状タタキ	平行タタキ状圧 痕のちナデ	—	
191-4	PL86	450	1	SB66	埋土	SB66 P3 No.3, P3 No.5 SB66 椀	古代	須恵	囊	胴部 ~胴部	10%	—	—	(18.3)	336.3	—	2.5Y4/2 明灰黄	10YR5/3 にぶい黄褐色	白色粒子・黄白色 粒子・石英・径3 ~5mm 礫 少、 赤褐色粒子 微	良	ロクロナデ タタキ	ロクロナデ 輪磨痕	—	
191-5	PL86	447	1	SB66	埋土	SB66 灰F No. 8	古代	土師	囊	口縁部 ~胴部	10%	<21.8>	—	(6.4)	69.6	—	5YR5/4 にぶい赤褐色	7.5YR5/4 にぶい黄褐色	白色粒子 少、黄 白色粒子・赤褐色 粒子・石英 多、赤褐色粒子・ 葉片 微	良	ロクロナデ 工具によるナデ?	ロクロナデ	—	
191-6	PL86	448	1	SB66	埋土	SB66 P3 No.5,P3,椀	古代	土師	囊	口縁部 ~胴部	10%	<22.0>	—	(8.7)	106.7	—	7.5YR6/4 にぶい黄褐色	7.5YR6/4 にぶい黄褐色	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・径 3mm 礫 微	良	ロクロナデ	ロクロナデ カキメ カキメ	—	
191-1	PL86	454	1	SB68	埋土	SB68	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	20%	<13.0>	—	(3.8)	43.5	—	5Y5/1 灰	7.5YR5/4 にぶい黄褐色	白色粒子・黄白色 粒子 微、	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	火タスキ
191-2	PL86	455	1	SB68	埋土	SB68 No.1・No.2・ No.3・No.4・No.6	古代	須恵	長頸壺	頸部~ 高台部	60%	—	100	(15.2)	(1250.0)	<18.2>	2.5Y6/1 黄灰	2.5Y6/1 黄灰	白色粒子・石英 微	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
192-1	PL86	459	1	SB69	埋土	SB69	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	20%	<11.8>	<5.8>	3.3	37.9	—	2.5Y7/1 灰白	2.5Y7/2 灰黄	黒色粒子 微	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
192-2	PL86	456	1	SB69	埋土	SB69 No.3,No.8 SB69	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	70%	12.1	6.2	3.3	(121.6)	—	5Y6/2 灰 オリープ灰 礫 微	5Y6/2 灰 オリープ灰 礫 微	白色粒子・赤褐色 粒子 少、赤褐色 粒子 微	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
192-3	PL86	458	1	SB69	埋土	SB69 No.4 SB69	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	40%	<12.6>	<5.9>	3.4	(95.9)	—	5Y7/6 橙	5Y7/6 橙	白色粒子・赤褐色 粒子 微	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
192-4	PL86	457	1	SB69	埋土	SB69 No.6,No.8 SB69	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	60%	12.7	6.5	3.8	(101.3)	—	2.5Y7/3 浅黄	2.5Y7/3 浅黄	白色粒子・黒色 粒子・径3mm 礫 微	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
192-5	PL86	460	1	SB69	埋土	SB69 No.5	古代	須恵	蓋	ソマミ ~口縁部	50%	<13.7>	—	3.0	(129.3)	—	N5/0 灰	5Y5/1 灰	白色粒子・黒色粒 子 微	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
192-6	PL86	462	1	SB69	埋土	SB69 No.10	古代	須恵	台付杯	口縁部 ~高台部	70%	<13.2>	<8.9>	3.2	158.5	—	7.5Y5/1 灰	7.5Y5/1 灰	白色粒子・褐色粒 子 微	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
192-7	PL86	2277	1	SB69	埋土	SB69	古代	須恵	甗?	胴?	10%	—	—	(11.7)	156.4	—	5Y7/2 灰白	2.5Y6/2 灰黄	白色粒子・褐色粒 子・黒色粒子 微	良	ロクロナデ	タタキのちナデ 指?押さえる痕	—	
192-8	PL86	461	1	SB69	埋土	SB69 No.1 SB69	古代	土師	囊	胴部 ~底部	20%	—	6.5	(5.1)	(144.3)	—	10YR5/3 にぶい黄褐色	10YR7/4 にぶい黄褐色	赤褐色粒子・黄白 色粒子 微、石 英 多	良	ロクロナデ	ロクロナデ 摩耗	—	
194-1	PL86	463	1	SB70	埋土	SB70 No.1	古代	土師	鉢	口縁部 ~底部	70%	16.2	7.2	6.0	(303.0)	—	5Y5/6 明赤褐色	N1.5/1 黒	黒色粒子・赤褐色 粒子・灰色粒子 微、石英 多	良	ナデ	ナデ	—	
194-2	PL86	465	1	SB70	埋土	SB70 No.2 SB70	古代	土師	囊	口縁部 ~胴部	10%	<20.0>	—	(10.0)	76.2	—	10YR7/6 明黄褐色	10YR7/6 明黄褐色	黒色粒子・赤褐色 粒子 微、石英 少、径2mm 礫 微	良	ロクロナデ	ロクロナデ カキメケズリ 指押さえ	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記番号 (所属遺構・地点名 は省略)							口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g								
194-3	PL86	464	1	SB70	埋土	SB70 No.3 SB70	古代	土師	壘	口縁部 ~胴部	20%	<24.0>	—	(25.9)	<24.0>	10YR7/6 明灰褐	7.5YR7/6 橙	白色粒子・灰色粒 子・黒色粒子・赤 褐色粒子・石英 礫、径2~4mm 礫 少	良	ロクロナデ ケズリ	ロクロナデ	—		
194-1	PL87	470	1	SB72	埋土	SB72 No.9, No.20	古代	須恵	坏	口縁部 ~底部	50%	12.1	4.8	3.9	72.2	2.5Y6/2 灰黄	2.5Y4/1 黄灰	白色粒子・灰色粒 子・黒色粒子・黄 白色粒子少、径 3mm礫・石英礫	やや 不良	ロクロナデ 摩耗 回転へラケズリ	ロクロナデ 摩耗	—		
194-2	PL87	468	1	SB72	埋土	SB72	古代	須恵	坏	口縁部 ~底部	30%	<12.3>	<5.2>	3.9	(67.1)	2.5Y7/2 灰黄	2.5Y7/2 灰黄	黒色粒子・径2 mm礫 微	良	ロクロナデ 摩耗 回転糸切り	ロクロナデ 摩耗	—		
194-3	PL87	467	1	SB72	埋土	SB72 P1 No.1	古代	須恵	坏	口縁部 ~底部	100%	12.9	7.0	3.2	187.6	5Y4/1 灰	5Y4/1 灰	白色粒子・黒色粒 子 微	良	ロクロナデ 摩耗 回転糸切り	ロクロナデ	—		
194-4	PL87	469	1	SB72	埋土	SB72 No.4	古代	須恵	坏	口縁部 ~底部	30%	<12.5>	<5.8>	3.8	61.1	5Y8/1 灰白	2.5Y7/2 灰黄	黒色粒子・灰色粒 子少、径2mm 礫・石英・角閃 石 微	やや 不良	ロクロナデ 摩耗 回転糸切り	ロクロナデ 摩耗	—		
194-5	PL87	473	1	SB72	埋土	SB72 No.27	古代	須恵	蓋	体部 ~口縁部	10%	<13.0>	—	(2.4)	45.9	5Y4/6 赤褐色	5Y4/1 灰	白色粒子 微	良	回転へラケズリ ロクロナデ	ロクロナデ	—		
194-6	PL87	471	1	SB72	床下	SB72 床下	古代	須恵	台付坏	口縁部 ~高台部	80%	<12.7>	7.8	4.0	157.5	5YR5/8 明赤褐	5YR5/6 明赤褐	白色粒子・黒色粒 子・灰色粒子・ 径2~5mm礫 微	良	回転へラケ 高台貼付けのち 回転ナデ	ロクロナデ 磨減	—		
194-7	PL87	472	1	SB72	埋土	SB72 P1 No.2	古代	須恵	台付坏	体部 ~高台部	20%	—	10.1	(1.8)	204.7	N4/0 灰	5Y6/1 灰	白色粒子 多、 黒色粒子・径2~ 4mm礫 微	良	回転へラケズリ 高台貼付けのち 回転ナデ	ロクロナデ	—		
194-8	PL87	474	1	SB72	埋土	SB72 No.23	古代	土師	坏	口縁部 ~底部	10%	<15.0>	—	(5.3)	34.0	5Y6/4 にぶい橙	N1.5/0 黒	白色粒子・灰色粒 子少、黒色粒 子・赤褐色粒子・ 石英 微	良	ロクロナデ 摩耗 ケズリ磨減	ミガキ やや摩耗 黒色処理	—		
194-9	PL87	475	1	SB72	埋土	SB72 No.1	古代	土師	碗?	高台部	10%	—	<6.0>	(2.2)	(51.0)	10YR7/4 にぶい黄橙	N1.5/0 黒	白色粒子・赤褐色 粒子 微	良	高台貼付けのち 回転ナデ 磨減	ミガキ 黒色処理	—		
194-10	PL87	479	1	SB72	埋土	SB72 P1 SB72	古代	土師	壘	口縁部 ~胴部	10%	<11.6>	—	(7.3)	(25.4)	10YR6/3 にぶい黄橙	7.5YR7/6 橙	白色粒子・赤褐色 粒子・黒色粒 子・赤褐色粒子 多	良	ロクロナデ 摩耗	ロクロナデ	—		
194-11	PL87	478	1	SB72	埋土	SB72 No.25 SB72	古代	土師	壘	口縁部 ~底部	50%	<12.5>	5.6	12.3	(317.4)	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR5/3 にぶい黄橙	灰色粒子 少、黄 白色粒子・径 2~4mm礫・石 英 微	良	ロクロナデ 摩耗 剥離 回転糸切り 底部へラ抜き	ロクロナデ 剥離 カキス カキスのちナデ	—	外面底部へ ラ抜き	
194-12	PL87	477	1	SB72	埋土	SB72 No.16	古代	土師	壘	口縁部 ~胴部	10%	<24.6>	—	(13.5)	168.6	10YR6/3 にぶい黄橙	10YR7/4 にぶい黄橙	黒色粒子・赤褐色 粒子・径2~5mm 礫、石英 少	良	ロクロナデ 摩耗 ケズリ	ロクロナデ	—		
194-1	PL87	481	1	SB73	埋土	SB73	古代	須恵	坏	口縁部 ~底部	20%	<12.0>	<5.4>	3.6	59.4	7.5YR6/6 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	白色粒子・赤褐色 粒子 微	良	ロクロナデ 摩耗 回転糸切り	ロクロナデ	—		
194-2	PL87	480	1	SB73	埋土	SB73 No.1, No.12	古代	須恵	坏	口縁部 ~底部	60%	13.5	6.2	3.6	(112.6)	2.5Y6/2 灰黄	2.5Y5/3 黄褐	白色粒子・褐色 粒子・径5mm礫 微	良	ロクロナデ 摩耗 回転糸切り	ロクロナデ	—		
194-3	PL87	484	1	SB73	埋土	SB73 No.2 SB71	古代	土師	坏	口縁部 ~底部	20%	<16.8>	<7.7>	5.0	74.7	10YR6/3 にぶい黄橙	N1.5/0 黒	白色粒子 微、赤 褐色粒子・黄白 色粒子・灰色粒 子・石英・角閃 石 少	やや 不良	ロクロナデ 摩耗 ケズリ	ミガキ やや 黒色処理	—		
194-4	PL87	483	1	SB73	埋土	SB73 No.15, P1 No.2, P1, 火	古代	須恵	蓋	ソツミ部 ~口縁部	30%	<14.8>	—	3.6	110.0	2.5Y6/2 灰黄	2.5Y6/2 灰黄	黒色粒子・褐色 粒子・径3mm礫 微	良	ソツミ貼付けの ちナデ ロクロナデ 摩耗	ロクロナデ 摩耗	—		
194-5	PL87	482	1	SB73	埋土	SB73 P1 No.11 SB73	古代	須恵	蓋	ソツミ部 ~口縁部	20%	<15.7>	—	3.5	(63.2)	5Y5/1 灰	5Y5/1 灰	白色粒子 微	良	ソツミ貼付けの ちナデ 回転ケズリ ロクロナデ	ロクロナデ 輪磨減	—		

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考						
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)				時期	種類	口径 cm	底径 cm							器高 cm	重量 g	胴部 最大径 cm	外面色調	内面色調	
194-6	PL87	485	1	SB73	埋土	SB73 No.5	古代	土師	環	口縁部 ~胴部	10%	<21.5>	—	(12.6)	130.8	<23.4>	10YR7/3 にふい黄褐色	10YR5/3 にふい黄褐色	白色粒子・赤褐色 粒子・黒色粒子・ 微、石英 少、径 2mm 微	ロクロナデ ケズリのち工具 によるナデ?	カキメ カキメのちハケ	—	外面へラ描 き		
195-1	PL87	513	1	SB76	床下	SB76 床下	古代	須恵	環	体部 ~底部	10%	—	<4.2>	(2.0)	35.1	—	N5/0 灰	2.5Y7/1 灰白	白色粒子 微	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—	—	—	
195-2	PL87	515	1	SB76	埋土	SB76 灰下 No.12, 灰下 No.42	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	40%	<12.7>	<6.0>	3.7	81.6	—	10YR8/2 灰白	10YR6/2 灰褐色	白色粒子・黒色粒 子・灰色粒子 微	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—	—	—	
195-3	PL87	514	1	SB76	埋土	SB76 灰下	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	30%	<13.2>	<5.7>	4.1	(64.9)	—	10YR6/3 にふい黄褐色	10YR6/3 にふい黄褐色	白色粒子・黒色粒 子・灰色粒子・石 英 微	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ 摩擦	—	—	—	
195-4	PL87	523	1	SB76	埋土	SB76	古代	土師	環	口縁部 ~底部	20%	<12.3>	<5.0>	4.2	(58.1)	—	10YR6/3 にふい黄褐色	N1.5/0 黒	白色粒子・灰色粒 子 多、赤褐色粒 子・黒色粒子 微	ロクロナデ 回転糸切り	ミガキ 黒色処理	—	—	—	
195-5	PL87	520	1	SB76	埋土	SB76 No.3, No.4 灰下	古代	土師	環	口縁部 ~底部	70%	12.5	4.3	4.2	(163.3)	—	7.5YR6/4 にふい黄褐色	2.5Y4/1 黄灰	白色粒子・灰色粒 子・赤褐色粒子 少、径2~5mm	ロクロナデ 回転糸切り	ミガキ(?) 黒色処理	—	—	—	
195-6	PL87	521	1	SB76	埋土	SB76	古代	土師	環	口縁部 ~底部	70%	13.4	—	4.1	(183.5)	—	10YR6/4 にふい黄褐色	N1.5/0 黒	黒白色粒子・赤褐 色粒子・黒色粒 子 微、灰色粒 子 少、径2mm 微、石英・雲母 微	ロクロナデ 回転糸切り	ミガキ 黒色処理	—	—	—	
195-7	PL87	524	1	SB76	埋土	SB76 灰下 No.17	古代	土師	環	口縁部 ~底部	30%	<13.4>	<5.4>	4.0	(57.6)	—	7.5YR5/8 明褐色	10YR17/1 黒	白色粒子・黒色粒 子・灰色粒子・赤 褐色粒子 微、雲 母 少、径2mm	ロクロナデ 回転糸切り	幅広い工具によ るミガキ 黒色処理	—	—	—	
195-8	PL87	522	1	SB76	埋土	SB76 No.1 SB76	古代	土師	環	口縁部 ~底部	60%	13.5	5.8	3.8	(144.9)	—	10YR6/3 にふい黄褐色	N1.5/0 黒	白色粒子 多、褐 色粒子・灰色粒 子・径2mm 微、 雲母 微	ロクロナデ 摩擦 回転糸切り	ミガキ 黒色処理	—	—	—	
195-9	PL87	525	1	SB76	埋土	SB76 灰下 No.20	古代	土師	環	口縁部 ~底部	10%	<15.8>	<7.0>	5.4	40.2	—	5YR5/6 明赤褐色	10YR5/4 にふい黄褐色	白色粒子・黒色粒 子・灰色粒子・赤 褐色粒子 微、径 2~4mm 微、石 英 微	ロクロナデのち ミガキ 摩擦ケズリ 切り離しのちケ ズリ	ロクロナデのち ミガキ 黒色処理	—	—	—	
195-10	PL87	526	1	SB76	埋土	SB76 灰下 No.10	古代	土師	碗	口縁部 ~高台部	70%	16.2	8.1	6.1	(221.6)	—	10YR5/3 にふい黄褐色	N1.5/0 黒	白色粒子・灰色粒 子 少、黄白色 粒子・黒色粒子・ 赤褐色粒子・径 2mm 微、石英・ 雲母 微	ロクロナデ 回転ケズリ 回転糸切り 高台貼付けのち 回転ナデ	ミガキ 黒色処理	—	—	外面へラ付 着	
195-11	PL87	519	1	SB76	埋土	SB76 No.6	古代	土師	環	口縁部 ~頸部	10%	<29.0>	—	(9.6)	680.1	—	N3/0 暗灰	N4/0 灰	白色粒子 微	ロクロナデ	ロクロナデ	—	—	—	—
195-12	PL87	516	1	SB76	埋土	SB76	古代	土師	環	口縁部 ~胴部	10%	<13.7>	—	(7.8)	32.8	<15.1>	10YR4/2 灰黄褐色	10YR6/3 にふい黄褐色	白色粒子・赤褐 色粒子・黄白色 粒子 微、黒色 粒子・灰色粒子 少、径2~4mm 微	ロクロナデ	ロクロナデ	—	—	—	—
195-13	PL87	518	1	SB76	埋土	SB76 灰下 No.22, 灰下 SB76	古代	土師	環	口縁部 ~胴部	10%	<24.0>	—	(13.8)	(211.0)	<25.2>	7.5YR5/8 明褐色	7.5YR4/6 褐色	白色粒子・赤褐色 粒子・灰色粒子・ 黒色粒子・雲母 微	ロクロナデ	ロクロナデ カキメ 黒色処理 輪轆痕	—	—	—	—
195-14	PL87	517	1	SB76	埋土	SB76 灰下 No.1, 灰下 No.13, 灰下 No.15, 灰下 No.18, 灰下 No.21, 灰下 SB76	古代	土師	環	口縁部 ~胴部	30%	<23.0>	—	(27.7)	(2330.0)	<24.0>	7.5YR6/4 にふい黄褐色	7.5YR5/4 にふい黄褐色	白色粒子・灰色粒 子・黒色粒子・赤 褐色粒子 微、真 白色粒子 多、径 2~5mm 微、石 英 微	ロクロナデ ケズリ	ロクロナデ ナデ 輪轆痕	—	—	—	—

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考	
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm									重量 g
196-1	PL87	529	1	SB78	埋土	SB78 No.2	古代	土師	口縁部 ~底部	60%	<14.0>	6.7	4.9	180.8	-	7.5YR6/4 にぶい橙	N1.5/O 黒	白色粒子・黄 白色粒子・赤褐色 粒子・灰色 粒子・少、黒色粒 子・角四石 微	良	ロクロナデ 摩耗 回転へら切か? ケズリ摩耗	ミガキ 黒色処理	-	
196-2	PL87	528	1	SB78	埋土	SB78 P3 No.1	古代	須恵	口縁部 ~底部	70%	11.4	8.5	189.8	-	2.5Y4/2 暗灰黄	2.5Y4/2 暗灰黄	白色粒子・灰色粒 子・褐色粒子・径 2mm 微	良	ロクロナデ 回転へら切り 粘土貼りのち ハナでナデ付け	ロクロナデ	-		
196-3	PL87	530	1	SB78	埋土	SB78 炉*	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<8.8>	-	(3.4)	16.6	(9.1)	5YR5/6 明赤褐色	10YR6/6 明黄褐色	白色粒子・少、灰 色粒子・黒色粒子・ 赤褐色粒子・黄白 色粒子・径2mm 微	良	ロクロナデ ケズリ摩耗不明 ハケ	ロクロナデ	-	
197-1	PL87	2372	2	SB85	埋土 床	SB85 床.No.1,TR1	古代	須恵	口縁部 ~底部	20%	<12.3>	<5.7>	3.6	(53.1)	-	2.5Y7/1 灰白	2.5Y7/1 灰白	白色粒子・石英 微	やや 不良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	-	
197-2	PL87	2375	2	SB85	埋土	SB85No.3・No.4・ No.5	古代	土師	口縁部 ~高台部	30%	<12.4>	7.4	3.2	(99.0)	-	7.5YR6/4 にぶい橙	N2/O 黒	白色粒子・石英・ 径2mm 微、赤 褐色粒子 少	良	ロクロナデ 高台貼り付けの ちナデ	ミガキ 摩耗不明 黒色処理	-	
197-3	PL87	2373	2	SB85	埋土	SB85No.18・No.19	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<12.4>	-	(4.6)	31.6	-	5YR6/6 橙	7.5YR6/4 にぶい橙	赤褐色粒子・雲母・ 径2mm 微、 白色粒子 少、石 英多	良	ロクロナデ	ロクロナデ	-	
197-4	PL87	2374	2	SB85	3層	SB85No.21,SB85 3 層	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<23.8>	-	(10.0)	172.8	-	10YR5/3 にぶい黄褐色	10YR5/3 にぶい黄褐色	白色粒子・赤褐色 粒子・黒色粒子・ 黄白色粒子・径 2~3mm 微、石 英 微	良	ナデ ロクロナデ	ナデ ロクロナデ	-	
198-1	PL87	1656	2	SB86	埋土	SB86 No.2 SB86 2D 東壁	古代	土師	口縁部 ~底部	60%	<13.0>	4.8	3.6	(86.2)	-	10YR6/4 にぶい黄橙	7.5YR5/4 にぶい黄	白色粒子・赤褐色 粒子・黒色粒子・ 黄白色粒子・径 2~3mm 微、石 英 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	-	内外面ス リ着
198-2	PL87	1655	2	SB86	埋土	SB86 No.1	古代	土師	口縁部 ~高台部	60%	12.4	7.2	2.8	116.0	-	2.5Y7/1 灰白 釉 5Y7/2 灰白	2.5Y7/1 灰白 釉 5YR6/2 微	白色粒子・黒色 粒子・径2mm 微	良	ロクロナデ 切離しのちナデ 高台貼り付けの ちナデ	ロクロナデ	-	釉ハケ塗り
199-1	PL88	1681	2	SB87	埋土 床	SB87 床 SB87	古代	土師	口縁部 ~底部	50%	<11.1>	5.0	3.0	(78.4)	-	10YR7/4 にぶい黄橙	7.5YR6/6 橙	赤褐色粒子・白色 粒子・灰色粒子・ 径2mm 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ 摩耗	-	
199-2	PL88	1666	2	SB87	埋土	SB87 P2 SB87	古代	土師	口縁部 ~底部	40%	<10.7>	5.2	2.6	67.6	-	7.5YR6/6 橙	7.5YR7/6 橙	白色粒子・赤褐色 粒子・雲母・径2 ~3mm 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	-	
199-3	PL88	1669	2	SB87	埋土	SB87 No.8 SB87	古代	土師	口縁部 ~底部	60%	10.7	4.9	3.6	(93.8)	-	10YR5/3 にぶい黄褐色	10YR5/3 にぶい黄褐色	赤褐色粒子・径 2mm 微、雲母	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ 摩耗	-	
199-4	PL88	1673	2	SB87	埋土	SB87	古代	土師	口縁部 ~底部	40%	<11.8>	5.0	3.4	(53.2)	-	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・径2 ~3mm 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	-	
199-5	PL88	1682	2	SB87	埋土	SB87 TR	古代	土師	口縁部 ~底部	50%	<12.0>	4.6	5.5	(78.0)	-	7.5YR5/4 にぶい黄	10YR4/2 灰黄褐色	赤褐色粒子・灰 色粒子 少、白色 粒子・黒色粒子・ 径2mm 微、石英 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	-	
199-6	PL88	1672	2	SB87	埋土	SB87 P1・P2	古代	土師	口縁部 ~底部	60%	<12.8>	5.0	3.7	(134.7)	-	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/4 にぶい橙	赤褐色粒子・黒色 粒子・径2mm 微	良	ロクロナデ 回転系切り 工具痕	ロクロナデ	-	
199-7	PL88	1668	2	SB87	埋土	SB87 No.3 SB87	古代	土師	口縁部 ~底部	80%	14.8	6.5	4.4	(204.3)	-	7.5YR6/4 にぶい黄	10YR6/4 にぶい黄褐色	赤褐色粒子・灰 色粒子・径3mm 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	-	
199-8	PL88	1683	2	SB87	埋土	SB87 No.2	古代	土師	口縁部 ~底部	100%	14.8	6.0	4.6	215.9	-	10YR5/2 灰黄褐色	10YR6/4 にぶい黄褐色	白色粒子・赤褐色 粒子・径3mm 微、 雲母 微	良	ロクロナデ やや摩耗 回転系切り 摩耗	ロクロナデ 摩耗	-	内外面ス リ着

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考			
			地区	遺構・地点	層位・位置 (所属遺構・地点名は省略)						注記記号 (所属遺構・地点名は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm							重量 g	胴部 最大径 cm	外面色調
199-9	PL88	1671	2	SB87	埋土	SB87 No.10	古代	土師	口径部 ~高台部	60%	13.6	7.2	6.4	(179.1)	—	7.5Y6/4 にぶい橙	N1.5/O 黒	白色粒子・赤褐色 粒子・微、黒色粒 子・灰色粒子 少	良好	ロクロナデ 摩耗 回転糸切り 高台貼付けのち ナデ	ミガキ 摩耗 黒色処理	—	
199-10	PL88	1670	2	SB87	埋土	SB87 No.1.No.4.No.5 SB87 SK274	古代	灰軸 陶器	口径部 ~高台部	60%	16.4	8.5	6.4	(268.6)	—	5Y7/1 灰白 釉 5Y6/2 オリーブ灰	2.5Y7/1 灰白 釉 5Y8/1 灰白	白色粒子・径 4mm 微	良好	ロクロナデ 回転へら切りのち ナデ 高台貼付けのち ナデ 釉	ロクロナデ	—	
199-11	PL88	1667	2	SB87	埋土	SB87 2D 横	古代	灰軸 陶器	胴部 ~高台部	10%	—	<7.8>	—	(167.5)	—	2.5Y7/2 灰白 釉 5Y8/1 灰白	2.5Y7/2 灰白 釉 5Y8/1 灰白	白色粒子・灰色 粒子・径2~5mm 微	良好	回転へら切りのち ナデ 高台貼付けのち ナデ 回転へら切りのち ナデ 回転へら切りのち ナデ 高台貼付けのち ナデ	ロクロナデ	—	
199-12	PL88	1674	2	SB87	埋土	SB87	古代	土師 四耳壺	肩	10%	—	—	(4.4)	35.9	—	N5/O 灰	N4/O 灰	赤褐色粒子・黒色 粒子・黄白色粒 子 少	良好	ロクロナデのち 平行タタキ 隆帯貼付けのち ロクロナデのち 耳部貼付け ロクロナデのち 平行タタキ	ロクロナデ	—	
199-13	PL88	1677	2	SB87	埋土	SB87 TR	古代	土師	口径部 ~胴部	10%	<15.8>	—	(4.2)	12.9	—	7.5YR5/4 にぶい濁	10YR4/2 灰黄褐	灰色粒子・黒色粒 子・微、灰色粒子 少、石英・雲母微	良好	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
199-14	PL88	1676	2	SB87	1層	SB87 No.9 SB87 SK266 1層	古代	土師	口径部 ~胴部	10%	<26.0>	—	(8.6)	(83.4)	—	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	白色粒子・黄白色 粒子・赤褐色粒 子・径3~ 4mm 微	良好	ロクロナデ	ロクロナデ 摩耗 剥離	—	
199-15	PL88	1684	2	SB87	1層 2層 3層	SB87、SB87 TR SK266 No.2.No.3.No.8.No.9 SK266 1層 2層 3層 SK266、SK266 TR SK274 No.4 2D表	古代	土師	口径部 ~胴部	40%	<25.7>	—	(28.0)	(2820.0)	<25.6>	10YR5/4 にぶい黄褐	10YR5/4 にぶい黄褐	白色粒子・赤褐色 粒子・径2~6mm 微	良好	ロクロナデ 輪轆痕 平行タタキ	ロクロナデ あて具痕	—	
—	PL88	1685	2	SB87	埋土	SB87	古代	緑釉 陶器	体部	—	—	—	—	6.9	—	7.5Y5/2 灰オリーブ	7.5Y5/3 灰オリーブ	白色粒子 微	良好	軸	軸	—	写真のみ
200-1	PL88	2297	2	SB89	埋土	SB89 2D 横	古代	土師	口径部 ~底部	90%	12.5	5.0	3.3	112.8	—	10YR6/4 にぶい黄橙	7.5YR7/4 にぶい橙	赤褐色粒子・白色 粒子・黒色粒子・ 雲母・石英・径2 mm 微	良好	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—	内面スス付 着
200-2	PL88	2296	2	SB89	埋土	SB89 TR	古代	須恵	胴部	10%	—	—	—	143.5	—	7.5Y6/2 黒	7.5Y6/2 灰オリーブ	白色粒子 微	良好	タタキ 一部摩耗剥離	当て具痕 剥離	—	
201-1	PL88	1719	2	SB92	埋土	SB92	古代	土師	口径部 ~底部	50%	<12.6>	6.6	4.5	80.3	—	7.5YR6/6 橙	N1.5/O 黒	黄褐色粒子・灰色 粒子・褐色粒子・ 黒色粒子 微、石 英 多	良好	ロクロナデ 摩耗 ケズリ 回転糸切りのち ナデ	ミガキ 摩耗 黒色処理	—	
201-2	PL88	1720	2	SB92	埋土	SB92	古代	土師	口径部 ~底部	10%	<13.0>	<6.0>	(4.5)	19.0	—	7.5YR6/4 にぶい橙	N1.5/O 黒	白色粒子・灰色粒 子・黒色粒子・赤 褐色粒子 微	良好	ロクロナデ 回転糸切りのケ ズリ	ミガキ 黒色処理	—	外面スス付 着
201-3	PL88	1723	2	SB92	埋土	SB92 No.7	古代	須恵	体部 ~口径部	10%	<16.0>	—	(2.9)	31.0	—	10Y4/1 灰	10Y4/1 灰	白色粒子・黒色粒 子・径2~3mm 微	良好	回転へら切りのち ナデ ロクロナデ	ロクロナデ	—	
201-4	PL88	1721	2	SB92	埋土	SB92	古代	須恵	口径部 ~体部	30%	13.2	—	(4.1)	(63.5)	—	2.5Y6/1 黄灰	2.5Y6/1 黄灰	黒色粒子・白色粒 子・褐色粒子・径 2~5mm 微	良好	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
201-5	PL88	1722	2	SB92	埋土	SB92 No.6	古代	須恵	体部 ~高台部	30%	—	8.5	(3.4)	145.3	—	N5/O 灰	N5/O 灰	白色粒子・灰色粒 子・径2~3mm 微	良好	ロクロナデ 回転へら切りのち 高台貼付けのち ロクロナデ 自然釉	ロクロナデ	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考	
			地区	遺構・地点	層位・位置 (附属遺構・地点名は省略)						注記記号 (附属遺構・地点名は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm							重量 g
201-6	PL88	1718	2	SB92	埋土	SB92 No.3.No.8,TR SB92	古代	土師	腹 ~胴部	40%	<21.0>	—	(29.5)	(1310.0)	<23.3>	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 白色粒子・灰色 粒子・径2~5mm 微	良	ロクロナデ ロクロナデのち ケズリのものナデ	—	外面付着物
200-1	PL88	1694	2	SB94	埋土	SB94	古代	土師	底 ~胴部	50%	<13.2>	4.8	3.9	(99.5)	—	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 赤褐色粒子・黒色 粒子・径2mm 微 雲母 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	—	外面付着物 (スス?)
200-2	PL88	1692	2	SB94	埋土	SB94 No.2	古代	土師	底 ~胴部	40%	<13.6>	4.8	(3.8)	79.9	—	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 赤褐色粒子・黒色 粒子・雲母 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	—	—
200-3	PL88	1695	2	SB94	埋土	SB94	古代	土師	底 ~胴部	20%	<13.7>	<5.0>	4.4	(51.6)	—	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 白色粒子 少 白色粒子・灰色粒 子・径2mm 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	—	—
200-4	PL88	1691	2	SB94	埋土	SB94 No.1	古代	土師	体部 ~高台部	10%	—	5.9	(1.9)	39.6	—	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 白色粒子・黒色粒 子・赤褐色粒子・ 雲母 微	良	ロクロナデ 回転糸切り 高台貼付けのち ナデ	—	—
200-5	PL88	1693	2	SB94	埋土	SB94 No.3.No.4 SB94	古代	土師	腹 ~胴部	20%	<16.5>	—	(16.0)	(222.7)	<17.8>	7.5YR4/6 褐	7.5YR4/6 白色粒子・灰色粒 子・赤褐色粒子 微	良	ロクロナデ ヘラケズリ	—	—
202-1	PL88	1733	2	SB95	埋土	SB95	古代	須恵	底 ~胴部	40%	<13.3>	<6.2>	3.3	59.4	—	N4/0 灰	N4/0 白色粒子・褐色粒 子 微・径2mm 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	—	—
202-2	PL88	1734	2	SB95	埋土	SB95	古代	須恵	底 ~胴部	20%	<13.8>	<7.9>	3.2	33.8	—	7.5YR4/2 灰褐	7.5YR4/2 褐色粒子・径2mm 微	良	ロクロナデ ナデ	—	—
202-3	PL88	1735	2	SB95	埋土	SB95No.1	古代	須恵	底 ~胴部	20%	<14.2>	<7.8>	3.9	45.1	—	10YR6/2 灰黄褐	10YR6/2 褐色粒子・雲母 径2mm 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	—	—
202-4	PL88	1726	2	SB95	埋土	SB95P2,TR	古代	土師	底 ~胴部	40%	<13.3>	<5.8>	3.8	(92.6)	—	7.5YR2/1 黒	7.5YR2/1 赤褐色粒子・石炭 径2mm 微	良	ロクロナデ ケズリ 摩耗 黒色処理	—	—
202-5	PL88	1736	2	SB95	埋土 床	SB95SB95床下	古代	土師	底 ~胴部	30%	<15.8>	6.7	5.6	(139.8)	—	10YR4/2 灰黄褐	10YR4/2 褐色粒子 微、石 英 少	良	ロクロナデ ケズリ 摩耗 黒色処理	—	—
202-6	PL88	1738	2	SB95	埋土	SB95	古代	須恵	蓋 ~口縁部	10%	<16.6>	—	(1.8)	13.4	—	7.5YR5/3 にぶい褐	7.5YR5/3 白色粒子・径2m m 微	良	回転アズリ ロクロナデ	—	—
202-7	PL88	1740	2	SB95	埋土	SB95	古代	須恵	腹	—	—	—	—	18.9	—	N5/0 灰	N5/0 白色粒子・径2mm 微	良	当て具痕	—	—
202-8	PL88	1739	2	SB95	埋土	SB95	古代	須恵	腹	—	—	—	—	58.7	—	N5/0 灰	N5/0 石英 微、白色粒 子・径2~4mm 少	良	当て具痕	—	—
202-9	PL88	1737	2	SB95	埋土	SB95TR	古代	須恵	腹 ~頸部	—	—	—	—	121.7	—	N4/0 灰	N4/0 径2mm 微、 白色粒子 少	良	ロクロナデ タタキ	—	—
203-10	PL88	2376	2	SB95	埋土	SB95No.2	古代	須恵	四耳壺 胴部	10%	—	—	(12.1)	215.9	(31.0)	7.5YR4/1 褐灰	7.5YR4/1 白色粒子・赤褐 色粒子・径2mm 微	良	ハケ? ナデ タタキメ 貼り付け痕 ナデ 指押さえ	—	—
203-11	PL88	1731	2	SB95	埋土	SB95	古代	土師	腹 ~胴部	10%	<11.3>	—	(4.7)	19.4	—	10YR4/2 にぶい橙	10YR4/2 赤褐色粒子・白色 粒子・石英・雲 母 微	良	ロクロナデ ハケ? ナデ タタキメ 貼り付け痕 ナデ 指押さえ	—	—
203-12	PL88	1732	2	SB95	埋土	SB95P2	古代	土師	腹 ~胴部	10%	<11.4>	—	(4.5)	(12.9)	—	10YR6/2 灰黄褐	10YR6/2 白色粒子・石英 微	良	ロクロナデ 回転糸切り ハケ? 剥離	—	—
203-13	PL88	1728	2	SB95	埋土	SB95TR,2D 検	古代	土師	腹 ~胴部	10%	<16.4>	—	(5.5)	(61.1)	—	5YR6/4 にぶい橙	5YR6/4 赤褐色粒子・径 3mm 微、白 色粒子 少	良	ハケナデ 押さえる連?のち ナデ 剥離	—	—
203-14	PL88	1730	2	SB95	埋土	SB95	古代	土師	腹 ~胴部	10%	<25.2>	—	(11.5)	86.1	—	7.5YR6/3 にぶい褐	7.5YR6/3 赤褐色粒子・径2 ~3mm 微、白 色粒子・石英 少	良	ナデ カキメ	—	—
203-15	PL88	1729	2	SB95	埋土	SB95TR,SB95	古代	土師	腹 ~胴部	10%	<24.6>	—	(18.6)	(152.9)	<26.1>	5YR5/6 明赤褐	5YR5/6 白色粒子・黒色粒 子・石英・雲母 微、 赤褐色粒子・径2 ~5mm 微 少	良	ナデ 摩耗	—	—

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考	
			地区	遺構・地点	層位・位置 (備注遺構・地点名は省略)	注記記号 (備注遺構・地点名は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g									胴部 最大径 cm
203-16	PL88	2377	2	SB95	埋土	SB95No.3	古代	土師	紡錘車	-	100%	長さ 7.95	幅 7.6	厚さ 2.55	168.5	-	10YR6/3 にぶい黄橙	-	赤褐色粒子・石英・ 径4mm礫 微、白 色粒子・雲母 少	良	ナデ 回転ナデ	(孔の中)ケズリ	-	
203-1	PL89	1741	2	SB96	埋土	SB96	古代	須恵	囊	胴部 ~底部	10%	-	<17.0>	(4.2)	2.5Y4/1 黄灰	111.6	2.5Y6/1 黄灰	-	黒色粒子・石英・ 径2mm礫 微、 白色粒子 少	良	平行タタキ 剥離 工具によるナデ? ナデ	自然釉 当て具痕	-	
204-1	PL89	2382	2	SB100	埋土	SB100	古代	土師	坏	口縁部 ~底部	40%	10.8	4.9	3.0	51.0	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	-	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・径2 mm礫 微、雲母 少	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ	-	
204-2	PL89	2381	2	SB100	埋土	SB100	古代	土師	坏	口縁部 ~底部	60%	<11.0>	4.1	3.3	(58.2)	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	-	白色粒子・石英・ 雲母 少、赤褐色 粒子 少	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ	-	
204-3	PL89	2380	2	SB100	埋土	SB100SB100TR	古代	土師	坏	口縁部 ~底部	30%	<11.1>	4.3	2.9	(49.2)	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	-	黒色粒子・雲母 微、石英・径2~ 4mm礫 少、白色 粒子 多	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ	-	
204-4	PL89	2379	2	SB100	埋土	SB100SB100TR	古代	土師	坏	口縁部 ~底部	30%	<11.8>	4.1	3.0	(47.5)	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	-	黒色粒子・石英・ 雲母・径2mm 礫 微、白色粒子 少 赤褐色粒子 多	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ	-	
204-5	PL89	2383	2	SB100	埋土	SB100	古代	土師	坏	口縁部 ~底部	30%	<11.4>	<6.0>	2.9	52.2	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	-	黒色粒子・径2~ 3mm礫 微、赤 褐色粒子・石英・ 雲母 少、白色粒 子 多	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	-	
204-6	PL89	2378	2	SB100	埋土	SB100TR,2区TR	古代	土師	坏	口縁部 ~底部	40%	<13.5>	5.4	3.9	(101.8)	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	-	白色粒子・石英・ 雲母 微、赤褐 色粒子・径3mm 礫 少	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ	-	
204-7	PL89	2385	2	SB100	埋土	SB100TR	古代	土師	鉢?	体部 ~底部	20%	-	6.0	(2.5)	79.5	5YR6/6 橙	2.5Y4/1 黄灰	-	白色粒子・赤褐色 粒子・雲母・径2 ~4mm礫 微、 石英 少	良	ロクロナデ 回転糸切り	ミガキ	-	
204-8	PL89	2387	2	SB100	埋土	SB100TR	古代	緑釉 陶器	碗	口縁部	5%	<18.2>	-	(3.1)	7.9	7.5Y4/3 暗オリーブ	7.5Y4/3 暗オリーブ	-	-	良	緑釉	緑釉	-	
204-9	PL89	2384	2	SB100	埋土	SB100	古代	灰釉 陶器	碗?	体部 ~高右部	30%	-	7.2	(2.3)	70.4	2.5Y6/2 灰黄	2.5Y7/1 灰白	-	白色粒子・黒色粒 子 微	良	ロクロナデ 高台貼り付けナ デ 回転糸切り	ロクロナデ スリ面調整不明	-	朱墨 転用硯
204-10	PL89	2386	2	SB100	埋土	SB100	古代	須恵	皿	胴部 ~底部	10% 以下	-	-	(8.1)	287.1	2.5Y6/2 灰黄	M4/0 灰	-	白色粒子・石英・ 径2~4mm礫 微	良	ロクロナデ 平行タタキのち ナデ 自然釉	ロクロナデ ナデ	-	
204-1	PL89	2389	2	SB101	埋土	SB101No.14	古代	土師	坏	口縁部 ~底部	70%	10.3	4.0	2.6	63.5	10YR6/3 にぶい黄橙	7.5YR6/4 にぶい橙	-	白色粒子・赤褐色 粒子・径2~3m mm礫 微、雲母 少	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	-	
204-2	PL89	2390	2	SB101	埋土	SB101No.6	古代	土師	坏	口縁部 ~底部	100%	10.4	4.6	3.3	93.8	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	-	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・雲母・ 径2mm礫 微 石英・径3~6m 礫 少、白色粒 子・赤褐色粒子・ 雲母 多	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	-	
204-3	PL89	2388	2	SB101	埋土	SB101No.2,SB100	古代	土師	坏	口縁部 ~底部	60%	12.2	4.9	3.8	(82.8)	7.5YR7/4 にぶい橙	7.5YR7/4 にぶい橙	-	白色粒子・赤褐色 粒子・径2~3m mm礫 少、白色粒 子・赤褐色粒子・ 雲母 多	やや 不良	回転ナデ	回転ナデ	-	
205-1	PL89	2399	2	SB102	埋土	2区III U19 No.9	古代	須恵	坏	口縁部 ~底部	60%	<11.7>	5.7	4.1	101.1	2.5Y7/1 灰白	2.5Y2/1 黒	-	白色粒子 微、石 英 多	やや 不良	ロクロナデ	ロクロナデ	-	外面露書
205-2	PL89	2409	2	SB102	埋土	SB102	古代	須恵	坏	口縁部 ~底部	20%	<12.7>	<5.6>	3.7	(24.6)	10YR5/1 褐色	10YR5/1 褐色	-	白色粒子 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	-	
205-3	PL89	2411	2	SB102	埋土	SB102	古代	灰釉 陶器	皿	口縁部 ~高右部	40%	<13.2>	<6.6>	2.45	63.6	5Y7/1 灰白	5Y7/2 灰白	-	黒色粒子 微	良	ロクロナデ 高台貼り付けナ デ	ロクロナデ	-	
205-4	PL89	2397	2	SB102	埋土	2区III U18No.4	古代	灰釉 陶器	碗?	胴部 ~高右部	10%	-	8.4	(2.5)	117.8	10YR7/1 灰白	10YR7/1 灰白	-	白色粒子 微	良	回転ナデ 高台貼り付けナ デ 回転糸切り	ロクロナデ	-	高台内付着 物(スス?)、 内面重ねの 痕跡

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g									
205-5	PL89	2391	2	SB102	埋土	SB102No.2	古代	土師	口縁部 ~底部	100%	11.2	5.3	3.1	79.0	—	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	白色粒子・雲母・ 径7mm礫・黄 白色粒子・石英・ 赤褐色粒子多 少	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—		
205-6	PL89	2392	2	SB102	埋土	SB102No.3	古代	土師	口縁部 ~底部	100%	11.5	4.4	3.7	93.1	—	7.5YR7/4 にぶい橙	7.5YR7/4 にぶい橙	白色粒子・黒色 粒子・石英・雲 母 微・赤褐色粒 子・径2~4mm 礫 少	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—		
205-7	PL89	2407	2	SB102	埋土	SB102TRS.B102	古代	土師	口縁部 ~底部	40%	<11.7>	4.6	3.8	(59.6)	—	10YR5/2 灰黄褐	10YR4/2 灰黄褐	白色粒子・赤褐色 粒子・黒色粒子・ 石英・径2~4m m礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—		
205-8	PL89	2406	2	SB102	埋土	SB102TR	古代	土師	口縁部 ~底部	20%	<11.8>	<4.8>	3.1	(42.1)	—	10YR6/3 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	赤褐色粒子・黒色 粒子・石英・雲母・ 径3mm礫 微・ 白色粒子 少	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—		
205-9	PL89	2394	2	SB102	埋土	2区Ⅲ U18No.1	古代	土師	口縁部 ~底部	30%	<11.8>	4.8	3.6	(66.3)	—	5YR5/6 明赤褐	5YR5/6 明赤褐	白色粒子・赤褐色 粒子・赤褐色粒子・ 径2~5mm礫 少	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—		
205-10	PL89	2396	2	SB102	埋土	SB102.2区Ⅲ U18No.3	古代	土師	口縁部 ~底部	90%	11.9	5.3	3.8	(109.1)	—	5YR5/6 明赤褐	5YR5/6 明赤褐	白色粒子・石英・ 雲母 微・赤褐色 粒子・径2~4m m礫 少	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—		
205-11	PL89	2395	2	SB102	埋土	SB102.2区Ⅲ U18No.2	古代	土師	口縁部 ~底部	40%	<11.8>	5.2	3.3	59.3	—	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/4 にぶい橙	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・雲母・ 径2mm礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—		
205-12	PL89	2408	2	SB102	埋土	SB102中	古代	土師	口縁部 ~底部	30%	<11.9>	<5.0>	3.1	(46.2)	—	10YR6/3 にぶい黄橙	10YR6/3 にぶい黄橙	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・径2 mm礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—		
205-13	PL89	2414	2	SB102	埋土	SB102.SK285	古代	土師	口縁部 ~底部	30%	<11.9>	4.9	4.1	(58.5)	—	10YR4/1 褐灰	10YR4/1 褐灰	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・径2 ~3mm礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—		
205-14	PL89	2593	2	SB102	埋土	SB102No.4	古代	土師	口縁部 ~底部	90%	12.3	4.9	3.6	(101.2)	—	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	白色粒子・黒色 粒子・石英・雲 母・径2~3mm礫 微・赤褐色粒子 少	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—		
205-15	PL89	2400	2	SB102	埋土	2区Ⅲ U19No.11.SK295	古代	土師	口縁部 ~底部	20%	<12.3>	<5.0>	3.7	(27.4)	—	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	赤褐色粒子・石英・ 雲母・径2~3m m礫 微・白色粒 子 少	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—		
205-16	PL89	2405	2	SB102	埋土	SB102	古代	土師	口縁部 ~底部	30%	<13.6>	<6.4>	4.4	55.7	—	10YR7/4 にぶい黄橙	10YR2/1 黒	白色粒子・赤褐色 粒子・黒色粒子・ 石英・雲母 微	良	ミガキ 摩耗 黒色処理	ミガキ 摩耗 黒色処理	—		
205-17	PL89	2402	2	SB102	埋土	2区Ⅲ U19No.13, 2区Ⅲ U19中	古代	土師	口縁部 ~高台部	30%	<13.8>	7.8	5.6	(97.2)	—	7.5YR7/4 にぶい橙	N2/O 黒	白色粒子・雲母・ 径2mm礫 微・ 白色粒子・石英 少	良	高台貼り付けナ デ 回転糸切り ナデ	高台貼り付けナ デ 回転糸切り ナデ	—		
205-18	PL89	2398	2	SB102	埋土	SB102TRS.SK295, SK297.2区Ⅲ U19No.7	古代	土師	口縁部 ~胴部	40%	12.3	—	(7.7)	(126.8)	—	7.5YR6/3 にぶい褐	7.5YR6/3 にぶい褐	雲母・径2mm 礫 微・赤褐色粒 子・石英 少	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—		
205-19	PL89	2413	2	SB102	埋土	SB102TR.中	古代	須恵	翼部 ~胴部	10%	—	—	(8.9)	(140.9)	—	N5/O 灰	2.5Y4/1 黄灰	白色粒子 微・赤 褐色粒子 少	良	自然軸 タタキメ ナデ タタキ (格子?)	ナデ 当て具痕	—		
205-20	PL89	2412	2	SB102	埋土	SB102	古代	土師	胴部	10%	—	—	(8.2)	91.6	持ち手 <30.3>	10YR4/1 褐灰	10YR3/1 黒褐	白色粒子・雲母 微・黄白色粒子・ 赤褐色粒子・石英・ 径1.5mm礫物・径7 mm礫 少	良	ナデ ハケ	ナデ	—		
206-1	PL89	2481	2	SB104	埋土	SB104TRS.B104	古代	須恵	口縁部 ~底部	40%	<13.0>	<6.9>	4.2	27.3	—	N7/O 灰白	N7/O 灰白	白色粒子・黒色粒 子・石英・径2mm 礫 少	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—		

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考		
			地区	遺構・地点	層位・位置 (所属遺構・地点名 は省略)						注記番号 (所属遺構・地点名 は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm							重量 g	胴部 最大径 cm
206-2	PL89	2479	2	SB104	埋土	古代	土師	環	口縁部 ~胴部	20%	<10.9>	—	(3.3)	19.9	—	5YR5/6 明赤褐	10YR6/3 赤褐色に ぶい	赤褐色 粒子・雲母・径2 mm礫 微	良好	ロクロナデ	ロクロナデ	—
206-3	PL89	2473	2	SB104	埋土	古代	土師	環	口縁部 ~底部	90%	13.0	4.8	3.4	(118.1)	—	7.5YR6/4 赤褐色に ぶい	7.5YR2/1 黒	赤褐色 粒子 少、雲 母多	良好	ロクロナデ 回転系切り	ミガキ 摩耗 黒色処理	—
206-4	PL89	2480	2	SB104	埋土	古代	土師	環	口縁部 ~底部	90%	12.8	4.8	3.6	(121.2)	—	10YR5/3 赤褐色に ぶい	10YR2/1 黒	赤褐色粒子・石 英・雲母・径2m m礫 微、白色 粒子 少	良好	ロクロナデ 摩耗 回転系切り	ミガキ 黒色処理	—
206-5	PL89	2476	2	SB104	埋土	古代	土師	環	口縁部 ~底部	30%	<13.0>	—	(4.0)	40.4	—	10YR2/1 黒	N2/0 黒	赤褐色粒子 微、 石英・径2~4m m礫 少、白色粒 子多	良好	ミガキ ナデ 黒色処理	ミガキ 黒色処理	—
206-6	PL89	2477	2	SB104	埋土	古代	土師	環	口縁部 ~底部	30%	<13.9>	<5.0>	5.0	58.0	—	7.5YR6/4 赤褐色に ぶい	7.5YR6/4 赤褐色に ぶい	白色粒子 微、 赤褐色粒子・石 英・径2~4mm 礫 少	良好	ロクロナデ	ミガキ 摩耗 黒色処理	—
206-7	PL89	2475	2	SB104	埋土	古代	土師	環	口縁部 ~底部	100%	14.6	5.9	4.8	217.2	—	10YR6/2 灰黄褐	N2/0 黒	径3mm礫 少 白色粒子 微、 白色粒子・赤褐色 粒子・石英多	良好	ロクロナデ 摩耗 回転系切りのち ナデ	ミガキ 摩耗 黒色処理	—
206-8	PL89	2478	2	SB104	埋土	古代	土師	鉢	口縁部 ~底部	20%	<17.7>	<7.8>	6.4	(132.8)	—	5YR5/4 赤褐色に ぶい	5Y2/1 黒	雲母・径3mm 礫 微、白色粒子 少	良好	ロクロナデ 摩耗 黒色処理	ミガキ 摩耗 黒色処理	—
206-9	PL89	2472	2	SB104	埋土	古代	土師	碗	口縁部 ~高台部	30%	—	6.9	(1.6)	91.5	—	2.5Y7/1 灰白	2.5Y7/1 灰白	白色粒子・石英 微	良好	高台盛り付けの 回転ナデ	回転ナデ すり	—
206-10	PL89	2474	2	SB104	埋土	古代	土師	囊	口縁部 ~胴部	10%	<21.8>	—	(9.9)	92.1	—	7.5YR5/4 赤褐色に ぶい	7.5YR6/4 赤褐色に ぶい	赤褐色・赤褐色 粒子・石英・雲母・ 径2mm礫 微	良好	ロクロナデ	ロクロナデ ハケ	—
209-1	PL89	2523	2	SB107	埋土	古代	土師	環	口縁部 ~胴部	20%	<14.3>	—	(3.6)	24.3	—	10YR5/4 赤褐色に ぶい	N1.5/0 黒	石英・雲母 微、 白色粒子 少	良好	ロクロナデ	ロクロナデのち まだらにミガキ 黒色処理	—
209-2	PL89	2522	2	SB107	埋土	古代	土師	碗	口縁部 ~高台部	30%	<15.6>	<6.9>	5.3	(76.1)	—	2.5YR6/2 灰黄	5Y6/1 灰	—	良好	高台盛り付けの 回転ナデ	回転ナデ	—
209-3	PL89	2524	2	SB107	埋土	古代	土師	囊	口縁部 ~底部	90%	12.6	5.9	10.3	315.1	12.5	7.5YR6/4 赤褐色に ぶい	7.5YR5/4 赤褐色に ぶい	黒色粒子・石英 微、赤褐色粒子・ 雲母 少、白色粒 子・径2mm礫多	良好	ロクロナデ	ロクロナデ	—
210-1	PL89	2526	2	SB110	埋土	古代	土師	環	口縁部 ~底部	40%	<4.8>	<4.8>	(1.8)	47.5	—	10YR5/3 赤褐色に ぶい	10YR4/1 褐灰	雲母・径2mm礫 多、白色粒子 少	良好	ロクロナデ	ロクロナデ	—
210-2	PL89	2527	2	SB110	埋土	古代	土師	環	口縁部 ~底部	50%	<11.7>	4.4	3.2	73.1	—	7.5YR6/4 赤褐色に ぶい	7.5YR6/4 赤褐色に ぶい	石英・雲母 微、 赤褐色粒子 少、 白色粒子 多	良好	回転ナデ	回転ナデ	—
210-3	PL89	2525	2	SB110	埋土	古代	土師	環	口縁部 ~底部	30%	—	4.6	(1.5)	39.9	—	10YR4/1 褐灰	N2/0 黒	白色粒子・赤褐色 粒子 少、石英・ 雲母 少	良好	ロクロナデ	ロクロナデ	—
210-4	PL89	2528	2	SB110	埋土	古代	土師	碗	口縁部 ~底部	20%	<18.6>	—	(4.3)	41.5	—	2.5Y7/1 灰白	2.5Y7/1 灰白	黒色粒子・石英・ 径2~4mm礫 微、白色粒子 少	良好	ロクロナデ ケズリ 軸	ロクロナデ	—
210-5	PL89	2529	2	SB110	埋土	古代	土師	皿	口縁部 ~高台部	20%	<12.8>	<6.7>	3.1	(22.4)	—	5Y4/2 灰オリーブ	7.5Y4/2 灰オリーブ	白色粒子 微	良好	ロクロナデ	ロクロナデ	—
210-6	PL89	2530	2	SB110	2層	古代	土師	碗	口縁部 ~高台部	20%	<15.0>	<7.6>	6.1	(37.4)	—	7.5Y5/2 赤褐色に ぶい	7.5Y5/2 赤褐色に ぶい	白色粒子 微	良好	高台 盛り付けのちナ デ	ロクロナデ	—
211-1	PL89	2535	2	SB111	埋土	古代	土師	環	口縁部 ~底部	40%	—	5.2	(2.5)	(52.6)	—	10YR8/1 灰白	10YR7/1 灰白	径2mm礫 微、 赤褐色粒子・石 英 少	良好	ロクロナデ 摩耗	ロクロナデ	—
211-2	PL89	2534	2	SB111	埋土	古代	土師	環	口縁部 ~底部	40%	12.6	6.4	3.4	(72.3)	—	10YR6/2 灰黄褐	10YR6/1 褐灰	黒色粒子・石英 ・径3mm 礫 微	良好	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				内面色調	外面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考	
			地区	遺構・地点	層位・位置 (備施遺構・地点名は省略)						注記記号 (備施遺構・地点名は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm									重量 g
211-3	PL89	2532	2	SB111	埋土	SB105	古代	土師	口縁部 ~底部	30%	<13.3>	6.0	4.9	(93.6)	—	7.5YR6/4 にぶい燻	N2/O 黒	白色粒子・石英・ 雲母 微、赤褐色 粒子・径3~4mm m濃 少	良	回転ナデ ケズリ 回転糸切り	ミガキ 黒色処理	—	
211-4	PL89	2536	2	SB111	埋土	SB105	古代	土師	底部	10%	—	5.2	(1.3)	46.5	—	7.5YR5/4 にぶい燻	7.5YR5/4 にぶい燻	白色粒子・径3m m濃 微、赤褐色 粒子・石英 少	良	回転ナデ ケズリ 回転糸切り	—	—	
211-5	PL90	2531	2	SB111	埋土	SB111No.3	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<22.7>	—	(10.3)	113.2	—	10YR7/4 にぶい黄燻	10YR7/3	白色粒子・雲母・ 径2~6mm濃 石英 少	良	—	—	—	
211-6	PL90	2538	2	SB111	埋土	SB111TRS	SB111	古代	須恵	四耳壺	10%	—	(7.2)	82.9	—	7.5YR4/2 灰燻	7.5YR5/4 にぶい燻	白色粒子・赤褐色 粒子 微	良	平行なタキ 耳貼り付	当て具痕	—	
211-7	PL90	2537	2	SB111	埋土	SB111	古代	須恵	胴部	—	—	—	—	207.1	—	10YR5/2 灰黄燻	2.5Y6/1 黄灰	白色粒子・黒色粒 子・石英・径2~ 4mm濃 微	良	格子状タタキ 痕	同心円状当て具 痕	—	
—	PL90	2533	2	SB111	埋土	SB105	古代	須恵	体部	5%	—	—	—	4.4	—	10YR6/2 燻灰	10YR6/1 燻灰	—	良	回転ナデ	回転糸切り	写真のみ	
169-1	PL90	2361	2	SB112	埋土	SB20No.12	SB20	古代	須恵	口縁部 ~底部	70%	14.7	10.3	4.4	190.3	—	2.5Y5/1 黄灰	10YR5/2 灰黄燻	石英 微、赤褐色 粒子・径2~4mm 濃 少、白色粒 子 多	良	回転ナデ	回転糸切り	—
169-2	PL90	2370	2	SB112	埋土	SB20TR	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<13.2>	—	(8.0)	(78.6)	—	7.5YR6/4 にぶい燻	10YR8/3 浅黄燻	白色粒子・黒色粒 子・雲母 微、赤 褐色粒子・径2mm 濃 少	良	ナデ ナデ ナデ ナデ	ナデ ナデ ナデ ナデ	—	
169-3	PL90	2371	2	SB112	埋土 床下	SB20No.13・No.16, SB20床下	古代	土師	鉢?	20%	<13.8>	—	(10.9)	(251.5)	<14.5>	5YR5/6 明赤燻	5YR2/1 黒燻	石英・雲母 微、 赤褐色粒子・少、赤 褐色粒子・径2~ 5mm濃 多	やや 不良	ナデのち所々ミ ガキ 摩耗	ナデのち縦な ミガキ 黒色処理	—	
212-1	PL90	593	3	SB3005	埋土	SB3005 杯 No.14, 杯 SB3005	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<23.8>	—	(7.7)	(50.2)	—	7.5YR6/4 にぶい燻	7.5YR4/4 燻	白色粒子・赤褐色 粒子・少、石英 多、径3mm 濃 微	良	回転ナデ 指頭庄痕 ケズリ	回転ナデ	—	
212-2	PL90	592	3	SB3005	埋土	SB3005 杯 No.10, 杯 No.18, 杯 No.20, 杯 No.23 SB3005	古代	土師	口縁部 ~胴部	20%	<23.6>	—	(25.8)	(475.1)	<23.9>	7.5YR4/4 燻	7.5YR4/4 燻	白色粒子・黄白色 粒子・少、赤褐色 粒子・多、石英 多、雲母・径2~ 3mm濃 少	良	回転ナデ ナデ ハケ ナデ	回転ナデ ナデ ハケ ナデ	—	
213-1	PL90	707	3	SB3023	埋土	SB3023	古代	須恵	口縁部 ~底部	40%	<12.6>	6.4	3.6	(109.0)	—	2.5Y5/1 黄灰	2.5Y6/1 黄灰	白色粒子・黄白色 粒子・赤褐色粒 子 微	良	回転ナデ	回転糸切り	—	
213-2	PL90	706	3	SB3023	埋土	SB3023	古代	須恵	口縁部 ~底部	30%	<13.0>	<6.3>	3.3	(83.4)	—	2.5Y6/1 黄灰	2.5Y6/1 黄灰	白色粒子 少、黄 白色粒子 微	良	回転ナデ	回転糸切り	—	
213-3	PL90	705	3	SB3023	埋土	SB3023	古代	須恵	口縁部 ~底部	40%	<13.9>	6.5	4.0	(114.9)	—	2.5Y6/1 黄灰	2.5Y6/1 黄灰	白色粒子・黄白色 粒子・黒色粒 子 微	良	回転ナデ	回転糸切り	内面火ダス キ	
213-4	PL90	708	3	SB3023	埋土	SB3023	古代	須恵	ツマミ部 ~口縁部	20%	<13.0>	—	2.5	(58.4)	—	N3/O 暗灰	5Y4/1 灰	白色粒子 少、黄 白色粒子 多、径 2~6mm濃 少	良	ツマミ貼付ナ デ 回転ケズリ 回転ナデ	回転ナデ	—	
213-5	PL90	709	3	SB3023	埋土	SB3023	古代	土師	口縁部 ~胴部 ~底部	30%	<11.4>	6.9	(3.9) (5.7)	(166.5)	<12.2>	5YR5/4 にぶい燻	5YR5/4 にぶい燻	白色粒子・黄白色 粒子・赤褐色粒 子・石英 多	良	回転ナデ	回転糸切り	—	
214-1	PL90	712	3	SB3024	埋土	SB3024 No.6	古代	須恵	口縁部 ~底部	100%	11.8	5.9	3.6	108.5	—	2.5Y5/1 黄灰	2.5Y5/1 黄灰	白色粒子・黄白色 粒子・石英・雲母・ 径2~3mm濃 微	良	回転ナデ	回転糸切り	—	
214-2	PL90	714	3	SB3024	埋土	SB3024 北東・北西 SB3024	古代	須恵	口縁部 ~底部	70%	12.3	5.4	3.6	(110.9)	—	2.5Y6/1 黄灰	2.5Y6/1 黄灰	黄色粒子・石 英 微	良	回転ナデ	回転糸切り	—	
214-3	PL90	716	3	SB3024	埋土	SB3024 P3 検 SB3024 北西	古代	須恵	口縁部 ~底部	40%	<12.2>	6.0	(3.6)	71.2	—	2.5Y5/1 黄灰	2.5Y5/1 黄灰	黄色粒子 少、 石英 微、径2~ 3mm濃 少	良	回転ナデ	回転糸切り	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g								
214-4	PL90	711	3	SB3024	埋土	SB3024 No.5	古代	須恵	口縁部 ~底部	100%	12.4	6.5	4.0	136.0	—	2.5Y7/1 灰白	2.5Y7/1 灰白	白色粒子・石英・ 径2~3mm 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	
214-5	PL90	713	3	SB3024	埋土	SB3024 No.8	古代	須恵	口縁部 ~底部	90%	12.7	5.9	3.7	(127.6)	—	10YR6/2 灰黄褐	10YR6/2 灰黄褐	黄白粒子・石英・ 径2~3mm 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	
214-6	PL90	710	3	SB3024	埋土	SB3024 No.7	古代	須恵	口縁部 ~底部	100%	12.8	5.6	4.1	107.5	—	2.5Y6/2 灰黄	2.5Y7/1 灰白	白色粒子・赤褐色 径2~3mm 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	
214-7	PL90	715	3	SB3024	埋土	SB3024 No.9,北西 SB3024	古代	須恵	口縁部 ~底部	50%	<13.1>	6.2	3.8	84.0	—	2.5Y6/1 黄灰	2.5Y6/1 黄灰	白色粒子・石英・ 径2~5mm 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	
214-8	PL90	722	3	SB3024	埋土	SB3024 No.10	古代	土師	口縁部 ~底部	70%	11.5	4.3	3.7	(101.4)	—	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	白色粒子・黄白色 粒子・赤褐色粒子 少、石英 微、径2 ~10mm 多	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	
214-9	PL90	723	3	SB3024	埋土	SB3024 No.11	古代	土師	口縁部 ~底部	100%	12.2	4.5	3.4	96.2	—	7.5YR6/6 橙	7.5YR5/8 明褐	白色粒子・黒色粒 子 微、黄白色粒 子 少、赤褐色粒 子 多、石英・径 2~3mm 微 少	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ 摩耗	—	
214-10	PL90	725	3	SB3024	埋土	SB3024	古代	土師	口縁部 ~底部	20%	<11.8>	<4.8>	3.3	30.6	—	10YR6/6 明黄褐	10YR7/4 にぶい黄橙	白色粒子・赤褐色 粒子・黄白色粒 子・黒色粒子・2 ~4mm 微 少、 石英 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	
214-11	PL90	724	3	SB3024	埋土	SB3024 検 SB3024	古代	土師	口縁部 ~底部	30%	<12.1>	5.0	3.5	(62.8)	—	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	白色粒子・赤褐色 粒子 少、黄白色 粒子・石英・雲母・ 径2mm 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	
214-12	PL90	721	3	SB3024	埋土	SB3024	古代	土師	口縁部 ~体部	10%	<13.7>	—	(3.9)	24.5	—	10YR7/3 にぶい黄橙	N2/0 黒	白色粒子・黄白色 粒子 少、赤褐色 粒子 多、黒色粒 子 微、石英 少、径3mm 微	良	ミガキ 一部摩耗 ロクロナデ 黒色処理	ミガキ 一部摩耗 黒色処理	—	
214-13	PL90	720	3	SB3024	埋土	SB3024 No.3	古代	土師	体部 ~高台部	10%	—	6.4	(2.2)	61.5	—	7.5YR6/6 橙	5Y2/1 黒	白色粒子 微、黄 白色粒子 少、赤 褐色粒子 多、石 英・径2~3mm 微 少	良	ミガキ 摩耗 回転系切り 高台貼付けのち ナデ	ミガキ 摩耗 回転系切り 高台貼付けのち ナデ	—	
214-14	PL90	718	3	SB3024	埋土	SB3024	古代	土師	体部 ~高台部	10%	—	<8.9>	(2.6)	19.2	—	10YR6/1 褐灰	10YR7/1 灰白	—	良	ロクロナデ 高台貼付けのち ナデ	ロクロナデ	—	
214-15	PL90	719	3	SB3024	埋土	SB3024 北西	古代	須恵	口縁部	10%	<12.8>	—	(4.3)	42.6	—	10YR3/1 黒褐	軸2.5Y4/1 黄灰	白色粒子 微、 黄白色粒子・赤 褐色粒子・径2~ 12mm 微 少	良	ロクロナデ 自然釉	ロクロナデ 自然釉	—	
214-16	PL90	727	3	SB3024	埋土	SB3024 検	古代	土師	口縁部 ~体部	10%	<21.7>	—	(8.6)	(149.2)	—	7.5YR6/6 橙	7.5YR5/4 にぶい褐	白色粒子・黄白色 粒子・赤褐色粒子・ 黒色粒子・石英 少、雲母 微、径 2~5mm 微 多	良	ロクロナデ 輪轆痕 ケズリ	ロクロナデ	—	
214-17	PL90	726	3	SB3024	埋土	SB3024	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<22.4>	—	(15.7)	(298.8)	<24.6>	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR5/3 にぶい黄褐	白色粒子 微、黄 白色粒子・石英・ 角閃石・輝石・径 2~4mm 微 少	良	ロクロナデ 輪轆痕 ケズリ	ロクロナデ カキメ カキメ カキメ ハケ	—	
—	PL90	717	3	SB3024	埋土	SB3024	古代	土師	口縁部	—	—	—	—	2.9	—	10Y5/2 オリーブ灰	10Y5/2 オリーブ灰	—	良	軸花卉状	軸	—	写真のみ

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置 (所属遺構・地点名 は省略)	注記記号						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g								
216-1	PL90	730	3	SB3025	埋土	SB3025 No.9	古代	環	口縁部 ～底部	30%	<12.8>	<7.0>	3.7	65.4	—	5Y6/1 灰	5Y6/1 灰	白色粒子・赤褐色 粒子・少、黄白色 粒子・石英 微、径 2～4mm 礫 少	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—	
216-2	PL90	728	3	SB3025	埋土	SB3025 No.3.No.4.No.5 SB3025 SB3017	古代	環	口縁部 ～底部	90%	13.1	5.8	3.7	(154.5)	—	10YR4/1 褐灰	7.5YR5/3 にぶい褐	白色粒子・黄白色 粒子・少、赤褐色 粒子・石英 微、 径2～5mm 礫 少	やや 不良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—	
216-3	PL91	2278	3	SB3025	埋土	SB3025 No.1	古代	環	底部	10%	—	5.8	(0.8)	30.0	—	5Y4/1 灰	5Y4/1 灰	白色粒子・黄 白色粒子 微、径 2～6mm 礫 少	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—	底部外面へ ラ抜き
216-4	PL90	729	3	SB3025	埋土	SB3025 No.7	古代	環	口縁部 ～底部	90%	13.3	7.0	3.7	(161.4)	—	5Y4/1 灰	5Y4/1 灰	白色粒子・黄白色 粒子・少、赤褐色 粒子・石英 微、 径2～5mm 礫 少	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—	
216-5	PL90	743	3	SB3025	埋土	SB3025 検 SB3025 SB3017	古代	環	口縁部 ～底部	30%	<13.6>	<6.6>	4.2	(101.0)	—	5Y6/1 灰	2.5Y5/1 黄灰	白色粒子・黄白色 粒子・赤褐色粒子・ 石英 少、雲母 微、径3～4mm 礫 少	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—	
216-6	PL91	2279	3	SB3025	埋土	SB3017 検	古代	環	底部	20%	—	5.8	(1.1)	76.9	—	2.5Y5/1 黄灰	2.5Y5/1 黄灰	白色粒子 微、黄 白色粒子・赤褐色 粒子・少、石英 微、径2～5mm 礫 少	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—	底部外面へ ラ抜き
216-7	PL90	735	3	SB3025	埋土	SB3025 No.28.No.30	古代	環	口縁部 ～底部	30%	<13.2>	<6.4>	4.6	(80.3)	—	7.5YR6/6 橙	7.5YR17/1 黒	白色粒子 微、黄 白色粒子・赤褐色 粒子・石英 少、 径2～3mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ミガキ一部摩耗 黒色処理	—	
216-8	PL90	734	3	SB3025	埋土	SB3025	古代	環	口縁部 ～底部	30%	<14.3>	<6.5>	5.0	98.2	—	7.5YR6/3 灰褐	N2/0 黒	白色粒子 微、黄 白色粒子・赤褐色 粒子・少、石英 多、径2～3mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ミガキ 摩耗 黒色処理	—	
216-9	PL90	732	3	SB3025	床	SB3025 No.23.床	古代	環	口縁部 ～底部	100%	14.6	7.5	5.0	285.6	—	5YR6/4 にぶい橙	N1.5/0 黒	白色粒子 微、黄 白色粒子・赤褐色 粒子・少、石英 多、径2～3mm 礫 少	良	ロクロナデ 回転糸切り	ミガキ 摩耗 黒色処理	—	
216-10	PL90	733	3	SB3025	埋土 床	SB3025 No.8.No.28.No.29. 床 SB3025	古代	環	口縁部 ～底部	80%	14.5	7.5	5.3	(267.2)	—	5YR5/4 にぶい赤褐	N2/0 黒	黄白色粒子 微、 赤褐色粒子 少、 石英 多、角閃 石・輝石 微、径 2～3mm 礫 少	良	ロクロナデ 摩耗 ケズリ ケズリ	ミガキ 摩耗 黒色処理	—	
216-11	PL91	731	3	SB3025	埋土	SB3025 検 SB3025	古代	蓋	体部 ～口縁部	20%	<14.0>	—	(1.9)	(53.3)	—	N4/0 灰	N4/0 灰	黄白色粒子 微	良	ロクロナデ 回転ケズリ	ロクロナデ	—	
216-12	PL91	2280	3	SB3025	埋土	SB3017 検	古代	台付環	体部 ～高台部	20%	—	<8.0>	(2.9)	61.8	—	N4/0 灰	10YR4/1 褐灰	白色粒子・赤褐色 粒子 微、黄白色 粒子 多、径2～ 3mm 礫 少	良	ロクロナデ 回転糸切りのち 高台粘付けのち ナデ	ロクロナデ	—	
216-13	PL91	739	3	SB3025	埋土	SB3025 No.2	古代	鉢	口縁部 ～体部	10%	<31.8>	—	(11.6)	(135.1)	—	10YR6/3 にぶい黄橙	10YR5/3 にぶい黄褐	黄白色粒子・赤褐 色粒子 少、石 英 多、角閃石・ 輝石、径3mm 礫 微	やや 不良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
216-14	PL91	742	3	SB3025	埋土 床	SB3025 No.13.No.14.No.15. No.21.No.25.No.30. No.31.No.32.床 折下	古代	鉢	口縁部 ～体部	40%	35.5	—	(15.4)	(1100.0)	—	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	白色粒子 微、黄 白色粒子・赤褐色 粒子 少、石英・ 径2～4mm 礫 多	良	ロクロナデ 輪軸 ケズリ	ロクロナデ カキメ ロクロナデ 工具によるナデ ハケ	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				内面調整	赤彩	備考			
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g				胴部 最大径 cm	外面色調	内面色調
216-15	PL91	745	3	SB3025	埋土	SB3017 横 SB3017	古代	須恵	壺	口縁部 ~頸部	10%	7.4	(8.8)	164.1	—	5PB5/1 青灰	石英・径2~4mm 礫 微、白色粒子 少	良	ロクロナデ 絞り痕	—	
216-16	PL91	736	3	SB3025	埋土	SB3025 No.15.No.18.No.22, No.24.No.27.No.30, No.35.No.38, 次下 SB3025	古代	土師	甕	口縁部 ~底部	50%	8.4	15.6	(510.1)	<15.8>	10YR5/3 にぶい黄褐色	白色粒子 微、黄 白色粒子 少、石 英 多、角閃石・ 輝石 少、径2~ 3mm 礫 少	良	ロクロナデ かま ケズリ ケズリ 摩耗	—	
216-17	PL91	738	3	SB3025	埋土	SB3025 No.30	古代	土師	甕	口縁部 ~胴部	10%	—	(10.6)	154.7	<18.1>	10YR6/4 にぶい黄褐色	黄白色粒子・赤褐 色粒子・石英・径 5mm 礫 少	良	ロクロナデ	—	
216-18	PL91	744	3	SB3025	埋土	SB3017	古代	土師	甕	口縁部 ~底部	40%	7.5	11.9	(326.9)	<16.5>	10YR5/3 にぶい黄褐色	白色粒子 多、黄 白色粒子 少、赤褐 色粒子 少、石 英 多、雲母・径 3mm 礫 少	良	ロクロナデ 洗滌 ケズリ 回転糸切り	—	
216-19	PL91	737	3	SB3025	埋土	SB3025 No.11.No.19.No.26 SB3025	古代	土師	甕	口縁部 ~胴部	40%	—	(8.4)	(215.0)	<16.1>	10YR5/3 にぶい黄褐色	白色粒子 多、黄 白色粒子 少、石英 多、雲母 微、径 3mm 礫 微	良	ロクロナデ ケズリ	—	
216-20	PL91	741	3	SB3025	埋土 床下	SB3025 次下、床 下、 P2	古代	土師	甕	口縁部 ~胴部	20%	—	(30.3)	(448.1)	<24.0>	10YR6/3 にぶい黄褐色	白色粒子 微、 黄白色粒子・赤 褐色粒子・石英 少、径2~3mm 礫 微、雲母・径 3mm 礫 微	良	ロクロナデ ケズリ ハケ ハケ ハケ 磨耗	—	
216-21	PL91	740	3	SB3025	埋土	SB3025 No.16.No.25.No.27, No.29.No.30.No.31, No.32.No.37, 次下、 横	古代	土師	甕	口縁部 ~胴部	50%	23.8	(32.5)	(1775.0)	24.9	7.5YR6/8 にぶい褐色	白色粒子 微、黄 白色粒子 少、赤褐色 粒子 少、径2~ 5mm 礫 微	良	ロクロナデ ケズリ ハケ ハケ ハケ 磨耗	—	
217-1	PL91	764	3	SB3029	埋土	SB3029	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	20%	<6.0>	3.5	35.8	—	2.5Y7/1 灰白	灰色粒子・黒色粒 子 微	良	ロクロナデ 回転糸切り 磨耗	—	
217-2	PL91	765	3	SB3029	埋土	SB3029	古代	灰軸 陶器	碗	体部 ~高台部	10%	—	(2.0)	32.8	—	2.5Y6/1 黄灰	白色粒子・黒色粒 子・灰色粒子 微	良	ロクロナデ (切り離しのち)	—	
217-3	PL91	766	3	SB3029	埋土	SB3029	古代	土師	甕	口縁部 ~胴部	10%	—	(5.5)	24.7	—	10YR5/3 にぶい黄褐色	黒色粒子・黄白色 粒子・石英 微	良	ロクロナデ 回転糸 軸	—	
218-1	PL91	775	3	SB3034	1層	SB3034 1層 No.11	古代	土師	環	口縁部 ~底部	40%	<4.0>	4.7	(73.0)	—	7.5YR6/4 にぶい黄褐色	赤褐色粒子・黒色 粒子・黄白色粒子・ 径3mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	内外面ス 付着	
218-2	PL91	771	3	SB3034	埋土	SB3034	古代	土師	環	口縁部 ~底部	30%	<4.5>	3.4	70.2	—	5Y6/6 褐色	灰色粒子・黄白色 粒子・黒色粒子 微 径3mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	—	
218-3	PL91	776	3	SB3034	1層	SB3034 1層 No.14	古代	土師	環	口縁部 ~底部	30%	<12.8>	4.9	(77.6)	—	5YR5/4 明赤褐色	黄白色粒子・黒色 粒子・赤褐色粒子・ 雲母・石英・径 2mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	—	
218-4	PL91	770	3	SB3034	埋土	SB3034	古代	土師	環	口縁部 ~底部	60%	12.7	3.3	(88.3)	—	7.5YR6/6 褐色	白色粒子・黒色粒 子・赤褐色粒子 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	—	
218-5	PL91	774	3	SB3034	1層	SB3034 1層 No.15	古代	土師	環	口縁部 ~底部	70%	12.6	4.0	(130.5)	—	7.5YR6/6 褐色	赤褐色粒子・白色 粒子・黒色粒子・ 雲母 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	—	
218-6	PL91	772	3	SB3034	埋土	SB3034	古代	土師	環	口縁部 ~底部	40%	<12.7>	3.9	(71.3)	—	10YR6/4 にぶい黄褐色	白色粒子・灰色粒 子・黒色粒子・赤 褐色粒子・石英 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考				
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm							重量 g	胴部 最大径 cm	外面色調	内面色調
218-7	PL91	778	3	SB3034	1層	SB3034 1層 No.20	古代	土師	環	口縁部 ~底部	50%	<13.2>	5.5	3.7	(95.1)	—	10YR5/3 にぶい黄褐色	N1.5/0 黒	黄白色粒子・黒色 粒子・赤褐色粒子・ 雲母・石英・径 2mm 礫 微	ロクロナデ 回転糸切り	ミガキ 黒色処理	—		
218-8	PL91	777	3	SB3034	1層	SB3034 1層 No.9	古代	土師	環	口縁部 ~体部	10%	<14.4>	—	(4.1)	41.9	—	5YR5/4 にぶい赤褐色	5YR5/6 明赤褐色	白色粒子・黒色粒 子・雲母 微・灰 色粒子 少	ロクロナデ	ミガキ 摩耗	—		
218-9	PL91	779	3	SB3034	1層	SB3034 1層 No.12	古代	土師	環	体部 ~底部	30%	—	5.5	(2.1)	(72.8)	—	7.5YR4/2 灰褐色	N1.5/0 黒	赤褐色粒子・雲 母 微	ロクロナデ 回転糸切り	ミガキ 黒色処理	—		
218-10	PL91	773	3	SB3034	埋土	SB3034 検	古代	土師	環	口縁部 ~底部	50%	<15.2>	5.8	5.3	(130.0)	—	10YR6/4 にぶい黄褐色	N1.5/0 黒	白色粒子・赤褐色 粒子 少・黒色粒 子 少・雲母 微	ロクロナデ 回転糸切り	ミガキ 黒色処理	—		
218-11	PL91	769	3	SB3034	埋土	SB3034 NO.1	古代	緑釉 陶器	碗	体部 ~高台部	10%	—	<6.8>	(1.6)	25.9	—	10Y4/2 オリーブ灰	10Y4/2 オリーブ灰	黒色粒子 微	ロクロナデ	ロクロナデ	—		
218-12	PL91	780	3	SB3034	1層	SB3034 1層 No.22	古代	緑釉 陶器	皿?	体部 ~高台部	20%	—	8.1	(1.5)	84.7	—	10Y5/1 オリーブ灰	10Y5/1 オリーブ灰	灰色粒子 微	ロクロナデ 回転ナデ トチン痕 軸	ロクロナデ	—		
221-1	PL91	782	3	SB3035	埋土	SB3035 No.42.No.5	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	50%	<12.4>	5.9	3.4	(98.1)	—	5Y5/1 灰	5Y5/1 灰	白色粒子 微	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—		
221-2	PL91	783	3	SB3035	埋土	SB3035 No.14	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	40%	<13.0>	<6.0>	3.9	98.4	—	2.5Y6/1 黄灰	2.5Y6/1 黄灰	灰色粒子・黒色粒 子 微・褐色粒 子 少・径2~ 5mm 礫 微	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—		
221-3	PL91	787	3	SB3035	埋土	SB3035 No.31.朴	古代	土師	環	口縁部 ~底部	30%	<13.2>	5.9	4.0	(93.4)	—	10YR6/3 にぶい黄褐色	10YR6/4 にぶい黄褐色	赤褐色粒子 微	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—		
221-4	PL91	781	3	SB3035	埋土	SB3035 No.3	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	50%	<13.7>	6.4	3.8	76.7	—	5Y6/1 灰	2.5Y6/1 灰	白色粒子・黒色粒 子・灰色粒子・径 2~3mm 礫 微・ 褐色粒子 少	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—	外面黒書	
221-5	PL91	786	3	SB3035	埋土	SB3035 No.4	古代	土師	環	口縁部 ~底部	40%	<12.9>	6.2	4.5	(108.4)	—	5YR5/4 にぶい赤褐色	N1.5/0 黒	黒色粒子・石英・径 2mm 礫 微	ロクロナデ ケズリ	ミガキ 黒色処理	—		
221-6	PL91	785	3	SB3035	埋土	SB3035 No.1	古代	須恵	蓋	ソマニ部 ~口縁部	90%	15.8	—	3.3	244.5	—	5Y3/1 オリーブ黒	7.5Y3/1 オリーブ黒	白色粒子・灰色粒 子・径2~3mm 礫 微	ロクロナデ ケズリ ロクロナデ	ロクロナデ	—		
221-7	PL91	784	3	SB3035	埋土	SB3035 No.2	古代	須恵	台付環	口縁部 ~高台部	80%	15.8	12.4	3.9	286.1	—	2.5Y4/1 黄灰	N4/0 灰	白色粒子・灰色粒 子・褐色粒子・径 2~7mm 礫 微	ロクロナデ 回転糸切り 回転ヘラケズリ 高台貼付けのち ナデ	ロクロナデ	—		
221-8	PL92	789	3	SB3035	床	SB3035 No.16.No.18.No.26, No.33.No.49.No.51, 朴	古代	土師	甕	口縁部 ~胴部	30%	25.2	—	(18.0)	(924.8)	<23.6>	7.5YR6/6 橙	10YR7/4 にぶい黄褐色	10YR7/4 にぶい黄褐色	白色粒子・褐色粒 子・径2mm 礫 微・石英 少	ロクロナデ ケズリ	ロクロナデ	—	
221-9	PL92	790	3	SB3035	埋土	SB3035 No.25.No.27.No.29, No.30.No.35.No.36, No.38~No.40, No.45.No.51.47, 朴	古代	土師	甕	胴部 ~底部	30%	—	4.9	(19.0)	(920.0)	—	10YR7/4 にぶい黄褐色	7.5YR6/6 橙	灰色粒子・赤褐色 粒子・黄白色粒子・ 黒色粒子・径2~ 4mm 礫 微・石 英 少	ロクロナデ ケズリ	カキメ 工具による?ナ ナデ	外面粘土で 補修?	—	
221-10	PL92	788	3	SB3035	埋土 床	SB3035 No.6.No.7.No.10, No.11.No.17.No.19, No.23.No.25.No.27, No.32.No.37.No.47, 朴	古代	土師	甕	口縁部 ~底部	50%	25.3	—	(32.8)	(1720.0)	<23.8>	7.5YR5/6 明褐色	7.5YR5/4 にぶい褐色	白色粒子・灰色粒 子・黒色粒子・径 2~5mm 礫 微・ 石英 少	ロクロナデ ケズリ	カキメ ハケメ ハケメのちナデ	外面灰化物 付着	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (脚底遺構・地点名 は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g									
223-1	PL92	817	3	SB3047	1層	SB3047 1層 No.1 SB3047	古代	土師	口縁部 ～底部	20%	<11.9>	4.9	3.6	(94.1)	—	7.5YR6/4 にぶい黄	7.5YR6/4 にぶい黄	白色粒子・黒色粒 子・灰色粒子・赤 褐色粒・石英・径 2mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—		
223-2	PL92	814	3	SB3047	埋土	SB3047 灰 ¹ No.8 灰 ²	古代	土師	口縁部 ～底部	20%	<13.0>	<5.6>	3.7	(40.3)	—	7.5Y6/4 にぶい黄	10YR6/4 にぶい黄	灰色粒子・赤褐色 粒子・黒色粒子・ 雲母・径3mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—		
223-3	PL92	816	3	SB3047	埋土	SB3047 検 SB3047	古代	土師	口縁部 ～底部	20%	<13.2>	5.3	3.8	(109.9)	—	10YR6/4 にぶい黄	10YR6/4 にぶい黄	白色粒子・黄白色 粒子・灰色粒子・ 赤褐色粒子・黒 色粒子・径2mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—		
223-4	PL92	811	3	SB3047	埋土	SB3047	古代	土師	口縁部 ～底部	60%	<12.4>	4.6	3.8	(117.9)	—	7.5YR5/3 にぶい黄	N1.5/O 黒	赤褐色粒子・黄白 色粒子・灰色粒子・ 赤褐色粒子・黒 色粒子・雲母・ 径2mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—		
223-5	PL92	815	3	SB3047	1層	SB3047 1層 No.6,1層 No.10 SB3047	古代	土師	口縁部 ～底部	60%	<15.0>	5.2	4.4	(145.0)	—	5YR6/6 黄	5YR6/6 黄	赤褐色粒子・白色 粒子・灰色粒子・ 黒色粒子・雲母 礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—		
223-6	PL92	813	3	SB3047	1層	SB3047 1層 No.5	古代	土師	体部 ～高台部	10%	—	7.3	(2.5)	(59.0)	—	10YR5/3 にぶい黄	N1.5/O 黒	黄白色粒子・白色 粒子・赤褐色粒 子・赤褐色粒子・ 灰色粒子・黒 色粒子・雲母・径 3mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—		
223-7	PL92	818	3	SB3047	埋土	SB3047	古代	土師	口縁部 ～胴部	20%	<12.4>	—	(5.7)	(91.6)	—	7.5YR5/4 にぶい黄	7.5YR5/3 にぶい黄	白色粒子・灰色 粒子・赤褐色粒 子・赤褐色粒 子・黒色粒子・径 2mm 礫 微	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—		
223-8	PL92	826	3	SB3047	埋土	SB3047 No.16, 灰 ¹ No.11	古代	土師	口縁部 ～胴部	30%	(14.3)	—	(13.5)	(349.9)	(16.8)	5YR5/4 にぶい赤	5YR5/4 にぶい赤	灰色粒子・黒色粒 子・赤褐色粒子・ 雲母 微	良	ロクロナデ ケズリ	ロクロナデ カキメ	—		
223-9	PL92	824	3	SB3047	埋土	SB3047 灰 ¹ No.16, 灰 ²	古代	土師	口縁部 ～胴部	10%	<23.8>	—	(20.7)	(176.5)	<22.4>	7.5YR5/4 にぶい黄	10YR5/4 にぶい黄	灰色粒子・赤褐色 粒子・黒色粒子・ 石英・雲母 微	良	ロクロナデ 平行タタキ	ロクロナデ あて具痕	—		
223-10	PL92	823	3	SB3047	埋土	SB3047 灰 ¹ No.5 SB3053	古代	土師	口縁部 ～胴部	20%	<24.5>	—	(15.1)	(441.9)	<27.8>	5YR5/8 明赤	5Y4/6 赤	黒色粒子・灰色 粒子・白色粒子・ 雲母 微	良	ロクロナデ 格子状タタキ	ロクロナデ	—		
223-11	PL92	822	3	SB3047	埋土	SB3047 No.5, No.12, No.13, No.14, No.15, No.16, 灰 ¹ 検 SB3047	古代	土師	口縁部 ～底部	50%	22.4	—	(30.0)	(1380.0)	23.9	10YR6/4 にぶい黄	10YR5/4 にぶい黄	灰色粒子・黒色粒 子・白色粒子・赤 褐色粒子・径2～ 4mm 礫 微	良	ロクロナデ ナデ	ロクロナデ あて具痕	—		
223-12	PL92	825	3	SB3047	1層	SB3047 1層 No. 15,1層 No.20,1層 No.28,灰 ¹ No.10,灰 ² 灰 ³	古代	土師	口縁部 ～底部	30%	<25.2>	<3.0>	30.5	1169.3	<23.7>	10YR5/4 にぶい黄	7.5YR5/4 にぶい黄	赤褐色粒子・灰 色粒子・黒色粒 子・白色粒子・ 径2mm 礫・雲母 微	良	ロクロナデ 平行タタキ ケズリ	ロクロナデ あて具痕	—		
—	PL92	820	3	SB3047	埋土	SB3047	古代	緑釉 陶器	口縁部	5%	—	—	—	2.4	—	10Y5/2, オリーフ灰	10Y5/2 オリーフ灰	—	良	釉	釉	—	写真のみ	
—	PL92	821	3	SB3047	埋土	SB3047	古代	緑釉 陶器	口縁部	5%	—	—	—	1.9	—	10YR4/2, オリーフ灰	10YR4/2 オリーフ灰	—	良	釉	釉	—	写真のみ	
225-1	PL93	838	3	SB3048	1層	SB3048 1層 No.9 SB3048	古代	土師	口縁部 ～底部	40%	<12.7>	<5.4>	4.2	73.9	—	2.5Y3/2 黒	10YR5/2 灰	白色粒子・黒色粒 子・赤褐色粒子・ 石英 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—		
225-2	PL93	837	3	SB3048	1層	SB3048 1層 No.28	古代	土師	口縁部 ～底部	90%	12.7	5.0	3.8	(114.0)	—	2.5Y7/1 灰白	2.5Y7/1 灰白	白色粒子・灰色粒 子・黒色粒子・径 2～4mm 礫 微	良	ロクロナデ やや摩耗 回転糸切り	ロクロナデ	—		
225-3	PL93	834	3	SB3048	埋土	SB3048 P.1, 灰 ¹	古代	土師	口縁部 ～底部	30%	<11.8>	4.6	3.3	(43.5)	—	10YR7/3 にぶい黄	5YR6/6 黄	白色粒子・黒色粒 子・赤褐色粒子・ 灰色粒子・雲母・ 石英 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—		

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考	
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g							胴部 最大径 cm
225-4	PL93	829	3	SB3048	1層	SB3048 1層 No.30, 1層 No.31	古代	土師	口縁部 ~底部	40%	<14.7>	5.0	4.5	—	7.5YR5/4 にぶい濁	N1.5/0 黒	赤褐色粒子・黒色 粒子・白色粒子・ 雲母・径2mm 礫 微、灰色粒子 少	良	ロクロナデ 回転スリ	ミガキ不明 黒色処理	—	
225-5	PL93	831	3	SB3048	1層	SB3048 1層 No.13	古代	土師	口縁部 ~底部	70%	11.0	3.3	—	7.5YR5/4 にぶい濁	7.5YR6/6 にぶい濁	白色粒子・灰色粒 子・黒色粒子・赤 褐色粒子・石英 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—		
225-6	PL93	827	3	SB3048	1層	SB3048 1層 No.11, P1	古代	土師	口縁部 ~底部	80%	11.6	2.9	—	7.5YR6/6	7.5YR6/6 にぶい濁	黒色粒子・灰色粒 子・赤褐色粒子・ 白色粒子・雲母 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—		
225-7	PL93	832	3	SB3048	埋土	SB3048 P1, 抄	古代	土師	口縁部 ~底部	30%	<12.1>	5.3	—	7.5YR6/6	7.5YR6/6 にぶい濁	白色粒子・赤褐色 粒子・灰色粒子・ 雲母・石英 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	ミガキ一部不明 黒色処理		
225-8	PL93	839	3	SB3048	埋土	SB3048	古代	土師	口縁部 ~底部	20%	—	<7.4>	—	2.5Y7/3 浅黄	N1.5/0 黒	赤褐色粒子・灰色 粒子・黒色粒子・ 雲母 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—		
225-9	PL93	835	3	SB3048	1層	SB3048 1層 No.7 SB3048	古代	土師	口縁部 ~底部	30%	<11.3>	4.4	—	7.5YR6/6	7.5YR6/6 にぶい濁	黒色粒子・灰色粒 子・赤褐色粒子・ 白色粒子・雲母 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—		
225-10	PL93	833	3	SB3048	埋土	SB3048 P1, 抄	古代	土師	口縁部 ~底部	20%	<11.9>	4.7	—	7.5YR6/4	7.5YR6/6 にぶい濁	赤褐色粒子・黒色 粒子・白色粒子・ 雲母 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—		
225-11	PL93	830	3	SB3048	1層	SB3048 1層 No.20, 1層 No.23	古代	土師	口縁部 ~底部	50%	12.2	4.5	—	7.5YR6/6	7.5YR7/3 にぶい濁	赤褐色粒子・黒色 粒子・赤褐色粒子・ 白色粒子・径2~ 3mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—		
225-12	PL93	828	3	SB3048	1層	SB3048 1層 No.12, P1	古代	土師	口縁部 ~底部	60%	<14.3>	5.8	—	10YR6/4	10YR6/4 にぶい黄緑	赤褐色粒子・黒色 粒子・微、灰色粒 子 少、径2mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—		
225-13	PL93	836	3	SB3048	埋土	SB3048	古代	土師	口縁部 ~底部	10%	<11.7>	<6.2>	3.1	—	5YR5/4	7.5YR6/6 にぶい赤濁	白色粒子・灰色粒 子・黄白色粒子・ 赤褐色粒子・石 英 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	
225-14	PL93	840	3	SB3048	1層	SB3048 1層 No.15	古代	土師	口縁部 ~高台部	20%	—	7.6	—	5YR6/6	N1.5/0 黒	白色粒子・赤褐色 粒子・黒色粒子・ 径2mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデのち 高台内へラ 描き	—		
225-15	PL93	841	3	SB3048	1層	SB3048 1層 No.29	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<11.5>	—	8.8	<11.8>	10YR6/3	10YR6/4 にぶい黄緑	黒色粒子・赤褐色 粒子・石英 微 白色粒子・灰色 微	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
227-1	PL93	846	3	SB3050	1層	SB3050 1層 No.4 SB3050	古代	土師	口縁部 ~底部	10%	<11.8>	<5.8>	2.7	—	10YR5/3	10YR4/3 にぶい黄緑	白色粒子・灰色 粒子・黒色粒子・ 赤褐色粒子・径2 ~3mm 礫・石英 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	
227-2	PL93	845	3	SB3050	1層	SB3050 1層 No.5	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<11.8>	—	(2.8)	—	5YR6/6	5YR6/6 にぶい黄緑	白色粒子・灰色粒 子・黄白色粒子・ 赤褐色粒子 微	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
227-3	PL93	844	3	SB3050	埋土	SB3050	古代	土師	口縁部 ~体部	10%	<11.2>	—	(1.8)	—	5YR5/6	5YR5/6 明赤濁	灰色粒子・黄白色 粒子・黒色粒子・ 赤褐色粒子 少 灰色粒子 少	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
227-4	PL93	843	3	SB3050	埋土	SB3050	古代	土師	底部	10%	—	5.6	(1.5)	—	10YR7/3	10YR5/1 濁灰	白色粒子・黒色粒 子 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデのち 黒色処理 (スス?)	—	
227-5	PL93	842	3	SB3050	1層	SB3050 1層 No.3	古代	土師	口縁部 ~高台部	20%	<12.6>	6.2	3.8	—	10YR6/4	N1.5/0 黒	灰色粒子・白色粒 子 微、赤褐色 粒子 少、径2~ 5mm 礫 微	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
227-6	PL93	848	3	SB3050	埋土	SB3050	古代	須恵	肩 ~胴部	10%	—	(6.9)	—	—	10YR4/1	濁灰	白色粒子 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ 平打ちタテ	—	
227-7	PL93	847	3	SB3050	埋土	SB3050	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<23.8>	—	(9.8)	<24.2>	10YR7/3	10YR6/4 にぶい黄緑	黒色粒子・白色粒 子・雲母・石英 微	良	ロクロナデ	ロクロナデ カキメ	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置 (附底層構・地点名は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g						
227-1	PL93	851	3	SB3051	3層 No.16	古代	土師	環	口縁部 ~底部	100%	12.3	5.9	3.9	119.5	-	2.5YR6/2 灰黄	2.5Y7/1 灰白	黒色粒子・微	ロクロナデ 摩耗 回転糸切り	内外面油入 欠付着 整理皿?
227-2	PL93	850	3	SB3051	3層 床下 No.15	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	30%	<12.6>	<5.4>	4.0	(75.7)	-	10YR6/2 灰黄褐	10YR5/2 灰黄褐	黒色粒子・白色粒 子・微	ロクロナデ 回転糸切り	
227-3	PL93	849	3	SB3051	3層 床下 No.24 SB3051 床下	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	30%	<12.6>	4.6	4.2	(89.1)	-	2.5Y6/1 黄灰	2.5Y7/1 灰白	白色粒子・黒色粒 子・赤褐色粒子・ 灰色粒子・径2~ 3mm 微	ロクロナデ 回転糸切りのち へず描き	底部外面へ ず描き?
227-4	PL93	853	3	SB3051	埋土	古代	土師	環	口縁部 ~底部	20%	<11.8>	<5.2>	3.3	(54.0)	-	10YR6/4 にぶい・黄	7.5YR6/4 にぶい・黄	赤褐色粒子・黒色 粒子・灰色粒子・ 白色粒子・黄白 色粒子・径3mm 微	回転ナデ	
227-5	PL93	852	3	SB3051	1層	古代	土師	環	口縁部 ~底部	30%	<12.0>	5.1	3.7	(79.2)	-	10YR3/1 黒褐	10YR5/4 にぶい・黄褐	赤褐色粒子・黒色 粒子・黄白色粒子・ 白色粒子・径2~ 4mm 微	回転ナデ ナデ 回転糸切り	
227-6	PL93	854	3	SB3051	1層	古代	土師	環	口縁部 ~底部	90%	12.4	5.0	3.4	(113.3)	-	5YR6/4 にぶい・黄	2.5Y5/6 明赤褐	灰色粒子・黒色粒 子・赤褐色粒子・ 径2~4mm 礫・石 英 微	回転ナデ 回転糸切り	
227-7	PL93	855	3	SB3051	1層	古代	土師	環	口縁部 ~底部	80%	13.1	5.3	3.7	(135.3)	-	10Y4/2 灰黄褐	N1.5/0 黒	赤褐色粒子・雲母・ 径2mm 微	ロクロナデ 回転糸切りのち ナデ	ミガキ 黒色処理
227-8	PL93	856	3	SB3051	埋土	古代	土師	塊	口縁部 ~高台部	20%	<12.6>	<7.2>	4.6	36.1	-	7.5YR5/4 にぶい・褐	N1.5/0 黒	黄白色粒子・赤褐 色粒子・黒色粒 子・灰色粒子・径 4~7mm 礫・石英 ナデ 微	ロクロナデ 高台貼付けのち ナデ	ミガキ 黒色処理
227-9	PL93	857	3	SB3051	1層	古代	土師	塊	口縁部 ~高台部	70%	<14.6>	7.2	5.7	(219.9)	-	7.5YR6/4 にぶい・褐	N1.5/0 黒	白色粒子・灰色粒 子・赤褐色粒子・ 径2~4mm 礫・石 英 微	ロクロナデ 回転糸切りのち ナデ 高台貼付けのち ナデ	ミガキ 黒色処理
227-10	PL93	859	3	SB3051	3層 床下 No.27	古代	土師	鉢	口縁部 ~底部	10%	<25.6>	-	(9.6)	239.8	-	10YR5/2 灰黄褐	10YR6/2 灰黄褐	黒色粒子・灰色粒 子・微	ロクロナデ ケズリ 回転ナデ 回転ナデ	内外面付着 物(スス?)
227-11	PL93	858	3	SB3051	埋土	古代	土師	囊	胴部 ~底部	30%	-	5.1	(7.1)	(145.6)	<11.9>	5YR6/4 にぶい・黄	5YR5/4 にぶい・赤褐	黒色粒子・雲母 石英・角閃石 微	ロクロナデ 回転糸切り	
227-12	PL93	860	3	SB3051	埋土 3層 床 No.12, No.14, 3層 No.18, 3層 No.21, 3層No.25,床,P3 SB3051	古代	土師	囊	口縁部 ~胴部	20%	<25.1>	-	(16.2)	(446.5)	<24.7>	10YR6/3 にぶい・黄褐	10YR6/3 にぶい・黄褐	赤褐色粒子・黒色 粒子・黄白色粒子・ 石英・角閃石 微	ロクロナデ(一 部縦方向ナデ) ナデ ケズリ	
223-1	PL93	865	3	SB3053	埋土	古代	土師	環	口縁部 ~底部	20%	<12.6>	-	(2.8)	(36.9)	-	7.5YR6/4 にぶい・黄	7.5YR6/4 にぶい・黄	赤褐色粒子・灰色 粒子・径2~3mm 礫 微	ロクロナデ 摩耗	
223-2	PL93	864	3	SB3053	1層	古代	土師	環	口縁部 ~底部	20%	<12.8>	<5.0>	4.0	43.1	-	10YR6/3 にぶい・黄褐	N1.5/0 黒	赤褐色粒子・黄白 色粒子・石英 微	ロクロナデ 回転糸切り 黒色処理	
223-3	PL93	866	3	SB3053	1層	古代	土師	環	口縁部 ~底部	30%	<13.2>	<4.4>	3.6	(49.9)	-	10YR6/4 にぶい・黄褐	10YR6/4 にぶい・黄褐	黄白色粒子・赤褐 色粒子・黒色粒子・ 雲母 微	ロクロナデ 回転糸切り	
223-4	PL93	862	3	SB3053	1層 No.3, 1層 No.5 SB3053	古代	土師	塊	口縁部 ~高台部	70%	13.4	6.0	5.3	(145.8)	-	10YR6/4 にぶい・黄褐	N1.5/0 黒	赤褐色粒子・黒色 粒子・灰色粒子	ロクロナデ 回転糸切りのち 高台貼付けのち 回転ナデ高台貼 付け痕	ミガキ 黒色処理
223-5	PL93	861	3	SB3053	埋土	古代	土師	塊	口縁部 ~高台部	20%	<14.2>	<6.4>	5.3	(63.7)	-	7.5YR5/4 にぶい・褐	N1.5/0 黒	赤褐色粒子・灰色 粒子・黄白色粒子・ 径6mm 礫 微	ロクロナデ 回転糸切りのち 高台貼付けのち 回転ナデ	ミガキ 黒色処理

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考							
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記番号 (所属遺構・地点名は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm							重量 g	胴部最大径 cm	外面色調	内面色調			
223-6	PL93	863	3	SB3053	埋土	SB3053	古代	土師	腕	体部 ~高台部	10%	—	<7.2>	—	10YR5/4 にぶい黄褐色	N1.5/O 黒	黄白色粒子・褐色 粒子・雲母 微	良	ロクロナデ 切り離しのち回 転ナデ 高台貼付けのち 回転ナデ 高台貼付け痕	ミガキ 黒色処理	内面線刻?						
219-1	PL93	869	3	SB3057	埋土	SB3057 灰 No.11	古代	須恵	坏	口縁部 ~底部	20%	—	<7.4>	—	10YR4/2 灰黄褐色	10YR4/2 灰黄褐色	黄白色粒子・赤 褐色粒子・石英 少、白色粒子・径 2mm 礫 微	やや 不良	ロクロナデ 回転糸切り?	ロクロナデ	—						
219-2	PL93	870	3	SB3057	1層	SB3057 1層 No.3	古代	土師	坏	口縁部 ~底部	10%	—	<4.9>	—	7.5YR5/3 にぶい黄褐色	N2/O 黒	白色粒子・赤褐色 粒子・赤褐色粒 子 微、石英 少、角閃石・輝 石 微	良	ロクロナデ 回転糸切り?	ロクロナデ 黒色処理	—						
219-3	PL93	871	3	SB3057	1層	SB3057 1層 No.4 SB3057	古代	土師	蓋	ツマミ部 ~口縁部	40%	—	3.2	—	7.5YR6/6 橙	7.5YR5/4 にぶい黄褐色	白色粒子・黄白色 粒子・赤褐色粒 子・石英 微、径3~5mm 礫 少	やや 不良	ツマミ貼付けナ デ 手持ちケズリ ロクロナデ	ロクロナデ	—						
219-4	PL93	768	3	SB3056 ・SB3057	埋土 床下	SB3056・SB3057 床下	古代	土師	皿	口縁部 ~高台部	20%	—	6.1	<12.4>	10YR5/3 にぶい黄褐色	N2/O 黒	白色粒子 微、黄 褐色粒子 微、赤 褐色粒子・石英 少、径2~3mm 礫 少	良	ロクロナデ	ロクロナデ 黒色処理	—						
219-5	PL93	875	3	SB3057	1層	SB3057 1層 No.6 SB3057	古代	土師	盤?	胴部 ~高台部	20%	—	<16.8>	—	10YR7/4 にぶい黄褐色	10YR7/4 にぶい黄褐色	白色粒子 微、黄 褐色粒子 多、赤 褐色粒子 少、石 英 少、径2~3mm 礫 多	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—						
219-6	PL94	873	3	SB3057	埋土	SB3057 灰 No.12, マド No.13, 灰 No.22, 灰 No.23, 灰 No.24, 灰 No.25, 灰 No.26, 灰 No.27, 灰 No.28, 灰 No.29, 灰 No.30, 灰 No.31, 灰 No.32, 灰 No.33, 灰 No.34, 灰 No.35, 灰 No.36, 灰 No.37, 灰 No.38, 灰 No.39, 灰 No.40, 灰 No.41, 灰 No.42, 灰 No.43, 灰 No.44, 灰 No.45, 灰 No.46, 灰 No.47, 灰 No.48, 灰 No.49, 灰 No.50, 灰 No.51, 灰 No.52, 灰 No.53, 灰 No.54, 灰 No.55, 灰 No.56, 灰 No.57, 灰 No.58, 灰 No.59, 灰 No.60, 灰 No.61, 灰 No.62, 灰 No.63, 灰 No.64, 灰 No.65, 灰 No.66, 灰 No.67, 灰 No.68, 灰 No.69, 灰 No.70, 灰 No.71, 灰 No.72, 灰 No.73, 灰 No.74, 灰 No.75, 灰 No.76, 灰 No.77, 灰 No.78, 灰 No.79, 灰 No.80, 灰 No.81, 灰 No.82, 灰 No.83, 灰 No.84, 灰 No.85, 灰 No.86, 灰 No.87, 灰 No.88, 灰 No.89, 灰 No.90, 灰 No.91, 灰 No.92, 灰 No.93, 灰 No.94, 灰 No.95, 灰 No.96, 灰 No.97, 灰 No.98, 灰 No.99, 灰 No.100, 灰	古代	土師	甕	口縁部 ~胴部	20%	<23.4>	—	18.8	<22.9>	20%	—	10YR6/4 にぶい黄褐色	10YR4/2 灰黄褐色	黄白色粒子・赤褐 色粒子・石英少、 赤褐色粒子 多、 径2~4mm 礫 多	良	ロクロナデ	ロクロナデ カキメ ケズリ	ロクロナデ カキメ ナデ	—		
219-7	PL93-94	874	3	SB3057	1層	SB3057 灰 No.1, 灰 No.2, 灰 No.3, 灰 No.4, 灰 No.5, 灰 No.6, 灰 No.7, 灰 No.8, 灰 No.9, 灰 No.10, 灰 No.11, 灰 No.12, 灰 No.13, 灰 No.14, 灰 No.15, 灰 No.16, 灰 No.17, 灰 No.18, 灰 No.19, 灰 No.20, 灰 No.21, 灰 No.22, 灰 No.23, 灰 No.24, 灰 No.25, 灰 No.26, 灰 No.27, 灰 No.28, 灰 No.29, 灰 No.30, 灰 No.31, 灰 No.32, 灰 No.33, 灰 No.34, 灰 No.35, 灰 No.36, 灰 No.37, 灰 No.38, 灰 No.39, 灰 No.40, 灰 No.41, 灰 No.42, 灰 No.43, 灰 No.44, 灰 No.45, 灰 No.46, 灰 No.47, 灰 No.48, 灰 No.49, 灰 No.50, 灰 No.51, 灰 No.52, 灰 No.53, 灰 No.54, 灰 No.55, 灰 No.56, 灰 No.57, 灰 No.58, 灰 No.59, 灰 No.60, 灰 No.61, 灰 No.62, 灰 No.63, 灰 No.64, 灰 No.65, 灰 No.66, 灰 No.67, 灰 No.68, 灰 No.69, 灰 No.70, 灰 No.71, 灰 No.72, 灰 No.73, 灰 No.74, 灰 No.75, 灰 No.76, 灰 No.77, 灰 No.78, 灰 No.79, 灰 No.80, 灰 No.81, 灰 No.82, 灰 No.83, 灰 No.84, 灰 No.85, 灰 No.86, 灰 No.87, 灰 No.88, 灰 No.89, 灰 No.90, 灰 No.91, 灰 No.92, 灰 No.93, 灰 No.94, 灰 No.95, 灰 No.96, 灰 No.97, 灰 No.98, 灰 No.99, 灰 No.100, 灰	古代	土師	甕	口縁部 ~底部	40%	<21.8>	<10.0>	19.8	<23.0>	40%	—	19.8	<23.0>	10YR6/3 にぶい黄褐色	10YR6/3 にぶい黄褐色	黄白色粒子・赤褐 色粒子・石英・白 色粒子 微	良	ロクロナデ	ロクロナデ カキメ ケズリ	ロクロナデ カキメ 回転ナデ	—
219-8	PL94	872	3	SB3057	埋土	SB3057 灰 No.1, 灰 No.2, 灰 No.3, 灰 No.4, 灰 No.5, 灰 No.6, 灰 No.7, 灰 No.8, 灰 No.9, 灰 No.10, 灰 No.11, 灰 No.12, 灰 No.13, 灰 No.14, 灰 No.15, 灰 No.16, 灰 No.17, 灰 No.18, 灰 No.19, 灰 No.20, 灰 No.21, 灰 No.22, 灰 No.23, 灰 No.24, 灰 No.25, 灰 No.26, 灰 No.27, 灰 No.28, 灰 No.29, 灰 No.30, 灰 No.31, 灰 No.32, 灰 No.33, 灰 No.34, 灰 No.35, 灰 No.36, 灰 No.37, 灰 No.38, 灰 No.39, 灰 No.40, 灰 No.41, 灰 No.42, 灰 No.43, 灰 No.44, 灰 No.45, 灰 No.46, 灰 No.47, 灰 No.48, 灰 No.49, 灰 No.50, 灰 No.51, 灰 No.52, 灰 No.53, 灰 No.54, 灰 No.55, 灰 No.56, 灰 No.57, 灰 No.58, 灰 No.59, 灰 No.60, 灰 No.61, 灰 No.62, 灰 No.63, 灰 No.64, 灰 No.65, 灰 No.66, 灰 No.67, 灰 No.68, 灰 No.69, 灰 No.70, 灰 No.71, 灰 No.72, 灰 No.73, 灰 No.74, 灰 No.75, 灰 No.76, 灰 No.77, 灰 No.78, 灰 No.79, 灰 No.80, 灰 No.81, 灰 No.82, 灰 No.83, 灰 No.84, 灰 No.85, 灰 No.86, 灰 No.87, 灰 No.88, 灰 No.89, 灰 No.90, 灰 No.91, 灰 No.92, 灰 No.93, 灰 No.94, 灰 No.95, 灰 No.96, 灰 No.97, 灰 No.98, 灰 No.99, 灰 No.100, 灰	古代	土師	甕	口縁部 ~胴部	30%	<22.5>	—	23.7	<23.7>	30%	—	23.7	<23.7>	5YR5/6 明赤褐色	5YR6/4 にぶい黄褐色	黄白色粒子 微、 赤褐色粒子 少、 石英・径2~4mm 礫 多	良	ロクロナデ	ロクロナデ カキメ ハケのちカキメ	ロクロナデ カキメ ナデ	—
224-1	PL94	878	3	SB3058	埋土	SB3058 P1 No.2, P1 No.5	古代	須恵	坏	口縁部 ~底部	70%	—	4.1	—	7.5YR4/3 褐	5YR4/6 赤褐色	白色粒子・黄白色 粒子・赤褐色粒 子・雲母 微、径 2~4mm 礫 少	不良	ロクロナデ 摩擦不明	ロクロナデ 摩擦不明	—						
224-2	PL94	877	3	SB3058	1層	SB3058 1層 No.1 SB3058	古代	須恵	坏	口縁部 ~底部	30%	—	3.7	—	5Y4/1 灰	5Y4/1 灰	白色粒子・黄白色 粒子 少、赤褐色 粒子 微、径2~ 3mm 礫 少	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	—						
224-3	PL94	881	3	SB3058	埋土	SB3058 P1 No.3, P1 No.7, P1	古代	土師	坏	口縁部 ~底部	60%	—	3.5	—	10YR5/3 にぶい黄褐色	10YR5/3 にぶい黄褐色	白色粒子 微、黄 褐色粒子 少、赤 褐色粒子 微、石 英 少、雲母 微、径2~4mm 礫 多	良	ロクロナデ 摩擦 回転糸切り	ロクロナデ 摩擦	—						
224-4	PL94	880	3	SB3058	埋土	SB3058 P1 No.1	古代	土師	坏	口縁部 ~底部	50%	—	3.3	—	10YR5/3 にぶい黄褐色	10YR5/3 にぶい黄褐色	白色粒子 多、黄 褐色粒子・赤褐色 粒子 少、黒色粒 子 微、石英 少、 径2~4mm 礫 多	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ 摩擦	—						

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm								
224-5	PL94	879	3	SB3058	埋土	SB3058 P1 No.6	古代	土師	口縁部 ~高台部	60%	12.6	5.6	5.1	112.2	—	10YR5/3 にぶい黄褐色	N2/O 黒	黄白色粒子・赤褐色 色粒子・黒色粒子 少、雲母 微、径 2~3mm 礫 少	やや 不良	ロクロナデ 回転糸切りのち ミガキ 黒色処理	—	
228-1	PL94	927	5	SB5001	埋土	SB5001 灰土	古代	須恵	口縁部 ~底部	20%	<13.2>	<5.8>	3.7	30	—	2.5Y7/1 灰白	2.5Y7/1 灰白	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・径2 ~5mm 礫 微	不良	ロクロナデ 回転糸切りのち ミガキ 黒色処理	—	
228-2	PL94	928	5	SB5001	床下	SB5001 P4,床下	古代	須恵	口縁部 ~底部	30%	<13.6>	<6.4>	4.1	50	—	2.5Y8/2 にぶい黄褐色	10YR7/4 にぶい黄褐色	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・径2 ~4mm 礫 微	不良	ロクロナデ 回転糸切りのち ミガキ 黒色処理	—	
228-3	PL94	933	5	SB5001	埋土	SB5001 P4	古代	須恵	口縁部 ~体部	10%	<13.8>	—	(2.3)	5	—	2.5Y7/1 灰白	2.5Y7/1 灰白	白色粒子 微	良	回転ナデ	—	外面黒書
228-4	PL94	929	5	SB5001	埋土	SB5001 No.2	古代	土師	口縁部 ~底部	30%	<12.8>	<5.6>	3.6	45	—	7.5YR7/4 にぶい黄褐色	7.5YR1.7/1 黒	白色粒子 少、赤 褐色粒子・石英・ 雲母・径2mm 礫 微	良	ミガキ 回転糸切りのち ミガキ 黒色処理	—	
228-5	PL94	930	5	SB5001	埋土	SB5001 P3	古代	土師	口縁部 ~体部	10%	<12.9>	—	(3.5)	30	—	7.5YR6/4 にぶい黄褐色	7.5YR1.7/1 黒	白色粒子・褐色粒 子・径2mm 礫 微、石英 少	良	ミガキ 回転糸切りのち ミガキ 黒色処理	—	
228-6	PL94	931	5	SB5001	埋土	SB5001 P3 No.1	古代	土師	口縁部 ~高台部	100%	12.5	6.2	2.7	130	—	7.5YR7/6 橙	7.5YR1.7/1 黒	白色粒子・雲母 微、褐色粒子・石 英 少	良	ミガキ 回転糸切りのち ミガキ 黒色処理	—	
228-7	PL94	932	5	SB5001	埋土	SB5001	古代	土師	口縁部 ~体部	10%	<19.1>	—	(7.4)	(215.8)	—	10YR6/3 にぶい黄褐色	10YR1.7/1 黒	白色粒子・褐色 粒子・石英・径2 ~6mm 礫 少、雲 母 微	良	ミガキ 回転糸切りのち ミガキ 黒色処理	—	
228-8	PL94	936	5	SB5001	埋土	SB5001 No.14	古代	土師	口縁部 ~体部	10%	<21.4>	—	(7.7)	80	<23.0>	7.5YR5/4 にぶい黄褐色	7.5YR1.7/1 黒	白色粒子・赤褐色 粒子・石英 少	良	ミガキ 回転糸切りのち ミガキ 黒色処理	—	
228-9	PL94	934	5	SB5001	埋土	SB5001	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<11.6>	—	(3.5)	10	—	2.5YR6/6 橙	2.5YR6/6 橙	白色粒子・赤褐色 粒子 微、石英 多	良	ミガキ 回転糸切りのち ミガキ 黒色処理	—	
228-10	PL94	935	5	SB5001	埋土	SB5001 No.13, No.16, P3 No.2	古代	土師	頸部 ~胴部	10%	—	—	(19.8)	190	<24.6>	7.5YR5/3 にぶい黄褐色	10YR7/3 にぶい黄褐色	褐色粒子・石英・ 径2~3mm 礫 少、白色粒子 微	良	ミガキ 回転糸切りのち ミガキ 黒色処理	—	
229-1	PL94	2305	5	SB5002	埋土	SB5002	古代	須恵	体部 ~底部	30%	—	<7.0>	(2.5)	47.9	—	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	白色粒子・径2~ 5mm 礫 微、褐 色粒子 少	良	ミガキ 回転糸切りのち ミガキ 黒色処理	—	底部朱墨書?
229-2	PL94	937	5	SB5002	埋土	SB5002 P1 No.3	古代	須恵	口縁部 ~底部	90%	12.2	6.3	3.9	150	—	10BG4/1 暗青灰	10BG5/1 青灰	白色粒子 少、赤 褐色粒子 微	良	ミガキ 回転糸切りのち ミガキ 黒色処理	—	
229-3	PL94	939	5	SB5002	埋土	SB5002	古代	須恵	口縁部 ~底部	10%	<12.8>	<6.0>	3.6	25	—	2.5Y7/2 灰黄	2.5Y7/2 灰黄	白色粒子・褐色粒 子 微	良	ミガキ 回転糸切りのち ミガキ 黒色処理	—	
229-4	PL94	938	5	SB5002	埋土	SB5002 P1 No.2	古代	須恵	口縁部 ~底部	60%	13.2	6.8	3.9	110	—	5B6/1 青灰	5B6/1 青灰	白色粒子・径 2mm 礫 微	良	ミガキ 回転糸切りのち ミガキ 黒色処理	—	
229-5	PL94	1623	5	SB5002	床下	SB5002 床下	古代	須恵	体部 ~口縁部	10%	<13.8>	—	(1.7)	12	—	N5/O 灰	N5/O 灰	白色粒子・径 2mm 礫 微	良	ミガキ 回転糸切りのち ミガキ 黒色処理	—	
229-6	PL94	1626	5	SB5002	埋土	SB5002 No.5	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<23.6>	—	(11.1)	66	—	5YR6/6 橙	7.5YR7/3 にぶい黄褐色	赤褐色粒子・石 英 少、雲母・径 2~6mm 礫 微	良	ミガキ 回転糸切りのち ミガキ 黒色処理	—	
230-1	PL94	942	5	SB5003	埋土	SB5003 No.4	古代	須恵	体部 ~底部	20%	—	<6.0>	(2.5)	65	—	2.5YR7/2 黄灰	10YR7/4 にぶい黄褐色	白色粒子・赤褐色 粒子 微	良	ミガキ 回転糸切りのち ミガキ 黒色処理	—	外面黒書
230-2	PL94	940	5	SB5003	埋土	SB5003 No.2	古代	須恵	口縁部 ~底部	50%	<12.0>	<6.2>	3.1	65	—	5YR7/1 灰白	5YR7/1 灰白	白色粒子・径 2mm 礫 微	良	ミガキ 回転糸切りのち ミガキ 黒色処理	—	
230-3	PL94	941	5	SB5003	埋土	SB5003 No.3	古代	須恵	口縁部 ~底部	50%	<12.7>	5.8	3.6	105	—	10YR7/3 にぶい黄褐色	10YR7/3 にぶい黄褐色	白色粒子・径2~ 6mm 礫・褐色粒 子・雲母 微	良	ミガキ 回転糸切りのち ミガキ 黒色処理	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考	
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm										重量 g
230-4	PL94	943	5	SB5003	埋土	SB5003	古代	須恵	環	口縁部 ～底部	10%	<13.5>	—	(3.8)	30	—	7.5YR7/4 にぶい橙	5YR7/4 にぶい橙	白色粒子・褐色粒 子・石英 微、径 2mm 少	良	ロクロナデ 摩耗	ロクロナデ	—	
230-5	PL94	944	5	SB5003	埋土	SB5003	古代	土師	環	口縁部 ～底部	30%	<11.8>	<6.0>	3.3	(47.4)	—	10YR7/3 にぶい黄橙	N15/ 黒	白色粒子・褐色 粒子・径2mm 微	良	ロクロナデ 摩耗 ヘラケズリ 摩耗	ミガキ 摩耗 黒色処理	—	
230-6	PL94	945	5	SB5003	床下	SB5003	古代	土師	甕	口縁部 ～頸部	10%	<22.6>	—	(6.5)	105	—	5YR6/6 橙	5YR7/6 橙	白色粒子・石英 微、径2～3mm 少 赤褐色粒子	良	ロクロナデ	ロクロナデ カキヌ	—	
230-7	PL94	1629	5	SB5003	埋土	SB5003	古代	土師	甕	口縁部 ～頸部	10%	<24.0>	—	(8.1)	100	—	10YR6/2 灰黄褐	10YR6/2 灰黄褐	白色粒子・褐色粒 子・径2～3mm 微 少 石英 微	良	ロクロナデ?	ロクロナデ? 摩耗	—	
231-1	PL94	948	5	SB5005	埋土	SB5005 No.4	古代	須恵	環	口縁部 ～底部	60%	<12.6>	6.2	3.1	102.7	—	2.5Y6/1 黄灰	5Y6/1 灰	白色粒子・黄白色 粒子・赤褐色粒 子 少、石英 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	
231-2	PL94	947	5	SB5005	埋土	SB5005 No.1 SB5005	古代	須恵	環	口縁部 ～底部	60%	12.1	5.8	3.5	(126.4)	—	2.5YR7/1 灰白	7.5YR7/4 にぶい橙	白色粒子・黄白色 粒子・赤褐色粒 子・径2～4mm 微 少	やや 不良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	外面粘土付 着
231-3	PL94	2283	5	SB5005	埋土	SB5005 灰下 No.9	古代	須恵	環	体部 ～底部	20%	—	<6.0>	(2.6)	87.3	—	10YR6/1 褐灰	2.5Y6/1 黄灰	白色粒子・黄白色 粒子 多、赤褐色 粒子 少、石英 微、径2～4mm 少	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	
231-4	PL94	950	5	SB5005	埋土	SB5005 No.2	古代	土師	環	口縁部 ～底部	20%	<17.0>	<7.0>	5.5	(88.4)	—	10YR7/2 にぶい黄橙	N1.5/0 黒	白色粒子・赤褐色 粒子・石英 少、 雲母・径2～6mm 微	やや 不良	ロクロナデ 回転系切り 手持ちケズリ	ミガキ 摩耗 黒色処理	—	
231-5	PL94	949	5	SB5005	埋土	SB5005 No.3 SB5005	古代	須恵	台付環	口縁部 ～高台部	60%	10.7	6.5	4.3	(108.8)	—	2.5Y6/2 灰黄	7.5YR6/3 にぶい褐	白色粒子・黄白色 粒子・赤褐色粒 子 少、径2～3mm 微	やや 不良	ロクロナデ 回転系切り 高台部内のみナ デ	ロクロナデ	—	
231-6	PL95	2282	5	SB5005	埋土	SB5005 灰下 No.7 灰下 No.8, 灰下、 灰上 SB5005	古代	土師	甕	口縁部 ～胴部	10%	<19.6>	—	(16.3)	(210.0)	<21.0>	7.5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	白色粒子・黄白色 粒子・赤褐色粒 子・石英 多、角閃 石・麻石 少、径 2～6mm 微 多	良	ロクロナデ摩耗 カキヌ摩耗不明	ロクロナデ カキヌ摩耗不明	—	
231-7	PL95	951	5	SB5005	埋土	SB5005 灰下 No.3 灰下 No.10, 灰下 No.11, 灰下 No.12, 灰下 No.25, 灰下 No.29	古代	土師	甕	口縁部 ～胴部 ～底部	20%	<24.6>	<5.4>	(27.2)	(623.2)	<24.1>	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	白色粒子・黄白色 粒子 少、赤褐色 粒子 多、黒色粒 子 微、石英 微、 雲母 微、径 2～4mm 微 多	良	ロクロナデ ケズリ摩耗 輪損	ロクロナデ ケズリ摩耗 ハケ ナデ	—	
233-1	PL95	971	5	SB5010	埋土	SB5010 No.17	古代	須恵	環	口縁部 ～底部	30%	<11.3>	5.0	3.5	62.5	—	2.5Y6/1 黄灰	2.5Y6/1 黄灰	白色粒子 少、黄 褐色粒子 少、赤 褐色粒子・石英 微、径2～4mm 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	
233-2	PL95	970	5	SB5010	埋土	SB5010	古代	須恵	環	口縁部 ～底部	20%	<12.4>	5.6	3.6	(79.4)	—	2.5Y7/1 灰白	2.5Y8/1 灰白	白色粒子 少、 石英 微、径2～ 3mm 微	やや 不良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ 回転系切り	—	
233-3	PL95	969	5	SB5010	埋土	SB5010 No.3 SB5010	古代	須恵	環	口縁部 ～底部	70%	12.6	5.1	4.0	(152.8)	—	5Y7/2 灰	5Y7/1 灰白	白色粒子 少、 石英 微、径2～ 3mm 微 少	やや 不良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	外面底にセ ミ痕?
233-4	PL95	968	5	SB5010	埋土	SB5010 No.2 SB5010	古代	須恵	環	口縁部 ～底部	90%	12.8	5.8	4.0	(175.4)	—	2.5Y7/2 灰黄	2.5Y7/2 灰黄	黄白色粒子 少、 白色粒子 少、 石英 微、径2～ 4mm 微 少	やや 不良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考		
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記記号 (所属遺構・地点名は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm									重量 g	胴部 最大径 cm
235-5	PL95	986	5	SB5011	埋土	SB5011	古代	土師	環	口縁部 ~底部	30%	<13.5>	5.5	3.5	(127.8)	-	10YR8/3 浅黄橙	N2/0 黒	白色粒子・黄 白色粒子・赤 褐色粒子・石英 多、角四石・輝 石・少、径3mm 礫・微	良	ロクロナデ 回転ケズリ	ミガサ摩耗 黒色処理	-	
235-6	PL95	984	5	SB5011	埋土	SB5011 No.7, No.8 SB5011	古代	須恵	蓋	ツマミ部 ~口縁部	90%	15.7	-	4.3	(208.1)	-	5Y6/1 灰	2.5Y6/1 黄灰	白色粒子・黄白色 粒子・石英・径 2mm・微	良	ツマミ貼付ナデ 回転ケズリ ロクロナデ	ロクロナデ	-	
235-7	PL95	985	5	SB5011	埋土	SB5011	古代	須恵	壺	胴部 ~高台部	20%	<9.0>	-	(4.1)	117.6	-	<釉> 2.5Y6/1 黄灰	N4/1 灰	白色粒子・黄 白色粒子・赤 褐色粒子・黒色 粒子・石英・径 2mm・微	良	ロクロナデ 回転ケズリ 高台貼付のちロ クロナデ自然釉	ロクロナデ	-	
235-8	PL95	988	5	SB5011	埋土	SB5011 No.38	古代	土師	甕	口縁部 ~底部	60%	11.6	6.8	10.8	(369.2)	12.5	10YR6/3 にふい・黄緑	10YR7/3 にふい・黄緑	白色粒子・黄 白色粒子・赤 褐色粒子・石英 多、雲母・径 2~4mm・礫・多	良	ロクロナデ 摩耗 手持ちケズリ	ロクロナデ	-	
235-9	PL96	991	5	SB5011	埋土	SB5011 No.35, P3 No.3, 4, 7, 11	古代	土師	甕	口縁部 ~胴部 ~底部	10%	<22.2>	-	(13.5) (13.4)	166.0 (195.7)	<22.0>	7.5YR6/6 橙	7.5YR5/6 明褐	灰色粒子・黒色粒 子・黄白色粒子・ 赤褐色粒子・白色 粒子・径2~3mm 礫・石英・微	良	ロクロナデ 平行タタキ ナデ 輪轆痕 痕摩耗	ロクロナデ 平行タタキ ナデ ハケのち当て具	-	
235-10	PL96	992	5	SB5011	埋土	SB5011	古代	土師	甕	口縁部 ~胴部	10%	<19.0>	-	(6.6)	(89.4)	<18.9>	10YR8/4 浅黄橙	10YR7/4 にふい・黄緑	赤褐色粒子・黒色 粒子・白色粒子・ 径2mm・礫・石英 ・微	良	ロクロナデ 輪轆痕 ケズリ	ロクロナデ 輪轆痕 ケズリ	-	
235-11	PL96	990	5	SB5011	埋土	上・SB5011 No.35, No.37, 7, 11 SB5011 下・SB5011 No.24, 7, 11, SB5011	古代	土師	甕	口縁部 ~胴部 ~底部	30%	<22.0>	-	31.7	(541.5) (117.3)	<22.7>	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	白色粒子・灰色粒 子・多、赤褐色粒 子・黄白色粒子・ 黒色粒子・径 2~5mm・礫・微	良	ロクロナデ 沈線 輪轆痕 平行タタキ	ロクロナデ 沈線 輪轆痕 平行タタキ	-	
235-12	PL95	987	5	SB5011	埋土	SB5011 No.13	古代	須恵	甕	胴部 ~肩部	10%	-	-	(18.1)	(958.4)	-	N4/0 灰	5Y5/1 灰	白色粒子・黒色粒 子・灰色粒子・微	良	ロクロナデ 平行タタキのち ナデ	ロクロナデ 平行タタキのち ナデ	-	
236-1	PL96	1003	5	SB5016	埋土	SB5016 No.2 SB5016	古代	土師	環	口縁部 ~底部	40%	<14.2>	<7.6>	5.3	116.2	-	7.5Y6/4 にふい・黄緑	N1.5/0 黒	白色粒子・黄白色 粒子・灰色粒子・ 黒色粒子・径 少	良	ロクロナデ 摩耗 手持ちケズリ	ミガサ摩耗 黒色処理	-	
236-2	PL96	1000	5	SB5016	埋土	SB5016 No.7	古代	須恵	蓋	ツマミ部 ~口縁部	60%	13.0	-	3.0	115.1	-	7.5Y4/1 灰	2.5Y4/1 黄灰	白色粒子・黄白色 粒子・赤褐色粒子・ 灰色粒子・径 2mm・礫・微	良	ロクロナデ 回転ケズリ	ロクロナデ	-	
236-3	PL96	1001	5	SB5016	埋土	SB5016 No.6	古代	須恵	蓋	ツマミ部 ~口縁部	50%	13.5	-	2.8	119.8	-	5Y4/1 褐灰	10YR4/1 褐灰	白色粒子・灰色粒 子・赤褐色粒子・ 褐色粒子・径 2~3mm・礫・微	良	ロクロナデ 回転ケズリ	ロクロナデ	-	
236-4	PL96	1002	5	SB5016	埋土	SB5016	古代	須恵	蓋	ツマミ部 ~口縁部	30%	<13.6>	-	2.2	(76.8)	-	N5/0 灰	5Y4/1 灰	白色粒子・黒色粒 子・灰色粒子・黄 白色粒子・径2~ 3mm・礫・微	良	ロクロナデ 回転ケズリ	ロクロナデ	-	
236-5	PL96	2284	5	SB5016	埋土	SB5016	古代	須恵	蓋	ツマミ部 ~体部	20%	-	-	(3.7)	(82.0)	-	5Y5/1 灰	5Y5/1 灰	白色粒子・灰色 粒子・黒色粒子・ 径2mm・微	良	ロクロナデ 回転ケズリ	ロクロナデ	-	
236-6	PL96	999	5	SB5016	埋土	SB5016	古代	須恵	台付環	口縁部 ~高台部	10%	<10.0>	<7.4>	4.0	14.7	-	7.5YR3/3 暗褐	7.5YR3/3 暗褐	黄白色粒子・黒色 粒子・微	良	ロクロナデ 高台貼付のち ロクロナデ	ロクロナデ 高台貼付のち ロクロナデ	-	
236-7	PL96	998	5	SB5016	埋土	SB5016 No.10 SB5016	古代	須恵	台付環	口縁部 ~高台部	20%	<11.9>	8.7	3.8	(86.7)	-	7.5Y4/1 灰	10YR3/3 暗褐	白色粒子・黄白色 粒子・灰色粒子・ 黒色粒子・径 2~3mm・礫・微	良	ロクロナデ 回転ケズリ	ロクロナデ 回転ケズリ	-	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	内面着色	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置 (所属遺構・地点名は省略)						注記記号 (所属遺構・地点名は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm									
236-8	PL96	997	5	SB5016	埋土	SB5016 No.4	古代	須恵 台付環	口縁部 ～高台部	80%	11.7	8.3	3.5	122.0	—	5Y4/1 灰	7.5Y4/1 灰	白色粒子・黄白色 粒子少、黒色粒 子・径2～3mm 微	良	ロクロナデ 回転系切りのち 回転ナデ 高台貼付のちナ デ	ロクロナデ	—	
236-9	PL96	1005	5	SB5016	埋土	SB5016 No.1 SB5016	古代	須恵 土師 甕	胴部 ～胴部	30%	—	(10.5)	(97.9)	<14.0>	—	10YR5/3 にぶい黄褐色	10YR6/6 橙	赤褐色粒子・灰色 粒子・黒色粒子・ 白色粒子・径2～ 4mm 微	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
236-10	PL96	1004	5	SB5016	埋土	SB5016 No.3 SB5016	古代	須恵 土師 甕	胴部 ～胴部	20%	—	(22.6)	(315.0)	<21.6>	—	10YR5/3 にぶい黄褐色	10YR5/4 にぶい黄褐色	黒色粒子・白色粒 子・黄白色粒子・ 赤褐色粒子・石英・ 径2mm 微	良	ロクロナデ 回転系切りのち ナデ ハケ ケズリ	ロクロナデ ナデ ナデ ナデ ナデ	—	
238-1	PL96	1027	5	SB5021	埋土 床	SB5021 P5No.1. 床	古代	須恵 環	口縁部 ～底部	40%	<12.1>	5.8	3.8	92.6	—	10Y5/1 灰	10Y5/1 灰	黄白色粒子・白色 粒子 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	
238-2	PL96	1029	5	SB5021	埋土	SB5021 No.12	古代	須恵 環	口縁部 ～底部	20%	<12.8>	<5.0>	4.4	(162.5)	—	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6 橙	赤褐色粒子・白色 粒子・黒色粒子・ 灰色粒子・黄白色 粒子・石英・径 2mm 微	良	ロクロナデ 手持ちケズリ 回転系切り	ロクロナデ	—	
238-3	PL96	1028	5	SB5021	埋土	SB5021	古代	須恵 環	口縁部 ～体部	20%	<14.4>	—	(3.7)	(36.4)	—	7.5YR5/4 にぶい褐色	10YR5/4 にぶい黄褐色	黒色粒子・褐色粒 子 微	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
238-4	PL96	1032	5	SB5021	埋土	SB5021 No.2	古代	土師 環	口縁部 ～底部	70%	12.2	5.6	3.0	(115.5)	—	7.5YR7/4 にぶい橙	7.5YR7/4 にぶい橙	赤褐色粒子・黄白 色粒子・黒色粒子・ 灰色粒子・灰色粒 子 微、石英 少	良	ロクロナデ 回転系切り 摩耗	ロクロナデ 摩耗	—	
238-5	PL96	1031	5	SB5021	埋土	SB5021 No.1	古代	土師 環	口縁部 ～底部	20%	<13.3>	<6.6>	4.3	75.0	—	10YR7/3 にぶい黄褐色	N1.5/0 黒	白色粒子 少、灰 色粒子・赤褐色粒 子・黒色粒子・雲 母 微	やや 不良	ロクロナデ 手持ちケズリ 摩耗	ミガキ摩耗 黒色処理	—	
238-6	PL96	1030	5	SB5021	埋土	SB5021 No.8、火2	古代	土師 環	口縁部 ～底部	10%	<16.2>	<6.8>	4.9	(59.0)	—	7.5YR7/4 にぶい橙	N1.5/0 黒	灰色粒子 少、白 色粒子・黒色粒子・ 赤褐色粒子・石 英 微	良	ロクロナデ 手持ちケズリ 摩耗	ミガキ摩耗 黒色処理	—	
238-7	PL96	1033	5	SB5021	埋土	SB5021 No.20	古代	土師 甕	口縁部 ～胴部	10%	<11.4>	—	(7.5)	28.7	<12.0>	10YR6/4 にぶい黄褐色	10YR6/4 にぶい黄褐色	黒色粒子・白色 粒子・赤褐色粒 子・石英 少	良	ロクロナデ 回転系切り 摩耗	ロクロナデ 摩耗	—	
238-8	PL96	1034	5	SB5021	埋土	上 SB5021 No.9 SB5021 下 SB5021 No.18、No.24 SB5021	古代	土師 甕	口縁部 ～胴部	10%	<22.3>	—	(20.2)	(244.3) (273.3)	<21.0>	5YR7/6 橙	5YR6/6 橙	黒色粒子・赤褐色 粒子 微、白色 粒子・灰色粒子 少、石英 微	良	ロクロナデ カキ×摩耗 ケズリ	ロクロナデ 摩耗	—	
239-1	PL96	1041	5	SB5023	埋土	SB5023	古代	須恵 環	口縁部 ～底部	20%	<12.3>	<6.2>	3.8	39.6	—	10Y5/1 灰	10Y5/1 灰	白色粒子・灰色粒 子・黒色粒子・黄 白色粒子 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	
239-2	PL96	1035	5	SB5023	埋土 床	SB5023 床 SB5023	古代	須恵 環	口縁部 ～底部	30%	<12.6>	<6.4>	3.7	(138.1)	—	2.5Y7/1 灰白	2.5Y6/1 黄灰	白色粒子・黒色粒 子・灰色粒子・径 2～3mm 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	
239-3	PL96	1038	5	SB5023	埋土 床	SB5023 床 SB5023	古代	須恵 環	口縁部 ～底部	20%	<12.8>	<5.6>	3.6	(129.6)	—	5Y6/1 灰	2.5Y6/1 黄灰	灰色粒子・白色粒 子・黒色粒子・黄 白色粒子 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	
239-4	PL96	1040	5	SB5023	埋土	SB5023	古代	須恵 環	口縁部 ～底部	20%	<12.6>	<6.0>	4.2	(52.1)	—	10YR4/1 灰	10YR5/1 灰	黒色粒子・黄白色 粒子・白色粒子 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	
239-5	PL96	1037	5	SB5023	埋土 床	SB5023 No.19、床	古代	須恵 環	口縁部 ～底部	40%	<12.5>	5.9	3.7	(126.5)	—	5Y7/1 灰白	2.5Y7/1 灰白	白色粒子・灰色粒 子・黒色粒子・褐 色粒子 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整	赤彩	備考					
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記記号 (所属遺構・地点名は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm						重量 g	胴部最大径 cm	外面色調	内面色調	胎土
242-19	PL97	1092	5	SB5027	埋土	SB5027	古代	土師	環	口縁部 ～底部	40%	<12.7>	5.0	4.0	54.7	—	10YR6/3 にぶい黄橙	N1.5/O 黒	赤褐色粒子・白色 粒子 微	良	ロクロナデ 摩耗 ケズリ? 回転系切り	ミガキ 摩耗 黒色処理	—	
242-20	PL97	1093	5	SB5027	埋土	SB5027	古代	土師	環	口縁部 ～底部	40%	<13.8>	6.4	4.1	(83.6)	—	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR17/1 黒	白色粒子・石英 微、赤褐色粒子 少	良	ロクロナデ 摩耗 回転系切り	ミガキ 放射状ミガキ 黒色処理	—	
242-21	PL97	1094	5	SB5027	埋土	SB5027	古代	土師	環	口縁部 ～底部	20%	<13.8>	<6.6>	4.0	(37.7)	—	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR2/1 黒	赤褐色粒子・白色 粒子 微	良	ロクロナデ 摩耗 回転系切り	ミガキ 摩耗 黒色処理	—	
242-22	PL97	1096	5	SB5027	埋土	SB5027 747' No.13	古代	土師	環	口縁部 ～底部	30%	<17.0>	<7.2>	5.1	122.4	—	5YR6/6 橙	10YR1.7/1 黒	赤褐色粒子・白色 粒子・石英・角閃 石・径2～4mm 微	良	ロクロナデ 摩耗 ケズリ	ミガキ 放射状ミガキ 黒色処理	—	内面付着物
242-23	PL97	1097	5	SB5027	埋土 床	SB5027 747' No.5 747' 床下 SB5027	古代	土師	環	口縁部 ～底部	80%	16.8	7.2	4.8	(274.9)	—	7.5YR5/4 にぶい濁	7.5YR17/1 黒	赤褐色粒子・黒褐 色粒子・石英・後 4mm礫 微、褐 色粒子 少	良	ロクロナデ ケズリ	ミガキ 摩耗 黒色処理	—	
242-24	PL97	1089	5	SB5027	埋土	SB5027 No.22	古代	須恵	蓋	ソマミ部 ～口縁部	80%	14.4	—	3.1	139.1	—	2.5Y6/2 灰黄	2.5Y6/1 黄灰	白色粒子・黒色粒 子 微	良	ロクロナデ 回転ケズリ ソマミ貼付け ナデ	工具による回転 ナデ	—	
242-25	PL97	1088	5	SB5027	埋土	SB5027 No.23	古代	須恵	蓋	ソマミ部 ～口縁部	80%	14.7	—	2.9	(190.6)	—	10YR4/1 褐色	10YR5/1 褐色	白色粒子 微	良	ロクロナデ 回転ナデ	ロクロナデ	—	
242-26	PL97	1087	5	SB5027	埋土	SB5027 747' No.4	古代	須恵	台付環	口縁部 ～高台部	70%	<9.2>	5.6	4.9	103.6	—	N5/O 灰	N5/O 灰	黒色粒子・石英 微、白色粒子 少	良	ロクロナデ 回転ナデ	ロクロナデ	—	
242-27	PL97	1085	5	SB5027	埋土	SB5027 747' No.2 747' No.3	古代	須恵	台付環	口縁部 ～高台部	60%	14.5	8.7	6.8	285.8	—	2.5Y6/2 灰黄	2.5Y6/2 灰黄	白色粒子・石英・ 径2mm礫 微	良	ロクロナデ 回転ケズリ	ロクロナデ	—	
242-28	PL97	1086	5	SB5027	埋土	SB5027	古代	須恵	台付環	口縁部 ～高台部	30%	<14.8>	<8.4>	6.2	(284.1)	—	2.5Y5/2 暗灰黄	2.5Y5/2 暗灰黄	褐色粒子・白色 粒子・径～3mm 礫 微	良	ロクロナデ 回転系切り 高台貼付け ナデ	ロクロナデ	—	
242-29	PL97	1101	5	SB5027	埋土	SB5027	古代	須恵	壺	口縁部 ～頸部	10%	<5.8>	—	(3.3)	9.0	—	2.5Y4/1 黄灰	2.5Y5/1 黄灰	白色粒子 微	良	ロクロナデ 自然釉	ロクロナデ	—	
242-30	PL97	1099	5	SB5027	埋土	SB5027 747' No.24. 747' No.30, 747' No.37, 747' No.38, 747' No.39, 747' SB5027	古代	土師	甕	口縁部 ～底部	50%	<10.8>	6.8	12.8	(244.2)	<13.0>	10YR5/3 にぶい黄橙	10YR6/3 にぶい黄橙	径4mm 礫、赤 褐色粒子・白色粒 子・石英 少	良	ロクロナデ 摩耗 回転系切り	ロクロナデ 摩耗	—	
242-31	PL97	1098	5	SB5027	埋土 床	SB5027 747' No.22. 747' No.23, 747' No.33, 床下	古代	土師	甕	口縁部 ～底部	80%	13.3	7.1	12.3	(400.5)	13.2	2.5YR5/4 にぶい赤褐	7.5YR7/3 にぶい橙	赤褐色粒子・白色 粒子・径2mm 礫 微、石英 多	良	ロクロナデ 回転系切り	ナデ	—	
242-32	PL97	1100	5	SB5027	埋土	SB5027	古代	土師	甕	口縁部 ～胴部	20%	<15.6>	—	(13.6)	(113.1)	<16.3>	7.5YR4/3 褐	7.5YR4/2 灰褐	赤褐色粒子・黒褐 色粒子・白色粒子・ 角閃石 微、褐色 粒子 少	良	ロクロナデ ケズリ	ロクロナデ 回転系切り 工具によるナデ?	—	
242-33	PL97	1104	5	SB5027	埋土 床	SB5027 747' No.19. 747' No.40, 747' No.42, 747' No.44, 747' 床下	古代	土師	甕	口縁部 ～胴部	20%	<22.5>	—	(22.7)	(380.9)	<22.8>	5YR6/6 橙	5YR5/4 にぶい赤褐	白色粒子・黒色粒 子・石英・径2～ 5mm 礫 微、赤 褐色粒子 少	良	ロクロナデ 輪軸直 ロクロナデのち ケズリ 摩耗	ハケのちナデ 摩耗 ロクロナデのち カキメ ハケ	—	
242-34	PL97	1103-1	5	SB5027	埋土 床	SB5027 747' No.14. 747' No.15, 747' No.17, 747' No.21, 747' 床下 SB5027	古代	土師	甕	口縁部 ～胴部	10%	<23.0>	—	(10.9)	112.7	—	10YR5/2 灰黄褐	10YR6/3 にぶい黄橙	赤褐色粒子・白 色粒子・径4mm 礫 微、褐色粒 子・石英 少	良	ロクロナデ ケズリ	ハケ ハケのちナデ	—	
242-35	PL97	1103-2	5	SB5027	埋土 床	SB5027 747' No.15, 747' No.17, 747' No.21, 747' 床下 SB5027	古代	土師	甕	口縁部 ～底部	20%	—	<4.0>	17.7	(617.6)	—	10YR5/2 にぶい黄橙	10YR6/3 にぶい黄橙	赤褐色粒子・白 色粒子・径4mm 礫 微、褐色粒 子・石英 少	良	ロクロナデ ケズリ	ハケ ハケのちナデ	—	
243-1	PL98	1105	5	SB5029	埋土	SB5029 747' . SB5029	古代	須恵	環	口縁部 ～底部	50%	<11.6>	5.9	3.5	(70.0)	—	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	白色粒子 微	良	ロクロナデ 回転系切り	ロクロナデ	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				器種	種類	時期	種類	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (脚底遺構・地点名 は省略)							口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g								
243-2	PL98	1107	5	SB5029	埋土	SB5029 No.3	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	20%	<13.1>	<6.0>	4.3	42.4	-	10YR7/2 にぶい黄橙	10YR7/2 白色粒子・褐色粒 子・石英 微	良	ロクロナデ 回転糸切り?	ロクロナデ	-		
243-3	PL98	1106	5	SB5029	埋土	SB5029 No.5	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	60%	12.1	5.8	3.4	85.7	-	2.5Y7/1 灰白	褐色粒子・白色粒 子・径2mm 微 白・黒色粒子 少	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	-		
243-4	PL98	1108	5	SB5029	埋土	SB5029 No.6, SB5029	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	20%	<12.9>	<6.0>	3.95	45.5	-	5Y7/1 灰白	白色粒子・黒褐色 粒子 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	-	外面黒書	
243-5	PL98	1110	5	SB5029	埋土	SB5029 灰F No.5	古代	土師	鉢	口縁部 ~胴部	10%	<34.0>	-	(11.2)	84.8	-	7.5YR6/6 橙	白色粒子・赤褐色 粒子・石英 微	良	ロクロナデ ケズリのちナデ	ロクロナデ カキメ	-		
243-6	PL98	1109	5	SB5029	埋土	SB5029 灰F No.6	古代	土師	皿	口縁部 ~底部	100%	11.7	7.1	1.9	118.2	-	7.5YR2/1 黒	白色粒子 多	良	摩擦不明 回転糸切り?	ハケのちミガキ 摩擦 黒色処理	-		
243-7	PL98	1112	5	SB5029	埋土	SB5029 灰F No.4 10.11.12.17.20	古代	土師	囊	口縁部 ~底部	30%	<22.4>	-	28.5	(822.4)	<24.6>	5YR6/6 橙	白色粒子・黒褐色 粒子・石英・径2 ~3mm 微	良	ロクロナデ 摩擦 ケズリ 摩擦 黒色処理	ロクロナデ 摩擦 ハケ	-	狂痕	
243-8	PL98	1111	5	SB5029	埋土	SB5029 No.1, SB5029	古代	土師	囊	口縁部 ~底部	90%	22.2	3.1	29.7	(2070.0)	24.4	10YR7/3 にぶい黄橙	白色粒子・赤褐色 粒子 微、石英 少	良	ロクロナデ 工具痕 ケズリのち工具 によるナデ ススミ付着	ロクロナデ 工具痕	-		
238-1	PL98	1129	5	SB5032	埋土	SB5032	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	20%	<11.9>	<5.6>	3.8	29.1	-	2.5Y7/1 灰白	白色粒子・黒色粒 子・石英 微	良	ロクロナデ 摩擦 剥離 回転糸切り 摩擦	ロクロナデ 摩擦 剥離	-		
238-2	PL98	1128	5	SB5032	埋土 床	SB5032 床 SB5032	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	50%	<12.7>	6.6	4.2	(99.6)	-	5Y7/1 灰白	白色粒子・黒色粒 子・石英・径2~ 3mm 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	-		
238-3	PL98	1130	5	SB5032	埋土	SB5032 灰F 床	古代	土師	環	口縁部 ~底部	30%	<14.0>	<6.6>	4.2	32.2	-	10YR7/3 にぶい黄橙	赤褐色粒子・白色 粒子・石英・径 2mm 微	良	ロクロナデ 摩擦 回転糸切り 摩擦 黒色処理	ナデ ミガキ 摩擦 黒色処理	-		
238-4	PL98	1131	5	SB5032	埋土	SB5032	古代	土師	皿	底部 ~高台部	30%	-	6.1	(1.8)	39.4	-	2.5Y3/1 黒褐	褐色粒子・白色粒 子・石英 微	良	ミガキ 摩擦 回転糸切り 高台貼付けのち ナデ 黒色処理	ミガキ 摩擦 黒色処理	-		
238-5	PL98	1133	5	SB5032	埋土	SB5032 No.5	古代	須恵	長頸壺	胴部 ~底部	20%	<10.4>	-	(14.2)	542.3	<17.0>	N4/0 灰	白色粒子・径2~ 4mm 微	良	ロクロナデ 回転糸切り 高台貼付けのち ナデ 自然釉	ロクロナデ	-		
238-6	PL98	1132	5	SB5032	埋土 床	SB5032 No.4, 床 SB5032	古代	土師	囊	口縁部 ~底部	10%	<11.9>	-	(5.5)	(83.7)	-	2.5YR5/6 明赤褐	赤褐色粒子・白色 粒子・石英・角四 石・径2~4mm 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	-		
-	PL98	1134	5	SB5032	埋土	SB5032	古代	緑釉 陶器	碗	口縁部	5%	-	-	-	1.9	-	7.5Y7/3 浅黄	-	良	釉	釉	-	写真のみ	
244-1	PL98	1138	5	SB5036	埋土	SB5036 床	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	30%	<12.7>	<6.2>	4.3	46.4	-	2.5Y4/1 黄灰	赤褐色粒子・白色 粒子・石英 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	-	底部磨滅	
244-2	PL98	1137	5	SB5036	埋土	SB5036	古代	須恵	環	口縁部 ~底部	90%	13.5	6.0	4.0	124.2	-	2.5Y6/1 黄灰	赤褐色粒子・白色 粒子・4 黒色粒子・ 藍子 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	-		
244-3	PL98	1139	5	SB5036	埋土	SB5036 No.14	古代	土師	環	口縁部 ~底部	100%	13.4	5.4	4.5	195.7	-	10YR5/3 にぶい黄橙	赤褐色粒子・白色 粒子・石英・径2 ~3mm 微	良	ナデ ケズリ 回転糸切り ケズリ	ミガキ 摩擦 黒色処理	-	底部へラ描 き	
244-4	PL98	1140	5	SB5036	埋土	SB5036 No.8	古代	土師	環	口縁部 ~底部	90%	14.0	5.3	4.5	(168.8)	-	7.5YR7/4 にぶい橙	赤褐色粒子・白色 粒子・石英・径 2mm 微	良	ロクロナデ 摩擦 回転糸切り 摩擦	ミガキ 摩擦 黒色処理 放射状ミガキ 黒色処理	-		

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考	
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記番号 (附属遺構・地点名 は省略)	口径 cm	底高 cm	器高 cm							重量 g
244-5	PL98	1142	5	SB5036	埋土	SB5036 灰土 No.23.灰土 No.29~ 31.灰土 No.33~35. 灰土 No.38~40.灰土 SB5036	古代	土師	口縁部 ~胴部	30%	<24.0>	—	(23.1)	(909.5)	<24.2>	7.5YR7/3 にぶい、橙	7.5YR6/3 にぶい、濁	白色粒子・石英・ 径2mm 礫 微、 赤褐色粒子 少	ロクロナデ 輪転直 ハケ 摩耗	—	
244-6	PL98	1141	5	SB5036	埋土	SB5036 灰土 No.18.灰土 No.21.灰 土 No.24~26.灰土 SB5036	古代	土師	口縁部 ~底部	90%	24.3	4.6	31.7	(1913.8)	24.2	7.5YR6/4 にぶい、橙	7.5YR7/6 にぶい、濁	白色粒子 微、 赤褐色粒子・石 英・径2~4mm 礫 少	ロクロナデ ハケ ナデ	—	外面ス入付 着
245-1	PL99	1146	5	SB5038	埋土	SB5038 No.8.No.9.No.10 SB5038	古代	須恵	口縁部 ~底部	90%	12.7	6.0	4.0	147.4	—	2.5Y7/1 灰白	10YR6/2 灰白	黒褐色粒子・白色 粒子・灰色粒子 微	ロクロナデ	—	
245-2	PL99	1147	5	SB5038	埋土	SB5038 灰土 SB5038	古代	須恵	口縁部 ~底部	20%	<12.6>	<6.0>	3.8	(55.3)	—	10YR6/2 灰濁	10YR6/2 灰濁	白色粒子・雲母 微	ロクロナデ	—	
245-3	PL99	1148	5	SB5038	埋土	SB5038 灰土 SB5038	古代	須恵	口縁部 ~底部	50%	13.1	5.3	3.9	(125.6)	—	10YR6/1 濁灰	10YR6/1 濁灰	赤褐色粒子・白色 粒子 微	ロクロナデ	—	
245-4	PL99	1149	5	SB5038	埋土	SB5038 No.7 SB5038	古代	土師	口縁部 ~底部	30%	<14.5>	6.6	5.8	(106.9)	—	10YR7/3 にぶい、黄橙	10YR2/1 黒	白色粒子・黒色粒 子・微、赤褐色 粒子・石英 少	ロクロナデ 摩耗 黒色処理	—	
245-5	PL99	1150	5	SB5038	埋土	SB5038 No.4 SB5038	古代	土師	口縁部 ~底部	30%	<14.8>	—	(5.1)	(162.4)	—	10YR7/2 にぶい、黄橙	2.5Y2/1 黒	褐色粒子・白色粒 子・石英 微	ロクロナデ ケズリ?	—	
245-6	PL99	1152	5	SB5038	埋土	SB5038 No.14.No.15 SB5038	古代	須恵	口縁部 ~頸部	20%	11.0	—	(6.1)	121.5	—	5YR5/2 灰濁	5YR5/2 灰濁	赤褐色粒子・白色 粒子 微	ロクロナデ 自然釉	—	
245-7	PL99	1151	5	SB5038	埋土	SB5038 No.17 SB5038	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<22.4>	—	(18.5)	(303.5)	—	7.5YR7/4 にぶい、橙	7.5YR7/4 にぶい、橙	褐色粒子・径2~ 5mm 礫 微、赤 褐色粒子・石英 少	ロクロナデ ケズリ	—	外面ゴダ? ス入付着 内面ス入付 着
247-1	PL99	1195	1	SD10	埋土	SD10	古代	須恵	体部 ~口縁部	10%	<14.6>	—	(1.8)	40.5	—	10YR5/1 濁灰	10YR6/1 濁灰	白色粒子・径2~ 3mm 礫 微	ロクロナデ	—	
248-1	PL99	2569	2	SD21	埋土	SD21	古代	土師	口縁部 ~底部	70%	<12.5>	5.4	4.4	(153.9)	—	7.5YR6/6 にぶい、橙	N2/0 黒	白色粒子・径2~ 3mm 礫 微、赤 褐色粒子・石英 多	ロクロナデ 摩耗 放射状ミガキ 黒色処理	—	
248-2	PL99	2573	2	SD21	埋土	SD21	古代	土師	口縁部 ~底部	30%	<13.6>	<5.4>	7.2	(71.5)	—	5YR5/4 にぶい、赤濁	7.5YR5/2 灰濁	石英・雲母 微、 白色粒子・赤褐色 粒子・径2~4m m 礫 少	ロクロナデ 摩耗 黒色処理	—	
248-3	PL99	2568	2	SD21	埋土	SD21	古代	土師	口縁部 ~底部	60%	<14.9>	6.0	5.7	180.7	—	7.5YR6/4 にぶい、橙	N2/0 黒	雲母・径2~5m m 礫 微、白色粒 子・赤褐色粒子・ 石英 多	ロクロナデ 摩耗 黒色処理	—	
248-4	PL99	2572	2	SD21	埋土	SD21	古代	土師	口縁部 ~底部	30%	<17.0>	6.9	4.9	(105.3)	—	7.5YR6/4 にぶい、橙	N2/0 黒	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・径2 ~3mm 礫 少	ロクロナデ 摩耗 ハケ?のちミガキ 黒色処理	—	
248-5	PL99	2577	2	SD21	埋土	SD21	古代	灰釉 陶器	口縁部 ~高台部	40%	<14.4>	<6.4>	2.8	60.7	—	7.5Y6/2 灰ナリー	7.5Y6/2 灰ナリー	白色粒子・径2m m 礫 微	ロクロナデ 高台貼り付けの チナデ 黒色処理	—	
248-6	PL99	2575	2	SD21	埋土	SD21	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<12.2>	—	(5.2)	20.8	—	7.5YR6/4 にぶい、黄濁	10YR5/3 にぶい、黄濁	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・径2 ~7mm 礫 微	ロクロナデ	—	
248-7	PL99	2574	2	SD21	埋土	SD21	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<25.9>	—	(10.4)	(72.5)	—	10YR6/4 にぶい、黄濁	10YR6/4 にぶい、黄濁	白色粒子 少、赤 褐色粒子・石英・ 雲母 多	ロクロナデ	—	
248-8	PL99	2576	2	SD21	埋土	SD21	古代	土師	胴部	—	—	—	77.3	—	—	7.5YR4/4 濁	7.5YR4/4 濁	赤褐色粒子 微、 白色粒子・石英・ 雲母 多	ロクロナデ 当て具痕ナデ	—	焼成後穿孔
249-1	PL99	1251	3	SD3014	埋土	SD3014	古代	土師	口縁部 ~底部	60%	12.2	<5.0>	3.1	(93.5)	—	5YR5/6 明赤濁	5YR5/6 明赤濁	赤褐色粒子・白色 粒子・黒色粒子・ 石英・径2mm 礫 微	ロクロナデ 回転系切り	—	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm						
249-2	PL99	1252	3	SD3014	埋土	SD3014	古代	土師 縁軸 器	口縁部 ~体部	20%	<13.4>	—	(3.9)	(44.4)	—	ロクロナデ 摩耗	ロクロナデ	—		
—	PL99	1250	3	SD3014	埋土	SD3014	古代	土師 縁軸 器	口縁部	5%	—	—	—	1.5	—	釉	釉	—	写真のみ	
—	PL99	2298	3	SD3014	埋土	SD3014	古代	土師 縁軸 器	口縁部	5%	—	—	—	1.1	—	釉	釉	—	写真のみ	
249-1	PL99	1257	3	SD3016	埋土	SD3016	古代	土師 須恵 器	体部 ~底部	20%	—	<5.4>	(2.7)	43.5	—	褐色粒子・石英 微	ロクロナデ 回転糸切り	—		
249-2	PL99	1256	3	SD3016	埋土	SD3016	古代	土師 須恵 器	口縁部 ~体部	10%	<11.8>	—	(3.3)	23.3	—	白色粒子・石英 微	ロクロナデ	—		
249-3	PL99	1254	3	SD3016	埋土	SD3016	古代	土師 須恵 器	口縁部 ~体部	10%	<12.9>	—	(3.3)	(16.6)	—	赤褐色粒子・白色 粒子・雲母・石英 微	ロクロナデ 摩耗	—		
249-4	PL99	1255	3	SD3016	埋土	SD3016	古代	土師 須恵 器	口縁部 ~体部	10%	<14.0>	—	(3.3)	23.7	—	白色粒子・径2mm 微	ロクロナデ	—		
249-5	PL99	1253	3	SD3016	埋土	SD3016 No.1	古代	灰釉 陶器	口縁部 ~底部	80%	14.5	6.4	2.4	(176.0)	—	白色粒子・径 2mm 微	ロクロケズリ 高台貼付けのち ナデ	—		
249-6	PL99	761	3	SD3016	埋土	SD3016 検	古代	土師 須恵 器	口縁部 ~頸部	10%	<13.8>	—	(5.3)	60.6	—	赤褐色粒子・白色 粒子・石英・径 5mm 微	ロクロナデ	—		
249-1	PL99	1258	3	SD3017	埋土	SD3017	古代	土師 須恵 器	体部 ~高台部	50%	—	7.0	(4.6)	(136.0)	—	赤褐色粒子 微、 雲母 少	ロクロナデ 回転糸切り	—		
249-2	PL99	1259	3	SD3017	埋土	SD3017	古代	土師 須恵 器	体部 ~高台部	10%	—	<7.8>	(3.0)	61.8	—	赤褐色粒子・白色 粒子・黒色粒子・ 雲母・石英 微	ロクロナデ 回転糸切り 高台貼付けのち ナデ 工具痕	—	底面へラ描 き	
250-1	PL99	2346	4	SD4020	埋土	SD4020 No.6	古代	須恵 器	口縁部 ~底部	50%	12.4	7.4	4.8	101.9	—	黒色粒子・石英・ 径3mm 微、 白色粒子 少	ロクロケズリ 回転糸切り	—		
252-1	PL99	2163	5	NP5001	埋土	NP5001	古代	須恵 器	胴部	—	—	—	—	112.6	—	灰白 N7/0	青濁線当て具 痕	—		
253-1	PL99	1316	2	SK86	埋土	SK86	古代	須恵 器	口縁部 ~底部	10%	<12.5>	<5.0>	3.4	(28.0)	—	黒褐色粒子・白色 粒子・径2mm 微	ロクロナデ	—		
253-2	PL99	1318	2	SK86	埋土	SK86	古代	土師 須恵 器	口縁部 ~底部	50%	<12.8>	6.1	4.1	(132.9)	—	赤褐色粒子・径 2mm 微	ロクロナデ 回転糸切り	—		
253-3	PL99	1317	2	SK86	埋土	SK86	古代	土師 須恵 器	口縁部 ~底部	60%	14.8	—	(4.8)	142.1	—	赤褐色粒子・白色 粒子・径2~4mm 微	ロクロナデ 回転ケズリ 回転糸切り 高台貼付けのち ナデ 黒色処理	—		
253-4	PL99	2299	2	SK86	埋土	SK86	古代	土師 須恵 器	底部	10%	—	<9.0>	2.2	31.0	—	赤褐色粒子・褐色 粒子・石英 微	ナデ	—		
255-1	PL99	1332	2	SK126	埋土	SK126 8~10層	古代	須恵 器	口縁部 ~底部	20%	<14.0>	<8.0>	4.0	56.0	—	赤褐色粒子・白色 粒子・径3mm 微	ロクロナデ	—		
255-2	PL99	2300	2	SK126	埋土	SK126	古代	須恵 器	高台部 ~底部	20%	—	10.7	(1.3)	123.1	—	赤褐色粒子・白色 粒子・黒色粒子・ 石英・径2mm 微	ロクロナデ 回転糸切り 高台貼付けのち ナデ	—	底部内面 に種子庄 痕?	
255-3	PL99	1333	2	SK126	埋土	SK126	古代	土師 須恵 器	口縁部 ~底部	20%	<18.9>	<8.0>	6.5	68.9	—	径2mm 微、 赤褐色粒子 少	ロクロナデ ケズリ 摩耗	—		
255-4	PL99	1334	2	SK126	埋土	SK126 8~10層	古代	須恵 器	口縁部 ~体部	10%	<19.9>	—	(7.5)	38.6	<20.0>	—	褐色粒子・径2 ~3mm 微、 白色粒子 少	ロクロナデ	—	
255-5	PL99	1335	2	SK126	埋土	SK126 No.1	古代	須恵 器	胴部 ~底部	50%	—	9.6	(12.5)	(533.9)	—	径2~3mm 微 微、白色粒子 少	ロクロナデ 回転ケズリ 高台貼付けのち ナデ	—		
255-1	PL99	1336	2	SK127	埋土	SK127 No.1, No.2, No.3 SK127	古代	須恵 器	口縁部 ~高台部	70%	<15.6>	10.2	4.7	(262.9)	—	2.5GY5/1 オリーブ灰	ロクロナデ 高台貼付けのち ナデ	—		

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記番号 (所属遺構・地点名 は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm									
257-1	PL99	1659	2	SK266	1層	SK266 1層	古代	土師	口縁部 ~底部	70%	<11.9>	5.8	3.0	71.8	-	10YR7/3 にぶい黄緑	10YR7/2 にぶい黄緑	赤褐色粒子・白色 粒子・黒色粒子・ 石英・径2~3mm m礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	-	
257-2	PL99	1658	2	SK266	5層	SK266 5層	古代	土師	口縁部 ~体部	20%	<15.7>	-	(4.8)	(49.9)	-	10YR6/3 にぶい黄緑	10YR5/2 灰黄褐	赤褐色粒子・白色 m礫 微	良	ミガキ 摩耗 黒色処理 ロクロナデ	ミガキ 摩耗 黒色処理 暗紋	-	
257-3	PL99	1657	2	SK266	埋土	SK266 No.5,TR	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<23.4>	-	(9.3)	(185.7)	-	5YR6/6 橙	7.5YR5/4 にぶい褐	赤褐色粒子・白色 粒子・黒色粒子・ 雲母・石英・径3 ~5mm礫 微	良	ロクロナデ 輪轉埴	ロクロナデ	-	
258-1	PL99	1705	2	SK268	埋土	SK268 No.1, No.3	古代	土師	口縁部 ~底部	90%	13.1	5.5	4.2	161.1	-	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR2/1 黒	赤褐色粒子・白色 粒子・黒色粒子・ 雲母・石英 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ミガキ 黒色処理	-	
258-2	PL99	1707	2	SK268	埋土	SK268 No.3	古代	土師	口縁部 ~底部	70%	14.8	<5.4>	4.3	(134.3)	-	7.5YR6/6 橙	7.5YR2/1 黒	赤褐色粒子・黒褐 色粒子・白色粒子・ 石英・径2~4mm m礫 微	良	ロクロナデ 摩耗 回転糸切り	ミガキ 摩耗 黒色処理	-	
257-1	PL100	1664	2	SK274	埋土	SK274 No.3	古代	土師	口縁部 ~底部	100%	11.4	4.9	3.3	127.7	-	10YR6/4 にぶい黄緑	10YR6/4	赤褐色粒子・黒褐 色粒子・白色粒子・ 雲母・石英 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	-	
257-2	PL100	1663	2	SK274	埋土	SK274 No.1 SB87	古代	土師	口縁部 ~底部	90%	14.2	5.6	5.1	238.6	-	7.5YR6/6 橙	7.5YR6/6	黒褐色粒子・白色 粒子・雲母 微、 赤褐色粒子 少	良	ロクロナデ 摩耗 回転糸切り	ミガキ？ 摩耗不明	-	
257-3	PL100	1662	2	SK274	埋土	SK274 No.5	古代	土師	口縁部 ~底部	70%	14.3	-	(4.5)	176.0	-	7.5YR7/4 にぶい橙	7.5YR7/4	赤褐色粒子・白色 粒子・黒色粒子・ 雲母・径2mm 礫 微	良	ロクロナデ 摩耗 剥離	ミガキ？ 摩耗不明 黒色処理？	-	
257-4	PL100	1661	2	SK274	埋土	SK274 No.8~10 SB87 P1, No.1	古代	土師	口縁部 ~高台部	90%	14.6	6.8	6.2	238.0	-	10YR7/4 にぶい黄緑	N2/0 黒	赤褐色粒子・石英 微、白色粒子・ 黒色粒子 少	良	ロクロナデのち 工具による回転 ナデによる摩耗 高台貼り付けのち ナデナデ	ミガキ 摩耗 黒色処理	-	内外面附着 物
257-5	PL100	1665	2	SK274	埋土	SK274 No.2, No.7	古代	土師	口縁部 ~胴部	10%	<19.8>	-	(8.0)	180.0	-	7.5YR7/4 にぶい橙	5YR5/6 明赤褐	黒褐色粒子・白色 粒子・石英・径2 ~3mm礫 微、 赤褐色粒子 少	良	ロクロナデ 輪轉埴 ケズリ	ロクロナデ	-	
259-1	PL100	2587	2	SK283	埋土	SK283	古代	土師	口縁部 ~体部	20%	<12.4>	-	(3.3)	20.5	-	7.5YR6/4 にぶい橙	N2/0 黒	白色粒子・雲母・ 径2~4mm礫 微、赤褐色粒子・ 石英 少	良	ロクロナデ ケズリ 黒色処理	ミガキ 摩耗 黒色処理	-	
259-2	PL100	2586	2	SK283	埋土	SK283 No.1・2・3	古代	土師	口縁部 ~高台部	90%	13.8	6.2	2.8	137.2	-	2.5Y7/1 灰白	(軸)5Y6/2 灰オリーブ	白色粒子 微	良	ロクロナデ 回転糸切り？の ち回転ナデ 軸	ロクロナデ	-	
260-1	PL100	2604	2	SK324	埋土	SK324 No.1	古代	土師	口縁部 ~高台部	70%	<12.4>	8.8	3.9	167.9	-	5Y6/1 灰	5Y6/1	石英・径3~5mm 礫 微、白色粒 子 多	良	高台貼り付けの ちナデケズリ 回転糸切り	ロクロナデ	-	外面底部墨 書
260-2	PL100	2607	2	SK324	埋土	SK324	古代	土師	口縁部 ~高台部	10%	-	<9.4>	(2.1)	41.7	-	2.5Y7/1 灰白	(軸)5Y6/2 白色粒子・径2mm 礫 微	白色粒子・赤褐色 粒子 微、石英 少	良	高台貼り付けの ちナデケズリ 回転糸切り？の ちナデ	ロクロナデ	-	
260-3	PL100	2608	2	SK324	埋土	SK324	古代	土師	口縁部 ~高台部	5%	-	-	-	21.7	-	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4	白色粒子・赤褐色 粒子 微、石英 少	良	高台貼り付けの ちナデケズリ 回転糸切り	ロクロナデ	-	
261-1	PL100	1370	3	SK3426	2層	SK3426 2層	古代	土師	口縁部 ~体部	20%	<11.4>	-	(3.3)	19.0	-	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR4/1 褐灰	赤褐色粒子 少 赤褐色粒子 少	良	ロクロナデ 摩耗	ロクロナデ	-	
261-2	PL100	1369	3	SK3426	2層, 3層	SK3426 2層, 3層	古代	土師	口縁部 ~底部	30%	<12.6>	5.0	3.7	63.2	-	5YR6/8 橙	5YR6/6	白色粒子・石英・ 径3mm以下礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り	ロクロナデ	-	
261-3	PL100	1371	3	SK3426	埋土	SK3426	古代	土師	口縁部 ~底部	30%	<13.0>	<4.0>	3.9	42.4	-	7.5YR7/6 橙	7.5YR2/1 黒	白色粒子・赤褐 色粒子・石英・径 4mm礫 微	良	ロクロナデ 回転糸切り ナデ	ヨモミガキ 放射状ミガキ 黒色処理	-	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考			
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記記号 (所属遺構・地点名は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm							重量 g	胴部 最大径 cm	外面色調
264-7	PL100	1514	3	V A12	検出面	VA12検	古代	土師	口縁部 ~底部	20%	<29.4>	—	(7.3)	(401.4)	—	5YR4/4 にふい赤褐	5YR5/6 明赤褐	白色粒子・赤褐色 粒子・雲母・石英 微	良	ロクロナデ 回転ケズリ 高台貼付けナデ	ロクロナデ	—	
264-8	PL100	578	3	SB3001	検出面	SB3001 No.1.No.11.No.6-1, No.6-2.No.6-3, No.6-4.No.6-5, No.6-6.No.6-7 SB3001	古代	須恵	口縁部 ~底部	60%	<22.5>	11.1	18.5	(1387.2)	(24.3)	N4/ 灰	N4/ 灰	白色粒子・黒色 粒子・径3mm 礫 微	良	ロクロナデ 輪軸み痕 工具によるナデ	ロクロナデ	—	
264-9	PL100	1594	5	II C22	検出面	II C22 No.1	古代	須恵	外面限	30%	<13.2>	—	(3.3)	184.5	—	N6/1 灰	N6/1 灰	径2mm 礫 微、 白色粒子 少	良	ナデ ケズリ? 摩耗 磨滅 自然釉	ナデ	—	長方形の透 し?
264-10	PL100	576	3	SB3001	検出面	SB3001 No.10	古代	須恵	外面限	10%	—	<17.3>	(7.1)	89.2	—	10YR4/1 褐灰	10YR4/1 褐灰	白色粒子 微	良	回転ナデ 隆起貼付け 自然釉	回転ナデ 自然釉	—	
264-11	PL100	1565	3	—	第2検出面	3b2検II a 層	古代	須恵	土器片 加工版	—	口径 4.0	厚さ 0.5	4.0	13.0	—	2.5Y6/1 黄灰	5Y6/1 灰	白色粒子 微	良	回転ケズリ	ロクロナデ	—	

第23表 中世土器一覽

図版番号	写真図版 管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				外面色調	内面色調	胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
		地区	遺構・地点	層位・位置 (所属遺構・地点名 は省略)	注記記号 (備置番号・地点名 は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g								
290-1	PL100	3	ST3004 Pr2	埋土	SK3023	中世	Ⅲ	体部～ 底部	20%	<5.0>	(1.7)	21.2	—	10YR7/2 にぶい黄褐色	10YR7/2 にぶい黄褐色	石英微	良	釉 回転ナデ	釉 回転ナデ	—		
293-1	PL100	2	SD1	埋土	SD1西辺ⅢK18	中世	Ⅲ	口縁部 ～底部	90%	(7.2)	(1.3)	(31.0)	—	7.5YR8/3 浅黄褐色	7.5YR8/3 浅黄褐色	白色粒子・赤褐色 粒子・雲母 微	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ 回転糸切り	—		
293-2	PL100	2	SD1	埋土	SD1西辺ⅢK18	中世	Ⅲ	口縁部 ～底部	50%	<7.3>	(1.3)	(30.0)	—	10YR7/3 にぶい黄褐色	10YR7/3 にぶい黄褐色	白色粒子・ 赤褐色粒子・石英・ 雲母 微	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ 回転糸切り	—		
293-3	PL100	2	SD1	埋土	SD1西辺ⅢK23	中世	Ⅲ	口縁部 ～底部	80%	7.5	1.5	(31.1)	—	10YR7/4 にぶい黄褐色	10YR7/4 にぶい黄褐色	白色粒子・ 赤褐色粒子・雲母・ 石英 微	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ 回転糸切り	—		
293-4	PL100	2	SD1	埋土	SD1西辺ⅢK18	中世	Ⅲ	口縁部 ～底部	80%	(7.5)	(1.5)	(38.3)	—	10YR8/2 灰白	10YR8/2 灰白	白色粒子・赤褐色 粒子・石英 微	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ 回転糸切り	—	動物?正裏有	
293-5	PL100	2	SD1	埋土	SD1西辺ⅢK23	中世	Ⅲ	口縁部 ～底部	40%	<7.6>	1.4	(33.6)	—	7.5YR8/3 浅黄褐色	7.5YR8/3 浅黄褐色	白色粒子・赤褐色 粒子・石英 微	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ 回転糸切り	—		
293-6	PL100	2	SD1	5層	SD1北辺ⅢL1+6 5層	中世	Ⅲ	口縁部 ～底部	40%	<7.3>	(1.5)	32.8	—	7.5YR7/6 黄褐色	7.5YR7/6 黄褐色	白色粒子・ 赤褐色粒子・ 後2mm礫 微	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ 回転糸切り	—		
293-7	PL100	2	SD1	埋土	ⅢU8-13 SD1	中世	Ⅲ	口縁部 ～底部	50%	5.6	1.6	26.2	—	7.5YR7/6 黄褐色	7.5YR7/6 黄褐色	白色粒子・赤褐色 粒子・雲母 微	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ 回転糸切り	—		
293-8	PL100	2	SD1	埋土	ⅢU3-8 SD1	中世	Ⅲ	口縁部 ～底部	30%	<7.5>	1.9	15.9	—	10YR6/4 にぶい黄褐色	10YR6/4 にぶい黄褐色	白色粒子・赤褐色 粒子 微・雲母 少	やや 不良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ 回転糸切り	—		
293-9	PL100	2	SD1	埋土	SD1西辺ⅢP23・ ⅢU3	中世	Ⅲ	口縁部 ～底部	30%	<8.2>	1.6	(31.8)	—	10YR8/3 浅黄褐色	10YR8/3 浅黄褐色	白色粒子・赤褐色 粒子・雲母 微	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ 不明	—		
293-10	PL100	2	SD1	埋土	SD1西辺ⅢK18	中世	Ⅲ	口縁部 ～底部	30%	<7.8>	1.6	(37.9)	—	10YR7/3 にぶい黄褐色	10YR6/2 灰	赤褐色粒子・ 石英 微・黄白色粒 子・黒色粒子・ カワ買鉱物 少	やや 不良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ 回転糸切り	—		
293-11	PL100	2	SD1	埋土	SD1西辺ⅢP3	中世	Ⅲ	口縁部 ～底部	30%	<7.7>	1.8	(48.9)	—	10YR7/3 にぶい黄褐色	10YR8/2 灰白	白色粒子・カワ買 鉱物 微・黄白色粒 子・赤褐色粒子 多	良	ナデ? 摩耗	ナデ? 摩耗	—		
293-12	PL101	2	SD1	埋土	ⅢU8SD1	中世	Ⅲ	口縁部 ～底部	30%	<10.6>	2.4	(29.8)	—	7.5YR7/6 黄褐色	7.5YR7/6 黄褐色	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・雲母・ 後2mm礫 微	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ 回転糸切り	—		
293-13	PL101	2	SD1	埋土	ⅢU8SD1, 2区表	中世	Ⅲ	口縁部 ～底部	40%	<10.3>	3.3	(56.9)	—	10YR8/4 浅黄褐色	10YR7/4 にぶい黄褐色	白色粒子・赤褐色 粒子・黒色粒 子・後4mm礫 微	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ 回転糸切り	—		
293-14	PL101	2	SD1	埋土	SD1西辺ⅢK18	中世	Ⅲ	口縁部 ～底部	20%	<10.8>	(2.5)	(92.8)	—	7.5YR8/3 浅黄褐色	7.5YR7/4 にぶい黄褐色	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・雲母・ 後2～3mm礫 微	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ 回転糸切り	—		
293-15	PL101	2	SD1	埋土	ⅢU8SD1	中世	Ⅲ	口縁部 ～底部	30%	<10.6>	2.8	(46.7)	—	7.5YR7/4 にぶい黄褐色	7.5YR7/4 にぶい黄褐色	白色粒子・石英・ 後3mm礫 微	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ 回転糸切り	—		
293-16	PL101	2	SD1	埋土	ⅢU8SD1	中世	Ⅲ	口縁部 ～底部	20%	<10.6>	2.8	(51.2)	—	7.5YR7/4 にぶい黄褐色	7.5YR7/4 にぶい黄褐色	白色粒子・ 赤褐色粒子・石英・ 後2mm礫 微	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ 回転糸切り	—		
293-17	PL101	2	SD1	埋土	ⅢU8SD1	中世	Ⅲ	口縁部 ～底部	20%	<11.2>	2.9	(42.9)	—	7.5YR7/4 にぶい黄褐色	7.5YR7/4 にぶい黄褐色	白色粒子・赤褐色 粒子・石英・雲母・ 後2mm礫 微	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ 回転糸切り	—		
293-18	PL101	2	SD1	埋土	SD1西辺ⅢK23	中世	Ⅲ	口縁部 ～底部	70%	<11.4>	2.3	(94.4)	—	10YR8/4 浅黄褐色	10YR7/4 にぶい黄褐色	白色粒子 微・赤褐 色粒子・カワ買鉱 物・後3mm礫 少・ 黄白色粒子 多	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ 回転糸切り	—		
293-19	PL101	2	SD1	埋土	SD1西辺ⅢP8	中世	Ⅲ	口縁部 ～底部	30%	<12.4>	2.5	(121.0)	—	7.5YR8/2 にぶい黄褐色	7.5YR8/2 にぶい黄褐色	白色粒子・ 赤褐色粒子・石英・ 雲母 微	良	回転ナデ 回転糸切り	回転ナデ 回転糸切り	—		

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考		
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記記号 (所属遺構・地点名は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm							重量 g	肩部 最大径 cm
293-20	PL101	1174	2	SD1	4層	SD1北辺ⅢL1・6 4層	中世	磁器	皿	口縁部 ～底部	20%	<9.7>	—	(2.0)	10YR8/2 灰白	2.5Y8/2 灰白	黄白色粒子 微	良	釉 ケズリ	釉	—	
293-21	PL101	2549	2	SD1	埋土	ⅢU13SD1表、 2区検	中世?	須恵	台付?	脚部	10%	<10.9>	—	(2.5)	2.5Y5/1 黄灰	N4/ 灰	白色粒子・ 径2～3mm礫 微	良	自然釉 ロクロナデ (脚内)ロクロナデ	—	—	
293-22	PL101	2315	2	SD1	3・4層	SD1西辺ⅢP13 3・4層	中世	須恵	壺	脚部～ 底部	10%	<10.0>	—	(4.6)	7.5YR4/4 褐	7.5YR4/2 灰褐	石部・オノ輝石物 少、白色粒子・黄白 色粒子 多	良	回轉ナデ ケズリのちナデ	ナデ	—	
293-23	PL101	2320	2	SD1	埋土	SD1西辺ⅢP23・ ⅢU3	中世	土師	盤?	体部	10%	—	—	(3.2)	7.5YR6/4 にぶい、黄緑	10YR7/3 にぶい、黄緑	褐色粒子・ 白色粒子・石英・ 雲母 微	良	ロクロ ナデのちミガキ? 摩耗 剥離	ロクロナデ	—	
293-24	PL101	2309	2	SD1	6層	SD1北辺ⅢL1・6 6層	中世	須恵	擂鉢	口縁部	5%	—	—	—	7.5Y6/1 灰	7.5Y6/1 灰	白色粒子・黒色粒 子・径2mm礫 微	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
293-25	PL101	2308	2	SD1	5層	SD1北辺ⅢL1・6 5層	中世	須恵	擂鉢	口縁部	5%	—	—	—	N6/0 灰	N6/0 灰	石英 微、黒色粒 子・白色粒子 少	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
293-26	PL101	2310	2	SD1	5層	SD1北辺ⅢL1・6 5層	中世	須恵	擂鉢	口縁部 ～体部	5%	—	—	—	5Y6/1 灰	5Y6/1 灰	黒色粒子・ 径2mm礫 微、 白色粒子 少	良	ロクロナデ	ロクロナデ	—	
293-27	PL101	2311-1	2	SD1	5層 16層	SD1北辺ⅢL1・6 5層、SD1 16層	中世	須恵	甕	口縁部 ～体部	5%	—	—	—	5Y4/1 灰	5Y4/1 灰	白色粒子・褐色粒 子・石英・雲母 微、 黒色粒子 少	良	ナデ ロクロナデ	ナデ ロクロナデ	—	
293-28	PL101	2352	2	SD1	埋土	ⅢU13SD1	中世	須恵	擂鉢	体部	5%	—	—	—	2.5Y5/1 黄灰	2.5Y5/1 黄灰	黒色粒子・石英・ 径2mm礫 微、 白色粒子 少	やや 不良	ナデ	ナデのち脚目	—	
293-29	PL101	2311-2	2	SD1	5層 16層	SD1北辺ⅢL1・6 5層、SD1 16層	中世	須恵	甕	体部	5%	—	—	—	5Y4/1 灰	5Y4/1 灰	白色粒子・褐色粒 子・石英・雲母 微、 黒色粒子 少	良	ナデ ロクロナデ	ロクロナデ 摩耗	—	
293-30	PL101	2312	2	SD1	埋土 4層	SD1北辺ⅢL1・6・4層、 SD1北辺ⅢK5・10	中世	須恵	擂鉢	体部	5%	—	—	—	N6/0 灰	N6/0 灰	石英 微、白色粒 子 少、黒色粒子 多	良	ロクロナデ	脚目 磨滅	—	
293-31	PL101	2316	2	SD1	埋土	SD1西辺ⅢP3	中世	須恵	甕	肩部	5%	—	—	—	2.5Y5/1 黄灰	2.5Y5/2 暗灰黄	白色粒子・ 褐色粒子 微、 径2～3mm礫 少	良	タタキのちナデ タタキ	タタキ	—	
294-32	PL101	2550	2	SD1	埋土	ⅢU18SD1表	中世	須恵	甕	胴部	5%	—	—	—	2.5Y5/1 黄灰	10YR6/2 灰黄褐	白色粒子・ 黒色粒子・石英 微	やや 不良	平行タタキ	平行・同心円? 当て具痕	—	
294-33	PL101	2547	2	SD1	埋土	ⅢU8SD1TR	中世	須恵	甕	胴部	5%	—	—	—	2.5Y5/1 黄灰	N4/0 灰	石英・径3mm礫 微、白色粒子 少	良	格子状タタキ	同心円当て具痕	—	
294-34	PL101	2318	2	SD1	6層	SD1西辺ⅢP13 6層	中世	須恵	甕	胴部	5%	—	—	—	5YR3/2 暗赤褐	5YR5/2 灰褐	白色粒子・黒色粒 子・径3mm礫 微	良	タタキ	当て具痕 ハケ	—	
294-35	PL101	2317	2	SD1	9層	SD1北辺ⅢL1・6 9層	中世	須恵	甕	胴部	5%	—	—	—	N5/0 灰	N6/0 灰	径3mm礫 微、 白色粒子 少、 黒色粒子 多	良	タタキ	当て具痕?	—	
294-36	PL101	1172	2	SD1	埋土	SD1北辺ⅢL1・ 6No.3	中世	土師	内耳鐏	口縁部 ～底部	20%	(30.6)	(28.2)	(17.0)	7.5YR4/3 褐	7.5YR5/4 にぶい、褐	白色粒子・褐色粒 子・径2～3mm 礫 微、雲母 少	良	ロクロナデ ケズリ? 摩耗	工具によるナデ? 摩耗	—	
—	PL101	1175	2	SD1	6層、埋土	SD1北辺、6層	中世	灰軸 陶器	甕	肩部	5%	—	—	—	5Y7/2 灰白	5Y8/1 灰白	—	良	ロクロナデ	釉	—	写真のみ
—	PL101	1176	2	SD1	埋土	SD1北辺	中世	磁器	碗	口縁部	5%	—	—	—	5GY7/1 明オリープ灰	5GY7/1 明オリープ灰	—	良	釉	釉	—	写真のみ
—	PL101	1177	2	SD1	埋土	SD1西辺	中世	陶器	皿	口縁部	5%	—	—	—	7.5Y6/2 灰オリープ	7.5Y6/2 灰オリープ	—	良	釉	釉	—	写真のみ
—	PL101	1192	2	SD1	埋土	SD1西辺	中世	磁器	碗	体部	5%	—	—	—	5YR7/1 明オリープ灰	5GY7/1 明オリープ灰	—	良	釉	釉	—	写真のみ
—	PL101	2551	2	SD1	埋土	ⅢU-13・18	中世	磁器	碗	体部	10%	—	—	3.4	釉 7.5Y6/2 灰オリープ	釉 7.5Y6/2 灰オリープ	—	良	釉	釉	—	写真のみ

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考	
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (所属遺構・地点名 は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g							肩部 最大径 cm
298-1	PL101	1328	2	SK101	埋土	SK101	中世	皿	口縁部 ～底部	70%	<7.8>	5.8	1.9	(38.3)	—	7.5YR8/3 浅黄緑	7.5YR8/3 浅黄緑	白色粒子・赤褐色 粒子・石英微	良	ロクロナデ	—	
298-2	PL101	1327	2	SK101	埋土	SK101	中世	皿	口縁部 ～底部	60%	<8.4>	<5.6>	2.15	(38.9)	—	10YR7/3 にぶい黄緑	10YR7/3 にぶい黄緑	白色粒子・赤褐色 粒子・石英微	良	摩擦不明	—	
298-3	PL101	1324	2	SK101	埋土	SK101	中世	皿	口縁部 ～底部	20%	<8.6>	<4.3>	1.9	14.4	—	10YR7/4 にぶい黄緑	10YR7/4 にぶい黄緑	聖母 黄白色 子・石英 カラ質礫物 少 赤褐色粒子 多	良	ナデ 回転糸切り	—	
298-4	PL101	1321	2	SK101	埋土	SK101	中世	皿	口縁部 ～底部	40%	<10.5>	<7.0>	2.9	44.4	—	10YR6/4 にぶい黄緑	10YR6/3 にぶい黄緑	赤褐色粒子・黒色 粒子・石英・聖母 カラ質礫物 微 黄白色粒子 少	良	回転ナデ 回転糸切り	—	
298-5	PL101	1326	2	SK101	埋土	SK101	中世	皿	口縁部 ～底部	30%	<11.1>	<6.8>	2.6	38.2	—	10YR7/4 にぶい黄緑	10YR7/4 にぶい黄緑	白色粒子・石英・ 聖母・径2～3mm 礫物 微 赤褐色粒子 少	良	摩擦不明	—	
298-6	PL101	1323	2	SK101	1+2層	SK101 1+2層	中世	皿	口縁部 ～底部	20%	<11.6>	<8.0>	2.8	16.7	—	10YR8/3 浅黄緑	10YR8/3 浅黄緑	カラ質礫物・径 3～5mm礫物 微 黄白色粒子・石英 少・赤褐色粒子 多	良	回転ナデ 回転糸切り	—	
298-7	PL101	1325	2	SK101	埋土	SK101	中世	鉢	口縁部	5%	—	—	—	24.9	—	N5/0 灰	N5/0 灰	白色粒子・ 黒色粒子・石英・ 径3mm礫物 微	良	ナデ 平打タタキ 摩擦	—	
298-8	PL101	1329	2	SK101	6層	SK101 6層	中世	罌鉢	口縁部 ～胴部	10%	<26.0>	<14.2>	(11.3)	231.8	—	5Y5/1 灰	5Y5/1 灰	石炭? 径4mm礫物 微 白色粒子 少	良	ロクロナデ ナデ 指圧痕	—	
300-1	PL102	1344	3	SK3012	埋土	SK3012	中世	皿	口縁部 ～底部	20%	<7.8>	<5.0>	1.7	15.0	—	2.5Y7/3 浅黄	2.5Y7/2 灰黄	赤褐色粒子 微・ 白色粒子・石英・ カラ質礫物 少・ 黄白色粒子 多	やや 不良	ナデ 摩擦 回転糸切り	—	
300-2	PL102	1343	3	SK3012	埋土	SK3012	中世	皿	口縁部 ～底部	50%	<9.8>	6.3	2.3	41.2	—	10YR7/4 にぶい黄緑	10YR7/4 にぶい黄緑	黄白色粒子・石英・ 聖母・カラ質礫物 少・赤褐色粒子 多	良	回転ナデ 回転糸切り	—	
300-3	PL102	1342	3	SK3012	埋土	SK3012	中世	内耳罌	口縁部 ～胴部	10%	<36.6>	—	(10.2)	204.4	—	10YR3/1 黒褐	10YR4/1 褐灰	石英・ 径5mm礫物 微・ 白色粒子・聖母 少	良	回転ナデ	—	外面コナ? スズ付着
301-1	PL102	1347	3	SK3046	埋土	SK3046	中世	罌	体部 ～底部	10%	—	<3.6>	(1.5)	10.2	—	2.5Y7/1 灰白	(軸)5X8/3 淡黄	—	良	軸 ナデ	—	
304-1	PL102	1383	3	SK3529	埋土	SK3529	中世	皿	口縁部 ～底部	90%	<6.5>	5.3	1.8	36.9	—	7.5YR7/4 にぶい黄緑	7.5YR7/4 にぶい黄緑	白色粒子・聖母 微・ 黄白色粒子・ 赤褐色粒子・石英・ カラ質礫物 少	良	ナデ 回転糸切り	—	
304-2	PL102	1384	3	SK3529	埋土	SK3529	中世	壺	口縁部 ～頸部	10%	3.8	—	(3.6)	24.8	—	10YR5/1 褐灰	(軸)5Y4/2 灰オリーブ	黄白色粒子 少	良	自然軸 回転ナデ	—	
305-1	PL102	1386	3	SK3546	埋土	SK3546	中世	皿	口縁部 ～底部	40%	<8.4>	<5.8>	1.7	22.4	—	10YR7/4 にぶい黄緑	10YR7/4 にぶい黄緑	径3mm礫物・ 白色粒子・黄白色 粒子・石英 少	良	回転ナデ 回転糸切り	—	
305-2	PL102	1385	3	SK3546	埋土	SK3546	中世	皿	口縁部 ～底部	50%	<8.4>	6.0	1.8	(28.9)	—	10YR7/3 にぶい黄緑	10YR7/3 にぶい黄緑	石炭 微・ 黄白色粒子 少	良	回転ナデ 回転糸切り	—	
306-1	PL102	1411	5	SK5033	1層	SK5033・1層	中世	須恵	口縁部 ～体部	10%	<29.1>	—	(9.4)	139.3	—	2.5Y5/2 暗灰黄	2.5Y6/2 灰黄	石炭 微・白色粒子・ 径2～3mm礫物 少	良	ナデ ハケのちナデ	—	
330-1	PL102	2127	4	遺構外	埋土	4a1a'	中世 ?	罌鉢	口縁部 ～体部	5%	—	—	—	56.9	—	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	黒色粒子・石英 微・ 白色粒子 少	やや 不良	ナデ 軸	—	写真のみ 面注文
—	PL102	1263	3	遺構外	埋土	SD3024	中世	罌	口縁部	5%	—	—	—	200	—	2.5CY6/1 オリーブ灰	2.5CY6/1 オリーブ灰	—	良	軸	—	

第24表 近世土器一覽

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記記号 (所属遺構・地点名は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g						
308-1	PL102	2323	1	SK68	埋土	SK68	近世以降	土師	ほうろく	口縁部～底部	10%	<36.0>	<33.3>	5.5	69.8	-	7.5YR4/2 灰褐色	7.5YR5/2 灰褐色	ナデ	-	-
311-1	PL102	1353	3	SK3165	埋土	SK3165	近世以降	陶器	擂鉢	胴部～底部	10%	-	<10.0>	(5.7)	201.5	-	2.5YR5/4 にぶい赤褐色	7.5YR5/4 断面 2.5Y7/1 灰白	軸 磨滅	-	-
313-1	PL102	1356	3	SK3183	埋土	SK3183	近世以降	陶器	碗	口縁部～体部	10%	<11.8>	-	(5.1)	16.4	-	断面 2.5Y7/1 灰白	断面 2.5Y7/1 灰白	軸	-	-
313-2	PL102	1355	3	SK3183	埋土	SK3183	近世以降	陶器	碗	体部～高台部	10%	-	<5.0>	(4.7)	36.7	-	断面 2.5Y8/1 灰白	断面 2.5Y8/1 灰白	軸	-	-
313-3	PL102	1358	3	SK3183	埋土	SK3183, SK3165	近世以降	陶器	皿	口縁部～体部	10%	<14.9>	-	(1.8)	27.3	-	断面 5Y8/1 灰白	断面 2.5Y7/1 灰白	軸	-	No.1359と同一か
313-4	PL102	1359	3	SK3183	埋土	SK3183	近世以降	陶器	皿	底部～高台部	10%	-	<7.3>	(9.1)	9.7	-	断面 5Y8/1 灰白	断面 2.5Y7/1 灰白	軸	-	No.1358と同一か
313-5	PL102	1357	3	SK3183	埋土	SK3183	近世以降	磁器	瓶	底部	10%	-	<6.6>	(3.3)	31.3	-	断面 5GY8/1 灰白	断面 7.5Y8/1 灰白	軸	-	高台砂粒付着
313-6	PL102	1360	3	SK3183	埋土	SK3183	近世以降	土師	ほうろく	口縁部～胴部	5%	-	-	-	72.7	-	10YR5/3 にぶい黄褐色	10YR5/3 にぶい黄褐色	軸	-	外面スス付着
317-1	PL102	1390	3	SK3634	埋土	SK3634	近世以降	磁器	碗	口縁部～高台部	30%	<6.9>	<3.5>	6.0	29.5	-	10Y8/1 灰白	10Y7/1 灰白	軸	-	-
317-2	PL102	1389	3	SK3634	1層	SK3634 1層	近世以降	磁器	碗	口縁部～高台部	30%	<10.0>	<5.3>	5.7	55.9	-	7.5GY8/1 明緑灰	7.5GY8/1 明緑灰	軸	-	-
317-3	PL102	1391	3	SK3634	埋土	SK3634	近世以降	磁器	皿	口縁部～高台部	50%	<5.9>	3.6	1.4	12.6	-	N8/0 灰白	N8/0 灰白	軸	-	-
317-4	PL102	2326	3	SK3634	1層	SK3634 1層, SK3634	近世以降	土師?	鉢	口縁部～底部	20%	<11.5>	<6.4>	4.2	35.4	-	2.5YR4/2 灰赤	2.5YR5/4 石英少 白色粒子・黄白色粒子多	軸	-	-
317-5	PL102	1392	3	SK3634	埋土	SK3634	近世以降	陶器	壺	口縁部～頸部	10%	<2.6>	-	(3.3)	8.6	-	2.5Y7/1 明ナリ一ツ灰	2.5Y7/1 明ナリ一ツ灰	軸	-	-
317-6	PL102	1388	3	SK3634	埋土	SK3634	近世以降	土師	ほうろく	口縁部～底部	10%	<27.8>	<27.0>	5.2	70.7	-	7.5Y R17/1 黒	7.5YR5/4 にぶい赤褐色 後3～5mm礫少 黄白色粒子多	軸	-	-
319-1	PL102	2329	3	SK3721	埋土	3a-2#5C	近世以降	磁器	猪口	口縁部～高台部	80%	5.3	2.3	2.7	(11.3)	-	10Y8/1 灰白	10Y8/1 灰白	軸	-	-
319-2	PL102	1529	3	SK3721	埋土	3a-2#5-SB3048	近世以降	陶器	猪口	口縁部～高台部	80%	6.0	2.4	3.5	(35.6)	-	10Y8/1 灰白	10Y8/1 灰白	軸	-	色絵
319-3	PL102	1527	3	SK3721	埋土	3a-2#5-SB3048	近世以降	磁器	碗	口縁部～高台部	60%	7.4	3.3	5.3	88.1	-	5GY8/1 灰白	10GY8/1 明緑灰	軸	-	一部軸なし
319-4	PL102	2322	3	SK3721	埋土	3a-2#5C	近世以降	陶器	碗	口縁部～高台部	70%	7.8	3.6	5.3	83.0	8.1	5Y8/1 灰白	5Y8/1 灰白	軸	-	底部染付
319-5	PL102	1544	3	SK3721	埋土	3a-2#5-SB3048	近世以降	磁器	碗	口縁部～高台部	100%	8.0	3.5	5.7	124.5	-	N8/0 灰白	N8/0 灰白	軸	-	染付
319-6	PL102	1528	3	SK3721	埋土	3a-2#5a	近世以降	陶器	猪口	口縁部～高台部	80%	4.8	3.8	5.3	(63.9)	-	5GY8/1 灰白	5GY8/1 灰白	軸	-	一部軸なし 染付
319-7	PL102	1526	3	SK3721	埋土	3a-2#5-SB3048	近世以降	陶器	碗	口縁部～高台部	90%	12.8	5.0	8.0	(269.9)	-	軸 5Y7/3 浅黄	軸 5Y7/3 浅黄	軸	-	焼練ぎ
319-8	PL102	1545	3	SK3721	埋土	3a-2#5c	近世以降	磁器	皿	口縁部～高台部	30%	<10.0>	<5.8>	3.0	25.8	-	10Y8/1 灰白	10Y8/1 灰白	軸	-	染付

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置				時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考		
			地区	遺構・地点	層位・位置	注記番号 (柳屋遺構・地点名は省略)						口径 cm	底径 cm	器高 cm	重量 g							胴部最大径 cm	外面色調
319-9	PL103	1536	3	SK3721	埋土	3a-2/7/5a+b+c, 3a-2/7/5-SB3048, 3a-2/7/5a	近世以降	磁器	皿	口縁部 ~底部	95%	14.0	3.7	3.9	254.7	-	N8/0 灰白	N8/0 灰白	釉 染付なし	釉 染付	-	燒継ぎ 外面底部未 書きの文字	
319-10	PL103	1535	3	SK3721	埋土	3a-2/7/5-SB3048, 7/5a+b+c	近世以降	磁器	皿	口縁部 ~高台部	60%	<22.8>	3.9	3.9	(437.3)	-	5CY8/1 灰白	2.5CY8/1 灰白	釉 一部染なし	釉 染付	-		
319-11	PL102	1548	3	SK3721	埋土	3a-2/7/5a+b+c	近世以降	陶器	灯明皿	口縁部 ~底部	30%	9.8	4.2	1.9	(28.6)	-	2.5Y7/2 灰黄	釉 5Y7/2 灰白 回転糸切り	釉 5Y7/2 灰白	釉 一部染なし	釉 一部染なし	-	
319-12	PL102	1534	3	SK3721	埋土	3a-2/7/5-SB3048	近世以降	陶器	皿	口縁部 ~底部	80%	7.8	4.0	1.7	(51.6)	-	5Y8/4 淡黄	10YR8/1 灰白	釉	釉	-	型打皿	
319-13	PL102	1537	3	SK3721	埋土	3a-2/7/5a+b+c, 3a-2/7/5-SB3048, 3a-2/7/5a	近世以降	磁器	香炉	口縁部 ~底部	100%	10.6	5.0	7.7	334.5	-	釉 2.5GY7/1 明オリーブ 灰	N8/0/灰白 5YR7/3 にぶい燈	釉 2.5GY7/1 明オリーブ 灰	釉 2.5GY7/1 明オリーブ 灰	釉 2.5GY7/1 明オリーブ 灰	-	内・外面底部 砂粒付着
319-14	PL102	1543	3	SK3721	埋土	3a-2/7/5a+b+c	近世以降	陶器	鉢	口縁部 ~高台部	60%	-	5.6	8.4	151.8	7.4	7.5YR4/4 褐	5Y8/0 灰白	釉 一部染なし	釉 一部染なし	-		
319-15	PL102	1541	3	SK3721	埋土	3a/7/5b, 3a-2/7/5e	近世以降	陶器	瓶	頸部 ~胴部	50%	-	(11.6)	-	155.1	-	釉 7.5Y8/2 灰白	10YR8/1 灰白	釉	釉	-		
319-16	PL102	1546	3	SK3721	埋土	3a-2/7/5a	近世以降	磁器	壺	口縁部 ~頸部	10%	3.7	-	(8.6)	56.3	-	2.5CY7/1 明オリーブ 灰	5YR7/3 にぶい燈	釉	釉	-		
319-17	PL103	2321	3	SK3721	埋土	SK3721	近世以降	磁器	徳利	口縁部 ~底部	80%	2.3	4.8	15.4	121.6	-	10Y8/1 灰白	10Y8/1 灰白	釉 絵付け ケズリ ロクロナデ	釉	-		
319-18	PL103	1549	3	SK3721	埋土	3a-2/7/5-SB3048, 3a-2/7/5a, 3a-2/7/5a+b+c	近世以降	陶器	徳利	口縁部 ~底部	70%	<5.3>	5.2	20.3	(251.4)	<7.4>	底面 10YR7/1 灰白 5YR6/6 燈	釉 淡青緑色	釉 淡青緑色	釉 淡青緑色	釉	-	
320-19	PL103	2331	3	SK3721	埋土	3a-2/7/5-SB3048	近世以降	陶器	徳利	口縁部 ~底部	70%	<4.8>	5.4	20.3	(250.3)	7.2	7.5CY7/2 明緑灰	2.5Y6/3 にぶい黄	釉 緑色釉 ケズリ	釉 緑色釉 釉	-		
320-20	PL103	1550	3	SK3721	埋土	3a-2/7/5a+b+c	近世以降	磁器	徳利	口縁部 ~底部	80%	<3.1>	5.5	21.5	(241.6)	<7.8>	N8/灰白・ 釉 7.5CY 明緑灰	釉 7.5CY 明緑灰	釉 染付	釉 不明	-		
320-21	PL103	1533	3	SK3721	埋土	3a@7/5-SB3048, 3a@7/5a+b+c, 3a@ 7/5b, 3a2VA8/7	近世以降	磁器	徳利	口縁部 ~底部	80%	3.0	5.6	22.2	(219.6)	8.0	5CY8/1 灰白	5CY8/2 明オリーブ 灰	釉 真須絵付け	釉	-		
320-22	PL103	1531	3	SK3721	埋土	3a-2/7/5-SB3048	近世以降	陶器	徳利	口縁部 ~底部	40%	<4.6>	7.1	(15.8+ 5.6)	(211.3)	-	5Y8/2 灰白	2.5Y8/2 灰白	釉 鏡軸による 絵付け	釉 鏡軸による	-		
320-23	PL102	1530	3	SK3721	埋土	3a-2/7/5-SB3048, 3a-2/7/5a, 3a-2/7/5a+b+c	近世以降	陶器	徳利	口縁部 ~底部	70%	4.7	長さ 22.2	14.8	(432.1)	幅 (9.9)	緑釉 銜釉	銜釉	釉 緑釉	釉 銜釉	-		
320-24	PL103	1539	3	SK3721	埋土	7/5-SB3048, 7/5a, 7/5a+b+c	近世以降	土師	鉢	口縁部 ~底部	30%	<25.5>	<21.6>	14.2	(614.0)	-	7.5YR6/4 にぶい燈	7.5YR6/4 にぶい燈	釉 ケズリ ナデ 型押文 ロクロナデ	釉 ケズリ ナデ 型押文 ロクロナデ	-		
320-25	PL103	1540	3	SK3721	埋土	3a-2/7/5a+b+c	近世以降	土師	ほうろく	口縁部 ~底部	40%	<35.3>	<30.8>	5.2	(1560.0)	-	10YR3/1 黒褐	7.5YR5/3 にぶい燈	釉 白色粒子・黄 褐色粒子 少 黄白色粒子 少	釉 白色粒子・黄 褐色粒子 少 黄白色粒子 少	-		
320-26	PL103	1522	3	SK3721	埋土	VA14/7	近世以降	磁器?	サイコロ	体部	100%	-	-	2.5	14.6	-	N8/0 灰白	-	釉 摩耗	釉 -	-	内部空洞	
320-28	PL103	1538	3	SK3721	埋土	3a-2/7/5a	近世以降	瓦器?	-	-	95%	タテ 5.3	ヨコ <5.1>	厚さ 1.2	28.6	-	5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	釉 白色粒子・ 石英 黄	釉 白色粒子・ 石英 黄	-	転用底石?	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整	内面調整	赤彩	備考			
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記記号 (脚底遺構・地点名は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm							重量 g	胴部最大径 cm	外面色調
322-1	PL103	2682	5	SK5083	埋土	SK5083	近世以降	瓦	軒椽瓦	瓦当部	30%	-	-	-	5Y5/1 灰	N4/0 灰	白色粒子・径2~5mm濃微	良	剥離	-	-	-	
322-2	PL103	2683	5	SK5083	埋土	-	近世以降	瓦	軒椽瓦	瓦当部	20%	-	-	-	N4/0 灰	N4/0 灰	径2~8mm濃微、白色粒子少	良	-	-	-	-	
322-3	PL103	2684	5	SK5083	埋土	SK5083	近世以降	瓦	瓦	瓦当部	20%	-	-	-	N4/0 灰	N4/0 灰	径4mm濃微、白色粒子少	良	剥離	-	-	-	
324-1	PL104	2610	5	SK5089	埋土	SK5089	近世以降	磁器	猪口	口縁部~高台部	30%	6.8	2.6	3.6	(25.1)	-	5GY7/1 明本リープ 灰	5GY7/1 灰	高台接地面 釉なし	釉	軸	2次の被熱?	
324-2	PL104	2611	5	SK5089	埋土	SK5089 (SK5091)	近世以降	磁器	皿	口縁部~体部	10%	<18.8>	-	(4.6)	36.4	-	N7/0 灰白	N7/0 灰白	ロクロナデ 染付 剥離	軸	ロクロナデ 染付	2次の被熱?	
324-3	PL104	2609	5	SK5089	埋土	SK5089	近世以降	陶器	搦鉢	口縁部~底部	20%	<22.5>	<10.4>	10.0	207.9	口径 <24.0>	2.5Y2/1 黒	2.5Y2/1 黒	径3mm濃少、白色粒子多	良	回転ナデ 釉	2次の被熱?	
325-1	PL104	2615	5	SK5146	埋土	SK5146 No.1	近世以降	陶器	搦鉢	体部~底部	10%	-	<10.0>	(4.8)	225.9	-	10YR5/3 にぎい真縄	10YR5/3 灰黄縄	白色粒子微、径3~4mm濃少	良	ロクロナデ 回転糸切り	2次の被熱?	
326-1	PL104	1418	6	SK6051	埋土	SK6051	近世以降	磁器	鉢	口縁部~体部	20%	<10.0>	-	(7.2)	91.7	-	2.5GY8/1 灰白	N8/0 灰白	軸 染付	軸	回転ナデ	-	
326-2	PL104	1417	6	SK6051	埋土	SK6051	近世以降	土師	ほうろく	口縁部~底部	10%	<29.4>	<25.3>	5.7	(51.7)	-	7.5YR1.7/1 黒	7.5YR4/3 濁	白色粒子・赤褐色粒子・黄白色粒子・石英・雲母多	良	回転ナデ ケズリ	-	-
327-1	PL104	1427	6	SK6066	3層埋土	SK6066 3層	近世以降	磁器	碗	口縁部~高台部	60%	6.0	2.8	4.6	(48.0)	-	5GY8/1 灰白	5GY8/1 灰白	軸 染付	軸	軸	-	
327-2	PL104	1424	6	SK6066	埋土	SK6066 1層	近世以降	磁器	碗	口縁部~高台部	90%	6.6	3.5	5.1	117.6	-	2.5GY8/1 灰白	2.5GY8/1 灰白	軸	軸	軸	-	
327-3	PL104	1425	6	SK6066	3層埋土	SK6066 3層	近世以降	磁器	碗	口縁部~高台部	90%	7.6	3.2	3.9	(56.6)	-	N8/0 灰白	N8/0 灰白	軸 染付	軸	軸	-	
327-4	PL104	2328	6	SK6066	埋土	SK6066	近世以降	磁器	碗	体部~高台部	30%	-	3.7	(3.3)	44.3	-	10Y8/1 灰白	10Y8/1 灰白	軸 染付	軸	軸	外面高台内 朱書き文字 焼継ぎ	
327-5	PL104	1420	6	SK6066	1層埋土	SK6066 1層	近世以降	磁器	碗	口縁部~高台部	60%	10.2	3.7	5.3	(89.7)	-	5GY8/1 灰白	5GY8/1 灰白	軸 染付	軸	軸	-	
327-6	PL104	1419	6	SK6066	埋土	SK6066	近世以降	磁器	碗	口縁部~高台部	50%	<10.8>	<3.5>	6.2	123.2	-	N8/0 灰白	N8/0 灰白	軸 染付	軸	軸	-	
327-7	PL104	1437	6	SK6066	3層埋土	SK6066 3層	近世以降	陶器	鉢	口縁部~高台部	70%	<15.1>	6.6	6.7	(260.7)	-	軸 10YR4/4 濁	軸 2.5Y8/2 灰白	黒色粒子多	良	軸 ケズリ ナデ	蓮花状型押し文	-
327-8	PL104	1434	6	SK6066	1層埋土	SK6066 1層	近世以降	磁器	仏飯具	口縁部~脚部	90%	6.0	4.0	4.6	(56.8)	-	N8/0 灰白	N8/0 灰白	軸 一部釉なし 染付	軸	軸	-	
327-9	PL104	1429	6	SK6066	3層埋土	SK6066 3層	近世以降	磁器	蓋	体部~口縁部	30%	<10.8>	-	2.6	45.0	-	5GY8/1 灰白	5GY8/1 灰白	軸 色絵・染付	軸	軸	2次の被熱	
327-10	PL104	1436	6	SK6066	3層埋土	SK6066 3層	近世以降	陶器	鉢?	口縁部~底部	30%	<14.4>	6.0	4.7	(63.4)	<14.5>	10YR5/2 灰黄縄	軸 10YR5/6 黄白 石	白色粒子・径少	良	軸 ナデ	-	
327-11	PL104	1433	6	SK6066	埋土	SK6066 No.1	近世以降	磁器	皿	口縁部~高台部	30%	<9.5>	<5.4>	1.9	18.8	-	N8/0 灰白	N8/0 灰白	軸 見込み型押し	軸	軸	-	
327-12	PL104	1428	6	SK6066	埋土	SK6066	近世以降	磁器	皿	口縁部~高台部	70%	10.0	5.9	3.0	82.8	-	5GY8/1 灰白	5GY8/1 灰白	軸 染付	軸	軸	-	
327-13	PL104	1421	6	SK6066	埋土	SK6066	近世以降	磁器	皿	口縁部~高台部	80%	12.7	8.1	2.8	(150.3)	-	5GY8/1 灰白	2.5GY8/1 灰白	軸 染付	軸	軸	-	
327-14	PL104	1423	6	SK6066	埋土	SK6066 No.2	近世以降	磁器	皿	体部~高台部	30%	-	12.3	(2.4)	208.4	-	7.5GY8/1 明緑灰	7.5GY8/2 明緑灰	軸 染付	軸	軸	焼継ぎ	
327-15	PL104	1432	6	SK6066	埋土	SK6066	近世以降	磁器	皿	口縁部~高台部	90%	7.9	3.8	2.4	74.9	-	10GY8/1 明緑灰	10GY8/1 明緑灰	軸 陽刻	軸	軸	-	

図版番号	写真図版	管理番号	出土位置			時期	種類	器種	残存部位	残存率	法量				胎土	焼成	外面調整 (施文含む)	内面調整	赤彩	備考	
			地区	遺構・地点	層位・位置						注記記号 (所属遺構・地点名は省略)	口径 cm	底径 cm	器高 cm							重量 g
331-10	PL105	1517	3	V F03	-	近世以降	陶器	皿	口縁部 ~体部	20%	<12.4>	(2.8)	26.4	-	2.5Y5/2 暗灰黄	釉 5Y5/3 灰白	釉 ナマ	-	-	-	
331-11	PL105	2027	3	遺構外	埋土	近世以降	磁器	碗	口縁部 ~底部	20%	<7.1>	5.3	25.9	-	N8/0 灰白	釉 染付 ロクロナデ	釉 染付	-	-	-	
331-12	PL106	1553	3	かく乱	埋土	近世以降	陶器	乗麴	口縁部 ~底部	70%	<4.3>	4.4	64.5	<5.3>	5YR5/4 にぶい赤褐	釉 2.5Y4/3 オリーブ褐	ロクロナデ 回転糸切り 一部釉なし	-	-	-	
331-13	PL106	2651	2	遺構外	埋土	近世以降	陶器	乗麴	口縁部 ~底部	100%	4.2	5.3	61.7	5.2	釉 7.5YR3/4 暗褐	釉 10YR8/1 灰白	釉 回転ナデ 回転糸切り	釉 回転ナデ	-	-	
331-14	PL105	3001	2	遺構外	壁	近世以降	磁器	碗	口縁部 ~底部	100%	2.8	1.6	7.1	-	10Y8/1 灰白	釉 色絵付	釉	-	-	-	
331-15	PL106	2661	2	遺構外	埋土	近世以降	磁器	鉢	口縁部 ~高台部	30%	<9.3>	6.2	155.2	-	10Y8/1 灰白	釉 染付 型紙	釉 染付 型紙摺	-	-	-	
331-16	PL106	2657	2	遺構外	埋土	近世以降	磁器	瓶	口縁部 ~底部	90%	<6.6>	14.5	227.6	6.9	5GY8/1 灰白	釉 剥離 染付 一部釉なし	釉 剥離 染付	釉 ロクロナデ	-	-	
331-17	PL106	2060	3	遺構外	埋土	近世以降	磁器	徳利	口縁部 ~胴部	70%	4.3	27.3	(589.1)	17.0	7.5Y7/1 灰白	釉 絵付け	釉 ロクロナデ	-	-	-	
331-18	PL106	2646	2	遺構外	埋土	近世以降	磁器	猪口	口縁部 ~高台部	50%	<2.2>	2.8	13.8	-	釉 2.5Y8/4 淡黄	釉 高台接地面 釉なし「口」記 念種重「四」	釉 色絵(星 章の一部)「仲 磨の月見し願で 除夜の鐘 前平」	-	-	-	
331-19	PL106	1605	6	遺構外	埋土	近世以降	磁器	猪口	口縁部 ~高台部	100%	6.7	2.4	37.6	-	10Y8/1 灰白	釉	釉 絵付(皇章・ 馬)「漢州派遣 君の高麗州とし て守備の任 果 たして帰る今日 ぞ嬉しき 騎兵 十四聯隊上等兵」	-	-	外面 金色文字	
331-20	PL106	1993	3	遺構外	埋土	近世以降	磁器	猪口	口縁部 ~高台部	100%	5.5	2.55	28.7	-	10Y8/1 灰白	釉 一部釉なし 染付	釉 色絵(白高飾・ 波印等)「志那事 発記念 國 光」	-	-	-	
331-21	PL105	2000	3	遺構外	埋土	近世以降	磁器	猪口	体部 ~高台部	50%	<3.0>	(2.2)	23.8	-	10Y8/1 灰白	釉 一部釉なし	釉 絵付	-	-	金色付着	
331-22	PL106	2644	2	遺構外	埋土	近世以降	磁器	碗	口縁部 ~高台部	70%	11.2	3.7	112.5	-	10Y8/1 灰白	釉 高台接地面 釉なし 絵付 (エビ)	釉	-	-	高台内 「瀬812」	
331-23	PL106	2622	2	遺構外	埋土	近世以降	磁器	瓶	口縁部 ~底部	80%	3.5	3.8	65.7	-	N8/0 灰白	釉	釉	-	-	外面底部 「岐570」 型成形	
331-24	PL106	1592	5	遺構外	埋土	近世以降	陶器	瓶	口縁部 ~底部	100	3.6×2.5	10.1	92.6	3.8	5Y7/3 浅黄	釉 5GY8/1 灰白	釉 一部釉なし	-	-	-	型成形 外面底部 「岐853」
331-25	PL106	2669	2	遺構外	埋土	近世以降	陶器	茶瓶	口縁部 ~底部	90%	6.2	8.2	131.9	-	釉 10YR6/4 7.5YR5/6 明褐	釉 踏道局指定 お茶 尾張 口 あきびん はこしかけの下 へ)	釉	-	-	鍍込み 「汽車茶瓶」	
331-26	PL106	1775	2	遺構外	埋土	近世以降	磁器	壺	口縁部 ~底部	100	1.2	3.6	11.0	4.4	N8/0 灰白	釉 ナマ	釉 染付	-	-	-	型成形
331-27	PL106	1610	6	遺構外	1 a層	近世以降	土師	火鉢	胴部 ~底部	60%	21.0	(12.9)	(1780) 同一片 310	-	7.5YR3/2 灰褐	釉 沈線	釉 ナマ 刻印	-	-	-	3ヶ所脚

第4章 自然科学分析

第1節 出土骨

1 浅川扇状地遺跡群出土の人骨

京都大学名誉教授 茂原信生

総合研究大学院大学先端科学研究科准教授 本郷一美

獨協医科大学医学部解剖学（マクロ）講座 櫻井秀雄

（1）はじめに

浅川扇状地遺跡群は長野市にある遺跡で、社会資本整備総合交付金（街路）事業（都）高田若槻線建設に伴い、2011～2019年にかけて、長野県埋蔵文化財センターによって発掘調査された遺跡である。本報告は、その際出土した人骨についての報告である。

人骨は、7体（SM1、SM2、SM3、SM4、SM5001、SM5002、SM5003）が出土している（第25表）。おもに中世のもので、12世紀から15世紀にかけてのものである。SM1とSM2はならんで埋葬されていたが、SM2の方が前の時代に埋葬されており、そのSM2を切り込んでSM1が埋葬されていた。それ以外に獣骨などに混在していた不明の人骨が2点（No.104、No.106）¹ある。人骨の保存状態は個々のものによって異なるが、全体にあまりいいとはいえない。

（2）出土した人骨の記録

はじめに、出土した個々の人骨についての出土状況や出土した骨の特徴について記載し、次いで全体で見られる特徴を記載する。人骨の計測は馬場（1993）にしたがい、歯の計測は藤田（1949）にしたがって行った。

SM1：1区 III F04グリッド

伏臥屈葬で埋葬されていた。

頭蓋骨

頭蓋冠の骨は薄い。眼窩上隆起は発達していない。頭蓋を横から見た鼻根部は凹んでおらず、顔面は平坦である。左右側頭骨の乳様突起は小さい。後頭骨の外後頭隆起はやや発達している。頭蓋骨最大長は発掘時に測ったところ180mmほどであったが土圧で大きめに变形している可能性が高い。女性的な頭蓋骨である。

上顎骨では、左右の正中部が残る。左側ではI1（第1切歯）の歯槽は生前に閉鎖しているがI2（第2切歯）とC（犬歯）と考えられる歯槽は残っている。右側はCと考えられる歯槽があるが、それに続く小白歯部分の歯槽は生前に閉鎖している。高齢の可能性もある。下顎骨は小さい。正中部から右の大白歯

¹ 骨Noは、整理作業時にすべての出土骨につけた脆弱遺物台帳（骨）の番号である。添付DVDに収録している。

部におよぶ下顎体部が残る。下顎体の厚さは薄い。下右大白歯の歯槽は生前に閉鎖している。

歯

歯は6本が残っている。上顎右P1（第1小白歯）、P2（第2小白歯）、左M1（第1大白歯）かM2（第2大白歯）、下顎の右のI1、I2、C、P1である。

上顎左右のI1の歯槽は生前に閉鎖している。I2、C、右P1の歯槽は残っていないが、歯としては右P1が残っている。P1の歯槽がほとんど閉鎖しているのでこの歯は脱落寸前だった可能性がある。小白歯の咬耗は他の切歯と比べて少ない。上顎M1の咬耗は軽度で、咬合面に象牙質の露出はない。下顎歯の磨耗は顕著で、特に切歯の歯冠は半分ほどまでが磨耗している。

上肢骨

右上腕骨は細い。近位の三角筋粗面の発達もよくない。橈骨はさほど太くない。この橈骨の中央付近の幅は17.0mm、厚さは10.7mmである。

下肢骨

大腿骨の骨（緻密質）の厚さは普通である。上部はやや前後に扁平である。外側の殿筋隆起はさほど発達していない。右大腿骨の後面の粗線は発達しておらず高くない。この部分に加齢変化が見られる。中央付近では幅29.8mm、前後径24.0mmで、断面示数は80.5であり柱状性は低い。大腿骨最大長は推定で390mmである。この値に基づいて藤井（1960）の式で計算した推定身長は女性の式で148.4cmとなる（女性と考えられるので女性の計算式を用いた。男性の計算式では151.2cmである）。脛骨の太さは普通だが、骨（緻密質）はむしろ薄い。後面の鉛直線は栄養孔付近まで達している。中央付近の断面は三角形である。

まとめ

この個体はやや高齢の女性であろう。顔面は平坦であったと思われ、中世人の一般的な特徴と合致している。推定身長は女性の式を当てはめて148.4cmで、鎌倉時代の女性の推定身長の平均値（平本1977）の144.9cmよりやや大きめだが大差はない。

SM2：1区ⅢF04グリッド（第358図6、第359図1）

仰臥屈葬で埋葬されていた。右半身は失われている。

頭蓋骨

横から見た前額部はほぼ垂直で眉弓は発達しておらず、顔面は平坦である。乳様突起は小さめである。外後頭隆起は小さく、わずかに膨隆する程度である。女性的な頭蓋骨である。頭蓋の縫合はほぼ癒合して消滅している。下顎骨はやや頑丈で、オトガイ結節は発達している。筋突起は大きめだが内外的には薄い。頭蓋最大長は178mm、頭蓋最大幅は127mmで頭蓋示数は71.3で長頭に属する。

歯

上顎は左I1、C、右はI1（かI2）、C、P1が残る。下顎は前歯部の一部と右P1～M3（第3大白歯）、左はP2、M1が残る。下顎の前歯は舌側（内側）が高く、低い唇側（外側）に傾いた磨耗をしており、この磨耗の仕方から考えると上顎の前歯が前に出ている（やや前突していた：出っ歯）ものと思われる。下顎左の大白歯部ではM1の歯槽が残るが、それより遠心のM2、M3の歯槽が生前に退縮しており、これらの歯は生前に脱落していたものと考えられる。右はM1、M2、M3が植立していた。M3が萌出して咬耗している。この個体は熟年程度と思われる。歯の咬耗はSM1の方が顕著である。

上肢骨

左橈骨と尺骨の骨幹が残るが細い。

下肢骨

左大腿骨の近位骨幹 (No40-2) および左脛骨が残る。左大腿骨の近位外側の殿筋隆起の発達はよくなく、後面の粗線もあまり発達していない。骨質は薄めで太さも細い。骨体上断面示数は69.5で超扁平大腿骨に属している (第29表)。左脛骨骨幹は中央付近が残るが細い。栄養孔位での扁平示数は70.7となり広脛である (扁平ではない)。左腓骨骨幹 (13cmほど) が残るが非常に細い。

まとめ

女性の可能性が高い。年齢は熟年程度であろう。顔面はやはり平坦である。上顎前歯がやや前突していた可能性がある。頭がやや前後に長い長頭であること、顔面の平坦さ、前突気味の上顎前歯などは一般的な中世人としての特徴と合致している。

SM3 : 1区 III F03 (第358図1・2・3・4・5、第359図2)

顔面を横 (西) に向けた屈葬で埋葬されている。子供である。骨の保存状態はさほどよくない。上肢下肢ともに深くまげている。股関節は下肢が身体に接するほどに強く曲げており、膝は深く屈曲している。長さ70cmほどの土壌に埋葬されていた。

頭蓋骨

頭蓋冠の骨は子供のため非常に薄い。側面から見た鼻根部は平坦である。右側頭骨の乳様突起は小さい。右の外耳道に小さな外耳道骨腫が見られる (百々1972の2 : minimumに相当する) (第358図1白矢印)。

歯

萌出していた歯のほとんどすべてが残っている (第359図2)。乳歯と永久歯が植立している混合歯列である。上下顎ともM3は出土してない。上顎切歯は軽度のシャベル型である。上下顎切歯はやや小さめの歯だが (第26・27表)、近遠心径に比して歯冠高が高い (細長い) 歯である。下顎の切歯の歯冠高も高い。犬歯は小さく、乳犬歯かと思われるほどの大きさである。この歯は、乳犬歯とは思えない形態であり、保存がある程度よいのに永久歯の犬歯と思われる歯冠が他に出土していないのでこの歯を永久犬歯と考えた。犬歯の歯冠は一般的にはずんぐりしているが、この歯は歯冠高が高いのでこのような形態になっている可能性がある。

永久歯でも萌出して間もない上顎右M1の近心頬側には咬頭を失うほどの齲蝕 (むし歯) がある。下顎骨では、右M1が萌出しており (第358図5)、咬耗もしているので少なくとも6歳以上である。この歯にも齲蝕が見られる。遠心面に隣接面磨耗はなく、M2はまだ歯槽内にあり萌出しておらず、P1も歯槽骨内にありまだ萌出していない。植立していたのは第2乳臼歯 (dm2) で、永久歯のP2はまだ歯槽骨内であろう。

出土した4本の乳歯は、上顎の右dm1 (第1乳臼歯)、下顎の左・右dm2 (第2乳臼歯)、左乳犬歯 (dc) である。上顎左右の永久歯と考えた犬歯も乳犬歯の可能性は残る。乳歯にも齲蝕がある。

歯の状態から考えるとこの個体は9歳前後の子供であろう。性別は不明。歯は現代人と比べるとやや小さめであるが、歯冠が長い特徴を持つ。

四肢骨

かなりの数が残っているが、どの四肢骨も細く成人にはほど遠い。

まとめ

M2が未萌出であることなどを考えると9歳前後の混合歯列の子供である。頭蓋骨では軽度の外耳道骨腫がみられた。子供であるにもかかわらずかなりの齲蝕がみられ、口腔環境はかなり悪かったと考えられ

る。性別は不明である。

SM4：1区 III B06グリッド（第357図、第359図3、第360図）

四肢骨を強く屈曲させて折りたたんだように埋葬されていた。頭を北側に、足を南側に置いている。顔面は西を向いている。脊椎骨は残っていないので出土状況からの推測であるが、東の壁面に沿って脊柱があり、右側を下にして横を向いた格好であろう。上肢は肘を強く曲げている。下肢は、股関節を深くまげており膝が胸の前にある。膝関節も深くまげて足が骨盤部よりやや下にある。

頭蓋骨

右半分は形がよく残っているが、左半分は失われている。骨質はもろく、完形で取り上げることは難しかった。全体には大きくて頑丈だった印象である。眼窩上隆起はよく発達しており、横から見た鼻根部はやや陥凹している。乳様突起はやや大きめである。耳道上稜はやや発達している。外後頭隆起はやや発達したプロカのII型である。外耳道骨腫はない。冠状縫合は癒合していない。

下顎骨では下顎体が残りに、左右の下顎枝は残っていない。下顎体は厚くない。下顎骨底部は直線的である。おとがい隆起はやや発達している（前下顎幅：44mm）。下顎体の内側に下顎隆起はみられない。下顎体の後部にある外側隆起は発達していない。下顎の歯槽で残っているのは前歯部と右の大白歯後部だけであり、それ以外ではすべて生前に閉鎖している。右ではP2からM3部の歯槽が閉鎖している。左はCとP1の歯槽があり、切歯部は破損していて不明である。

大白歯部のほとんどは歯が失われて生前に歯槽が退縮している。右P1から左P1までの前歯部の歯が植立している。一方、左ではP2からM3までと、右ではP2からM1とM3の歯槽が退縮している。

歯

出土時には本来の頭蓋があった場所に植立した状態で歯が18本残っていた。上顎では、前歯部の歯は失われているが、左右のCと右P1、左右のP2ならびに右M2と左M1～M3までの大白歯が残っている。下顎では、前歯と右のM2が残っている。左右のCの切縁はどちらも咬耗のため遠心に向かって大きく傾斜している。小臼歯は左右とも頬側面が大きく磨耗しており、舌側部とは段差を作っている。右の大白歯は、4咬頭性で遠心面に小さな隣接面磨耗があるのでM2と判定した。遠心の歯冠に小さな象牙質の露出がある。下顎のI2やCにエナメル質減形成が認められる。エナメル質減形成は、歯の形成時に、栄養不良など何らかの要因（ストレス）によって線状あるいは点状に石灰化不全が起こる現象である。下顎右Cが遠心に傾いた異常磨耗をしている。咬耗は全体に軽度である。

四肢骨

四肢骨の保存状態はよくない。骨があることを確認できるにすぎない骨が多く、形態の観察までできるものは少ない。手や足などはほとんど失われている。

上肢骨

左右の上腕骨と左右の橈骨と尺骨が確認できる。それらの骨端は失われている。左を上にして埋葬されているので上肢も左を上にして置いている。右の上腕骨に肋骨片と思われるものが乗っている。左上腕骨は三角筋粗面の下縁付近で生前に骨折しており、癒合しないで治った偽関節を形成している（第360図1矢印）。この骨折端は円錐状に閉じている。骨折した遠位の側には外側に向かって2cmほどの骨の張り出しが形成されており、骨折した部分の近位の変形した骨を受ける台を形成している。両者の骨は分離しており、関節面に当たるところは小さな凹凸が形成されていてスムーズな動きはできなかったであろう。近位部と遠位部は約130度の角度をなしている。左尺骨の骨間縁はやや発達しているが、骨体は細い。左橈骨も細い。

下肢骨

右大腿骨は骨幹が出土している。上部外側の殿筋隆起は軽度に発達し、転子下窩が存在する。骨体の上部は扁平で、扁平指数は74.0と超扁平大腿骨に属している（第29表）。後面の粗線はやや発達して後面に張り出し、つけ柱状である。左大腿骨は土圧でつぶれていて計測はできないが、右と同様に粗線はやや発達している。脛骨は左右とも骨幹が残っている。後面の鉛直線は目立たず、中央付近の断面は四角形でプロカのIV型に近く、断面は扁平ではない。腓骨は左右とも骨幹だけが残る。どちらも細く、骨間縁は発達しておらず、溝は軽度であって樋状ではない。骨間縁部分の骨に加齢変化が認められる。

まとめ

頭蓋骨からは男性的な印象を受ける。しかし、上肢骨は細めである。大腿骨はやや頑丈であるが腓骨は細い。四肢骨全体ではさほど頑丈ではなく、むしろ細い印象である。歯の大きさは現代人の男性の平均値と比べて同じかやや小さめで、女性の平均値よりはやや大きめである。全体としてみると男性の可能性が高いと考える。M3が萌出しており、かつその歯の咬耗もある程度進んでいること、さらに四肢骨に加齢変化がみられる部分もあり、少なくとも成人ではあろう。

SM5001：5区 II G21グリッド（第359図4）

骨の保存状態は非常に悪い。発掘時にはほとんどの部位の骨の存在は形で確認できたが取り上げることは出来ず形態の観察はできない。上肢は体幹の両側に置き、下肢を折り曲げた屈葬である。胸の上部に当たる部分に鹿の角で作られたと考えられる4cm×4cmほどの塊がある。

頭蓋骨

頭蓋の下部にある屈曲した骨はたぶん下顎骨体であろう。前歯に当たるところに歯槽が認められる。オトガイ部を自然位と同じ下にしてしているので、頭部は正面を向いたまま土圧でつぶれたものであろう。

歯

歯は一部（7本）が残っている。いずれも歯冠だけで象牙質に当たる歯根はない。残っているのは、上顎歯が、左・右C、右P1、下顎歯では右I1、左I2、左C、左P2である。他に大白歯の破片と思われるものが1点ある。全体に咬耗はやや進んでおり、切歯では切縁に象牙質の露出が線状にみられる。犬歯では先端に象牙質の露出が見られ舌側面は磨耗により平坦化している。上顎小白歯には舌側の咬頭頂に、下顎小白歯には頬側の咬頭頂にいずれも象牙質の露出が見られる。上下顎の犬歯にはSM4の個体にもみられたエナメル質減形成が認められる。歯石の沈着は見られない。歯の大きさは権田（1959）の調査した現代日本人の女性の平均値よりもやや小さめである。

四肢骨

観察できなかった。

まとめ

歯の小ささから女性の可能性が高い。成人には達していたが、熟年というほど歯は咬耗しておらず、壮年程度であっただろう。

SM5002：5区 II L13グリッド

下肢骨が部分的に出土しているだけである。上半身は工事の過程で失われたものと思われる。下肢骨では大腿骨と左右の脛骨の3本が残っている。保存状態は悪いが、どれも表面の観察はある程度可能である。骨のならば具合から考えて屈葬である。

下肢骨

右大腿骨 (No44-1) は後面を上になっている。あまり太くない。小転子、および軽度の後面の粗線が認められる。かなり扁平な印象を受けるが、土圧で扁平化した可能性がある。骨幹の中央 (推定) よりやや上の骨幹の幅は24mmである。この幅はかなり小さい。成人だとすれば女性の可能性が高い。大腿骨は後面を上にして出土しているので、うつぶせにして埋葬された可能性も考えられる。しかし、股関節を深く曲げた姿勢で、膝を立てて埋葬され、何らかの要因でたまたま大腿骨が後面を上にした姿勢に出土した可能性も考えられる。なお、大腿骨に沿って同じくらいの大きさの鉄製品が埋葬されている。No44-2とNo44-3は左右不明の脛骨の骨幹である。表面の骨質が失われており、骨端部分が失われている。脛骨の左右の同定ができないので大腿骨との組み合わせは不明である。

まとめ

大腿骨の細さから考えて女性の可能性が高い。成人であろうが詳しい年齢は不明である。

SM5003：5区 II U04グリッド

顔面を左に向け、上肢は左右ともに腰の横に伸ばしている。下肢は膝を直角に曲げて右に倒した屈葬である。骨質はしっかりしているが骨端は残っていない。上腕骨や大腿骨、脛骨などの大きな四肢骨と頭蓋骨が部分的に残っている。前腕の骨は左右とも残りが悪く、存在は確認できるが形態が観察できるような状態ではない。

頭蓋骨

土圧でつぶれている。外後頭隆起がよく発達しており、プロカの型区分ではⅢ～Ⅳ型程度である。左右の外耳孔が確認でき、右の顎関節、乳様突起の基部が確認できる。外耳道骨腫はなく、乳様突起はやや発達しているようである。前頭縫合、矢状縫合が認められる。

歯

5本だけが残っている。上顎右 I 1、P 2と下顎右 I 2、左 P 2、M 2がある。咬耗は、I 2の切縁に磨耗による細い象牙質の露出が見られるが、P 2には象牙質の露出はない。さほど高齢ではないだろう。壮年程度の可能性がある。

四肢骨

上肢骨

左右の上腕骨と右橈骨・尺骨が残っている。左右の上腕骨は細い。右上腕骨 (No45-2) では三角筋粗面は目立たず、骨幹は直線的である。後述の大腿骨の太さから想像される上腕骨と比べると異常なほど細い。右上腕骨の中央付近の大きさ (三角筋粗面の下縁のすぐ下付近で計測) は最大径が20.3mm、最小径が16.4mm、周径が62mmである。左の上腕骨 (No45-5) も非常に細い。右の前腕部は尺骨が外側に、橈骨が内側にあるので前腕を回内して埋葬されていたと考えられる。左は不明である。

下肢骨

大腿骨は左右の骨幹が残る。骨 (緻密質) は厚い。右大腿骨 (No45-7) は上部が扁平で、扁平示数は68.2である。また左大腿骨 (No10) も扁平示数は62.4で、左右とも超扁平大腿骨に属している。(第29表：正式な計測部位よりわずかに遠位で計測している)。どちらも外側の殿筋隆起は顕著に発達し、転子下窩が深くえぐれている。大殿筋がよく発達していたことを示している。大腿骨後面中央の粗線は確認できるが、高くは突出しておらず、むしろ骨体の幅が広い。中央部でも前後径よりも横径が大きく、後面に付け柱が発達している柱状大腿骨とはほど遠い断面である。出土時には右脛骨 (No45-8) が下に、左脛骨 (No45-11) が上にあった。膝を深く曲げて、左の下肢が右に重なるように倒れていた。左の脛骨は遠

位部が失われている。近位部は土圧を受けてつぶれている。後面の鉛直線は目立たず、中央付近で消失している。扁平ではない。右脛骨は骨幹部のみが残っている。左右とも細い脛骨である。断面はヘリチカの型区分では鉛直線の目立たない涙型のV型に近い。左右の腓骨は、骨幹の一部が残っているが華奢である。

まとめ

頭蓋の外後頭隆起はよく発達し、乳様突起もやや発達している。男性の可能性が高い。大腿骨は扁平で脛骨や腓骨は細い。上肢骨は非常に華奢である。骨に加齢変化は認められない。5本残った歯の摩耗はさほど進んでおらずさほど高齢ではない。壮年程度と思われる。

骨No104：2区 IIIU18グリッド

脛骨骨幹であるが左右不明である。ヒトであることは間違いない。太さから考えて成人であろう。

骨No106：2区 IIIU23グリッド

左大腿骨骨幹のほとんどである。後面の粗線はよく発達している。上部は扁平な大腿骨である。上部の横径33.8mm、前後径24.3mmで、扁平示数は71.9である。成人と考えられる。

(3) 浅川扇状地遺跡群出土人骨のまとめ

中世に属すると考えられる7体分の人骨が出土しており、それ以外にも骨片が出土している。顔面の残る個体では顔面は平坦で、頭の長さがわかる個体では長頭で、現代日本人にも通じる中世人の特徴を示している。歯の残りはさほど悪くはない。一部で出土している上顎の切歯はシャベル型で、この特徴も中世人として矛盾はない。唯一出土している子供の骨（9歳前後）の歯の多くに齲蝕がみられる。

性別の判定は従来通り頭蓋骨や歯の大きさ、そして四肢骨の頑丈さを参考に考えているが、出土したものは女性が多いようである。頭蓋骨は頑丈で男性的だが四肢骨が華奢なものが見られる。労働環境を示しているのだろうか。大腿骨は扁平なものがあり殿筋は発達している。しかし、大腿骨後面の粗線などの発達は悪い。上腕骨に骨折に由来する偽関節が見られる個体があった（SM4）。唯一身長を推定できたSM1では約148cmで平本（1972）の報告している鎌倉時代人女性の145cmと大きな差はない。

この遺跡人骨の観察の機会を与您にいただき、埋葬方法や個々の骨のリスト作成などにご協力いただいた長野県埋蔵文化財センターの方々に深く感謝いたします。

参考文献

- 蛭名忠次郎 1961 日本人前骨腕骨の人類学的研究 其一 橈骨、東京慈恵会医科大解剖学教室実績集 5：1-28
 蛭名忠次郎 1961 日本人前骨腕骨の人類学的研究 其二 尺骨、東京慈恵会医科大解剖学教室実績集 5：1-30
 大場信次 1950 「関東地方人大腿骨の人類学的研究（計測編）」東京慈恵会医科大学解剖学 教室業績集 3：1-44p
 権田和良 1959 「歯の大きさの性差について」人類学雑誌、43（1）；151-163p
 城一郎 1938 「古墳時代日本人骨の人類学的研究 第3部 下肢骨の研究」人類学輯報1；245-324p
 鈴木信夫 1961 「関東地方人脛骨の人類学的研究（計測編）」東京慈恵会医科大学雑誌75；2638-2678p
 高野元昭 1968 関東地方人鎖骨の人類学的研究、東京慈恵会医科大学解剖学教室実績集、18；1-24+写真
 百々幸雄 1972 「北海道の古人骨にみられる外耳道骨腫」人類学雑誌、80（1）；11-22p
 西原四良 1953 関東地方人上腕骨の人類学的研究、東京慈恵会医科大学解剖学教室実績集 9：1-63
 馬場悠男 1993 「人骨計測法」雄山閣 人類学講座別巻1；359p

第4章 自然科学分析

平本嘉助 1972 「縄文時代から現代に至る関東地方人身長の時代的变化」人類学雑誌、80(3):221-236 p

藤井明 1960 「四肢長骨の長さとの身長との関係に就て」順天堂体育学部紀要、3:49-61 p

藤田恒太郎 1949 「歯の計測規準について」人類学雑誌、61:1-6 p

古田美子 1978 『口腔解剖学提要(歯の編)』金原出版株式会社

第25表 浅川扇状地遺跡群出土人骨の概要

資料番号	時代	性別	年齢	保存状態	おもな特徴
SM1	中世(15C)	♀?	高齢	普通	伏臥屈葬。顔面は平坦。推定身長約148cm
SM2	中世(14C-15C)	♀?	熟年	普通	仰臥屈葬。右半身は欠損。顔面は平坦。上顎前歯はやや前突
SM3	中世?	不明	9歳前後	普通	屈葬。子供で混合歯列である。軽度の外耳道骨腫がある。齲蝕が顕著。
SM4	中世(14C-15C)	♂?	成人	よくない	屈葬。上腕骨に骨折後の偽関節がある。
SM5001	中世?	♀?	壮年	悪い	歯が小さい。エナメル質減形成あり。
SM5002	中世?	♀?	成人	悪い	屈葬。下肢骨のみが出土。
SM5003	中世(12C-13C)	♂?	壮年	普通	屈葬。大腿骨は扁平。咬耗は軽度。

第26表 浅川扇状地遺跡群出土人骨の上顎歯の計測値と比較資料（単位mm）。乳歯の大きさは、SM3と比較するためにのせた。

遺跡名	個体番号	左右	性別	I 1		I 2		C		P 1		P 2		M 1		M 2		M 3		
				m-d	b-l	m-d	b-l	m-d	b-l	m-d	b-l	m-d	b-l	m-d	b-l	m-d	b-l	m-d	b-l	m-d
浅川扇状地遺跡群	SM3	右		7.4	6.8	5.9	7.0	6.9	8.2	6.9	8.7	6.1	7.7	10.2	-	8.7	10.6			
		左		7.5	6.6	6.0	-	6.8	7.9	6.8	8.0	6.3	7.6	10.7	11.0	9.4	10.3			
SM4		右						-	8.5	7.4	9.6	6.9	9.2			9.6	12.5			
		左						-	8.6	7.2	9.5	6.7	9.4	-	11.8	9.7	12.0	10.5	11.2	
SM5001		右				-	-	8.3	-											
		左						7.8	8.2											
SM5003		右										7.2	9.8							
		左										6.9	8.7							
現代日本人 (権田1959)		♂		8.67	7.35	7.13	6.62	7.94	8.52	7.38	9.59	7.02	9.41	10.68	11.75	9.91	11.85	8.94	10.79	
		♀		8.55	7.28	7.05	6.51	7.71	8.13	7.37	9.43	6.94	9.23	10.47	11.40	9.74	11.31	8.86	10.50	

日本人の上顎乳歯の大きさ

	dil		di2		dc		dp1		dp2	
	m-d	b-l	m-d	b-l	m-d	b-l	m-d	b-l	m-d	b-l
藤田 (1987)	6.4	4.8	5.5	5.0	6.9	5.9	7.2	9.1	9.3	10.6
古田 (1978)	6.1	4.6	5.1	4.8	6.7	5.6	7.2	8.9	9.5	10.2

第27表 浅川扇状地遺跡群出土人骨の下顎歯の計測値と比較資料（単位mm）。乳歯の大きさは、SM3と比較するためにのせた。

遺跡名	個体番号	左右	性別	I 1		I 2		C		P 1		P 2		M 1		M 2		M 3	
				m-d	b-l	m-d	b-l	m-d	b-l	m-d	b-l	m-d	b-l	m-d	b-l	m-d	b-l	m-d	b-l
浅川扇状地遺跡群	SM3	右		5.3	6.3	5.2	6.0	5.5		6.6	7.5	6.4	6.9	11.0	10.5	10.1	9.2		
		左		5.0		5.4	6.3	6.2							10.2	9.2			
SM4		右	♂	-	-	-	6.2	-	8.1	7.4	9.1								
		左		-	5.6	-	6.1	-	8.4	7.0	8.7								
SM5001		右	♀	5.3	5.7	6.1	-												
		左					6.5	7.3				7.0	8.4						
SM5003		右	♀			5.7	-							11.1	10.5	10.2	9.3		
		左										6.6	7.1						
現代日本人 (権田1959)		♂		5.48	5.88	6.20	6.43	7.07	8.14	7.31	8.06	7.42	8.53	11.72	10.89	11.30	10.53	10.96	10.28
		♀		5.47	5.77	6.11	6.30	6.68	7.50	7.19	7.77	7.29	8.26	11.32	10.55	10.89	10.20	10.65	10.02

日本人の下顎乳歯の大きさ

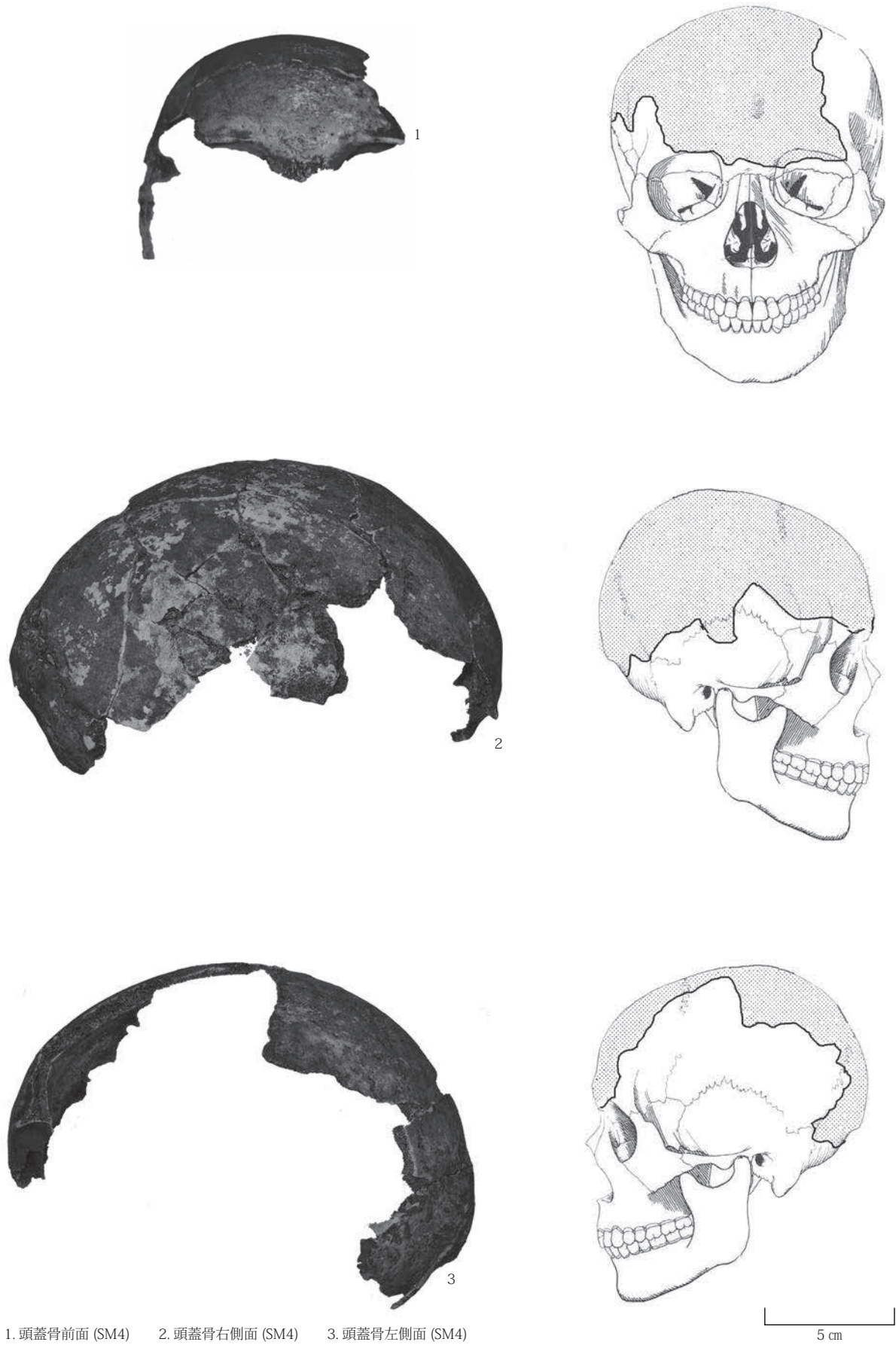
	dil		di2		dc		dp1		dp2	
	m-d	b-l	m-d	b-l	m-d	b-l	m-d	b-l	m-d	b-l
藤田 (1987)	4.2	3.8	4.8	4.2	5.8	5.3	8.9	7.1	10.6	9.0
古田 (1978)	4.5	3.9	4.5	4.1	6.0	6.1	8.4	7.6	10.5	9.1

第28表 浅川扇状地遺跡群出土人骨の上肢骨の計測値と比較資料（単位mm）

		中世			古墳（西日本）		現代	
		浅川扇状地遺跡群			♂ (城：1938)	♀	関東地方人	
		SM2	SM5003♂?	SM4			♂	♀
鎖骨								
	6 中央周	37			39.2	35.0	38.20	33.20
	5 中央矢状径	12.4			13.2	11.6	12.20	10.80
	4 中央垂直径	9.3			10.7	9.6	10.00	8.40
上腕骨							(西原：1953)	
	1 最大長	277			285.7	255	295.93	272.38
	4 下端幅	54.1					58.97	49.91
	5 中央最大径	22.2	20.3		22.6	21.5	22.41	19.71
	6 中央最小径	16.3	16.4		17.6	14.8	17.74	14.70
	7 骨幹最小周	63			59.3	58.3	62.27	54.11
	7a 中央周径	65	62					
	7/1 長厚示数	22.7			20.3	20.8	21.14	19.89
	6/5 中央横断示数	73.4			77.5	68.5	79.55	75.10
桡骨							(蛭名：1951)	
	1 最大長	206			229	208	225.09	202.11
	3 最小周	43			39.6	34.8	40.45	34.69
	4 骨体横径	15.8						
	4a 骨体中央横径	15.7			17.6	15.5	16.45	14.56
	5 骨体矢状径	11.4						
	5/4 体断面示数	72.2						
	5(4) 頸周径	42						
	5(5) 中央周	45					43.34	37.56
	5(6) 下端幅	31.8					33.89	28.88
	5a 骨体中央矢状径	11.9			11.3	10.2	11.81	9.84
尺骨				左			(蛭名：1951)	
	1 最大長	227					241.52	218.69
	2 生理長	200					210.67	191.11
	3 骨幹最小周	40		35	34.7	31.3	36.55	32.16
	6 肘頭幅	21.5						
	11 骨体矢状径	12.3		13.12	15.5	11.8	13.20	10.71
	12 骨体横径	16.4		15.76	16.8	13.8	16.29	13.91
	11/12 骨幹横断示数	75.0		83.2	93.4	86.9	80.94	76.94
	13 上横径	18.6		18.05			20.52	17.16
	14 上前後径			22.23			25.17	21.91
	13/14 扁平示数			81.2			82.16	78.37
	11' 中央最小径			12.08	13.5	10.5	12.39	10.39
	12' 中央最大径			15.81	18.8	14.8	16.63	14.26
	11'/12' 中央横断示数			76.4	72.3	71	74.53	73.16

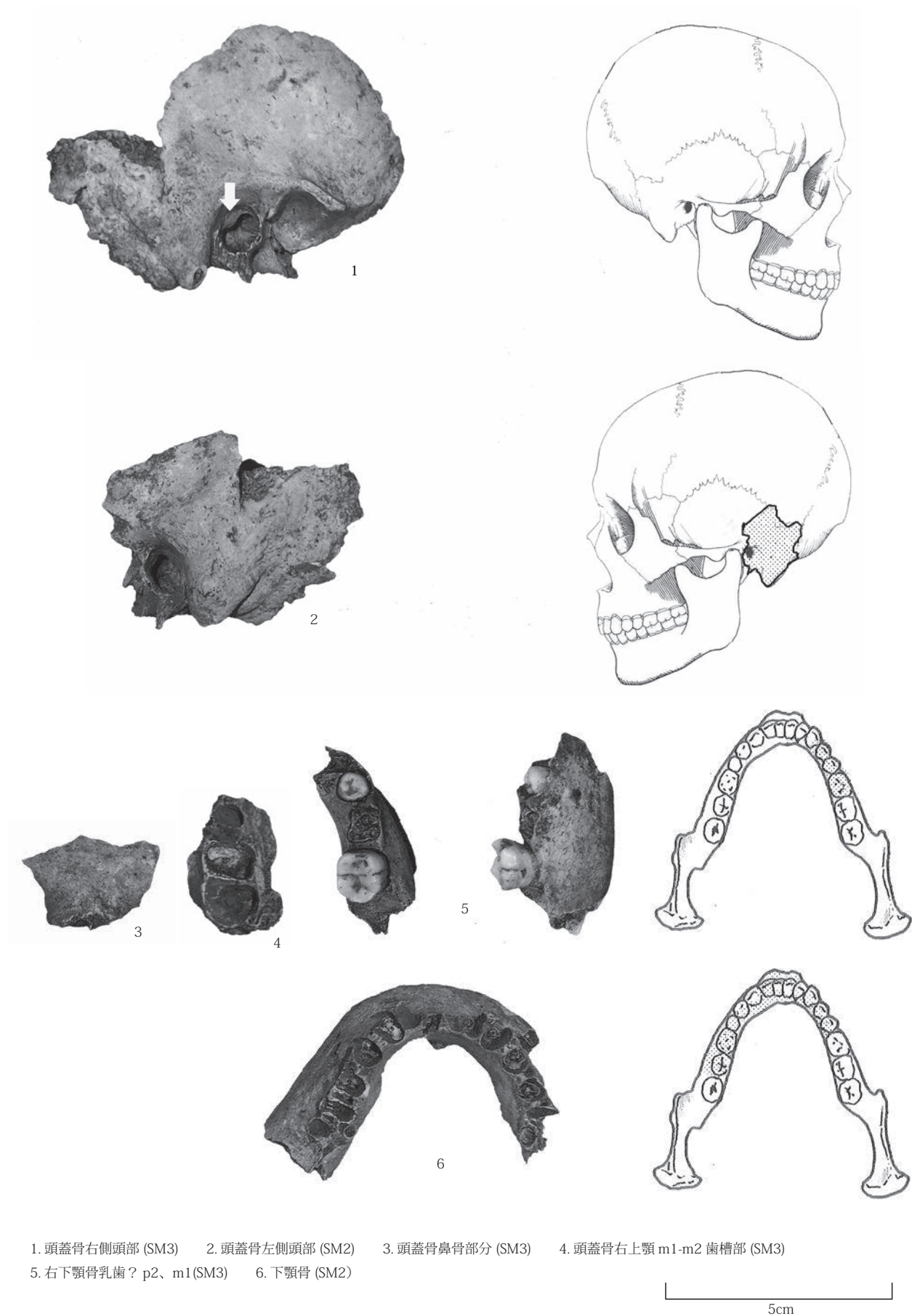
第29表 浅川扇状地遺跡群出土人骨の下肢骨の計測値と比較資料（単位mm）

計測位置	計測項目	中世				古墳		現代	
		SM2	浅川扇状地遺跡群		SM5003		古墳時代人		関東地方人
			SM4	♂	♀	♂	♀	♂	♀
大腿骨		左	右	右	♂	♀	(城：1938)	♀	(大場：1950)
	6 中央矢状径		26.66	25.1	25.2	24.2	27.1	27.61	24.66
	7 中央横径		25.49	30.4	30.1	23.7	26.6	26.23	23.06
	6/7 中央横断示数		104.6	82.6	83.7	101.9	102.3	105.72	107.56
	8 骨幹中央周		83	88	85	77.5	85.3	83.60	74.40
	9 骨体上横径	28.6	30.72	34	35.4	26.9	28.9	30.86	27.86
	10 骨体上矢状径	19.9	22.73	23.2	22.1	26.2	28.5	25.35	22.45
	10/9 上骨体横断示数	69.5	74.0	68.2	62.4	98.8	98.6	82.18	81.24
脛骨								(鈴木：1961)	
	8 中央矢状径		29.1			25.5	29.2	28.73	25.71
	9 中央横径		20.7			19.0	20.8	22.79	20.31
	9/8 中央横断示数		71.3			71.3	80.2	78.66	78.68
	8a 栄養孔位最大径	26.3							
	9a 栄養孔位横径	18.6							
	9a/8a 扁平示数	70.7							
	10b 最小周		76			65.5	72.1	72.25	65.28



1. 頭蓋骨前面 (SM4) 2. 頭蓋骨右側面 (SM4) 3. 頭蓋骨左側面 (SM4)

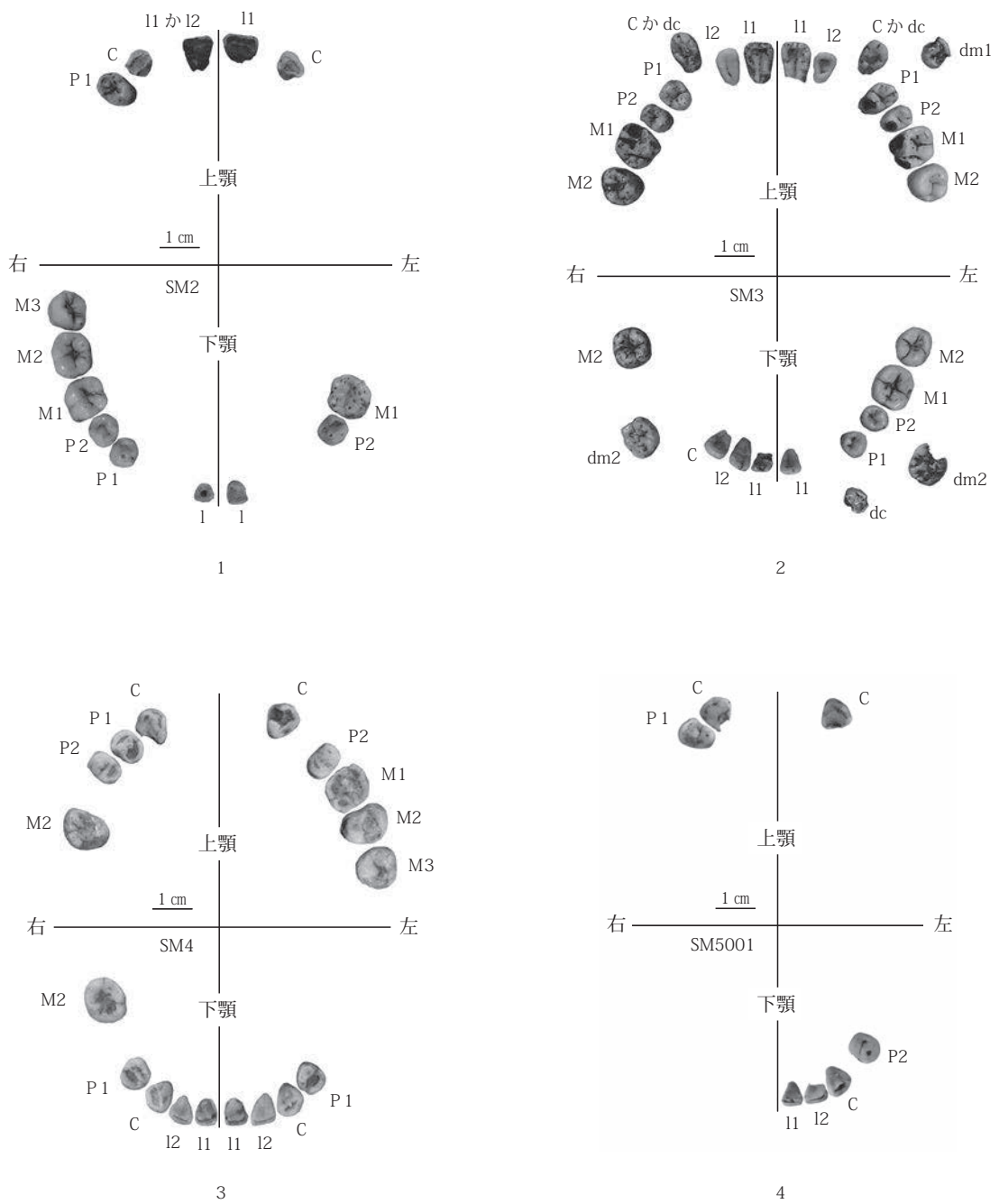
第357図 ヒト1



1. 頭蓋骨右側頭部 (SM3) 2. 頭蓋骨左側頭部 (SM2) 3. 頭蓋骨鼻骨部分 (SM3) 4. 頭蓋骨右上顎 m1-m2 齒槽部 (SM3)
 5. 右下顎骨乳齒? p2、m1(SM3) 6. 下顎骨 (SM2)

5cm

第358図 ヒト2



1. 上下顎歯 (SM2) 2. 上下顎 歯 (SM3) 3. 上下顎歯 (SM4) 4. 上下顎歯 (SM5001)



第360図 ヒト4

2 浅川扇状地遺跡群出土の動物骨

総合研究大学院大学先導科学研究科准教授 本郷一美
 獨協医科大学医学部解剖学（マクロ）講座 櫻井秀雄
 京都大学名誉教授 茂原信生

(1) はじめに

浅川扇状地遺跡群は、長野市北東部に位置し、千曲川支流の浅川の扇状地に分布する。社会資本整備総合交付金（街路）事業（都）高田若槻線建設に伴い、2011～2019年に長野県埋蔵文化財センターにより長野市桐原地区と吉田地区で発掘調査が実施された。その際に出土した動物骨の同定結果を報告する。同定に際しては、獨協医科大学所蔵および総合研究大学院大学所蔵の現生標本と比較した。

154点の動物骨が出土し、うち116点が同定された（第30表）。（4点の種不明の齧歯類、鳥、魚の骨を含む）。発掘時に一括で取りあげられた破片は、部位が同定できる破片以外をまとめて1点とカウントした。骨の保存状態は比較的よいものの、四肢骨の骨端部は脆く、破損したものが多い。骨幹部分も破片となったものが多い。

哺乳類は以下の9種が出土している。

哺乳綱 Mammalia

奇蹄目 Perissodactyla

ウマ科 Equidae

ウマ *Equus caballus*

偶蹄目 Artiodactyla

ウシ科 Bovidae

ウシ *Bos taurus*

ヤギ *Capra hircus*

シカ科 Cervidae

ニホンジカ *Cervus nippon*

イノシシ科 Suidae

イノシシ *Sus scrofa*

食肉目 Carnivora

イヌ科 Canidae

イヌ *Canis familiaris*

ネコ科 Felidae

イエネコ *Felis catus*

ウサギ目 Lagomorpha

ウサギ科 Leporidae

ニホンノウサギ *Lepus brachyurus*またはカイウサギ *Oryctolagus cuniculus*

齧歯目 Rodentia

ネズミ科 Muridae

種不明

家畜

ウマ (*Equus caballus*) (第31表、第361図3～8)

ウマは出土点数が最も多かった種で、32点が同定された。歯と顎骨以外の骨の保存状態は悪く破片となっているため、部位が同定された四肢骨は4点のみだった。種不明の大型獣の四肢骨破片の多くはウマのものと同定される。歯も、象牙質の保存は悪く、エナメル質のみが残っていたものが多い。年代がわかるものは12点で、古墳時代の可能性がある層、古代、平安時代、中世の層で出土している。層位不明の地点から出土した20点のうち、3区VP03・08グリッドの第1検出面からまとまって出土したウマの骨 (No. 79-1～8) には、上下の顎骨破片、上顎歯、下顎歯の他、側頭部の骨、肩甲骨などの四肢骨片が含まれており、全て同一個体の骨である可能性が高い。この個体に属する歯は乳歯の前臼歯と未萌出の前臼歯破片および軽度の摩耗がある第1大臼歯で、1歳前後の仔馬の骨と考えられる (Habermehl, 1961による歯の萌出年齢にもとづく推定)。また、年代不明のNo.49、50の左右上顎第2大臼歯は、出土した日が10日離れているものの、摩耗状態、歯冠高、大きさなどから同一個体に由来する可能性が高い。これら、同一個体の可能性が高い骨の数を補正すると、時期不明の20点の出土骨は多くとも5頭に由来することになる。

1歳程度の個体の乳歯は平安時代の層からも出土している (No.23)。同じ遺構 (SB17) から出土した第3大臼歯は摩耗しており、高齢個体とみられる。このように、仔馬と高齢個体の両方が出土することから、この遺跡の近くでウマの繁殖が行われていたことがわかる。なお、SB17の出土骨は、SB17の廃棄後に獣骨が遺棄され、さらに埋土が堆積したものと考えられ、ウマ以外にイノシシとウシの骨が出土している (後述)。

ウシ (*Bos taurus*) (第32表、第361図1・2)

ウシの骨は13点出土した。平安時代の層から出土した9点のうち、SB17出土の歯の破片3点 (No. 9、16、22)、SB 8出土の中手骨骨幹破片 (No.36、37)、SK37出土の左右の上下顎骨 (No.38、第361図1・2) はそれぞれ同一の個体に属するものとみられる。この他、中世の層から下顎歯のエナメル質破片1点、年代不明の層から歯 (うち未萌出の歯冠1点) と上腕骨の破片が出土している。

SB17から出土した歯の破片中には、歯槽で形成中の歯冠部が含まれており、若い個体の歯とみられる。No.38は第3大臼歯が萌出完了し、摩耗は軽度 (Grant, 1982の分類でc段階) であることから、4～5歳の成獣とみられる。ウシの出土骨は大部分が破片で、計測可能だったのはNo.22の下顎臼歯 (第1または第2大臼歯) とNo.38の下顎歯のみだった (第40表c・d)。ウシの体のサイズを推定することはできなかった。

ヤギ (*Capra hircus*) (第33表、第361図)

年代不明の3区VA14グリッドから出土した中型のウシ科の骨は、カモシカに比べて四肢骨が短く、ヤギと同定した (No.80、80-1～11)。左右の上下顎骨と臼歯の一部、頸椎、前肢と後肢の上部の骨が出土しており、部位の重複がないことから1個体とみられる。大腿骨、脛骨、上腕骨の近位骨端が癒合しており、第3大臼歯の摩耗が進行していることから、高齢の成獣と推定される。この地点から出土した骨は他の出土骨に比べて保存状態がよく、おそらく近代以降にヤギ1頭の死体が廃棄されたものと思われる。

イヌ (*Canis familiaris*) (第34表、第363・364図)

出土破片数は29点でウマに次いで多い。しかし、中世の層から出土した上下顎骨と耳小骨は同一個体の可能性がある。また、1区ⅢB12グリッドの近代以降のかく乱から出土した骨 (No.56-1～4, No.57-1

～8)、5区東2かく乱から出土した骨のうちNo.59-1～10はそれぞれ同一個体に由来するとみられる。さらにNo.53-1、No.53-2、No.54の3点も、No.59と出土地点が同じで部位の重複がないことから、同一個体の骨の可能性がある。したがって、出土したイヌは、破片数は多いものの、中世の1頭、近代以降は2頭から5頭 (No.53-1、No.53-2、No.54を別個体の骨とみた場合)、年代不明の1頭と推定される。No.59はNo.56・57より大型であるが (第40表 e)、大腿骨、上腕骨、脛骨の近位端が未癒合であることから1歳半未満の若い個体と推定される (Silver 1969)。

イエネコ *Felis catus* (第35表、第365図4～8)

年代不明の層から5点が出土した。保存状態がよく、近代以降のものと思われる。2区の検出面、表土から出土した上腕骨 (左) 2点のうち、No.100 (第365図6) はNo.102 (第365図5) に比べ華奢である。

野生動物

ニホンジカ (*Cervus nippon*) (第36表、第365図1・2)

8点が出土した。古代と思われる層から出土した1点と、中世以降の層から出土した1点以外は、近代以降または年代不明の層からの出土である。3区VA14グリッドから出土した2点 (No.80-1, 80-4) は、上述のヤギと同じ出土地点であること、特にNo.80-4の距骨破片はやや小ぶりであることから、ヤギの骨の一部である可能性が排除できない。しかし、シカとヤギを判別する特徴的な部分が破損しているため、「シカ?」と記載した。計測可能だった骨は、年代不明の層から出土した上腕骨1点 (No.108、第365図1) のみで、遠位端滑車幅BT: 38.8mm、骨幹最小幅SD: 22.3mmだった。

イノシシ (*Sus scrofa*) (第37表、第365図3)

11点出土し、うち7点が平安時代の層からの出土である。SB17の廃棄後に堆積したSB17埋土の北西に焼けた土が混ざった部分があり、この場所で骨が焼かれた可能性も考えられる。イノシシ骨は焼けており、顎骨、歯、四肢骨の破片が混在する。埋土のI層とII層にまたがって出土しているが、同一個体の骨の可能性がある。また埋土から出土した種不明の焼骨破片 (No.110、第37表) も、このイノシシの骨の一部の可能性はある。

ニホンノウサギ *Lepus brachyurus* またはカイウサギ *Oryctolagus cuniculus* (第38表、第365図9)

年代不明の地点からほぼ完形の大腿骨が1点出土した (No.63、第365図9)。火を受けている。保存状態がよく、近代以降のものと思われる。

その他 (第38・39表、第365図10)

ニワトリ (*Gallus gallus*) の脛足根骨1点 (No.55、第365図10) が出土した。近代以降のかく乱層からの出土である。近位端と骨幹部が残存している。後腓骨等靭帯附着部の形状が線状をなす (江田・井上 2011: 27-28) 特徴と、現生のキジ標本 (第365図下段右端) に比べ大型であることから、大きなニワトリと同定した。骨端の密度から成鳥とみられる (同定は北海道大学、江田真毅氏による)。

その他、種不明の鳥の上腕骨1点、魚の椎骨など3点、ネズミと思われる齧歯類の大腿骨1点が出土したが、全て年代不明または近代以降の層からの出土である。

出土骨のサイズ

骨の計測はDriesch 1976に従った(第40表 a - g)。ウマ、ウシの歯とかく乱層から出土したイヌ、ネコ、ヤギの他に計測可能な骨は少なかった。

ウマは四肢骨の全長が計測できるものがなかったため、体高の推定はできなかった。歯の大きさが長野県北佐久郡西近津遺跡から出土した古代、中世のウマと同程度であることから、浅川扇状地遺跡のウマは西近津遺跡で出土したウマと同様、体高110-120cmの小型馬だったと推定される。

まとめ

近代のかく乱層からの出土骨を除き、動物遺存体の保存はあまりよくない。家畜の骨に比べて野生動物(シカ、イノシシ)の骨は少なく、積極的に狩猟を行っていたとは思われない。ウマは現生の在来種に近い小型のウマで、1歳程度の若い個体と老齢個体の両方が出土している。ウシも未成獣が出土しており、近隣でウマとウシの繁殖が行われていたとみられる。

謝辞

ニワトリの同定は、北海道大学総合博物館の江田真毅准教授にご教示いただいた。

参考文献

- Driesch, A. von den (1976) *A Guide to the Measurement of Animal Bones from Archaeological Sites*. Peabody Museum Bulletin 1. Peabody Museum, Harvard University, Cambridge.
- Grant, A. (1982) The use of tooth wear as a guide to the age of domestic ungulates. In Wilson, B., Grigson, C. & Payne, S. (eds.) *Ageing and Sexing Animal Bones from Archaeological Sites*, pp. 91-108. BAR British Series 109. British Archaeological Reports, Oxford.
- Habermehl, K.-H. (1961) *Die Alterbestimmung bei Haustieren, Pelztieren und beim jagdbaren Wild*. Berlin-Hamburg: Paul Parey.
- Silver, I. A. (1969) The ageing of domestic animals. In *Science in Archaeology*, 2nd edition, edited by D. Brothwell and E. S. Higgs, pp. 283-302. Thames and Hudson, London.

第30表 浅川扇状地遺跡群 各時期の動物遺存体の出土点数

	古墳時代～ 古代	平安	中世	近代以降	時期不明	合計
ウマ	5	5	2	0	20	32
ウシ	0	0	9	0	4	13
イヌ	0	0	3 (1個体)	25 (2個体)	1	29
ネコ	0	0	0	0	5	5
ヤギ	0	0	0	0	11	11
シカ	1	0	1	2	4	8
イノシシ	0	7	0	1	3	11
ウサギ	0	0	0	0	1	1
ネズミ?	0	0	0	1	0	1
ニワトリ	0	0	0	1	0	1
不明 鳥	0	0	0	1	0	1
魚	0	0	0	0	3	3
小計	6	12	15	30	52	116
大型動物破片	0	1 (奈良・平安)	2	4	0	7
中型動物破片	1	3	0	0	0	4
サイズ不明破片	1	12	1	5	8	27
破片合計	2	16	3	9	8	38
総点数						154

第31表 浅川扇状地遺跡群から出土したウマ

脆弱遺物 台帳番号	出土位置	取上No	出土層位	年代	種	部位		左右	備考	図版番号
89	SD4019	No.1		古墳?	ウマ	歯				
65	3区VA24	No.1		古墳～古代 (7～9世紀)	ウマ	下顎骨	第2前臼歯(P2) ～第3大臼歯 (M3)	左	年代測定試料 H25-47	第361図3
18	SK88	No.1		古代?	ウマ	脛骨	骨幹部 破片			
27	SD2ⅢP15			古代?	ウマ	下顎歯	M1-3	右	老齢。M1は摩耗が進み エナメル質はほとんど 残っていない。M3遠心 破損。斜めに異常な咬耗。	第361図7
91	SD22ⅢU-14		埋土	古代?	ウマ	下顎歯	M3	右	エナメル部分のみ	第361図5
7	SB17埋土南西		Ⅱ層	平安	ウマ	中足骨	骨幹	左	破損	
15	SB17		Ⅱ層南部	平安	ウマ	下顎	M3		高齢	
23	SB17	No.2		平安	ウマ	下顎歯	乳歯(dp2-4)	左		
47	SB5029南北トレンチ			平安	ウマ	歯	破片			
90	SD4020			平安?	ウマ	歯				
19	SD1(北)ⅢP08			中世	ウマ	下顎歯	右M3?破片			
28	SD1(北)北壁トレンチ			中世	ウマ	中節骨	近位端			
79-1	3区VP03・08	①	第1検出面	-	ウマ	四肢骨(中手/ 足骨?)	骨幹			
79-2	3区VP03・08	②	第1検出面	-	ウマ	上顎歯	dp2	左	乳歯。エナメル質薄い。 歯冠低い。歯根なし(破 損)。未萌出歯冠破片あ り	
79-3-1	3区VP03・08	③	第1検出面	-	ウマ	上顎歯	P3	左	萌出直後。頬側のみわず かに摩耗	
79-3-2	3区VP03・08	③	第1検出面	-	ウマ	上顎歯	P4?破片	左	未萌出。摩耗なし	
79-3-3	3区VP03・08	③	第1検出面	-	ウマ	上顎歯	dp3かdp4	左		
79-3-4	3区VP03・08	③	第1検出面	-	ウマ	下顎歯	dp3, 4	左		
79-3-5	3区VP03・08	③	第1検出面	-	ウマ	下顎歯	dp3かdp4	右		
79-3-6	3区VP03・08	③	第1検出面	-	ウマ	下顎歯	M1	左	軽度の摩耗	
79-3-7	3区VP03・08	③	第1検出面	-	ウマ	側頭骨	錐体			
79-3-8	3区VP03・08	③	第1検出面	-	ウマ	顎骨	破片			
79-7	3区VP03・08	④	第1検出面	-	ウマ	顎骨	破片		肩甲骨、四肢骨片含む	
79-5	3区VP03・08	⑤	第1検出面	-	ウマ	顎骨	破片		肩甲骨、四肢骨片含む	
79-6	3区VP03・08	⑥	第1検出面	-	ウマ	顎骨	破片		肩甲骨、四肢骨片含む	
79-7	3区VP03・08	⑦	第1検出面	-	ウマ	顎骨	破片		肩甲骨、四肢骨片含む	
79-8	3区VP03・08		第1検出面	-	ウマ	下顎歯	破片			

第4章 自然科学分析

脆弱遺物 台帳番号	出土位置	取上No	出土層位	年代	種	部位		左右	備考	図版番号
62	5区ⅡG4	No.1	Ⅲ層上面	—	ウマ	下顎歯	M3	左	焼骨	第361図6
49	5区東2検出面			—	ウマ	上顎歯	第2大臼歯(M2)	左	No.50と同一個体?	第361図4
50	5区東2包含層			—	ウマ	上顎歯	M2	右	No.49と同一個体?	
51	5区東2包含層			—	ウマ	上顎歯	エナメル質のみ	左	未萌出歯冠含む	
52	5区東2表土			—	ウマ	下顎歯	エナメル質破片	右		

第32表 浅川扇状地遺跡群から出土したウシ

脆弱遺物 台帳番号	出土位置	取上No	出土層位	年代	種	部位		左右	備考	図版番号
36	SB8	No.1		平安	ウシ	中手骨	骨幹部		No.37と同一個体?	
37	SB8	No.2		平安	ウシ	中手骨	骨幹部		No.36と同一個体?	
1	SB8埋土北西(中)		上層の方	平安	ウシ	歯	破片			
16	SB17		Ⅱ層南部	平安	ウシ	歯	破片		No.9と同一個体?	
22	SB17	No.3		平安	ウシ	下顎歯	M2か1	右	No.9・16と同一個体?他に未萌出歯冠破片あり	
9	SB17埋土南西		Ⅱ層	平安	ウシ	歯	破片		No.16と同一個体?	
58	SB76	No.1		平安	ウシ	下顎歯	エナメル破片		焼骨	
38	SK37			平安?	ウシ	下顎	切歯、右下P2、M1-3、左下P2-4、M1破片、M2-3	左右	切歯は軽度の摩耗。M3:c、M2:g、M1:h、P4:c	第361図2
38	SK37			平安?	ウシ	上顎を含む頭部	左P3-M3、右M1-3	左右		第361図1
32	SD1東西ⅢK10		Ⅰ層	中世	ウシ	下顎歯	大臼歯のエナメル質			
101	2区(中央)ⅢU07	No.1		—	ウシ?	臼歯	未萌出 破片			
105	2区中央 ⅢU18	No.2		—	ウシ?	上腕骨	骨幹部	左		
107	2区市道北 ンチ(東)			—	ウシ?	歯	破片			

第33表 浅川扇状地遺跡群から出土したヤギ

脆弱遺物 台帳番号	出土位置	取上No	出土層位	年代	種	部位		左右	備考	図版番号
80	3区VA14			—	ヤギ	上顎歯 下顎歯	上顎M2・3、下顎M3	左	No.80-9と同一。老齢	第362図2・4
80-1	3区VA14			—	ヤギ	脛骨	近位 半分	左		第362図12
80-2	3区VA14			—	ヤギ	大腿骨	ほぼ完形	左	大型	第362図10
80-3	3区VA14			—	ヤギ	脛骨	ほぼ完形	右		第362図11
80-5	3区VA14			—	ヤギ	橈骨	近位 半分	左	小型 尺骨癒合	第362図8
80-6	3区VA14			—	ヤギ	上腕骨	遠位 半分	左		第362図6
80-8	3区VA14			—	ヤギ	大腿骨	ほぼ完形	右		第362図9
80-9	3区VA14			—	ヤギ	上顎骨・下顎骨	上顎M1-3、下顎M2-3	右	No.80と同一。上顎M1は近心歯冠のみ。歯根近くまで摩耗。M2近心と下顎M3エナメル質は全て摩耗。	第362図1・3
80-9	3区VA14			—	ヤギ?	軸椎	頭側関節部破片			
80-11	3区VA14			—	ヤギ	橈骨	近位 半分	右	尺骨癒合。尺骨近位関節部の破片あり	第362図7
80-11	3区VA14			—	ヤギ	上腕骨	完形	右	カモシカより短く、ヤギと同定	第362図5

第34表 浅川扇状地遺跡群から出土したイヌ

脆弱遺物 台帳番号	出土位置	取上No	出土層位	年代	種	部位		左右	備考	図版番号
17-A	SD1南	No.1		中世	イヌ?	耳骨				
17-G	SD1南	No.1		中世	イヌ	上顎骨	前臼歯付近。P2あり。	左		
17-G	SD1南	No.1		中世	イヌ	下顎骨	切歯(I)、犬歯(C)、P2-3付近	左		
56-1	1区ⅢB12 かく乱	No.1		近代以降	イヌ	頸椎	環椎、軸椎、第3-6		No.57と同一個体?	第363図1・2
56-2	1区ⅢB12 かく乱	No.1		近代以降	イヌ	上腕骨	ほぼ完形	右	No.57と同一個体?	第363図5
56-3	1区ⅢB12 かく乱	No.1		近代以降	イヌ	橈骨	完形	右	No.57と同一個体?	第363図8

脆弱遺物 台帳番号	出土位置	取上No	出土層位	年代	種	部位		左右	備考	図版番号
56-4	1区ⅢB12 かく乱	No.1		近代以降	イヌ	肩甲骨	関節部	左右	No.57と同一個体?	
57-1	1区ⅢB12 かく乱	No.2		近代以降	イヌ?	寛骨	寛骨臼 恥骨	右	扁平。寛骨臼が広く開いており、ネコかアナグマの可能性あり	
57-2	1区ⅢB12 かく乱	No.2		近代以降	イヌ	寛骨	寛骨臼 腸骨	左	No.56と同一個体?	
57-3	1区ⅢB12 かく乱	No.2		近代以降	イヌ	距骨	完形	右	No.56と同一個体?	
57-4	1区ⅢB12 かく乱	No.2		近代以降	イヌ	踵骨	完形	右	No.56と同一個体? 近位未癒合	
57-5	1区ⅢB12 かく乱	No.2		近代以降	イヌ	大腿骨	ほぼ完形	左	No.56と同一個体?	第364図4
57-6	1区ⅢB12 かく乱	No.2		近代以降	イヌ	大腿骨	ほぼ完形	右	No.56と同一個体?	第364図3
57-7	1区ⅢB12 かく乱	No.2		近代以降	イヌ	脛骨	ほぼ完形	右	No.56と同一個体?	第364図6
57-8	1区ⅢB12 かく乱	No.2		近代以降	イヌ	中足骨	I I-IV	右	No.56と同一個体?	第364図7
53-1	5区東2かく乱			近代以降	イヌ	下顎骨	下顎枝 M3 歯槽	左		
53-2	5区東2かく乱			近代以降	イヌ	寛骨	腸骨 翼部	左		
54	5区東2かく乱			近代以降	イヌ	下顎歯	M1	右	小~中型	
59-1	5区東2かく乱			近代以降	イヌ	大腿骨	骨幹	右	近位端。遠位端未癒合 中~大型	第364図5
59-2	5区東2かく乱			近代以降	イヌ	脛骨	近位端破片 遠位半分	左	近位端未癒合。遠位端癒合	
59-3	5区東2かく乱			近代以降	イヌ	上腕骨	近位 骨幹	左右	近位端未癒合	第363図6 -7
59-4	5区東2かく乱			近代以降	イヌ	上腕骨	遠位端	右		
59-5	5区東2かく乱			近代以降	イヌ	頸椎	軸椎ほか1			
59-6	5区東2かく乱			近代以降	イヌ	下顎骨	犬歯	右		第363図3
59-7	5区東2かく乱			近代以降	イヌ	寛骨	寛骨臼 腸骨	右		第364図1
59-8	5区東2かく乱			近代以降	イヌ	寛骨	寛骨臼 坐骨	左		第364図2
59-9	5区東2かく乱			近代以降	イヌ	中手骨	MCIV	左		
59-10	5区東2かく乱			近代以降	イヌ	肩甲骨	関節部	右		第363図4
81	3区検出面			-	イヌ	上腕骨	骨幹	左		

第35表 浅川扇状地遺跡群から出土したネコ

脆弱遺物 台帳番号	出土位置	取上No	出土層位	年代	種	部位		左右	備考	図版番号
69-2	3区			-	ネコ	脛骨	完形	左		第365図8
93	2区西 壁			-	ネコ	軸椎	椎体		癒合	第365図4
99	2区南側壁			-	ネコ	橈骨	骨幹	左		第365図7
100	2区(中央)		検出面	-	ネコ	上腕骨	ほぼ完形(近位欠)	左	若?	第365図6
102	2区		表土	-	ネコ	上腕骨	ほぼ完形(近位欠)	左		第365図5

第36表 浅川扇状地遺跡群から出土したシカ

脆弱遺物 台帳番号	出土位置	取上No	出土層位	年代	種	部位		左右	備考	図版番号
98	SK319			古代?	シカ	歯	破片			
103	SK327			中世以降	シカ	頭骨	破片		緑青が付着。中世の銭と一緒に出土。	
77	3区かく乱セクション ベルト C-D(中)			近代以降	シカ	大腿骨	遠位部外側	右		
86	3区かく乱			近代以降	シカ	角			加工過程の一部	
108	2区		表採	-	シカ	上腕骨	ほぼ完形(近位欠)	右	遠位端。癒合、咬痕あり	第365図1
80	3区VA14			-	シカ	上腕骨	遠位骨幹 前面破片	左		第365図2
80-1	3区VA14			-	シカ?	寛骨	腸骨 骨幹	右	ヤギの出土地点	
80-4	3区VA14			-	シカ?	距骨	遠位 外側 破片	右	小型。他に四肢骨破片	

第37表 浅川扇状地遺跡群から出土したイノシシ

脆弱遺物 台帳番号	出土位置	取上No	出土層位	年代	種	部位		左右	備考	図版番号
4	SB17埋土北西		Ⅱ層	平安	イノシシ	四肢骨	破片		焼骨	
10	SB17埋土北西		Ⅱ層	平安	イノシシ	上腕骨	遠位骨幹前面	右		

第4章 自然科学分析

脆弱遺物 台帳番号	出土位置	取上No	出土層位	年代	種	部位		左右	備考	図版番号
12	SB17埋土北西		II層	平安	イノシシ	中手骨か中足骨	破片 第2指か第5指		焼骨	
5	SB17埋土北西		I層	平安	イノシシ	歯	臼歯破片		焼骨 軽度の磨耗 (Grant1982のc-d)	
6	SB17埋土北西		I層	平安	イノシシ	下顎	関節部		焼骨	
25	SB17		煙道	平安	イノシシ	前上顎骨		左	焼骨	
83	SD3014			平安	イノシシ	脛骨	遠位部破片	左	焼骨	
66	3区かく乱3 c 066			近代以降	イノシシ	上腕骨	骨幹	右	焼骨	
69-1	3区			-	イノシシ	大腿骨	近位骨幹	左		第365図3
82	3区検出面			-	イノシシ	下顎骨	下顎底～歯槽部	右		
94	2区西トレンチ			-	イノシシ	脛骨	近位骨端	右		

第38表 浅川扇状地遺跡群から出土した動物骨（その他）

脆弱遺物 台帳番号	出土位置	取上No	出土層位	年代	種	部位		左右	備考	図版番号
76	3区かく乱			近代以降	ネズミ?	大腿骨		右		
55	5区東2かく乱			近代以降	ニワトリ	脛足根骨	近位半分	左	大型	第365図10
92	2区西		表土	-	トリ	上腕骨	骨幹			
109	2区中央カベ			-	魚	部位不明				
63	3区仮1通-1列			-	ウサギ	大腿骨	ほぼ完形	左	焼骨	第365図9
88	4区西壁			-	魚	椎体				
60	不明			-	魚?	部位不明			No109不明破片の一部の可能性はあるが接着しない。	

第39表 浅川扇状地遺跡群から出土した動物骨（種不明破片）

脆弱遺物 台帳番号	出土位置	取上No	出土層位	年代	動物の サイズ*	部位		備考	図版番号
26	SK69			古代?	中型	不明(四肢骨?)	破片	焼骨	
64	SK3158			古代?	不明	肋骨?	破片	焼骨	
2	SB17南北トレンチ北側		II層	平安	中型	四肢骨 肋骨	破片	焼骨?	
3	SB17埋土北西		I層	平安	不明	頭骨、四肢骨を含む	破片	焼骨	
8	SB17埋土南西		II層	平安	不明	不明			
11	SB17埋土北西		II層	平安	不明	不明			
13	SB17埋土北西		II層	平安	不明	不明		焼骨	
21	SB17		南北トレンチ北側II層	平安	中型	椎骨	椎体	焼骨(白)	
95	SB20東西トレンチ(西)			平安	不明	四肢骨	骨片	焼骨	
96	SB20南北ベルト(北)			平安	不明	四肢骨	骨片	焼骨	
97	SB20		埋土	平安	不明	四肢骨	骨片	焼骨	
29	SB48	No 1		平安	不明	不明		焼骨	
30	SB48 Pit 2			平安	不明	不明		焼骨	
31	SB57	No 1		平安?	不明	不明			
43	SB66カマド内			平安	不明	不明(肋骨?)	破片	焼骨	
46	SB5006			平安?	不明	不明	小破片	焼骨	
35	SB 7	No 1		奈良・平安	大型	四肢骨	骨幹部		
20	SB18		西壁トレンチ	奈良・平安	中型	肋骨	破片		
17-B-F	SD 1 南	No 1		中世	不明	不明	小破片		
33	SD 1 東西	骨No 1		中世	大型	寛骨	破片		
34	SD 1	骨No 2		中世	大型	四肢骨	骨幹部		
14	1区検出面		かく乱?	近代以降	不明	不明		焼骨	
68	1区かく乱			近代以降	不明	不明	破片		
67	3区かく乱3 c 066			近代以降	大～中型	肋骨			
71	3区かく乱			近代以降	大型	四肢骨	破片		
72	3区かく乱トレンチD			近代以降	不明	不明	破片	焼骨	
73	3区かく乱			近代以降	不明	不明	破片	焼骨	
74	3区かく乱			近代以降	大型	上腕骨	遠位骨幹		
75	3区かく乱セクション ベルトC-D(北)			近代以降	不明	不明	破片	焼骨	
85	3区かく乱			近代以降	大型	破片 肋骨加工品			
24	1区検出面			-	不明	歯の破片を含む		焼骨	

脆弱遺物 台帳番号	出土位置	取上No	出土層位	年代	動物の サイズ*	部位		備考	図版番号
70	3区			-	不明	不明	破片		
78	3区南VP07	No.1	第1検出面	-	不明	肩甲骨?	破片		
80-7	3区VA14			-	不明	四肢骨	破片		
80-10	3区VA14			-	不明	破片	80-6上腕骨の近位端破片?	80-6上腕骨の近位端破片?	
84	3区カベ			-	不明	不明	骨粉	焼骨	
87	3区南西角			-	不明	不明			
110				-	不明	不明	破片	焼骨	

*注 動物サイズは大型はウマ、ウシ相当、中型はシカ、イノシシ、イヌ相当

第40表 浅川扇状地遺跡群出土動物骨の計測値

a. ウマ下顎歯 エナメル質の縁部で計測

		L (最大長)	B (頬舌径)	H (歯冠高)
No65	P 2		15.0	50.6
	P 3	28.1	14.7	70.5
	P 4	25.5	13.6	73.5
	M 1	23.9		68.0
	M 2			e. 67.9
	M 3			e. 77.0
No62	M 3		13.2	57.0
No91	M 3		12.2	80.7
No27	M 1	20.1	12.3	11.0
No79-3-5	dp 3か4		12.7	
No79-3-6	M 1	31.4	9.3	56.4

b. ウマ上顎歯

		L (最大長)	B (頬舌径)	H (歯冠高)
No49	M 2	26.4	23.0	63.7
No79-2	dp 2	36.2	20.0	16.4
No79-3-1	P 3	27.9	23.2	70.9
No79-3-3	dp 3か4	28.4	21.8	23.9

c. ウシ下顎歯 L:最大長、Ba:近心頬舌径、遠心頬舌径

		No38	摩耗段階*	No22	摩耗段階*
M 3	L	39.6	c		
	Ba	14.3			
	Bm	13.8			
M 2	L	32.0	g	29.4	d
	Ba	14.4		12.4	
	Bm	14.5		12.7	
M 1	L	27.6	h		
	Ba	13.8			
	Bm	15.3			
P 4	L	23.1	c		
	B	12.6			

*摩耗段階はGrant 1982による分類

d. ウシ上顎歯

		左	右
	臼歯列長		93.6
No38 M 3	L	30.8	31.7
	Ba		22.1
	Bp	20.9	20.5
	H	20.9	63.3
No38 M 2	L		33.4
	Ba		20.8
	Bm		21.1
	H		56.0

e. イヌ

環椎	GL	H
No56-1	22.2	22.6

第4章 自然科学分析

軸椎	BFcr	LcDe	LApa	H
No56-1	24.1	37.5	e. 35.3	
No59-5	28.6		40.2	e. 32.0

犬歯	B	D
No17-G (歯槽)	7.6	9.6
No59-6	7.3	

肩甲骨	GLP	LG	BG
No56-4	24.2	21.4	15.0
No59-10			18.0

上腕骨	骨頭幅	Bd	Bfd (遠位関節部幅)	Dd (遠位端前後径)	SD (骨幹最小幅)	骨頭から遠位端までの長さ
No56-2	18.8	26.5	18.3	20.8	11.1	126.0
No59-3		31.0		24.2		145.7以上 (骨頭を欠く)

橈骨	GL	Bp	Dp	Bd	Dd	SD
No56-3	125	14.4	9.5	17.8	9.0	11.0

中手骨 (第IV)	Bp	Dp
No59-9	10.8	8.8

寛骨	LA	BA
No57-1 (右)	e. 19.1	
No57-2 (左)	18.7	17.9
No59-7 (右)	24.0	e. 25.0

大腿骨	DC	Bd	Dd	SD	GLC
No57-5 (左)		24.7	26.0		137.0
No57-6 (右)	14.9	25.5	24.7	10.5	

脛骨	Dp	Bd	Dd	SD	GL
No57-7	25.2	16.6	13.3	10.2	137.1
No59-2			15.7		

距骨	B	BF	L
No57-3	14.9	12.0	20.5

踵骨	B	D
No57-4	13.2	15.2

中足骨	Bd	Dd	GL
No57-8 (第II)	6.3	7.0	
No57-8 (第III)	5.9	6.8	54.5
No57-8 (第IV)	5.8	5.6	47.4

f. ネコ

軸椎	BFcr
No93	14.9

上腕骨	骨頭幅	Bd	Bfd (遠位関節部幅)	Dd (遠位端前後径)	Dfd (遠位関節部前後径)	SD	GL
No100					7.3	4.4	
No102		16.7	12.4	10.5		7.1	e. 97.0

g. ヤギ

下顎M3	L (最大長)	Ba (近心頬舌径)	Bm (中央頬舌径)	Bp (遠心頬舌径)	H (歯冠高)
No80-9	21	7.5	7.7	5	7.6

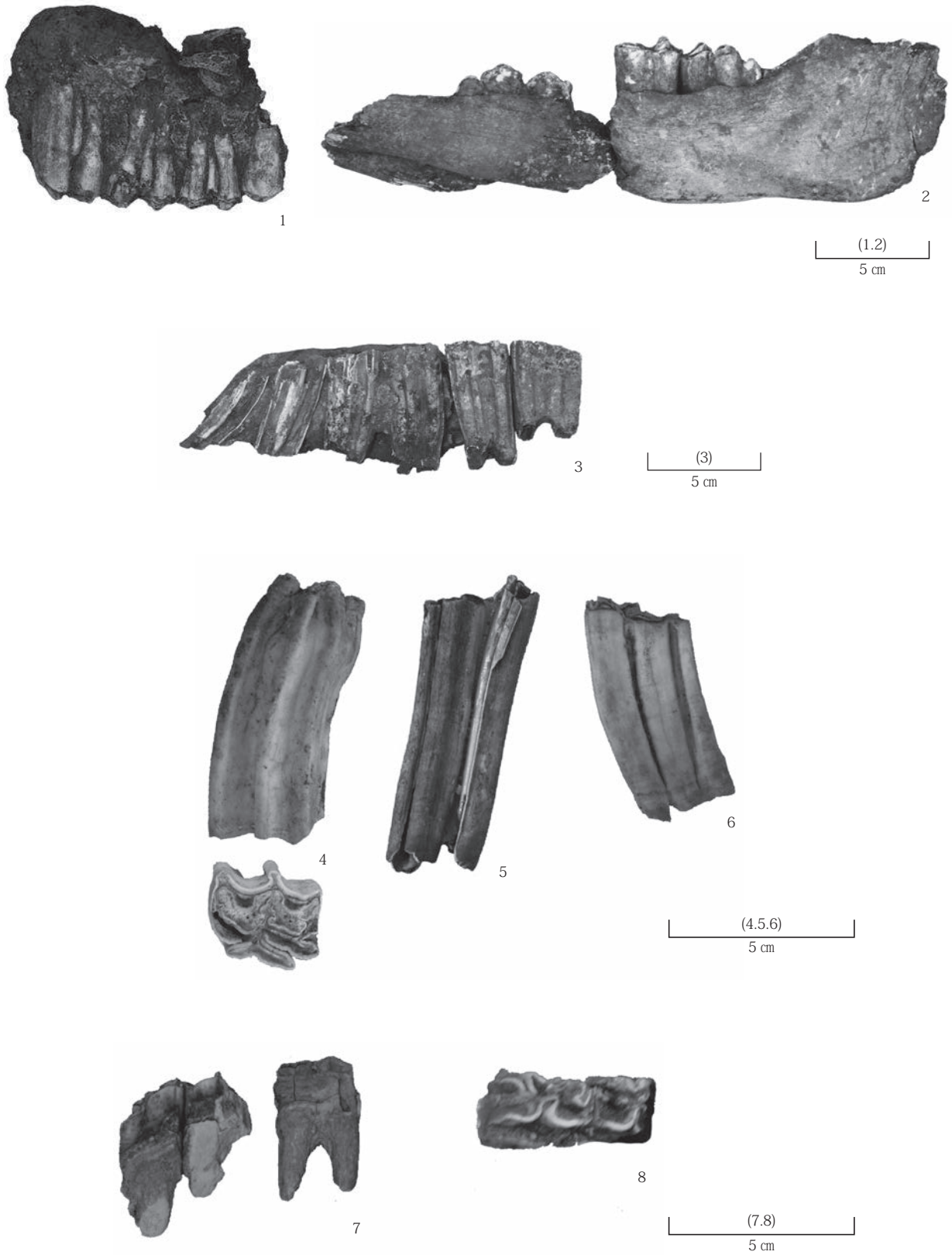
上腕骨	Dp	Bd	GLT	SD	骨頭からの長さ
No80-11	42.8	28.8	17.9	18.5	139.0

橈骨	GL	Bp	Dp	Bd	Dd	SD
No80-6		28.9	14.5		24.3	
No80-11		28.9	14.5			15.3

大腿骨	DC	Bd	Dd	SD	GLC
No80-2 (左)		35.0	40.0	17.0	
No80-8 (右)	20.0			17.1	166.5

脛骨	Bp	Dp	Bd	Dd	SD	GL
No80-1 (左)	31.0			32.0		
No80-3 (右)	32.0				14.6	e. 190.0

計測値の単位mm eは概測
dpは乳臼歯 Pは前臼歯 Mは大臼歯



1. ウシ左上顎骨 (38) 2. ウシ左下顎骨 (38) 3. ウマ左下顎歯 P2-M3(65) 4. ウマ左上顎歯 M2 側面と咬合面 (49)
5. ウマ右下顎歯 M3(91) 6. ウマ左下顎歯 M3(62) 7. ウマ右下顎歯頰側: 接合前 (27) 8. 7 の咬合面

第361図 ウシ・ウマ



1. ヤギ右上顎歯 M1-M3(80-9) 2. ヤギ左上顎歯 M2-M3(80) 3. ヤギ右下顎歯 M2-M3(80-9) 4. ヤギ左下顎歯 M3(80)
 5. ヤギ右上腕骨 (80-11) 6. ヤギ左上腕骨 (80-6) 7. ヤギ右橈骨 (80-11) 8. ヤギ左橈骨 (80-5) 9. ヤギ右大腿骨 (80-8)
 10. ヤギ左大腿骨 (80-2) 11. ヤギ右脛骨 (80-3) 12. ヤギ左脛骨 (80-1)

第362図 ヤギ

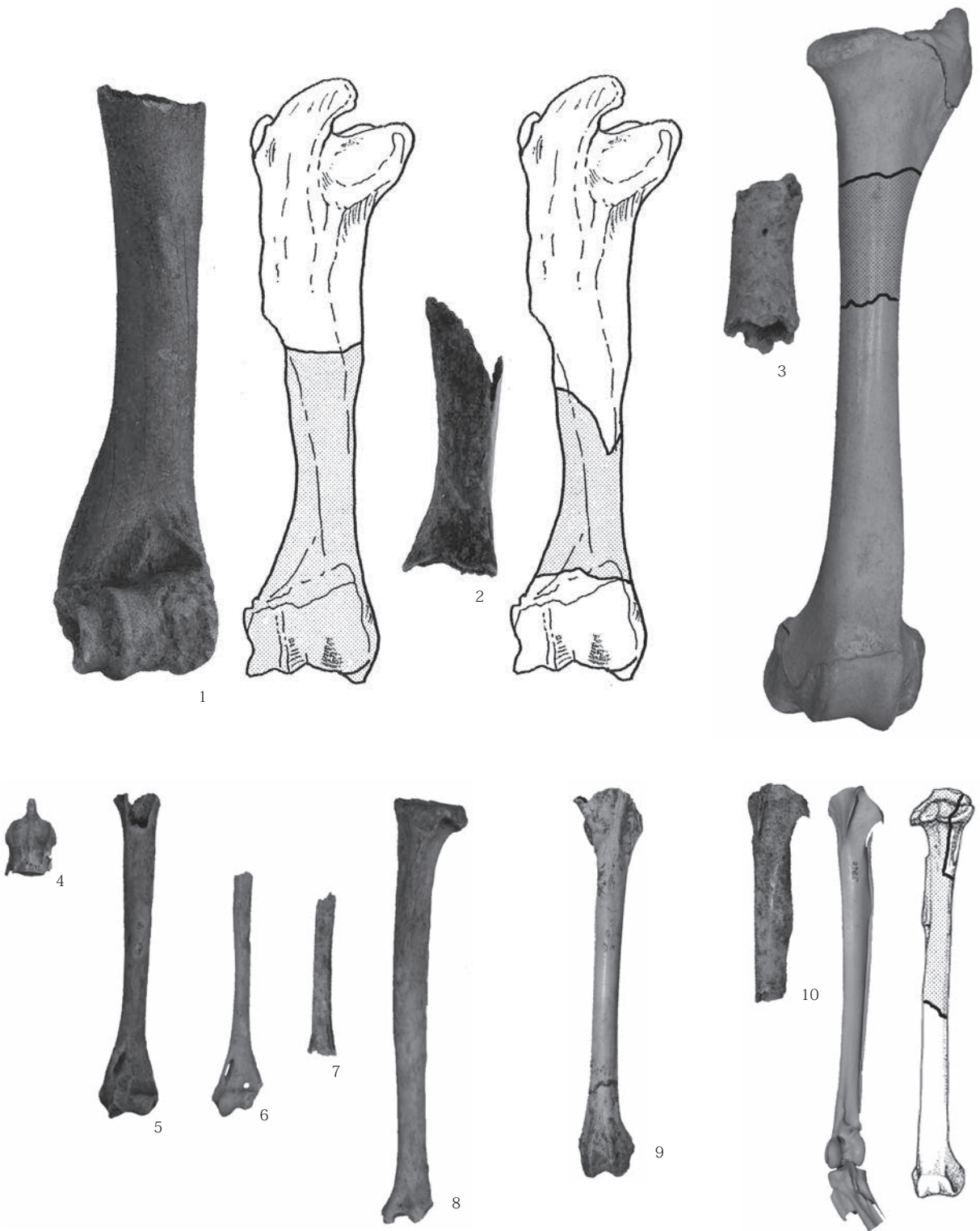


1. イヌ環椎 (56-1) 2. イヌ軸椎 (56-1) 右は比較標本 3. イヌ右下顎骨 (59-6)
4. イヌ右肩甲骨 (59-10) 5. イヌ右上腕骨 (56-2) 右は比較標本 6. イヌ左上腕骨 (59-3)
7. イヌ右上腕骨 (59-3) 8. イヌ右橈骨 (56-3) 右は比較標本

第363図 イヌ 1



第364図 イヌ2



1. ニホンジカ右上腕骨 (108) 2. ニホンジカ右上腕骨 (80) 3. イノシシ左大腿骨 (69-1) 4. ネコ軸椎 (93)
 5. ネコ左上腕骨 (102) 6. ネコ左上腕骨 (100) 7. ネコ左橈骨 (99) 8. ネコ左脛骨 (69-2)
 9. ウサギ左大腿骨 (63) 10. ニワトリ左脛足根骨 (55) 右は比較標本と江田氏文献から引用の図

5 cm

第365図 ニホンジカ・イノシシ・ネコ・ウサギ・ニワトリ

第2節 放射性炭素年代測定

1 はじめに

浅川扇状地遺跡群では、弥生時代から近世の遺構が検出された。遺構等の時期決定参考資料とするために、出土した木製品や炭化物、人骨を試料として加速器質量分析法（AMS法）による放射線炭素年代測定（以下、年代測定）を委託して行った。分析は2011年度に7点、2012年度に15点、2013年度に29点、2014年度10点、2015年度9点、2016年度15点、2018年度10点、2019年度16点、合計111点実施した。委託業者からの報告書は添付DVDに収録してある。

2 測定対象試料

分析番号は、年度ごとに1から付されているものが大半である。本報告書では各年度と花粉分析等試料との混同をさけるため、分析番号の前に分析年度を加え、区別することにした〔例 2011年（H23年）度分析番号1→H23-1〕。なお、この分析番号は年代測定、樹種・種実同定で共有する（第41表）。

各年度の年代測定試料の採取場所と点数は、以下のとおりである。

2011（H23）年度：炭化物7点 SB4（2）、SB15（2）、SD1（1）、SK101（2）

2012（H24）年度：炭化物3点 SB5030（1）、SB5033（1）、SK5033（1）

人骨12点 SM1（3）、SM2（3）、SM4（3）、SM5003（3）

2013（H25）年度：炭化材27点 SB4（4）、SB3003（1）、SB3005（1）、SB3006（1）、SB3007（5）、SB3010（5）、SB3024（1）、SK5038（1）、その他（8）

生木1点 SK3165（1）

動物歯1点 その他（1）

2014（H26）年度：炭化物10点 SB3043（2）、SD3023（2）、SB4001（2）、SB4002（1）、SB4003（1）、SX4003（1）、SB5042（1）

2015（H27）年度：炭化物5点 SB3064（2）、SB4007（3）

木製品4点 その他（4）

2016（H28）年度：炭化物7点 SB29（2）、SB3001（1）、SB5005（3）、SB5031（1）

木製品8点 SK3165（1）、SK3179（3）、SK6066（4）

2018（H30）年度：炭化物2点 その他（2）

木製品3点 SD4020（2）、SD4022（1）

土壌5点 その他（5）

2019（H31）年度：炭化材10点 SB103（3）、SB105（4）、SK5089（2）、SK5114（1）

木製品2点 SK292（1）、その他（1）

種子4点 SK5089（4）

3 測定結果概要

各試料の測定結果概要は、第42表のとおりである。ここでは、遺構出土試料の分析結果を中心に概略を述べる。詳細は添付DVDを参照いただきたい。

SB4：H23-1・2の¹⁴C年代が2070±30yrBP、2030±30yrBP。1σ暦年較正年代が148-44calBC、52calBC～17calADの間に各々2つの範囲で示される。H25-34～37の年代は、¹⁴C年代が2090±

20yrBP (H25-36) から2020±30yrBP (H25-34) の間にある。1σ 暦年較正年代は157calBC-17calADの間に複数の範囲で示され弥生時代中期から後期頃に相当する値を示した。

SB15: H23-3・4の¹⁴C年代が1800±20yrBP、1870±20yrBP。1σ 暦年較正年代が140-247calAD、82-210calADの間に各々3つの範囲で示される。SB15出土試料は1σ 暦年代範囲で弥生時代後期頃、2σ 暦年代範囲で弥生時代後期から古墳時代前期頃に相当し、発掘調査所見の古墳時代とおおむね整合するか、やや古い値となっている。

SB29: H28-1・2の¹⁴C年代が1200±20yrBP、1205±20yrBP。2σ 暦年代範囲は771-886calAD、769-886calADであった。どちらも8世紀後半～9世紀後半で、奈良時代～平安時代前期に相当する。発掘調査所見の古代とおおむね整合する。

SB103: H31-1～3は弥生時代後期頃に相当し(小林 2009)、推定される古墳時代よりも古い年代値となった。

SB105: H31-4～7の¹⁴C年代が2180±30yrBPから1830±20yrBPの間にある。H31-6の2σ 暦年代範囲は359-172calBCの間に2つの範囲で示され、弥生時代中期頃に相当する。H31-4・5・7の2σ 暦年代範囲は24-243calADの間に複数の範囲で示され、弥生時代後期頃に相当する。発掘調査所見の年代とおおむね一致するものの、遺構内でやや年代差が認められる。なお、SB103とSB105の間に想定される時期差は、試料の年代値には明確に表れていない。

SB3001: H28-3の¹⁴C年代が1480±20yrBP、2σ 暦年代範囲が551-634calAD(6世紀中頃～7世紀前半)で、古墳時代後期～飛鳥時代に相当する。発掘調査所見の古墳時代～古代と整合的であった。

SB3007: H25-39～43の¹⁴C年代は、2120±30yrBP(H25-43)から1900±30yrBP(H25-40)の間にある。1σ 暦年較正年代は、最も古いH25-43が196-111calBCの範囲、最も新しいH25-40が76-126calADの範囲で示される。5点全体で弥生時代中期から後期頃に相当する。

SB3003: H25-28の¹⁴C年代が1700±20yrBP、1σ 暦年較正年代が268-389calADの間の2つの範囲で示され、古墳時代前期から中期頃に相当する。

SB3005: H25-27の¹⁴C年代が1260±30yrBP、1σ 暦年較正年代が690-769calADの間の2つの範囲で示され、古墳時代終末期から古代頃に相当する。

SB3006: H25-45の¹⁴C年代が1510±20yrBP、1σ 暦年較正年代が540-590calADの範囲で示され、古墳時代後期頃に相当する。

SB3010: H25-29～33の¹⁴C年代は1810±30yrBP(H25-32)から1620±20yrBP(H25-33)の間にある。1σ 暦年較正年代は、最も古いH25-32が140-239calADの間に3つ、最も新しいH25-33が395-527calADの間に3つの範囲で示される。5点全体で弥生時代後期から古墳時代後期頃に相当する。

SB3024: H25-38の¹⁴C年代が1280±20yrBP、1σ 暦年較正年代が686-767calADの間の2つの範囲で示され、古墳時代終末期から古代頃に相当する。

SB3043: H26-6・7の¹⁴C年代が1870±20yrBP、1860±20yrBP、2σ 暦年代範囲が81-217calAD、86-224calAD(1世紀後半～3世紀前半)を示した。弥生時代後期に相当するが、H26-6・7は最終形成年輪が残っていないため、より新しい方向にシフトする可能性がある点に注意が必要である。

SB3064: H27-1・2の¹⁴C年代が1790±20yrBP、1815±20yrBP、2σ 暦年代範囲が138-325calADの間に2つの範囲を示した。弥生時代後期～古墳前期、弥生時代後期～古墳前期初頭に相当する。発掘調査所見の推定時期に整合的である。

SB4001: H26-1・2の¹⁴C年代が1735±20yrBP、1690±20yrBP、2σ 暦年代範囲245-380calADの間に2つの範囲、259-405calADの間で2つ範囲(3世紀中頃～4世紀中頃、3世紀中頃～5世紀初頭)を

示した。それぞれ弥生時代後期～古墳時代前期、古墳時代前期～中期に相当する。発掘調査所見の古墳時代前期と整合的である。

SB4002：H26-4の¹⁴C年代が 1820 ± 20 yrBP、2 σ 暦年代範囲が $131-244$ calAD（2世紀前半～3世紀中頃）を示した。これは、弥生時代後期に相当する。H26-4は最終形成年輪が残っていないため、古木効果などの影響を受けているために古墳時代前期以前の暦年代を示した可能性がある。

SB4003：H26-3の¹⁴C年代が 1755 ± 20 yrBP、2 σ 暦年代範囲が $235-340$ calAD（3世紀前半～4世紀前半）を示した。これは、弥生時代後期～古墳時代前期に相当する。発掘調査所見の古墳時代前期と整合的である。

SB4007：H27-3～5の¹⁴C年代は 1885 ± 20 yrBP（H27-3）から 1765 ± 20 yrBP（H27-5）の間にある。2 σ 暦年代範囲はH27-3が $66-175$ calAD、 $192-211$ calAD、H27-4が $130-245$ calADであった。これは弥生時代後期、弥生時代後期の後葉～古墳時代前期に相当する。H27-3・4は発掘調査所見よりもやや古い年代で、分析H27-5は整合的な年代である。

SB5005：H28-4～6の¹⁴C年代は 1240 ± 20 yrBP（H28-4）から 1205 ± 20 yrBP（H28-5）の間にある。2 σ 暦年代範囲はH28-4が $688-870$ calADの間に3つの範囲、H28-5は $769-885$ calAD、H28-6は $695-882$ calADの間に3つの範囲（7世紀後半～9世紀後半、8世紀後半～9世紀後半、7世紀末～9世紀後半）を示す。それぞれ飛鳥時代～平安時代前期、奈良時代～平安時代前期、飛鳥時代～平安時代前期に相当する。発掘調査所見の古代と整合的である。

SB5030：H24-1・2は、共に¹⁴C年代が 2010 ± 30 yrBP、2 σ 暦年代範囲が 90 calBC～AD- 60 calADの間で2つの範囲を示す。

SB5031：H28-7の¹⁴C年代が 2190 ± 20 yrBP、2 σ 暦年代範囲が $359-274$ calBC、 $261-195$ calBCであった。これは弥生時代中期に相当する。発掘調査所見は古墳時代～古代で、450年以上古い年代を示した。

SB5042：H26-10の¹⁴C年代が 1960 ± 20 yrBP、2 σ 暦年代範囲が $22-11$ calBC、 2 calBC- 84 calAD（紀元前1世紀後半～紀元後1世紀後半）を示した。これは弥生時代中期～後期に相当するが、最終形成年輪が残っていないため、古木効果を考慮する必要がある。古代と推定されているSB5042の時期とは百年以上の差があり、古材の転用や炭化材の再堆積なども可能性として考慮すべきである。

SD1：H23-5の¹⁴C年代が 660 ± 20 yrBP、1 σ 暦年較正年代が $1285-1384$ calADの間に各々複数の範囲で示される。発掘調査所見の中世と整合的である。

SD3023：H26-8・9の¹⁴C年代が 445 ± 15 yrBP、 440 ± 20 yrB、2 σ 暦年代範囲が $1428-1460$ calAD、 $1428-1468$ calAD（共に15世紀代）を示した。これは、室町時代に相当する発掘調査所見の中世～近世頃と整合的である。

SD4020：H30-3・4の¹⁴C年代は 2930 ± 25 yrBP、 1400 ± 25 yrBP、2 σ 暦年較正年代が $1216-1044$ calBC、 $605-665$ calADである。

SK101：H23-6・7の¹⁴C年代が 610 ± 20 yrBP、 620 ± 20 yrBP。1 σ 暦年較正年代が $1306-1396$ calAD、 $1299-1391$ calADの間に各々複数の範囲で示される。中世とする発掘調査所見と整合的である。

SK292：H31-8の¹⁴C年代は 120 ± 20 yrBP、1 σ 暦年較正年代は $1691-1925$ calADの間に5つの範囲で示される。近世から近代頃に相当する。発掘調査所見と整合的である。なお、この試料の較正年代については、記載された値よりも新しい可能性がある点に注意を要する（第42表下の警告参照）。

SK3165：H25-44の¹⁴C年代が 430 ± 20 yrBP、1 σ 暦年代範囲 $1437-1491$ calADを示し、これは中世頃に相当する。

SK3165：曲物底板（H28-8）の¹⁴C年代が 340 ± 15 yrBP、2 σ 暦年代範囲が $1476-165$ calADの間で2

つの範囲（15世紀後半～17世紀前半）を示し、室町時代～江戸時代前期に相当する。発掘調査所見の中世以降と整合的である。

SK3179：H28-9の2 σ 暦年代範囲は17世紀後半～20世紀中頃の値を示し、江戸時代前期～昭和時代に相当する。H28-10・11の2 σ 暦年代範囲は17世紀中頃～20世紀中頃の値を示し、江戸時代前期～後期および昭和時代に相当する。発掘調査所見は古代以降で整合的だが、近世以降であり比較的新しい時期の材であった。

SK5033：H24-3の¹⁴C年代が590±30年BP、2 σ 暦年代範囲が1300-1370calAD、AD1380-1410calADを示す。

SK5038：H25-26の¹⁴C年代が250±30yrBP、1 σ 暦年較正年代が1641-1794calADの間に2つの範囲で示され、近世頃に相当する。ただし、この試料の較正年代については、記載された値よりも新しい可能性がある（表42下の警告参照）。

SK5089：H31-No.9～14の¹⁴C年代は、380±20yrBPから120±20yrBPの間にある。1 σ 暦年較正年代は、最も古い試料H31-12が1453-1616calADの間に3つの範囲、最も新しい試料H31-14が1685-1928calADの間に5つの範囲で示され、中世から近代頃に相当し、発掘調査所見とおおむね一致するか、やや古い値となった。出土の種子（H31-10～13）の測定結果が、炭化材（H31-9・14）よりやや古い傾向がある。なお、H31-9・11・13・14の較正年代については、記載された値よりも新しい可能性がある点に注意を要する（表42下の警告参照）。

SK5114：H31-15の¹⁴C年代は80±20yrBP、1 σ 暦年較正年代は1699-1916calADの間に3つの範囲でそれぞれ示される。中世から近代頃に相当し、発掘調査所見とおおむね一致するか、やや古い値となった。なお、H31-15の較正年代については、記載された値よりも新しい可能性がある点に注意を要する（表42下の警告参照）。

SK6066：H28-12～15のうち、H28-12の2 σ 暦年代範囲は17世紀後半～19世紀初頭、20世紀前半～中頃の値を示し、江戸時代前期～後期、昭和時代に相当する。H28-13・14・15は、いずれも17世紀後半～20世紀中頃の値を示し、江戸時代前期～現代に相当する。したがって発掘調査所見の近世以降と整合的である。

SM1（中世）：H24-4～6の¹⁴C年代が470±30年BPから420±30年BPの間、2 σ 暦年代範囲が1420-1450calAD、1430-1610calADの間に2つの範囲、1410-1450calADを示す。

SM2（古代～中世）：H24-7～9の¹⁴C年代が600±30年BPから360±30年BPの間、2 σ 暦年代範囲がAD1440-1620calADの間に3つの範囲、1450-1640calAD、1290-1410calADを示す。

SM4（古代～中世の墓跡）：H24-13～15の¹⁴C年代が580±30年BPから550±30年BPの間、2 σ 暦年代範囲が1300-1420calAD、1300-1420calAD、1320-1430calADの間でおおの2つの範囲を示す。

SM5003（中世の墓跡）：H24-10～12の¹⁴C年代が920±30年BPから830±30年BPの間、2 σ 暦年代範囲が1160-1260calAD、1160-1260calAD、1030-1210calADの間で2つの範囲を示す。

SX4003：H26-5は、2 σ 暦年代範囲が2196-2170calBC、2147-2034calBC（紀元前2200～2030年）を示した。これは縄文時代後期前半に相当する。発掘調査所見は古墳時代以前で整合的である。

足跡：H30-1・2は、いずれも対照用に測定した標準試料とほぼ同じ値が得られたため、数値を表記することができない。

分析結果は、概ね調査時に推定された年代と差異がないものが多かった。しかし、試料によっては古木効果で、本来の年代とは異なる数値が出た可能性も考慮すべきである。

第41表 年代測定および樹種・種実同定試料一覧

本報告書内 試料番号	分析 年度	分析 番号	地区	遺構	出土位置	材質	遺構時期	年代 測定	樹種 種実	備考	分析機関 (註1)
H23-1	2011 (H23)	1	1	SB4	炭1	炭化材	弥生後期	○		床面	①
H23-2	2011 (H23)	2	1	SB4	炭15	炭化材	弥生後期	○		床面	
H23-3	2011 (H23)	3	2	SB15	炭1	炭化材	古墳前期	○		床面	
H23-4	2011 (H23)	4	2	SB15	炭2	炭化材	古墳前期	○		床面	
H23-5	2011 (H23)	5	2	SD1		炭化材	中世	○		5層	
H23-6	2011 (H23)	6	2	SK101		炭化材	中世	○		1層	
H23-7	2011 (H23)	7	2	SK101		炭化材	中世	○		3層	
H24-1	2012 (H24)	1	5	SB5030	炭No21	炭化材	弥生後期	○			②
H24-2	2012 (H24)	2	5	SB5033	炭No33	炭化材	弥生後期	○			
H24-3	2012 (H24)	3	5	SK5033	炭No1	炭化材	中世	○			
H24-4	2012 (H24)	4	5	SM1	(#1)	人骨	中世	○			
H24-5	2012 (H24)	5	5	SM1	(#2)	人骨	中世	○			
H24-6	2012 (H24)	6	5	SM1	(#3)	人骨	中世	○			
H24-7	2012 (H24)	7	5	SM2	(#1)	人骨	中世?	○			
H24-8	2012 (H24)	8	5	SM2	(#2)	人骨	中世?	○			
H24-9	2012 (H24)	9	5	SM2	(#3)	人骨	中世?	○			
H24-10	2012 (H24)	10	5	SM5003	骨No7	人骨	古代?	○			
H24-11	2012 (H24)	11	5	SM5003	骨No10	人骨	古代?	○			
H24-12	2012 (H24)	12	5	SM5003	骨No8	人骨	古代?	○			
H24-13	2012 (H24)	13	1	SM4	(#1)	人骨	中世?	○			
H24-14	2012 (H24)	14	1	SM4	(#2)	人骨	中世?	○			
H24-15	2012 (H24)	15	1	SM4	(#3)	人骨	中世?	○			
H25-16	2013 (H25)	16	5 a	遺構外	II G-9 No1	炭化材		○	○	Ⅲ層上面	①
H25-17	2013 (H25)	17	5 a	遺構外	II G-9 No2	炭化材		○	○	Ⅲ層上面	
H25-18	2013 (H25)	18	5 a	5 a トレンチ1	北壁サンプルポイントA	炭化材		○	○	II c層	
H25-19	2013 (H25)	19	5 a	5 a トレンチ1	北壁サンプルポイントA	炭化材		○	○	II c層	
H25-21	2013 (H25)	21	5 a	5 a トレンチ1	北壁サンプルポイントA	炭化材		○	○	II c層	
H25-22	2013 (H25)	22	5 a	5 a トレンチ1	北壁サンプルポイントA	炭化材		○	○	II c層	
H25-24	2013 (H25)	24	5 a	5 a トレンチ1	北壁サンプルポイントA	炭化材		○	○	II c層	
H25-25	2013 (H25)	25	5 a	遺構外	北壁サンプルポイントA	炭化材		○	○	II d層下面	
H25-26	2013 (H25)	26	5 a	SK5038		炭化材	古代	○	○		
H25-27	2013 (H25)	27	3	SB3005	カマド周辺	炭化材	古代7・8期	○	○		
H25-28	2013 (H25)	28	3	SB3003		炭化材	古墳中期	○	○	床面	
H25-29	2013 (H25)	29	3	SB3010	No1	炭化材	古墳中期	○	○		
H25-30	2013 (H25)	30	3	SB3010	No58	炭化材	古墳中期	○	○		
H25-31	2013 (H25)	31	3	SB3010	No66	炭化材	古墳中期	○	○		
H25-32	2013 (H25)	32	3	SB3010	No93	炭化材	古墳中期	○	○		
H25-33	2013 (H25)	33	3	SB3010	No94	炭化材	古墳中期	○	○		
H25-34	2013 (H25)	34	1	SB4	No16	炭化材	弥生後期	○	○		
H25-35	2013 (H25)	35	1	SB4	No18	炭化材	弥生後期	○	○		
H25-36	2013 (H25)	36	1	SB4	No19	炭化材	弥生後期	○	○		
H25-37	2013 (H25)	37	1	SB4	No22	炭化材	弥生後期	○	○		

第2節 放射性炭素年代測定

本報告書内 試料番号	分析 年度	分析 番号	地区	遺構	出土位置	材質	遺構時期	年代 測定	樹種 種実	備考	分析機関 (註1)
H25-38	2013 (H25)	38	3	SB3024	東西トレンチ(東)	炭化材	古代	○	○		①
H25-39	2013 (H25)	39	3	SB3007	No.2	炭化材	弥生後期	○	○		
H25-40	2013 (H25)	40	3	SB3007	No.5	炭化材	弥生後期	○	○		
H25-41	2013 (H25)	41	3	SB3007	No.23	炭化材	弥生後期	○	○		
H25-42	2013 (H25)	42	3	SB3007	No.26	炭化材	弥生後期	○	○		
H25-43	2013 (H25)	43	3	SB3007	No.29	炭化材	弥生後期	○	○		
H25-44	2013 (H25)	44	3	SK3165		生木	中世以降	○	○		
H25-45	2013 (H25)	45	3	SB3006	埋土中部	炭化物	古墳中期	○	○		
H25-47	2013 (H25)	47	3	V A24	菌No.1	動物骨(菌)		○		(正)VA24 (誤)VF4 分析報告書の番 号は(誤)のまま	
H26-1	2014 (H26)	1	4 b	SB4001	炭No.1	炭化物	古墳前期	○	○		③
H26-2	2014 (H26)	2	4 b	SB4001	炭No.2	炭化物	古墳前期	○	○		
H26-3	2014 (H26)	3	4 a ②	SB4003	No.1	炭化物	古墳前期	○	○		
H26-4	2014 (H26)	4	4 a ②	SB4002	No.2	炭化物	古墳前期	○	○		
H26-5	2014 (H26)	5	4 b	SX4003	No.1	炭化物	古墳?	○	○		
H26-6	2014 (H26)	6	3 c	SB3043	No.2	炭化物	弥生後期	○	○		
H26-7	2014 (H26)	7	3 c	SB3043	No.5	炭化物	弥生後期	○	○		
H26-8	2014 (H26)	8	3 c	SD3023	No.1	炭化物	中世	○	○		
H26-9	2014 (H26)	9	3 c	SD3023	No.10	炭化物	中世	○	○		
H26-10	2014 (H26)	10	5 c	SB5042	No.1	炭化物	弥生後期	○	○		
H27-1	2015 (H27)	1	3	SB3064	床-炭No.1	炭化物	弥生後期	○	○	1層	③
H27-2	2015 (H27)	2	3	SB3064	床-炭No.2	炭化物	弥生後期	○	○	1層	
H27-3	2015 (H27)	3	4	SB4007	埋土-炭No.1-1	炭化物	古墳	○	○	1層	
H27-4	2015 (H27)	4	4	SB4007	埋土-炭No.2	炭化物	古墳	○	○	1層	
H27-5	2015 (H27)	5	4	SB4007	埋土-炭No.3	炭化物	古墳	○	○	1層	
H27-6	2015 (H27)	6	3	3区VP12	検出面-No.1	木製品(曲物)	中近世以降	○	○	II層	
H27-7	2015 (H27)	7	3	3区VP12	検出面-No.2	木製品(桶)	中近世以降	○	○	II層	
H27-8	2015 (H27)	8	3	3区VU2	検出面	木製品(下駄)	中近世以降	○	○	II層	
H27-9	2015 (H27)	9	3	3区VU2	検出面	木製品(部材)	中近世以降	○	○	II層	
H28-1	2016 (H28)	1	2	SB29	Pit 4	炭化物	古代7期	○	○		③
H28-2	2016 (H28)	2	2	SB29	Pit 4	炭化物	古代7期	○	○		
H28-3	2016 (H28)	3	3	SB3001		炭化物	古墳中期	○	○	床	
H28-4	2016 (H28)	4	5	SB5005	炭2	炭化物	古代6期	○	○	床	
H28-5	2016 (H28)	5	5	SB5005	炭4	炭化物	古代6期	○	○	床	
H28-6	2016 (H28)	6	5	SB5005		炭化物	古代6期	○	○	カマド	
H28-7	2016 (H28)	7	5	SB5031	炭化物No.5	炭化物	(古墳)	○	○	床	
H28-8	2016 (H28)	8	3	SK3165		木製品(曲物)	中世以降	○	○	底部	
H28-9	2016 (H28)	9	3	SK3179		木製品(白?)	近世以降	○	○		
H28-10	2016 (H28)	10	3	SK3179		木製品(部材)	近世以降	○	○		
H28-11	2016 (H28)	11	3	SK3179		木製品(部材)	近世以降	○	○		
H28-12	2016 (H28)	12	6	SK6066		木製品(部材)	近世以降	○	○		
H28-13	2016 (H28)	13	6	SK6066		木製品(部材)	近世以降	○	○	炭化物層	
H28-14	2016 (H28)	14	6	SK6066		木製品(部材)	近世以降	○	○		

第4章 自然科学分析

本報告書内 試料番号	分析 年度	分析 番号	地区	遺構	出土位置	材質	遺構時期	年代 測定	樹種 種実	備考	分析機関 (註1)
H28-15	2016 (H28)	15	6	SK6066		木製品(部材)	近世以降	○	○	検出面	③
H30-A	2018 (H30)	A	4 b ②	VIO-03西壁	C地点	土壌		○		V層	①
H30-B	2018 (H30)	B	4 b ②	SD4020 C-D	A地点	土壌		○		V層	
H30-C	2018 (H30)	C	4 b ②	SD4020 C-D	A地点	土壌		○		V層	
H30-D	2018 (H30)	D	4 b ②	VIO-03西壁	B地点	土壌		○		V層	
H30-E	2018 (H30)	E	4 b ②	VIO-03西壁	B地点	土壌		○		V層	
H30-1	2018 (H30)	1	4	足跡	No 1	炭化物	古墳時代以降	○	○	砂層	④
H30-2	2018 (H30)	2	4	足跡	No 2	炭化物	古墳時代以降	○	○	砂層	
H30-3	2018 (H30)	3	4	SD4020	No 2	木製品(曲げ物)	古代	○	○		
H30-4	2018 (H30)	4	4	SD4020	No 3	木製品	古代	○	○		
H30-5	2018 (H30)	5	4	SD4022	No 1	木製品	古代	○	○		
H31-1	2019 (H30/R1)	1	2	SB103	No 1	炭化材	古墳前期	○	○		①
H31-2	2019 (H30/R1)	2	2	SB103	No 2	炭化材	古墳前期	○	○		
H31-3	2019 (H30/R1)	3	2	SB103	No 3	炭化材	古墳前期	○	○		
H31-4	2019 (H30/R1)	4	2	SB105	No 1	炭化材	弥生後期	○	○		
H31-5	2019 (H30/R1)	5	2	SB105	No 3	炭化材	弥生後期	○	○		
H31-6	2019 (H30/R1)	6	2	SB105	No 4	炭化材	弥生後期	○	○		
H31-7	2019 (H30/R1)	7	2	SB105	No 5	炭化材	弥生後期	○	○		
H31-8	2019 (H30/R1)	8	2	SK292	No 7	木製品(曲物)	近世?	○	○		
H31-9	2019 (H30/R1)	9	5	SK5089	サンプル②	炭化材	近世以降	○	○		
H31-10	2019 (H30/R1)	10	5	SK5089	サンプル②	種子	近世以降	○	○		
H31-11	2019 (H30/R1)	11	5	SK5089	サンプル②	種子	近世以降	○	○		
H31-12	2019 (H30/R1)	12	5	SK5089		種子	近世以降	○	○	1層	
H31-13	2019 (H30/R1)	13	5	SK5089		種子	近世以降	○	○	1層	
H31-14	2019 (H30/R1)	14	5	SK5089		炭化材	近世以降	○	○	1層	
H31-15	2019 (H30/R1)	15	5	SK5114	Pit内	炭化材	近世以降	○	○		
H31-16	2019 (H30/R1)	16	5	西区W24		木製品(曲物)	近世以降	○	○	表土	

註1: ①(株)加速器分析研究所 ②(株)古環境研究所 ③パレオ・ラボAMS年代測定グループ ④パリノ・サーヴェイ(株)

第42表 年代測定および樹種・種実同定結果（概要）

本報告書内 試料番号	処理方法 (註1)	¹⁴ C年代 yrBP	1σ暦年代範囲	2σ暦年代範囲	時期	樹種同定結果
H23-1	I	2070±30yrBP	148calBC-141calBC (4.9%) 112calBC-44calBC (63.3%)	171calBC-36calBC (90.4%) 31calBC-19calBC (2.3%) 13calBC-1calBC (2.7%)	弥生時代中期から後期頃	未実施
H23-2	I	2030±30yrBP	52calBC-6calAD (64.4%) 11calAD-17calAD (3.8%)	107calBC-30calAD (92.4%) 37calAD-52calAD (3.0%)	弥生時代中期から後期頃	未実施
H23-3	I	1800±20yrBP	140calAD-155calAD (10.4%) 167calAD-195calAD (20.7%) 209calAD-247calAD (37.0%)	131calAD-258calAD (89.7%) 299calAD-319calAD (5.7%)	弥生時代後期頃、弥生時代後期から 古墳時代前期頃	未実施
H23-4	I	1870±20yrBP	82calAD-140calAD (47.6%) 150calAD-170calAD (11.0%) 194calAD-210calAD (9.6%)	76calAD-221calAD (95.4%)	弥生時代後期頃、弥生時代後期から 古墳時代前期頃	未実施
H23-5	I	660±20yrBP	1285calAD-1304calAD (34.9%) 1365calAD-1384calAD (33.3%)	1280calAD-1315calAD (49.0%) 1355calAD-1389calAD (46.4%)	中世	未実施
H23-6	I	610±20yrBP	1306calAD-1329calAD (27.8%) 1340calAD-1363calAD (27.6%) 1385calAD-1396calAD (12.8%)	1298calAD-1371calAD (74.4%) 1379calAD-1404calAD (21.0%)	中世	未実施
H23-7	I	620±20yrBP	1299calAD-1321calAD (28.5%) 1350calAD-1370calAD (26.0%) 1380calAD-1391calAD (13.6%)	1292calAD-1331calAD (38.0%) 1338calAD-1398calAD (57.4%)	中世	未実施
H24-1	I	2010±30年BP	BC40-AD20cal	BC90-80cal BC50-AD60cal		未実施
H24-2	I	2010±30年BP	BC40-AD20cal	BC90-80cal BC50-AD60cal		未実施
H24-3	I	590±30年BP	AD1310-1360cal AD1390-1400cal	AD1300-1370cal AD1380-1410cal	中世	未実施
H24-4	II	460±30年BP	AD1430-1450cal	AD1420-1450cal	中世	-
H24-5	II	420±30年BP	AD1440-1460cal	AD1430-1490cal AD1600-1610cal	中世から近世頃	-
H24-6	II	470±30年BP	AD1430-1440cal	AD1410-1450cal	中世	-
H24-7	II	410±30年BP	AD1440-1470cal	AD1440-1500cal AD1500-1510cal AD1600-1620cal	中世から近世頃	-
H24-8	II	360±30年BP	AD1460-1520cal AD1570-1590cal AD1590-1630cal	AD1450-1640cal	中世から近世頃	-
H24-9	II	600±30年BP	AD1300-1360cal AD1380-1400cal	AD1290-1410cal	中世	-
H24-10	II	830±30年BP	AD1190-1200cal AD1210-1230cal AD1230-1240cal AD1250-1250cal	AD1160-1260cal	中世	-
H24-11	II	830±30年BP	AD1190-1200cal AD1210-1230cal AD1230-1240cal AD1250-1250cal	AD1160-1260cal	中世	-
H24-12	II	920±30年BP	AD1040-1110cal AD1120-1160cal	AD1030-1190cal AD1200-1210cal	中世	-
H24-13	II	580±30年BP	AD1320-1350cal AD1390-1410cal	AD1300-1370cal AD1380-1420cal	中世	-
H24-14	II	580±30年BP	AD1320-1350cal AD1390-1410cal	AD1300-1370cal AD1380-1420cal	中世	-
H24-15	II	550±30年BP	AD1330-1340cal AD1400-1420cal	AD1320-1350cal AD1390-1430cal	中世	-
H25-16	I	310±20yrBP	1522calAD-1575calAD (50.3%) 1585calAD-1590calAD (3.5%) 1625calAD-1642calAD (14.4%)	1493calAD-1602calAD (73.8%) 1615calAD-1647calAD (21.6%)	中世から近世頃	ヒノキ科
H25-17	I	230±20yrBP	1651calAD-1666calAD (39.9%) ※ 1784calAD-1796calAD (28.3%) ※	1641calAD-1678calAD (51.0%) ※ 1765calAD-1800calAD (37.1%) ※ 1940calAD-... (7.3%) ※	近世頃	ヒノキ科
H25-18	I	670±20yrBP	1282calAD-1300calAD (44.2%) 1369calAD-1381calAD (24.0%)	1276calAD-1313calAD (57.6%) 1358calAD-1389calAD (37.8%)	H28-18・19・21・22・24の5点 全体で古代から近世頃、中世が主	モミ属
H25-19	I	720±30yrBP	1269calAD-1286calAD (68.2%)	1255calAD-1299calAD (94.5%) 1372calAD-1378calAD (0.9%)	H28-18・19・21・22・24の5点 全体で古代から近世頃、中世が主	アサダ
H25-21	I	830±30yrBP	1190calAD-1251calAD (68.2%)	1165calAD-1260calAD (95.4%)	H28-18・19・21・22・24の5点 全体で古代から近世頃、中世が主	広葉樹
H25-22	I	390±30yrBP	1448calAD-1491calAD (59.2%) 1603calAD-1612calAD (9.0%)	1441calAD-1522calAD (75.1%) 1575calAD-1624calAD (20.3%)	H28-18・19・21・22・24の5点 全体で古代から近世頃、中世が主	未実施
H25-24	I	970±30yrBP	1022calAD-1046calAD (32.1%) 1093calAD-1121calAD (30.0%) 1141calAD-1147calAD (6.1%)	1016calAD-1059calAD (38.1%) 1067calAD-1155calAD (57.3%)	H28-18・19・21・22・24の5点 全体で古代から近世頃、中世が主	ニガキ
H25-25	I	860±20yrBP	1166calAD-1215calAD (68.2%)	1058calAD-1075calAD (3.1%) 1154calAD-1250calAD (92.3%)	古代から中世頃	マツ属複雑管束亜属
H25-26	I	250±30yrBP	1641calAD-1665calAD (57.7%) * 1785calAD-1794calAD (10.5%) *	1524calAD-1559calAD (10.6%) * 1631calAD-1670calAD (65.6%) * 1780calAD-1800calAD (17.5%) * 1943calAD-... (1.6%) *	近世頃	マツ属複雑管束亜属
H25-27	I	1260±30yrBP	690calAD-750calAD (60.4%) 761calAD-769calAD (7.8%)	669calAD-778calAD (93.2%) 793calAD-802calAD (1.1%) 844calAD-856calAD (1.1%)	古墳時代終末期から古代頃	コナラ属コナラ亜属 クスギ節
H25-28	I	1700±20yrBP	268calAD-271calAD (1.9%) 332calAD-389calAD (66.3%)	257calAD-297calAD (17.8%) 320calAD-401calAD (77.6%)	古墳時代前期から中期頃	イネ科
H25-29	I	1660±20yrBP	355calAD-366calAD (8.9%) 381calAD-419calAD (59.3%)	332calAD-429calAD (95.4%)	H25-29-33の5点全体で 弥生時代後期から古墳時代後期頃	ハンノキ属

第4章 自然科学分析

本報告書内 試料番号	処理方法 (註1)	¹⁴ C年代 yrBP	1σ 暦年代範囲	2σ 暦年代範囲	時期	樹種同定結果
H25 - 30	I	1700 ± 20yrBP	333calAD - 391calAD (68.2%)	257calAD - 298calAD (17.0%) 320calAD - 404calAD (78.4%)	H25 - 29 ~ 33の5点全体で 弥生時代後期から古墳時代後期頃	ケンボナシ属
H25 - 31	I	1670 ± 20yrBP	349calAD - 368calAD (21.0%) 378calAD - 410calAD (47.2%)	267calAD - 271calAD (0.7%) 332calAD - 424calAD (94.7%)	H25 - 29 ~ 33の5点全体で 弥生時代後期から古墳時代後期頃	コナラ属コナラ亜属 コナラ節
H25 - 32	I	1810 ± 30yrBP	140calAD - 160calAD (15.0%) 165calAD - 196calAD (24.9%) 208calAD - 239calAD (28.3%)	128calAD - 255calAD (92.3%) 301calAD - 317calAD (3.1%)	H25 - 29 ~ 33の5点全体で 弥生時代後期から古墳時代後期頃	コナラ属コナラ亜属 クスギ節
H25 - 33	I	1620 ± 20yrBP	395calAD - 429calAD (51.9%) 495calAD - 508calAD (11.1%) 520calAD - 527calAD (5.2%)	384calAD - 475calAD (65.6%) 485calAD - 538calAD (29.8%)	H25 - 29 ~ 33の5点全体で 弥生時代後期から古墳時代後期頃	イネ科
H25 - 34	I	2020 ± 30yrBP	46calBC - 16calAD (68.2%)	92calBC - 69calBC (5.0%) 61calBC - 64calAD (90.4%)	H25 - 34 ~ 37の4点全体で弥生時代 中期から後期頃	コナラ属コナラ亜属 コナラ節
H25 - 35	I	2060 ± 30yrBP	151calBC - 140calBC (5.7%) 112calBC - 40calBC (62.5%)	166calBC - 1 calAD (95.4%)	H25 - 34 ~ 37の4点全体で弥生時代 中期から後期頃	コナラ属コナラ亜属 コナラ節
H25 - 36	I	2090 ± 20yrBP	157calBC - 134calBC (18.5%) 116calBC - 55calBC (49.7%)	174calBC - 44calBC (95.4%)	H25 - 34 ~ 37の4点全体で弥生時代 中期から後期頃	コナラ属コナラ亜属 コナラ節
H25 - 37	I	2030 ± 30yrBP	52calBC - 17calAD (68.2%)	109calBC - 53calAD (95.4%)	H25 - 34 ~ 37の4点全体で弥生時代 中期から後期頃	コナラ属コナラ亜属 コナラ節
H25 - 38	I	1280 ± 20yrBP	686calAD - 721calAD (39.0%) 741calAD - 767calAD (29.2%)	674calAD - 770calAD (95.4%)	古墳時代終末期から古代頃	コナラ属コナラ亜属 クスギ節
H25 - 39	I	2080 ± 30yrBP	154calBC - 136calBC (12.3%) 114calBC - 49calBC (55.9%)	177calBC - 38calBC (94.5%) 9 calBC - 3 calBC (0.9%)	H25 - 39 ~ 43の5点全体で 弥生時代中期から後期頃	コナラ属コナラ亜属 コナラ節
H25 - 40	I	1900 ± 30yrBP	76calAD - 126calAD (68.2%)	28calAD - 40calAD (1.6%) 50calAD - 143calAD (90.6%) 152calAD - 169calAD (1.7%) 194calAD - 209calAD (1.6%)	H25 - 39 ~ 43の5点全体で 弥生時代中期から後期頃	コナラ属コナラ亜属 クスギ節
H25 - 41	I	2030 ± 30yrBP	87calBC - 78calBC (5.6%) 56calBC - 7 calAD (61.0%) 13calAD - 16calAD (1.6%)	154calBC - 139calBC (2.0%) 113calBC - 30calAD (91.2%) 38calAD - 50calAD (2.2%)	H25 - 39 ~ 43の5点全体で 弥生時代中期から後期頃	コナラ属コナラ亜属 コナラ節
H25 - 42	I	1910 ± 30yrBP	69calAD - 125calAD (68.2%)	24calAD - 136calAD (95.4%)	H25 - 39 ~ 43の5点全体で 弥生時代中期から後期頃	コナラ属コナラ亜属 クスギ節
H25 - 43	I	2120 ± 30yrBP	196calBC - 111calBC (68.2%)	341calBC - 328calBC (2.3%) 205calBC - 54calBC (93.1%)	H25 - 39 ~ 43の5点全体で 弥生時代中期から後期頃	コナラ属コナラ亜属 コナラ節
H25 - 44	I	430 ± 20yrBP	1437calAD - 1461calAD (68.2%)	1428calAD - 1485calAD (95.4%)	中世頃	ブナ属
H25 - 45	I	1510 ± 20yrBP	540calAD - 590calAD (68.2%)	432calAD - 490calAD (16.1%) 531calAD - 609calAD (79.3%)	古墳時代後期頃	コナラ属コナラ亜属 クスギ節
H25 - 47	II	1240 ± 20yrBP	693calAD - 748calAD (42.5%) 762calAD - 778calAD (12.3%) 792calAD - 803calAD (6.0%) 843calAD - 859calAD (7.4%)	687calAD - 780calAD (61.2%) 788calAD - 876calAD (34.2%)	古墳時代終末期から古代頃	-
H26 - 1	I	1735 ± 20yrBP	255 - 301calAD (46.8%) 316 - 338calAD (21.4%)	245 - 357calAD (90.3%) 366 - 380calAD (5.1%)	弥生時代後期 ~ 古墳時代前期	コナラ属クスギ節
H26 - 2	I	1690 ± 20yrBP	339 - 390calAD (68.2%)	259 - 281calAD (9.3%) 324 - 405calAD (86.1%)	古墳時代前期 ~ 中期	モクレン属
H26 - 3	I	1755 ± 20yrBP	247 - 260calAD (15.3%) 280 - 325calAD (52.9%)	235 - 340calAD (95.4%)	弥生時代後期 ~ 古墳時代前期	コナラ属クスギ節
H26 - 4	I	1820 ± 20yrBP	142 - 156calAD (13.1%) 167 - 195calAD (27.0%) 209 - 236calAD (28.1%)	131 - 244calAD (95.4%)	弥生時代後期	コナラ属コナラ節
H26 - 5	I	3715 ± 20yrBP	2141 - 2121calBC (16.9%) 2095 - 2041calBC (51.3%)	2196 - 2170calBC (11.3%) 2147 - 2034calBC (84.1%)	縄文時代後期前半	未実施
H26 - 6	I	1870 ± 20yrBP	85 - 142calAD (51.5%) 155 - 168calAD (7.6%) 195 - 209calAD (9.1%)	81 - 217calAD (95.4%)	弥生時代後期	ムクノキ
H26 - 7	I	1860 ± 20yrBP	126 - 179calAD (46.0%) 186 - 214calAD (22.2%)	86 - 224calAD (95.4%)	弥生時代後期	コナラ属コナラ節
H26 - 8	I	445 ± 15yrBP	1437 - 1450calAD (68.2%)	1428 - 1460calAD (95.4%)	室町時代	カエデ属
H26 - 9	I	440 ± 20yrBP	1436 - 1453calAD (68.2%)	1428 - 1468calAD (95.4%)	室町時代	カエデ属
H26 - 10	I	1960 ± 20yrBP	23 - 67calAD (68.2%)	22 - 11calBC (2.0%) 2 calBC - 84calAD (93.4%)	弥生時代中期 ~ 後期	コナラ属クスギ節
H27 - 1	I	1790 ± 20yrBP	177 - 191calAD (6.3%) 212 - 258calAD (45.1%) 296 - 321calAD (16.8%)	138 - 260calAD (71.3%) 280 - 325calAD (24.1%)	弥生時代後期 ~ 古墳前期	コナラ属クスギ節
H27 - 2	I	1815 ± 20yrBP	142 - 157calAD (12.3%) 167 - 196calAD (25.1%) 209 - 239calAD (30.9%)	131 - 251calAD (95.4%)	弥生時代後期 ~ 古墳前期初頭	コナラ属クスギ節
H27 - 3	I	1885 ± 20yrBP	83 - 129calAD (68.2%)	66 - 175calAD (91.7%) 192 - 211calAD (3.7%)	弥生時代後期	ケヤキ
H27 - 4	I	1820 ± 20yrBP	141 - 157calAD (13.8%) 167 - 196calAD (26.9%) 209 - 236calAD (27.5%)	130 - 245calAD (95.4%)	弥生時代後期	イネ科 (草本)
H27 - 5	I	1765 ± 20yrBP	240 - 258calAD (23.4%) 284 - 322calAD (44.8%)	223 - 335calAD (95.4%)	弥生時代後期の後葉 ~ 古墳時代前期	ケヤキ?
H27 - 6	I	132 ± 20yrBP	Post-bombNH2 2013 : 1682 - 1696calAD (11.3%) 1725 - 1736calAD (8.1%) 1757 - 1761calAD (1.7%) 1804 - 1814calAD (7.3%) 1835 - 1877calAD (25.4%) 1917 - 1936calAD (14.0%) 1954 - 1954calAD (0.4%)	Post-bombNH2 2013 : 1678 - 1709calAD (15.3%) 1718 - 1765calAD (19.9%) 1772 - 1777calAD (0.9%) 1800 - 1827calAD (11.9%) 1831 - 1890calAD (29.4%) 1910 - 1940calAD (16.7%) 1951 - 1954calAD (1.3%)	江戸時代前期 ~ 昭和時代	アスナロ
H27 - 7	I	145 ± 20yrBP	Post-bombNH2 2013 : 1680 - 1694calAD (10.8%) 1727 - 1764calAD (24.2%) 1774 - 1775calAD (0.5%) 1800 - 1813calAD (8.8%) 1838 - 1842calAD (1.9%) 1853 - 1858calAD (2.4%) 1861 - 1867calAD (2.6%) 1918 - 1939calAD (15.6%) 1952 - 1953calAD (0.7%) 1953 - 1954calAD (0.7%)	Post-bombNH2 2013 : 1669 - 1700calAD (15.1%) 1702 - 1706calAD (0.5%) 1719 - 1780calAD (31.1%) 1798 - 1819calAD (10.8%) 1823 - 1825calAD (0.2%) 1832 - 1881calAD (18.1%) 1915 - 1944calAD (17.8%) 1951 - 1954calAD (1.7%)	江戸時代前期 ~ 昭和時代	ケヤキ

第2節 放射性炭素年代測定

本報告書内 試料番号	処理方法 (註1)	¹⁴ C年代 yrBP	1σ 暦年代範囲	2σ 暦年代範囲	時期	樹種同定結果
H27 - 8	I	205 ± 20yrBP	Post-bombNH2 2013 : 1660 - 1671calAD (16.9%) 1778 - 1799calAD (36.6%) 1942 - 1951calAD (14.7%)	Post-bombNH2 2013 : 1651 - 1681calAD (27.6%) 1738 - 1746calAD (2.1%) 1747 - 1751calAD (0.8%) 1762 - 1802calAD (47.1%) 1938 - 1954calAD (17.8%)	江戸時代前期～昭和時代	スギ
H27 - 9	I	145 ± 20yrBP	Post-bombNH2 2013 : 1679 - 1694calAD (11.2%) 1727 - 1764calAD (26.7%) 1773 - 1776calAD (1.5%) 1800 - 1812calAD (9.2%) 1840 - 1840calAD (0.1%) 1855 - 1856calAD (0.3%) 1863 - 1866calAD (1.1%) 1918 - 1939calAD (16.5%) 1952 - 1954calAD (1.6%)	Post-bombNH2 2013 : 1669 - 1698calAD (15.3%) 1721 - 1780calAD (33.6%) 1798 - 1817calAD (10.9%) 1833 - 1879calAD (15.3%) 1916 - 1944calAD (18.5%) 1951 - 1954calAD (1.8%)	江戸時代前期～昭和時代	カバノキ属
H28 - 1	I	1200 ± 20yrBP	775 - 777calAD (2.3%) 789 - 830calAD (38.3%) 838 - 867calAD (27.5%)	771 - 886calAD (95.4%)	奈良時代～平安時代前期	ムラサキシキブ属
H28 - 2	I	1205 ± 20yrBP	774 - 778calAD (3.8%) 790 - 829calAD (37.3%) 838 - 867calAD (27.0%)	769 - 886calAD (95.4%)	奈良時代～平安時代前期	ムラサキシキブ属
H28 - 3	I	1480 ± 20yrBP	568 - 608calAD (68.2%)	551 - 634calAD (95.4%)	古墳時代後期～飛鳥時代	コナラ属クスギ節
H28 - 4	I	1240 ± 20yrBP	693 - 747calAD (50.5%) 763 - 777calAD (14.1%) 793 - 800calAD (3.7%)	688 - 751calAD (52.6%) 760 - 779calAD (15.3%) 790 - 870calAD (27.5%)	飛鳥時代～平安時代前期	クリ
H28 - 5	I	1205 ± 20yrBP	774 - 778calAD (4.0%) 790 - 829calAD (37.8%) 839 - 866calAD (26.4%)	769 - 885calAD (95.4%)	奈良時代～平安時代前期	ケヤキ
H28 - 6	I	1225 ± 20yrBP	722 - 740calAD (15.0%) 767 - 779calAD (11.2%) 791 - 828calAD (24.8%) 839 - 864calAD (17.2%)	695 - 700calAD (0.8%) 710 - 745calAD (21.4%) 764 - 882calAD (73.1%)	飛鳥時代～平安時代前期	コナラ属クスギ節
H28 - 7	I	2190 ± 20yrBP	352 - 295calBC (52.8%) 229 - 220calBC (7.3%) 212 - 203calBC (8.1%)	359 - 274calBC (61.4%) 261 - 195calBC (34.0%)	弥生時代中期	コナラ属コナラ節
H28 - 8	I	340 ± 15yrBP	1495 - 1523calAD (22.8%) 1559 - 1564calAD (3.8%) 1570 - 1602calAD (28.5%) 1616 - 1631calAD (13.1%)	1476 - 1530calAD (32.4%) 1539 - 1635calAD (63.0%)	室町時代～江戸時代前期	ヒノキ
H28 - 9	I	120 ± 20yrBP	Post-bombNH2 2013 : 1685 - 1700calAD (9.5%) 1702 - 1707calAD (2.3%) 1719 - 1731calAD (7.4%) 1808 - 1819calAD (6.6%) 1824 - 1825calAD (0.4%) 1833 - 1881calAD (33.6%) 1915 - 1927calAD (8.2%) 1954 - 1954calAD (0.2%)	Post-bombNH2 2013 : 1682 - 1737calAD (27.5%) 1756 - 1762calAD (0.9%) 1803 - 1893calAD (52.4%) 1906 - 1937calAD (13.8%) 1952 - 1954calAD (0.8%)	江戸時代前期～昭和時代	ツガ属
H28 - 10	I	205 ± 20yrBP	Post-bombNH2 2013 : 1661 - 1672calAD (17.0%) 1778 - 1799calAD (36.0%) 1941 - 1951calAD (15.2%)	Post-bombNH2 2013 : 1652 - 1681calAD (26.9%) 1738 - 1751calAD (3.6%) 1762 - 1802calAD (46.6%) 1937 - 1954calAD (18.3%)	江戸時代前期～後期、昭和時代	ケヤキ
H28 - 11	I	210 ± 20yrBP	Post-bombNH2 2013 : 1660 - 1670calAD (17.4%) 1780 - 1798calAD (38.4%) 1943 - 1951calAD (12.4%)	Post-bombNH2 2013 : 1650 - 1681calAD (29.9%) 1739 - 1744calAD (1.2%) 1763 - 1801calAD (48.0%) 1938 - 1952calAD (15.6%) 1952 - 1954calAD (0.7%)	江戸時代前期～後期および昭和時代	マツ属複雑管束亜属
H28 - 12	I	180 ± 20yrBP	Post-bombNH2 2013 : 1668 - 1681calAD (14.4%) 1738 - 1754calAD (14.7%) 1762 - 1782calAD (20.7%) 1797 - 1802calAD (4.9%) 1937 - 1950calAD (12.1%) 1950 - 1952calAD (1.4%)	Post-bombNH2 2013 : 1665 - 1686calAD (17.9%) 1730 - 1786calAD (46.5%) 1793 - 1809calAD (9.9%) 1927 - 1954calAD (21.0%)	江戸時代前期～後期および昭和時代	マツ属複雑管束亜属
H28 - 13	I	135 ± 20yrBP	Post-bombNH2 2013 : 1682 - 1696calAD (11.4%) 1725 - 1737calAD (8.4%) 1757 - 1761calAD (2.5%) 1803 - 1814calAD (7.6%) 1835 - 1846calAD (6.3%) 1849 - 1877calAD (16.9%) 1917 - 1937calAD (14.5%) 1952 - 1952calAD (0.2%) 1954 - 1954calAD (0.4%)	Post-bombNH2 2013 : 1677 - 1708calAD (15.3%) 1718 - 1766calAD (20.8%) 1772 - 1777calAD (1.1%) 1800 - 1827calAD (11.8%) 1832 - 1889calAD (28.2%) 1910 - 1940calAD (17.0%) 1951 - 1954calAD (1.3%)	江戸時代前期～現代	マツ属複雑管束亜属
H28 - 14	I	135 ± 20yrBP	Post-bombNH2 2013 : 1681 - 1696calAD (11.4%) 1725 - 1737calAD (8.7%) 1756 - 1762calAD (3.3%) 1803 - 1814calAD (8.0%) 1835 - 1845calAD (5.7%) 1849 - 1870calAD (12.3%) 1870 - 1877calAD (3.4%) 1917 - 1937calAD (14.7%) 1952 - 1952calAD (0.3%) 1954 - 1954calAD (0.4%)	Post-bombNH2 2013 : 1676 - 1708calAD (15.3%) 1718 - 1767calAD (21.6%) 1771 - 1778calAD (1.3%) 1799 - 1827calAD (11.7%) 1832 - 1889calAD (26.9%) 1911 - 1941calAD (17.1%) 1951 - 1954calAD (1.4%)	江戸時代前期～現代	マツ属複雑管束亜属

第4章 自然科学分析

本報告書内 試料番号	処理方法 (註1)	¹⁴ C年代 yrBP	1σ 暦年代範囲	2σ 暦年代範囲	時期	樹種同定結果
H28-15	I	105 ± 20yrBP	Post-bombNH2 2013 : 1695-1726calAD (23.1%) 1813-1836calAD (17.1%) 1843-1852calAD (5.4%) 1868-1873calAD (3.2%) 1876-1892calAD (11.8%) 1907-1918calAD (7.5%)	Post-bombNH2 2013 : 1690-1729calAD (26.8%) 1809-1897calAD (55.8%) 1902-1926calAD (12.6%) 1954-1955calAD (0.2%)	江戸時代前期～現代	コナラ属コナラ節
H30-A	Ⅲ	1510 ± 20yrBP	542calAD-590calAD (68.2%)	433calAD-459calAD (5.3%) 467calAD-489calAD (5.6%) 532calAD-610calAD (84.5%)	弥生時代中期頃から古墳時代後期頃	-
H30-B	Ⅲ	1550 ± 20yrBP	432calAD-490calAD (50.9%) 531calAD-551calAD (17.3%)	427calAD-565calAD (95.4%)	弥生時代中期頃から古墳時代後期頃	-
H30-C	Ⅲ	1850 ± 20yrBP	128calAD-180calAD (44.6%) 186calAD-214calAD (23.6%)	86calAD-110calAD (7.5%) 117calAD-233calAD (87.9%)	弥生時代中期頃から古墳時代後期頃	-
H30-D	Ⅲ	1600 ± 20yrBP	410calAD-433calAD (24.6%) 490calAD-532calAD (43.6%)	401calAD-476calAD (48.4%) 483calAD-536calAD (47.0%)	弥生時代中期頃から古墳時代後期頃	-
H30-E	Ⅲ	2000 ± 20yrBP	40calBC-23calAD (68.2%)	48calBC-55calAD (95.4%)	弥生時代中期頃から古墳時代後期頃	-
H30-1	I	対照用に測定した標準試料とほぼ同じ値	暦年較正不能	暦年較正不能	対照用に測定した標準試料とほぼ同じ値	樹皮?
H30-2	I	対照用に測定した標準試料とほぼ同じ値	暦年較正不能	暦年較正不能	対照用に測定した標準試料とほぼ同じ値	樹皮?
H30-3	I	2930 ± 25yrBP	calBC1195-calBC1142 calBC1133-calBC1081 calBC1065-calBC1058	calBC1216-calBC1044	縄文時代晩期頃	ケヤキ
H30-4	I	1400 ± 25yrBP	calAD625-calAD659	calAD605-calAD665	古墳時代後期頃	ケヤキ?
H30-5	I	対照用に測定した標準試料とほぼ同じ値	暦年較正不能	暦年較正不能	対照用に測定した標準試料とほぼ同じ値	ケヤキ?
H31-1	I	1830 ± 20yrBP	140calAD-197calAD (50.6%) 207calAD-226calAD (17.6%)	126calAD-249calAD (95.4%)	弥生時代後期頃	クリ
H31-2	I	1900 ± 20yrBP	81calAD-126calAD (68.2%)	54calAD-170calAD (93.4%) 194calAD-209calAD (2.0%)	弥生時代後期頃	クリ
H31-3	I	1910 ± 20yrBP	67calAD-92calAD (34.3%) 98calAD-124calAD (33.9%)	28calAD-39calAD (2.7%) 50calAD-133calAD (92.7%)	弥生時代後期頃	クリ
H31-4	I	1890 ± 20yrBP	80calAD-130calAD (68.2%)	61calAD-177calAD (90.6%) 190calAD-212calAD (4.8%)	弥生時代後期頃	モミ属
H31-5	I	1830 ± 20yrBP	139calAD-198calAD (52.7%) 206calAD-223calAD (15.5%)	128calAD-243calAD (95.4%)	弥生時代後期頃	クリ
H31-6	I	2180 ± 30yrBP	353calBC-294calBC (48.6%) 230calBC-219calBC (6.7%) 213calBC-196calBC (12.9%)	359calBC-274calBC (56.1%) 261calBC-172calBC (39.3%)	弥生時代中期頃	コナラ属コナラ節
H31-7	I	1930 ± 20yrBP	53calAD-87calAD (53.0%) 106calAD-121calAD (15.2%)	24calAD-127calAD (95.4%)	弥生時代後期頃	コナラ属コナラ節
H31-8	I	120 ± 20yrBP	1691calAD-1708calAD (10.3%) *** 1718calAD-1728calAD (6.0%) *** 1810calAD-1827calAD (9.7%) *** 1832calAD-1888calAD (34.5%) *** 1911calAD-1925calAD (7.7%) ***	1682calAD-1737calAD (28.1%) *** 1805calAD-1896calAD (53.4%) *** 1903calAD-1936calAD (13.9%) ***	近世から近代頃	スギ
H31-9	I	180 ± 20yrBP	1668calAD-1682calAD (12.8%) ** 1736calAD-1782calAD (39.5%) ** 1798calAD-1805calAD (5.4%) ** 1936calAD-1948calAD (10.5%) **	1664calAD-1691calAD (17.8%) ** 1728calAD-1811calAD (57.3%) ** 1925calAD-... (20.3%) **	中世から近代頃	タケ亜科
H31-10	I	300 ± 20yrBP	1524calAD-1559calAD (44.0%) 1564calAD-1569calAD (3.6%) 1631calAD-1647calAD (20.6%)	1514calAD-1599calAD (66.5%) 1616calAD-1654calAD (28.9%)	中世から近代頃	イネ
H31-11	I	240 ± 20yrBP	1649calAD-1665calAD (48.9%) * 1785calAD-1793calAD (19.3%) *	1640calAD-1677calAD (57.5%) * 1766calAD-1800calAD (32.8%) * 1940calAD-... (5.0%) *	中世から近代頃	オオムギ(皮麦)
H31-12	I	380 ± 20yrBP	1453calAD-1497calAD (49.4%) 1507calAD-1511calAD (3.2%) 1601calAD-1616calAD (15.7%)	1447calAD-1523calAD (67.1%) 1573calAD-1628calAD (28.3%)	中世から近代頃	チャノキ
H31-13	I	250 ± 20yrBP	1643calAD-1665calAD (57.7%) * 1786calAD-1793calAD (10.5%) *	1528calAD-1545calAD (3.3%) * 1633calAD-1670calAD (68.7%) * 1780calAD-1800calAD (21.7%) * 1944calAD-... (1.7%) *	中世から近代頃	アンズ
H31-14	I	120 ± 20yrBP	1685calAD-1707calAD (12.9%) ** 1719calAD-1732calAD (7.6%) ** 1808calAD-1820calAD (6.8%) ** 1833calAD-1883calAD (32.6%) ** 1914calAD-1928calAD (8.3%) **	1680calAD-1764calAD (31.9%) ** 1801calAD-1895calAD (49.0%) ** 1903calAD-1939calAD (14.5%) **	中世から近代頃	タケ亜科
H31-15	I	80 ± 20yrBP	1699calAD-1721calAD (20.0%) *** 1818calAD-1833calAD (13.4%) *** 1879calAD-1916calAD (34.8%) ***	1692calAD-1729calAD (25.3%) *** 1811calAD-1920calAD (70.1%) ***	中世から近代頃	クリ
H31-16	I	10220 ± 30yrBP	10082calBC-9979calBC (39.2%) 9946calBC-9878calBC (29.0%)	10143calBC-9851calBC (94.0%) 9840calBC-9825calBC (1.4%)	中世から近代頃	スギ

註1 処理方法：I 超音波洗浄・酸・アルカリ・酸洗浄(AAA・AaA) II アルカリ洗浄、コラーゲン抽出(CoEx) III HCl

※：Warning! Date probably out of range

、、*、***：Warning! Date may extend out of range

(これらの警告は較正プログラム OxCalが発するもので、試料の¹⁴C年代に対応する較正年代が、当該暦年較正曲線で較正可能な範囲を超える新しい年代となる可能性があることを表す。*、*、*、***の順にその可能性が高くなる。)

第3節 樹種・種実同定

1 はじめに

浅川扇状地遺跡群では、弥生時代から近世にわたる遺構等が検出された。各時代・時期の遺構や遺物包含層中から出土した木材と炭化材、および種子について、樹種・種子同定を委託して行った。分析は2013年度に27点、2014年度9点、2015年度9点、2016年度15点、2018年度5点、2019年度16点、合計81点実施した。委託業者からの結果報告書は添付DVDに収録してある。

2 測定対象試料

分析番号は、年度ごとに1から付されているものが大半である。本報告書では混同をさけるため、分析番号の前に分析年度を加え、区別することにした〔例 2013年（H25年度）分析番号1→H25-1〕。なお、この分析番号は年代測定、樹種・種実同定で共有する（第41表）。

各年度の樹種・種実同定試料の採取場所と点数は、以下のとおりである。

2013（H25）年度：炭化材26点	SB4（4）、SB3003（1）、SB3005（1）、SB3006（1）、SB3007（5）、SB3010（5）、SB3024（1）、SK5038（1）、その他（7）
生木1点	SK3165（1）
2014（H26）年度：炭化物9点	SB3043（2）、SD3023（2）、SB4001（2）、SB4002（1）、SB4003（1）、SB5042（1）
2015（H27）年度：炭化物5点	SB3064（2）、SB4007（3）
木製品4点	その他（4）
2016（H28）年度：炭化物7点	SB29（2）、SB300（11）、SB5005（3）、SB5031（1）
木製品8点	SK3165（1）、SK3179（3）、SK6066（4）
2018（H30）年度：炭化物2点	その他（2）
木製品3点	SD4020（2）、SD4022（1）
2019（H31）年度：炭化物10点	SB103（3）、SB105（4）、SK5089（2）、SK5114（1）
木製品2点	SK292（1）、その他（1）
種子4点	SK5089（4）

3 分析方法

（1）樹種同定

木口（横断面）・柃目（放射断面）・板目（接線断面）の3断面のプレパラートや割断面を作製し、光学顕微鏡や走査型電子顕微鏡で観察を行う。各試料で観察された特徴と現生標本および森林総合研究所の日本産木材識別データベースと比較して種類（分類群）を同定する。

なお、木材組織の名称や特徴は、島地・伊東（1982）、Wheeler他（1998）、Richter他（2006）を参考にする。また、日本産木材の組織配列は、林（1991）や伊東（1995、1996、1997、1998、1999）を参考にする。

（2）種実同定

双眼実体顕微鏡を用いて、種実の形状、大きさ、表面模様などの特徴を観察し、その特徴を現生標本と比較して種類（分類群）を同定する。

4 同定結果概要

各試料の同定結果概要は以下のとおりである（第42表、第366・367図）。詳細は添付DVDを参照にされたい。

(1) 同定された分類群

①樹種

マツ属複維管束亜属 *Pinus* subgen. *Diploxylon* マツ科
モミ属 *Abies* マツ科
ツガ属 *Tsuga* マツ科
ヒノキ科 (Cupressaceae)
ヒノキ *Chamaecyparis obtusa* (Siebold et Zucc.) Endl. ヒノキ科
アスナロ *Thujaopsis dolabrata* Sieb. et Zucc. ヒノキ科
スギ *Cryptomeria japonica* (L. f.) D. Don スギ科
ハンノキ属 (*Alnus*) カバノキ科
アサダ (*Ostrya japonica* Sarg.) カバノキ科アサダ属
ブナ属 (*Fagus*) ブナ科
コナラ属クヌギ節 *Quercus* sect. *Aegilops* ブナ科
コナラ属コナラ節 *Quercus* sect. *Prinus* ブナ科
クリ *Castanea crenata* Siebold et Zucc. ブナ科クリ属
ニガキ (*Picrasma quassioides* (D. Don) Benn.) ニガキ科ニガキ属
ケンポナシ属 (*Hovenia*) クロウメモドキ科
ケヤキ *Zelkova serrata* (Thunb.) Makino ニレ科
ムクノキ *Aphananthe aspera* (Thunb.) Planch. ニレ科
モクレン属 *Magnolia* モクレン科
カエデ属 *Acer* カエデ科
カバノキ属 *Betula* カバノキ科
ムラサキシキブ属 *Callicarpa* シソ科
タケ亜科 subfam. Bambusoideae イネ科
イネ科 (草本) (Gramineae)

②種実

草本 (単子葉) 2分類群

イネ *Oryza sativa* L. イネ科イネ属
オオムギ *Hordeum vulgare* L. イネ科オオムギ属

木本 (広葉樹) 2分類群

チャノキ *Camellia sinensis* (L.) Kuntze var. *sinensis* ツバキ科ツバキ属
アンズ *Prunus armeniaca* L. バラ科スモモ属

(2) 時代および遺構別の同定結果

弥生時代

SB4 出土炭化材は4点全てがコナラ節。SB105から出土した炭化材4点中1点がモミ属、2点がコナラ節、1点がクリ。SB3007出土炭化材は5点中3点がコナラ節、2点がクヌギ節。SB3043から出土した

炭化材 2 点はコナラ節、ムクノキが 1 点。SB5042 出土炭化材 1 点はクヌギ節であった。コナラ節、クヌギ節、ムクノキは堅硬で韌性の強い樹種であり、建築材や木製品などに広く用いられる（伊東・山田、2012）。またコナラ節は、じっくりと燃焼するため燃料材としても好まれる樹種である（伊東ほか2011）。

古墳時代

SB103 出土炭化材は 3 点全てがクリ。SB3001 出土炭化材 1 点はクヌギ節。SB3003 出土炭化物 1 点はイネ科。SB3006 出土炭化材 1 点はクヌギ節。SB3010 出土炭化材 5 点はハンノキ属、クヌギ節、コナラ節、ケンボナシ属、イネ科が各 1 点。SB3064 出土炭化材は 2 点全てがクヌギ節。SB4001 出土炭化材 2 点はクヌギ節とモクレン属が各 1 点。SB4002 出土炭化材 1 点はコナラ節。SB4003 出土炭化材 1 点はクヌギ節。SB4007 出土炭化材 3 点中 1 点はケヤキ、1 点はイネ科、ケヤキと思われる材が 1 点。SD4022 出土材 1 点はケヤキ（可能性を含む）。SB5031 出土炭化材 1 点はコナラ節であった。全体的にクヌギ節、コナラ節、クリと強度の高い木材が多い傾向がみられる点は弥生時代と同様であるが、弥生時代に比べて利用樹種が多くなる傾向がある。なお、イネ科は根を葺いた萱材等に由来すると考えられ、SB4007 では束状に塊で出土していた。モクレン属は軽軟で加工性が良いという材質を持ち、上述の材とは異なる用途で利用されていた可能性がある。

古代

SB29 出土炭化材 2 点はすべてムラサキシキブ属。SB3005 出土炭化材 1 点はクヌギ節。SB3024 出土炭化材 1 点はクヌギ節。SD4020 出土材 2 点すべてはケヤキ（可能性を含む）。SB5005 出土炭化材 3 点はケヤキ、クリ、クヌギ節が各 1 点であった。弥生時代、古墳時代と利用されたクヌギ節が、古代の住居でも引き続き利用されたことが確認される。なお、SB5005 カマド出土のクヌギ節は直径 2 cm の半割状で、燃料材であったと思われる。

中世以降

木製品：曲物底板では、ヒノキ（SK3165）、スギ（SK292、西区表土）アスナロ（3 区検出面）が同定された。SK3179 出土の白？はツガ属、3 区検出面出土の桶はケヤキ、同出土下駄はスギであった。ヒノキは軽軟で割裂性が大きいため、製材しやすい。白は弥生時代の事例が多いが、全国的に広葉樹が多く利用されている（伊東・山田編2012）。桶や槽にはスギやヒノキ科の針葉樹が多く利用されるが、広葉樹ではケヤキの利用が多い（伊東・山田編2012）。ケヤキの材も、耐久性・保存性が高く水湿によく耐える（平井1996）。長野県では中世以降の下駄はあまり分析例が多くないが、ヒノキを中心とした針葉樹が比較的多いため（伊東・山田編2012）、周辺地域の用材傾向とも類似する。

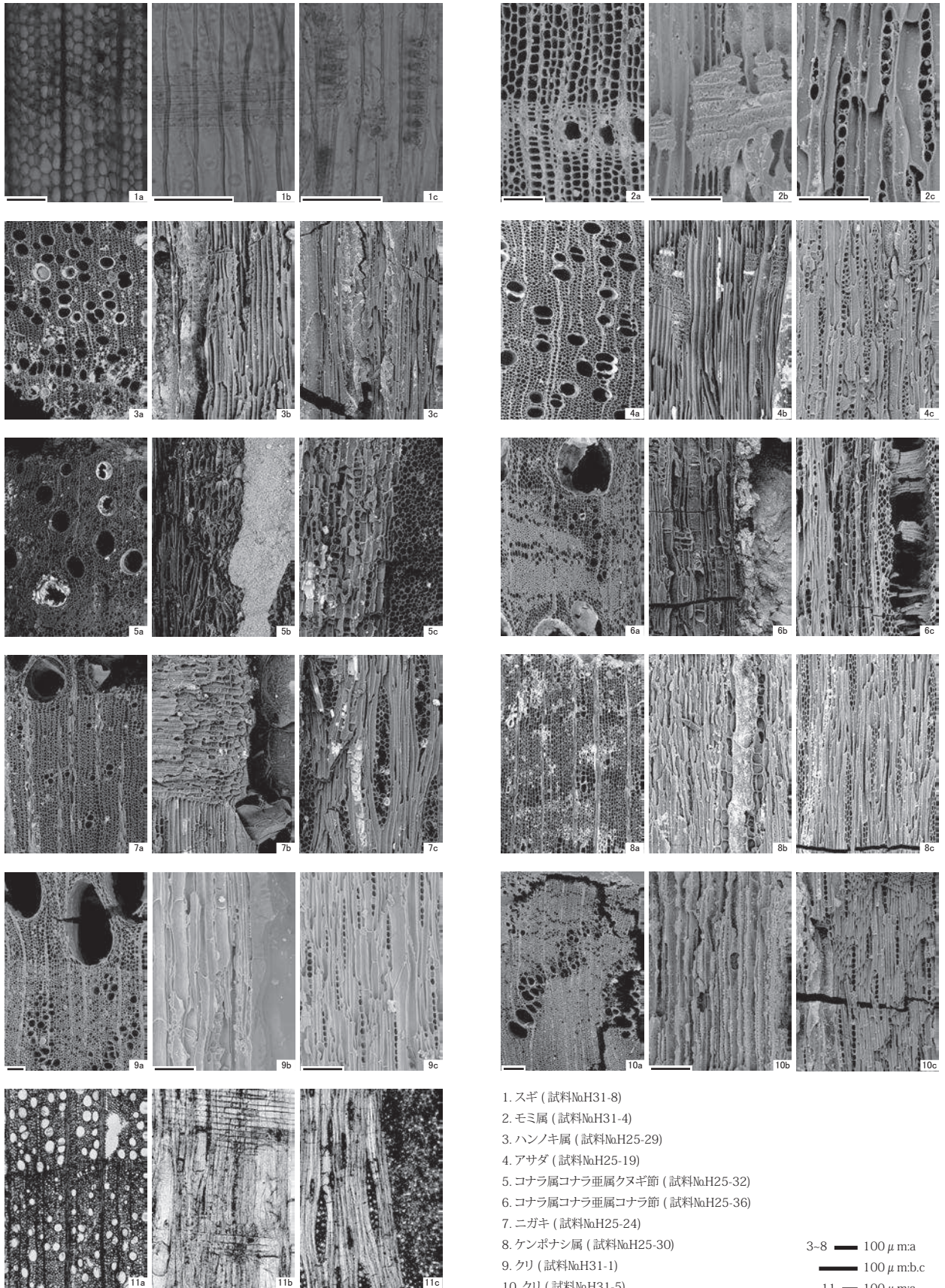
部材・用途不明材：SD3023 出土炭化材は 2 点全てがカエデ属。SK3165 出土材 1 点はブナ属。SK3179 出土材 3 点のうち、2 点（部材）はケヤキとマツ属複維管束亜属。SK5038 出土炭化材 1 点はマツ属複維管束亜属。SK6066 出土材 4 点は 3 点がマツ属複維管束亜属、1 点がコナラ節。3 区検出面出土材はカバノキ属であった。

カエデ属はやや堅硬で緻密な材であり、現在でも木製品として利用されることが多く（伊東ほか2011）、薪炭材としても利用されている（平井1996）。ケヤキとコナラ節は重硬な材であり、マツ属複維管束亜属も針葉樹の中では重硬な部類に属する。部材の用途は不明であるが、強度のある木材が選択された可能性が考えられる。中世以降のカバノキ属の利用例は、建築部材や椀などがあるが、本試料は用途不明である。

種実：SK5089（近世以降）から出土した大量の炭化種実中にイネ、オオムギ、チャノキ、アンズが認められた。同定対象外の試料中には、穎の外れたオオムギ、コムギ、ワタ属も確認されており、少なくとも 6 種類が混在している。いずれも栽培植物である。炭化材はいずれもタケ亜科の稈であった。

参考文献

- 林 昭三 1991 『日本産木材 顕微鏡写真集』京都大学木質科学研究所
- 伊東隆夫 1995 『日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅰ. 木材研究・資料』31京都大学木質科学研究所 81-181 p
- 伊東隆夫 1996 『日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅱ. 木材研究・資料』32京都大学木質科学研究所 66-176 p
- 伊東隆夫 1997 『日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅲ. 木材研究・資料』33京都大学木質科学研究所 83-201 p
- 伊東隆夫 1998 『日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅳ. 木材研究・資料』34京都大学木質科学研究所 30-166 p
- 伊東隆夫 1999 『日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅴ. 木材研究・資料』35京都大学木質科学研究所 47-216 p
- 伊東隆夫・佐野雄三・安部 久・内海泰弘・山口和穂 2011 『日本有用樹木誌』海青社 238 p
- 伊東隆夫・山田昌久編 2012 『木の考古学-出土木製品用材データベース-』海青社 449 p 444 p
- 島地 謙・伊東隆夫 1982 『図説木材組織』地球社 176 p
- 平井信二 1996 『木の大本科』朝倉書店 394 p
- H. G. Richter, D. Grosser, I. Heinz, P. E. Gasson編 伊東隆夫・藤井智之・佐野雄三・安部 久・内海泰弘(日本語版監修) 2006『針葉樹材の識別 IAWAによる光学顕微鏡の特徴リスト』海青社 70 p
- E. A. Wheeler, P. Bass, P. E. Gasson編 伊東隆夫・藤井智之・佐伯浩(日本語版監修) 1998『広葉樹材の識別 IAWAによる光学顕微鏡の特徴リスト』海青社 122 p



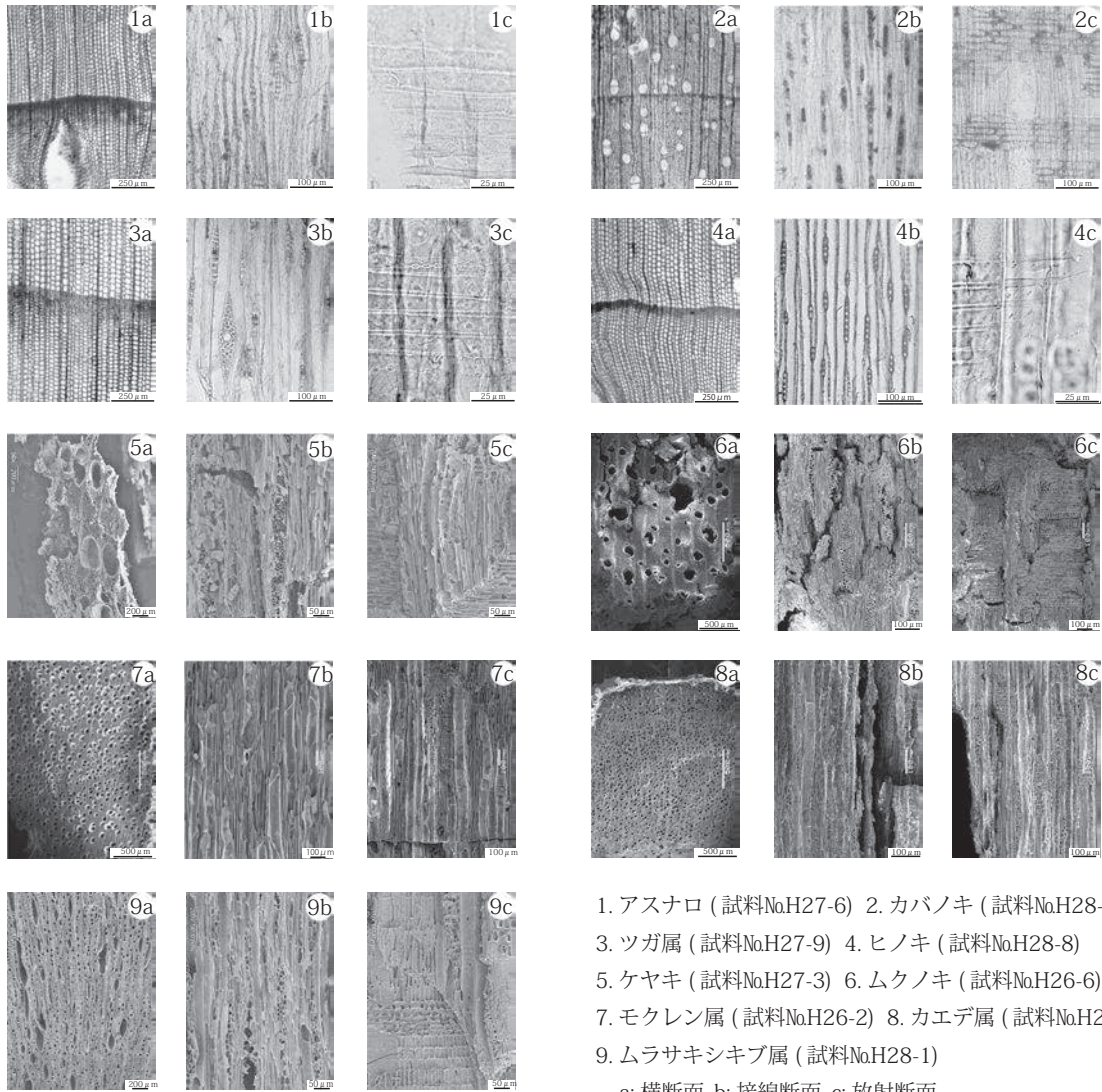
1. スギ (試料No.H31-8)
2. モミ属 (試料No.H31-4)
3. ハンノキ属 (試料No.H25-29)
4. アサダ (試料No.H25-19)
5. コナラ属コナラ亜属クスギ節 (試料No.H25-32)
6. コナラ属コナラ亜属コナラ節 (試料No.H25-36)
7. ニガキ (試料No.H25-24)
8. ケンボナシ属 (試料No.H25-30)
9. クリ (試料No.H31-1)
10. クリ (試料No.H31-5)
11. ブナ属 (試料No.H25-44)

3-8 100 μ m a
 100 μ m b,c
 11 100 μ m a
 100 μ m b,c

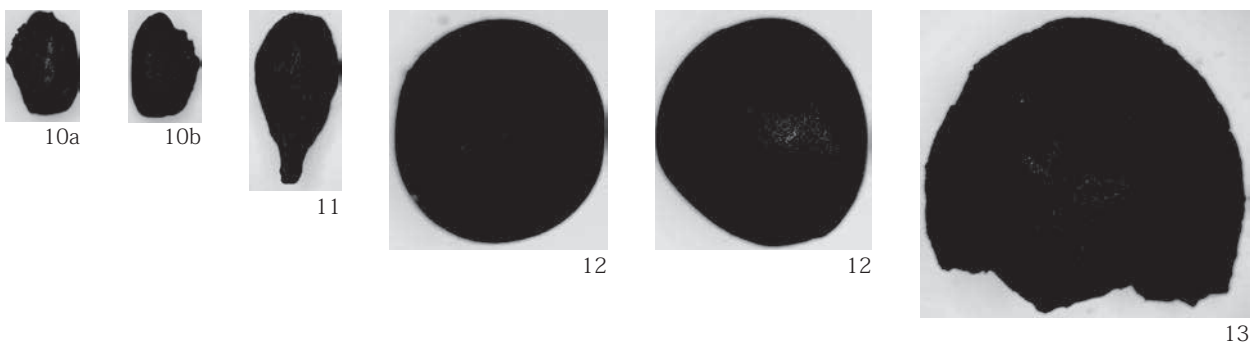
1.2.9.10 各写真のスケールは 0.1 mm

a: 木口, b: 柾目, c: 板目

第366図 出土木材・炭化物顕微鏡写真 1



1. アスナロ (試料No.H27-6) 2. カバノキ (試料No.H28-9)
 3. ツガ属 (試料No.H27-9) 4. ヒノキ (試料No.H28-8)
 5. ケヤキ (試料No.H27-3) 6. ムクノキ (試料No.H26-6)
 7. モクレン属 (試料No.H26-2) 8. カエデ属 (試料No.H26-9)
 9. ムラサキシキブ属 (試料No.H28-1)
 a: 横断面, b: 接線断面, c: 放射断面



10. イネ (試料No.H31-10) 11. オオムギ (試料No.H31-11)
 12. チャノキ (試料No.H31-12) 13. アンズ (試料No.H31-13)

5 mm

第367図 出土木材・炭化物顕微鏡写真2 炭化種実

第4節 花粉分析 珪藻分析 プラント・オパール分析 リン酸・カルシウム分析

1 はじめに

浅川扇状地遺跡群では、弥生時代から近世の遺構が検出された。遺構および遺構周辺の古環境や遺構の機能、水田跡の可能性について検討するため、土壌を採取して花粉分析、珪藻分析、プラント・オパール分析、リン酸・カルシウム分析を委託して行った。以下に各分析結果の概略を記す。詳細は添付DVDに収録した各年度の分析結果報告書を参照いただきたい。

2 分析対象試料

分析番号は、年度ごとに1から付されているものが大半である。本報告書では各年度と年代測定等試料との混同をさけるため、分析番号の前に分析年度を加え、区別することにした〔例 2011年（Heisei23年）度分析番号1→He23-1〕。なお、この分析番号は花粉分析、珪藻分析、プラント・オパール分析、リン酸・カルシウム分析で共有する（第43表）。各年度の分析内容、分析点数、試料採取箇所は以下のとおりである。

2011（He23）年度：花粉分析：11点	SD1トレンチ2（5）、SD1トレンチ4（6）
珪藻分析：11点	花粉分析試料と同じ
2012（He24）年度：花粉分析：14点	SD9（2）、SD10（3）、NR5001・5002（9）
珪藻分析：14点	花粉分析試料と同じ
プラント・オパール分析：14点	花粉分析試料と同じ
2013（He25）年度：花粉分析：15点	SM3001（7）、5区北壁（8）
珪藻分析：15点	花粉分析試料と同じ
プラント・オパール分析：15点	花粉分析試料と同じ
2014（He26）年度：花粉分析：8点	SM5（5）、SM3002（2）、3区東壁（1）
珪藻分析：8点	花粉分析試料と同じ
プラント・オパール分析：8点	花粉分析試料と同じ
リン酸・カルシウム分析：8点	SM5（8）
2015（He27）年度：花粉分析：4点	SM3004（4）
珪藻分析：4点	花粉分析試料と同じ
プラント・オパール分析：4点	花粉分析試料と同じ
2018（He30）年度：花粉分析：6点	4区東壁（4）、4区第1検出面（2）
珪藻分析：4点	4区東壁（4）
プラント・オパール分析：6点	花粉分析試料と同じ

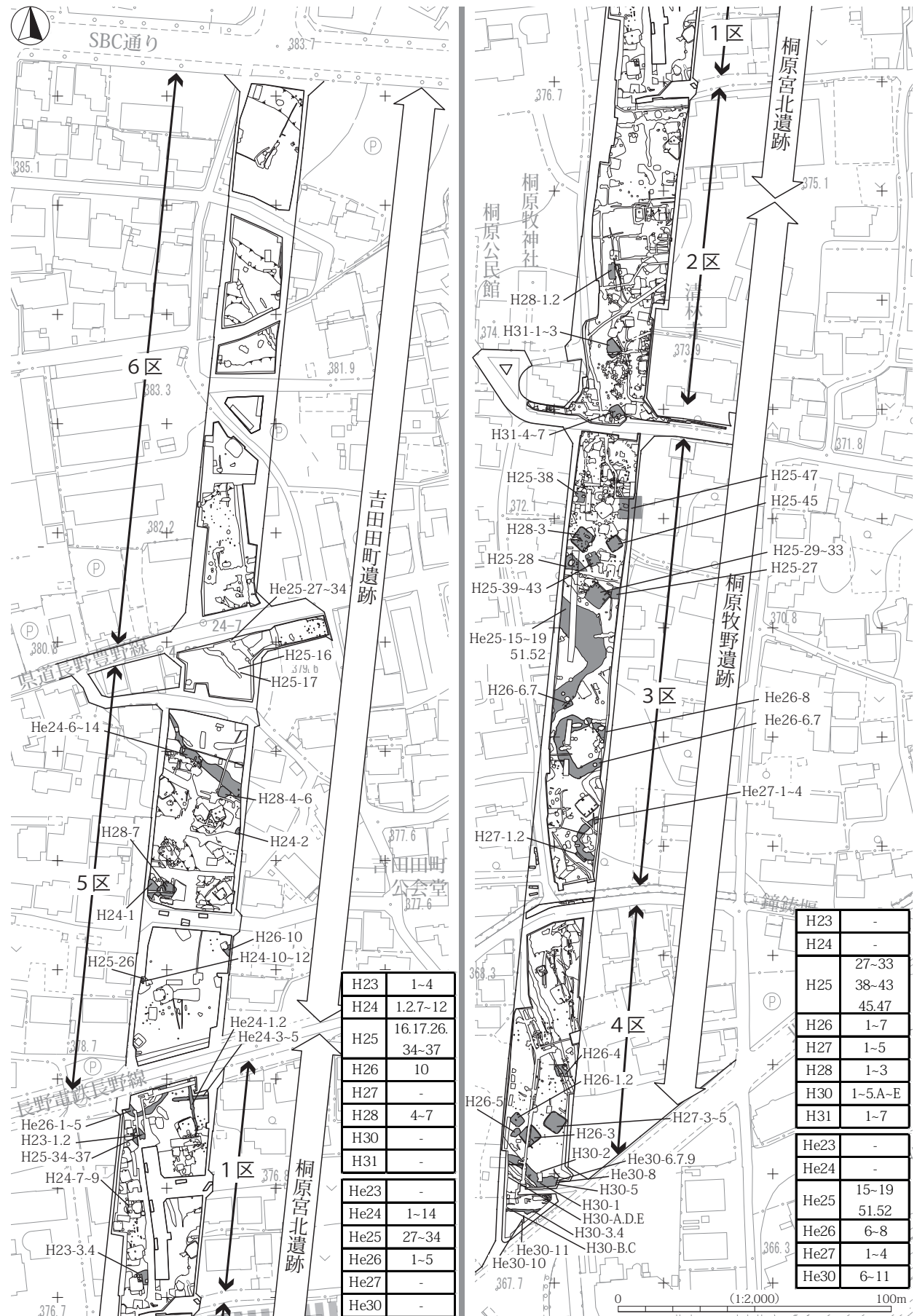
第43表 花粉分析、珪藻分析、プラント・オパール分析、リン酸・カルシウム分析 試料一覧

便宜上の 通し番号	分析 年度	分析 No	地区	遺 構	出土位置	遺構 時期	分析内容				管理番号	備考	分析 機関 (註1)
							花粉	珪藻	プラント オパール	リン酸・ カルシウ ム			
He23-1	2011 (H23)	1	2	SD 1	トレンチ 2 No.1	中世	○	○			土サンプル 1	3層	①
He23-2	2011 (H23)	2	2	SD 1	トレンチ 2 No.2	中世	○	○			土サンプル 1	5層	
He23-3	2011 (H23)	3	2	SD 1	トレンチ 2 No.3	中世	○	○			土サンプル 1	6層	
He23-4	2011 (H23)	4	2	SD 1	トレンチ 2 No.4	中世	○	○			土サンプル 1	7層	
He23-5	2011 (H23)	5	2	SD 1	トレンチ 2 No.5	中世	○	○			土サンプル 1	8層	
He23-6	2011 (H23)	6	2	SD 1	トレンチ 4 No.1	中世	○	○			土サンプル 2		
He23-7	2011 (H23)	7	2	SD 1	トレンチ 4 No.2	中世	○	○			土サンプル 2		
He23-8	2011 (H23)	8	2	SD 1	トレンチ 4 No.4	中世	○	○			土サンプル 2		
He23-9	2011 (H23)	9	2	SD 1	トレンチ 4 No.5	中世	○	○			土サンプル 2		
He23-10	2011 (H23)	10	2	SD 1	トレンチ 4 No.6	中世	○	○			土サンプル 2	7層	
He23-11	2011 (H23)	11	2	SD 1	トレンチ 4 No.7	中世	○	○			土サンプル 2	8層	
He24-1	2012 (H24)	1	1	SD 9	サンプル 1	古代?	○	○	○		土サンプル 3	①層	①
He24-2	2012 (H24)	2	1	SD 9	サンプル 2	古代?	○	○	○		土サンプル 4	①層下層	
He24-3	2012 (H24)	3	1	SD10	サンプル 1	古代?	○	○	○		土サンプル 5	A層	
He24-4	2012 (H24)	4	1	SD10	サンプル 2	古代?	○	○	○		土サンプル 6	A層下層	
He24-5	2012 (H24)	5	1	SD10	サンプル 4	古代?	○	○	○		土サンプル 8		
He24-6	2012 (H24)	6	5	NR5001 (NR5002)	サンプル A-1	古代	○	○	○		土サンプル 9	表土	
He24-7	2012 (H24)	7	5	NR5001	サンプル A-3	古代	○	○	○		土サンプル11		
He24-8	2012 (H24)	8	5	NR5001	サンプル A-4	古代	○	○	○		土サンプル12		
He24-9	2012 (H24)	9	5	NR5001	サンプル A-5	古代	○	○	○		土サンプル13		
He24-10	2012 (H24)	10	5	NR5002	サンプル A-6	古代	○	○	○		土サンプル14		
He24-11	2012 (H24)	11	5	NR5002	サンプル A-7	古代	○	○	○		土サンプル15		
He24-12	2012 (H24)	12	5	NR5001 (NR5002)	サンプル A-8	古代	○	○	○		土サンプル16		
He24-13	2012 (H24)	13	5	NR5001	サンプル C-6	古代	○	○	○		土サンプル28		
He24-14	2012 (H24)	14	5	NR5002	サンプル C-7	古代	○	○	○		土サンプル29		
He25-15	2013 (H25)	15	3	SM3001	サンプル A①	古墳前期	○	○	○		土サンプル75	SD3013から変更	①
He25-16	2013 (H25)	16	3	SM3001	サンプル A②	古墳前期	○	○	○		土サンプル76	SD3013から変更	
He25-17	2013 (H25)	17	3	SM3001	サンプル A③	古墳前期	○	○	○		土サンプル77	SD3013から変更	
He25-18	2013 (H25)	18	3	SM3001	サンプル A④	古墳前期	○	○	○		土サンプル78	SD3013から変更	
He25-19	2013 (H25)	19	3	SM3001	サンプル A⑤	古墳前期	○	○	○		土サンプル79	SD3013から変更	
He25-51	2013 (H25)	51	3	SM3001	サンプル⑥	古墳前期	○	○	○		土サンプル87	SD3013から変更	
He25-52	2013 (H25)	52	3	SM3001	サンプル⑦	古墳前期	○	○	○		土サンプル88	SD3013から変更	
He25-27	2013 (H25)	27	5	調査区北壁面	サンプル B①	中近世	○	○	○		土サンプル51	Ⅱ b層	
He25-28	2013 (H25)	28	5	調査区北壁面	サンプル B②	中近世	○	○	○		土サンプル52	Ⅱ c上部層	
He25-29	2013 (H25)	29	5	調査区北壁面	サンプル B③	中近世	○	○	○		土サンプル53	Ⅱ c下部層	
He25-30	2013 (H25)	30	5	調査区北壁面	サンプル B④	中近世	○	○	○		土サンプル54	Ⅲ a層	

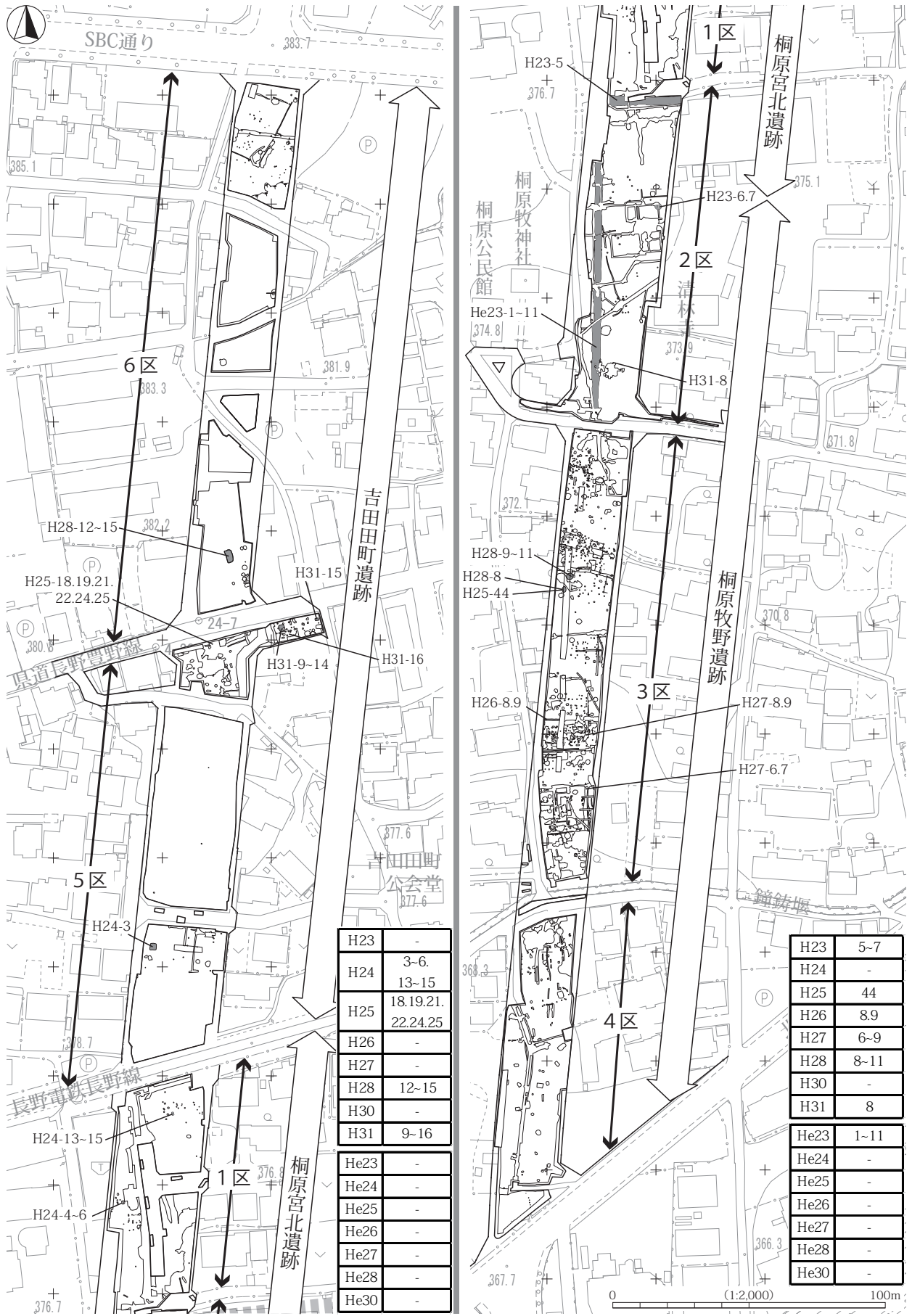
第4節 花粉分析 珪藻分析 プラント・オパール分析 リン酸・カルシウム分析

便宜上の 通し番号	分析 年度	分析 No.	地区	遺 構	出土位置	遺構 時期	分析内容				管理番号	備考	分析 機関 (註1)
							花粉	珪藻	プラント オパール	リン酸・ カルシウ ム			
He25-31	2013 (H25)	31	5	調査区北壁面	サンプルB⑤	中近世	○	○	○		土サンプル55	Ⅲ b 層	①
He25-32	2013 (H25)	32	5	調査区北壁面	サンプルB⑥	中近世	○	○	○		土サンプル56	Ⅲ c 層	
He25-33	2013 (H25)	33	5	調査区北壁面	サンプルB⑦	中近世	○	○	○		土サンプル57		
He25-34	2013 (H25)	34	5	調査区北壁面	サンプルB⑧	古墳～古代	○	○	○		土サンプル58		
He26-1	2014 (H26)	1	1	SM5	サンプルA	弥生後期	○	○	○	○	土サンプル94	遺構外比較用 SD13から変更	①
He26-2	2014 (H26)	2	1	SM5	サンプルC	弥生後期	○	○	○	○	土サンプル96	3層 SD13から変更	
He26-3	2014 (H26)	3	1	SM5	サンプルD	弥生後期	○	○	○	○	土サンプル97	4層 SD13から変更	
He26-4	2014 (H26)	4	1	SM5	サンプルE	弥生後期	○	○	○	○	土サンプル98	3層 SD13から変更	
He26-5	2014 (H26)	5	1	SM5	サンプルF③	弥生後期				○	土サンプル106	土器内土 SD13から変更	
	2014 (H26)				サンプルF④	弥生後期				○	土サンプル107	土器内土 SD13から変更	
	2014 (H26)				サンプルF⑦	弥生後期	○	○	○	○	土サンプル110	土器内土 SD13から変更	
	2014 (H26)				サンプルF⑧	弥生後期				○	土サンプル111	土器内土 SD13から変更	
He26-6	2014 (H26)	6	3	SM3002	土サンプルA	古墳前期	○	○	○		土サンプル100	3層 SD3025から変更	
He26-7	2014 (H26)	7	3	SM3002	土サンプルC	古墳前期	○	○	○		土サンプル102	4層 SD3025から変更	
He26-8	2014 (H26)	8	3	東壁	土サンプルD	古墳時代中期	○	○	○		土サンプル103	5層 遺構外比較用	
He27-1	2015 (H27)	1	3	SM3004	土サンプルA	古墳前期	○	○	○		土サンプル117	11層	②
He27-2	2015 (H27)	2	3	SM3004	土サンプルC	古墳前期	○	○	○		土サンプル119	4層上層	
He27-3	2015 (H27)	3	3	SM3004	土サンプルE	古墳前期	○	○	○		土サンプル121	4層下層	
He27-4	2015 (H27)	4	3	SM3004	土サンプルG	古墳前期	○	○	○		土サンプル123	周溝外側	
He30-6	2018 (H30)	6	4	東壁	7層	古墳時代以降	○	○	○		土サンプル133	ⅣK01 水田跡?	②
He30-7	2018 (H30)	7	4	東壁	8層(中)	古墳時代以降	○	○	○		土サンプル135	ⅣK01 水田跡?	
He30-8	2018 (H30)	8	4	東壁	11層	古墳	○	○	○		土サンプル139	ⅣK01 SD4022	
He30-9	2018 (H30)	9	4	東壁	15層(上)	弥生時代以降	○	○	○		土サンプル140	ⅣK01	
He30-10	2018 (H30)	10	4	第1検出面	Noあ	古墳時代以降	○		○		土サンプル142	水田跡?	
He30-11	2018 (H30)	11	4	第1検出面	Noい	古墳時代以降	○		○		土サンプル143	水田跡?	

註1：①株古環境研究所 ②バリノ・サーヴェイ株



第368図 分析試料採取位置図 1 2面 (弥生・古墳・古代) (1 : 2,000)



H23	-
H24	3-6
H25	18.19.21. 22.24.25
H26	-
H27	-
H28	12-15
H30	-
H31	9-16
He23	-
He24	-
He25	-
He26	-
He27	-
He28	-
He30	-

H23	5-7
H24	-
H25	44
H26	8.9
H27	6-9
H28	8-11
H30	-
H31	8
He23	1-11
He24	-
He25	-
He26	-
He27	-
He28	-
He30	-

第369図 分析試料採取位置図 2 1面 (中世以降) (1 : 2,000)

3 花粉分析

(1) 原理と方法

花粉分析は、一般に低湿地の堆積物を対象とした比較的広域な植生・環境の復元に応用されており、遺跡調査においては遺構内の堆積物などを対象とした局地的な植生の推定も試みられている。しかし花粉などの植物遺体は、水成堆積物では保存状況が良好であるが、乾燥的な環境下の堆積物では分解されて残存していない場合もある。

花粉の分離抽出① (H24・25・26年度)

中村 (1967) の方法をもとに、以下の手順で行った。

- 1) 試料から 1 cm³を採量
- 2) 0.5%リン酸三ナトリウム (12水) 溶液を加え15分間湯煎
- 3) 水洗処理の後、0.5mmの篩で礫などの大きな粒子を取り除き、沈澱法で砂粒を除去
- 4) 25%フッ化水素酸溶液を加えて30分放置
- 5) 水洗処理の後、氷酢酸によって脱水し、アセトリシス処理 (無水酢酸 9 : 濃硫酸 1 のエルドマン氏液を加え 1 分間湯煎)
- 6) 再び氷酢酸を加えて水洗処理
- 7) 沈渣に石炭酸フクシンを加えて染色し、グリセリンゼリーで封入してプレパラート作製
- 8) 検鏡・計数

検鏡は、生物顕微鏡によって300~1000倍で行った。花粉の分類は同定レベルによって、科、亜科、属、亜属、節および種の階級で分類し、複数の分類群にまたがるものはハイフン (-) で結んで示した。同定分類には所有の現生花粉標本、島倉 (1973)、中村 (1980) を参照して行った。イネ属については、中村 (1974, 1977) を参考にして、現生標本の表面模様・大きさ・孔・表層断面の特徴と対比して同定しているが、個体変化や類似種もあることからイネ属型とする。

花粉の分離抽出② (H27・30年度)

試料約 10 g について、水酸化カリウムによる泥化、篩別、重液 (臭化亜鉛, 比重 2.3) による有機物の分離、フッ化水素酸による鉱物質の除去、アセトリシス (無水酢酸 9 : 濃硫酸 1 の混合液) 処理による植物遺体中のセルロースの分解を行い、物理・化学的処理を施して花粉を濃集する。残渣をグリセリンで封入してプレパラートを作製し、400倍の光学顕微鏡下でプレパラート全面を走査し、出現する全ての種類について同定・計数する。同定は、当社保有の現生標本や島倉 (1973)、中村 (1980)、三好ほか (2011) 等を参考にする。

結果は同定・計数結果の一覧表として表示する。表中で複数の種類を - (ハイフン) で結んだものは、種類間の区別が困難なものを示す。

(2) 結果 (第44・45表、第370図)

分析結果の概略は以下のとおりである。詳細は、添付DVDに収録した分析結果報告書を参照いただきたい。

①分類群

[樹木花粉]

マキ属、モミ属、トウヒ属、ツガ属、マツ属複雑管束亜属、マツ属不明、スギ、コウヤマキ、イチイ科 - イヌガヤ科 - ヒノキ科、ヤナギ属、ヤマモモ属、クルミ属、サワグルミ、ハンノキ属、カバノキ属、ハシバミ属、クマシデ属 - アサダ、クリ、シイ属、ブナ属、コナラ属コナラ亜属、コナラ属アカガシ亜属、ニレ属 - ケヤキ、エノキ属 - ムクノキ、ウルシ属、カエデ属、シナノキ属、モクセイ科、トネリコ

属、トチノキ、トネリコ属、ブドウ属、ノブドウ属、ミズキ属、ウコギ科

[樹木花粉と草本花粉を含むもの]

クワ科-イラクサ科、バラ科、マメ科、ニワトコ属-ガマズミ属

[草本花粉]

ガマ属、ガマ属-ミクリ属、サジオモダカ属、オモダカ属、イネ科、イネ属型、カヤツリグサ科、ミズアオイ属、クワ科、ネギ属、タデ属、タデ属サナエタデ節、サナエタデ節-ウナギツカミ節、ギシギシ属) ソバ属、アカザ科、アカザ科-ヒユ科、スベリヒユ属、ナデシコ科、キンポウゲ科、キンポウゲ属、カラマツソウ属、アブラナ科、ツリフネソウ属、キカシグサ属、アリノトウグサ属-フサモ属、チドメグサ亜科、セリ科、セリ亜科、アブラナ科、ナス科、オオバコ属、オミナエシ科、タンポポ亜科、キク亜科、オナモミ属、ヨモギ属

[シダ植物孢子]

単条溝孢子、三条溝孢子、テンジソウ属、サンショウモ

②花粉群集の特徴

SD1：試料番号He23-1~11

下位より、8層(He23-5・7)では、花粉がほとんど検出されない。7層(He23-4)、6層(He23-3)、5層(He23-2)は、草本花粉の占める割合が高く、草本花粉では、ヨモギ属、イネ科が優占し、アカザ科-ヒユ科、アブラナ科、タデ属、タンポポ亜科が伴われる。なおHe23-4(7層)ではガマ属-ミクリ属が出現する。また、He23-2(5層)ではソバ属が検出されている。樹木花粉では、コナラ属コナラ亜属、ハンノキ属、カバノキ属、イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科、マツ属複維管束亜属が低率に検出される。また、樹木および草本花粉では、クワ科-イラクサ科が比較的多く検出される。He23-1(3層)は花粉がほとんど検出されない。

SD9：試料番号 He24-1・2

He24-1では、草本花粉が多くを占め、密度は低い。ヨモギ属を主にイネ科、アカザ科-ヒユ科、タンポポ亜科が出現し、樹木花粉のツガ属、ハンノキ属がわずかに出現する。He24-2では、花粉密度が極めて低く花粉は検出されなかった。

SD10：試料番号 He24-3~5

下部のHe24-4では、花粉密度が極めて低く、イネ科、アカザ科-ヒユ科、タンポポ亜科、ヨモギ属がわずかに出現する。上部のHe24-3では、草本花粉が95.5%を占め密度は低い。ヨモギ属が卓越し、イネ科、タンポポ亜科、アカザ科-ヒユ科、カヤツリグサ科、アブラナ科が出現する。樹木花粉では、ツガ属、マツ属複維管束亜属がわずかに出現する。比較試料のHe24-5は、花粉密度が極めて低く、ヨモギ属がわずかに出現する。

SM5 (SD13から変更)：試料番号He26-1~5

いずれの試料も花粉密度が極めて低く、花粉はほとんど検出されない。He26-1(遺構外)からはシダ植物単条溝孢子のみがわずかに出現する。He26-2(3層)では樹木花粉のハンノキ属、クマシデ属-アサダ、ブナ属、コナラ属コナラ亜属、ニレ属-ケヤキ、草本花粉のイネ科、アカザ科-ヒユ科、タンポポ亜科、キク亜科、ヨモギ属、シダ植物三条溝孢子がわずかに出現する。He26-3(4層)からキク亜科、ヨモギ属、H26-4(3層)からイネ科、ヨモギ属、He26-5(土器内土)からは、草本のイネ科、ヨモギ属、樹木花粉のコナラ属コナラ亜属、シダ植物単条溝孢子がわずかに出現する。

SM3002 (SD3025から変更)：試料番号He26-6・7

いずれの試料も花粉密度が極めて低い。H26-7（4層）からイネ科、アカザ科-ヒユ科、ヨモギ属、He26-6（3層）からカバノキ属、イネ科、ヨモギ属、シダ植物三条溝胞子がわずかに出現する。

SM3001（SD3013から変更）：試料番号He25-15~19・51・52

下部のHe25-51、He25-52では、草本花粉が90%以上を占める。ヨモギ属が高率に出現し、次いでイネ科が優占し、タンポポ亜科、アカザ科-ヒユ科、キク亜科が伴われる。He25-52では、樹木花粉のコナラ属コナラ亜属、ニレ属-ケヤキが低率に出現する。He25-19では、下部のHe25-51と構成、組成ともにほとんど同じで、草本花粉のヨモギ属が高率に出現し、次いでイネ科が優占し、タンポポ亜科、キク亜科が伴われる。他にソバ属が出現する。He25-18~16では、花粉密度が極めて低く、草本花粉のイネ科、カヤツリグサ科、アカザ科-ヒユ科、アブラナ科、タンポポ亜科、キク亜科、ヨモギ属がわずかではあるが連続して出現する。He25-15では、草本花粉の占める割合が半減し、樹木・草本花粉が28%、樹木花粉が16%を占めるようになる。樹木・草本花粉のクワ科-イラクサ科が高率に出現し、草本花粉では、イネ科（イネ属型を含む）、ヨモギ属、カヤツリグサ科を主にアカザ科-ヒユ科、アブラナ科、セリ亜科、タンポポ亜科が出現する。樹木花粉では、コナラ属コナラ亜属が比較的多く、イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科、ハンノキ属などが出現する。

NR5001・NR5002：試料番号He24-6~14

ブナ属、コナラ属コナラ亜属、スギ、ハンノキ属、イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科コナラ属コナラ亜属、ニレ属-ケヤキ、クマシデ属-アサダモミ属、サワグルミ、クワ科-イラクサ科、イネ科、カヤツリグサ科、タンポポ亜科、ヨモギ属、アブラナ科、アカザ科-ヒユ科が出現するが、いずれも花粉密度が極めて低い。

③花粉分析から推定される植生と環境

SD1：下位から上位にかけて大きな植生の変化はなく、周辺にはイネ科、ヨモギ属、アカザ科-ヒユ科、アブラナ科を主とする草本が分布していた。ヨモギ属、アカザ科-ヒユ科、アブラナ科、タンポポ亜科やオオバコ属が乾いた箇所には生育していた。また、カヤツリグサ科、ガマ属-ミクリ属は堀内の湿ったところに生育していたとみなされる。クワ科-イラクサ科はカナムグラやイラクサの草本が考えられる。7層（He23-6）では、主にヨモギ属、イネ科、アカザ科-ヒユ科が周辺に生育していた。5層（He23-2）では栽培植物のソバ属が検出されており、当時ソバなどの畠作が営まれた可能性が示唆される。下位より、8層（He23-5）、6層（He23-3）、3層（He23-1）では花粉密度が低く、堆積速度が速かった可能性が考えられる。周囲には樹木は少ないが、周辺地域の森林はコナラ属コナラ亜属、カバノキ属、ハンノキ属、スギ、ブナ属などが主要な構成要素であったと考えられる。

SD9：イネ科、アカザ科-ヒユ科、タンポポ亜科の比較的乾燥を好む草本の出現率がやや高かった。ヨモギ属を主にこれら草本が分布し、やや乾燥した環境が示唆される。周辺には樹木はほとんど生育していなかったとみなされる。比較試料では、花粉密度が極めて低く花粉は検出されず、分解が考えられる。

SD10：下部では花粉がほとんど検出されなかった。上部ではヨモギ属が卓越し、イネ科、タンポポ亜科、アカザ科-ヒユ科、カヤツリグサ科、アブラナ科の比較的乾燥を好む草本が伴われる。ヨモギ属を中心に草本が分布し、やや乾燥した環境が示唆される。周囲に樹木はほとんど分布していなかった。

SM5（SD13から変更）：遺構周辺には、アカザ科-ヒユ科、タンポポ亜科、キク亜科、ヨモギ属の草本の生育する比較的乾燥した環境が分布していた。樹木はハンノキ属、クマシデ属-アサダ、ブナ属、コナラ属コナラ亜属、ニレ属-ケヤキが地域的な森林要素として生育していた。水生植物は検出されないことから、SM5とその周辺は比較的乾燥した環境であり、引水などにより一時的に水が流れる溝であったと

推定される。

SM3001 (SD3013から変更)：下部のHe25-51、He25-52の時期は、堆積地ないし周囲は乾燥を好むヨモギ属、多様な環境に生育する種を含むイネ科を主要要素とする陽当たりの良い比較的乾燥した草地の環境が分布していたとみなされる。同様に人里植物でやや乾燥した環境に生育するタンポポ亜科、アカザ科-ヒユ科、キク亜科などの草本も生育していた。樹木は少なく、コナラ属コナラ亜属、ニレ属-ケヤキなどの落葉広葉樹が孤立木の状態で疎に生育していたと推定される。また、He25-19の時期も下部の時期と概ね同様な環境であったとみなされる。なお、栽培植物のソバ属が出現することから畑の分布が示唆される。He25-18~16の時期は、花粉密度が極めて低く、花粉などの有機質遺体が分解される乾燥した堆積環境であったか、堆積速度が速かったと考えられる。わずかに出現する草本花粉は、いずれも人里植物ないし耕地雑草で乾燥した堆積環境であったとみなされる。He25-15の時期になると、イネ科にはイネ属が伴われ、カヤツリグサ科も増加することから、周囲に水田の分布が示唆される。また、栽培植物を多く含むアブラナ科が耕地雑草のアカザ科-ヒユ科などとともに出現し、ナタネやダイコンなどのアブラナ科植物の畑も分布していたとみなされる。近隣には、コナラ属コナラ亜属の落葉広葉樹林を主に、ハンノキ属などの落葉広葉樹を要素とする森林が分布していたと考えられる。

SM3002 (SD3025から変更)：遺構周辺は、イネ科とヨモギ属の草本が生育する比較的乾燥した環境であったと推定される。SM3002は比較的乾燥した環境であり、引水などにより一時的に水が流れる溝であったことが示唆される。

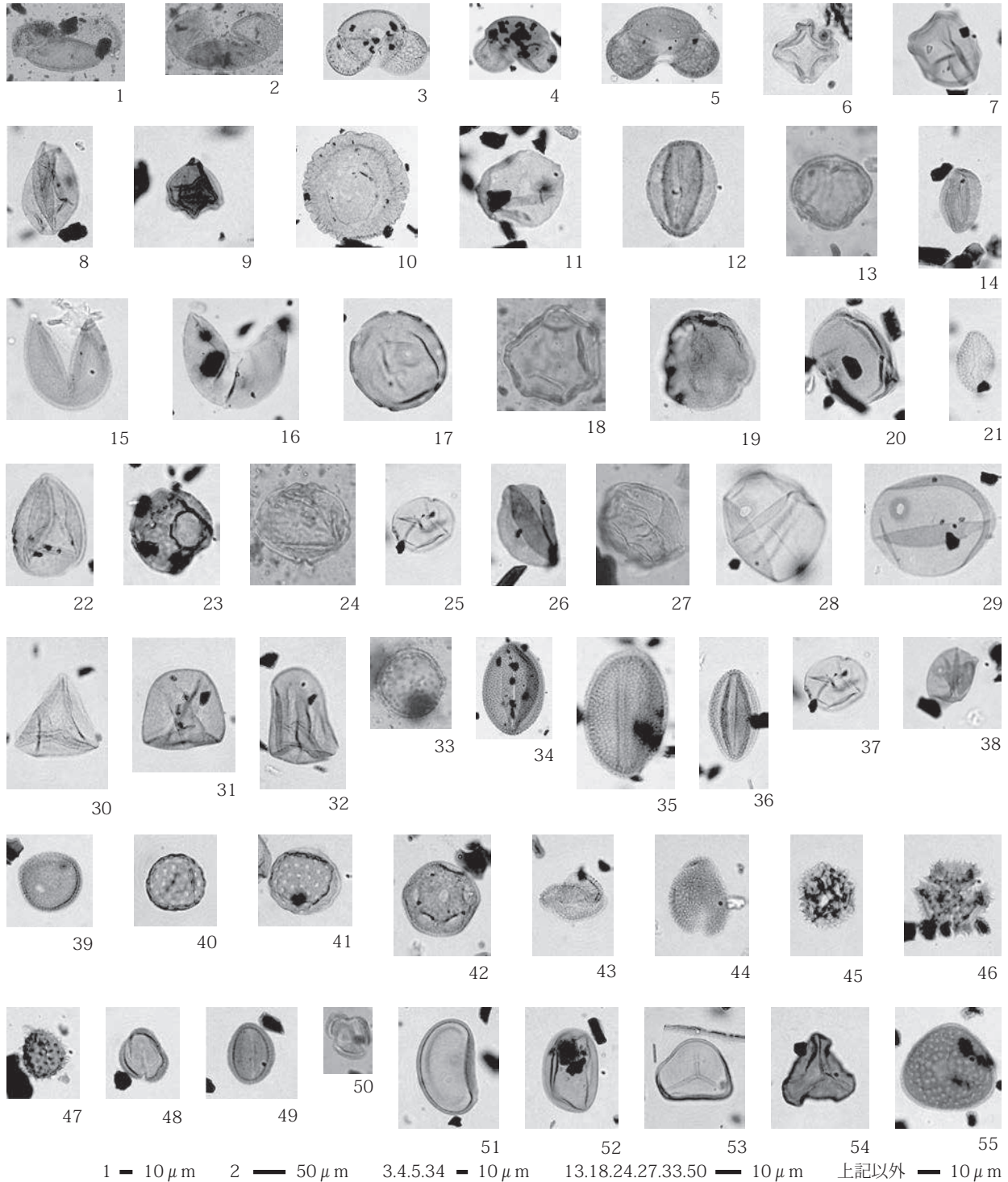
NR5001・NR5002：サンプルA採取地点下部では、花粉密度が低く、淘汰によって堆積しなかったか、分解されたことが考えられる。上部は、イネ科、ヨモギ属を主にカヤツリグサ科、アカザ科-ヒユ科、タンポポ亜科、アブラナ科、ナデシコ科の草本が優勢であり、これら草本が分布し比較的乾燥した環境が示唆される。樹木と草本を含むクワ科-イラクサ科も同様な要素である。樹木は近隣には分布しておらず、周辺地域にハンノキ属、コナラ属コナラ亜属、スギ、イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科が分布していた。サンプルC採取地点は、花粉密度が極めて低く、淘汰を受けて堆積したか、分解されたと考えられる。

第45表 その他検出花粉

本報告書内 分析番号	試料採取場所	花粉	主な検出花粉	草本 花粉	シダ植物 孢子
He23-1	3層	4	ハンノキ属 (2)	44	マキ属
He23-2	5層	40	コナラ属-コナラ亜属 (7)	211	トウヒ属
He23-3	6層	16	マツ属	145	マツ属不明
He23-4	7層	48	イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科 (10)	324	ヤマギ属
He23-5	8層	41	コナラ属コナラ亜属 (9)	14	ヤマモモ属
He23-6		2	コナラ属コナラ亜属 (1), ハンノキ属 (1)	110	カラムシ属
He23-7		12	コナラ属コナラ亜属 (4)	13	カバノキ属
He23-8		28	ハンノキ属 (9)	27	サウダラミ
He23-9		7層	コナラ属コナラ亜属 (1), スギ (1)	136	カバノキ属
He23-10		8層	イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科 (1)	9	ハシバミ属
He24-1		1	ツガ属 (1), ハンノキ属 (1)	103	クリ
He24-2	SD9	2		109	シイ属
He24-3		1	ハンノキ属 (2)	143	コナラ属アガシ亜属
He24-4	SD10	2		33	エノキ属-ムクノキ
He24-5		4		1	カエデ属
He24-6		A-1	ハンノキ属 (10)	1	モクセイ科
He24-7		A-3	コナラ属コナラ亜属 (7)	143	トネリコ属
He24-8		A-4	ハンノキ属 (5)	226	トネリコ属
He24-9		A-5	クマシダ属-アサダ (1), プナ属	24	アブドウ属
He24-10	NR5001 (NR5002)	A-6	ハンノキ属 (1), コナラ属コナラ亜属 (1)	1	アブドウ属
He24-11		A-7	プナ属 (2)	1	ミスギ属
He24-12		A-8		0	ウコギ科
He24-13		C-6		0	
He24-14		C-7	ニレ属-ケヤキ (1)	0	
He25-15		15	コナラ属コナラ亜属 (32)	203	ハラ科
He25-16		16	コナラ属コナラ亜属 (13)	58	クワ科-イラクサ科
He25-17		17	コナラ属コナラ亜属 (4)	49	マメ科
He25-18	SM3001 (SD3013から変更) サンプルポイントA	18	ニレ属-ケヤキ (1)	68	ニワトコ属-ガマズミ属
He25-19		19	コナラ属コナラ亜属 (2)	193	
He25-20		2	コナラ属コナラ亜属 (1), スギ (1)	212	
He25-21		51	コナラ属コナラ亜属 (2), ニレ属-ケヤキ (2)	118	
He25-22		32	コナラ属コナラ亜属 (45)	307	
He25-23		27	マツ属	461	
He25-24		28	マツ属	461	
He25-25		29	マツ属	497	
He25-26		30	イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科 (13)	501	
He25-27	5区 北壁 サンプルポイントB	31	コナラ属コナラ亜属 (13)	420	
He25-28		32	コナラ属コナラ亜属 (20)	215	
He25-29		33	コナラ属コナラ亜属 (31)	408	
He25-30		34	コナラ属コナラ亜属 (2) プナ属 (2)	13	
He25-31		34		13	
He25-32		7	コナラ属コナラ亜属 (2), クマシダ属-アサダ (2)	40	
He25-33		3層		6	
He26-1	SM5 (SD13から変更)	4層		3	
He26-2		3層		12	
He26-3		3層		5	
He26-4		3層		14	
He26-5		土器内		1	
He26-6	SM3002 (SD3025から変更)	3層		1	
He26-7		4層		1	
He26-8	3区 東壁	5層		1	
He26-9		11層		7	
He27-1	SM3004	4層上層		4	
He27-2		4層下層		7	
He27-3		6		11	
He27-4		モミ属		3	
He27-5		243		445	
He27-6		7層		336	
He27-7		8層(中)		79	
He27-8	4区 東壁	11層		9	
He27-9		15層(上)		9	
He27-10		No.あ		433	
He27-11	4区 第1検出面	No.い		130	

第44表 主な検出花粉

本報告書内 分析番号	試料採取場所	花粉	主な検出花粉	草本 花粉	シダ植物 孢子
He23-1	3層	4	ハンノキ属 (2)	44	マキ属
He23-2	5層	40	コナラ属-コナラ亜属 (7)	211	トウヒ属
He23-3	6層	16	マツ属	145	マツ属不明
He23-4	7層	48	イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科 (10)	324	ヤマギ属
He23-5	8層	41	コナラ属コナラ亜属 (9)	14	ヤマモモ属
He23-6		2	コナラ属コナラ亜属 (1), ハンノキ属 (1)	110	カラムシ属
He23-7		12	コナラ属コナラ亜属 (4)	13	カバノキ属
He23-8		28	ハンノキ属 (9)	27	サウダラミ
He23-9		7層	コナラ属コナラ亜属 (1), スギ (1)	136	カバノキ属
He23-10		8層	イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科 (1)	9	ハシバミ属
He24-1		1	ツガ属 (1), ハンノキ属 (1)	103	クリ
He24-2	SD9	2		109	シイ属
He24-3		1	ハンノキ属 (2)	143	コナラ属アガシ亜属
He24-4	SD10	2		33	エノキ属-ムクノキ
He24-5		4		1	カエデ属
He24-6		A-1	ハンノキ属 (10)	1	モクセイ科
He24-7		A-3	コナラ属コナラ亜属 (7)	143	トネリコ属
He24-8		A-4	ハンノキ属 (5)	226	トネリコ属
He24-9		A-5	クマシダ属-アサダ (1), プナ属	24	アブドウ属
He24-10	NR5001 (NR5002)	A-6	ハンノキ属 (1), コナラ属コナラ亜属 (1)	1	アブドウ属
He24-11		A-7	プナ属 (2)	1	ミスギ属
He24-12		A-8		0	ウコギ科
He24-13		C-6		0	
He24-14		C-7	ニレ属-ケヤキ (1)	0	
He25-15		15	コナラ属コナラ亜属 (32)	203	ハラ科
He25-16		16	コナラ属コナラ亜属 (13)	58	クワ科-イラクサ科
He25-17		17	コナラ属コナラ亜属 (4)	49	マメ科
He25-18	SM3001 (SD3013から変更) サンプルポイントA	18	ニレ属-ケヤキ (1)	68	ニワトコ属-ガマズミ属
He25-19		19	コナラ属コナラ亜属 (2)	193	
He25-20		2	コナラ属コナラ亜属 (1), スギ (1)	212	
He25-21		51	コナラ属コナラ亜属 (2), ニレ属-ケヤキ (2)	118	
He25-22		32	コナラ属コナラ亜属 (45)	307	
He25-23		27	マツ属	461	
He25-24		28	マツ属	461	
He25-25		29	マツ属	497	
He25-26		30	イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科 (13)	501	
He25-27	5区 北壁 サンプルポイントB	31	コナラ属コナラ亜属 (13)	420	
He25-28		32	コナラ属コナラ亜属 (20)	215	
He25-29		33	コナラ属コナラ亜属 (31)	408	
He25-30		34	コナラ属コナラ亜属 (2) プナ属 (2)	13	
He25-31		34		13	
He25-32		7	コナラ属コナラ亜属 (2), クマシダ属-アサダ (2)	40	
He25-33		3層		6	
He26-1	SM5 (SD13から変更)	4層		3	
He26-2		3層		12	
He26-3		3層		5	
He26-4		3層		14	
He26-5		土器内		1	
He26-6	SM3002 (SD3025から変更)	3層		1	
He26-7		4層		1	
He26-8	3区 東壁	5層		1	
He26-9		11層		7	
He27-1	SM3004	4層上層		4	
He27-2		4層下層		7	
He27-3		6		11	
He27-4		モミ属		3	
He27-5		243		445	
He27-6		7層		336	
He27-7		8層(中)		79	
He27-8	4区 東壁	11層		9	
He27-9		15層(上)		9	
He27-10		No.あ		433	
He27-11	4区 第1検出面	No.い		130	



1 — 10 μm 2 — 50 μm 3.4.5.34 — 10 μm 13.18.24.27.33.50 — 10 μm 上記以外 — 10 μm

- | | | |
|---------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. モミ属 (試料NoHe27-4) | 20. プナ属 (試料NoHe26-2) | 39. ガマ属-ミクリ属 (試料NoHe23-4) |
| 2. モミ属 (試料NoHe30-7) | 21. ヤナギ属 (試料NoHe23-4) | 40. アカサ科-ヒユ科 (試料NoHe23-2) |
| 3. マツ属複雑管束亜属 (試料NoHe23-1) | 22. ニレ属-ケヤキ (試料NoHe23-1) | 41. アカサ科-ヒユ科 (試料NoHe25-29) |
| 4. マツ属複雑管束亜属 (試料NoHe24-7) | 23. ニレ属-ケヤキ (試料NoHe26-2) | 42. ナデシコ科 (試料NoHe25-31) |
| 5. マツ属複雑管束亜属 (試料NoHe25-30) | 24. ニレ属-ケヤキ属 (試料NoHe30-7) | 43. アブラナ科 (試料NoHe23-2) |
| 6. イチイ科-イスガヤ科-ヒノキ科 (試料NoHe24-7) | 25. クワ科-イラクサ科 (試料NoHe23-2) | 44. アブラナ科 (試料NoHe25-29) |
| 7. ハンノキ属 (試料NoHe24-6) | 26. イネ科 (試料NoHe25-19) | 45. タンポポ亜科 (試料NoHe23-1) |
| 8. ハンノキ属 (試料NoHe25-31) | 27. イネ科 (試料NoHe27-3) | 46. タンポポ亜科 (試料NoHe25-29) |
| 9. カバノキ属 (試料NoHe26-6) | 28. イネ属型 (試料NoHe23-3) | 47. キク亜科 (試料NoHe26-2) |
| 10. ツガ属 (試料NoHe25-31) | 29. イネ属型 (試料NoHe25-31) | 48. ヨモギ属 (試料NoHe23-2) |
| 11. クマシダ属 (試料NoHe26-2) | 30. カヤツリグサ科 (試料NoHe23-1) | 49. ヨモギ属 (試料NoHe25-31) |
| 12. スギ (試料NoHe25-31) | 31. カヤツリグサ科 (試料NoHe24-7) | 50. ヨモギ属 (試料NoHe27-3) |
| 13. スギ (試料NoHe24-7) | 32. カヤツリグサ科 (試料NoHe25-31) | 51. シダ植物単条溝胞子 (試料NoHe24-6) |
| 14. コナラ属コナラ亜属 (試料NoHe25-29) | 33. サジオモダカ属 (試料NoHe30-7) | 52. シダ植物単条溝胞子 (試料NoHe26-5) |
| 15. コナラ属コナラ亜属 (試料NoHe30-6) | 34. ツバ属 (試料NoHe25-29) | 53. シダ植物三条溝胞子 (試料NoHe24-6) |
| 16. コナラ属コナラ亜属 (試料NoHe26-2) | 35. ツバ属 (試料NoHe23-2) | 54. シダ植物三条溝胞子 (試料NoHe26-6) |
| 17. クルミ属 (試料NoHe23-6) | 36. タデ属 (試料NoHe23-2) | 55. シダ植物三条溝胞子 (試料NoHe25-19) |
| 18. サワグルミ属 (試料NoHe30-7) | 37. クワ科-イラクサ科 (試料NoHe23-2) | |
| 19. プナ属 (試料NoHe24-6) | 38. クワ科-イラクサ科 (試料NoHe25-19) | |

第370図 花粉写真

4. 珪藻分析

(1) 原理と方法

珪藻は、珪酸質の被殻を有する単細胞植物であり、海水域や淡水域などの水域をはじめ、湿った土壌、岩石、コケの表面にまで生息している。珪藻の各分類群は、塩分濃度、酸性度、流水性などの環境要因に応じて、それぞれ特定の生息場所を持っている。珪藻化石群集の組成は、当時の堆積環境を反映しており、水域を主とする古環境復元の指標として利用されている。

珪藻の抽出と同定は、基本以下の方法で行っている。①試料から定量を採取、②過酸化水素水等を加え、試料の泥化と有機物の分解・漂白、分散剤を加えた後、蒸留水を満たし放置する、③上澄み液中の粘土分を除去し、珪藻殻を濃縮する（4～5回繰り返す）、④自然沈降法による砂質分の除去、⑤検鏡し易い濃度に希釈し、カバーガラス上に滴下して乾燥、⑥乾燥した試料上に封入剤を滴下し、スライドガラスに貼付け永久プレパラートを作製する、⑦生物顕微鏡（600～1500倍）による検鏡、計数は珪藻被殻が200個体以上になるまで行う。珪藻の同定と種の生態性については、Horst Lange-Bertalot（2000）、Hustedt（1930-1966）、Krammer and Lange-Bertalot（1985-1991）、Desikachary（1987）などを参考にする。

群集解析にあたり個々の産出化石は、まず塩分濃度に対する適応性により、海水生、海水～汽水生、汽水生、淡水生に生態分類し、さらにその中の淡水生種は、塩分、pH、水の流動性の3適応性についても生態分類し表に示す。

(2) 結果と推定される環境（第46表、第371図）

分析結果の概略は以下のとおりである。詳細は、添付DVDに収録した分析結果報告書を参照いただきたい。

SD1：試料番号He23-1～11

トレンチ2・4で観察用に残したセクションベルトから採取した試料11点を分析した。採取地点は、埋土8層（He23-5・7）、7層（He23-4・10）、6層（He23-3）、5層（He23-2）、3層（He23-1）、層位不明（He23-11・9・8・6）である。8・6・3層では、陸生珪藻の占める割合が高い。7層では、流水不定性種、真・好流水性種、陸生珪藻とも比較的割合が高く、トレンチ2では流水不定性種が、トレンチ4では陸生珪藻が約半分を占める。5層では、流水不定性種が約半分を占め、真・好流水性種と陸生珪藻が占める割合も比較的高い。

分析結果から層序ごとに環境を推定する8層の時期では、湿った環境がほとんどで水域は極めて狭い。7層の時期では、流水性の水域が示唆され、付着生珪藻が付着する水生植物も生育していたと考えられる。6層の時期では、ほとんどが湿った環境となり、堀は水域が縮小し、流水性の小さな水域が分布していた。5層の時期では、再び流水性の水域が拡大し、堀はやや不安定であるが大きな水域を呈した。3層の時期では、水域が大きく縮小し、ほとんどが湿った程度の環境となった。

トレンチ4No.5の時期には、堀は水域が拡大する。流水を伴うが、流水不定性種が多いため、曖昧な水域であったと考えられる。また水生植物も生育していた。He23-8・7・6（トレンチNo.4・2・1）の時期では、流水を伴う水域が安定して分布し、水生植物も分布していた。

SD9：試料番号 He24-1・2

遺構埋土から試料2点を採取したが、珪藻密度が極めて低く、陸生珪藻がわずかに出現する。

この結果からSD9は、常時滞水したり流れのある溝ではなく、雨水や季節的、引水により短期間流れるような溝であったと推定される。

SD10：試料番号 He24-3～5

試料3点のうち、遺構埋土サンプル2（He24-4）と比較試料（He24-5）は、珪藻密度が極めて低

い。遺構埋土サンプル1 (He24-3) では、陸生珪藻が80%以上を占めるが、密度は低い。

この結果からSD10は常時滞水する溝ではなく、雨水や季節的、引水により短期間流れるような溝であったと推定される。

SM5 (SD13から変更) : 試料番号He26-1~5

周溝埋土と遺構外から試料4点を採取したが、いずれも密度が極めて低く、遺構外で採取した比較試料(He26-1)では、珪藻の破片も検出されなかった。土器内土サンプルF (He26-5)では、珪藻が比較的検出され、大半が陸生珪藻であった

分析結果から推定される環境は以下のとおりである。SM5および土器内の土壤の生成環境は、他の珪藻が生育できず陸生珪藻が優勢に生育する湿った程度の常時滞水していない環境であったことが示唆される。

注目すべき点としては、アマモなどの海草に付着する珪藻である*Cocconeis scutellum*が検出されたことがある。製塩遺跡での検出がある珪藻である。本遺跡での藻塩焼によって製塩された塩の使用、または、土器内に塩が残存していた可能性などが考えられる。

SM3001 (SD3013から変更) : 試料番号 He24-15~19・51・52

周溝埋土から7点の試料を採取した。埋土下層の(He25-52)では、珪藻密度は低く、高い割合を陸生珪藻がしめている。サンプルA⑥(He25-51)とサンプルA⑤(He25-19)は珪藻の構成、組成が極めて類似し、陸生珪藻の占める割合が高い。埋土下層になる(He25-18~15)では、真・好流水性種、流水不定性種の占める割合が増加し、陸生珪藻は減少する。

この結果から推定される環境は以下のとおりである。埋土下層の時期は、一時的に増水し他は湿った程度、上層の時期は、淀みながら流れるような環境であったと推察される。*Amphora copulata*は水田に多い珪藻であり、近接して水田があったか水田の可能性はある。

SM3002 (SD3025から変更) : 試料番号He26-6~7

東壁面でSM3002埋土試料2点を採取したが、いずれも密度が極めて低く、珪藻はほとんど検出されなかった。

この結果からSM3002は、常時滞水しておらず、引水等によって一時的に滞水ないし水が流れる溝と推定される。

SM3004 : 試料番号He27-1~4

周溝埋土と遺構外から試料4点を採取した。いずれの試料でも淡水生種の珪藻化石を検出した。すべて半壊し、溶解の痕跡も認められる極不良状態で、全て20個体未満であった。

この結果からは、堆積環境の詳細な検討は困難だが、各試料から少ないながらも検出された陸生珪藻や状態の悪さを考慮すると、周溝内は、常に湛水している状態ではなく、基本的に好气的環境であった可能性が高いと推定される。

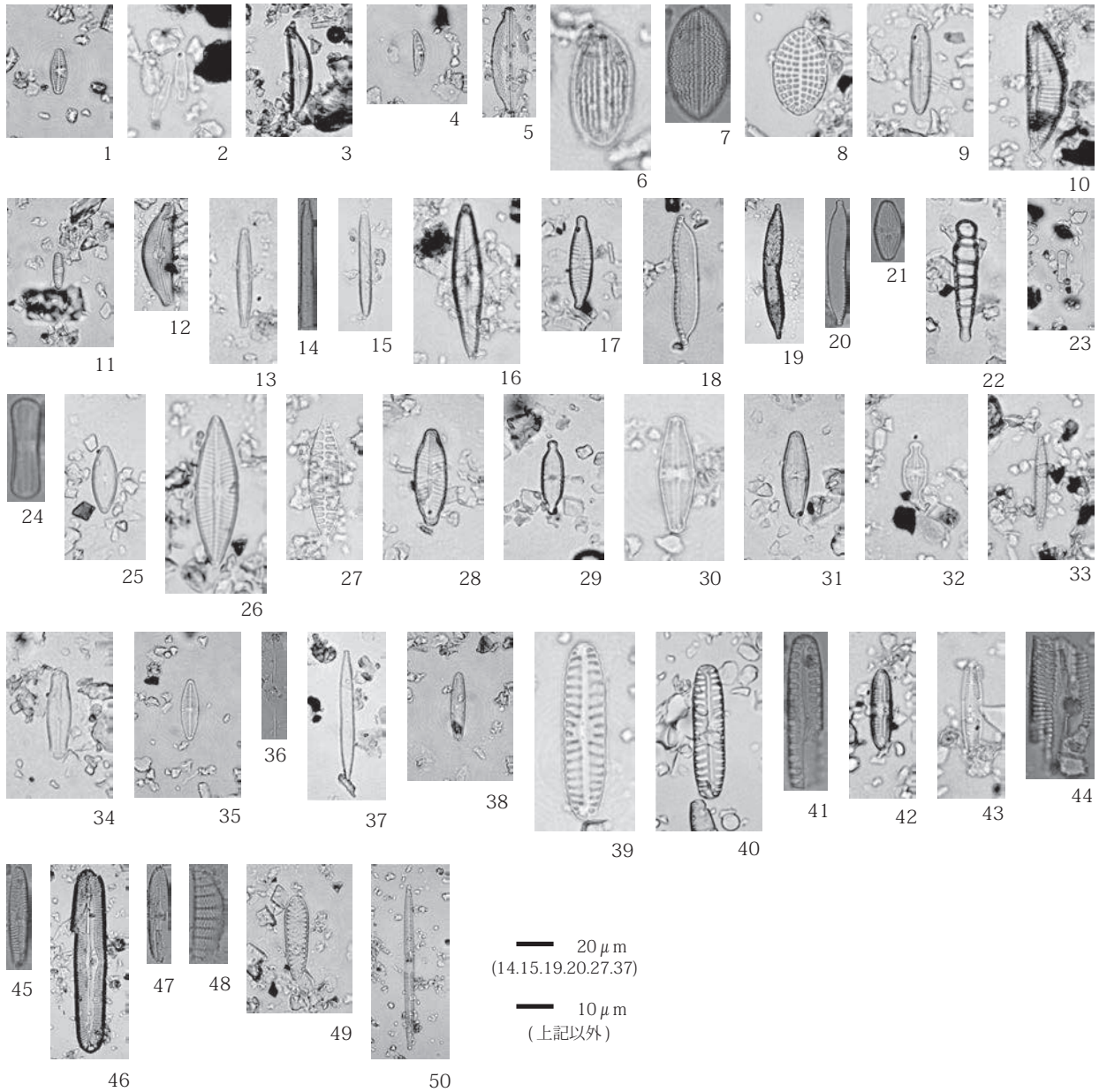
NR5001・NR5002 : He24-6~14

自然流路と考えられている遺構である。A、Bの2地点で試料を採取した。A地点の比較試料(He24-12)では、珪藻密度が極めて低く検出されない。珪藻密度は低いもののサンプルA-7~3(He24-11~7)で、陸生珪藻が出現する。A地点の比較試料(He24-6)では、同様に密度は低いが流水不定性種がやや多様になる。C地点(He24-13・14)では、いずれの試料も珪藻密度が低く、ほとんど検出されなかった。

この結果からNR5001・NR5002は、湿った土壤の環境の時期もあったが、比較的乾燥した環境であったと推定される。

第46表 主な検出珪藻

本報告書内資料番号	検出総数	主な検出珪藻 (検出数)
He23	1	374 <i>Navicula mutica</i> (122)、 <i>Navicula contenta</i> (73)、 <i>Hantzschia amphioxys</i> (61)
	2	643 <i>Gomphonema parvulum</i> (59)、 <i>Achnanthes lanceolata</i> (39)、 <i>Amphora montana</i> (38)
	3	467 <i>Navicula contenta</i> (113)、 <i>Navicula mutica</i> (73)、 <i>Amphora montana</i> (48)
	4	513 <i>Navicula cryptocephala</i> (48)、 <i>Gomphonema parvulum</i> (34)、 <i>Cymbella sinuata</i> (32)
	5	353 <i>Hantzschia amphioxys</i> (274)、 <i>Navicula mutica</i> (25)、 <i>Nitzschia palea</i> (16)
	6	437 <i>Amphora montana</i> (61)、 <i>Fragilaria capucina</i> (40)、 <i>Gomphonema parvulum</i> (40)
	7	375 <i>Gomphonema parvulum</i> (37)、 <i>Hantzschia amphioxys</i> (31)、 <i>Cocconeis placentula</i> (30)
	8	476 <i>Navicula mutica</i> (48)、 <i>Amphora montana</i> (36)、 <i>Fragilaria capucina</i> (35)
	9	563 <i>Navicula cryptocephala</i> (171)、 <i>Navicula veneta</i> (61)、 <i>Gomphonema</i> spp. (38)
	10	438 <i>Navicula mutica</i> (74)、 <i>Fragilaria capucina</i> (42)、 <i>Amphora montana</i> (39)
	11	421 <i>Hantzschia amphioxys</i> (188)、 <i>Navicula mutica</i> (64)、 <i>Pinnularia borealis</i> (21)
He24	1	42 <i>Hantzschia amphioxys</i> (17)、 <i>Navicula mutica</i> (15)、 <i>Pinnularia borealis</i> (8)
	2	12 <i>Hantzschia amphioxys</i> (4)、 <i>Navicula mutica</i> (4)、 <i>Navicula</i> spp. (3)
	3	156 <i>Hantzschia amphioxys</i> (74)、 <i>Navicula mutica</i> (37)、 <i>Nitzschia palea</i> (21)
	4	37 <i>Navicula mutica</i> (17)、 <i>Hantzschia amphioxys</i> (13)、 <i>Pinnularia borealis</i> (4)
	5	10 <i>Hantzschia amphioxys</i> (6)、 <i>Navicula mutica</i> (1)、 <i>Nitzschia palea</i> (1)
	6	21 <i>Hantzschia amphioxys</i> (4)、 <i>Nitzschia</i> spp. (4)、 <i>Fragilaria capucina</i> (2)、 <i>Nitzschia palea</i> (2)
	7	13 <i>Hantzschia amphioxys</i> (5)、 <i>Nitzschia palea</i> (3)、 <i>Navicula confervacea</i> (1)
	8	23 <i>Hantzschia amphioxys</i> (9)、 <i>Pinnularia borealis</i> (4)、 <i>Navicula confervacea</i> (4)
	9	12 <i>Nitzschia palea</i> (5)、 <i>Navicula pupula</i> (3)、 <i>Hantzschia amphioxys</i> (1)
	10	9 <i>Gomphonema parvulum</i> (2)、 <i>Fragilaria virescens</i> (2)、 <i>Hantzschia amphioxys</i> (1)
	11	2 <i>Gomphonema parvulum</i> (1)、 <i>Pinnularia schroederii</i> (1)
	12	0 —
	13	4 <i>Fragilaria exigua</i> (2)、 <i>Meridion circulare</i> v. <i>Constrictum</i> (2)
	14	6 <i>Hantzschia amphioxys</i> (1)、 <i>Gomphonema parvulum</i> (1)、 <i>Cocconeis placentula</i> (1)
He25	15	345 <i>Gomphonema parvulum</i> (128)、 <i>Amphora copulata</i> (64)、 <i>Navicula mutica</i> (18)
	16	338 <i>Gomphonema parvulum</i> (80)、 <i>Navicula confervacea</i> (39)、 <i>Hantzschia amphioxys</i> (32)
	17	421 <i>Gomphonema parvulum</i> (143)、 <i>Navicula confervacea</i> (85)、 <i>Amphora copulata</i> (43)
	19	332 <i>Navicula confervacea</i> (87)、 <i>Gomphonema parvulum</i> (47)、 <i>Hantzschia amphioxys</i> (34)
	20	319 <i>Navicula confervacea</i> (114)、 <i>Hantzschia amphioxys</i> (61)、 <i>Navicula mutica</i> (36)
	51	377 <i>Navicula confervacea</i> (125)、 <i>Hantzschia amphioxys</i> (87)、 <i>Navicula mutica</i> (72)
	52	104 <i>Hantzschia amphioxys</i> (68)、 <i>Navicula mutica</i> (7)、 <i>Pinnularia borealis</i> (7)
	27	478 <i>Navicula confervacea</i> (250)、 <i>Hantzschia amphioxys</i> (55)、 <i>Navicula pupula</i> (33)
	28	3 <i>Stauroneis anceps</i> (2)、 <i>Stauroneis acuta</i> (1)
	29	7 <i>Stauroneis acuta</i> (2)、 <i>Gomphonema gracile</i> (2)、 <i>Hantzschia amphioxys</i> (1)
	30	17 <i>Stauroneis acuta</i> (5)、 <i>Navicula cuspidata</i> (4)、 <i>Hantzschia amphioxys</i> (3)
	31	8 <i>Hantzschia amphioxys</i> (3)、 <i>Stauroneis anceps</i> (2)、 <i>Navicula confervacea</i> (1)
	32	0 —
	33	3 <i>Nitzschia umbonata</i> (2)、 <i>Gyrosigma</i> spp. (1)
	34	3 <i>Hantzschia amphioxys</i> (1)、 <i>Navicula confervacea</i> (1)、 <i>Navicula americana</i> (1)
	He26	1
2		3 <i>Hantzschia amphioxys</i> (1)、 <i>Navicula mutica</i> (1)、 <i>Cocconeis scutellum</i> (1)
3		26 <i>Hantzschia amphioxys</i> (13)、 <i>Pinnularia borealis</i> (6)、 <i>Navicula mutica</i> (2)
4		1 <i>Hantzschia amphioxys</i> (1)
5		320 <i>Hantzschia amphioxys</i> (145)、 <i>Navicula mutica</i> (64)、 <i>Pinnularia borealis</i> (57)
6		52 <i>Hantzschia amphioxys</i> (19)、 <i>Navicula mutica</i> (11)、 <i>Nitzschia amphibia</i> (4)
7		7 <i>Hantzschia amphioxys</i> (4)、 <i>Navicula contenta</i> (1)、 <i>Nitzschia palea</i> (1)
8		23 <i>Hantzschia amphioxys</i> (14)、 <i>Navicula mutica</i> (3)、 <i>Nitzschia</i> spp. (2)
He27	1	12 <i>Hantzschia amphioxys</i> (Ehr.) Grunow (6)、 <i>Fragilaria</i> spp. (2)、 <i>Navicula contenta</i> Grunow (1)
	2	10 <i>Hantzschia amphioxys</i> (Ehr.) Grunow (4)、 <i>Pinnularia subcapitata</i> Gregory (1)、 <i>Pinnularia</i> spp. (1)
	3	2 <i>Hantzschia amphioxys</i> (Ehr.) Grunow (1)、 <i>Luticola mutica</i> (Kuetz.) D.G.Mann (1)
	4	7 <i>Hantzschia amphioxys</i> (Ehr.) Grunow (4)、 <i>Luticola mutica</i> (Kuetz.) D.G.Mann (2)、 <i>Pinnularia</i> spp. (1)
He30	6	0 —
	7	0 —
	8	6 <i>Pinnularia</i> spp. (3)、 <i>Neidium</i> spp. (2)、 <i>Pinnularia viridis</i> (Nitz.) Ehrenberg (1)
	9	0 —



- | | | |
|--|---|---|
| 1. Achnanthes lanceolata (試料NoHe23-8) | 18. Hantzschia amphioxys (試料NoHe23-5) | 35. Navicula veneta (試料NoHe23-9) |
| 2. Achnanthes minutissima (試料NoHe26-6) | 19. Hantzschia amphioxys (試料NoHe26-3) | 36. Neidium spp. (試料NoHe30-8) |
| 3. Amphora copulata (試料NoHe23-3) | 20. Hantzschia amphioxys (Ehr.) Grunow (試料NoHe27-1) | 37. Nitzschia capitellata (試料NoHe24-9) |
| 4. Amphora montana (試料NoHe23-4) | 21. Luticola mutica (Kuetz.) D.G.Mann (試料NoHe27-4) | 38. Pinnularia appendiculata (試料NoHe23-11) |
| 5. Anomoeoneis sphaerophora (試料NoHe25-15) | 22. Meridion circulare v.constrictum (試料NoHe25-18) | 39. Pinnularia borealis (試料NoHe24-1) |
| 6. Cocconeis placentula (試料NoHe24-14) | 23. Navicula contenta (試料NoHe23-1) | 40. Pinnularia borealis (試料NoHe25-52) |
| 7. Cocconeis placentula var.vlineata (Ehr.) Cleve (試料NoHe27-1) | 24. Navicula contenta Grunow (試料NoHe27-1) | 41. Pinnularia borealis Ehrenberg (試料NoHe27-1) |
| 8. Cocconeis scutellum (試料NoHe26-5) | 25. Navicula confervacea (試料NoHe25-27) | 42. Pinnularia schroederii (試料NoHe25-15) |
| 9. Caloneis silicula (試料NoHe25-16) | 26. Navicula cryptotenella (試料NoHe24-8) | 43. Pinnularia schoenfelderii (試料NoHe26-6) |
| 10. Cymbella silesiaca (試料NoHe26-5) | 27. Navicula cuspidata (試料NoHe24-7) | 44. Pinnularia spp. (試料NoHe27-2, SM3004) |
| 11. Cymbella sinuata (試料NoHe23-5) | 28. Navicula elginensis (試料NoHe25-18) | 45. Pinnularia subcapitata Gregory (試料NoHe27-2) |
| 12. Cymbella tumida (試料NoHe25-15) | 29. Navicula kotschyii (試料NoHe25-15) | 46. Pinnularia viridis (試料NoHe23-6) |
| 13. Fragilaria capucina (試料NoHe25-18) | 30. Navicula mutica (試料NoHe24-1) | 47. Pinnularia viridis (Nitz.) Ehrenberg (試料NoHe30-8) |
| 14. Fragilaria ulna (Nitzsch) Lange-Bertalot (試料NoHe27-1) | 31. Navicula mutica (試料NoHe25-16) | 48. Rhopalodia gibberula (Ehr.) Mueller (試料NoHe27-2) |
| 15. Fragilaria virescens (試料NoHe24-10) | 32. Navicula mutica v.ventricosa (試料NoHe26-6) | 49. Surirella ovata (試料NoHe23-8) |
| 16. Gomphonema gracile (試料NoHe26-5) | 33. Nitzschia palea (試料NoHe26-5) | 50. Synedra ulna (試料NoHe23-6) |
| 17. Gomphonema parvulum (試料NoHe25-18) | 34. Navicula pupula (試料NoHe25-27) | |

第371図 珪藻写真

5. プラント・オパール（植物珪酸体）分析

(1) 方法

方法①（H24・25・26年度）

プラント・オパールの抽出と定量は、プラント・オパール定量分析法（藤原，1976）をもとに、次の手順で行った。

- 1) 試料を105℃で24時間乾燥（絶乾）
- 2) 試料約1 gに直径約40μmのガラスビーズを約0.02 g添加（電子分析天秤により0.1mgの精度で秤量）
- 3) 電気炉灰化法（550℃・6時間）による脱有機物処理
- 4) 超音波水中照射（300W・42KHz・10分間）による分散
- 5) 沈底法による20μm以下の微粒子除去
- 6) 封入剤（オイキット）中に分散してプレパラート作成
- 7) 検鏡・計数

検鏡は、おもにイネ科植物の機動細胞（葉身にのみ形成される）に由来するプラント・オパールを同定の対象とし、400倍の偏光顕微鏡下で行った。計数は、ガラスビーズ個数が500以上になるまで行った。これはほぼプレパラート1枚分の精査に相当する。

検鏡結果は、計数値を試料1 g中のプラント・オパール個数（試料1 gあたりのガラスビーズ個数に、計数されたプラント・オパールとガラスビーズの個数の比率を乗じて求める）に換算して示した。また、おもな分類群については、この値に試料の仮比重（ここでは1.0と仮定）と各植物の換算係数（機動細胞珪酸体1個あたりの植物体乾重、単位：10⁻⁵ g）を乗じて、単位面積で層厚1 cmあたりの植物体生産量を算出した。

各分類群の換算係数は、イネ（赤米）は2.94（種実重は1.03）、ヒエ属は8.40、ヨシ属（ヨシ）は6.31、ススキ属（ススキ）は1.24、メダケ節は1.16、ネザサ節は0.48、チマキザサ節は0.75、ミヤコザサ節は0.30である（杉山，2000）。

方法②（H27・30年度）

各試料について過酸化水素水・塩酸処理、沈定法、重液分離法（ポリタングステン酸ナトリウム、比重2.5）の順に物理・化学処理を行い、植物珪酸体を分離・濃集する。これをカバーガラス上に滴下・乾燥させる。乾燥後、プリュウラックスで封入してプレパラートを作製する。400倍の光学顕微鏡下で全面を走査し、その間に出現するイネ科葉部（葉身と葉鞘）の葉部短細胞に由来した植物珪酸体（以下、短細胞珪酸体）および葉身機動細胞に由来した植物珪酸体（以下、機動細胞珪酸体）を、近藤（2010）の分類を参考に同定し、計数する。

分析の際には、分析試料の乾燥重量、プレパラート作成に用いた分析残渣量を正確に計量し、乾土1 gあたりの植物珪酸体含量（同定した数を乾土1 gあたりの個数に換算）を求める。

結果は、植物珪酸体含量の一覧表で示す。その際、各分類群の含量は100単位として表示し、100個/g未満は「<100」と表示する。各分類群の含量は10の位で丸め（100単位にする）、合計は各分類群の丸めない数字を合計した後に丸めている。また、各分類群の植物珪酸体含量とその層位的変化から稲作の形態や古植生について検討するために、植物珪酸体含量の層位的変化を図示する。

(2) 結果と推定される農耕（第47表、第372図）

分析結果の概略は以下のとおりである。各試料採取地点で検出されたプラント・オパールは以下のとおりである。詳細は、添付DVDに収録した分析結果報告書を参照いただきたい。

SD9：試料番号 He24-1・2

2 試料とも、2400～3600個／gと比較的高い密度でイネを検出した。このほかには、キビ族型、ヨシ属、ススキ属型、タケ亜科などを検出した。

SD10：試料番号 He24-3～5

遺構埋土から採取した2試料でイネを検出したが、600～1800個／gと密度は低かった。このほかには、ヨシ属、ススキ属、タケ亜科などを検出した。

SM5 (SD13から変更)：試料番号He26-1～5

遺構埋土から採取した4試料でイネを検出したが、600～1800個／gと密度は低かった。このほかには、イネ、キビ族型、ヨシ属、ススキ属型、タケ亜科などを検出した。

SM3001 (SD3013から変更)：試料番号 He25-15～19・51・52

遺構埋土から採取した7試料でイネを検出し、特にHe25-17・18では3000個／gと高い密度であった。このほかには、キビ族型、ヨシ属、ススキ属型、タケ亜科などを検出した。

SM3002 (SD3025から変更)：試料番号He26-6～7

遺構埋土から採取した1試料でイネを検出したが、600個／gと密度は低かった。このほかには、ヨシ属、ススキ属型、タケ亜科などを検出した。

SM3004：試料番号He27-1～4

遺構埋土から採取した3試料で栽培種のイネ属の短細胞珪酸体と機動細胞珪酸体を検出した。このほかには、クマザサ属、タケ亜科、ヨシ属の短細胞珪酸体・機動細胞珪酸体、ススキ属、コムギ連、イチゴツナギ亜科の短細胞珪酸体などが検出され、ヨシ属が卓越している。

NR5001/5002：試料番号 He24-6～14

採取した試料のうち4試料でイネを検出し、特にHe24-6・8では3000～4200個／gと高い密度であった。このほかには、ヨシ属、ススキ属、タケ亜科などを検出した。

4区第1検出面：試料番号He30-10・11

採取した2試料でイネ属短細胞珪酸体と機動細胞珪酸体、短細胞列を検出した。このほかには、クマザサ属、タケ亜科、ヨシ属の短細胞珪酸体・機動細胞珪酸体、ススキ属、イチゴツナギ亜科などの短細胞珪酸体が検出され、タケ亜科が卓越している。

3区東壁：試料番号He26-8

採取した1試料からイネを検出したが、600個／gと密度は低かった。このほかには、ヨシ属、ススキ属型、タケ亜科などを検出した。

4区東壁：試料番号He30-6～9

採取した2試料(He30-6・7)でイネ属短細胞珪酸体(300個／g)と機動細胞珪酸体(900～1900個／g)、2試料(He30-8・9)でイネ属機動細胞珪酸体(100～200個／g)を検出した。このほかには、クマザサ属、タケ亜科、ヨシ属の短細胞珪酸体・機動細胞珪酸体、ススキ属、イチゴツナギ亜科などの短細胞珪酸体が検出されるが、He30-8・9の検出量は少ない。ヨシ属が卓越している。

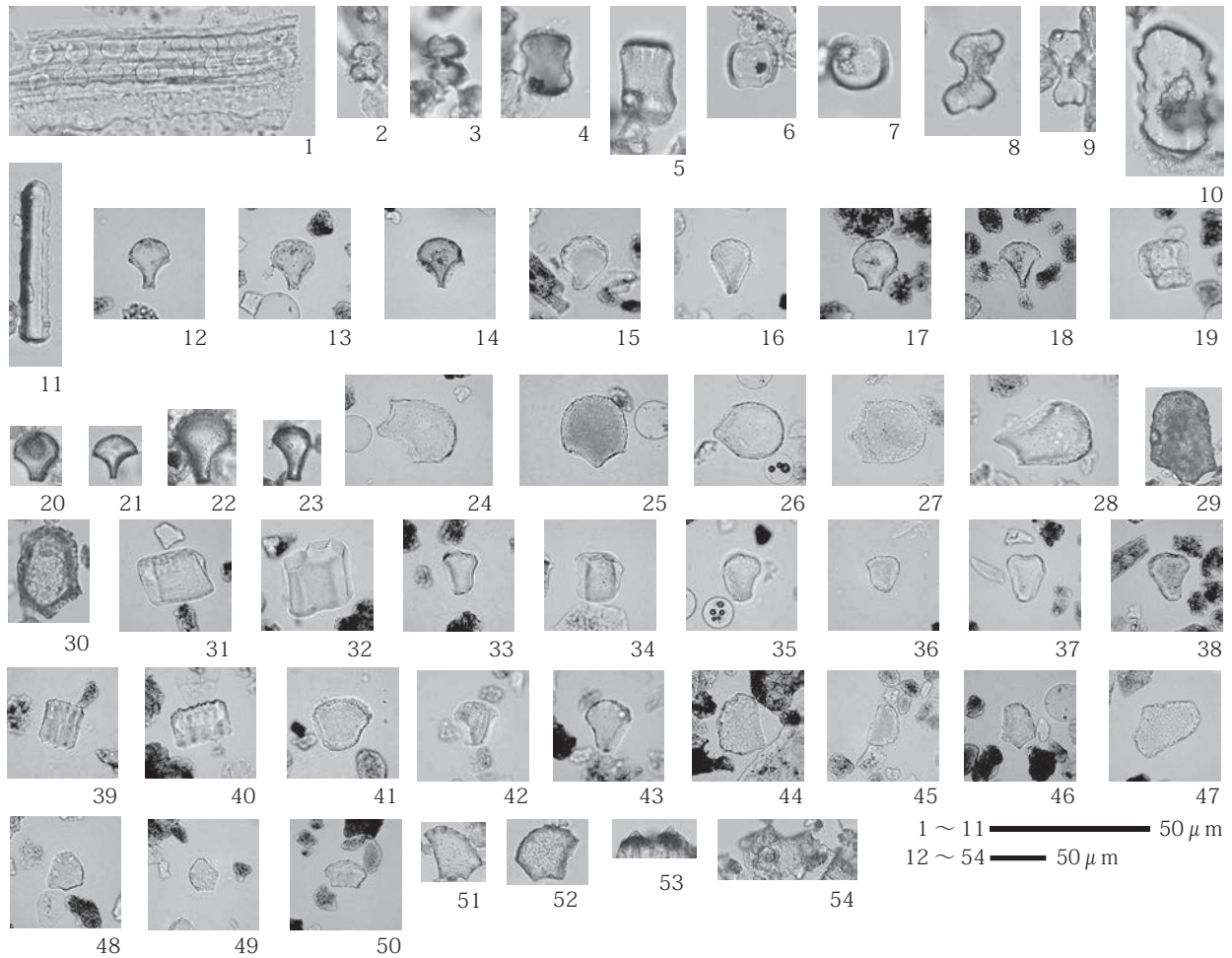
5区北壁(サンプルポイントB)：試料番号 He25-27～34

7試料でイネを検出し、特にHe25-27～31では4200～6000個／gと高い密度であった。このほかには、キビ族型、ヨシ属、ススキ属型、タケ亜科などを検出した。

以上、SD9(He24-1・2)、NR5001・5002(He24-6・8)、SM3001(He25-15～18)、SM3004(He27-1～3)、4区東壁(He30-6・7)、4区第1検出面(He-10・11)、5区北壁Ⅱb層～Ⅲb層(He25-27～31)で稲作の可能性を示す結果を示した。これらの層の形成時には、遺跡周辺において稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。また、ヨシ属が卓越する結果を示した時期は湿潤な環境であ

り、そこを利用して水田稲作が行われていた可能性も考えられる。

この他に栽培の可能性のあるものとして、コムギ連の短細胞珪酸体がSM3004埋土と4区第1検出面(He30-10)で検出されている。コムギ連には野生種なども含まれるため詳細な判断は困難であるが、これらが栽培種に由来するものであれば、ムギ類の栽培や利用も推定される。



- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. イネ属短細胞列 (試料NaHe27-3) 2. イネ属短細胞珪酸体 (試料NaHe30-7) 3. イネ属短細胞珪酸体 (試料NaHe30-11) 4. クマザサ属短細胞珪酸体 (試料NaHe27-2) 5. クマザサ属短細胞珪酸体 (試料NaHe30-7) 6. ヨシ属短細胞珪酸体 (試料NaHe27-3) 7. ヨシ属短細胞珪酸体 (試料NaHe30-7) 8. ススキ属短細胞珪酸体 (試料NaHe27-1) 9. ススキ属短細胞珪酸体 (試料NaHe30-11) 10. コムギ連短細胞珪酸体 (試料NaHe27-2) 11. イチゴツナギ亜科短細胞珪酸体 (試料NaHe30-9) 12. イネ (試料NaHe24-1) 13. イネ (試料NaHe24-4) 14. イネ (試料NaHe24-8) 15. イネ (試料NaHe25-29) 16. イネ (試料NaHe25-31) 17. イネ (試料NaHe26-2・4) 18. イネ (試料NaHe26-3) 19. イネ (試料NaHe26-5) 20. イネ属機動細胞珪酸体 (試料NaHe27-2) 21. イネ属機動細胞珪酸体 (試料NaHe27-3) 22. イネ属機動細胞珪酸体 (試料NaHe30-6) 23. イネ属機動細胞珪酸体 (試料NaHe30-11) 24. ヨシ属 (試料NaHe24-3) 25. ヨシ属 (試料NaHe24-13) 26. ヨシ属 (試料NaHe25-19) 27. ヨシ属 (試料NaHe25-33) | <ol style="list-style-type: none"> 28. ヨシ属 (試料NaHe26-7) 29. ヨシ属機動細胞珪酸体 (試料NaHe27-1) 30. ヨシ属機動細胞珪酸体 (試料NaHe30-6) 31. キビ族型 (試料NaHe24-1) 32. キビ族型 (試料NaHe25-29) 33. ススキ族型 (試料NaHe24-4) 34. ススキ族型 (試料NaHe24-8) 35. ススキ族型 (試料NaHe25-18) 36. ススキ族型 (試料NaHe25-52) 37. ススキ属型 (試料NaHe26-2・4) 38. ススキ属型 (試料NaHe26-5) 39. ネザサ節型 (試料NaHe24-1) 40. ネザサ節型 (試料NaHe26-2・4) 41. メダケ節型 (試料NaHe24-4) 42. メダケ節型 (試料NaHe25-17) 43. メダケ節型 (試料NaHe26-5) 44. チマキザサ節型 (試料NaHe24-13) 45. チマキザサ節型 (試料NaHe25-28) 46. チマキザサ節型 (試料NaHe25-29) 47. チマキザサ節型 (試料NaHe26-5) 48. ミヤコザサ節型 (試料NaHe24-4) 49. ミヤコザサ節型 (試料NaHe26-16) 50. ミヤコザサ節型 (試料NaHe26-2・4) 51. クマザサ属機動細胞珪酸体 (試料NaHe27-1) 52. クマザサ属機動細胞珪酸体 (試料NaHe30-7) 53. イネ属穎珪酸体 (試料NaHe27-2) 54. イネ属穎珪酸体 (試料NaHe30-11) |
|---|---|

第372図 プラント・オパール写真

6. リン酸カルシウム分析

SM5（弥生時代後期末）の周溝から二段口縁を持つ壺が出土した。この内部に遺体等が埋納されていた可能性を検討するために、古環境研究所に委託して実施した。分析の概略は以下のとおりである。詳細は、添付DVDに収録した分析結果報告書を参照いただきたい。

(1) 方法

分析は、藤根ほか（2008）の方法に従って行った。分析装置は、エネルギー分散型蛍光X線分析装置である（株）堀場製作所製分析顕微鏡XGT-5000Type IIを使用した。装置の仕様は、X線管が最大50kV、1.00mAのロジウム（Rh）ターゲット、X線ビーム径が100 μ mまたは10 μ m、検出器は高純度Si検出器（Xerophy）で、検出可能元素はナトリウム（Na）～ウラン（U）である。また、試料ステージを走査させながら測定することにより元素の二次元的な分布画像を得る、元素マッピング分析も可能である。

本分析では、まず元素マッピング分析を行い、元素の分布図を得た上で、リン（P）のマッピング図において輝度の高い箇所を選び、ポイント分析を行った。測定条件は、元素マッピング分析では50kV、1.00mA、ビーム径100 μ m、測定時間2000 s を5回走査、パルス処理時間P 3に、ポイント分析では50kV、0.10～0.40mA（自動設定）、ビーム径100 μ m、測定時間500 s、パルス処理時間P 4に設定して行った。定量計算は、装置付属ソフトによる標準試料を用いないファンダメンタル・パラメータ法で行っており、半定量値である。

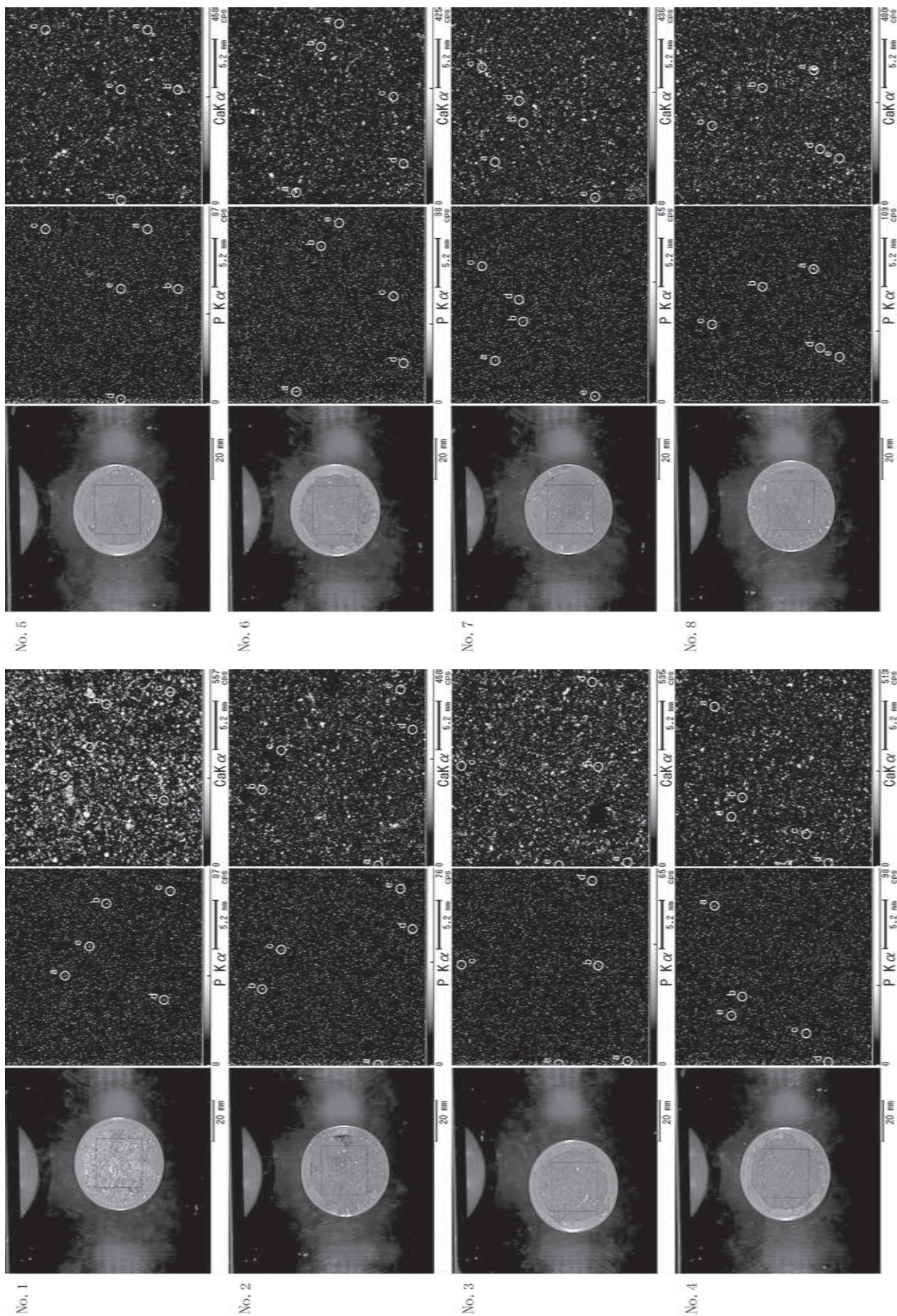
(2) 結果と考察

分析した試料8点の採取位置は以下のとおりである。

- He26-1（サンプルA）1点 遺構外
- He26-2（サンプルC）1点 SM5埋土3層
- He26-3（サンプルD）1点 SM5埋土4層
- He26-4（サンプルE）1点 SM5土器下（3層）
- He26-5（サンプルF③・F④・F⑦・F⑧）4点 SM5土器内土

分析の結果、He26-3（SM5埋土3層）、He26-5（SM5土器内土サンプルF⑦）からはリンが多く含まれる箇所は検出されなかったが、これ以外の試料では、リンが明らかに多く含まれる箇所が1ヶ所以上検出された（第373図、第48表）。これらはリンとともにカルシウムも多く検出されており、骨・歯に由来する可能性が高い。

しかし、遺構外土壌であるHe26-1からもリンとカルシウムが検出され、その量は遺構内と同等かそれ以上であること、リンマッピング図でのリンの多い箇所はいずれも微粒子状であることなどから、その来歴は慎重に検討する必要がある報告されており、土器内に骨・歯が存在していたとは断言できない。



第373図 プレス試料およびリンとカルシウムの元素マッピング図

第48表 半定量分析結果 (mass%)

No	ポイント	MgO	Al ₂ O ₃	SiO ₂	P ₂ O ₅	SO ₃	K ₂ O	CaO	TiO ₂	MnO ₂	Fe ₂ O ₃	Rb ₂ O	SrO	Y ₂ O ₃	ZrO ₂
A	a	0.99	19.11	40.83	12.95	0.16	0.25	13.45	0.73	0.49	10.96	0.00	0.06	0.01	0.02
	b	1.14	15.17	40.84	16.16	0.08	0.35	15.87	0.50	0.26	9.53	0.00	0.05	0.01	0.02
	c	0.71	22.14	60.82	0.05	0.25	1.02	3.31	0.57	0.22	10.80	0.01	0.07	0.01	0.02
	d	0.56	20.86	46.81	5.77	0.15	0.41	10.31	1.03	0.30	13.71	0.00	0.05	0.02	0.03
	e	0.01	20.60	54.21	5.07	0.21	0.57	8.20	0.62	0.20	10.21	0.01	0.06	0.01	0.02
C	a	0.74	16.60	72.09	0.12	0.20	1.19	3.38	0.45	0.09	5.07	0.01	0.06	0.00	0.01
	b	0.72	13.23	43.64	15.00	0.18	0.72	20.01	0.73	0.17	5.48	0.01	0.04	0.03	0.02
	c	0.81	18.36	65.81	0.04	0.28	1.24	1.93	0.80	0.33	10.32	0.01	0.03	0.01	0.03
	d	0.73	18.16	67.95	0.11	0.49	1.32	2.95	0.71	0.16	7.36	0.01	0.03	0.00	0.02
	e	0.78	16.93	68.68	0.14	0.09	3.56	0.78	0.79	0.12	8.06	0.02	0.02	0.00	0.02
D	a	0.78	15.69	68.57	0.06	0.26	0.95	1.47	1.53	0.27	10.37	0.00	0.03	0.01	0.03
	b	0.84	18.65	64.51	0.14	0.15	1.07	2.49	1.24	0.24	10.61	0.01	0.04	0.01	0.02
	c	0.80	18.80	65.78	0.02	0.16	1.33	1.76	1.00	0.26	10.04	0.01	0.03	0.01	0.02
	d	0.78	16.26	70.36	0.28	0.33	1.56	2.91	0.57	0.17	6.72	0.02	0.03	0.01	0.01
	e	0.83	13.92	71.07	0.15	0.12	2.76	2.22	0.66	0.17	8.01	0.01	0.05	0.01	0.04
E	a	0.35	20.73	63.71	0.33	0.25	1.36	2.13	1.15	0.14	9.78	0.03	0.02	0.01	0.01
	b	0.17	16.04	61.96	5.16	0.18	2.00	6.50	0.84	0.14	6.93	0.01	0.03	0.01	0.02
	c	1.63	18.48	66.56	0.03	0.20	1.28	2.96	1.71	0.11	6.96	0.01	0.05	0.00	0.02
	d	0.81	17.12	67.96	0.29	0.24	1.87	2.47	0.87	0.39	7.91	0.01	0.04	0.00	0.02
	e	0.10	19.71	65.78	0.24	0.24	1.28	1.85	0.65	0.22	9.83	0.02	0.05	0.01	0.02
F③	a	0.36	16.06	69.58	0.10	0.28	1.25	2.39	0.77	0.19	8.95	0.01	0.04	0.00	0.02
	b	0.66	14.60	58.77	4.23	0.36	1.14	9.04	1.66	0.17	9.31	0.01	0.03	0.01	0.02
	c	0.03	16.55	70.83	0.26	0.19	1.82	2.16	0.65	0.22	7.23	0.01	0.03	0.01	0.02
	d	0.00	17.18	71.39	0.00	0.09	2.74	1.81	0.55	0.15	6.00	0.01	0.06	0.00	0.02
	e	0.00	16.73	70.90	0.31	0.23	1.91	2.11	0.60	0.18	6.95	0.01	0.04	0.01	0.01
F④	a	0.82	17.49	63.53	5.34	0.17	2.49	4.23	0.77	0.12	4.93	0.01	0.06	0.01	0.03
	b	0.70	13.92	67.74	3.40	0.24	1.48	6.30	0.47	0.15	5.54	0.01	0.03	0.00	0.02
	c	0.94	15.28	69.24	0.00	0.20	1.81	2.11	0.61	0.61	9.13	0.01	0.03	0.00	0.02
	d	0.94	15.91	71.30	0.12	0.22	1.90	2.37	0.72	0.15	6.30	0.01	0.05	0.00	0.01
	e	1.03	14.90	70.91	0.01	0.20	1.24	1.96	0.64	0.50	8.54	0.01	0.03	0.01	0.01
F⑦	a	0.88	17.50	66.33	0.71	0.34	1.30	2.26	0.62	0.20	9.78	0.01	0.06	0.00	0.01
	b	1.43	16.50	69.52	0.26	0.23	1.77	2.00	0.76	0.22	7.22	0.01	0.04	0.01	0.03
	c	0.99	14.46	73.92	0.04	0.23	1.25	2.18	0.55	0.13	6.20	0.01	0.03	0.00	0.02
	d	0.98	14.12	72.68	0.14	0.20	1.51	2.34	0.68	0.17	7.13	0.01	0.02	0.01	0.02
	e	1.06	11.60	75.84	0.06	0.25	1.00	1.51	0.48	0.21	7.93	0.01	0.02	0.01	0.02
F⑧	a	4.93	10.36	48.75	7.22	0.15	0.42	17.53	0.42	0.35	9.81	0.00	0.03	0.01	0.01
	b	0.81	14.41	60.56	7.90	0.25	1.45	7.21	0.70	0.18	6.43	0.01	0.04	0.01	0.03
	c	0.71	17.65	69.37	0.01	0.29	1.14	3.56	0.62	0.14	6.46	0.01	0.05	0.00	0.02
	d	0.91	13.83	66.69	3.41	0.32	1.24	5.45	0.54	0.17	7.36	0.01	0.03	0.01	0.02
	e	0.89	16.70	67.97	0.02	0.22	2.07	2.20	0.65	0.29	8.95	0.01	0.02	0.00	0.02

参考文献

- 近藤鍊三, 2010, プラント・オパール図譜. 北海道大学出版会, 387p.
- 烏倉巳三郎 (1973) 日本植物の花粉形態. 大阪市立自然科学博物館収蔵目録第5集, 60p.
- 中村純 (1967) 花粉分析. 古今書院, p.82-102. 232p.
- 中村純 (1980) 日本産花粉の標徴. 大阪自然史博物館収蔵目録第13集, 91p.
- 藤根 久・佐々木由香・中村賢太郎 (2008) 蛍光X線装置を用いた元素マッピングによるリン・カルシウム分析. 日本文化財科学会第25回大会研究発表要旨集, 108-109.
- 藤原宏志 (1976) プラント・オパール分析法の基礎的研究 (1) —数種イネ科栽培植物の珪酸体標本と定量分析法—. 考古学と自然科学, 9, p.15-29.
- 三好教夫・藤木利之・木村裕子, 2011, 日本産花粉図鑑. 北海道大学出版会, 824p.
- Desikachary, T. V., 1987, Atlas of Diatoms. Marine Diatoms of the Indian Ocean. Madras science foundation, Madras, Printed at TT. Maps and Publications Private Limited, 328, G. S. T. Road, Chromepet, Madras- 600044. 1-13, Plates : 401-621.
- Horst Lange-Bertalot, 2000, ICONOGRAPHIA DIATOMOLOGICA : Annotated diatom micrographs. Witkowski, A.,
- Hustedt, F., 1930, Die Kieselalgen Deutschlands, Oesterreichs und der Schweiz. unter Berücksichtigung der ubrigen Lander Europas Sowie der angrenzenden Meeresgebiete.in Dr. Rabenhorsts Kryptogamen Flora von Deutschland, Oesterreichs und der Schweiz, 7, Leipzig, Part1, 920p.
- Hustedt, F., 1959, Die Kieselalgen Deutschlands, Oesterreichs und der Schweiz. unter Berücksichtigung der ubrigen Lander Europas Sowie der angrenzenden Meeresgebiete. in Dr.Rabenhorsts Kryptogamen Flora von Deutschland, Oesterreichs und der Schweiz, 7, Leipzig, Part2, 845p.
- Hustedt, F., 1961-1966, Die Kieselalgen Deutschlands, Oesterreichs und der Schweiz. unter Berücksichtigung der ubrigen Lander Europas Sowie der angrenzenden Meeres-gebiete. in Dr. Rabenhorsts Kryptogamen Flora von Deutschland, Oesterreichs und der Schweiz, 7, Leipzig, Part3, 816p.
- Krammer, K.and H. Lange-Bertalot, 1985, Naviculaceae. Bibliotheca Diatomologica, 9, 250p.
- K. Krammer・H. Lange-Bertalot (1986-1991) Bacillariophyceae・1-4.

第5章 総括

第1節 弥生時代～古墳時代の動向

今回の調査では、弥生時代後期から近世まで約2,000年間にわたる浅川扇状地の中のとくに桐原－吉田地区の集落変遷の様子が分かってきたが、この項では、弥生時代から古墳時代の集落の変遷について、周辺遺跡の状況を踏まえて概観し、調査成果の理解の一助としたい。

1. 弥生時代〔第374図〕

調査地内からは弥生時代後期中葉と後葉の2時期の集落跡と後期終末の墓跡が確認されている。なお、遺構は確認されなかったものの、中期前葉から中葉の土器が5区（吉田田町遺跡）の自然流路内（NR5001・5002）から出土しており、流路の上流となる調査地北西側に未知の集落が存在する可能性も考えられる。

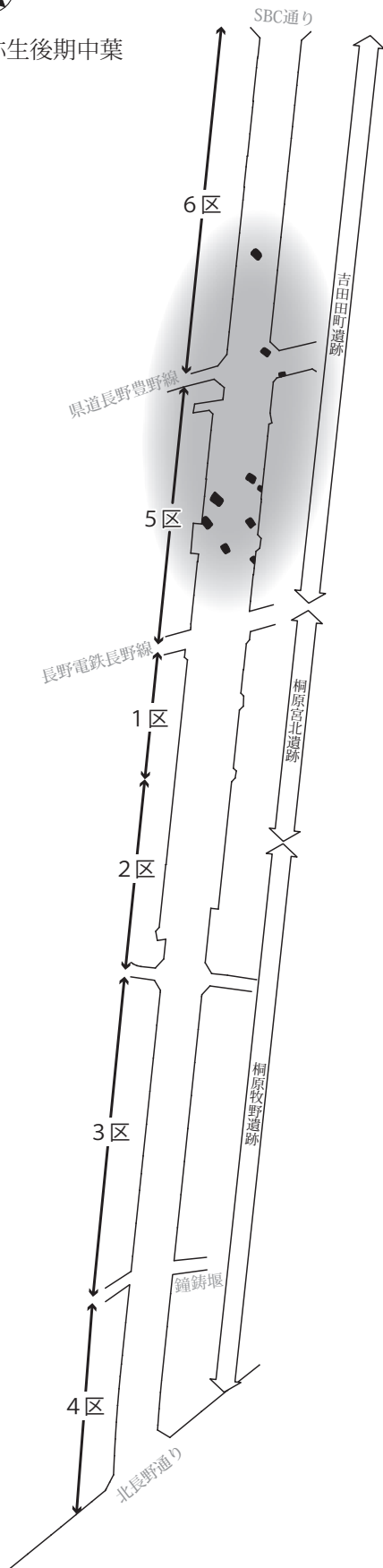
確認された後期中葉の集落跡は、北側地区の5・6区（吉田田町遺跡）となり、竪穴建物跡が10軒確認されている。また、確認された竪穴建物跡の中には調査区境に掛かるものもあり、集落は調査区外まで広がると考えられる。本遺跡の北西約500mには「吉田式土器」の標式遺跡である吉田高校グラウンド遺跡があり、同じ集落である可能性も考えられる。本集落跡の詳細な時期は、出土遺物から、おおむね本村南沖遺跡（県埋蔵文化財センター2017）で細分された吉田式期の新相（6段階）に相当すると考えられる。

後期後葉の集落跡は南側地区の2・3区（桐原牧野遺跡）を中心に広がり、竪穴建物跡が15軒確認されている。また、確認された竪穴建物跡の中には調査区境に掛かるものもあり、集落は調査区外まで広がると考えられ、本遺跡の西側に位置する、市教委が調査を行った桐原宮北遺跡（長野市教委2012）で確認された当該期の住居跡なども、同じ集落であると考えられる。遺跡群内の当該期の主な遺跡としては、扇中央部に檀田遺跡、扇中央部より西側に本村東沖遺跡・長野女子高校校庭遺跡などがある。本遺跡は扇状地の中央部に位置し、前述の遺跡と並び当概期中核的な遺跡となろう。確認された竪穴建物跡の中には、その後の古墳時代や古代の遺構と重複し、詳細な時期がはっきりしないものもあるが、本集落跡は、出土土器や建物跡の形状等から、古相と新相の2時期に分かれると考えられる。

後期終末の墓跡は、後期後葉の集落跡の北側にあたる1区（桐原宮北遺跡）で確認されている。後期後葉の新相とした集落と同時期かその直後に造営された墓跡と考えられる。墓跡は北西側が長野電鉄長野線に掛かり全体の形状は不明であるが、周溝を含めた一辺の長さが18m以上になる大規模な方形周溝墓と考えられ、この地区の首長墓である可能性が考えられる。主体部は確認されていないが、周溝からは多量の土器が出土している。周溝から出土した土器は、多くが周溝底よりは高い位置から礫などと共に出土していて、墳丘上で葬送時に使用された土器が、周溝が埋没する過程で周溝内に転落あるいは廃棄されたと考えられる。また、出土した土器は、口縁が二重となる珍しい形態の壺といった土器も含まれるが、そのほとんどは在地の土器である。しかし、その中に北陸地域の形態を取り入れながらも、箱清水期の器面調整技法を踏襲した土器がみつまっている。このことは、他地域との交流を行いながらも在地の伝統を尊重する概期の当時の人々の様子が窺える。墓跡の所属する時期は、弥生時代から古墳時代へと時代が変わっていく時期にあたる考えられる、土器の形態にも変化が認められるが、周溝墓上で執り行われた葬送の儀

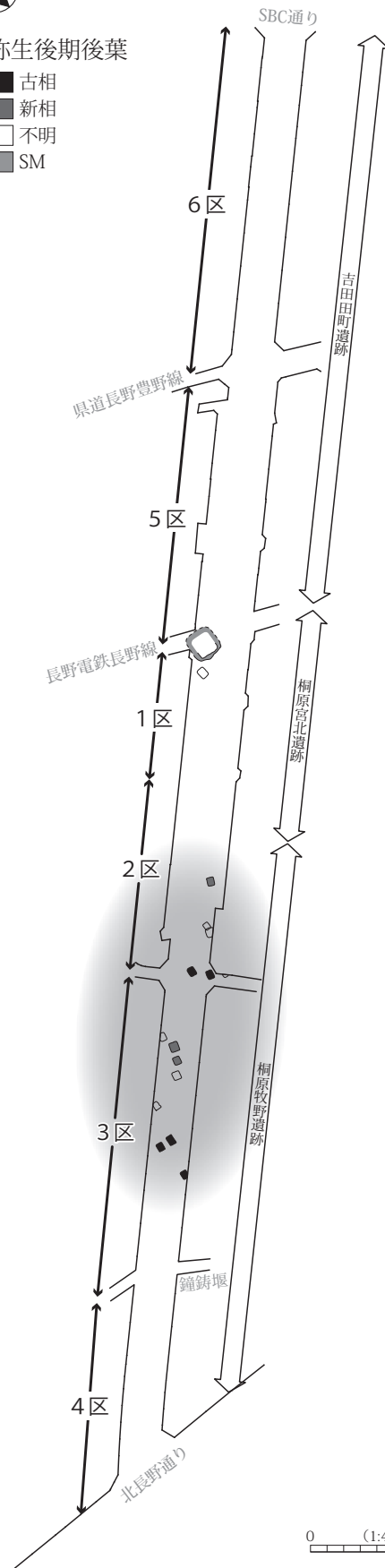


弥生後期中葉



弥生後期後葉

- 古相
- 新相
- 不明
- SM



第374図 遺構変遷図 弥生時代 (1:4,000)

礼は弥生時代の伝統を色濃く残していたと考えられる。

2. 古墳時代〔第375図〕

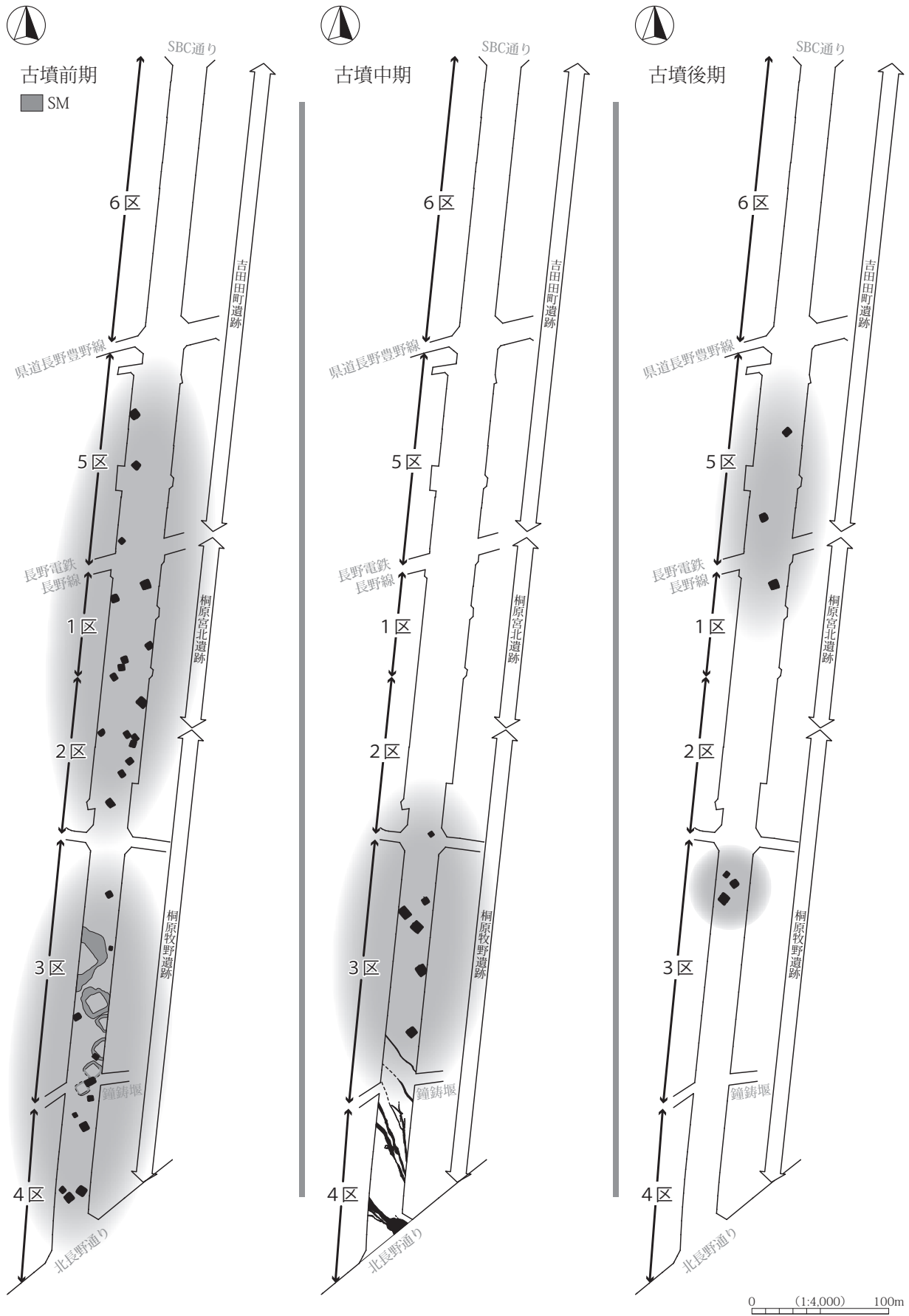
調査地からは古墳時代前期から後期の集落跡と前期の墓跡が確認されている。

確認された前期の集落跡は、北端の6区を除く1～5区（桐原宮北遺跡・桐原牧野遺跡・吉田田町遺跡）のすべての地区に広がり、竪穴建物跡が28軒確認されている。また、確認された竪穴建物跡の中には調査区境に掛かるものもあり、集落は調査区外まで広がると考えられ、本遺跡の西側に位置する、市教委が調査を行った桐原牧野遺跡（長野市教委2016a）で確認された当該期の竪穴建物跡なども、同じ集落であると考えられる。これまで、本遺跡群内から前期の大きな集落はみつかっておらず、本遺跡が中核的な集落になると考えられる。竪穴建物跡は、古代の集落跡と重複しており、詳細な時期がはっきりしない竪穴建物跡もあるが、その分布状況や墓跡との重複関係から、北側（1・2・5区）と南側（3・4区）2か所・2時期に分かれる。当初南側の地区にあった集落が北側に移動し、その南側に墓域が造成されたと考えられる。集落内からは、東海地域や北陸地域の影響を受けた土器が多量に出土しており、様々な地域との交流がうかがえる。

中期の集落跡としては2・3区（桐原牧野遺跡）から竪穴建物跡が6軒確認されている。前期の集落跡に比べると半分以下の規模となり、集落域の南側には北西から南東方向に流れる土砂を埋土に持つ自然流路が複数確認されていて、浅川やその支流が氾濫するような大規模な自然災害が起こったとも考えられる。また、竪穴建物跡が前期の墓域に重複しているので、中期の集落が営まれる頃には墓域としての機能は失われていたのだろう。本遺跡の北東約1.4kmには、当該期中核的な集落となる本村東沖遺跡（長野市教委1993）がある。本村東沖遺跡では剣形品を中心に研磨段階のみが行われていたとされる石製模造品製作工房址が確認されており、本遺跡からも、石製模造品製作工房址と考えられる竪穴建物跡（SB3062）がみついているので、本遺跡と本村東沖遺跡は、密接な関係を持っていたと推測される。なお、本村東沖遺跡の調査成果からは、石製模造品の製作には、ある種分業が存在していたという見解が示されており（櫻井1993）、本遺跡の石製模造品製作工房址は、本村東沖遺跡の工房址では行われていない、白玉の製作や穿孔の工程を担っていたのかもしれない。

後期の集落跡は北側の1・5区（桐原宮北遺跡・吉田田町遺跡）から竪穴建物跡3軒、南側の3区（桐原牧野遺跡）から竪穴建物跡3軒が確認されている。調査区内では竪穴建物跡が6軒散見される程度となってしまうので、集落の中心が調査地外へ移動した可能性が考えられる。とくに、北側の桐原宮北遺跡では、西側（長野市教委2012）と東側（長野市教委2016b）をそれぞれ長野市教委が調査し当該期の竪穴建物跡が検出されているので、どちらかに当該期の集落の中心が動いたのかもしれない。

前期の墓跡としては、南側の3・4区（桐原牧野遺跡）から墳墓が6基確認されている。いずれの墳墓も主体部や墳丘は残存せず、周溝のみが確認されている。6基は南北に並んで確認されており、北側に位置する墳墓が最大となり、南にいくほど小規模となる。弥生時代の周溝墓のように周溝を共有することはなく近接しているが、それぞれは独立している。墓跡は6基とも平面形が方形となると考えられるが、最北の墳墓は他の墳墓と比較して規模がかなり大きいことから、前方後方形の可能性も考えられる。6基の墳墓のうち中央の墳墓（SM3004）の周溝以外は、土器の出土が少なく、築造時期の違いは、はっきりしない。SM3004の周溝底からは高坏や器台、小形の壺や鉢がまとまって出土していて、周溝内で葬送の儀礼が執り行われたと考えられる。また、儀礼に使用された土器には、西濃地域の影響を受けた高坏や、装飾器台が使われていて、被葬者の性格を考える上で重要な資料となった。



第375図 遺構変遷図 古墳時代 (1:4,000)

第2節 古代の遺物の様相

今回の調査では古代（8～9世紀）の集落がみつき、土師器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器、金属器などの遺物が多く出土している。本節では出土した古代遺物のなかで、特筆すべきものについて概観する。

1. 和同開珎

9世紀前半の竪穴建物跡（SB5023）埋土から「和同開珎」が出土した（第240図26、巻頭5 PL116）。出土当初は錆に覆われ銭文が判読できない状態だったが、X線透過撮影によって「和同開珎」であることが判明した。保存処理後には、肉眼でも確認できるようになった。長野市内では初めての出土である。初鑄708年の和同開珎は、全国に広がった初めての貨幣である。県内では本遺跡を含めて南信で6点以上、中信で3点、東信で11点、北信で3点が確認できる。特に飯田市・塩尻市・上田市・佐久市などの東山道沿いの遺跡やその周辺からの出土が多いとされる（西山2007）。本遺跡での出土は、調査地周辺の官道や官衙との関係を考える上で重要であろう。

2. 巡方

9世紀前半の竪穴建物跡（SB16）の埋土から、銅製の巡方が出土している（第162図6、PL115）。帯金具の巡方は、古代の役人が朝服で使用する腰帯（銚帯）の飾り（銚）で、半円形の丸軻も同じ用途で使用する。奈良時代の養老律令では、銚帯の飾りは五位以上金銀装、六位以下は烏油（黒漆塗銅金具）と定められるが、各地で石製の巡方、丸軻も多く出土している（奈文研2002）。県内では、官衙・郡衙推定地、東山道・古東山道通過推定地などからの出土が多い傾向にあり、出土遺構は竪穴建物跡からが大半である（直井2002）。長野市内の遺跡では、南条遺跡、高野遺跡、榎田遺跡、篠ノ井遺跡群などから金属製の巡方、丸軻が出土しており、石製も多い。1遺跡から1点出土している例が多いが、南宮遺跡では石製品で10点出土している。

3. 筆立て付円面硯

県内初の出土で、9世紀後半の竪穴建物跡（SB17）から出土した（第166図25、PL81）。筆立ての一部が残る硯部の破片で、約50m離れた溝跡（SD9）から出土した破片が接合した。硯面外面に筆立てが付され、平面形は円形になる。中国では唐代になって出現し、国内では7世紀第3四半期と考えられる出土品が最古である。中国では筆立てが2個並列する円面硯が多いが、日本や韓国では1個が多い。出土例は少なく、奈良県三河遺跡や石川県額見町遺跡など30例程が報告されている。大きさや珍しい形態から、ある程度の地位に当たる役人の所持品と考えられる（吉田1985 奈文研2002 田中2015）。長野県では、資料の再検討で筆立て付の硯と考えられる破片が報告されている。（鳥羽2019）

本遺跡出土品は、接合する破片の出土地点が離れていること、破片に摩耗は認められないことなどから何らかの作為の可能性が考えられ、廃棄の仕方を考える上でも貴重な資料といえよう。なお、同一個体と考えられる破片が2点、南西約100m離れた桐原宮北遺跡の不明遺構SX01から出土している（長野市教育委員会2012）。

4. 墨書土器

今回の調査区で出土した墨書土器は、8世紀後半～9世紀の範囲に収まる。出土遺構は、集中することなく調査区全体的に分布する。須恵器坏に多く、底部や体部の違いはあるがすべて外面に記されている。

記された文字では「貝」がSB3で1点（第155図2、PL77）、SB29で4点（第178図7・12・13・15、PL83）、SB102で1点（第205図1、PL89）と多い。しかし、文字として判読できないものもあり、呪術的な意味をもつ可能性がある。また、魔除けの目的と考えられる「猪目」を記した土器も2点（第192図4、PL86、第260図1、PL100）確認しており、これも呪術的要素を持つ遺物といえよう。「猪目」の土器は2010年に長野市教育委員会が調査した桐原宮北遺跡の不明遺構（SX01）で5点出土している（伊藤2020）。

なお、猪目の透かしが入った銅製品（第315図1、PL118）が、近世以降と考えられるSK3494から出土していることを付け加えておく。

以上、調査地からは身分の高い役人の持ち物とされている筆立て付円面硯や、装束の一つである銅製の巡方、墨書土器など、一般的な集落ではあまり出土しない遺物がみつまっている。隣接する2010年長野市教育委員会調査した桐原宮北遺跡の不明遺構（SX01）では、先述した筆立て付円面硯、猪目土器のほかに双耳環や稜椀、香炉といった日常使用しないと考えられる遺物が出土している。官衙などの特別な建物跡の存在は確認できなかったが、集落内にこれらの道具を所有する人物の居住地や、周辺に官衙が存在していた可能性があるだろう。

第49表 長野県内和同開珎出土遺跡

	地域	市町村名	遺跡名	点数
1	南信	飯田市	恒川遺跡	1
2	南信	伊那市	下手良中原遺跡	1
3	南信	辰野町	ミサモリ古墳	1+
4	南信	茅野市	乞食塚古墳	4
5	南信	下諏訪町	一の釜遺跡	1
6	中信	塩尻市	吉田若宮遺跡	1
7	中信	塩尻市	洗馬駅跡	1
8	中信	安曇野市	宮本の神社東側	1
9	東信	佐久市	中道遺跡	1
10	東信	佐久市	芝宮遺跡群	1
11	東信	佐久市	聖原遺跡	1
12	東信	佐久市	前田遺跡	1
13	東信	佐久市	若宮遺跡	1
14	東信	佐久市	根々井居屋敷遺跡	1
15	東信	小諸市	中原遺跡	1
16	東信	小諸市	郷土遺跡	1
17	東信	東御市	桜畑遺跡	1
18	東信	上田市	信濃国分寺跡	1
19	東信	上田市	信濃国分寺周辺遺跡	1
20	東信	上田市	殿田遺跡	1
21	北信	千曲市	諏訪南沖遺跡	1
22	北信	千曲市	生仁遺跡	1
23	北信	長野市	浅川扇状地遺跡群 吉田田町遺跡	1

第50表 長野市内帯金具出土遺跡

遺跡名	金属製				石製			備考
	巡方	丸軋	鉸具	鈍尾	巡方	丸軋	鈍尾	
浅川扇状地遺跡群								
徳間中南遺跡	1							
吉田古屋敷遺跡		1						
牟礼バイパスD地点		1						
桐原宮北遺跡	1							
小島・柳原遺跡群								
東バイパス地点						1		
裾花川扇状地遺跡群								
芹田東沖遺跡			1					
安茂里遺跡群								
大門遺跡					1	2		
長野遺跡群								
西町遺跡							1	象牙製
綿内遺跡群								
高野遺跡	1							
南宮遺跡			2		7	3	1	
南宮遺跡（市道）					1			
南条遺跡								
榎田遺跡	1	1						
松原遺跡					1	1		
屋地遺跡		2						
篠ノ井遺跡群（5）	1			2		1		
篠ノ井遺跡群（6）	1	1						
岩崎遺跡	1							
合計	8	6	3	2	10	8	2	

第3節 地域史研究の中で見る発掘調査の成果

長野市浅川扇状地遺跡群は、弥生から古代・中世にかけての長野盆地最大級の集落遺跡である。同遺跡群は、多くの遺跡から構成されており、総面積は14,574,386㎡をはかる（長野市行政地図情報による）。県埋蔵文化財センターでは、同遺跡群の吉田町遺跡、桐原宮北遺跡、桐原牧野遺跡及び桐原要害の中を2011年～2020年の10年間にわたって24,695㎡の発掘調査を行った。調査区は同遺跡群全体からみれば面積比で0.17%を占める。今回の調査区内では、遺物は縄文時代にはじまるが、本調査区内で定住的な集落が形成されはじめた弥生時代から近代まで、約2,000年間、遺構の総数堅穴建物跡300軒、掘立柱建物跡5基、溝跡105基、墓14基、土坑1,335基、土器石器を中心とした出土遺物数はコンテナ562箱¹に達する。

浅川扇状地遺跡群の膨大な遺構と遺物の個別具体的な成果については、それぞれ発掘調査担当者がまとめているので、それらを参照されたい。こうした個別具体的な成果とは別に、各時代のトピックや課題をここに紹介し、今後の地域史研究の一助としたい。

移動から定住へ

歴史地理的環境にも触れられているように、長野盆地形成後、当地にも人類の生活の痕跡は見られる。本調査地点においては、堅穴建物跡のように定住した証拠である遺構の存在は明らかでないが、縄文時代の遺物が散見されることは、注目に値する。遺構に伴っておらず、わずか1点であるが、玦状耳飾片が出土している。平面形は金環状で、その切り口は平坦となり、糸切技法による切断と思われるので前期以前にさかのぼる可能性がある。周辺から早期末の土器が出土していることから、約7,000年前は、本調査区内周辺に人類が進出していたことをうかがわせる。同じく浅川扇状地上に立地する松ノ木田遺跡では前期後葉の30点あまりの玦状耳飾など石製装身具が出土している（長野市教委1996）。こうした石製装身具は、拠点集落のある程度限られた階層の成員の持ち物であり、人間集団が進出していただけでなく、当該期に拠点的な集落が当該地域に形成されていったことも想定される。

集落の形成と展開

弥生時代後期以前、集落自体は本調査区内には少なくとも展開していない。本村南沖遺跡（県立大学建設用地）の発掘調査報告書では、中期後半から後期にかけての浅川扇状地内の弥生集落群の分析が行われている。同遺跡の弥生時代遺構はほぼ吉田式期に限定されている。浅川扇状地でみると、中期後葉の栗林式期は、扇端部に、後期初頭の吉田式期に扇央部、箱清水式期になると扇頂部へも展開する（長野県埋文2017）。

こうした展開は長野盆地全体の傾向とも対応している。著名な遺跡や標式遺跡は、貴重な資料や土器型式の基準資料が出土しているというだけで、必ずしも当該型式の文化的中心とは限らず、全体を推測するには恣意的であるが、中期の標式である栗林遺跡をはじめ中期後半の中野市柳沢遺跡、同南大原遺跡及び松原遺跡といった拠点的な集落は千曲川沿いに展開する（川崎2005）。一方、後期になると、本遺跡をはじめ、吉田式の基準資料が出土している吉田高校グランド遺跡は、本遺跡同様に、浅川扇状地の中央に展開し、その吉田式に後続する箱清水式の標式である箱清水遺跡は、裾花扇状地脇の山際に展開する。

中期後半に千曲川に沿った地点に拠点的な集落が展開した後に、徐々に扇状地の中央や山際にまで集落

1 発掘届総数、整理完了後の総数は約800箱。

が展開する。千曲川沿岸では、中期後半から水田が営まれはじめ、後期にはいくつかの遺跡で水路を伴った形で確認されているが、浅川扇状地の中心部には、古墳時代まで水田が展開したことを裏付ける遺構・遺物は認められていない²。しかし、古墳時代前期ほどではないが、弥生時代後期を中心とする本遺跡から、北陸との関係をうかがわせる土器や口縁が2重となる壺（威信財的祭祀具か）を見ると、今後これらを支えた生産域が現調査地点より南側の低地部分で発見される可能性はあろう。

近畿地方内陸部で前方後円墳が作られ始めた古墳時代前期の土器の様相からは北陸や東海地域からの影響が看取でき、汎列島の弥生時代から古墳時代にかけての変革は当地にも及んでは来ていたのだろう。しかし、当地では、弥生時代末から方形周溝墓が造営されはじめ、そのまま古墳時代前期にも、そのままの墓制が続いている。弥生時代以来の伝統が、そのまま古墳時代前期にも継続していた。汎日本列島的には、古墳時代中期に朝鮮半島経由で、カマド、須恵器、横穴式石室、ウマ文化といった所謂大陸起源の文化が波及し、長野盆地も例外ではないが、集落の展開を見たときには大きな断絶はない。

扇状地の開発と断絶

8世紀になると、本遺跡をはじめ長野盆地にも一般集落には本来的に存在しない遺物、律令制のもとで整備された官衙や寺院に関連すると思われる遺物（ここでは「官衙関連遺物」としておく）が一定程度出土している（柴田2019）。本遺跡出土でも和同開珎、帯金具（巡方）、筆立て付円面硯などが出土する。しかし、調査区内には、官衙そのものあるいは関連施設遺構は検出されていない。今回の調査区周辺に官衙や寺院があった可能性もあるが、こうした遺物の出土は、8世紀に当地の集落の拡充やその周辺の開発に、官衙と関わりが深い集団が関与したことを示している。

長野盆地の集落遺跡は、東日本全体の傾向とも思われるが、8世紀と9世紀つまり奈良時代と平安時代前期の間に断絶はない。しかし、本遺跡でも9世紀までは調査区内だけでも一時期30軒程度のかんりの規模の集落が営まれていたが、10世紀以降になると竪穴建物群は確認されていない。これについて、本報告者は、集落が別の場所に移動したと推定する。

ここで、注目されるのが、従来比定地不明とされてきた公領「吉野郷」であり、そこに着目するとこの謎の解明の一助となると考え紹介する。吉野郷は古野の誤記であり、その比定地には中越字古野と柳原地区の布野（古野）の二説がある（井原2000）。偶然であるが、両者の範囲内を埋文センターで調査している。前者の古野は、今回調査した北国街道以南の調査区が該当し、後者の布野については、2016年～2018年にかけて小島・柳原遺跡群の調査で縦断している（長野県埋文2020）。

両者の集落としての消長を比較すると、本調査区（古野）の集落跡は、9世紀末までがピークで、10世紀に下る遺構はほとんどない、逆に小島・柳原遺跡群（布野）の集落跡は、10世紀以降しかない。

両者が「吉野郷」の比定地であるという以上の、両者を結びつけるものがない³が、前者が廃絶して、後者へ移動したとすれば、吉野（古野）郷の比定地としてどちらかが正しいというのではなく、年代差であり、スムーズに説明できる。

犀川及び千曲川合流地点より上流の長野盆地南部については、「仁和地震」（887年）で八ヶ岳山体が崩壊し千曲川をせき止め形成された天然ダムが、翌年に決壊して引き起こされたと推定される「仁和洪水」（888年）によって、古代集落遺跡や水田域が洪水砂に覆われるような被害を受けている。こうした状況に

2 古墳時代中期以前の水田跡が北陸新幹線地点で確認されている（長野県埋文センター1998・河西2000）。

3 ちなみに、小島・柳原遺跡群は、10世紀（平安時代中期）以降に開発された一般集落遺跡でありながら、帯飾り（丸柄）や8世紀（奈良時代）末頃に制作されたと考えられる塔鏡形合子といった珍奇な金属製品などの官衙あるいは寺院関連遺物が出土しており、本調査区の古代集落と共通する性格を有している。

着目し、9世紀末までにピークがある篠ノ井遺跡群と9世紀末以降にピークがある南宮遺跡については、前者から後者へ集団の移動・移住があったと推測する説もある（伝田2017）。

本調査区南端でも洪水に由来すると思われる中近世以前の可能性が高い砂が鐘鑄堰南側から検出されているが、千曲川本流からは約4.5kmと離れているだけでなく、年代が特定できない。現段階では、本遺跡群の古代集落の消長を仁和洪水にだけ求めるのは難しい。

なお、本遺跡（調査区）南端を東西に横断している鐘鑄堰は、『一遍上人絵伝』だけでなく、鐘鑄堰から分かれる中沢川が平安時代末に開削されたことがわかっているため、平安時代末まで遡るといえる（福島2000）。調査区南端の現鐘鑄堰より南側の中世以前の土層から、前述の洪水砂に覆われたウシの足あとが多量に検出されている（長野県埋文2019）。ウシが無意味に泥層を行ったり来たりしているとは考えにくい。本調査区内では、古代の水田遺構自体は検出されていないが、鐘鑄堰周辺で水田開発が試みられていたことを示している。ただし、本遺跡では、水田遺構自体は全く検出されておらず、花粉分析の結果、古墳時代から平安時代にかけて、イネだけでなく、ソバが通時代的（古墳時代中期と中世）に一定量検出されている。明治初年でも、古野村は畑作優勢地域であった（長野県1985）ので、当地も前近代において、大規模な水田開発が達成されることはなかったと考えられる。

村から町へ

桐原要害（高野氏居館跡）西辺に比定される一辺120m程度と想定される幅3m、深さ1mの堀跡SD1が検出されている。こうした規模の居館は長野盆地では最大級である（市川2001）。今回の調査では、出土遺物（内耳鍋など）から埋没しはじめたのが15世紀前半（室町時代）と想定されているが、隣接する長野市の調査で、東濃系山茶碗の卸皿や珠洲系の須恵質片口鉢といった13世紀後半に遡る遺物が出土している（長野市埋文2016）。また、桐原要害（2区）に隣接する1区と5区で中近世の墓が検出されている。副葬品が少なく、考古資料から年代をうかがわせる資料は乏しいが、骨自体のAMS炭素14年代測定で、鎌倉時代から江戸時代の年代に収まることがわかっている。中でも、墓SM5003は、長方形の伸展葬で、A.D.1030～1260年（平安時代末から鎌倉時代）という限定された年代が得られた。こうした中近世墓のうち、直葬の長方形土坑墓（SM4、SM5001、SM5003）は木棺墓と想定され、鹿角製品（SM5001）や小刀（SM5002）を副葬している墓もある。これらは、一般民衆というよりは開発領主に近い階層のものと考えたい。

以上のことから、桐原要害自体は南北朝期から室町時代にかけての争乱期に機能していたものかもしれないが、それ以前の鎌倉時代には在地領主によって開発が着手されていたのだろう。

なお、中世に開発を担った集団が、古代に別の地域に移動した集団と関連があるかどうかについては、直接物語る資料はないが、古代（奈良時代から平安時代初頭）の墨書土器が、のちの桐原要害範囲内からは「貝」、現在桐原牧神社の敷地内と周辺からは「△」（猪目）が集中して出土している（長野市埋文2012・伊藤2020）。墨書土器は、古代の集団の表象あるいは吉祥や祭祀とかかわるだけでなく、中近世の土地利用や性格とも関連していく事例が知られている（川崎2021）。当地の古代の土地の性格を中近世の人びとが踏襲しているとするれば、仮に、集落としては断絶したが、集団としての系統はつながっていると考えたい。

また、古代から中世にかけての地域史研究の課題として、『吾妻鏡』文治2（1186）年3月12日条に見られる信濃28牧の一つ、「吉田牧」を桐原地区に比定する問題がある（長野市誌1997・長澤ほか2019）。調査区内には牧の存在をうかがわせる遺構・遺物は検出されていないが、古墳時代から中世にかけて32点のウマの骨が検出されている。ヒトを除いた動物骨では最多出土であり、2位のウシ（7点）を凌駕してい

る。古代末以降建物跡群は検出されていないだけでなく、さらに、花粉分析でもソバが検出されていることから、一面水田であったような風景を復元することは難しい。発掘成果から積極的に肯定はできないが、今後とも「桐原牧」の存否は検討すべきだろう。

近世以前から吉田は交通の拠点であり、天正9年(1581)の『信濃国道者之御祓くばり日記』には「吉田の町」との記述がみられる。また、慶長年間(17世紀初頭)には、北国街道が現在の位置に定められたという(長野市誌1997・長澤ほか2019)。本調査でも、北国街道などの通り沿いに、近世以降の遺構や遺物の集中が見られる。中世末から通り沿いに往来や物流が活発化していたことを反映していると考えられる。

引用・参考文献

第1節

- 櫻井秀雄 1993「5 本村東沖遺跡出土の祭祀遺物」『本村東沖遺跡』長野市の埋蔵文化財第50集
長野県埋蔵文化財センター 2017『浅川扇状地遺跡群 本村南沖遺跡』長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書113
長野市教育委員会 1993『本村東沖遺跡』長野市の埋蔵文化財第50集
長野市教育委員会 2012『桐原宮北遺跡』長野市の埋蔵文化財第130集
長野市教育委員会 2016 a『桐原牧野遺跡』長野市の埋蔵文化財第143集
長野市教育委員会 2016 b『桐原牧野遺跡(2)・桐原要害(高野氏館跡)』長野市の埋蔵文化財第145集

第2節

- 伊藤 愛 2020「(2) 浅川扇状地遺跡群桐原地区出土の猪目墨書土器について」『長野県埋蔵文化財センター年報』36
小松市教育委員会 2007『額見町遺跡Ⅱ』
佐久市教育委員会 2017『周防端遺跡群 南近津Ⅲ 若宮遺跡Ⅳ 宮の前遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』、佐久市埋蔵文化財調査報告書第240集
佐久市教育委員会 2020『根々井居屋敷遺跡Ⅰ』佐久市埋蔵文化財調査報告書第267集
田中広明 2015「3 上野国府域出土の陶硯について」『推定上野国府-平成25年度調査報告-』上野国府等範囲内容確認調査報告書Ⅲ 前橋市教育委員会
鳥羽英継 2019「古代の役所-信濃最初期の役所が屋代に-」『ちょうま』40 更埴郷土を知る会
直井雅尚 2002「長野県・山梨県・岐阜県の銚帯」『銚帯をめぐる諸問題』奈良文化財研究所
長野県埋蔵文化財センター 2012「浅川扇状地遺跡群 筆立て付円面硯について」報道公開資料
長野市教育委員会 2012『浅川扇状地遺跡群 桐原宮北遺跡』
奈良文化財研究所 2002『銚帯をめぐる諸問題』
奈良文化財研究所 2002『古代の陶硯をめぐる諸問題』
西山克己 2007「中部地域(山梨県・岐阜県・長野県)出の和同開珎」『和同開珎をめぐる諸問題(一)』奈良文化財研究所
吉田恵二 1985「日本古代陶硯の特質と系譜」『國學院大學考古学資料館紀要』第1輯

第3節

- 市川隆之 2001「長野市内の居館跡形態についての予察」『市誌研究ながの』8、長野市誌編纂委員会
井原今朝男 2000「北信濃の公領と地頭」『長野市誌第二巻歴史編原始・古代・中世』
伊藤 愛 2020「浅川扇状地遺跡群桐原地区出土の猪目墨書土器について」『年報36 2019年度』長野県埋蔵文化財センター
河西克造 2000「善光寺平の水田遺跡」『川田条里遺跡』長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書47
川崎 保 2005「遺跡から見た古代・中世の千曲川の水運」『信濃』57-12
柴田洋孝 2019「古代信濃国水内郡における寺院と周辺遺跡からみる土地利用状況」『国士館考古』7
伝田伊史 2017『古代信濃の地域社会構造』同成社

- 長澤要ほか 2019『桐原区誌』長野市桐原区
- 長野県 1985『長野県町村誌』郷土出版社
- 長野市教育委員会 1996『松ノ木田遺跡』長野市の埋蔵文化財77
- 長野市誌編さん委員会 1997「吉田」『長野市誌第八卷旧市町村史編旧上水内郡旧上高井郡』
- 長野市埋蔵文化財センター 2012『桐原宮北遺跡』長野市の埋蔵文化財130
- 長野市埋蔵文化財センター 2016『浅川扇状地遺跡群 桐原牧野遺跡(2)・桐原要害(高野氏館跡)』長野市の埋蔵文化財145
- 長野県埋蔵文化財センター 1998『浅川扇状地遺跡群・三才遺跡』(北陸新幹線)長野県埋蔵文化財センター調査報告書34
- 長野県埋蔵文化財センター 2017『浅川扇状地遺跡群 本村南沖遺跡』長野県埋蔵文化財センター調査報告書113
- 長野県埋蔵文化財センター 2019『年報35 2018年度』
- 長野県埋蔵文化財センター 2020『小島・柳原遺跡群』長野県埋蔵文化財センター調査報告書127
- 福島正樹 2000「善光寺平の条里」『長野市誌第二巻歴史編原始・古代・中世』

写真図版



1区 2011年調査 (南から)



1区 2012年調査 (南西から)



1区 2012年調査 (南から)



1区 2012年調査 (真上から)



1区 2013年調査 (南から)



2区 2015年調査 (北から)



2区 2011年調査 (真上から)



2区 2019年調査 (西から)

PL2 遺構 2 (3区遠景)



3区 2013年調査 (北から)



3区 2013年調査 (真上から)



3区 2014年調査 (西から)



3区 2014年調査 (北から)



3区 2015年調査 (南から)



4区 2014年調査 (北東から)



4区 2014年調査 (南西から)



4区 2014年調査 (南から)



4区 2014年調査 (北西から)



4区 2014年調査 (北から)



4区 2014年調査 (真上から)



4区 2018年調査 (南西から)



4区 2018年調査 (南西から)

PL4 遺構4 (5区遠景)



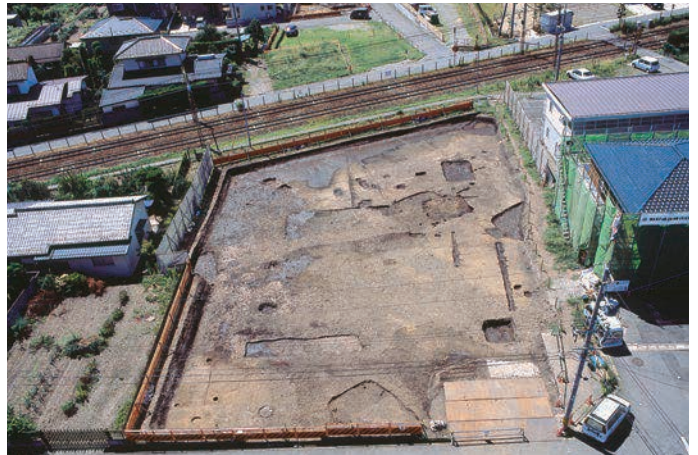
5区 2012年調査 (北東から)



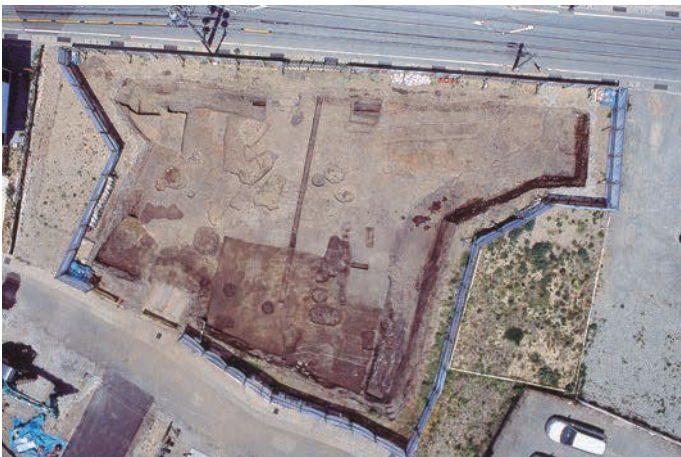
5区 2012年調査 (北西から)



5区 2012年調査 (北から)



5区 2012年調査 (北から)



5区 2013年調査 (真上から)



5区 2013年調査 (北西から)



5区 2014年調査 (南から)



5区 2019年調査 (西から)



6区 2012年調査 (北から)



6区 2012年調査 (北西から)



6区 2013年調査 (北から)



6区 2013年調査 (北から)



6区 2013年調査 (北から)

PL6 遺構6 (弥生竖穴建物跡)



SB105 断面 (南から)



SB105 断面 (東から)



SB105 遺物出土状況 (南から)



SB105 遺物出土状況 (東から)



SB105 No. 21 (東から)



SB105 No. 24 (東から)



SB105 炉検出状況 (南から)



SB105 完掘 (南から)



SB3042 断面 (南東から)



SB3042 完掘 (南から)



SB3043 遺物出土状況 (南東から)



SB3043Pit3 断面 (東から)



SB3043 完掘 (南東から)



SB5030 遺物出土状況 (北から)



SB5030 No. 1115 出土状況 (北から)



SB5030 炉 1 検出状況 (北から)

PL8 遺構 8 (弥生竖穴建物跡)



SB5030 完掘 (北から)



SB5033 断面 (南から)



SB5033 No. 1 出土状況 (南から)



SB5033 炭出土状況 (北西から)



SB5037 完掘 (北西から)



SB6002 遺物出土状況 (南東から)



SB6002Pit2 遺物出土状況 (西から)



SB6002 完掘 (南東から)



SM5 断面 (東から)



SM5 断面 (東から)



SM5 断面 (南から)



SM5 遺物出土状況 (南東から)



SM5 No. 23 出土状況 (南から)



SM5 No. 6・19・24 出土状況 (東から)



SM5 No. 24 断面 (南東から)



SM5 完掘 (東から)

PL10 遺構 10 (古墳豎穴建物跡)



SB1 完掘 (北から)



SB56 断面 (南西から)



SB56 遺物出土状況 (南東から)



SB56 No. 62 出土状況 (南から)



SB56 No. 62 断面 (南から)



SB56 完掘 (南から)



SB75 断面 (南西から)



SB75 遺物出土状況 (南から)



SB75 遺物出土状況 (南から)



SB75 No. 7 出土状況 (北から)



SB75 完掘 (南から)



SB103 遺物出土状況 (北から)



SB103 完掘 (南東から)



SB3001 カマド遺物出土状況 (東から)



SB3001 完掘 (東から)



SB3001 カマド完掘 (東から)

PL12 遺構 12 (古墳竪穴建物跡)



SB3006 完掘 (南東から)



SB3010 No. 15 出土状況 (東から)



SB3010 完掘 (東から)



SB3021 断面 (東から)



SB3021Pit7 断面 (南東から)



SB3021 カマド遺物出土状況 (南西から)



SB3021 完掘 (南西から)



SB3026 遺物出土状況 (南西から)



SB3026 カマド遺物出土状況 (東から)



SB3026 完掘 (東から)



SB3062 断面 (南東から)



SB3062 No. 3 出土状況 (南西から)



SB3062Pit1 断面 (南東から)



SB3062Pit2 断面 (南東から)



SB3062Pit3 断面 (南東から)



SB3062 カマド遺物出土状況 (南東から)

PL14 遺構 14 (古墳竪穴建物跡)



SB3062 完掘 (南東から)



SB3062 カマド支脚出土状況 (南東から)



SB4003 断面 (南から)



SB4003Pit5 断面 (西から)



SB4003 完掘 (南西から)



SB4005 断面 (南から)



SB4005 No. 4 (右)・No. 3 出土状況 (北から)



SB4005Pit1 断面 (南東から)



SB4005 完掘 (南から)



SB4006 断面 (南東から)



SB4006Pit1 断面 (東から)



SB4006 完掘 (北から)



SB4007 完掘 (北東から)



SB5009・5011 断面 (南から)



SB5009 遺物出土状況 (南から)



SB5009 No. 12 (左)・No. 9 出土状況 (西から)

PL16 遺構 16 (古墳竪穴建物跡・溝跡)



SB5009 完掘 (南から)



SB5009 カマド完掘 (南から)



SD4004 断面 (南から)



SD4004 遺物出土状況 (南から)



SD4004 No. 26 出土状況 (南東から)



SD4004 完掘 (北西から)



SD4022 断面 (東から)



SD4022 完掘 (東から)



SM3001 断面 (南から)



SM3001 西壁断面 (東から)



SM3001 完掘 (南から)



SM3001・3002 完掘 (北から)



SM3002 断面 (東から)



SM3002 断面 (南から)



SM3002 断面 (東から)



SM3002 完掘 (南西から)

PL18 遺構 18 (古墳墓跡)



SM3004 断面 (南東から)



SM3004 断面 (西から)



SM3004 遺物出土状況 (南西から)



SM3004 遺物出土状況 (南東から)



SM3004 土器集中 (南東から)



SM3004 完掘 (南西から)



SM3005 断面 (南東から)



SM3005 完掘 (北西から)



SB2 完掘 (北から)



SB3 遺物出土状況 (南から)



SB3 カマド断面 (東から)



SB3 カマド遺物出土状況 (南から)



SB3 完掘 (南から)



SB3 カマド石組み (南から)



SB22 完掘 (南から)



SB29 断面 (南西から)

PL20 遺構 20 (古代竪穴建物跡)



SB29Pit4 遺物出土状況 (南から)



SB29 完掘 (南から)



SB42 遺物出土状況 (東から)



SB53 断面 (南から)



SB53 カマド遺物出土状況 (南から)



SB53Pit1 断面 (南から)



SB53 完掘 (南から)



SB53 カマド完掘 (南から)



SB72 断面 (南から)



SB72Pit1 遺物出土状況 (北から)



SB72 完掘 (南から)



SB102 No. 5 (右) No. 6 出土状況 (西から)



SB104 遺物出土状況 (南から)



SB107 No. 3 断面 (西から)



SB3035 断面 (西から)



SB3035 完掘 (南から)

PL22 遺構 22 (古代竪穴建物跡・掘立柱建物跡)



SB3035 カマド遺物出土状況 (南から)



SB3035 カマド完掘 (南から)



SB5011 カマド遺物出土状況 (南から)



SB5011 カマド完掘 (南から)



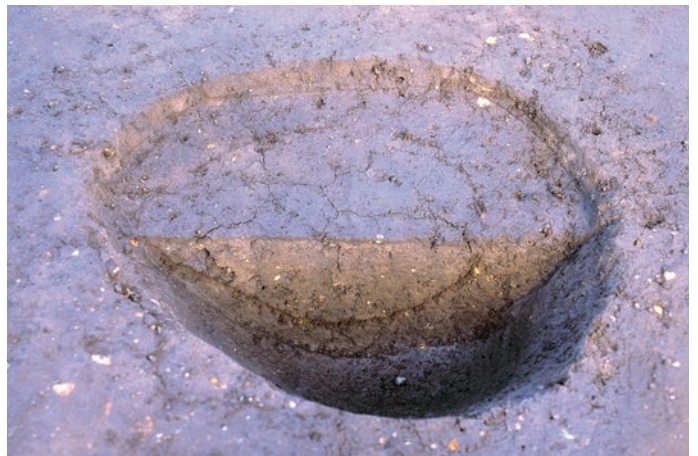
SB5016 遺物出土状況 (北から)



SB5016 カマド遺物出土状況 (南東から)



SB5016 完掘 (南から)



ST1Pit2 断面 (西から)



ST1Pit5 断面 (南から)



ST1 完掘 (南から)



SD21 遺物出土状況 (南西から)



SD4020 断面 (東から)



SD4020 分析 H30 No.2 出土状況 (東から)



SD4020 完掘 (東から)



SK126 断面 (南西から)



SK126 完掘 (北西から)

PL24 遺構 24 (古代土坑)



SK126 重機による断割断面 (南から)



SK324 No. 1 出土状況 (北から)



SK324 完掘 (北から)



SK3426 断面 (南から)



SK3492 遺物出土状況 (南から)



SK3677 断面 (南西から)



SK3677 遺物出土状況 (西から)



SK3677 完掘 (西から)



ST3001Pit4 礎板石出土状況 (南から)



ST3001・ST3004 全景 (北から)



ST3004Pit3 断面 (南から)



ST3004Pit3 礎板石出土状況 (南から)



SD1 西辺断面 (南から)



SD1 西辺断面 (南から)



SD1 断面 (南から)



SD1 断面 (南から)

PL26 遺構 26 (中世以降堀跡・墓跡)



SD1 断面 (北から)



SD1 西辺銭出土状況 (西から)



SD1 北辺完掘 (東から)



SD1 西辺完掘 (北から)



SD1 西辺土橋近景 (北西から)



SD1 完掘 (南から)



SM1・2 骨出土状況 (西から)



SM2 骨出土状況アップ (南から)



SM3 骨出土状況 (西から)



SM4 骨出土状況 (南から)



SM5001 骨出土状況 (南西から)



SM5001 完掘 (南西から)



SM5003 骨出土状況 (南から)



SK3216 石臼出土状況 (東から)



SK5033 断面 (南から)



SK5033 No. 3 出土状況 (西から)

PL28 遺構 28 (中世以降土坑)



SK5033 完掘 (北から)



SK292 銭出土状況 (北から)



SK5083 検出 (北から)



SK5083 完掘 (北から)



SK5089 断面 (南から)



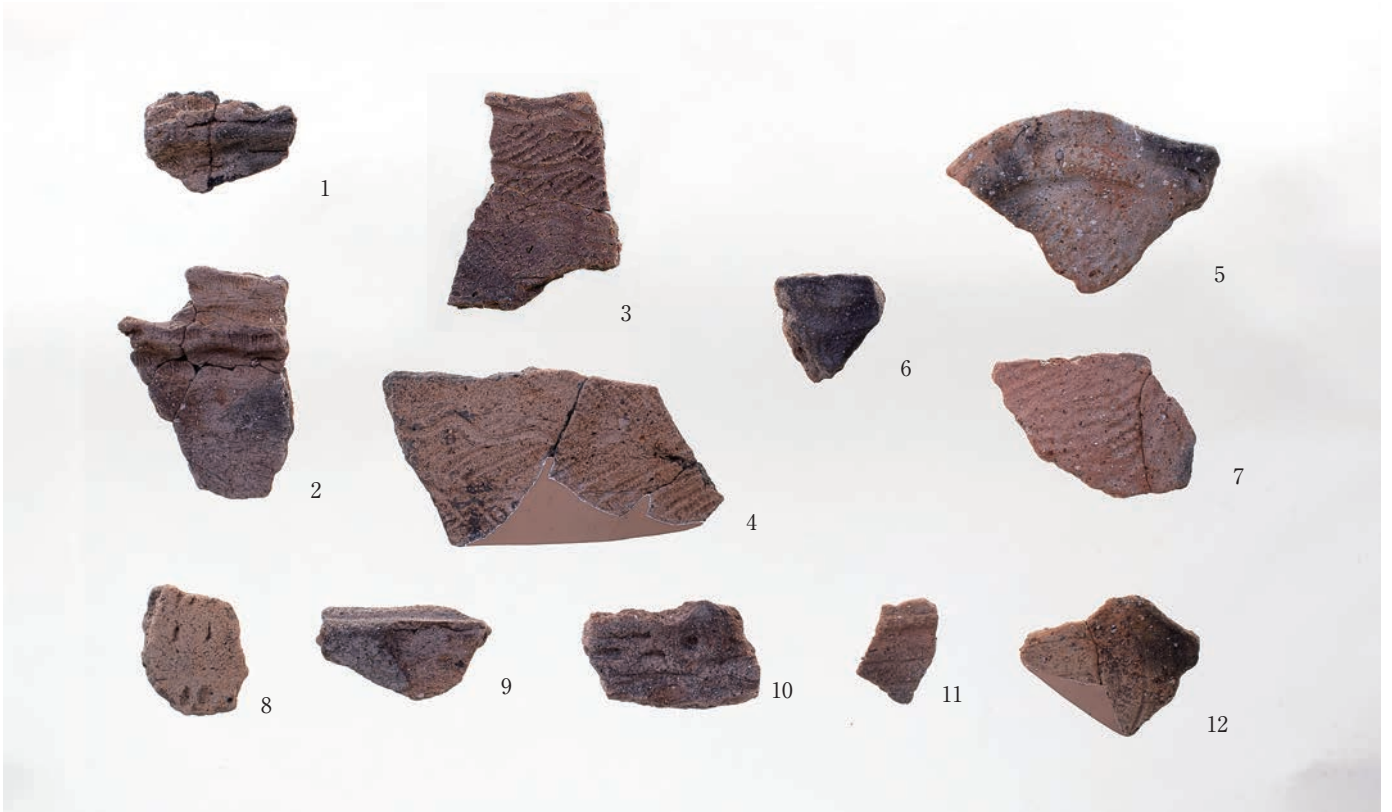
SK5089 完掘 (東から)



作業風景 (2015年4区南東から)



集合写真 (南東から)



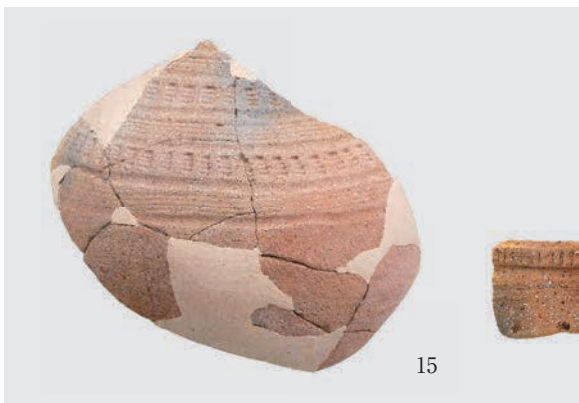
縄文時代



9



14



15



11



12



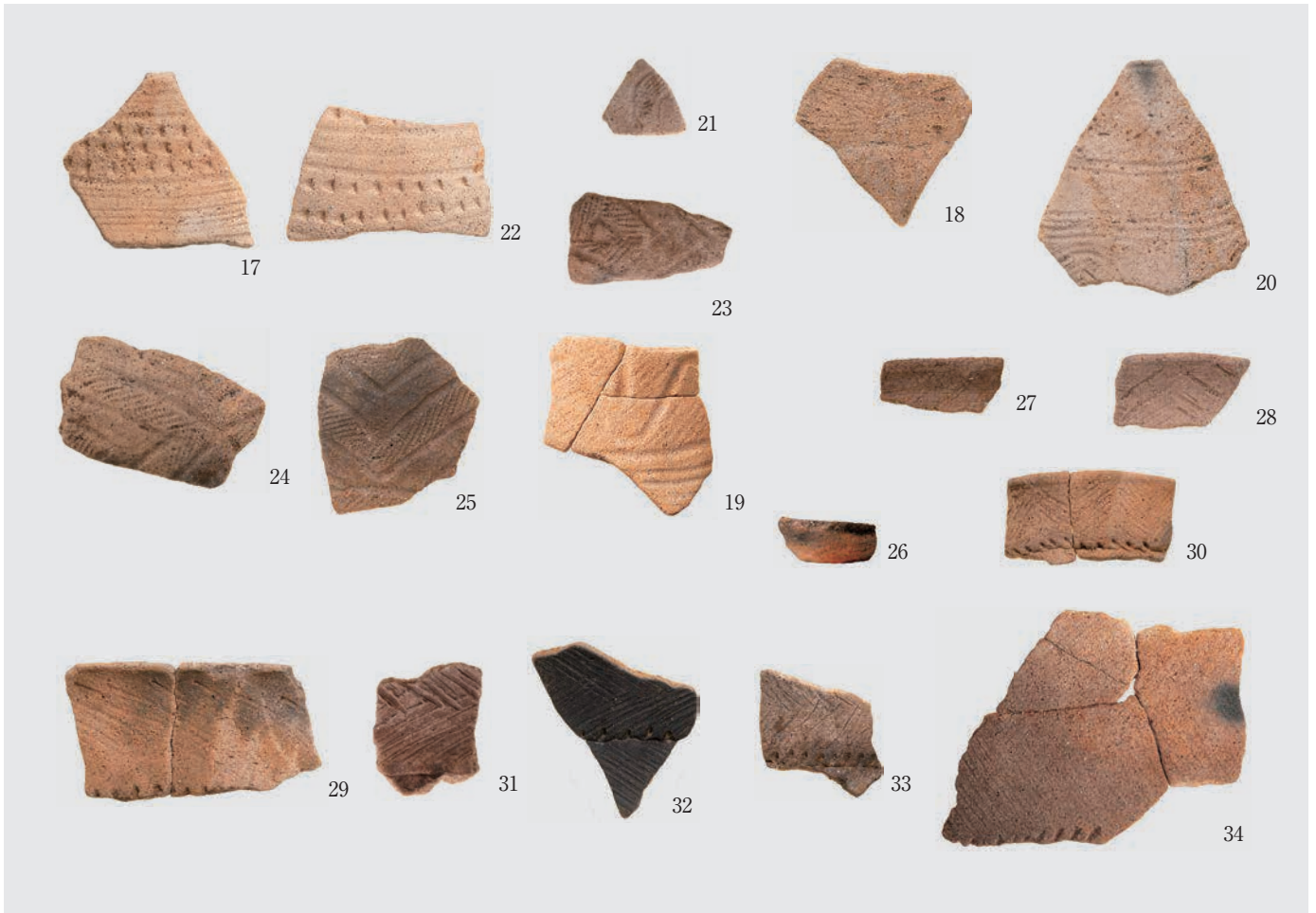
13



16

弥生時代中期

PL30 弥生時代中期の土器 2・弥生時代後期の土器 1



弥生時代中期



SB4



SB26



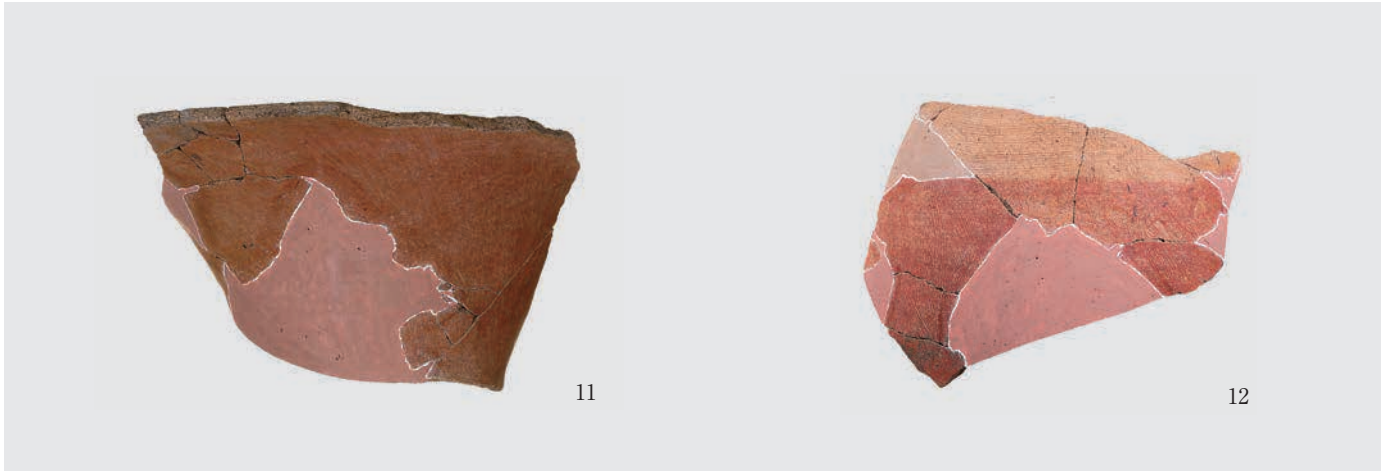
SB91



SB97



SB105



11

12



13



16



SB105

10



14



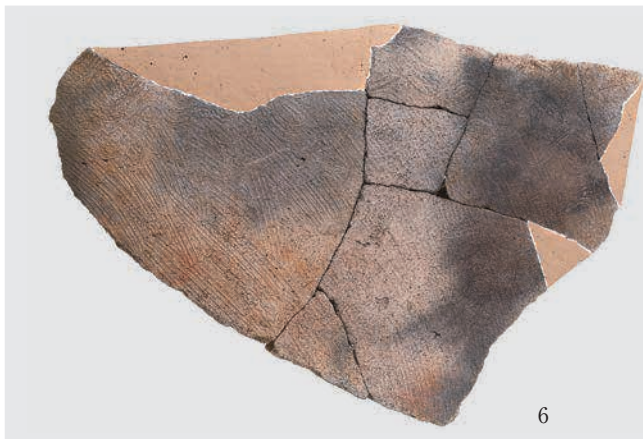
15

SB105

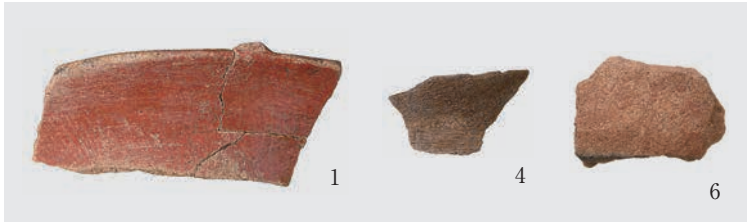
PL34 弥生時代後期の土器5



SB105



SB3007



SB3011



SB3014



SB3019



SB3042



6



SB3042

5

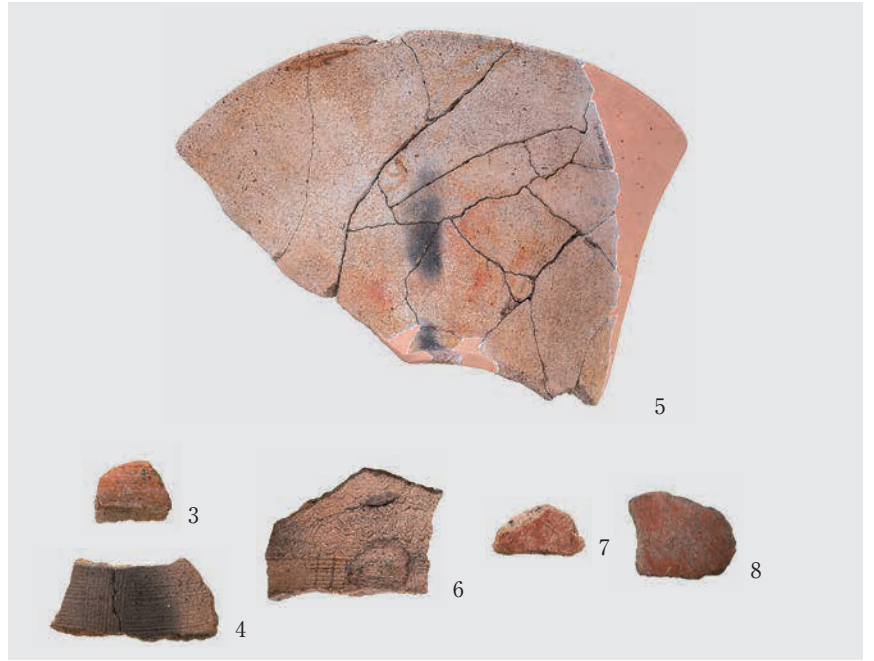


2

3

SB3043





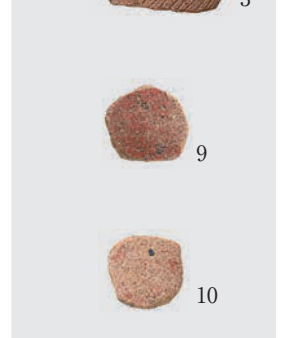
SB3046



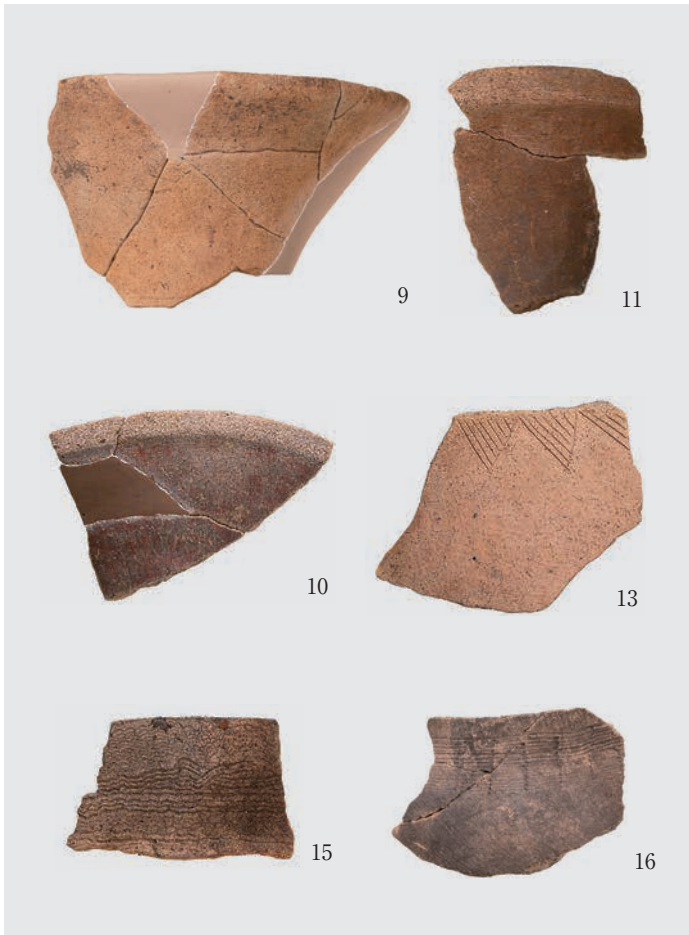
SB5013



SB5017



SB5024





SB5033



SB6001



SB5037



SB6002





SB6002



SM5



2



10



11



12



13



14



15



16



17



19

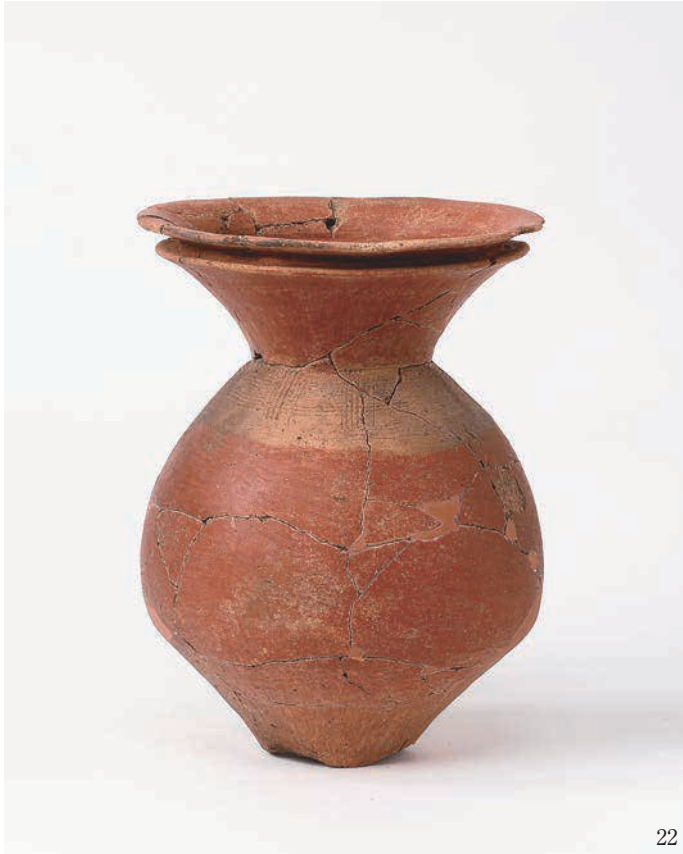


18



20

21



22



23



24

SM5



SM5



SM5



25



26



30



27

28

29

32

33



31



34



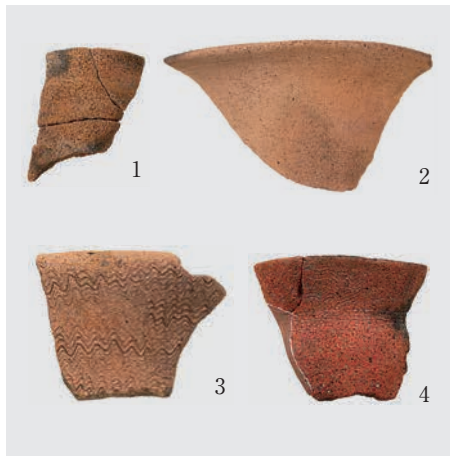
35

SM5



1

SK3717



1

2

3

4

SK5054

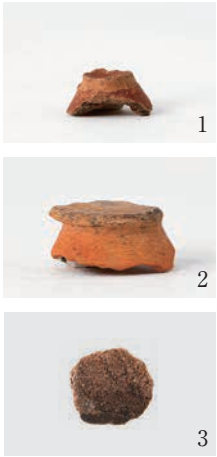


1



2

包含層出土

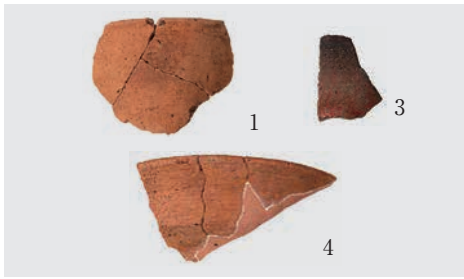


SB1



SB15

PL48 古墳時代の土器2



SB25



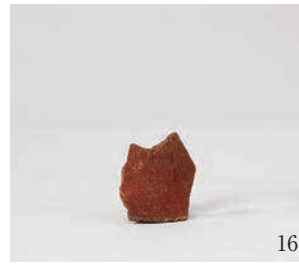
SB38



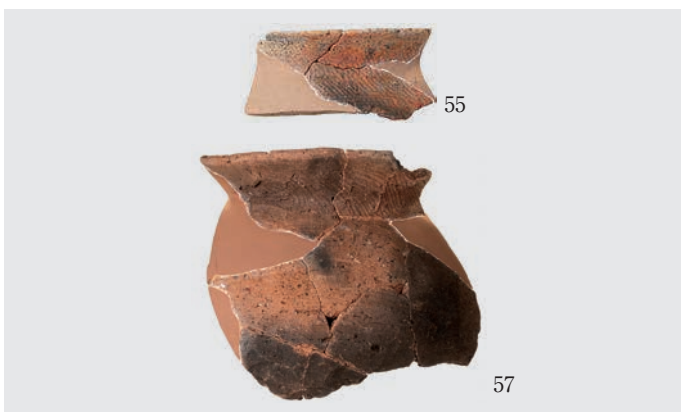
SB46



SB56









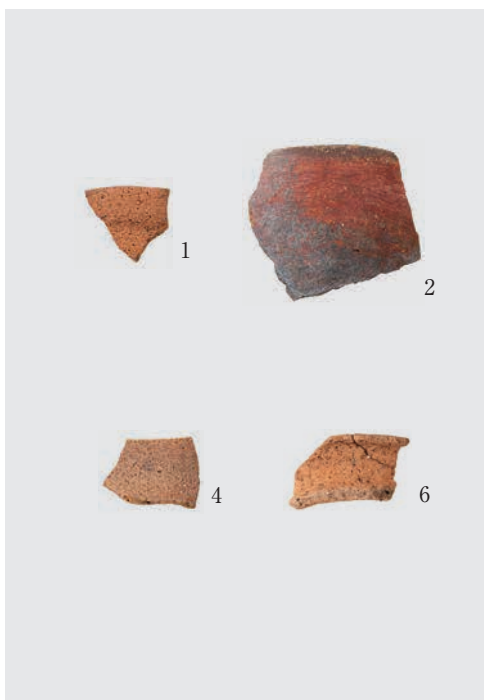
SB56

SB67





SB75



SB79



10



11



12

13

14

15

17

16

SB79



1



4



2



3

SB80



2



6



3



1



8



9



11



12

SB103





SB103



SB106

SB3001

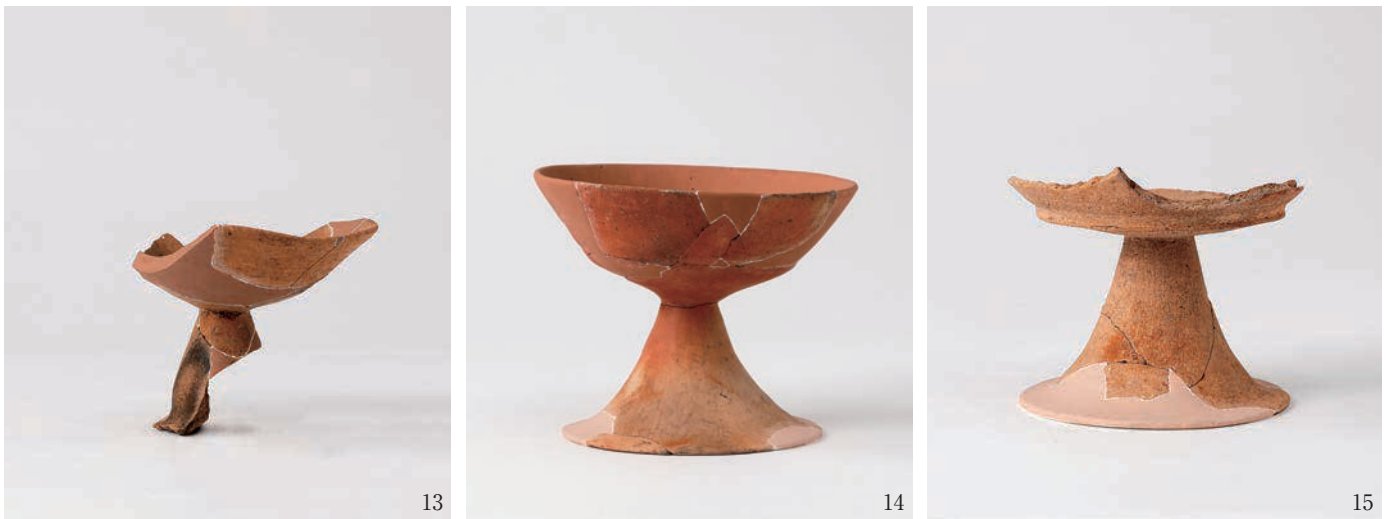




SB3003



SB3006



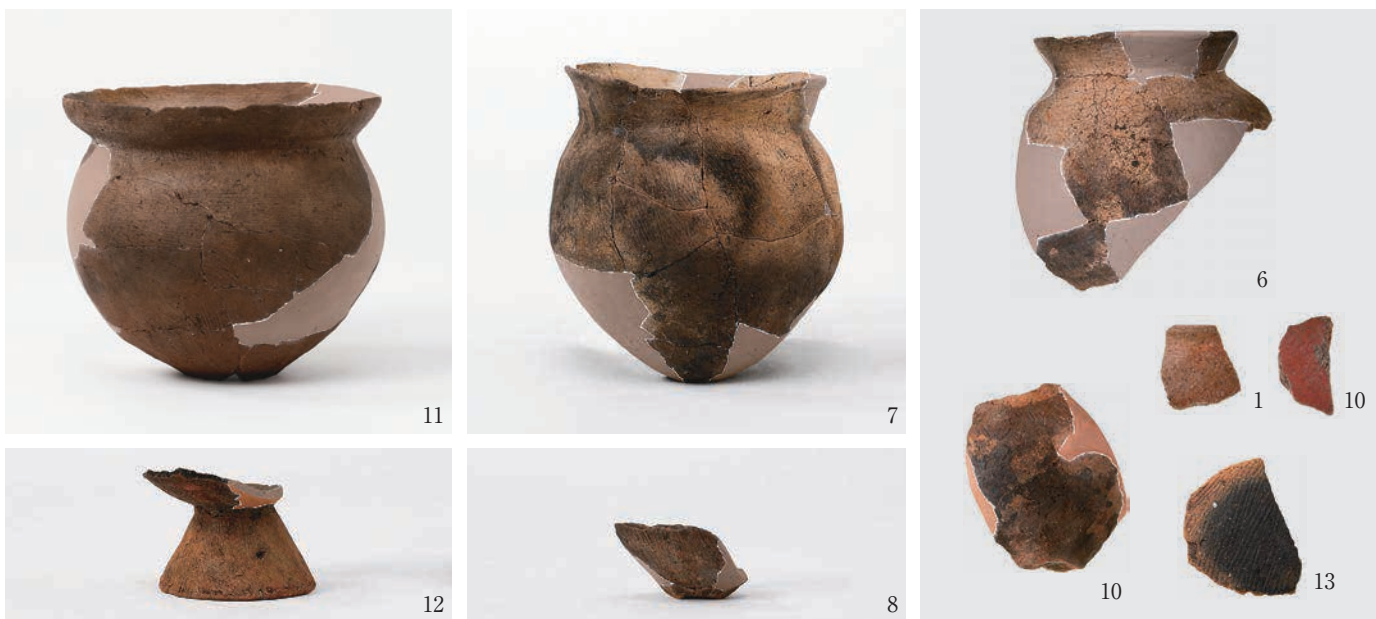




SB3015



SB3016



SB3017







13



14



15

SB3026



1

SB3054



1

SB3064



1

6



2



8



9



5



3



4



7



10



11



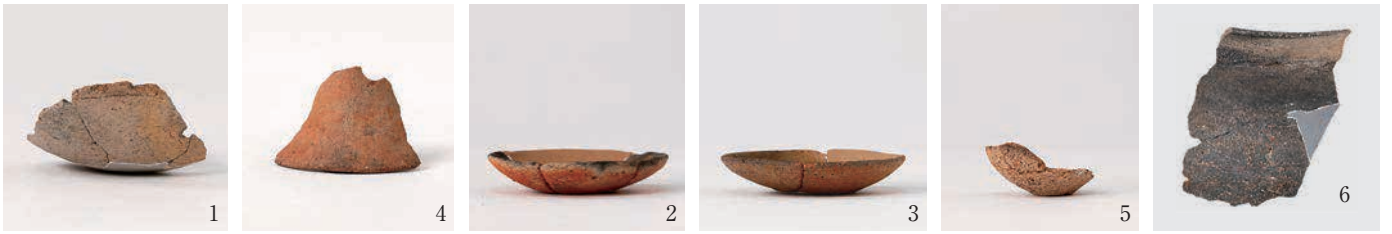
12



14

SB3062





SB4001



SB4002



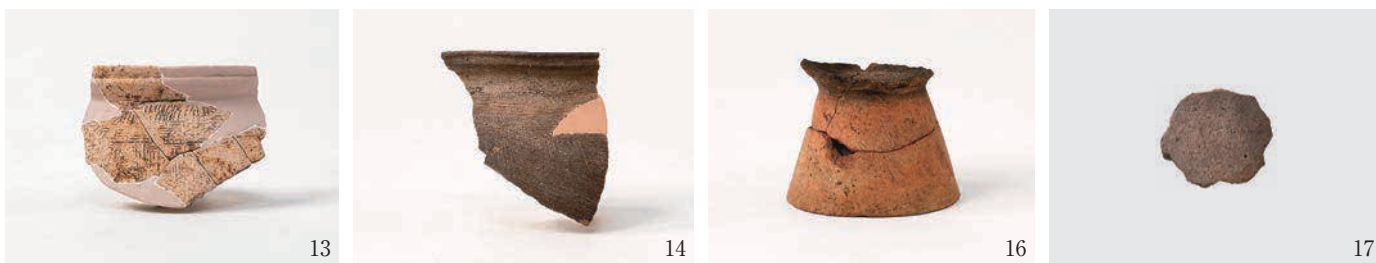
SB4003



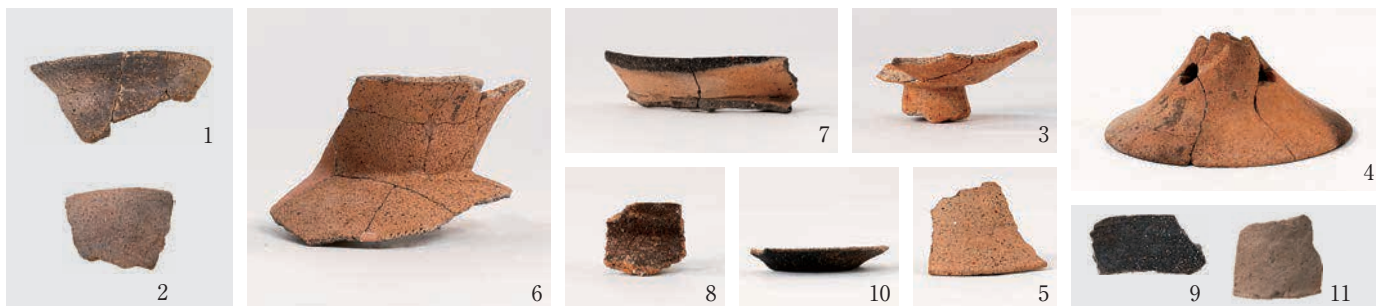
SB4004



SB4005



SB4006



SB4007



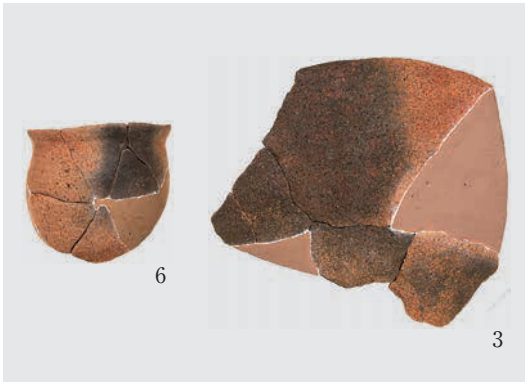
SB4008



SB5009



SB5009



SB5019



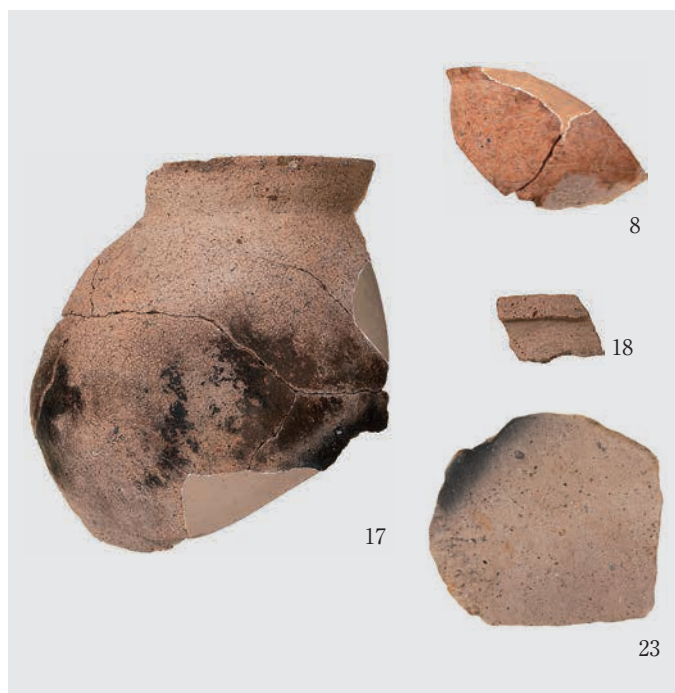
SB5025



SD3030



SD4001



SD4003



24



25



26



27



28



29



30



31



32



33



34



37



39



38



35



36



46



47



43



42



44



45



48



49



40

41

51

50

52



53



54



55

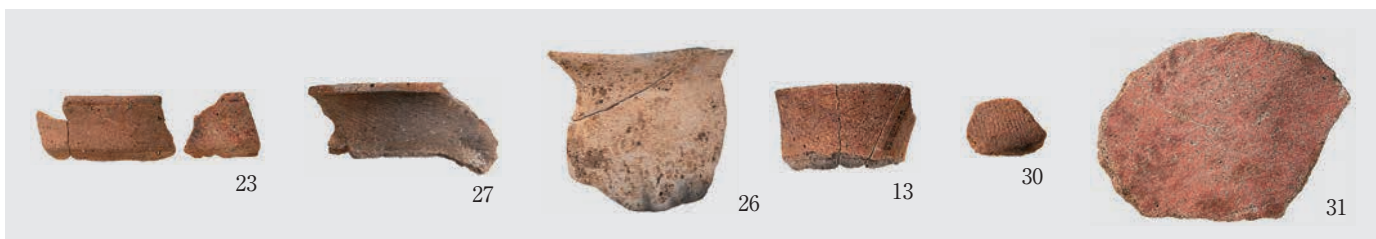
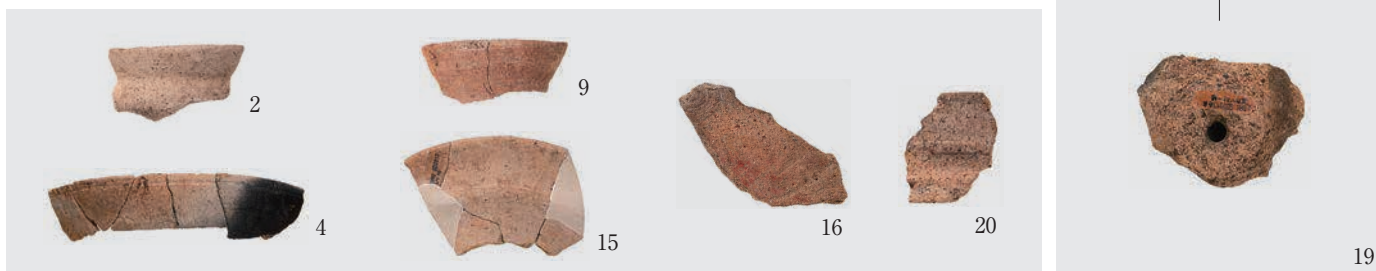
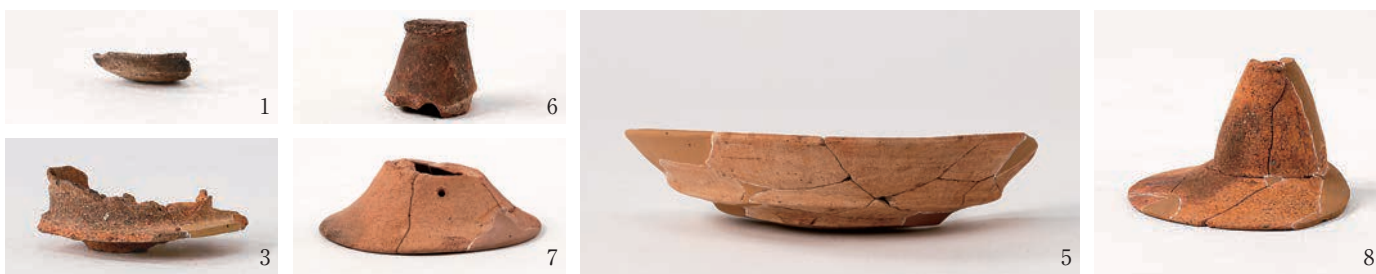
SD4004

SD4005

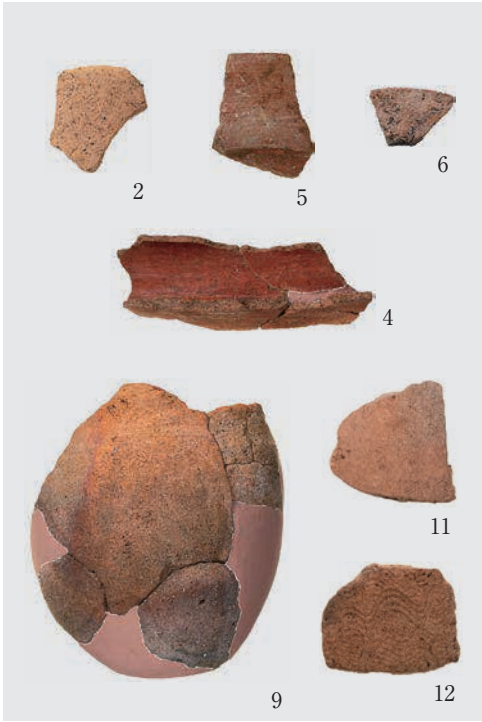
SD4011



SD4022

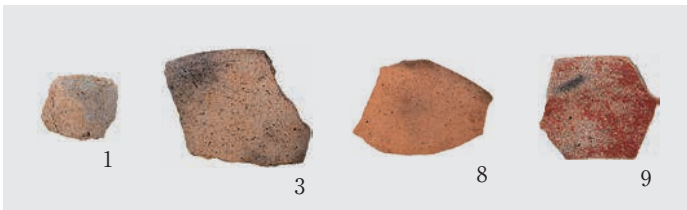


SM3001



SM3002

SM3003



SM3004



20



22



23



19



24



26



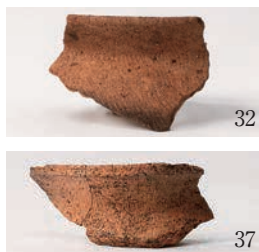
21



25



36



32



33



27



38



28



29



34



31



39



46



47



48



49



50



35



40



43



51



44



52



45



53

41

42

SM3004



SM3005



6



4

1

SM4001



1



2



3

SK139



1

SK3223



1

SK4024



1

SK4047



1



4



9



15



3



6

包含層出土



包含層出土





SB3



9

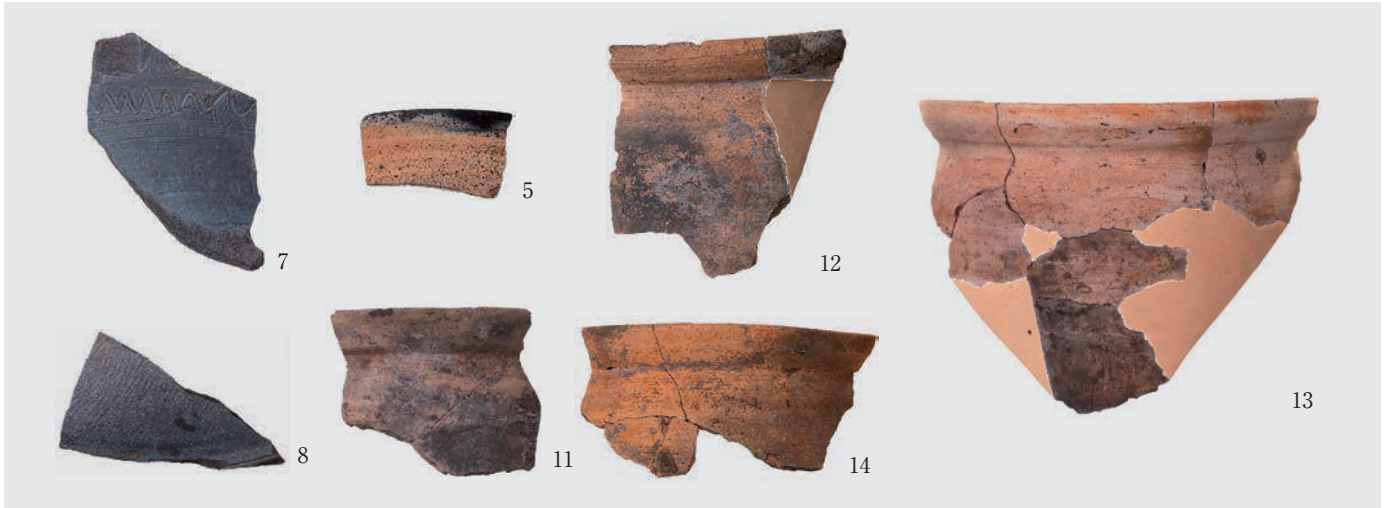


10



15

SB5



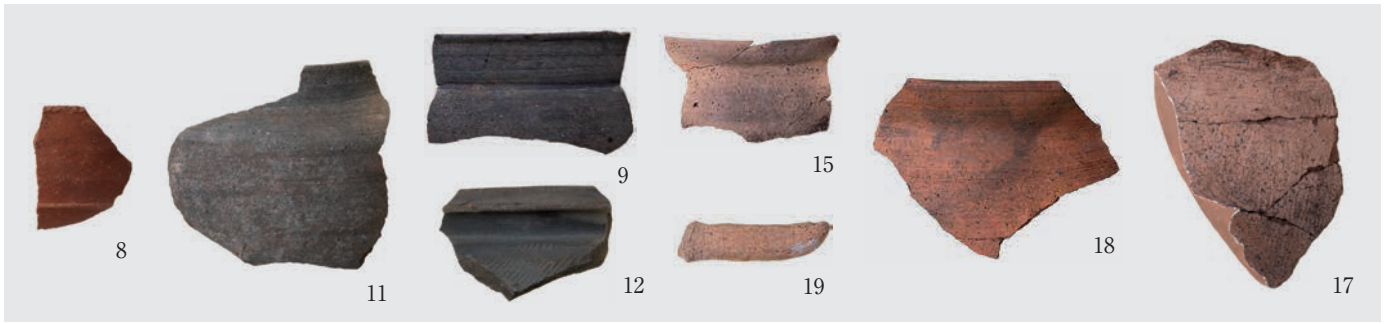
SB5



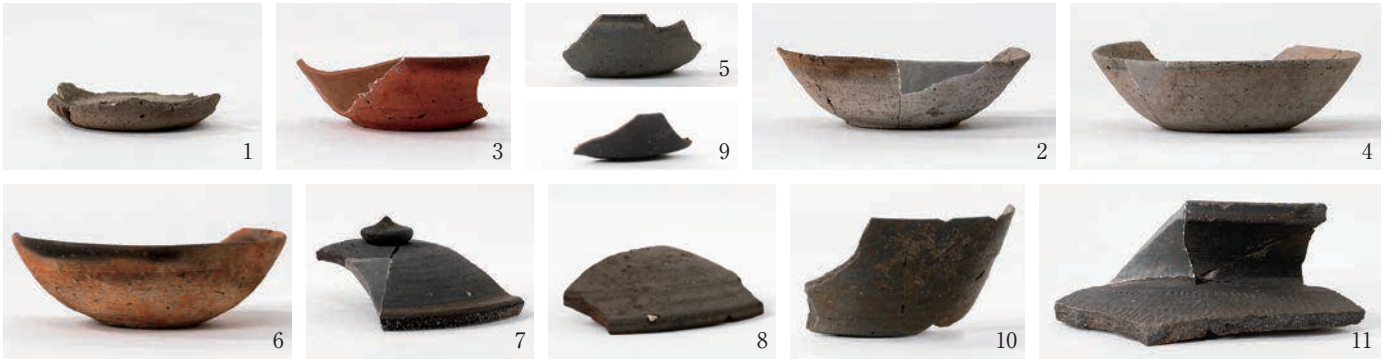
SB6



SB7



SB7



SB8



SB9



SB11



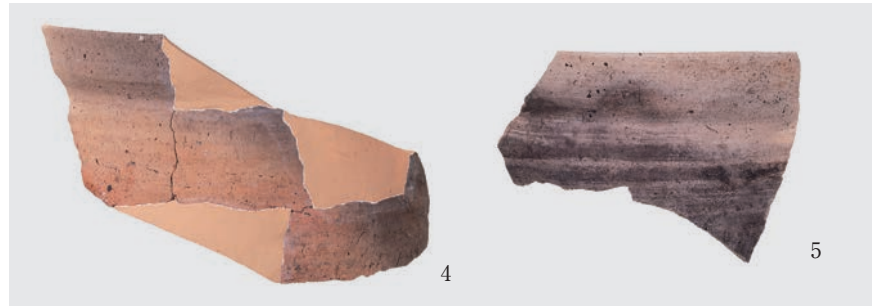
SB13



SB13



SB14

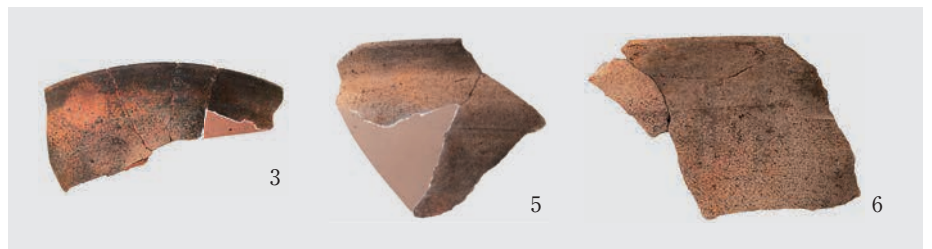


SB16



SB17

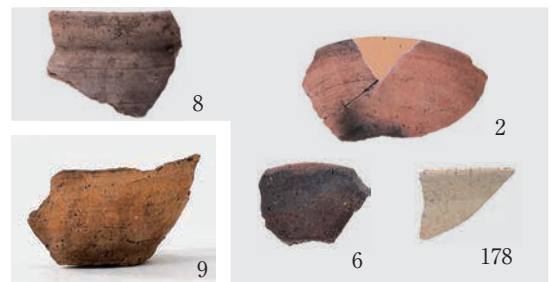
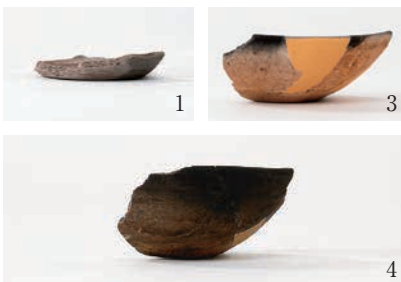




SB20



SB21



SB22

PL82 古代の土器7



SB23



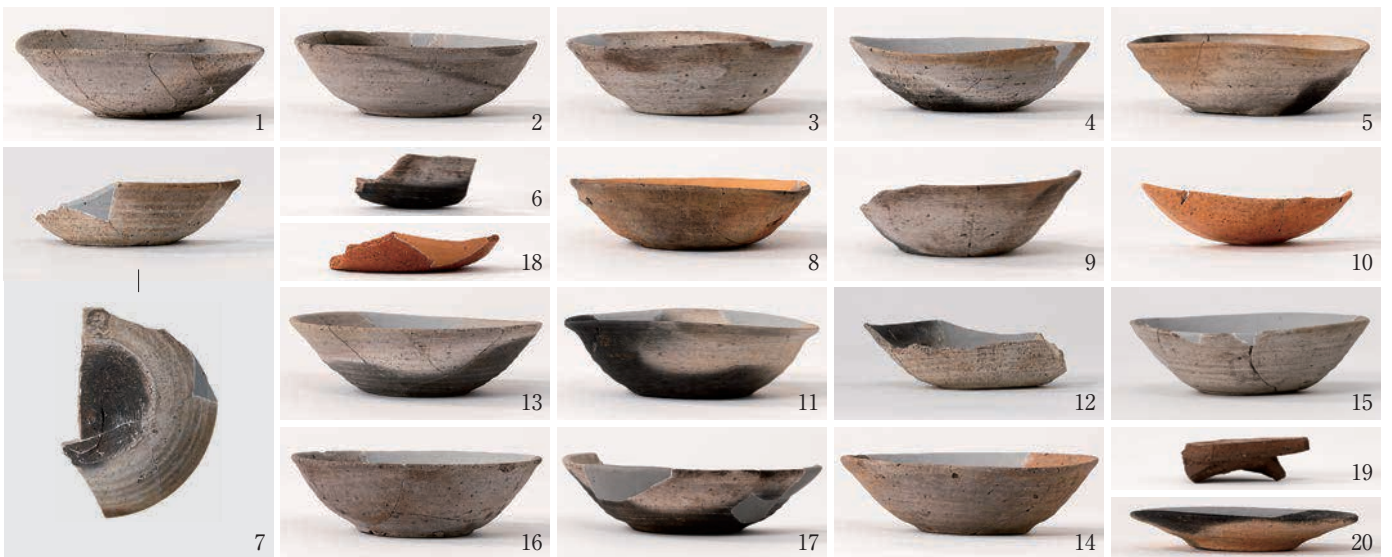
SB24



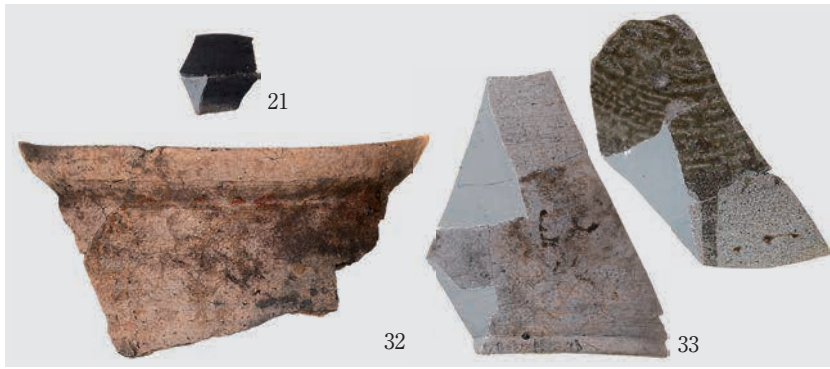
SB27



SB28



SB29



SB29



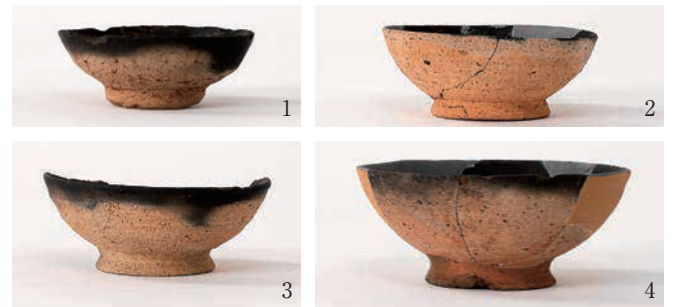
SB31



SB30



SB33



SB35



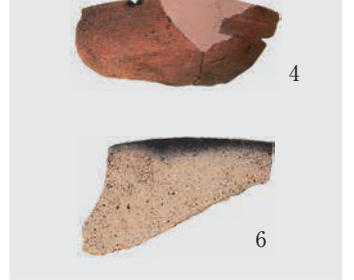
SB39



SB42



SB43



SB44



SB48



SB49



SB53



SB52





SB53



SB66

SB68



SB69

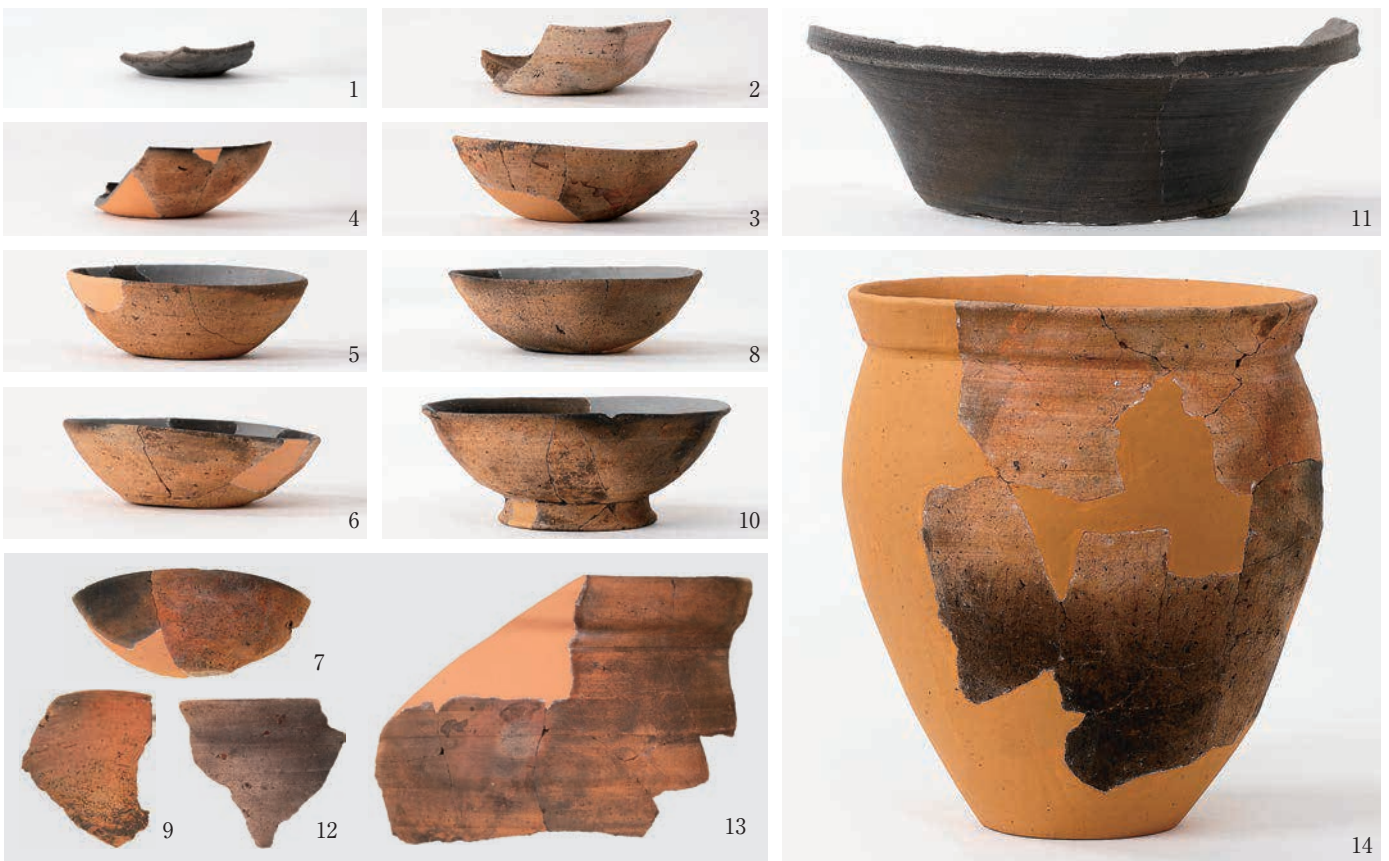
SB70



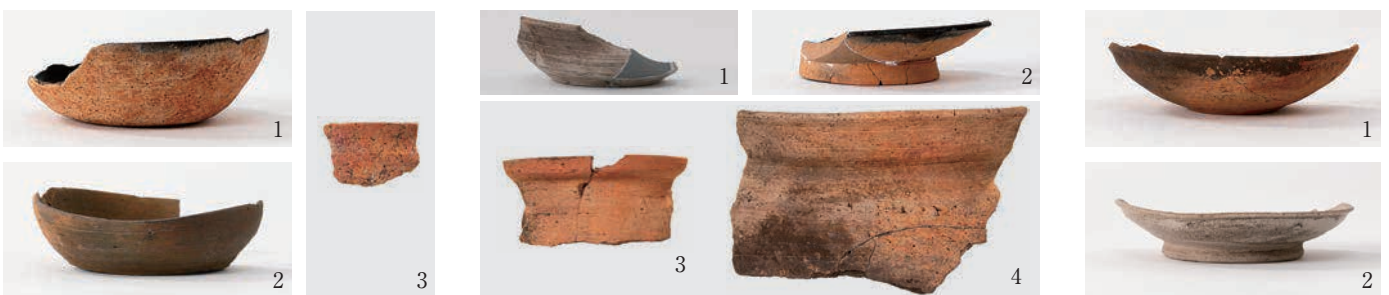
SB72



SB73



SB76



SB78

SB85

SB86

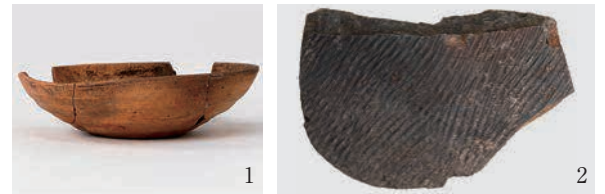
PL88 古代の土器 13



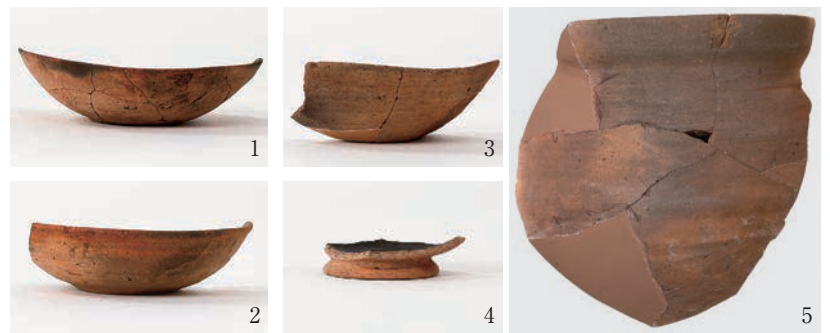
SB87



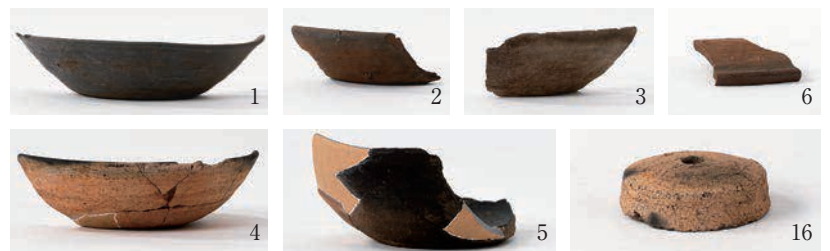
15



SB89



SB94



SB92



SB95



SB96



1



2



3



10



4



5



6



7



9



8

SB100



1



1



2



5



6



2



7



8



9



10



3



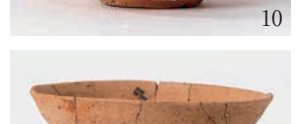
11



12



13



14

SB101



16



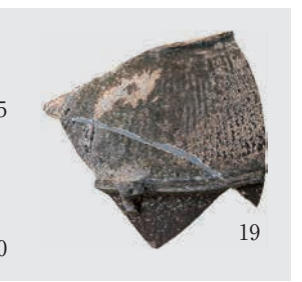
17



18



15



19



3



4

SB102



1



3



4



5



2



6



8



9



7



10

SB104



1



2



3



1



3



2



6



4



5

SB110



1



1



2



3



4



3

SB111

SB107



SB111



SB112



SB3005



SB3023

SB3024



SB3025

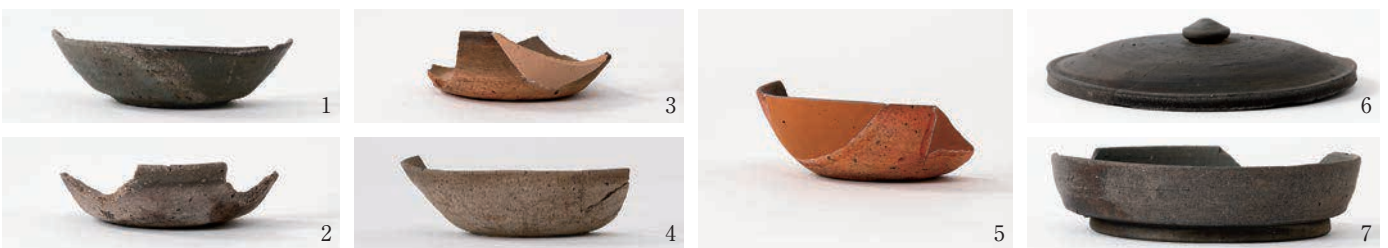


SB3025



SB3029

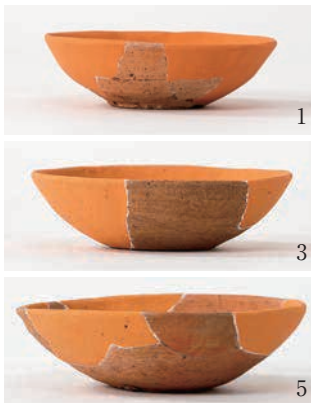
SB3034



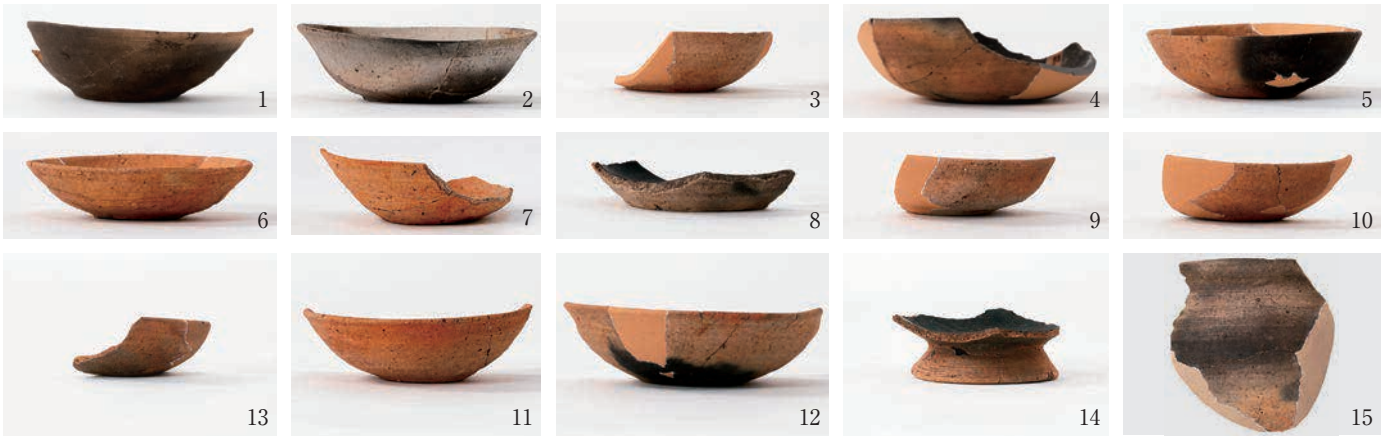
SB3035



SB3035



SB3047



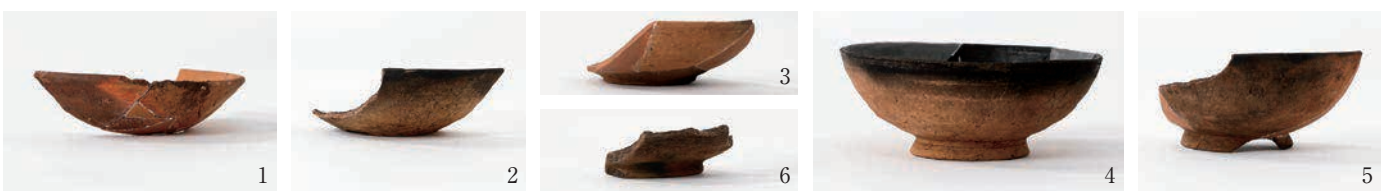
SB3048



SB3050



SB3051



SB3053



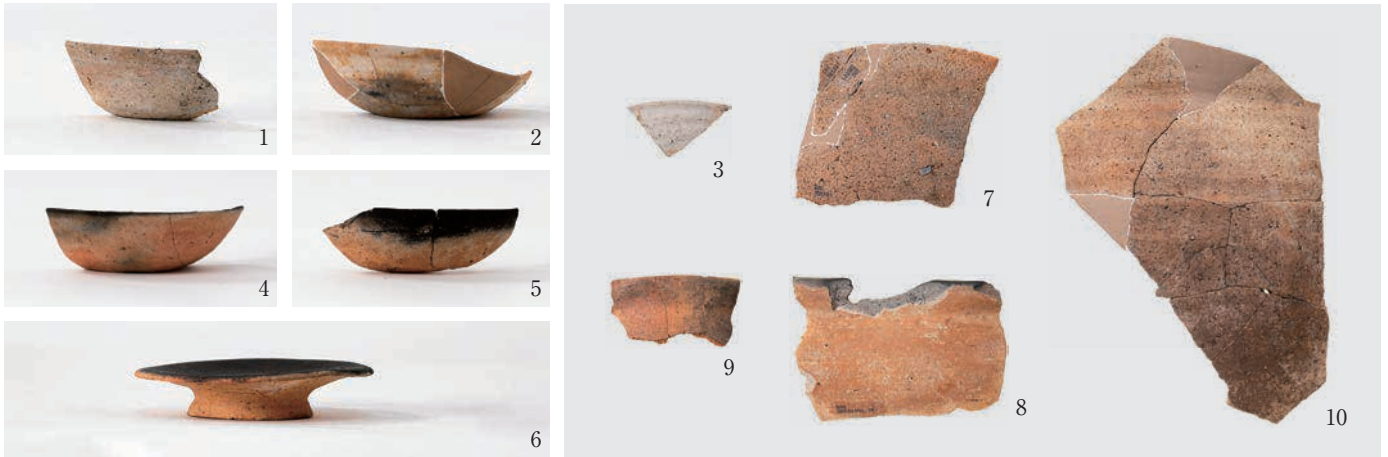
SB3057



SB3057



SB3058



SB5001



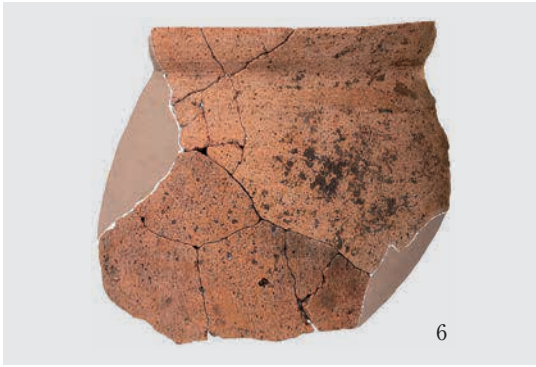
SB5002



SB5003



SB5005



SB5005



SB5010



SB5011



SB5011



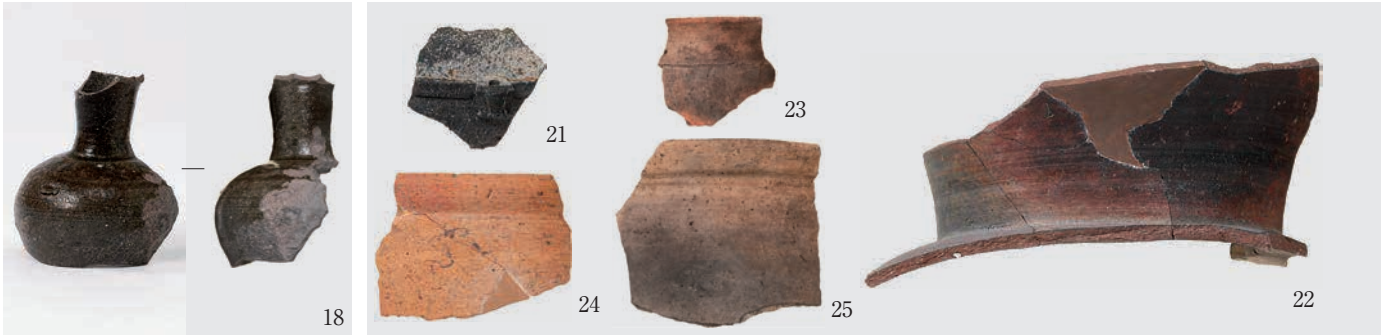
SB5016



SB5021



SB5023



SB5023



SB5027



SB5029



SB5032



SB5036





SB5038

SD4020



SD21



SD3014

SD3016

SD3017



NR5001

SK86

SK127



SK126

SK266

SK268

PL100 古代の土器 25・中世以降の土器 1



SK274

SK283



SK324

SK3426



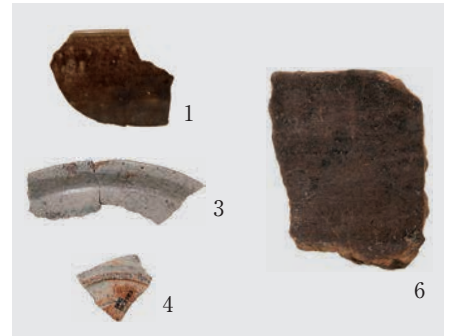
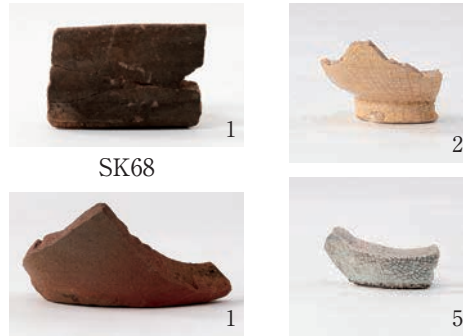
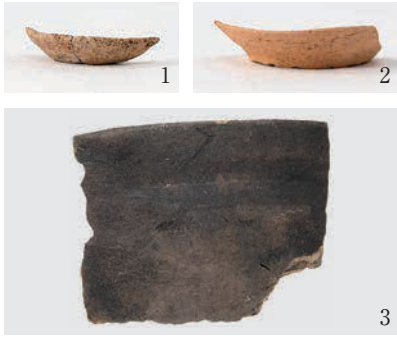


SD1



SK101

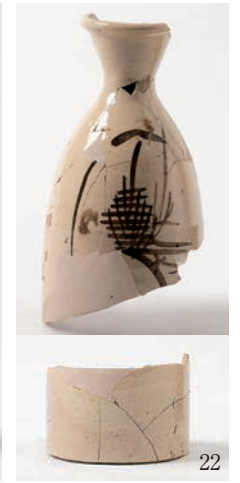
PL102 中世以降の土器 3



中世包含層



SK3721

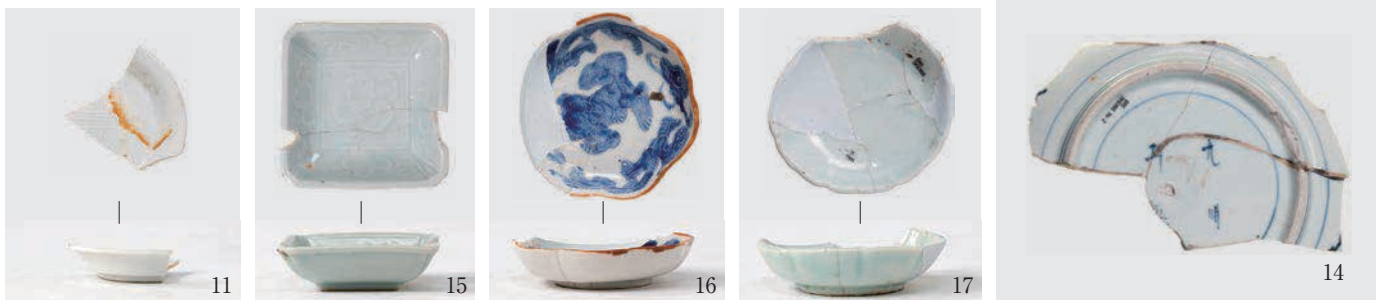
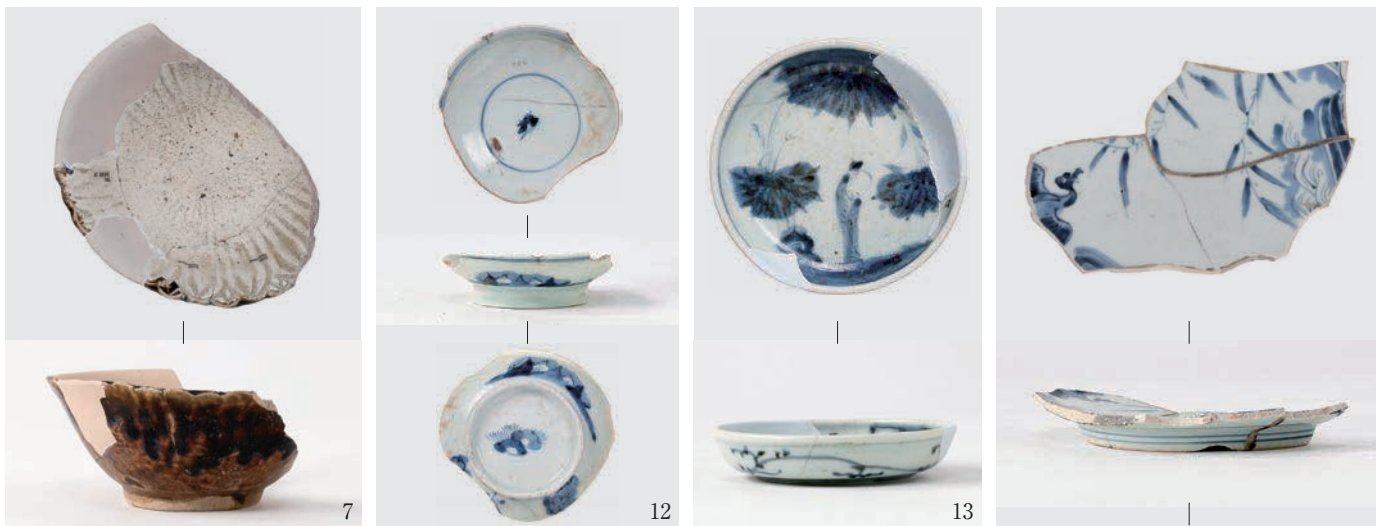
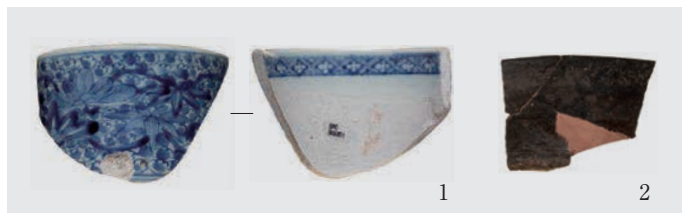
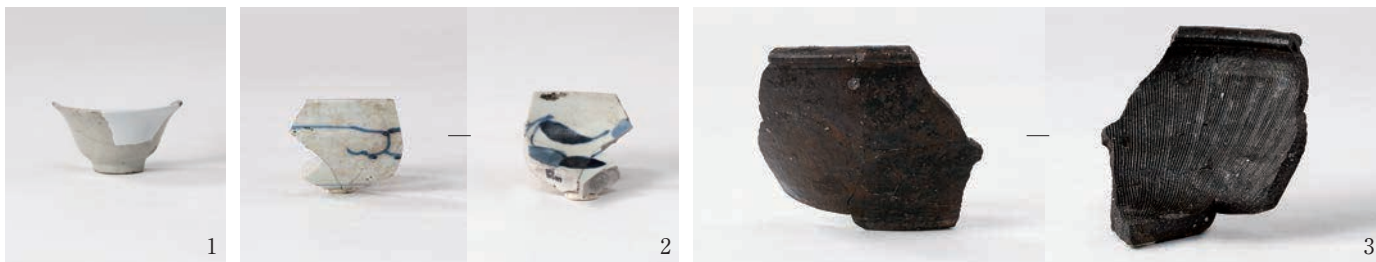


SK3721

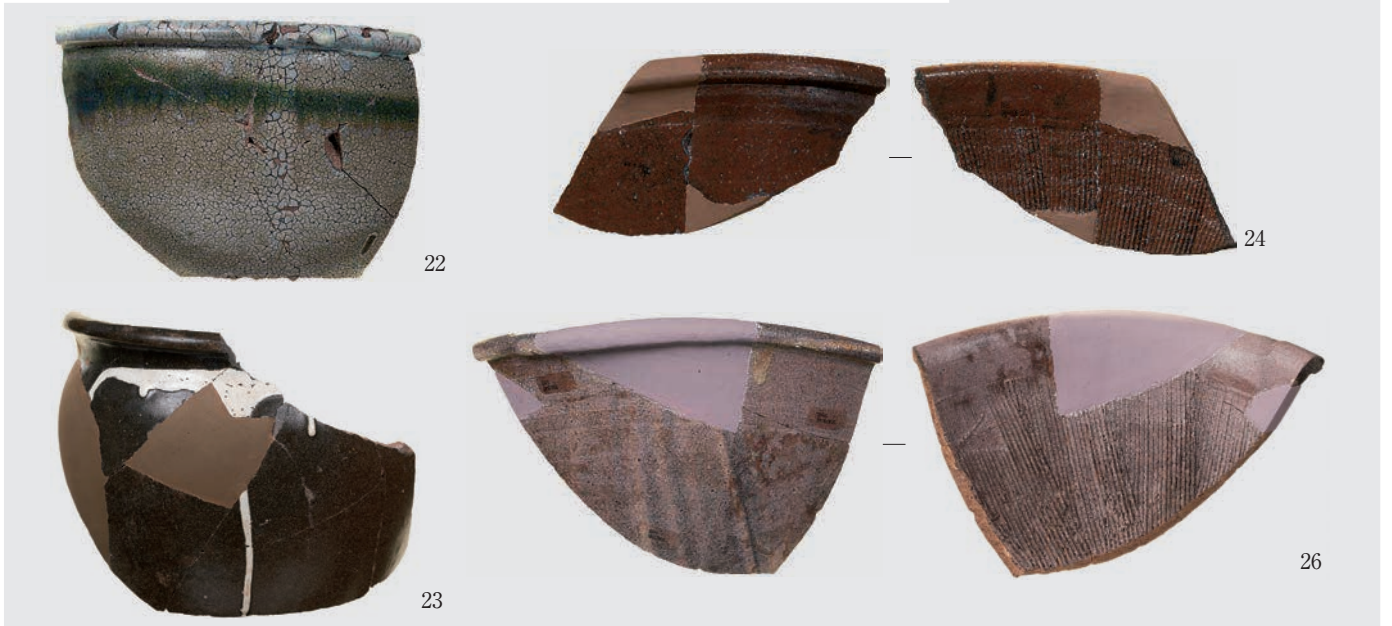


SK5083

PL104 中世以降の土器 5



SK6066



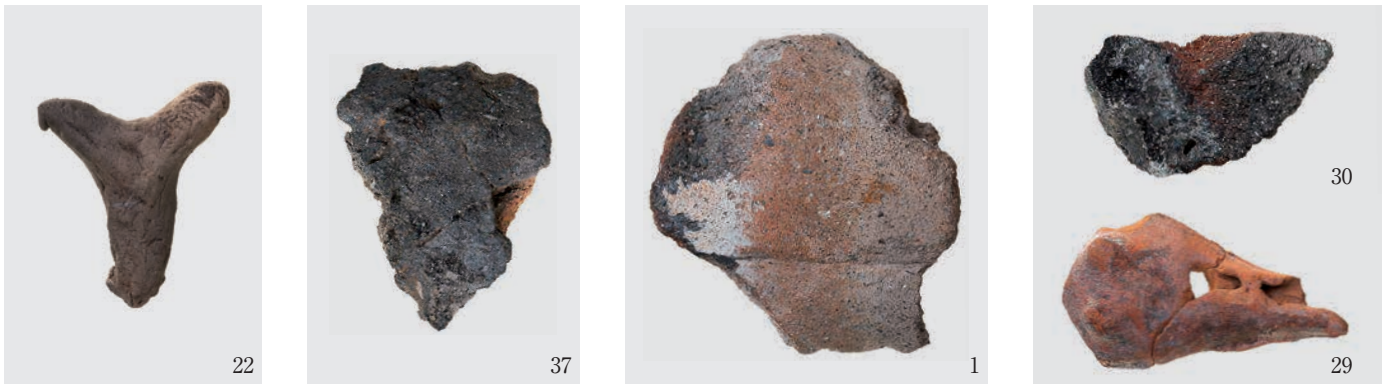
SK6066



近世以降包含層



包含層出土



SB3021

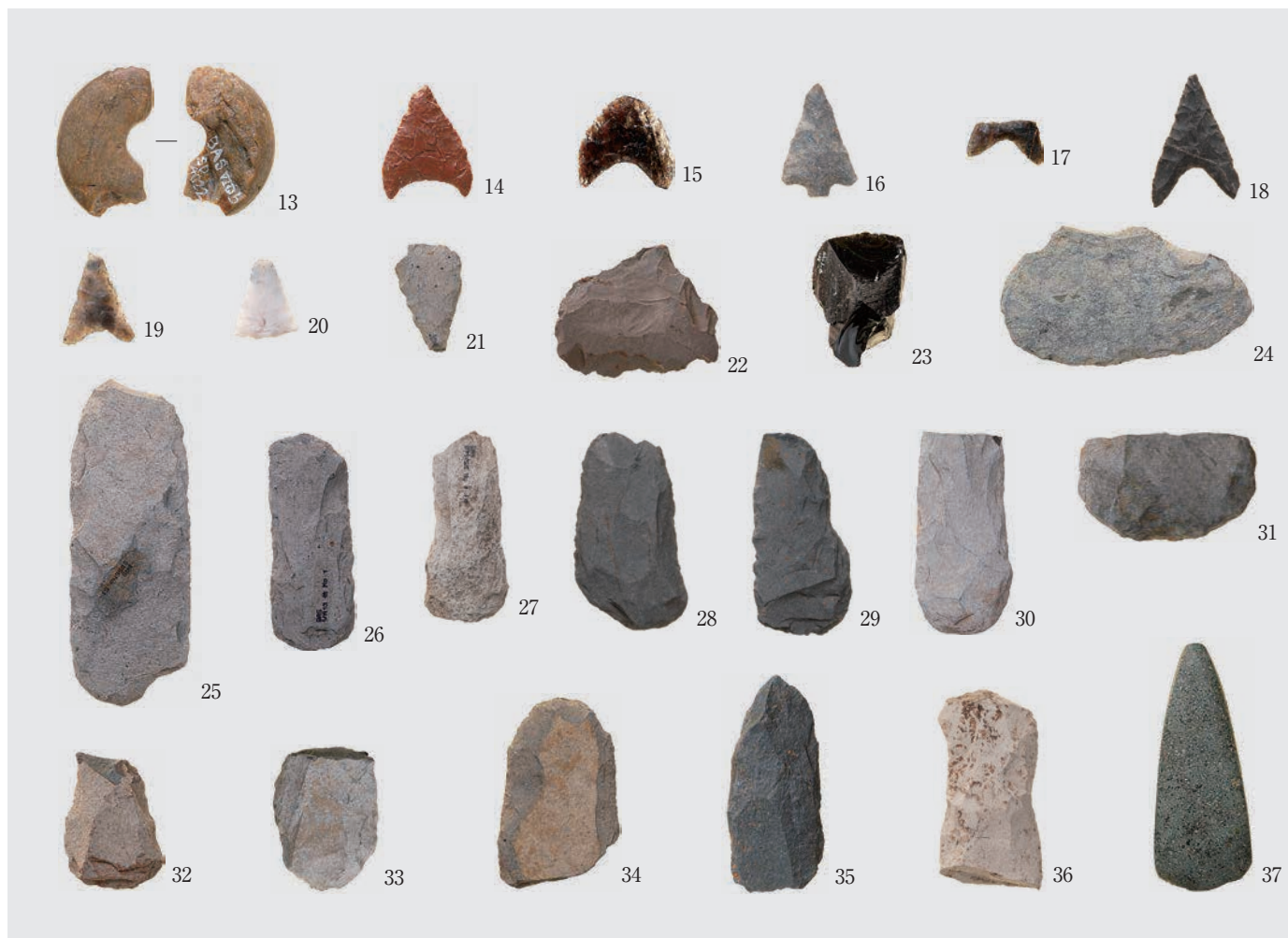
SD1

SK5084

SK6066

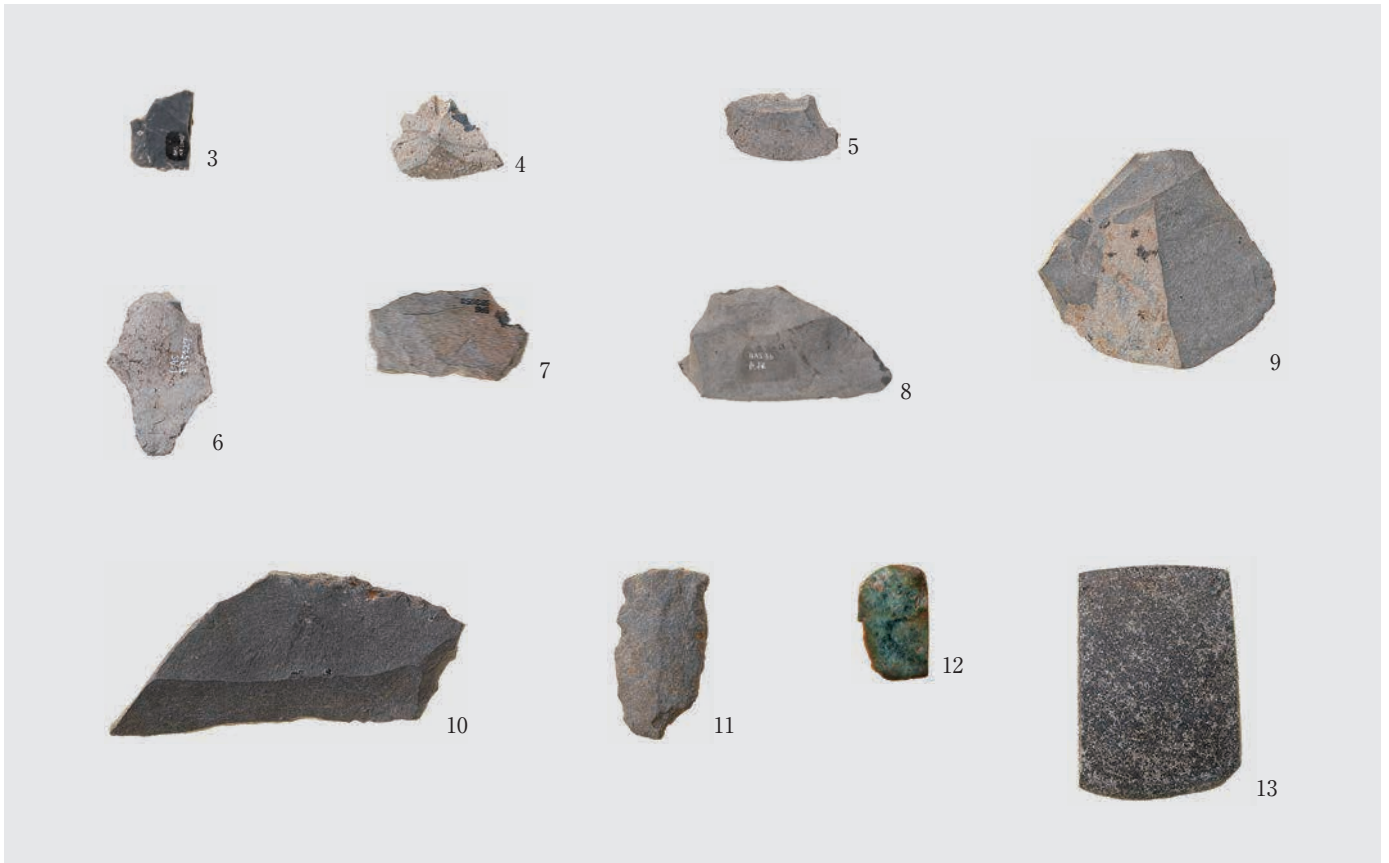


近世以降包含層



縄文時代の石器・石製品



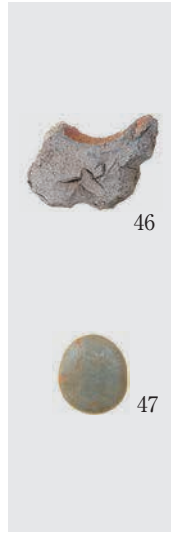


弥生時代包含層





SB75



SB103



SB3001



SB3006

SB3010



SB3021



SB3062

PL110 古墳時代の石器・石製品 3



SB3062



SB3064

SB4001



SB4002



SB4003



SB4005



SB4007



SM3001



SM3004



SB5019



SB5025



SM3005



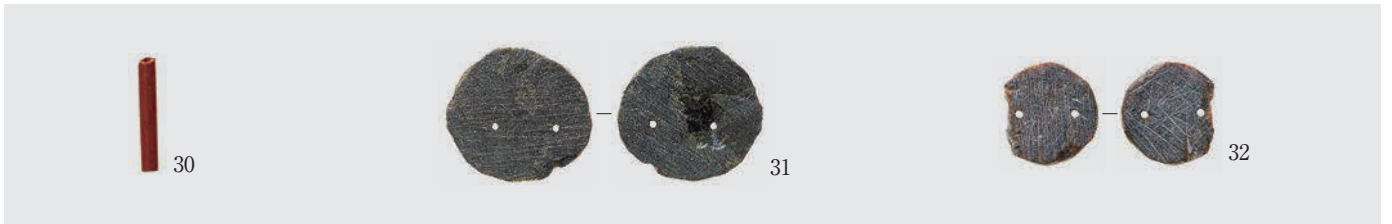
SD3030



SD4001



SD4004



古墳時代包含層

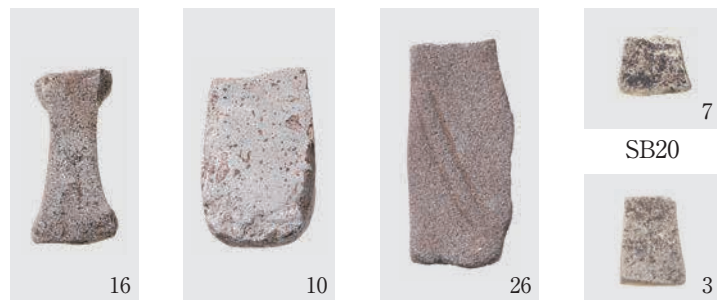


SB3062 石器・石製品

PL112 古代の石器



SB3



SB5

SB6

SB17

SB68

SB20



SB24



SB43



SB53



SB104



SB107



SB3005



SB3035



SB3057



SB5008



SB5027



NR5001



SK89



ST3002



SD1



SK3112



SK3529



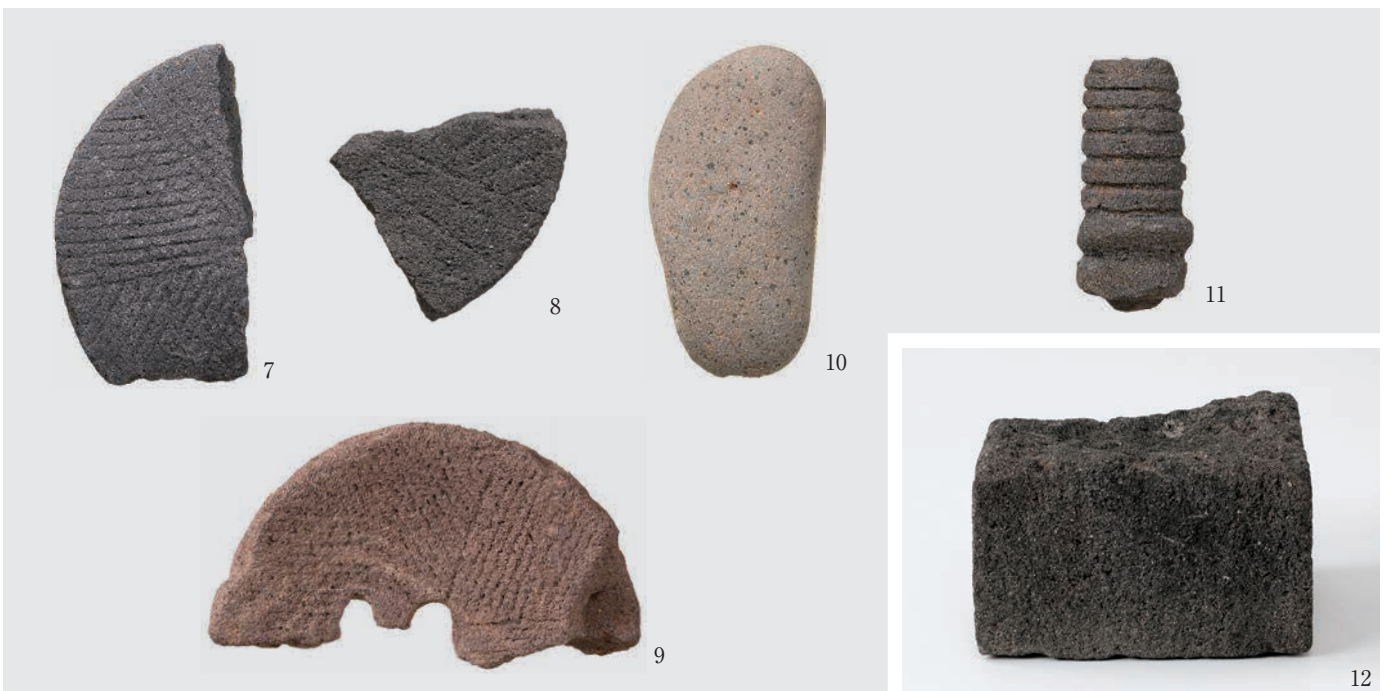
SK3216



SK5033



SK3165



SK3183



SK3510



SK3634



SK5083



SK5146





SB79



SB3001



SB3026



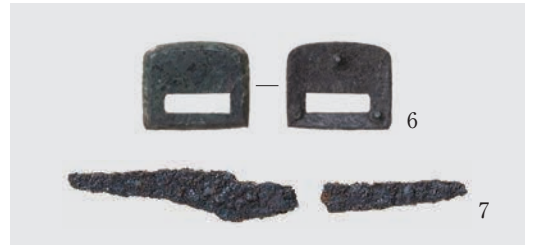
SB3062



SB3



SB7



SB16



SB17



SB20



SB24



SB37



SB66



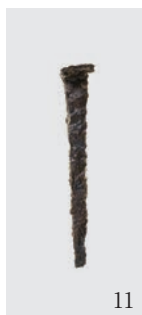
SB43



SB53



SB72



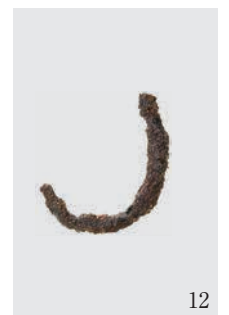
SB100



SB3024



SB3025



SB3035

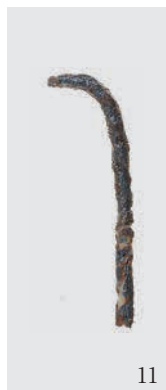


SB3005



1

SB3056



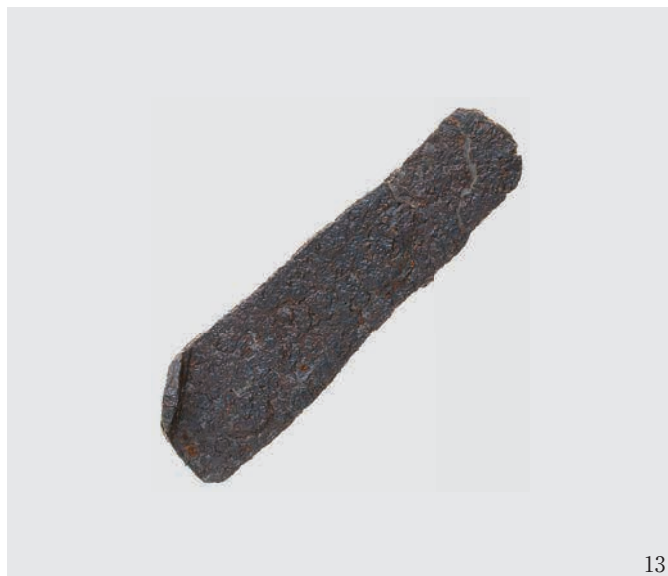
11

SB5001



8

SB5005



13

SB5011



10

SB3057



28

27

26

SB5023



3

SK286



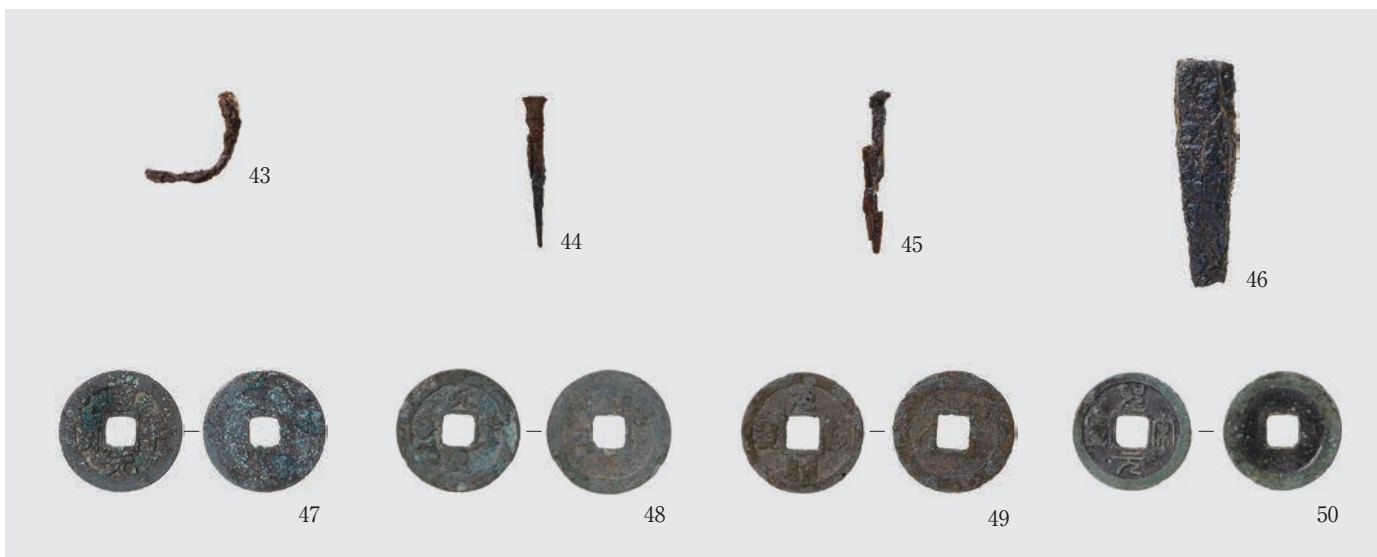
8

SB5038



8

SK3492



43

44

45

46

47

48

49

50

SD1



1

SM5002



SK327

SK3046

SK5064

SK5033

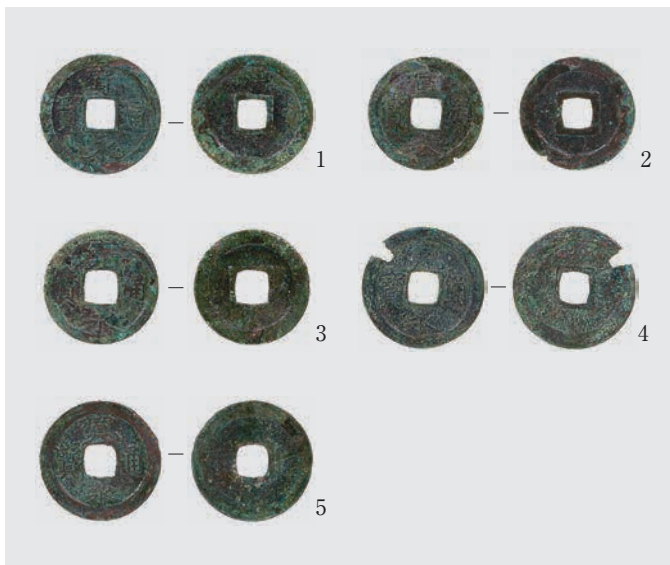
4 拡大



中世遺構外



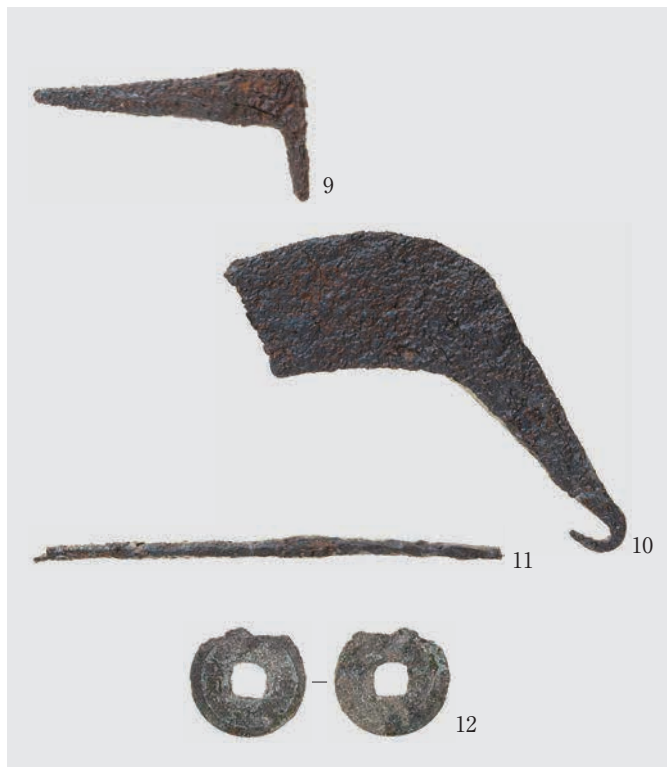
SK292



SK296



SK3494



SK3634



SK3721



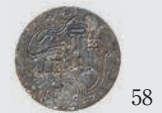
SK5083

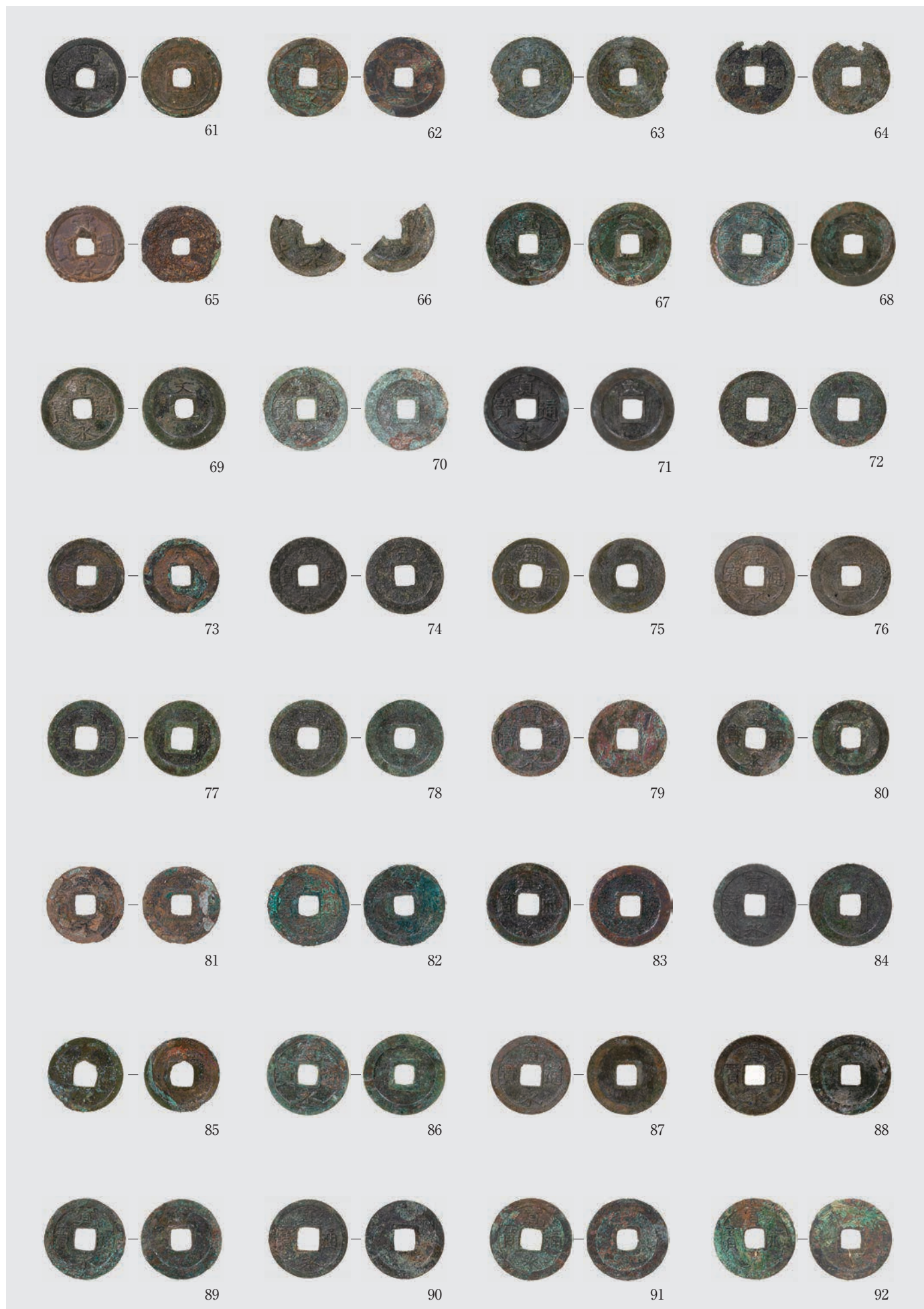


SK5089



SK6066



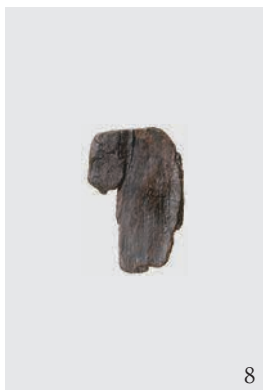


近世以降包含層



近世以降包含層

PL122 古墳時代の木製品、中世以降の木製品



SD4022



SK3165



SK3179



古墳時代包含層



SK3634



SK6066



近世以降包含層



報告書抄録

ふりがな	ながのし あさかわせんじょうちいせきぐん							
書名	長野市 浅川扇状地遺跡群							
副書名	社会資本整備総合交付金（街路）事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 —（都）高田若槻線 長野市 桐原～吉田（1）—							
シリーズ名	長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書							
シリーズ番号	130							
編著者名	西 香子 寺内貴美子 川崎 保 平林 彰 長谷川桂子 賛田 明 高山いず美							
編集機関	（一財）長野県文化振興事業団 長野県埋蔵文化財センター							
所在地	〒388-8007 長野市篠ノ井布施高田963-4 TEL 026-293-5926							
発行年月日	令和3（2021）年9月10日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
あさかわせんじょうち 浅川扇状地 いせきぐん 遺跡群 よしだたまち 吉田田町 きはらみやきた 桐原宮北 きはらまきの 桐原牧野 きはらようがい 桐原要害	ながのし 長野市 きはら 桐原・ よしだ 吉田	20201	A-① A-504 A-099 A-501 A-212	36° 39' 51" (世界測地系)	138° 12' 54" (世界測地系)	20110412～ 20111130 20120416～ 20121204 20130408～ 20131219 20140407～ 20141126 20150406～ 20151130 20180903～ 20181220 20200408～ 20201129 延べ	3,600㎡ 5,700㎡ 7,423㎡ 2,572㎡ 2,606㎡ 1,414㎡ 1,380㎡ 24,695㎡	社会資本整備総合交 付金（街路）事業に 伴う記録保存調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
浅川扇状地 遺跡群	集落跡	弥生	竪穴建物跡25、溝跡4、 墓1、土坑45	弥生土器、石器		後期中葉・後葉の集落跡。後期 終末の方形周溝墓の周溝より、 口縁が2重となる壺3個出土。		
		古墳	竪穴建物跡57、溝跡25、 墓6、土坑190	須恵器・土師器・石製品		前期の墳墓の周溝から西濃地域 の影響を受けた加飾高坏出土。 中期の石製模造品製作工房跡。		
		古代	竪穴建物跡218、掘立柱 建物跡1、溝跡57、土坑 456	須恵器・土師器・灰釉陶 器・緑釉陶器・金属製品・ 銭貨		和同開珎・鉄鐸・帯金具・筆立 付円面硯・墨書土器などが出土。		
		中世以降	掘立柱建物跡4、溝跡 19、墓7、土坑644	土師質土器・陶磁器・瓦・ 金属製品・銭貨・石製品・ 木製品		中世居館の堀跡。近世以降の土 坑より鴨徳利出土。		
要約	<p>本遺跡は、飯縄山を水源とする浅川によって形成された扇状地上に位置する。調査地区内からは、縄文時代や弥生時代中期の遺物が少量みつがっているが、弥生時代中期以前の遺構は確認されていない。</p> <p>弥生時代後期中葉と後葉には集落が営まれ、後期終末には方形周溝墓が築造されている。方形周溝墓の周溝からは、口縁が2重となる赤い壺や北陸地域の影響を受けた土器が出土している。</p> <p>古墳時代は、前期から後期までの遺構がみつがっている。特に前期は大規模な墓域を伴う集落が確認されている。また、竪穴建物跡から出土した北陸地域や東海地域の特徴をもつ土器は、古墳時代に東日本の各地で展開された広範囲な地域間の文化的交流のうかがわせる。</p> <p>古代の集落跡は、9世紀まで一時期30軒程度のかんりの規模の集落が営まれるが、10世紀以降になると竪穴建物跡は確認されず、集落は別の場所に移動したと考えられる。一般集落にはあまりみられない筆立付円面硯や帯金具、緑釉陶器などが出土し、官衙との関連も注目される。</p> <p>中世は、調査地内から堀跡や井戸跡が確認されていて、居館の一部となったと思われる。また、近世以降の土坑や、生活雑器の陶磁器類や銭貨、金属製品などが北国街道沿いに多数確認されており、現代の「町」につながる基礎が形成されたことがわかる。</p>							

令和3(2021)年9月10日 発行

長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 130

浅川扇状地遺跡群

社会資本整備総合交付金（街路）事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

—（都）高田若槻線 長野市 桐原～吉田（1）—

第2分冊

発行者 長野県長野建設事務所
（一財）長野県文化振興事業団
長野県埋蔵文化財センター
〒388-8007 長野県長野市篠ノ井布施高田963-4
Tel 026-293-5926 Fax 026-293-8157
E-Mail maibun@naganobunka.or.jp

印刷者 鬼灯書籍株式会社
〒381-0012 長野県長野市柳原2133-5
Tel 026-244-0235 Fax 026-244-0210